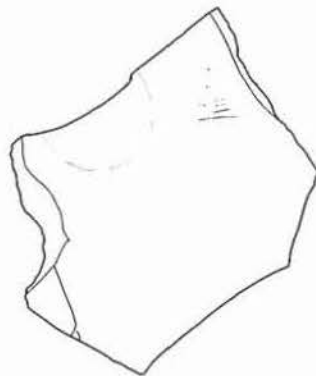


# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅹ

(1999、2002、2012年度)



2014

熊本大学埋蔵文化財調査センター







# 熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅹ

(1999、2002、2012年度)

2014

熊本大学埋蔵文化財調査センター





1. 9901調査地点全景 (東より)



2. 38号土器集中部 (北より)



1. 0204調査地点南側全景（西より）



2. 1223調査地点74号竪穴住居址竈上面遺物出土状況（北東より）



## 序 文

昔から役場や学校は、安全で便利な良い地に建てられることが多い。熊本大学はどれほど良い場所に立地しているのだろうか。歴史の研究者は、黒髪キャンパスは、延喜式にみる「蚕養駅」ならびに旧飽田郡家（飽田郡郡司建部公の居所）の地ではないかと指摘する。そうであればここは千年前から公共の場所であったことになるのだが、それはどのように証明されるのであろうか。その問いに本センターが熊本大学構内で実施した発掘調査が答えを与えつつある。

本書は1999年、2002年、2012年に実施した4地区計6件の発掘調査（黒髪南地区3件、本荘北地区1件、本荘中地区2件）の成果を収めるものである。

黒髪南地区では大きな発見があった。工学部百周年記念館敷地内の西端で、幅1mほどの溝が2本、相互に3mを隔てて南北に50mほど併行してまっすぐに延びていたのである。溝に伴う土器から、これが古代（8世紀後半以前）に造成されていたことがわかった。これはおそらく官道であろう。北にながい駅路といくつもの駅家をつないで太宰府に通じていたとみられる。この道はここで白川をわたる「蚕養の渡し」に繋がり、さらに南に続くのだろう。官道が出たことの意味は大きい。

本荘地区でも興味深い遺物が出土した。ここでみつかった大量の古代の食器の中に、内側に「主帳」という文字を刻んだ直径8cmほどの蓋が混じっていた。「主帳」とは文書の起草・受理をつかさどった人の職名である。

本地区には立派な四面廂のある建物もある。8世紀から9世紀、どうやらここは身分ある人の邸宅か公共の施設であったらしい。地区内の別地点からは「杵本寺」、「佛」、「寺」の文字を刻んだ同様の器がでていたので、近くに寺もあったようだ。当時、西方一里には肥後国府、北の金峰山南麓には有名な池辺寺がそびえていた。1100年前の本荘地区を、国府の役人や僧侶が行き交っていたのだろう。

熊本大学の二つのキャンパスの位置・立地が歴史的にきわめて重要であったことは発掘調査でも実証されつつある。便利で重要な場所であればこそ、後世の人びと、とりわけ現代人はそこであらたな開発事業を始めるのだが、これまでのながい歴史の上にこそ現代があることを肝に銘じておく必要がある。可能な限り遺跡を保存し、やむを得ず破壊する場合は工事の前にきちんとした調査を実施する。その調査成果を教育に生かすことは、長い目でみれば本大学の価値を高めることになる。こういう思いでわたしたちは調査をしている。

本書は学長裁量経費による2冊目の刊行物である。ご尽力くださった学長をはじめ、センター運営委員会委員各位、施設担当各位に厚く御礼申しあげる。

平成26年3月6日

国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査センター

センター長 木下尚子

## 例 言

1. 本報告書は、熊本大学再開発計画によって熊本大学敷地内において実施された各種建築工事に伴い、熊本大学埋蔵文化財調査室（平成23年10月1日より「熊本大学埋蔵文化財調査センター」に改組）が1999～2012年度に実施した発掘調査の一部に関するものである。
2. 本書に収録した報告は、1999～2012年度に埋蔵文化財調査室が実施した発掘調査報告とそれに関連する立会調査などの成果のうち、7件の発掘調査に関する成果である。
3. 上記調査地点の報告にあたっては、下記のように地区ごとに分けて報告する。  
Ⅱ章：黒髪南地区 9911調査地点・0204調査地点・0206調査地点・0210調査地点  
Ⅲ章：本荘北地区 9901調査地点  
Ⅳ章：本荘中地区 1205調査地点・1223調査地点
4. 以上の調査を実施した1999～2012年度の埋蔵文化財調査室の組織と調査体制は以下のとおりである。  
室 長：甲元真之（文学部教授）（99～05年度）・木下尚子（文学部教授）（05～12年度）  
調 査 員：小畑弘己（文学部助教授）（99～10年度）・松田光太郎（センター准教授）（12年度）  
大坪志子（文学部助手・センター助教）（99～12年度）  
事務補佐員：松嶋木綿子（99年）・坂元紀乃（01～02年度）・村田知聖（08～12年度）
5. 遺物番号は地区ごとに1から番号を付けている。写真図版中の番号はこれに一致する。
6. 本文は、小畑弘己、松田光太郎、大坪志子、多賀晴司が執筆した。
7. 本書に使用した遺構実測図に関しては、小畑弘己、大坪志子、松田光太郎をはじめとする調査に参加した熊本大学考古学研究室学生、株式会社埋蔵文化財サポートシステムによるものである。
8. 本書に使用した遺物実測図・拓本は、井上裕美、江口路、小山正子、甲斐郁、金子真夕、古閑満代、柴田亮、首藤優子、末吉美紀、高松あゆみ、多賀晴司、溜渕俊子、林田恵子、早田咲百合、山寄早苗、安田未来、小畑、大坪、松田が製作した。
9. 本書に使用した図版の製図は小畑、大坪、松田、多賀、増井弘子、鬼塚美枝が行った。
10. 遺構実測及び製図には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver. 3-アーケオテクノ社）、株式会社CUBICの遺跡実測支援システム「遺構くん」及び製図システム「トレース3Dくん」を使用した。
11. 本書に使用した現場写真は小畑・松田・大坪・多賀が、遺物写真は松田、小山、末吉がこれを撮影した。
12. 本書で使用した遺物観察表は、首藤、小畑、大坪、松田が作成した。
13. Ⅱ章・Ⅲ章で報告する調査地点の遺構図面は日本測地系、その他は世界測地系による。
14. 本書に掲載した出土遺物および記録類は、すべて熊本大学埋蔵文化財センターで保管している。
15. Ⅲ章9901調査地点出土の「主帳」銘入り土器については、宮崎産業経営大学 柴田博子氏、熊本市教育委員会 網田龍生氏にご教示を頂いた。記して感謝を申し上げます。
16. 本書の編集は大坪が行った。

# 本文目次

## I 構内遺跡と調査の概要

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要…………… 1
2. 調査に至る経緯…………… 4
3. これまでの調査と本書収録の遺跡…………… 5

## II 黒髪南地区の調査

1. 黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査（9911調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………21
  - (2) 調査区の基本層序……………21
  - (3) 検出遺構……………23
  - (4) 出土遺物……………23
  - (5) まとめ……………26
2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0204調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………29
  - (2) 調査区の基本層序……………29
  - (3) 検出遺構……………30
  - (4) 出土遺物……………40
  - (5) まとめ……………40
3. 黒髪団地南地区総合研究棟新営に伴う樹木移植工事に伴う発掘調査（0206調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………48
  - (2) 調査区の基本層序……………48
  - (3) 検出遺構……………49
  - (4) 出土遺物……………49
  - (5) まとめ……………49
4. 黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査（0210調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………52
  - (2) 調査区の基本層序……………52
  - (3) 検出遺構……………55
  - (4) 出土遺物……………55
  - (5) まとめ……………57

## III 本荘北地区の調査

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査（9901調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………59
  - (2) 調査区の基本層序……………63
  - (3) 検出遺構と出土遺物……………63
  - (4) まとめ……………125

## IV 本荘中地区の調査

1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）
  - (1) 調査の目的と経過……………167

(2) 測量基準点の設定と測量方法 .....	169
(3) 調査区の基本層序 .....	169
(4) 検出遺構 .....	169
(5) 出土遺物 .....	172
(6) まとめ .....	176
2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)	
(1) 調査の目的と経過 .....	179
(2) グリッドの設定 .....	180
(3) 調査区の基本層序 .....	180
(4) 検出遺構 .....	183
(5) 出土遺物 .....	223
(6) まとめ .....	237

## 挿 図 目 次

図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000).....	2	図15 0204調査地点出土遺物実測図2 (1/4) .....	42
図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000).....	22	図16 0204調査地点出土遺物実測図3 (1/4・1/3).....	43
図3 9911調査地点遺構配置実測図 (1/100) .....	22	図17 0206調査地点遺構配置図・南壁土層断面実測図・遺物出土状況・出土遺物実測図 (1/100・1/40・1/12・1/3).....	50
図4 9911調査地点南西・北西壁土層断面実測図 (1/80) .....	23	図18 0210調査地点トレンチ17・19遺物出土状況実測図 (1/40) .....	53
図5 9911調査地点出土遺物実測図1 (1/4) .....	24	図19 0210調査地点トレンチ20・21遺物出土状況実測図 (1/40) .....	54
図6 9911調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3).....	25	図20 0210調査地点出土遺物実測図 (1/3・1/4・2/3) .....	56
図7 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000).....	31	図21 本庄北地区における調査地点配置図 (1/2000).....	60
図8 0204調査地点遺構配置実測図 (1/200) .....	32	図22 9901調査地点遺構配置実測図 (1/400) .....	61
図9 0204調査地点各遺構土層断面実測図 (1/100・1/50) .....	34	図23 9901調査地点北東壁土層断面実測図・中央土層断面実測図 (1/80・1/100) .....	62
図10 1・2号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	36	図24 3・5号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	65
図11 3号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	37	図25 3号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/4) .....	66
図12 4号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	38	図26 5号竪穴住居址出土遺物実測図1 (1/4) .....	67
図13 21号火葬墓実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4) .....	39		
図14 0204調査地点出土遺物実測図1 (1/2・1/4).....	41		

図27	5号竖穴住居址出土遺物実測図2 (1/4) .....	68	図45	290号竖穴住居址実測図・290・291・297 号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/50・ 1/4).....	87
図28	35号竖穴住居址実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4).....	69	図46	343・355号竖穴住居址出土遺物実測図・ 355号竖穴住居址実測図 (1/4・1/50) .....	88
図29	80号竖穴住居址実測図 (1/50).....	70	図47	356号竖穴住居址・357号竖穴実測図・ 356号竖穴住居址・357・348号竖穴出土 遺物実測図 (1/50・1/4).....	89
図30	80号竖穴住居址出土遺物実測図・92号竖 穴住居址実測図 (1/4・1/50).....	71	図48	367号竖穴住居址実測図・出土遺物実測 図 (1/50・1/4).....	90
図31	92号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4) .....	72	図49	25号竖穴住居址実測図 (1/50).....	92
図32	113・114号竖穴住居址実測図 (1/50) .....	73	図50	25号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4) .....	93
図33	113号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4) .....	74	図51	157号竖穴住居址実測図・出土遺物実測 図 (1/50・1/4).....	94
図34	253・291号竖穴住居址実測図 (1/50) .....	75	図52	258号竖穴住居址実測図・出土遺物実測 図・300号竖穴住居址実測図 (1/50・ 1/4).....	95
図35	253・337・338・340号竖穴住居址出土遺 物実測図・337・338・340号竖穴住居址 実測図 (1/4・1/50).....	76	図53	300号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4) .....	96
図36	346号竖穴・352・353号竖穴住居址実測 図 (1/50).....	77	図54	310号竖穴住居址実測図・出土遺物実測 図 (1/50・1/4).....	97
図37	346号竖穴・352・353号竖穴住居址・354 号竖穴出土遺物実測図・354号竖穴・374 号溝実測図 (1/4・1/50).....	78	図55	359・362号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4).....	98
図38	360号竖穴住居址・361・362号竖穴実測 図 (1/50).....	79	図56	500・501号掘立柱建物実測図 (1/100) .....	99
図39	360号竖穴住居址・361号竖穴出土遺物実 測図・363号竖穴住居址実測図 (1/4・ 1/50).....	80	図57	500・501・502・503号掘立柱建物出土遺 物実測図 (1/4).....	100
図40	387号竖穴住居址・368号集石土坑実測 図・387号竖穴住居址・368集石土坑・ 394号ピット出土遺物実測図 (1/50・ 1/4).....	81	図58	502・503・504・505号掘立柱建物実測図 (1/100).....	101
図41	30・43号竖穴住居址実測図 (1/50) .....	83	図59	各遺構土層断面実測図 (1/20・1/40) .....	103
図42	30・43号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4).....	84	図60	1号溝出土遺物実測図1 (1/4).....	104
図43	50・52号竖穴住居址実測図 (1/50) .....	85	図61	1号溝出土遺物実測図2 (1/4).....	105
図44	50・52号竖穴住居址出土遺物実測図(1/4) .....	86	図62	1号溝出土遺物実測図3・38号破碎土器 集中部・72号溝須恵器出土状況実測図 (1/4・1/50).....	106
			図63	4号溝出土遺物実測図1 (1/4).....	107
			図64	4号溝出土遺物実測図2 (1/4).....	108

図65	4号溝内38号出土遺物実測図(1/4) .....	109	図84	9901調査地点出土石器実測図1(1/4) .....	130
図66	95号馬骨出土状況実測図・出土遺物実測 図(1/50・1/4).....	110	図85	9901調査地点出土石器実測図2(1/4) .....	131
図67	15・37・57号溝出土遺物実測図(1/4) .....	111	図86	9901調査地点出土石器実測図3(1/4) .....	132
図68	57号溝出土遺物実測図・369号壺出土状 況実測図・出土遺物実測図(1/4・1/50) .....	112	図87	9901調査地点出土石器実測図4(1/4) .....	133
図69	371号土器出土状況実測図・出土遺物実 測図(1/50・1/4).....	113	図88	9901調査地点出土石器実測図5(2/3) .....	134
図70	72号溝出土遺物実測図1(1/4).....	114	図89	本荘中地区における調査地点配置図 (1/2000).....	168
図71	72号溝出土遺物実測図2(1/5・1/4) .....	115	図90	1205調査地点遺構配置図(1/250)...	170
図72	72号溝出土遺物実測図3(1/6).....	116	図91	1・2・3号溝土層断面図(1/50) .....	171
図73	74号溝実測図・74・156・358号溝出土遺 物実測図(1/50・1/4).....	117	図92	1205調査地点出土遺物実測図1(1/4) .....	174
図74	373号・289号溝実測図・365・379号溝出 土遺物実測図(1/50・1/4).....	118	図93	1205調査地点出土遺物実測図2(1/4・ 1/2).....	175
図75	2・16・380・381号溝出土遺物実測図・ 265号獣骨出土状況実測図(1/4・1/50) .....	119	図94	調査区グリッド配置図(1/2000)...	179
図76	366号土坑・115号胞衣壺出土状況実測 図・370号集石状況実測図・各遺構出土 遺物実測図(1/50・1/40・1/4).....	121	図95	1223調査地点遺構配置図(1)溝・堅穴 住居址・掘立柱建物址・土坑(1/200) .....	181
図77	250号土壙墓人骨出土状況実測図・出土 遺物実測図(1/20・1/4・1/3).....	122	図96	1223調査地点遺構配置図(2)ピット (1/200).....	182
図78	その他遺構出土遺物・土製品・石製品実 測図(1/4・2/3・1/1).....	123	図97	周辺調査地点遺構配置図(1/600)...	183
図79	9901調査地点出土鉄製品実測図(1/3) .....	125	図98	1223調査地点北壁1土層断面図(1/50) .....	184
図80	9901調査地点包含層出土遺物実測図1 (1/4).....	126	図99	1223調査地点北壁2土層断面図(1/50) .....	184
図81	9901調査地点包含層出土遺物実測図2 (1/4).....	127	図100	1223調査地点東壁土層断面図(1/50) .....	184
図82	9901調査地点出土縄文土器実測図1 (1/4).....	128	図101	4・5・51号溝実測図(1/120・1/50) .....	187
図83	9901調査地点出土縄文土器・弥生土器実 測図2(1/4).....	129	図102	200・201号溝実測図(1/120).....	188
			図103	190号溝実測図(1/120・1/50).....	189
			図104	9・55号溝実測図(1/120・1/50)...	189
			図105	13・202号溝実測図(1/120・1/50) .....	190

図106 204・205・240号溝実測図 (1/100・1/50) .....	191	図124 120号竪穴住居址実測図 (1) (1/50) .....	215
図107 10号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	194	図125 120・206号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	216
図108 11・83号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	195	図126 207・208・210号竪穴住居址実測図(1/50) .....	217
図109 123号竪穴住居址実測図 (1/50).....	196	図127 215号竪穴住居址実測図 (1/50).....	219
図110 123号竪穴住居址掘り方・竈実測図 (1/50) .....	197	図128 1号掘立柱建物址・1号ピット列実測図 (1/100) .....	221
図111 142・145号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	198	図129 土坑実測図 (1/50) .....	222
図112 12号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	200	図130 1223調査地点出土遺物実測図 1 (1/4) .....	229
図113 12・73・124号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	201	図131 1223調査地点出土遺物実測図 2 (1/4) .....	230
図114 62・76号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	203	図132 1223調査地点出土遺物実測図 3 (1/4) .....	231
図115 147・148号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	204	図133 1223調査地点出土遺物実測図 4 (1/4) .....	232
図116 90・159号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	205	図134 1223調査地点出土遺物実測図 5 (1/4・ 1/3).....	233
図117 165・166・182号竪穴住居址実測図(1/50) .....	206	図135 1223調査地点出土遺物実測図 6 (1/4・ 1/3・1/2) .....	234
図118 63号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	207	図136 1223調査地点出土遺物実測図 7 (1/4・ 1/3).....	235
図119 74号竪穴住居址実測図(1) (1/50・1/40) .....	209	図137 1223調査地点出土遺物実測図 8 (1/4・ 1/3・2/3) .....	236
図120 74号竪穴住居址実測図(2) (1/50・1/40) .....	210	図138 1223調査地点竪穴住居址・掘立柱建物址 軸方位.....	238
図121 93・154号竪穴住居址実測図 (1/50) .....	211	図139 1223調査地点時期別遺構配置図 (1/300) .....	239
図122 104号竪穴住居址実測図 (1) (1/50) .....	212		
図123 104号竪穴住居址実測図 (2) (1/50) .....	213		

## 図 版 目 次

図版 1 9911調査地点.....	249	図版 2 9911調査地点.....	250
写真 1 I区完掘状況 (南東より)		写真 6 II区遺物出土状況 (南東より)	
写真 2 1次掘削の様子 (南より)		写真 7 遺物出土状況 (北より)	
写真 3 I区西壁 (南東より)		写真 8 北壁 (南より)	
写真 4 地山上面遺物出土状況 (北より)		写真 9 遺物出土状況 (北より)	
写真 5 地山上面遺物出土状況 (北より)		写真 10 II区完掘状況 (南東より)	

図版3	9911調査地点出土遺物1	251	図版11	0204調査地点出土遺物2	259
図版4	9911調査地点出土遺物2	252	図版12	0204調査地点出土遺物3	260
図版5	9911調査地点出土遺物3	253	図版13	0204調査地点出土遺物4	261
図版6	0204調査地点	254	図版14	0204調査地点出土遺物5	262
写真11	焼骨(頁39)		図版15	0206調査地点・同出土遺物	263
写真12	調査区南側全景(西より)		写真38	調査区南壁(北より)	
写真13	調査区北側全景(西より)		写真39	調査区全景(北より)	
図版7	0204調査地点	255	写真40	溝状遺構(北より)	
写真14	調査区南側(東より)		写真41	遺物出土遺構(東より)	
写真15	調査区北側(東南より)		写真42	遺物出土状況(東より)	
写真16	調査区南側(南西より)		図版16	0210調査地点	264
写真17	調査区北壁土層断面・5・6号溝 (南より)		写真43	樹木③調査地点周囲掘削風景(西より)	
写真18	調査区北壁土層断面(南西より)		写真44	樹木⑬トレンチ掘削状況(東より)	
写真19	1号竪穴住居址(南より)		写真45	Ⅱ区トレンチ5掘削状況(東より)	
写真20	1・2号竪穴住居址(南より)		写真46	Ⅱ区トレンチ6掘削状況(東より)	
写真21	1号竪穴住居址竈完掘状況(南より)		写真47	Ⅱ区トレンチ8掘削状況(北より)	
図版8	0204調査地点	256	写真48	Ⅱ区トレンチ7掘削状況(西より)	
写真22	2号竪穴住居址竈(南より)		写真49	Ⅱ区トレンチ9掘削状況(北より)	
写真23	1号竪穴住居址竈(東より)		写真50	Ⅱ区トレンチ10掘削状況(北より)	
写真24	2号竪穴住居址(南より)		図版17	0210調査地点	265
写真25	3号竪穴住居址(南より)		写真51	Ⅱ区トレンチ11掘削状況(西より)	
写真26	2号竪穴住居址完掘状況(南より)		写真52	Ⅱ区トレンチ12掘削状況(北より)	
写真27	3号竪穴住居址竈完掘状況(南より)		写真53	Ⅱ区トレンチ13掘削状況(東より)	
写真28	2号竪穴住居址遺物出土状況(西より)		写真54	Ⅱ区トレンチ1掘削状況(西より)	
写真29	4号竪穴住居址東西土層壁面(北より)		写真55	Ⅱ区トレンチ15掘削状況(東より)	
図版9	0204調査地点	257	写真56	Ⅱ区トレンチ14掘削状況(東より)	
写真30	4号竪穴住居址(南西より)		写真57	Ⅱ区調査地点全景(西より)	
写真31	4号竪穴住居址竈土器出土状況(南より)		写真58	Ⅲ区調査地点全景(北東より)	
写真32	4号竪穴住居址竈横土器出土状況(南より)		図版18	0210調査地点	266
写真33	21号火葬墓(西より)		写真59	Ⅳ区調査地点全景(南東より)	
写真34	4号竪穴住居址竈(南西より)		写真60	Ⅳ区トレンチ20調査風景(南東より)	
写真35	9号溝土層断面(南より)		写真61	Ⅳ区トレンチ21硬化面検出状況(東より)	
写真36	樹木移植地調査区西側(北より)		写真62	Ⅲ区トレンチ16全景(東より)	
写真37	樹木移植地調査区南側(南より)		写真63	Ⅲ区トレンチ17全景(東より)	
図版10	0204調査地点出土遺物1	258	写真64	Ⅳ区トレンチ20第2硬化面検出状況(北より)	
			写真65	Ⅳ区トレンチ20遺物出土状況(東より)	



	り)		り)
写真66	IV区トレンチ20摩石ほか出土状況 (西より)	写真88	339号・340号竪穴住居址掘削状況 (南東より)
図版19	0210調査地点…………… 267	図版25	9901調査地点…………… 273
写真67	IV区トレンチ20包含層下面遺物出土 状況(東より)	写真89	346号竪穴(南より)
写真68	IV区トレンチ21包含層遺物出土状況 (東より)	写真90	346号竪穴遺物出土状況(西より)
写真69	Ⅲ区トレンチ19・1号住居址(北よ り)	写真91	352・353号竪穴住居址掘削状況(北 西より)
写真70	樹木①調査地点トレンチ土層(南よ り)	写真92	353号竪穴住居址完掘状況(北西よ り)
写真71	樹木①調査地点近景(西より)	写真93	360号竪穴住居址遺物出土状況(南 より)
写真72	樹木②調査地点トレンチ土層(東よ り)	写真94	360号竪穴住居址(西より)
写真73	トレンチ18位置換え掘削風景(北よ り)	写真95	387号竪穴住居址遺物出土状況(北 西より)
図版20	0210調査地点出土遺物1…………… 268	写真96	387号竪穴住居址完掘状況(北東よ り)
図版21	0210調査地点出土遺物2…………… 269	図版26	9901調査地点…………… 274
図版22	9901調査地点…………… 270	写真97	368号集石土坑(西より)
写真74	I区全景(東より)	写真98	30・25・80号竪穴住居址(南東よ り)
写真75	II区全景(北より)	写真99	43・50号竪穴住居址(北東より)
図版23	9901調査地点…………… 271	写真100	52号竪穴住居址遺物出土状況(北 より)
写真76	II区東部全景(北より)	写真101	52号竪穴住居址竈完掘状況(南よ り)
写真77	3号竪穴住居址遺物出土状況(南東 より)	写真102	290号竪穴住居址遺物出土状況(南 より)
写真78	3号竪穴住居址完掘状況(西より)	写真103	291号竪穴住居址掘削状況(西よ り)
写真79	5号竪穴住居址遺物出土状況(南西 より)	写真104	343号竪穴住居址完掘状況(南よ り)
写真80	5号竪穴住居址掘削状況(北より)	図版27	9901調査地点…………… 275
図版24	9901調査地点…………… 272	写真105	355号竪穴住居址完掘状況(西よ り)
写真81	35号竪穴住居址掘削状況(南西よ り)	写真106	356号竪穴住居址北側(南西より)
写真82	80号竪穴住居址遺物出土状況(北西 より)	写真107	356号竪穴住居址南側(南西より)
写真83	80号竪穴住居址内竈(北より)	写真108	357号竪穴遺物出土状況(北より)
写真84	92号竪穴住居址・74号溝(西より)	写真109	25号竪穴住居址遺物出土状況(西 より)
写真85	113号竪穴住居址(北東より)		
写真86	253号竪穴住居址掘削状況(南より)		
写真87	338号竪穴住居址掘削状況(南西よ		

写真110	25号竪穴住居址内焼土（北東より）	写真137	250号土壙墓人骨検出状況（西より）
写真111	114号竪穴住居址土層断面（東より）	写真138	2号溝（北より）
写真112	157号竪穴住居址遺物出土状況（東より）	写真139	作業風景
図版28	9901調査地点…………… 276	写真140	現場説明会
写真113	258号竪穴住居址遺物出土状況（北より）	図版32	9901調査地点出土遺物1…………… 280
写真114	300号竪穴住居址遺物出土状況（北より）	図版33	9901調査地点出土遺物2…………… 281
写真115	300号竪穴住居址竈検出状況（北東より）	図版34	9901調査地点出土遺物3…………… 282
写真116	300号竪穴住居址完掘状況（北西より）	図版35	9901調査地点出土遺物4…………… 283
写真117	310号竪穴住居址遺物出土状況（北より）	図版36	9901調査地点出土遺物5…………… 284
写真118	362号竪穴土層断面（西より）	図版37	9901調査地点出土遺物6…………… 285
写真119	掘立柱建物（北より）	図版38	9901調査地点出土遺物7…………… 286
写真120	I区1号溝遺物出土状況（北東より）	図版39	9901調査地点出土遺物8…………… 287
図版29	9901調査地点…………… 277	図版40	9901調査地点出土遺物9…………… 288
写真121	II区1号溝完掘状況（南西より）	図版41	9901調査地点出土遺物10…………… 289
写真122	4号溝掘削状況（北東より）	図版42	9901調査地点出土遺物11…………… 290
写真123	4号溝上土器出土状況（北より）	図版43	9901調査地点出土遺物12…………… 291
写真124	4号溝内馬骨出土状況（西より）	図版44	9901調査地点出土遺物13…………… 292
写真125	15・16号溝完掘状況（東より）	図版45	9901調査地点出土遺物14…………… 293
写真126	57号溝遺物出土状況（東より）	図版46	9901調査地点出土遺物15…………… 294
写真127	72号溝完掘状況（北より）	図版47	9901調査地点出土遺物16…………… 295
写真128	72号溝完掘状況（南西より）	図版48	9901調査地点出土遺物17…………… 296
図版30	9901調査地点…………… 278	図版49	9901調査地点出土遺物18…………… 297
写真129	72号溝内高坏出土状況（北より）	図版50	9901調査地点出土遺物19…………… 298
写真130	72号溝遺物出土状況（西より）	図版51	9901調査地点出土遺物20…………… 299
写真131	4・1（381）・379・156（380）号溝（西より）	図版52	9901調査地点出土遺物21…………… 300
写真132	358・373号溝（西より）	図版53	9901調査地点出土遺物22…………… 301
写真133	II区南側溝完掘状況（北より）	図版54	9901調査地点出土遺物23…………… 302
図版31	9901調査地点…………… 279	図版55	9901調査地点出土遺物24…………… 303
写真134	115号胞衣壺ピット（西より）	図版56	9901調査地点出土遺物25…………… 304
写真135	115号胞衣壺ピット断面（西より）	図版57	9901調査地点出土遺物26…………… 305
写真136	370号集石（西より）	図版58	9901調査地点出土遺物27…………… 306
		図版59	9901調査地点出土遺物28…………… 307
		図版60	9901調査地点出土遺物29…………… 308
		図版61	9901調査地点出土遺物30…………… 309
		図版62	9901調査地点出土遺物31…………… 310
		図版63	9901調査地点出土遺物32…………… 311
		図版64	9901調査地点出土遺物33…………… 312
		図版65	9901調査地点出土遺物34…………… 313
		図版66	9901調査地点出土遺物35…………… 314

図版67	9901調査地点出土遺物36	315	図版77	1223調査地点	325
図版68	9901調査地点出土遺物37	316	写真166	調査区東半全景 (南より)	
図版69	9901調査地点出土遺物38	317	写真167	調査区西半全景 (南より)	
図版70	1205調査地点	318	図版78	1223調査地点	326
写真141	調査区全景 (南より)		写真168	4号溝 (南東より)	
写真142	1・4号溝 北4・5区 (北東より)		写真169	200号溝 (南東より)	
図版71	1205調査地点	319	図版79	1223調査地点	327
写真143	1号溝 北6・7区 (北東より)		写真170	1次掘削終了状況 (北より)	
写真144	調査開始前状況 (西より)		写真171	4号溝 (南東より)	
写真145	1号溝土層堆積状況 北4区 (南西より)		写真172	4号溝土層堆積状況 (南東より)	
写真146	1号溝ウマ下顎骨出土状況 北4区 (南より)		写真173	4号溝 獣骨出土状況 (南東より)	
写真147	1・4号溝 北5区 (南西より)		写真174	5号溝 (東より)	
図版72	1205調査地点	320	写真175	9号溝 (南より)	
写真148	1号溝 北6区 (北より)		写真176	13号溝 (南より)	
写真149	1号溝 北7区 (南西より)		写真177	240号溝 (東より)	
写真150	1・4号溝 中7区 (南西より)		図版80	1223調査地点	328
写真151	1号溝土層堆積状況 南9区 (南西より)		写真178	古代竪穴住居址発掘状況 (北より)	
写真152	1号溝 南8・9区 (南西より)		写真179	10号竪穴住居址 (東より)	
図版73	1205調査地点	321	写真180	12号竪穴住居址 (北東より)	
写真153	1号溝 南11・12区 (北西より)		写真181	73号竪穴住居址 (南東より)	
写真154	1・2・3号溝 南8区 (北西より)		写真182	73号竪穴住居址遺物出土状況 (南より)	
写真155	1号溝 南10区 (南より)		図版81	1223調査地点	329
写真156	1号溝 南11・12区 (南西より)		写真183	123号竪穴住居址 (南より)	
写真157	1号溝 南12・13区 (南西より)		写真184	123号竪穴住居址竈 (南東より)	
図版74	1205調査地点	322	写真185	142・145号竪穴住居址 (南より)	
写真158	1号ピット掘削状況 (北より)		写真186	62号竪穴住居址 (東より)	
写真159	1号ピット (東より)		写真187	48号竪穴住居址 (南東より)	
写真160	2号ピット掘削状況 (南より)		図版82	1223調査地点	330
写真161	2号ピット (南より)		写真188	76号竪穴住居址 (西より)	
写真162	3号ピット (南より)		写真189	76号竪穴住居址竈完掘 (西より)	
写真163	4・5号ピット検出状況 (北より)		写真190	147号竪穴住居址 (西より)	
写真164	4号ピット (北より)		写真191	90号竪穴住居址遺物出土状況 (南東より)	
写真165	5号ピット (北より)		写真192	165号竪穴住居址 (南東より)	
図版75	1205調査地点出土遺物1	323	図版83	1223調査地点	331
図版76	1205調査地点出土遺物2	324	写真193	74号竪穴住居址竈上面遺物出土状況 (北東より)	
			写真194	同竪穴住居址竈下面遺物出土状況 (北東より)	

写真195	同竪穴住居址土坑遺物出土状況 (北東より)	図版87	1223調査地点…………… 335
写真196	同竪穴住居址床面検出状況 (南東より)	写真213	1号掘立柱建物址東側(南より)
写真197	同竪穴住居址掘り方(南東より)	写真214	1号掘立柱建物址23P覆土半裁状 況(東より)
図版84	1223調査地点…………… 332	写真215	1号掘立柱建物址24P覆土半裁状 況(東より)
写真198	93号竪穴住居址(南西より)	写真216	1号掘立柱建物址163P覆土半裁状 況(南より)
写真199	63号竪穴住居址(南西より)	写真217	212号土坑(南東より)
写真200	104号竪穴住居址竈(南東より)	写真218	213号土坑(南より)
写真201	104号竪穴住居址掘り方 (南東より)	写真219	236・237号土坑(南東より)
写真202	104号竪穴住居址(南東より)	写真220	243号土坑(東より)
図版85	1223調査地点…………… 333	図版88	1223調査地点出土遺物1…………… 336
写真203	120号竪穴住居址(南東より)	図版89	1223調査地点出土遺物2…………… 337
写真204	120号竪穴住居址竈遺物出土状況 (南東より)	図版90	1223調査地点出土遺物3…………… 338
写真205	154号竪穴住居址(南東より)	図版91	1223調査地点出土遺物4…………… 339
写真206	206号竪穴住居址(南より)	図版92	1223調査地点出土遺物5…………… 340
写真207	207号竪穴住居址(南東より)	図版93	1223調査地点出土遺物6…………… 341
図版86	1223調査地点…………… 334	図版94	1223調査地点出土遺物7…………… 342
写真208	208号竪穴住居址(南より)		
写真209	210号竪穴住居址(南東より)	<巻頭図版>	
写真210	215号竪穴住居址竈燃焼面 (南東より)	1.	9901調査地点全景(東より)
写真211	215号竪穴住居址掘り方 (南東より)	2.	38号土器集中部(北より)
写真212	215号竪穴住居址(南東より)		
		1.	0204調査地点南側全景(西より)
		2.	1223調査地点74号竪穴住居址竈上面遺物出 土状況(北東より)

## 表 目 次

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧 …………… 1	表6	0210調査地点出土遺物一覧表……………58
表2	既往調査地点と本書収録調査地点一覧表 …………… 5	表7	9901調査地点出土遺物一覧表…………… 135
表3	9911調査地点出土遺物一覧表……………27	表8	1205調査地点基準点座標一覧表 (世界測地系)…………… 169
表4	0204調査地点出土遺物一覧表……………44	表9	1205調査地点検出ピット一覧表…………… 172
表5	0206調査地点出土遺物一覧表……………51	表10	1205調査地点出土遺物一覧表…………… 177
		表11	1223調査地点出土遺物一覧表…………… 242

# I 構内遺跡と調査の概要



## 1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

熊本大学が保有する敷地は、熊本市内の黒髪地区・本荘地区・九品寺地区・大江地区・小碓地区・京町地区・城東地区及び下南部地区の8区、市外の合津地区・阿蘇地区の2地区に分散しており、それぞれ埋蔵文化財の包蔵地となっている（表1）。

法・文・教育・工学・理学部の校舎が設置されている黒髪地区は黒髪町遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-88）に含まれる。本遺跡は熊本市中心部のほぼ北東端に位置する立田山（標高151.6m）の南西部の緩斜面が、西を坪井川を作る沖積面と南を白川河岸の低位段丘によって囲まれる東西900m、南北1000mの遺跡群であり、縄文時代から歴史時代に至る遺構・遺物を包蔵している。遺跡発見の経緯は昭和11年に遡り、大学に隣接する熊本県立中学済々學（現済々黌高校）の校庭から甕棺2基が発見されたことに始まる。また昭和40年には隣接する九州女学院敷地においてやはり弥生時代中期の甕棺や古墳時代の須恵器甑などが発見するに至り、その重要性が認識されるに至った。黒髪町式土器の指標遺跡である。このように弥生時代を中心とした遺跡としての認識が高いが、1983年に実施された済々黌高校内における新たな調査によって古代の竪穴住居址と土師器・須恵器・黒色土器などの関連遺物が出土し、その中には「寺門」銘の墨書土器が含まれているなど古代飽田郡における拠点的な性格をもった遺跡であることが予想された（『新熊本市史料編第1巻考古資料』新熊本市史編纂室1996）。古代官道や駅伝制の研究上、文献で推定されていた延喜式にみる「蚕養駅」、旧飽田郡家の推定地としても注目を集めてきた（木下1975・1995）が、近年ではこれまでの周辺遺跡での発掘成果および文献資料の検討、そして本調査室による発掘成果を受けて、済々黌高校から本学黒髪地区周辺が飽田郡司郡建部公の居所であり、飽田郡家として比定するなどの積極的な意見が展開されている（鶴嶋1997）。このように、本遺跡は先史時代のみならず、古代律令制下の駅伝制を考える上できわめて重要なものである。本報告において黒髪南地区4地点の発掘調査記録を収録している。

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名(学部名)	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区(法・文・教・大教センター) 黒髪東地区(教育学部附属特別支援学校)	熊本市中央区黒髪2丁目40-1 熊本市中央区黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
2	黒髪南地区(工・理)	熊本市中央区黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
3	京町地区(教育学部附属小・中学校)	熊本市中央区京町本丁5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区(教育学部附属幼稚園)	熊本市中央区城東5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市東区新南部居屋敷240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査 によって貝塚で ないことが判明
7	本荘中地区(医学部)	熊本市中央区本荘2丁目2-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	
8	本荘北地区(医学部附属病院)	熊本市中央区本荘1丁目1-1	本荘遺跡 (熊大病院・墓地 敷地遺跡)	散布地・集落址	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・近代	
9	本荘南地区(保健学科) (参考地)	熊本市中央区九品寺4丁目24-1	本荘遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市中央区大江本町5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市中央区渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区(職員宿舍)	熊本市中央区黒髪7丁目763番	宇留毛神社 周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・ 平安	

1. 熊本大学敷地と構内遺跡の概要

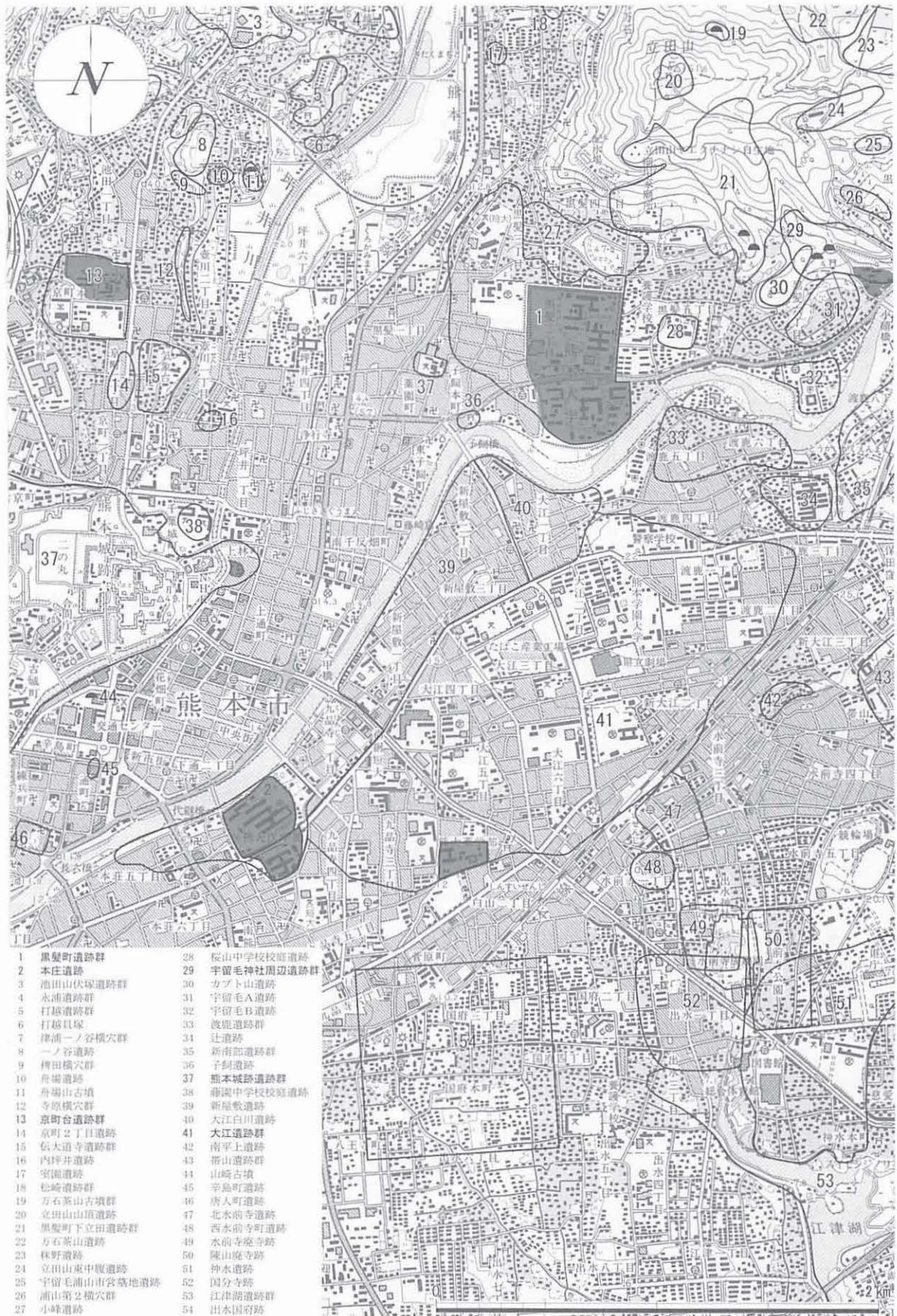


図1 黒髪町遺跡群・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)



医学部附属病院および医学部がある**本荘地区**は、**本庄遺跡**（熊本大学病院敷地遺跡）（熊本市埋蔵文化財地図No.8-95）を包括する。本遺跡は黒髪町遺跡群と同じく熊本平野を形成する扇状地形の中央を流れる白川の河岸堤防上に位置する遺跡であり、標高は13~12mである。附属病院の所在する白川寄りの地点が標高が高く、南東部（医学部側）へと緩やかに傾斜する地勢である。敷地内を白川より分岐した小河川が暗渠として流れており、古来この一帯は流道を変えながら幾本もの小河川が流れていた可能性が高い。『熊本市中央北地区文化財調査報告書』（熊本市教育委員会1980）によれば、1963年ごろ本大学医学部附属病院の敷地内から須恵器、土師器、布目瓦片類が採集されており、遺跡の存在が確実であるとされ、遺跡としての認定を受けている。しかし、その後本敷地内において学術的な発掘調査は一度も実施されておらず、遺跡の詳細な内容に関しては本調査室における調査が実施されるまで不明であった。しかし、先の報告の中では、東側に隣接する仙崇寺小松原墓地（現在の小松原公園）内においても須恵器片が採集され、遺跡の包含地がより広いことが想定されていた。この地区で最初に本格的な埋蔵文化財の調査が行われたのは、1995年に道路を挟んで隣接する医学部敷地内において計画されたRI総合センター遺伝子実験施設の建築に先立つ発掘調査である。この調査によってより南側の地区まで良好な状態で遺跡の広がりを確認することができた。よって、遺跡の範囲は東西500m、南北500mを越えるものと推定される。なお、本報告では**本荘北地区**（本学附属病院内）で実施した発掘調査の記録1件、**本荘中地区**（医学部）2件を収録した。

薬学部が所在する薬学部地区は、大江遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-93）の南西端に位置する。また、本学大江総合運動場は本遺跡群の北東端に位置している。地形は本庄遺跡とほぼ同じで、白川河岸に隣接し、標高は13~20mである。本遺跡群は詫麻郡家および渡鹿麿寺などの推定地を含む熊本市内でも有数の大規模（東西1.8km、南北1.7km）かつ貴重な古代を中心とした遺跡群であり、これまで60次にわたる調査が実施され、各種遺物を伴って、8・9世紀代を中心とした古代竪穴住居址群、掘立柱建物址、道路址、溝址などが検出されている（新熊本市史編纂室1996）。本学が実施した調査においては、大江総合運動公園整備に伴う調査によって古代関連の遺物・遺構群が発見された他は、薬学部敷地の北西部において古代包含層の一部を確認しているにすぎない。薬学部敷地内においては大規模な建替えが最近実施されたが、この際の試掘によって、構内の東側では遺構や包含層は存在せず、北西部に絞られる様相が明らかになってきた。

附属中学校・小学校の所在する京町地区は京町台遺跡群（熊本市埋蔵文化財地図No.8-45）（東西400m、南北350m）に包括され、同遺跡群内には熊本市立京陵中学校と熊本営林局も含まれる。本台地は熊本平野の北部にある阿蘇4火砕流（凝灰岩）が形成した標高30~40mの平坦な台地であり、東西両側はそれぞれ坪井川と井芹川が流れて急峻な崖地を形成している。この天然の要害ともいべき地の利を活かして台地の南端には熊本城が築かれており、周辺の台地上には武家屋敷が築かれていた。本遺跡における発掘調査の嚆矢は、1966年、営林署内の宿舍改築工事の際、遺構は検出されなかったが、重弧文をもつ弥生式土器、土師器、瓦器片が少量出土したことであり、現在では弥生時代遺跡として認定されている（熊本市文化財調査会1971）。これまでの発掘成果によると、構内の西側を中心として弥生時代~近世の遺構・遺物が確認されている。

沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションの占地する合津地区は、熊本県上天草市松島町合津に所在する。遺跡は本地区のある松島の南西部端、標高12mの丘陵端部に位置する。この松島を含めた一帯は有明海から不知火海へ抜ける海上交通の要衝にあたり、天草で唯一の形象埴輪を出土したカミノハナ古墳群や長沙連古墳、大戸鼻古墳群など重要な古墳が密集しているように、古来より重要な拠点として意識されていたところでもある。また、縄文時代にはカルワ島遺跡や柳遺

## 2. 調査に至る経緯

跡のように海岸部や海底に位置する遺跡群が数多く発見されている。沿岸域環境科学教育研究センター附属合津マリンステーションは、1956年に天草で初めて発見された縄文時代遺跡として著名な前島貝塚（熊本県遺跡地図57-013）とその東部にある梅殿古墳（同014）の隣接地にあたり、同貝塚の広がり合津マリンステーション敷地内に残存する可能性も大きく、古墳関連の遺構の存在も予想されるような位置にある（熊本県教育委員会1968）。実際、1969年に合津マリンステーションの北部丘陵斜面にある宿舎が建設された際、建設業者によって7本の石斧が発見されているし、合津マリンステーションの船着場南側の海岸では本学考古学研究室の学生諸氏によって縄文時代早期～前期を中心とした土器や石器が採集されている。よって合津マリンステーション内とその周辺は縄文時代の遺跡・遺構が存在する可能性がきわめて高いところとして周知されていたところであった。本地区においては、1995年に合津マリンステーション改築工事に伴う発掘調査によって、前島貝塚が貝塚ではなく、本丘陵上には縄文時代早期の遺物包含層や遺構群が存在することが明らかになった（熊本大学埋蔵文化財調査室1996・小畑2001）。

## 2. 調査に至る経緯

熊本大学の校地は先に示したように8地区に分散しており、どの校地も狭隘化してきているため、かねてから校地の移転などが議論されてきた。昭和60年に当時の熊本県知事から校地移転を検討する旨の申し出があり、その件について学内で議論され、本荘地区の医学部・附属病院を除き他の地区は現地再開発が決定された。本荘地区も平成5年に現地再開発することが決定されたので、全学が現地再開発で取り組むこととなった。その後それぞれの地区での再開発構想が検討され、基本的な計画が出来上がった地区から文教施設費を概算要求し、それらが認められたところから再開発事業が始まった。一方、黒髪地区などにおいては、従来から建設工事などによって古代や先史時代の遺物が発見されていたにもかかわらず、埋蔵文化財包蔵地としては周知されていなかった。

平成5年10月から黒髪南地区において情報処理センターの建設工事が始まったところ、熊本市教育委員会文化課から工事前に埋蔵文化財の発掘調査が必要である旨の連絡があり、同課へ出向き確認したところ、平成5年4月1日から熊本市文化財保護審議会において黒髪地区などが埋蔵文化財の包蔵地として追加指定されていることが判明した。そこで大学が計画している建設工事の予定地に係わる試掘調査の届を同課に提出して、調査を依頼した。試掘調査の結果では、ほとんどの建設工事に先立ち発掘調査が必要であるということになった。

今後の発掘調査について同課に相談したところ、以下のような回答があった。

①国の機関（大学等）は考古学研究室などがあって専門のスタッフを擁していることでもあり、熊本大学においてもそのような機関を設け、そこが実施機関として発掘調査を担当願いたい。

②熊本市が平成6年度発掘調査の依頼を受けたとしても、それを実施する場合、既に他の発掘調査予定が半年分はあるので、急いでも9月または10月頃から調査を始めることとなる。

以上のことから、熊本大学の再開発事業には事前の試掘および発掘調査を行うことが必須条件であり、そのためには大学独自の調査組織を早急に設けることが必要となった。まずは発掘調査組織の中心となってもらうべく、文学部考古学研究室に協力を依頼し、このことについて承諾を得た後、急ぎ委員会などの組織作りを行い、責任体制を確立するための作業が始められた。本学の状況および他大学に既に設置されている同種組織の内容を勘案しながら検討した結果、熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「調査委員会」と略する）を設けることとなった。また、この調査委員会の下に熊本大学埋

蔵文化財調査室（以下「調査室」と略する）を置き、発掘調査の実務を担当することとした。

平成6年4月7日をもって熊本大学埋蔵文化財委員会規則が定められ、調査委員会が設置され、委員会内に調査室が置かれ、平成6年5月16日、委員会委員の委嘱、調査室長および調査員・事務補佐員が就任し、正式に調査室業務が始動した。調査室発足後は、文学部考古学研究室の甲元真之教授をはじめとしたスタッフの多大なる協力のもと平成6年度建設予定地の調査を中心に発掘調査が実施された。以下の経緯については『熊本大学埋蔵文化財調査室年報』を参照されたい。

平成23年10月1日には、熊本大学埋蔵文化財調査室から、熊本大学埋蔵文化財調査センターとして発足した。

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

以後平成25年3月末日現在まで、再開発計画に則り行われた事業の事前調査として、表2のような調査が実施されてきた。本書はこの中から1999（一部）・2002・2012年度に実施した発掘調査の成果を報告する。試掘・立会調査などについては年報において既報告であるので、本書からは除外した。

1999年度は黒髪南地区において、黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査（9911調査地点）、本荘北地区においては（医病）病棟（軸）新営工事に伴う発掘調査（9901調査地点）が実施された。9901調査地点は、本学構内遺跡の調査としては最大の面積で、遺構・遺物ともに濃密に分布する地点であった。1999年度に実施した発掘調査の報告は既に本報告Ⅳ（2010）で行っているが、9901調査地点については整理作業がようやく一段落ついた本年度に報告する。2002年度は黒髪南地区において、黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0204調査地点）、黒髪団地南地区総合研究棟新営に伴う樹木移植工事に伴う発掘調査（0206調査地点）、黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査（0210調査地点）が実施された。2012年度は、本荘地区において大小の調査が実施された。本書ではそのうち（本荘中）医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）、（本荘中）国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査（1223調査地点）について報告する。

以上、本報告では、1999・2002・2012年度に実施した、黒髪南地区4件、本荘北地区1件、本荘中地区2件、の計7件の発掘調査の報告を掲載した。

表2 既往調査地点と本書収録調査地点一覧表

1994年度							
94・4・15～17	9401	（黒北）運動場整備（照明塔建設）工事	発掘調査	128㎡	古代	古代土師器・須恵器	年報Ⅰ
94・4・21	9402	（黒北・南）基幹整備（教育学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	47.5㎡	現代	ガラス・磁器片	年報Ⅰ
94・4・25	9403	（黒北・南）地区基幹整備（工学部エレベーター室取設）工事	発掘調査	48㎡		包含層確認・土器片	年報Ⅰ
94・5・13～14	9404	（黒北）福利施設建設予定地の樹木移植	立会調査	30㎡	古代		年報Ⅰ
94・5・17～6・25	9405	（京町）附属中学校舎者建設工事	発掘調査	400㎡	弥生・近世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器・磁石・銅銭・瓦・ガラス瓶	本報告Ⅰ
94・5・20/23/24	9406	（黒北）武夫原運動場整備（集水橋埋設）工事	発掘調査	100㎡	古代		年報Ⅰ
94・5・23～7・28	9407	（黒北）福利施設建設工事	発掘調査	1,290㎡	古代		本報告Ⅰ
94・8・1～8・10	9408	（渡鹿）グランド集水橋整備工事	発掘調査 立会調査	40.4㎡	古代	土師器	本報告Ⅰ

### 3. これまでの調査と本誌収録の遺跡

94-8-11	9409	(黒北) 武夫原器具庫新営工事・外灯基礎工事	立会調査	23.4m <sup>2</sup>		包含層に達せず遺構なし、土師器片	年報1
94-8-12	9410	(京町) 附属中学校電気引き込み配線工事	立会調査	13m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報1
94-8-22	9411	(黒北) 基幹整備 (附属図書館スロープ取設) 工事	立会調査	25.5m <sup>2</sup>		包含層に達せず、遺構・遺物なし	年報1
94-9-12~10-31	9412	(黒南) 工学部実験棟新営工事	発掘調査	743.6m <sup>2</sup>	古代	古代竪穴住居址、古代土師器・須恵器・瓦・土製印・鉄器・縄文土器	本報告I
94-11-14~12-22	9413	(渡鹿) グランド整備工事	発掘調査	200m <sup>2</sup>	縄文・古代	古代竪穴住居址・道路址、古代土師器・須恵器・布目瓦・砥石・鉄器・縄文土器・石器	本報告I
95-1-17~21	9414	(黒北) 福利施設設備工事	立会調査	169m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報1
95-1-9~11、1-26~2-1	9415	(黒南) 工学部共同溝工事	立会調査	50m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報1
95-2-27	9416	(城東) 附属幼稚園排水管敷設工事替工事	立会調査	129.7m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報1
95-3-15~23	9417	(黒南) 福利施設設備工事					
1995年度							
95-4-25~5-2	9501	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期共同溝建設工事	発掘調査	90m <sup>2</sup>	古代~近世	古代竪穴住居址・柱穴・溝、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95-5-9~10	9502	(黒南) 工学部附属工学機器センター新営工事	試掘調査	20m <sup>2</sup>	古代	包含層確認、古代土師器・須恵器	年報2
95-5-15~16	9503	(黒南) 工学部 RI 研究実験棟建設及び基礎掘削	試掘調査	20m <sup>2</sup>	古代	集石、古代土師器・須恵器	年報2
95-5-29/30・6-21~06	9504	(黒南) 工学部研究実験棟新営電気設備 (その2) に伴う高圧ケーブル埋設	立会調査	38m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2
95-8-21	(黒南) 工学部通信設備埋設	立会調査	14m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2	
95-8-22	9508	(黒南) 事務局前外灯配線改修	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2
95-9-8~10-12	9509	(合村) 理学部附属臨海実験所実験棟改築工事	発掘調査	298m <sup>2</sup>	縄文	集石、縄文早期土器・石器	年報2
95-11-2	9510	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代包含層確認、古代土器片	年報2
95-11-6~8	9511	(本荘南) 医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設及び外溝切り替え	試掘調査	200m <sup>2</sup>	古代	古代包含層確認、竪穴住居址、古代土師器・須恵器	年報2
95-11-13~16	9512	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う排水拵設置	発掘調査	60m <sup>2</sup>	古代	古代竪穴住居址・柱穴・包含層、縄文後期土器片・古代土師器・須恵器	本報告I
95-11-17	9513	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-11-17	9514	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	古代土師器・須恵器片	年報2
95-11-21~22	9503	(黒南) 工学部 RI 研究実験棟建設に伴う基礎掘削	立会調査		古代	古代土師器・須恵器	年報2
95-11-22	9515	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	立会調査		古代	包含層確認、古代土師器	年報2
95-11-24	9511	(本荘南) 医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設工事	立会調査			一部包含層確認、遺構・遺物なし	年報2
95-11-28~29	9516	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴う外溝	発掘調査	72m <sup>2</sup>	縄文~古代	包含層、柱穴、縄文土器片・古代土師器	本報告I
95-12-1	9511	(本荘南) 医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設に伴う外溝切替	立会調査			包含層確認、遺構・遺物なし	年報2
95-12-4	9517	(本荘南) 医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設に伴う樹木移植	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
95-12-5	9518	(黒南) 工学部 RI 研究実験棟建設に伴う外溝工事	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2
95-12-12~14	9519	(黒南) 工学部研究実験棟新営1期に伴うガス配管	立会調査		古代	古代柱穴・溝、古代土師器・須恵器	年報2
95-12-18	9520	(黒北) 教養部前道路改修	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2
95-12-25~96-2-22	9511	(本荘南) 医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設	発掘調査	976.9m <sup>2</sup>	縄文・古代	古代竪穴住居址・掘立柱建物・溝・道路・方形竪穴遺構・土塊、縄文土器・石器・古代土師器・須恵器・鉄器	本報告I
96-3-1	9521	(黒南) 工学部校舎新営	試掘調査		弥生	弥生土塊・ビット、弥生中期土器	年報2
96-3-8	9522	(黒北) 文法学部・第五高等学校記念館庭園植栽工事	立会調査		古代	包含層確認、古代土師器	年報2
96-3-21	9523	(城東) 教育学部附属幼稚園水遊び場兼足洗い場設備寄附受入	立会調査			遺構・遺物なし	年報2
96-3-25~26	9524	(京町) 教育学部附属小学校給排水管取替工事	立会調査	27.6m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報2
1996年度							
96-4-19	9601	(本荘北) 医学部校舎建設	試掘調査	33m <sup>2</sup>	古代	古代包含層・溝、古代土師器・須恵器	本報告IV
96-5-10	9602	(黒北) 法文学部記念植樹	立会調査	1m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96-5-10~6-24	9603	(黒南) 工学部校舎建設	発掘調査	1,000m <sup>2</sup>	縄文・弥生・古代	縄文後期包含層、古代竪穴住居址・溝・掘立柱建物・土塊・柱穴、縄文後期土器・弥生中期土器・古代土師器・須恵器・鉄器・瓦	本報告IV
96-5-13	9604	(黒北) 教育学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	40m <sup>2</sup>	近代	遺構・遺物なし	年報3
96-5-14	9605	(京町) 教育学部附属小学校 ATM ネットワーク付設工事	立会調査	14m <sup>2</sup>		近代磁器	年報3
96-5-15	9606	(大江) 薬学部 ATM ネットワーク付設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報3
96-6-17	9607	(黒北) 法文学部外灯設置工事	立会調査	4m <sup>2</sup>	古代	一部包含層確認、古代須恵器	年報3
96-6-19	9608	(黒南) 工学部 RI 実験棟配線工事	立会調査	21m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96-8-5	9609	(黒北) 入試保管庫建設工事 (試掘)	発掘調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96-8-6~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う樹木移植・貯水槽建設工事 (1・2・3区)	発掘調査	45.7m <sup>2</sup>	古墳・古代	古墳時代前期竪穴住居址・古代竪穴住居址、古墳時代土師器・古代土師器・須恵器	本報告IV
96-8-22~27	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設 (4区)	発掘調査	37.4m <sup>2</sup>	古代	竪穴住居址・柱穴、古代土師器・須恵器	本報告IV
96-8-29~30	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う切り替え道路建設 (5区)	発掘調査	28.2m <sup>2</sup>	古代	竪穴、古代土師器・須恵器	本報告IV
96-9-6	9610	(黒北) 教養部夏目漱石像建立	試掘調査	9m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報3
96-10-1~9	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事 (6区)	発掘調査	104.3m <sup>2</sup>	古代	古代道路・竪穴住居址、古代土師器・須恵器	本報告IV

I 構内遺跡と調査の概要

96・10・11～ 97・1・17	9601	(本荘北) 医学部校舎本体工事 (本調査区)	発掘調査	1,686㎡	縄文・古墳・古代	縄文包含層・古墳土壌・古代道路・堅穴住居址・掘立柱建物・土壌・近代墓地、縄文後期土器・古墳/古代土器器・須恵器・鉄器・石器	本報告Ⅳ	
96・10・21～29	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事 (7・8・9区)	発掘調査	62.5㎡	古代	古代堅穴住居址・竈、古代土器器・須恵器	本報告Ⅳ	
96・11・12～13	9601	(本荘北) 医学部校舎建設に伴う排水管切り替え工事 (10区)	発掘調査	21.8㎡	古代	古代堅穴住居址、古代土器器・須恵器	本報告Ⅳ	
96・11・12	9611	(黒南) 工学部外灯付設工事	立会調査	0.4㎡		遺構・遺物なし	年報3	
96・12・18	9612	(黒南) 工学部電線埋設工事	立会調査	74.8㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97・3・3～31	9613	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	175㎡		遺構・遺物なし	年報3	
97・3・7	9614	(黒南) 工学部街撃エネルギー実験所火薬庫取設工事	立会調査	109㎡		遺構・遺物なし	年報3	
<b>1997年度</b>								
97・4・8	9701	(本荘南) 医学部情報リテラシー教育施設電気設備その他の改修工事	立会調査	21㎡		一部包含層を確認、遺構なし、古代土器片	年報4	
97・5・7	9702	(黒南) 理学部ヘリウム棟増築・ヘリウム管理設工事	立会調査	126.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97・5・28	9703	(本荘北) 医学部外来臨床研究棟血液製剤管理室取設工事	試掘調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97・7・28～11・4	9704	(黒南) 工学部校舎新営工事	発掘調査	1,783.3㎡	弥生・古代・近世	弥生時代埋棺器・古代堅穴住居址・溝、掘立柱建物・柱穴・近世墓、弥生中期埋棺・土器器・鉄器・古代須恵器・近世陶磁器	年報4	
97・10・29	9705	(京町) 教育学部附属中学校女性立像建立	立会調査	2.6㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97・10・22	9706	(黒北) 法文学部龍南健児像建立	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報4	
97・11・11～ 98・3・31	9707	(本荘北) 医学部基礎研究棟屋外配線工事	立会調査	370㎡	古代・近代	近代墓地・古代土壌・柱穴、礎・人骨・墓石等、古代土器	年報4	
98・1・30～2・12	9708	(黒北) 法・文・教育学部外灯設備増設工事	立会調査	61.9㎡	古代	溝	年報4	
98・2・3～2・13	9709	(黒南) 管財係黒髪6号宿舍取り壊し工事	立会調査	116㎡	古代	一部包含層を確認、遺構なし、磨耗した古代土器	年報4	
<b>1998年度</b>								
98・4・14	9804	(黒南) 工学部校舎建設に伴う排水管撤去工事	立会調査	10㎡		掘削により遺構なし	年報5	
98・6・26～7・2	9801	(本荘南) 工学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営支障配管替工事	立会調査	2.4㎡	古代	遺構・遺物認められず	年報5	
98・7・6	9801	(本荘南) 同樹木伐採工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報5	
98・7・13	9809	(黒南) 工学部3号館電気設営工事	立会調査	3㎡	古代	遺物包含層を確認	年報5	
98・7・28～9・10	9809	(本荘南) 工学部エイズ学研究センター・動物資源開発センター新営工事	発掘調査	972㎡	縄文・古代・近世	堅穴住居址、掘立柱建物・溝・土坑	本報告Ⅴ	
98・9・21～22	9803	(黒北) 文化図書取設工事に伴う樹木移植工事	立会調査	9㎡		遺物・遺構なし	年報5	
98・9・25～11・6	9802	(黒北) 文化図書取設その他の工事	発掘調査	575㎡	縄文・弥生・近世	縄文土器・弥生土器・石器等・土壌・溝、縄文・弥生遺物包含層確認	本報告Ⅴ	
98・9・28	9805	(本荘北) 大学病院棟新営工事	試掘調査	10㎡	古墳・古代	古墳・古代土器	年報5	
98・9・29	9806	(本荘北) 大学病院中央診療棟新営工事	試掘調査	5㎡		河成砂礫層を検出、遺構・遺物なし	年報5	
98・9・30	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	試掘調査	2㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98・10・6	9808	(黒南) 工学部1・9号館電気埋設工事	立会調査	30㎡		遺構面には達せず、遺物なし	年報5	
98・10・28～11・20	9807	(本荘北) 大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事	発掘調査	175㎡	古代	縄文土器・石器等 古代堅穴住居址・土壌・溝、近代溝	本報告Ⅴ	
98・11・2	9801	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター関連図書館解体工事	発掘調査	139㎡		削平のため存在せず	本報告Ⅴ	
98・12・14～12・18	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営支障配管替工事	立会調査	35㎡	古代	遺物包含層・柱穴検出、古代土器片	年報5	
98・12・16	9802	(黒北) 文化図書新営排水管敷設工事	立会調査	35㎡	古代	遺構面確認、遺構・遺物なし	年報5	
98・12・17～ 99・1・10	9805	(本荘北) 大学病院棟新営に伴う支障配管替工事	立会調査	333㎡	古代	堅穴住居址、古代土器片	年報5	
99・1・12	9811	(黒南) 工学部実験室新設工事	試掘調査	14㎡	縄文後期	土器	年報5	
99・1・21～3・25	9810	(黒南) 理学部自然科学等総合実験棟新営工事	発掘調査	1,098㎡	縄文・古代・近代	縄文土器・石器等、古代堅穴住居址・柱穴・溝、近世溝	本報告Ⅴ	
99・2・2	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う文化図書解体	立会調査	260㎡		遺構・遺物なし	年報5	
99・2・10	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う建築工事	立会調査	40㎡		遺構面には達せず、遺物なし	年報5	
99・2・18	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う植樹工事	立会調査	12.3㎡		地表下2mで弥生時代遺物包含層・遺構面を確認、遺構・遺物なし	年報5	
99・2・9～3・9	9802	(黒北) 環境整備事業に伴う電気配線工事	立会調査	4㎡		地表下90cmで水田土を検出、遺構・遺物なし	年報5	
99・3・11～12	9812	(大江) 渡鹿団地東側ブロック塀改修工事	立会調査	70㎡		包含層・遺構面確認、遺構・遺物なし	年報5	
99・3・10～31	9801	(本荘南) 工学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営に係る配管切替工事	立会調査	57.5㎡	古代	一部包含層・遺構面確認(ピット)、遺物なし	年報6	
<b>1999年度</b>								
99・4・5～8・31	9901	(本荘北) 病棟(輪) 新営工事	発掘調査	2,405㎡	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土器器・古代住居址・柱穴溝・土壌墓・土器器・須恵器・鉄器・胎衣蓋・土鏡・近代溝	本書	
99・6・14～7・14	9902	(本荘南) 工学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40㎡	古代	古代柱穴、溝、遺物を少量検出	年報6	
99・6・17	9903	(黒南) 工学部研究実験棟Ⅱ-22新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報6	
99・7・19/26	9904	(本荘南) 工学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2㎡	古代	遺構・遺物なし	年報6	

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

99-7-29~7-30	9905	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設置工事	立会調査	50mf		遺物・遺構なし	年報6
9-7-2~8-7	9906	(黒南) 自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設置工事立会	立会調査	200mf	古 代	古代溝6条・柱穴2個, 古代土器片少量を抽出	年報6
99-9-22~10-5	9907	(黒南) 工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5mf	縄文前期~晩期	ピット群, 縄文土器片出土	本報告VI
99-11-24~11-25	9908	(黒東) 附属養護学校給食室増築工事	試掘調査	42mf	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが, 遺構なし, 近世磁器片	年報6
00-2-14~3-24	9909	(黒南) 工学部街整・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事	試掘調査	1,853mf	近世・近代	畑・墓地, 近世陶磁器, 煙管, 銅・鉄釘	本報告VI
00-1-25	9910	(本荘北) 血液照射管理室増築改築試掘	試掘調査	2mf		掘乱著しく, 遺構・遺物ともに確認できず	年報6
00-3-6~14	9911	(黒南) 水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	70.9mf		縄文土器・古代土師器・須恵器	本書
00-3-14	9912	(黒南・東) 外灯取設工事立会	立会調査	3mf		遺物・遺構ともに確認できず	年報6
00-3-2	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84mf		遺物・遺構なし	年報6
00-3-16~17	9914	(本荘南) さく井設備工事立会	立会調査	25mf		遺構・遺物なし	年報6
2000年度							
00-4-7	0001	(黒南) 水生動物飼育舎新営給水管設置工事	立会調査	6.1mf		遺構・遺物なし	年報7
00-4-11	0002	(黒南) 水生動物飼育舎新営電気設置工事	立会調査	4.1mf		遺構・遺物なし	年報7
00-4-17	0003	(本荘北) 附属病院格納庫移設工事	試掘調査	5.8mf		遺構・遺物なし	年報7
00-10-23	0004	(黒南) 工学部街整・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営電気設置工事	立会調査	18mf		遺構・遺物なし	年報7
00-10-30	0005	(黒南) 工学部植栽工事	立会調査	63mf		遺構・遺物なし	年報7
00-11-6~22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第3井戸入水槽設置工事(Ⅰ区)	発掘調査	119.4mf	縄文・古墳・古代	縄文時代石器・古墳時代柱穴・住居・土師器・須恵器	本報告VI
00-11-22	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備第1井戸入水槽設置工事	試掘調査	4mf	近・現代墓地	近・現代墓石・墓域・遺骨	年報7
00-11-27~29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	85.5mf		遺構・遺物なし	年報7
00-12-4~13	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅱ区)	発掘調査 立会調査	32mf	縄文・古代	土城状遺構・縄文時代石器・土師器・ガラス玉・鉄器・須恵器	本報告VI
00-12-8~01-1-10	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備電気設置工事(Ⅳ区)	立会調査	31.5mf	古 代	遺構なし, 土師器数点	年報7
00-12-19~20	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅲ区)	発掘調査 立会調査	20.4mf	古 代	住居址・土師器	本報告VI
00-12-26~28	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備給水管配管工事	立会調査	100.7mf	近・現代墓地	近代墓域・墓石・遺骨	年報7
01-1-29	0006	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備排水配管工事(Ⅴ区)	立会調査	7mf		遺物・遺構なし	年報7
01-1-22~30	0007	(京町) 附属中学校体育器具庫新営工事	発掘調査	119.4mf	弥生・古代	弥生・古代土師器・鉄器・土製紡車	年報7
01-2-5	0008	(黒北) 生涯学習環境研究センタースロープ取設工事	立会調査	28mf		掘乱のため遺物・遺構なし	年報7
01-2-6~9	0009	(黒南) 理学部1・2号館身体障害者用設備整備工事	立会調査	70mf	古 代	包含層を確認, 古代土師器・須恵器	年報7
01-2-16~19	0010	(黒北) 体育系部室解体・新営工事	立会調査	372mf		遺物・遺構なし	年報7
01-2-22	0011	(大江) 旧食堂解体撤去工事・旧ボイラー室解体撤去工事	立会調査	132mf		遺物・遺構なし	年報7
01-3-5~6	0012	(黒北) 外灯取付工事	立会調査	3mf		遺物・遺構なし	年報7
01-3-6	0013	(大江) 屋内運動場〔尚武館〕取り壊し工事	立会調査	500mf		遺物・遺構なし	年報7
01-3-22	0014	(黒北) 旧生活協同組合事務所解体撤去工事	立会調査	66mf		遺物・遺構なし	年報7
2001年度							
01-4-9~7-3	0101	(本荘北) 附属病院医学部総合研究棟新営工事	発掘調査	1,733.75mf	古墳・古代・近世・近代	住居址・溝・畑・葛鉄線・土師器・須恵器	本報告VI
01-5-14	0102	(黒南) 基幹・環境整備	試掘調査	4.8mf			本報告VI
01-5-14	0103	京町閉地高圧ケーブル改修工事	立会調査	59.5mf		遺構・遺物なし	年報8
01-7-9~26	0102	(黒南) 基幹・環境整備	発掘調査	418.5mf	縄 文	縄文土器・寛永通宝・夙岡木炭・防空壕	年報8
01-7-4~10-29	0104	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(共同溝設置)	発掘調査	1,023.8mf	縄文・弥生・古墳・古代	住居址・溝・縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・石器・鉄線・骨角器	本報告VI
01-7-13	0105	(京町) 正門取設工事	立会調査	7.12mf		遺構・遺物なし	年報8
01-7-30~11-14	0106	(黒北) 大学教育研究センター等改修工事	立会調査	3,907mf		遺構・遺物なし	年報8
01-7-31	0107	(大江) 薬学部共同実験棟改修工事	立会調査	97.84mf		遺構・遺物なし	年報8
01-8-1/13	0108	(京町) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	25mf		遺構・遺物なし	年報8
01-8-2/21	0109	(黒北) キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	58mf		遺構・遺物なし	年報8
01-8-27	0110	(大江) 薬学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	20mf		遺構・遺物なし	年報8
01-9-4	0111	(本荘南) 医学部キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	278mf		遺構・遺物なし	年報8
01-8-22/9-4	0112	(黒北) 食堂南側テラス整備工事	立会調査	662mf		遺構・遺物なし	年報8
01-9-14/10-1	0113	(本荘南) 医療技術短期大学キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	105mf		遺構・遺物なし	年報8
01-9-17	0114	(本荘北) 附属病院キャンパス情報ネットワークその他工事	立会調査	38mf		遺構・遺物なし	年報8
01-10-19	0115	(黒南) 理学部2号館南側排水工事	立会調査	8.4mf		遺構・遺物なし	年報8
01-10-22~02-2-19	0116	(本荘北) 附属病院基幹・環境整備(A-D地区・ボイラー設備更新等)	立会調査	426.4mf		遺構・遺物なし	年報8
01-12-8~02-2-9	0117	(本荘北) 医学部総合研究棟新営機械設備工事	立会調査	133.1mf	古 代	住居址・柱基礎土師器・須恵器	年報8
01-12-12~02-2-4	0118	(黒南) 基幹・環境整備(特高変電設備等・植栽その他)	立会調査	111.7mf		遺構・遺物なし	年報8
02-2-25~3-20	0119	(本荘北) 医療用ガス供給設備室取設工事	発掘調査	205.8mf	縄文・古墳・古代	住居址・溝・掘立住居址・縄文土器・土師器・須恵器・鉄線	本報告VI

02-3-18	0120	(本荘北) 総合研究棟周辺環境整備工事	立会調査	1,492.7m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報8
02-3-18	0121	(本荘北) 附属病院西病棟(仕上Ⅱ)新営工事	立会調査	1,076.4m <sup>2</sup>		溝?・遺物なし	年報8
02-3-22	0122	(本荘北) 附属病院西病棟電気設備工事(仕上Ⅱ)	立会調査	54m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報8
<b>2002年度</b>							
02-4-3~4	0201	(黒北) 大学教育研究センターC棟空調機取設工事給排水及び室外機基礎工事	立会調査	29.3m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-4-15~16	0202	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	199m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-4-17	0203	(黒南) インキューベーション施設新営工事	試掘調査	3m <sup>2</sup>			年報9
02-4-17	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	試掘調査	4m <sup>2</sup>			年報9
02-4-24	0205	(黒南) 食堂裏エコクリーンソイル工事	立会調査	0.73m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-5-20~29	0206	(黒南) 総合研究棟新営に伴う樹木移植工事	発掘調査	28m <sup>2</sup>		窠箱	本書
02-5-30~8-2	0203	(黒南) インキューベーション施設新営工事	発掘調査	810m <sup>2</sup>	近世	烟址	年報9
02-6-3	0207	(黒南) 総合研究棟新営一次掘削に伴う電気工事	立会調査	32m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-6-12~8-14	0204	(黒南) 総合研究棟新営工事	発掘調査	2,803m <sup>2</sup>	縄文・古墳・古代	住居址・溝・火葬墓・縄文土器・土師器・須恵器	本書
02-7-2	0208	(黒北) 図書館南側学生部駐車場拡張工事	立会調査	24m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-8-29	0209	(京町) 附属小学校スロープ取設工事	立会調査	13m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-10-1~10-31・11-18	0210	(黒南) 工学部樹木移植工事	発掘調査	61.19m <sup>2</sup>		包含層・縄文土器・石鏡	本書
02-10-7	0211	(本荘北) 医学部総合研究棟新営工事(渡り廊下部分)	立会調査	32m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
02-12-3/5/11	0212	(黒南) 通用門拡張工事	立会調査	480m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
	0213	(本荘北) 総合研究棟新営電気設備工事	立会調査	216m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-2-7	0214	(本荘北) 基幹環境整備外灯工事	立会調査	216m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-2-18	0215	(大江) 薬学部実験動物器具庫建立工事	立会調査	3.4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-2-21	0216	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	18.5m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-3-7	0217	(本荘南) 体育館室(プレハブ)新設工事	立会調査	3m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-3-10	0218	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	27m <sup>2</sup>	古代	住居址・土師器・須恵器・砥石	年報9
03-3-11	0219	(本荘南) 塙新設工事	立会調査	36m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報9
03-3-26	0220	(新南) 教育学部新南側農場竹藪・畑地境界掘り	立会調査	40m <sup>2</sup>	古代	住居址・柱穴・溝・古代土師器・須恵器	年報9
<b>2003年度</b>							
03.4.10	0301	(黒南) 工学部薬品庫新設工事	立会調査	2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.4.10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	試掘調査	9.6m <sup>2</sup>		土師器	年報10
03.5.20	0303	(黒南) 事務局排水管修理工事	立会調査	16.8m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.6.2~7.2	0304	(本荘北) 基幹・環境整備工事	発掘調査	333.5m <sup>2</sup>	縄文・弥生・古墳・弥生・古代	住居址・溝・縄文石器・土師器・須恵器・近代陶磁器	本報告Ⅸ
03.7.18	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	立会調査	296m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.8.19	0305	(京町) 附属小・中学校フェンス取設工事	立会調査	44.3m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.8.6~9.12	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(I区)	発掘調査	168.2m <sup>2</sup>	縄文・古代	溝・ピット・土坑・遺物包含層・縄文土器	本報告Ⅹ
03.9.4~9.8	0306	(本荘南) 医療技術短期大学部北側駐車場環境整備工事	立会調査	539.2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.9.5	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管および電気工事	立会調査	7.54m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.9.29	0308	(宇留毛) 小頑宿舎1棟排水管漏水修理工事	立会調査	3.64m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.10.2	0309	(本荘南) 動物器具庫新設工事	立会調査	4.02m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.10.1~10.10	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事	発掘調査	253.5m <sup>2</sup>	縄文・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器・須恵器・縄文土器・石器	本報告Ⅹ
03.10.27		(黒北) 教室新築工事	試掘調査	13.75m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.11.6		(薬) 記念館建設工事	試掘調査	7.4m <sup>2</sup>	古代	土師器	年報10
03.11.17~28	0310	(本荘南) 発生医学研究センター施設整備事業	立会調査	557m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.11.26	0302	(黒南) 総合研究棟共同溝設備工事(ガス管)	立会調査	3.6m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
03.12.9		(本荘南) 発生医学研究センター整備事業本体工事	試掘調査	26.58m <sup>2</sup>			年報10
03.12.10	0311	(本荘北) 中央診療棟(軸)設置工事	立会調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
04.1.13	0312	薬草園取設工事	立会調査	11.2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
04.1.14	0307	(薬) 大江総合研究棟給排水管及び電気工事	立会調査	45.5m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
04.1.15~19	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	398.8m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
04.1.23~27	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000m <sup>2</sup>	古代	溝・ピット・土師器	本報告Ⅹ
04.1.30	0315	(本荘北) 東側駐車場整備工事	立会調査	30.7m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	年報10
04.2.9	0316	(黒南) 理学部4号館周辺プレハブ等設置工事	立会調査	83m <sup>2</sup>			年報10
04.2.16							
04.2.23	0317	(本荘北) 借樹の木移植	立会調査	16m <sup>2</sup>			年報10
04.3.4	0318	(黒北) 附属養護学校門横水道水道修理工事	立会調査	2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.5~9	0314	(本荘南) 医学部B棟・E棟・R I・旧動物舎取壊工事	発掘調査	1,000m <sup>2</sup>	中世・古代	溝・ピット・陶磁器・土師器	本報告Ⅹ
04.3.9	0319	(黒北) 井戸改修工事	立会調査	2.3m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.9	0320	(黒北) 福利施設空調設備取設工事	立会調査	13.19m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.10	0321	(黒南) 外灯設備工事	立会調査	3.4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.10	0322	(黒南) 総合研究棟外灯設備工事	立会調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.10	0313	(黒北) 教室新築工事	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.10	0323	(黒北) 教室新築工事(空調機取設)	立会調査	44m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.11	0324	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	4m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.11	0325	(本荘南) 外灯設備工事	立会調査	11.2m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.15	0326	(黒北) 外灯設備工事	立会調査	3.54m <sup>2</sup>		縄文土器片	
04.3.16	0327	(薬) 外灯設備工事	立会調査	11.8m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	
04.3.17	0323	(黒北) 教室新築工事(植栽)	立会調査	8.92m <sup>2</sup>	古代	土師器・須恵器片	
04.3.22	0328	(京町) 教育学部附属小中学校街路灯設備工事	立会調査	7m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし	

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

04.3.19	0329	(黒北) 消火栓応急処置	立会調査	1.08mf		遺構・遺物なし	
2004年度							
04-4-7	0401	黒髪団地北地区教室新築工事(渡廊下設置)	立会調査	33.8mf		遺構・遺物なし	年報11
04-4-9		本荘団地北地区中央診療棟(軸)設置工事	試掘調査	10.44mf	古代	溝?・土師器	年報11
04-4-13~5-31	0402	本荘団地南地区発生医学研究センター建設工事	発掘調査	1,241.8mf	古代	土師器・須恵器・縄文土器	年報11
04-5-26		黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	試掘調査	7.76mf	古代	ビット・土師器	年報11
04-5-14	0403	本荘団地北地区中央診療棟(軸)設置工事	立会調査	150mf	古代	土師器	年報11
04-10-14							
04-5-21	0404	薬学部地区植物園園支柱ほか設置工事	立会調査	3.3mf		遺構・遺物なし	年報11
04-6-25	0405	薬学部地区宮本記念館新築機械設備及びその他工事	立会調査	68.48mf		遺構・遺物なし	年報11
04-6-28		本荘団地北地区(医病)基幹・環境整備工事	試掘調査	10mf	古代・縄文	土師器・縄文土器・土壘	年報11
04-5-24	0406	薬学部地区宮本記念館(仮称)建設工事(旧建物撤去・樹木撤去・電気配線・給水管配管・ガス配管・樹木移植)	立会調査	1,332.4mf		遺構・遺物なし	年報11
04-5-26							
04-6-4							
04-10-26~28							
04-11-12							
04-11-29							
04-7-26	0408	宇留毛団地小研宿舎排水管漏水配管改修工事	立会調査	26.2mf		遺構・遺物なし	年報11
04-7-29	0409	黒髪団地北地区記念碑設置工事	立会調査	72mf		遺構・遺物なし	年報11
04-8-6							
04-8-20							
04-8-23		黒髪団地南地区理学部駐輪場取設工事	試掘調査	11mf	古代	柱穴・須恵器・土師器	年報11
04-8-9	0410	黒髪団地北地区熊本大学大学院社会文化科学研究科研究室新築工事	立会調査	370mf		遺構・遺物なし	年報11
04-8-10~11							
04-11-5							
04-11-11							
04-8-17~19・23	0411	本荘団地北地区(医病)基幹・環境整備(ポンプ室・R I実験棟取壊・ガス切替・水道プラグ止・周辺設備関連)工事	立会調査 発掘調査	420mf		土師器・須恵器・縄文土器・竪穴住居址・溝・ビット	年報11
04-9-3							
04-9-14~22							
05-1-27~							
04-9-16	0412	本荘団地北地区附属病院都市ガス漏配管修理工事	立会調査	5.7mf		遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0413	京町地区附属中学校台風被害による倒木起し	立会調査	8mf		遺構・遺物なし	年報11
04-9-16	0414	黒髪団地南地区工学部台風被害による倒木起し	立会調査	4mf		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0415	薬学部地区宮本記念館新築機械設備及びその他工事	立会調査	10mf		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-1	本荘団地北地区附属病院台風被害による倒木起し	立会調査	8mf		遺構・遺物なし	年報11
04-9-21	0416-2	本荘団地南地区医学部台風被害による倒木起し	立会調査	1.5mf		遺構・遺物なし	年報11
04-10-12	0417	黒髪団地北地区重要文化財案内板設置工事	立会調査	0.5mf		遺構・遺物なし	年報11
04-10-19	0418	黒髪団地北地区夏目漱石記念碑標柱設置工事	立会調査	0.3mf		遺構・遺物なし	年報11
04-10-22	0419	本荘団地北地区附属病院福利厚生施設引込配線工事	立会調査	2.23mf		遺構・遺物なし	年報11
04-11-1~28	0411	本荘団地北地区(医病)基幹・環境整備	発掘調査	551mf	縄文・古墳・古代	竪穴住居址・掘立柱建物址・溝・畑・土師器・須恵器・縄文土器・鉄器・勾玉・石器	年報11
04-11-26	0420	薬学部地区テニスコート整備工事	立会調査	695mf		遺構・遺物なし	年報11
04-11-29	0421	黒髪団地南地区さく井設置工事	立会調査	43mf		遺構・遺物なし	年報11
04-12-6	0422	本荘団地北地区中央診療棟(軸)工事	立会調査	66.39mf		遺構・遺物なし	年報11
04-12-15		黒髪南地区情報ネットワーク館関連工事	試掘調査	18mf	古代	住居址・柱穴・須恵器・土師器	年報11
04-12-24	0423	黒髪団地北地区記念館(木造)取壊工事	立会調査	75.4mf		遺構・遺物なし	年報11
04-1-11	0424	本荘団地北地区ボンベ庫取設工事	立会調査	14.5mf		遺構・遺物なし	年報11
05-2-1~2, 7~9	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館前工事(配管工事)	立会調査	160.08mf	古代	土師器・須恵器	本報告書
05-2-21~3-30, 5-9~6-10	0425	黒髪北地区情報ネットワーク館建設工事	発掘調査	1,170.4mf	古代	土師器・須恵器	本報告書
05-2-4, 8~9	0426	本荘団地北地区防火水槽取設工事	試掘・発掘調査	84mf	近世	溝・土師器・須恵器・馬骨・銅鏡	本報告書
05-2-4	0427	黒髪団地北地区資料館前水道管漏水修理工事	立会調査	1.5mf		遺構・遺物なし	年報11
05-2-21~22	0428	黒髪団地南地区樹木移植工事	立会調査	19mf		遺構・遺物なし	年報11
05-2-21	0429	薬学部地区雨水設備工事	立会調査	4.25mf		遺構・遺物なし	年報11
05.2.28, 3.14, 4.1	0430	本荘団地南地区駐車場環境整備工事	立会調査	1,846mf			
05.3.1	0431	黒髪南地区事務局倉庫新築工事	立会調査	1.2mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.1	0432	教育学部附属中学校卒業記念植栽等工事	立会調査	0.945mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.1	0433	教育学部附属幼稚園掘削板設置工事	立会調査	0.81mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.2	0434	黒髪南地区工学部危険薬品庫改修工事(仮称)	立会調査	192.5mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.9	0435	黒髪南地区さく井設置工事(追加分)	立会調査	5.6mf		遺構なし・土師器	年報11
05.3.10-15-16-18	0436	黒髪南地区事務局倉庫改修工事	立会調査	62.14mf		遺構なし	年報11
05.3.14-16	0437	大江地区薬学部外灯設置工事	立会調査	8.1mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.22	0438	教育学部附属幼稚園遊具取設工事	立会調査	4.14mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.23	0439	黒髪南地区樹木植栽工事	立会調査	6mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.24	0440	教育学部附属中学校洗温機置き場新設工事	立会調査			遺構・遺物なし	年報11
05.3.24	0441	教育学部附属小学校遊具取設工事	立会調査	2mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.24	0442	(本荘北) 附属病院福利厚生ガス管工事	立会調査	9.18mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.24	0443	中央診療棟連絡棟II管工事	立会調査	0.8mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.25	0444	黒髪東地区教育学部附属養護学校給水管漏水改修工事	立会調査	1.74mf		遺構・遺物なし	年報11
05.3.28	0445	黒髪南地区事務局前樹木移植工事	立会調査	3.355mf		遺構・遺物なし	年報11



2005年度							
05-4-19~4-20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-4-27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ドック/フap排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-2-4~6-10	0425	(黒髪)情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	堅穴住居址・掘立建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒土土器	本報告田
05-5-30,6-4~6-5 6-14	0503	(本荘)発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2,337.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-7 6-10	0504	小碓宿舎理設が配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-9~6-10 6-12	0505	(医病)基幹・環境整備（設備・曳き家前）	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-20	0506	(大江)薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-6-21	0507	(本荘中)敷地境界アールの改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-7-8	0508	(黒髪)情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-7-13~7-14 7-19~9-30	0509	(医病)基幹・環境整備（曳き家・移動先）	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05-7-19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-8-1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-2~8-3	0513工④	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-2~8-25	0513理②	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-8-5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-5~8-10	0513工⑤	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-8~8-18	0513工①	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18	0515	本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事（その2）、追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
05-8-18~8-23	0515工②	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-19~8-29	0513工③	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-4	立会調査	259.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-23~8-29	0513工②	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑦	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513工⑧	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理③	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	65.㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-25	0513理④	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-29~8-30	0513工⑩	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-8-30~9-1	0513工⑨	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-1~9-13	0513理①	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	堅穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器	年報12
05-9-19-20	0517	(医病)基幹・環境整備（曳き家・現在地）	立会調査	1,337㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-4~9-5	0513理⑤	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-12~9-27	0513工⑨	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-14	0519	(黒髪北)学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0513工④	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-5	立会調査	0.79㎡		包含層・ビット	年報12
05-9-15	0513工⑨	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-15	0521	本荘団地（北地区）台風雨水引起し	立会調査	2,355㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-16~10-2	0513工②	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
05-9-16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-9-27	0523	(医病)中央診療棟（仕上）	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-11~11-7	0513工③	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2,3	立会調査	150㎡	古代	住居址・溝・土師器・須恵器	年報12
05-10-11	0524	本荘団地（北地区）駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-13~ 10-14,10-17~ 10-18	0525	(黒髪)情報ネットワーク設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報12
05-10-14	0526	煙文調査室内改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-19~10-20	0527	(黒髪北)文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-21	0528	工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-25	0529	(医病)外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-10-26	0530	薬学部温床室（苗床温室）補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み雨水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-7	0533	(黒北)ドック-室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-16,11-21	0534	黒髪南地区園路改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-11-29 12-15	0513工⑩	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	48㎡	古代	住居址・柱穴	年報12
05-11-29~12-5	0513理⑥	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	24㎡	古代	住居址・溝・ビット・土師器・須恵器	年報12
05-12-4	0513工⑦	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	117.4㎡	古代	土師器	年報12
05-12-7	0513工⑧	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	87㎡	古代	ビット・土師器・須恵器	年報12
05-12-9	0513工⑨	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	25㎡	古代	包含層・土師器・須恵器	年報12
05-12-12	0513工⑩	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2,5	立会調査	㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-12	0535	教育学部新南館農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴	年報12
05-12-13	0513工21	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工22	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-13	0513工23	(黒髪南)工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし	年報12

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

05-12-13	0513工24	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0513理⑦	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	86.6㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-15	0513理⑧	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1, 2	立会調査	286.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-16	0537	理学部プレハブ倉庫新設工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-19~12-21, 12-26	0538	(黒髮) 情報ネットワーク館設備工事(追加)	立会調査	70.235㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06-1-6~1-11, 2-27~3-2							
05-12-22	0539	本荘田地(中地区)ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし	年報12
05-12-26	0513理⑨	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-4~1-19	0513理⑩	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	89㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-1-5	0513理⑪	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-10, 1-25	0540	本荘田地(南地区)埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-17	0513工25	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-20	0513工26	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26, 2-2, 2-10, 2-27	0541	(黒髮南) 理学部駐輪場整備工事(追加・再追加含む)	立会調査	1110.6㎡	古代	土師器・須恵器	年報12
06-1-23	0513工27	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-24	0513工28	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-26	0513工29	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-27	0542	(医病) 基幹・環境整備(曳き家・移動経路)	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-1-30	0513工30	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-13	0543	附属病院職員厚生施設徹底整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-16, 3-13	0544	(医病) 基幹・環境整備(設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-17	0545	教育学部附属幼稚園フランチ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-2-24, 3-7~3-8, 3-13, 3-16~3-17	0546	(黒髮) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古代	住居址・土師器・須恵器	年報12
06-3-10	0547	(黒髮) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-13	0548	本荘田地(中地区)渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外污水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし	年報12
06-3-30	0550	き木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし	年報12
2006年度							
06-4-11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0602	(黒髮北) 接地工事	立会調査	6㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-11	0603	(黒髮北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古代	溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
06-4-11~4-12	0604	(黒髮北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古代	住居址?・溝状遺構・ピット 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
06-4-12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-18~4-19	0607	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-21	0608	(黒髮北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-4-24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-11	0611①	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-22, 5-25	0611②	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-5-22	0612①	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	発掘調査	1.1㎡	古代	柱穴・土師器	年報13
06-5-22~5-24	0612②	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	24㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器	年報13
06-6-12	0614	(黒髮) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-6-22, 6-28, 7-3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06-6-27, 7-7	0612③	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-1	立会調査	21.98㎡	古代	土師器・須恵器	年報13
06-8-7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0617	(黒髮) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-24~8-25	0611③	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-8-31~9-1	0611④	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器	年報13
06-9-7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-11	0611⑤	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-12	0611⑥	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-14~9-15	0611⑦	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-9-20~9-21	0611⑧	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	55.1㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0611⑨	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし	年報13
06-10-2	0621	(黒髮) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし	年報13

06・10・2 10・16 10・27 10・30 11・13	0622	(医病) 環境整備 (西側駐車場等) 工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古 代	土師器・須恵器・縄文土器	本報告Ⅳ
06・10・10 10・12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・16	0625	(医病) 基幹・環境整備 (外灯) 工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・19	0626	(医病) 基幹整備 (ボイラー設備他更新) 工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・10・25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・17 11・27 12・4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古 代	土師器	年報13
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・15 12・18～12・25 12・27～12・28 07・1・4～1・9	0612④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	発掘調査	162.7㎡	古 代	土師器・須恵器・動物骨	年報13
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2943.79㎡		遺構・遺物なし	年報13
06・12・25 07・4・2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・10～1・11 1・19	0635	附属養護学校ガス漏れ緊急立会	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・1・18 1・22～1・23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古 代	土師器・須恵器・礫	年報13
07・1・30	0637	(本荘) 医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・1	0638	(宇留毛) ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・20	0639	(本荘) 医学部保健学科校舎 CT 用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・1	0641	(本荘中) 医学部門前所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・8	0643	(黒髪南) 理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古 代	土師器	年報13
07・3・8	0644	(南地区) 西側園路改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・20	0646	(医病) 環境整備 (救急棟改修) 機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・22	0647	(教) 附属幼稚園園路改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし	年報13
07・3・26	0648	(医病) 環境整備 (山崎記念館外部改修) 工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし	年報13
2007年度							
07・4・10	0701	(教) 附属養護学校東門等改修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・12		(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	試掘調査		古 代	溝・柱穴・土器	年報14
07・4・13	0702	教育学部附属幼稚園飼育小屋取設工事	立会調査	18.21㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・4・16 4・20	0703①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6	立会調査	61㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・5・7～5・8 07・6・7	0704	(黒髪南) 新営工事に伴う樹木移植工事 医病) 東病棟新営工事	立会調査 試掘調査	446㎡	古 代	土師器・須恵器	年報14 年報14
07・6・13	0705	(医病) 東病棟新営に伴う支障配線替工事 (電気設備)	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・19 6・21 6・27	0703②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	469.2㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20	0706	本荘南地区保健学科通用門整備	立会調査	17.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・20		黒髪北地区総合研究棟新営工事	試掘調査			柱穴・土器	年報14
07・6・25	0703③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	31.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・26 6・29 7・10 7・18～7・19	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	立会調査	1,590㎡		障害物撤去・一次掘削	年報14
07・6・28	0708	(黒髪北) 大教センター南館雨水管つまり修理	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・6・29	0709	(本荘北) 仮設渡り廊下取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・3	0703④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6,14	立会調査	36㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・4	0710	(京町) 教育学部附属小中学校仮設校舎取設工事 (変更)	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・9～7・10 07・7・17	0703⑤ 0711	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6 (医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟取り壊しに伴う電気設備) 工事	立会調査 立会調査	58.75㎡ 8.34㎡		遺構・遺物なし 遺構・遺物なし	年報14 年報14
07・7・17	0703⑥-1	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	1,576.6㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・19	0703⑥-2	黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-13	立会調査	300.08㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・7・30～9・3	0707	(本荘) 医学部図書講義棟新営工事	発掘調査	1,590㎡	縄文・古代	堅穴住居址・水田遺構・ピット 縄文時代石器・縄文土器・土師器・須恵器・鉄器	本報告Ⅳ
07・8・7	0712	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	24㎡		一次掘削	本報告Ⅴ
07・8・10	0713	薬学部屋外給水管漏水修理工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・22	0714	(黒髪南) 理学部 1.2号館掲示板取設工事	立会調査	15.7㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・23	0715	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-19	立会調査	2.09㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・8・27～ 10・25	0712	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	589.29㎡	縄文・古墳 ・古代・近 世	縄文土器・土師器・須恵器・石 器・古代鉄器・銅製袴帯・馬骨・ 宋銭	本報告Ⅴ

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

07・9・3	0716	本荘南地区駐車場出入口整備	立会調査	294.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・14 10・3	0717	(医病) 基幹・環境整備(旧中央診療棟取り壊しに伴う機械設備)工事	立会調査	49.4㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・9・25~9・27 10・2	0703㉔	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.16	発掘調査	275.5㎡	古代	住居土・ビット・土師器・須恵器	年報14
07・9・27 10・1~10・2	0718	(大江) 薬学部本館耐震改修工事	発掘調査	264.32㎡	古代	溝・土師器	年報14
07・10・4 10・15~ 10・16 10・22 10・25	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	立会調査	308.68㎡	弥生・古代	ビット・弥生土器 土師器	本報告V
08・1・30~1・31 2・13							
07・10・19	0720	事務局南側等屋外給水管補修工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・10・26~ 11・28	0719	(京町) 教育学部附属小中学校校舎等改修工事	発掘調査	230.3㎡	弥生・古代	堅穴住居・ビット・溝・弥生土器・土師器・須恵器・打製石炭	本報告V
07・12・3~12・4 12・6~12・7 08・1・18	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	立会調査	1,309.05㎡	弥生・古代 ・近世・近代	堅穴住居・ビット・弥生土器・土師器・須恵器・近世・近代陶磁器	本報告V
07・12・5	0722	(黒髮) 工学部8号館内部改修その他工事	立会調査	97㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・5 12・11	0723	(黒髮) 工学部8号館内部改修電気設備工事	立会調査	14.1㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・7 2・10 12・12	0724	(本荘中) 医学部基礎研究棟(C棟取り壊し)工事	立会調査	1,000㎡	古代	土坑・ビット・土師器	年報14
07・12・7	0725	(京町) 教育学部附属小・中学校校舎等改修電気設備工事	立会調査	90㎡		遺構・遺物なし	年報14
07・12・10 12・17~ 12・18 08・1・16~1・17	0703㉔-1	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	148.75㎡	古代?	ビット	年報14
07・12・14~ 12・27	0721	(京町附属小中) 校舎等機械設備改修	発掘調査	112.65㎡	弥生・古代 ・近世・近代	堅穴住居・ビット・近代土坑・弥生土器・土師器・須恵器・近世・近代陶磁器	本報告
07・12・19	0726	医学部基礎研究棟北側喫煙所	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・16~1・17	0703㉔	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-20	立会調査	94.5㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0727	(黒髮) 工学部8号館耐震改修機械設備工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・22	0728	(黒髮) 工学部8号館内部改修機械設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・23	0703㉔-2	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	89㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・25	0703㉔	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-10	立会調査	2.04㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・1・29~1・30	0703㉔-3	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	96.7㎡	古代	土師器	年報14
08・2・1 2・4	0703㉔-4	(黒髮南) 工学部他校舎改修施設整備等事業-6.18	立会調査	53.02㎡	古代	土師器	年報14
08・2・14	0729	(黒髮南) ボイラー等撤去工事	立会調査	38.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・25	0730	(黒髮東) 教育学部附属特別支援学校防火用水槽撤去工事	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・27	0731	(黒髮南) 旧情報処理センター改修	立会調査	11.25㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・2・29	0732	(本荘) 特別高圧受電棟増築工事	立会調査	12㎡		土師器	年報14
08・3・11 3・26	0733	(医病) 旧中央診療棟取り壊し工事	立会調査	84㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・17	0734	(黒髮北) 排水路開口部フェンス設置工事	立会調査	50.3㎡			年報14
08・3・21	0735	医学部保健学科ボイラー用地下重油タンク撤去工事	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・21	0736	(大江北) 薬学部消防用水槽撤去工事	立会調査	73.3㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・25	0737	(黒髮南) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	208㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・27	0738	(本荘南) 医学部保健学科記念碑取設工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報14
08・3・31	0739	(黒髮北) 出庫注意灯取設工事	立会調査	10.135㎡		遺構・遺物なし	年報14
<b>2008年度</b>							
08・4・2	0801	(医病) 旧中央診療棟とりこわし工事(追加)	立会調査	20㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・7	0802	附属中学校放水復旧工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・20	0803	薬学部薬草園管理会ガス管改修工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・5・26	0804	(本荘北) 駐輪場取壊し工事	立会調査	11.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・5	0805	(黒髮南) ボイラー室雨漏給水管漏水修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・6 6・19 6・23 6・26 7・4 7・10 7・18 7・28 8・25 12・1 12・8	0806	(黒髮) 南地区福祉施設支障配管替工事	立会調査	306.46㎡	古代	土師器	年報15
08・6・20 6・25~7・1 7・28~7・30 12・4 12・18~ 12・19	0806	(黒髮) 南地区福祉施設支障配管替工事	発掘調査	125.2㎡	古代	溝・ビット・土師器・須恵器・近代陶磁器・石器	年報15
08・6・9~6・10	0807	(本荘) 医学部図書館講義棟新機械設備工事	立会調査	29.7㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・6・18	0808	(黒髮北) 有機系廃液処理施設東側給水管漏水修理	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15

08・6・23 7・1 7・3~7・4 7・15~7・16	0809	(黒髪南) 福利施設樹木移植工事 (追加)	立会調査 / 発掘調査	23.5㎡	古 代	溝・住居址・土師器・石器	年報15
08・7・10	0810	宇留毛田地給水管補修工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・11	0811	(黒髪南) 共用棟Ⅱ4階改修電気設備工事	立会調査	3.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・14	0812	(黒髪南) 掲示板移設工事	立会調査	41.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・7・15	0813	(本荘中) 医学部基礎構内都市ガス配管洩れ修理	立会調査	2.42㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・18	0814	(医病) 東病棟新営工事	立会調査	8㎡	弥 生	溝発見	年報15
08・8・20~8・22	0814	(医病) 東病棟新営工事	発掘調査	212㎡	弥生・近世	弥生時代溝・近世溝 弥生土器・石器・近世陶磁器	本報告Ⅷ
08・8・21	0815	(本荘南) こばと保育園支障基礎等撤去工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・21	0816	(本荘中) 医学部基礎構内水道配管洩れ修理	立会調査	1.77㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・8・29	0817	宇留毛田地油タンク警報線補修工事	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・1	0818	(黒髪北) ボンブ室西側給水管洩れ修理	立会調査	2.1㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9~9・10	0820	(黒髪北) 文法学部本館改修南側支障物撤去工事	立会調査	80.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・9・9	0821	本荘田地(北地区)看護師宿舍埋設ガス管修理	立会調査	7.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・6	0822	本荘南地区保健学科東側廊下整備	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・9 10・10~ 11・28	0819	(渡鹿) 体育館耐震改修その他工事	一次掘削 / 発掘調査	694.95㎡	縄文・古墳 ・古代	縄文土器・石器・古墳時代玉・土 師器・石器・人骨	年報15
08・10・10	0823	教育学部附属特別支援学校漏水調査補修工事	立会調査	4.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・15	0824	(本荘南) 医学部保健学科喫煙所取設工事	立会調査	0.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・28	0825	(医病) 電力工事負担金	立会調査	120.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・10・29	0826	(黒髪南) 共用棟黒髪3樹木伐採・移植工事	立会調査	44.55㎡			年報15
08・11・4	0827	五高開校120周年記念植樹	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・6	0828	(本荘) こばと保育園改築電気設備工事	立会調査	10.7㎡			年報15
08・11・10	0829	(黒髪北) 学務部プレハブ倉庫改修機械設備工事	立会調査	25㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・11・18 11・19~ 11・21 11・25	0830	(本荘) こばと保育園新営機械設備工事(変更2)	一次掘削 / 発掘調査 / 立会調査	20㎡	近 代	溝 古代土師器・須恵器・石器	本報告Ⅷ
08・11・18 11・20 12・24	0831	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事	発掘調査	113.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・1	0832	文法学部講義室北側給水管漏水調査	立会調査	1.04㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・3	0833	(黒髪北) 教育学部本館東側汚水拵補修工事	立会調査	1.4㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・10	0834	(本荘中) 共用研究棟新営工事(変更)	立会調査	14.13㎡		黒曜石	年報15
08・12・11 12・15~ 12・19	0835	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	一次掘削 / 発掘調査	580㎡		ビット・住居址・土師器・須恵 器・弥生土器・縄文土器・石器・ 鉄器	年報15
09・1・13~2・19	0836	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事 (変更その1、その2)	一次掘削 / 発掘調査	456.54㎡	古 代	溝・住居址・ビット・土師器・須 恵器・石器	年報15
09・1・5~ 2・27 3・10							
08・12・24	0837	五高開校120周年記念植樹(追加)	立会調査	0.3㎡		遺構・遺物なし	年報15
08・12・26	0838	(黒髪北) 教育学部本館改修南側耐震補強工事	立会調査	60㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・20	0839	(黒髪南) 備書倉庫取設工事	立会調査	43.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・1・22	0840	(黒髪南) 南地区ボイラー室改修工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・2	0841	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営に伴う支障樹木伐採・移 植工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・4	0842	(本荘) 医学部図書館棟増築機械設備工事	立会調査	7.2㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・5	0843	(黒髪北) ボイラー煙突撤去工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0844	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修電気設備工事 (変更)	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・12	0845	(黒髪南) 福祉施設新築工事	立会調査	1.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13	0846	(城東町) 附属幼稚園北門改修工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・13 2・19	0847- 1~2	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更)	立会調査	130.8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23~24 2・27 3・4~3・5 3・13	0848- 1~5	(黒髪北) 文法学部本館改修(変更、変更その2)	立会調査	138.17㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0849	黒髪田地(北地区)外灯増設その他工事	立会調査	3㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・16	0850	(渡鹿) 体育館耐震改修機械設備工事(追加)	発掘調査 (立会調査)	13.32㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・17	0851	(医病) 水路蓋改修工事	立会調査	8㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0852	(黒髪南) 排水ポンプ電源工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・18	0853	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営電気設備工事	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・23	0847-3	(黒髪北) 教育学部本館改修(変更その2)	立会調査	244.6㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・24	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	立会調査	12㎡		土師器・須恵器	年報15
09・2・26~ 3・12	0854	(黒髪北) 北地区ボイラー室改修工事	発掘調査	106㎡	古 代	ビット・堅穴住居址・道状遺構・ 土城基・土師器・須恵器・石製紡 錘車	本報告Ⅷ
09・2・26	0855	(黒髪南) 旧情報処理センター改修電気設備工事	立会調査	20.85㎡		遺構・遺物なし	年報15
09・2・27	0856	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営工事	立会調査	60.99㎡		遺構・遺物なし	年報15

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

09・3・3	0857	(黒髪南) 旧情報処理センタースロープ取設工事	立会調査	33,114㎡ (内1.12㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・4～3・6 3・11	0858	(黒髪北) 教育学部本館改修東側植栽工事	立会調査	117㎡	遺構・遺物なし	年報15
09・3・6	0859	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修機械設備工事	立会調査	3.6㎡ (0.32㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・6 3・13	0860	(黒髪南) ものづくり実習室Ⅱ新営機械設備工事	立会調査	115.54㎡ (17.74㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・9～3・11 3・17	0861	(黒髪北) 文法学部本館改修東側植栽工事	立会調査	336㎡	遺構・遺物なし	年報15
09・3・9	0862	(黒髪南) 共用棟黒髪3耐震改修電気設備工事	立会調査	21㎡	遺構・遺物なし	年報15
09・3・10～ 3・11	0863	(黒髪南) ボイラー室他改修機械設備工事	立会調査	98.5㎡ (4.86㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・16 3・23	0864	(黒髪北) 環境整備(排水等)工事	立会調査	119.99㎡	住居址・ピット・土師器	年報15
09・3・17	0865	(黒髪南) 南地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	393.78㎡ (1.12㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・23	0866	(黒髪北) 学生会館北側排水等工事	立会調査	18㎡	遺構・遺物なし	年報15
09・3・27	0867	(黒髪北) 北地区ボイラー室周辺外構工事	立会調査	37.24㎡ (16.1㎡)	遺構・遺物なし	年報15
09・3・31	0868	(医病) カーブミラー取設工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報15
<b>2009年度</b>						
09・4・15 4・17	0901	(黒髪南) 西門改修植栽移植工事	立会調査	18㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・4・20 4・22 4・24 4・27 4・30 5・1 5・25 5・27 5・28	0902	(黒髪南) 西門改修工事	立会調査	422㎡	内扉・厨新設に際し黒褐色の住居址らしき遺構検出 それ以外遺構・遺物なし	年報16
09・4・23	0903	(本荘中) 中地区構内カーブミラー取設工事	立会調査	1.19㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0904	(宇留毛) 学生寄宿舎駐輪場新営工事	立会調査	16㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・5・8	0905	(黒髪南) 屋外雨水管改修工事	立会調査	5.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・5・27	0906	(大江) 薬学部薬フロンティアセンター新営その他工事	立会調査	0.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・5・28	0907	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その1(変更)	立会調査	11.48㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・6・5	0908	(医病) 基幹整備(電話交換設備更新)工事 その2	立会調査	1.6㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・6・4	0909	(大江) 薬学部樹木伐採・移植工事	立会調査	10.48㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・6・11	0910	(黒髪北) ガス配管修理	立会調査	3㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・3 7・22	0911	(大江) 薬学部薬フロンティアセンター新営その他電気設備工事	立会調査	3.24㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・6	0912	熊本大学黒髪団地(東地区)インフラ整備	立会調査	1.2㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 非常勤講師宿泊施設屋外給水管漏水修理	立会調査	0.6㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・8	0913	(黒髪北) 特別支援学校屋外給水管漏水修理	立会調査	0.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・13	0914	(黒髪北) 文法学部本館耐震ブレース基礎まわり工事	立会調査	3.5㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・7・28	0915	(宇留毛) 留学生宿舎新営電気設備工事(追加その5)	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・8・7	0916	(本荘中) 動物資源開発研究施設棟南側屋外配管漏水修理	立会調査	3㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・8・10	0917	(本荘中) 構内通路屋根取設工事	立会調査	0.44㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0918	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	50.37㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・9・4	0919	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修外構工事(変更)	立会調査	464.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・9・4 10・2・24	0920	(黒髪北) 文法学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	3.56㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・9・29	0921	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修電気設備工事	立会調査	8.26㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・10・6	0922	(黒髪南) 工学部研究実験棟準備室A種接地工事	立会調査	3.6㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・10・13 10・27～ 10・30 11・12 11・13	0923	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事(変更)	立会調査/ 発掘調査	工区①0 nf ⑨15.9㎡ (0925含) ⑤⑥一部 50㎡ ⑩5.3㎡	古代 ピット・住居 土師器坏・須恵器並	年報16
09・10・19 10・23 10・27～30	0924	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その2	立会調査/ 発掘調査	工区③39 nf ④5.4㎡ ⑦25.5㎡ ⑨15.9㎡ (0923・ 0925含)	古代 ピット	年報16
09・10・27～ 10・30 11・12 11・13 11・19 11・24～ 11・26 12・1～ 12・3	0925	(医病) 東病棟新営機械設備(衛生)工事 追加その1	立会調査/ 発掘調査	工区 ⑨15.9㎡ (0923含) ⑥7.2㎡ ⑧7.2㎡ ⑩23.7㎡	古代 ピット・住居址・溝 土師器・高坏 土師器・須恵器	年報16

09・10・13 10・28	0926	(医病) 基幹整備(自家発電設備更新)工事	立会調査	64㎡	土師器	年報16
09・10・20	0927	(黒髪南) ゴミ集積場取設工事	立会調査	9.19㎡	土師器	年報16
09・10・21	0928	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅱ期改修機械設備工事	立会調査	3.3㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・10・29	0929	(医病) 第6病棟スロープ取設工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・11・4	0930	(本荘北) 基礎研究棟北側プレハブ小屋改修工事	立会調査	0.9㎡	磁器	年報16
09・11・10 11・18	0931	(医病) 東病棟北側排水管等取設工事	立会調査	14㎡	A・C遺構・遺物なし B住居址・縄文後期土器・古代土師器・須恵器	年報16
09・11・10 11・30~ 12・3 12・14	0932	(黒髪南) 旧図書館工学部部分室改修工事	立会調査／ 発掘調査	地中探査・ピット試掘 0.98㎡ 外溝工事 230.7㎡	古代 溝 古代土師器・須恵器	本報告Ⅵ
09・12・9	0933	(京町) 附属小学校プール他改修機械設備工事	立会調査	1.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
09・12・9	0934	(黒髪南) 旧図書館工学部部分室他改修電気設備工事	立会調査	14.64㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・1・7 1・12 1・19 1・28 2・2	0935	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事	立会調査／ 発掘調査	423.21㎡	古代・近代 ピット 土師器・須恵器・磁器	本報告Ⅶ
10・1・12	0936	(医病) 旧こぼと保育園駐車場整備	立会調査	12㎡	煙突	年報16
10・1・13 2・23	0937	(黒髪南) 旧図書館工学部部分室他改修機械設備工事	立会調査	56㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・1・14 2・17~ 2・19	0938	(黒髪南) エコロジーシステム実験室接地工事	立会調査／ 発掘調査	10㎡	縄文 溝・包含層 縄文土器・弥生土器	本報告Ⅷ
10・1・15	0939	(黒髪北) 教育学部本館Ⅱ期改修西側外構工事	立会調査	12㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・1・26	0940	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0941	(黒髪北) 体育館屋外階段改修工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・1・29	0942	(黒髪北) 体育館屋外配水管改修	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・2	0943	(黒髪南) 旧図書館工学部部分室外構工事	立会調査	7㎡	V字型遺構(溝?)	年報16
10・2・8	0944	(黒髪北) 教育学部本館Ⅱ期改修東側外構工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0945	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)	立会調査	3㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・8	0946	(黒髪北) 教育学部本館・文法学部本館改修機械設備工事(Ⅱ期)追加	立会調査	7.2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・12	0947	(大江) 薬学部講義棟前外灯工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0948	(黒髪北) 教育学部東教室既設駐輪場撤去・新設他工事	立会調査	45㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0949	(黒髪北) 教育学部東教室外構工事	立会調査	0.5㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0950	(黒髪北) 教育学部東教室耐震改修機械設備工事	立会調査	4㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・15	0951	(黒髪北) 教育学部東教室耐震改修電気設備工事	立会調査	0.5㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0952	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営機械設備工事	立会調査	1.5㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・2・22	0953	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室新営電気設備工事	立会調査	1㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0954	(黒髪南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・1	0955	(黒髪南) 環境整備駐輪場外灯設備工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・2	0956	(本荘中) ボイラー室変電設備改修その他工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・3	0957	(大江北) 薬学部屋外通路屋根取設工事	立会調査	3㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0958	(黒髪東) 教育学部附属特別支援学校小学部遊具設置工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・4	0959	(黒髪北) 教育学部本館B棟配水管・連結送水管工事	立会調査	2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・5	0960	(本荘北) 医学部駐輪場取設工事	立会調査	17㎡	遺構覆土検出、計画変更により保存・遺物なし	年報16
10・3・8	0961	(黒髪南) 備蓄倉庫2取設工事	立会調査	0.83㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・8	0962	(黒髪南) 大学院自然科学研究科実験棟地圏探査工学実験室改修電気設備工事	立会調査	0.7㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・10	0963	(京町) 附属中学校校舎南側雨水管改修工事	立会調査	0.63㎡	弥生 ピット・浅い窪み 弥生時代甕口縁部	年報16
10・3・11	0964	(黒髪北) 体育館改修電気設備工事(電柱撤去)	立会調査	1.2㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・11	0965	(黒髪北) 文法学部本館駐輪場撤去工事	立会調査	0.48㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・12	0966	(黒髪北) 保健センター前屋外消火栓取替工事	立会調査	0.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・15	0967	(黒髪南) 事務局来客用駐車場取設工事	立会調査	2.34㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・16	0968	(黒髪北) 共用棟黒髪6揚水設備撤去他給水設備改修工事	立会調査	3.76㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・19	0969	(黒髪東) ソフトテニスコート給水工事	立会調査	0.24㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0970	(京町) 附属中学校教育学部同窓会市魂碑案内標柱設置工事	立会調査	0.12㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・23	0971	(黒髪北) 文法学部古紙倉庫設置工事	立会調査	1.8㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0972	(本荘北) 保健学科E棟給水配管工事	立会調査	8.7㎡	遺構・遺物なし	年報16
10・3・26	0973	(大江北) 薬学部薬造館屋外給水配管工事	立会調査	0.34㎡	遺構・遺物なし	年報16
2010年度						
10・4・6	1001	(本荘中) ガスメータ付近ガス埋設管漏洩調査	立会調査	3.9㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・6・25 9・1	1002	(黒髪北) 文法学部本館耐震ブレース設置他工事	立会調査	22㎡ 0.18㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・6・30	1003	(黒髪南) 生物生息環境音響解析室看板設置工事	立会調査	0.18㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・8・4	1004	(黒髪北) 守衛室シャワー室改修工事	立会調査	11.04㎡	遺構・遺物なし	年報17
10・8・9	1005	(京町) 附属小学校給排水設備工事	立会調査	17㎡	遺構・遺物なし	年報17

3. これまでの調査と本書収録の遺跡

10・8・10 9・3 9・6~10 11・3・4	1006	(黒髮北) 文法学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査/ 発掘調査	1,211.68㎡	古 代	ビット・住居址・竈粘土 土師器・須恵器	年報17
10・8・10 9・3	1007	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工 事	立会調査	48.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・8・11	1008	(黒髮北) 高圧配電線等改修工事	立会調査	13㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・1 9・3	1009	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修電気設備工 事	立会調査/ 発掘調査	1.6㎡	古 代	ビット・遺物なし	年報17
10・9・15	1010	(城東) 附属幼稚園運動場ガス漏れ修理	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・9・24	1011	(黒髮南) 理学部1・2号館中庭植栽	立会調査	2.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・4 10・5 10・7	1012	(黒髮北) 教育学部本館・文法学部本館Ⅲ期改修機械設備工 事(追加)	立会調査	67.7㎡	遺構なし	土師器片	年報17
10・10・4 10・5 10・7	1013	(黒髮北) 教育学部本館周辺移植等工事	立会調査	82㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・11・10 11・11	1014	(黒髮北) 教育学部本館研産機設置等工事	立会調査	91.63㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・26 11・2・1 2・10 2・15 2・22 2・25 11・3・2 3・3	1015	(黒髮北) 教育学部本館Ⅲ期改修外構工事	立会調査	2,101.01㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・10・7	1016	(黒髮北) 教育学部浄化槽等撤去工事	立会調査	98.46㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・6	1017	(本荘南) テニスコート整備工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・20	1018	(黒髮北) 五高記念館樹木移植工事	立会調査	4㎡		遺構なし 須恵器・土師器片	年報17
10・12・20	1019	(黒髮北) 五高記念館便所新営工事	立会調査	5㎡		遺構・遺物なし	年報17
10・12・27	1020	(本荘南) テニスコート整備工事(追加)	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1021	(黒髮北) 五高記念館便所新営電気設備工事	立会調査	2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1022	(黒髮北) 五高記念館便所新営機械設備工事	立会調査	20.2㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・1・17	1023	(黒髮南) 開障改修工事	立会調査	6.95㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・4	1024	(本荘北) カーブミラー取設工事	立会調査	0.25㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・2・24 2・25	1025	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	175.5㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・2	1026	(黒髮北) 教育学部本館北側排水設備修理工事	立会調査	10.3㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・9	1027	(黒髮北) 北地区門衛所太陽光発電設備設置工事	立会調査	9.6㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・10	1028	(黒髮北) 教育学部本館正面入口前消火管修理	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・16 11・3・22	1029	(本荘北) 学生部室とりこわし工事	立会調査	3㎡ 0.75㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・17	1030	(黒髮南) 環境整備(駐輪場等)工事	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし	年報17
11・3・23	1031	(黒髮南) 教育学部本館西側・文法学部本館北側排水設備改 修工事	立会調査	205.7㎡		遺構・遺物なし	年報17
<b>2011年度</b>							
11・4・18 4・19	1101	(黒髮南) 車庫給水引込管改修工事	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・5・30	1102	(本荘中) 医学部基礎研究棟 A 棟とりこわし支障配管替工事	立会調査	62㎡ (82㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・6・17	1103	(黒髮南) 倒木抜根緊急工事	立会調査	6.6㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・4・6 6・21~ 9・22	1104	(本荘北) 臨床医学教育研究センター(仮称)整備事業	立会調査/ 発掘調査	試掘31.2 ㎡ 発掘503.9 ㎡	古代・近代	住居址・墓域・ビット 土師器・須恵器・人骨・銭貨・泥 面子・甕棺	本報告Ⅹ
11・6・22	1105	(黒髮南) 埋蔵文化財調査室排水管取設工事	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・6・24 10・17~ 10・19 11・1 11・4 11・10 11・21 11・24~ 11・25 11・28 12・9 12・12~ 12・14	1106	(本荘中) 医学部基礎研究棟(A棟)とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,556.04 ㎡	古 墳・古 濠・ビット 代・近世	土師器片・須恵器	本報告Ⅹ
11・7・5	1107	(医病) 中庭掘削工事	立会調査	8.9㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11	1108	(黒髮北) 障害者雇用施設改修工事	立会調査	71.3㎡ (3㎡)		遺構・遺物なし	年報18
11・7・11 8・1 8・5	1109	(黒髮北) 障害者雇用施設改修機械設備工事	立会調査	50.7㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・7・26	1110	(黒髮北) 五高記念館前樹木シロアリ被害支柱緊急取替え工 事	立会調査	353㎡		遺構・遺物なし	年報18
11・8・18	1111	(黒髮南他) 自然科学研究科研究棟・理学部研究棟前通路路 設等補修工事	立会調査	0.46㎡ 15.2㎡		遺構・遺物なし	年報18



I 構内遺跡と調査の概要

11・9・21 9・22 9・26～ 9・29 10・4 10・11 10・26～ 10・28 10・31	1112	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 検 核設備工事	立会調査/ 発掘調査	500mf	古墳・古 代・近世	堅穴住居址・溝状遺構・ビット 土師器・須恵器	本報告Ⅹ
11・9・21	1113	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 工 事	立会調査/ 発掘調査	264.83mf		1 1 1 2 調査地点と同様	本報告Ⅹ
11・10・11～ 10・13 10・17 10・18 11・1 11・11	1114	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟等支障配線・配管替え) 検 核設備工事その2	立会調査/ 発掘調査	184.81mf	古代・近世	住居址?・溝・ビット 遺物なし	本報告Ⅹ
11・9・20	1115	(黒髪北) ラグビー場横給水管補修工事	立会調査	2.3mf		遺構・遺物なし	年報18
11・10・24～ 10・27	1116	(黒髪北) 文法学部講義棟便所増築等改修工事	立会調査/ 発掘調査	20mf	古代	堅穴住居址?・ビット 古代土師器・須恵器	本報告Ⅹ
11・10・24～ 10・25 12・12 12・1・27	1117	(本荘中) 医学部基礎研究棟とりこわしに伴う中庭整備	立会調査	491.7mf		遺構なし 土師器片	年報18
11・11・15	1118	(大江) 電柱支線撤去及び支柱新設	立会調査	0.42mf		遺構・遺物なし	年報18
11・11・22 12・14 12・1・17～ 1・18	1119	(医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟等とりこわしに伴う 支障樹木移植等) 工事	立会調査	407mf		遺構・遺物なし	年報18
11・11・24～ 11・25	1120	(医病) 基幹・環境整備 (第6病棟北側平屋部とりこわし) 工事	立会調査	728mf		遺構・遺物なし	年報18
11・11・28～ 12・6・4	1121	(黒髪南) 基幹・環境整備 (屋外排水設備等) 工事	立会調査/ 発掘調査	7748.6mf	縄文・弥生 中期・古 代・中世 期・近現代	住居址?・土坑・溝・溝状遺構・ ビット・土坑状遺構・畑址(畝) 変棺・縄文土師器片・土師器片・須 恵器片・円礫・黒曜石チップ・黒 曜石片・礫塊石器(敲石?)	本報告Ⅹ
11・12・5	1122	(医病) 基幹・環境整備 (血液照射管理室とりこわし) 工事	立会調査	165.5mf		遺構・遺物なし	年報18
11・12・5 12・2・3	1123	(医病) 基幹・環境整備 (中庭支障樹木撤去) 工事	立会調査	21.6mf		遺構・遺物なし	年報18
11・12・9	1124	(黒髪北) 北地区食堂屋外給水配管工事	立会調査	1.54mf		遺構・遺物なし	年報18
11・12・19 12・20	1125	(大江北) 北門周辺環境整備 (植栽・外灯) 工事	立会調査/ 発掘調査	8.37mf	古代	溝 土師器片・敲石・瓦片	本報告Ⅹ
11・12・19	1126	(大江北) 北門周辺環境整備 (道路等) 工事	立会調査	4.77mf		遺構・遺物なし	年報18
12・1・12	1127	(医病) 設備管理棟ボイラー室ドレン配管他改修工事	立会調査	8.1mf		遺構なし 土師器片	年報18
12・1・16	1128	(黒髪北) 北地区食堂・保健センター西側ガス配管修理	立会調査	5.22mf		遺構・遺物なし	年報18
12・1・17～1・18 1・20 2・3 2・6～7 2・16～2・17 2・20～2・21 2・27	1129	(医病) 基幹・環境整備 (旧中央診療棟とりこわし) 工事	立会調査/ 発掘調査	716.0mf	古墳・古代	溝・土坑・ビット 古代土師器・須恵器・石製品	本報告Ⅹ
11・12・9 12・13～ 12・14 12・1・24 1・26～1・27 2・8.15	1130	(本荘中) 医学部基礎研究棟 (B・D棟) とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	1,169.6mf	中世以降	溝・土坑・ビット 土師器片・動物骨	本報告Ⅹ
12・1・25	1131	(京町団地) 環境整備 (法面保護) 工事	立会調査	4.3mf		遺構・遺物なし	年報18
12・1・31 2・1 2・6	1132	(医病) 基幹・環境整備 (渡り廊下Cとりこわし) 工事	立会調査	14.6mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・8	1133	(本荘中) 医学部旧ボイラー室改修機械設備工事	立会調査	46.5mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16～2・17 2・21	1134	(黒髪南) 理学部園地整備その他工事 (その1)	立会調査	747mf		住居址もしくは溝と思われる遺構 プラン 遺物なし	年報18
12・2・16	1135	(黒髪南) 理学部園地整備その他工事 (その2)	立会調査	1mf (1248mf)		遺構・遺物なし	年報18
12・2・16 2・20～2・21	1136	(黒髪南) 理学部園地整備その他工事 (その3)	立会調査	60.8mf		住居址か溝? 土師器片・須恵器片	年報18
12・2・20	1137	(黒髪南) 理学部3号館スロープ取設工事	立会調査	115.60mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1138	(宇留毛) 建物名表示看板設置	立会調査	0.49mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・27	1139	(黒髪北他) 施設名称サイン設置工事	立会調査	0.63mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1140	(京町) 環境整備 (法面整備等) 工事	立会調査	1.8mf		遺構・遺物なし	年報18
12・2・28	1141	(京町) 環境整備 (南側園地) 工事	立会調査	2.0mf		遺構・遺物なし	年報18
12・3・7	1142	(大江) 薬草用植物園屋外掲示板設置工事	立会調査	1.6mf		遺構・遺物なし	年報18
12・3・12	1143	(本荘中) ガス供給施設取替	立会調査	24.8mf		遺構・遺物なし	年報18
12・3・14	1144	(本荘中) エイズ学研究センター、生命資源研究・支援セン ター、動物資源開発研究施設新館 実験排水槽配管盛り替え 工事	立会調査	7.5mf		遺構・遺物なし	年報18

### 3. これまでの調査と本書収録の遺跡

12・3・36~3・27 4・2 4・4 8・21~8・23	1145	(医病) 赤幹・環境整備(第6病棟とりこわし)工事	立会調査/ 発掘調査	427.30㎡	古代・中世 以降	溝・土坑・ビット 土師器片・甎の取手・須恵器片	本報告区
<b>2012年度</b>							
12・4・10	1201	(黒髮南) 事務局南側寄附樹木植栽工事	立会調査	0.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・13	1202	(京町) 附属小学校給食センター耐震二次診断調査業務	立会調査	7.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・14,15 12・6・18 12・7・9,10 12・10・15,16	1203	(本荘北) 本荘北地区駐車場配管工事(新設)	立会調査	159.7㎡		磁器	年報19
12・6・20,29 12・7・3,26 12・7・31 12・8・6,17	1204	(本荘北) 樹木移植等工事	立会調査	1360㎡		磁器	年報19
12・6・19~ 12・7・19	1205	(本荘中) 医学部基礎研究棟(B棟東側)とりこわし工事	立会調査/ 発掘調査	756㎡	古代・近世	溝・ビット・土師器・須恵器・陶 磁器・甎片	本書
12・6・25	1206	(黒髮北) 五高記念館南側屋外給水管補修他工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・6・29 12・7・3~5	1207	(本荘北) 水銀指定基準超過区域土壌掘削除去に伴う立会調 査・発掘調査	立会調査/ 発掘調査	100㎡	古代・近代	竪穴住居址・墓・溝(保存)・ ビット2・土師器・須恵器	年報19
12・7・9,10	1208	(本荘北) 立体駐車場支保脚撤去工事	立会調査	73.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・6,9 12・7・13	1209	(本荘中) 医学部基礎研究棟B棟漏水処置に伴う立会調査	立会調査	9.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・17	1210	(京町) 附属小学校給水本管補修工事	立会調査	3.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・23,24	1211	(京町) 教育学部附属中学校西側フェンス改修工事	立会調査	3.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・7・31	1212	(医病) 西病棟西側道路陥没復旧工事	立会調査	6.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・17,20	1213	(本荘北) 本荘北地区駐車場既設配管工事	立会調査	468㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・16,17 12・8・20 12・9・5	1214	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事	立会調査	224.3㎡		磁器・土師器	年報19
12・8・21	1215	(城東) 教育学部附属幼稚園屋外埋設ガス配管改修工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・28	1216	(京町) 附属小学校体育館系統排水改修工事	立会調査	395.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・8・30	1217	(医病) 駐車場整備員控室改修機材設備工事	立会調査	4.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・3,4	1218	(黒髮北) 防災管理システム取設工事	立会調査	100.3㎡		ビット・土師器・陶磁器	年報19
12・9・12,13	1219	(大江) 屋外給水管修理	立会調査	39.9㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・14	1220	(黒髮北) プール機械室冠水対策工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・19	1221	(京町) プロック場改修工事	立会調査	171㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・9・20,21	1222	(医病) 外来診療棟新営機材設備工事	立会調査	40㎡		遺構?	年報19
12・9・26~28 12・10・1~	1223	(本荘中) 国際先端医学研究拠点施設新営工事	立会調査/ 発掘調査	1059㎡	古代・近世	溝・竪穴住居址・掘立住居址・ 土坑・ビット・石製品・土師器・ 須恵器・陶磁器・土製品・鉄製 品・甎片	本書
12・10・15 12・10・23,24	1224	(黒髮南) 理学部温室Aとりこわし工事	立会調査	14.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・9	1225	(医病) 西病棟西側地盤改良工事	立会調査	31.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・13	1226	(本荘北) 外来診療棟新営電気設備工事	立会調査/ 発掘調査	2.2㎡		遺構?	年報19
12・11・19,20 12・11・21	1227	(本荘北) 立体駐車場新営その他工事(追加)	立会調査	27.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・11・26,27 12・12・20	1228	(黒髮南) 理学部劇場台座新営工事	立会調査	27.6㎡	古代	溝又は住居址?	年報19
12・12・10	1229	(黒髮北) 教育学部本館植栽植替工事	立会調査	2.5㎡		遺構・遺物なし	年報19
12・12・18,19	1230	(黒髮北) 教育学部北側擁壁改修工事	立会調査	5.2㎡	古代	ビット・土師器・須恵器	年報19
13・1・28,29	1231	(大江) 薬学部A棟南側池系統屋外給水管改修工事	立会調査	36.3㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・1・30	1232	(大江) 大江地区R1施設屋外給水弁取替工事	立会調査	1.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・7,8 13・2・12,13	1233	(本荘中) 医学部旧ボイラー室煙突撤去工事	立会調査/ 発掘調査	9.3㎡	古代	ビット・土師器	年報19
13・2・21,22	1234	(本荘北) 医学部駐車場取設工事	立会調査/ 発掘調査	24.1㎡	古代・近世 以降	土坑・土師器・須恵器・磁器	年報19
13・2・21	1235	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1236	(黒髮北) 教育学部喫煙所設置工事	立会調査	0.6㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・27	1237	(黒髮南) 理学部3号館南側実験廃棄物置場工事	立会調査	9.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・2・28	1238	(黒髮南) 電気自動車車庫新営工事	立会調査	11.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・5	1239	(医病) 構内ガス管緊急補修工事	立会調査	8.0㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・6	1240	(黒髮南) 工学部駐車場工事	立会調査	2.7㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・7	1241	(京町) 教育学部附属小学校校舎A・B棟空調設備取設 工事	立会調査	27.2㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・11,14	1242	(本荘中) 動物資源研究開発研究施設本館重油地下タンク撤 去に伴う立会調査	立会調査	29.8㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・21,25	1243	(本荘南) 保健学科B棟東側中埋設物撤去工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし	年報19
13・3・26	1244	(本荘北) 看護師宿舎1階院内保育園改修機材設備工事	立会調査	1.8㎡		遺構・遺物なし	年報19

## II 黒髪南地区の調査



## 1. 黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査（9911調査地点）

### （1）調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

工学部・理学部が所在する黒髪南地区は、北地区とともに黒髪町遺跡群（熊本市遺跡地区No 8 - 88）内にある。本調査地点は9907調査地点と同様に、白川右岸の河岸段丘上（標高18～25m）に位置する。調査地点は大学構内でも最も白川に接近した場所に位置し、目前に白川が流れている。対岸には渡鹿遺跡群・新屋敷遺跡・大江遺跡群が所在する。

本件は水生動物飼育舎新営に伴う発掘調査である。平成11年度の年度途中、学長決裁により実施が決定した事業である。11月初めに文化財保護法第93条の申請を行った。調査日程は年明けという要望であった。本来1・2月は年次報告書作成期間のため、本調査の実施は困難な状況であるにもかかわらず、既に2月から工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟新営工事のため、小畑が報告書作成とともに本調査を実施する予定となっていた。このため、大坪が報告書作成業務とともに3月から調査を実施した。

本調査地点の包含層および遺構面の検出レベルが、予想を越えて深かった。このため廃土処理の都合により、調査区をⅠ区（南西側）とⅡ区（北東側）に分けて調査を行った。本文・図中の遺構番号については、遺構の種類によらず、検出順に一連の番号を与えている。

#### b. 調査の経過

- Ⅰ区 1999年3月1日 一次掘削開始。  
 1999年3月2日 午後より、作業員による作業開始。  
 1999年3月6～7日 作業中止。  
 1999年3月8日 遺物検出、記録、取り上げ。全体写真撮影。測量。
- Ⅱ区 1999年3月9日 Ⅰ区測量完了後、うって返し。午後よりⅡ区の調査開始。  
 1999年3月10日 遺構掘削、遺物検出と記録（全体写真）、測量。  
 1999年3月13日 地山上面の全体写真。地山層の掘り下げ。  
 1999年3月14日 全体写真撮影。測量。調査終了。

#### c. 調査の組織

調査員：大坪志子

事務担当：松嶋木綿子

発掘作業員：外野木亜紀・岡田イツ代・小細工洋子・白石美智子・溜渕俊子・堀川貞子・水上順子

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・林田恵子・増井弘子・山崎早苗

### （2）調査区の基本層序（図4）

本調査区は9907地点からさほど離れていないが、遺構面および基盤層の深さは全く異なっていた。最も深い所では、地山の検出レベルは地表下2.5mに達する。1層は現代埋土でガラなども含む。2層～5層までが耕作土、4層～10層は白川の洪水砂の層である。11層は混入物のない、しっとりとし

1. 黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査 (9911調査地点)

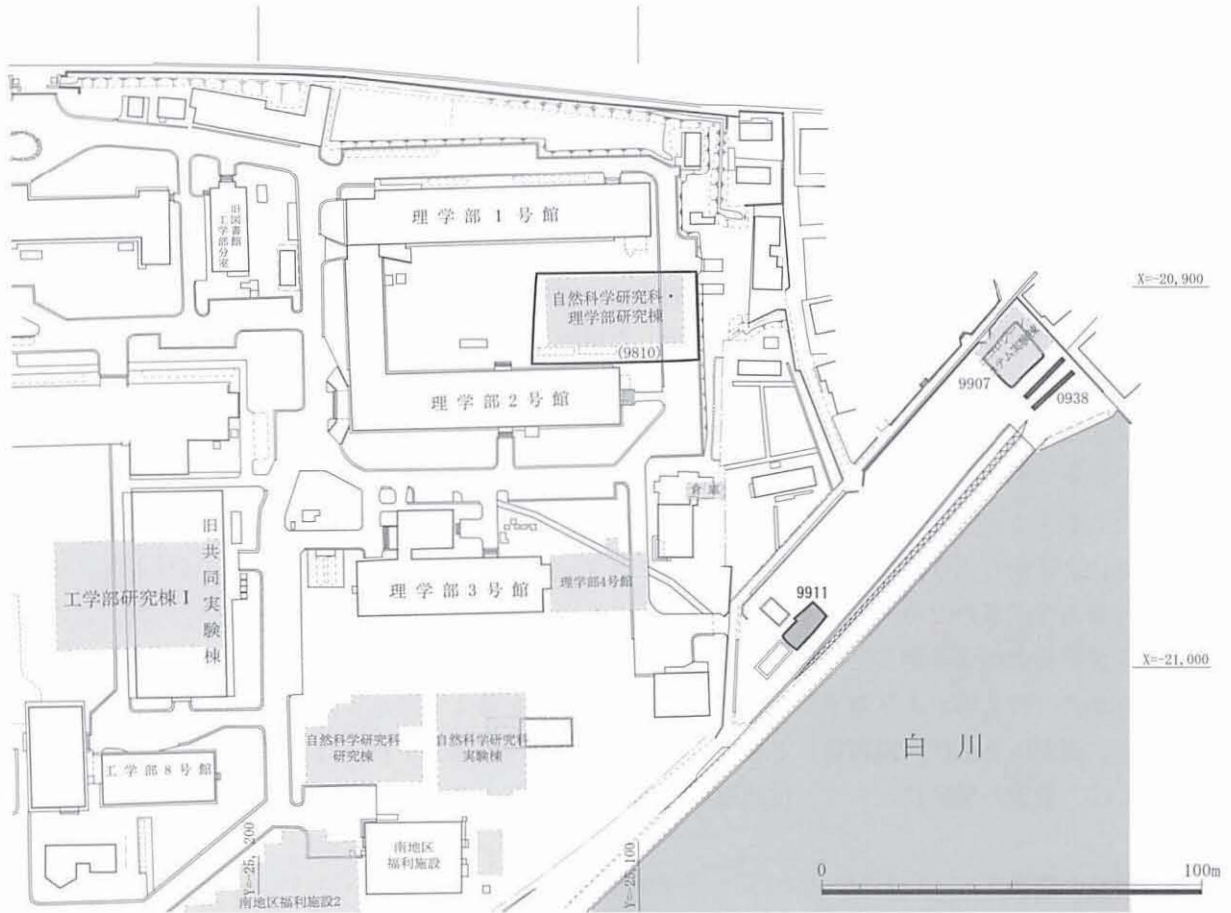


図2 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)

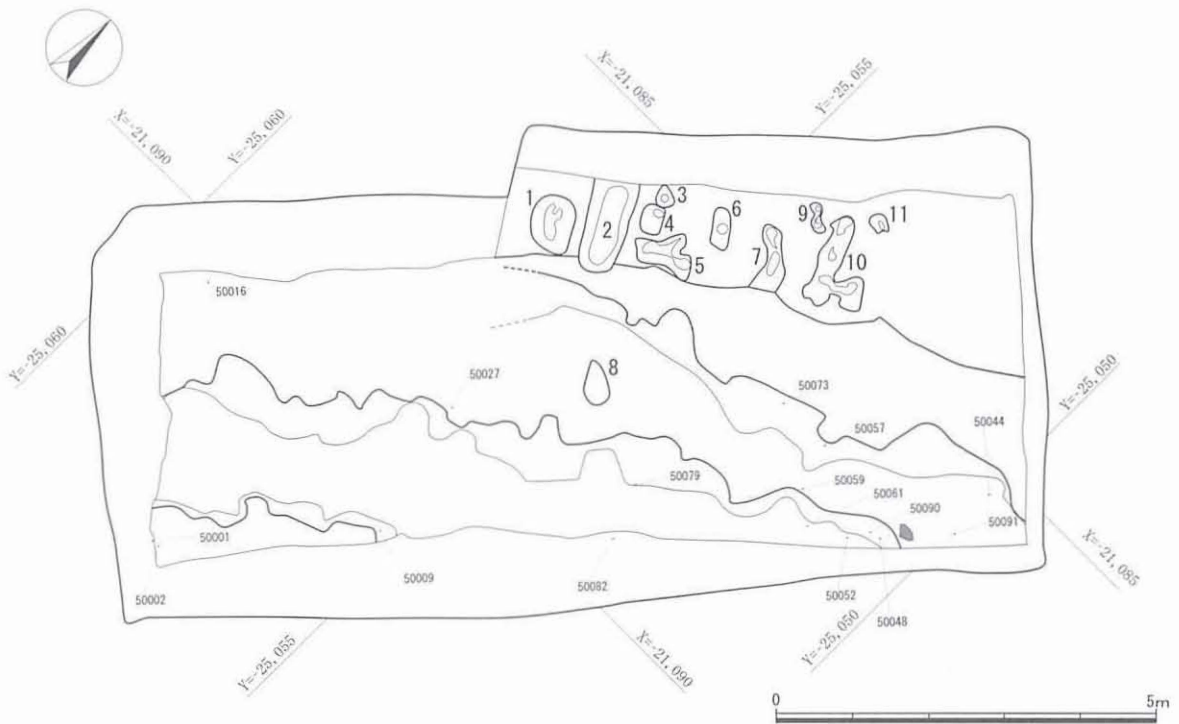


図3 9911調査地点遺構配置実測図 (1/100)

LH=19.00m

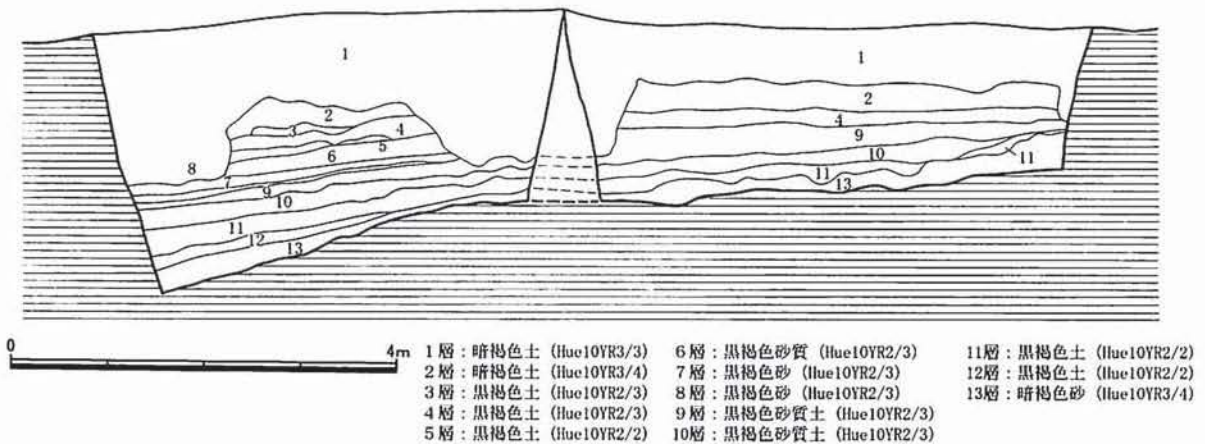


図4 9911調査地点南西・北西壁土層断面実測図 (1/80)

た軟らかい土の層である。12層－黒褐色土層 (10YR2/2) が古代の遺物包含層で土師器や須恵器を含む。13層はいわゆる地山層であるが、既に報告されているように縄文土器の包含層である。その下が砂岩ブロックで形成されたような基盤層となる。

### (3) 検出遺構 (図3)

本調査区の遺構面・基盤層は、9907調査地点と同様に白川に向かって傾斜していたが、本調査区ではとくに急激に落ちており、白川側半分が溝状になっていた。明確な掘り込みは見られず、旧段丘涯の可能性が考えられる。北西側の台地状の部分は古代の遺物包含層は削平されて残っておらず、地山直上までは近世以降の埋土である。地山検出時においては、遺物の検出はあったが遺構の検出はない。地山土層を除去した段階で、下の基盤層にはピット状の穴があり、縄文土器が含まれるものもあったが、恐らくは自然の窪みであろう。この他遺構らしいものはなかった。

遺物は、古代の包含層から土師器と須恵器が出土した。II区では礫とともにある程度まとまった出土があったが、その他は碎片が散在していた。また、先述のように地山としている層から縄文土器が出土した。

### (4) 出土遺物 (図5・6)

本調査区からは、8～9世紀代を中心とする古代の遺物と縄文土器が出土した。

図5：1～14は古代の土師器、15～30は須恵器である。4は8世紀前葉、5は8世紀中葉、6・7は9世紀前葉頃と思われる。8～11は糸切り底で12世紀代の所産であろう。12・13は土師器甕の口縁部である。12は8世紀末頃と思われる。13は9世紀前半であろう。14は台地状のピットとした基盤層の窪みから出土した土師器坏である。8世紀中葉であろう。15～30は須恵器である。19・25以外は溝状部分から出土した。15は須恵器蓋である。摘みや端部が欠損しており全体は不明だが、器高は薄く9世紀初頭かと思われる。16は8世紀前半、17は8世紀後半、18～22は8世紀末葉から9世紀初頭と思われる。23は壺の口縁部、24・25は壺の底部でともに8世後半代であろう。26～28は須恵器甕の胴部片である。29は須恵器の円面硯である。直径は約10cm程度で小型である。脚は高台条ではなく、独立した丸い脚が3か所についていたようである。残っている脚は、周囲に廻る海と繋がっており、墨

1. 黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査 (9911調査地点)

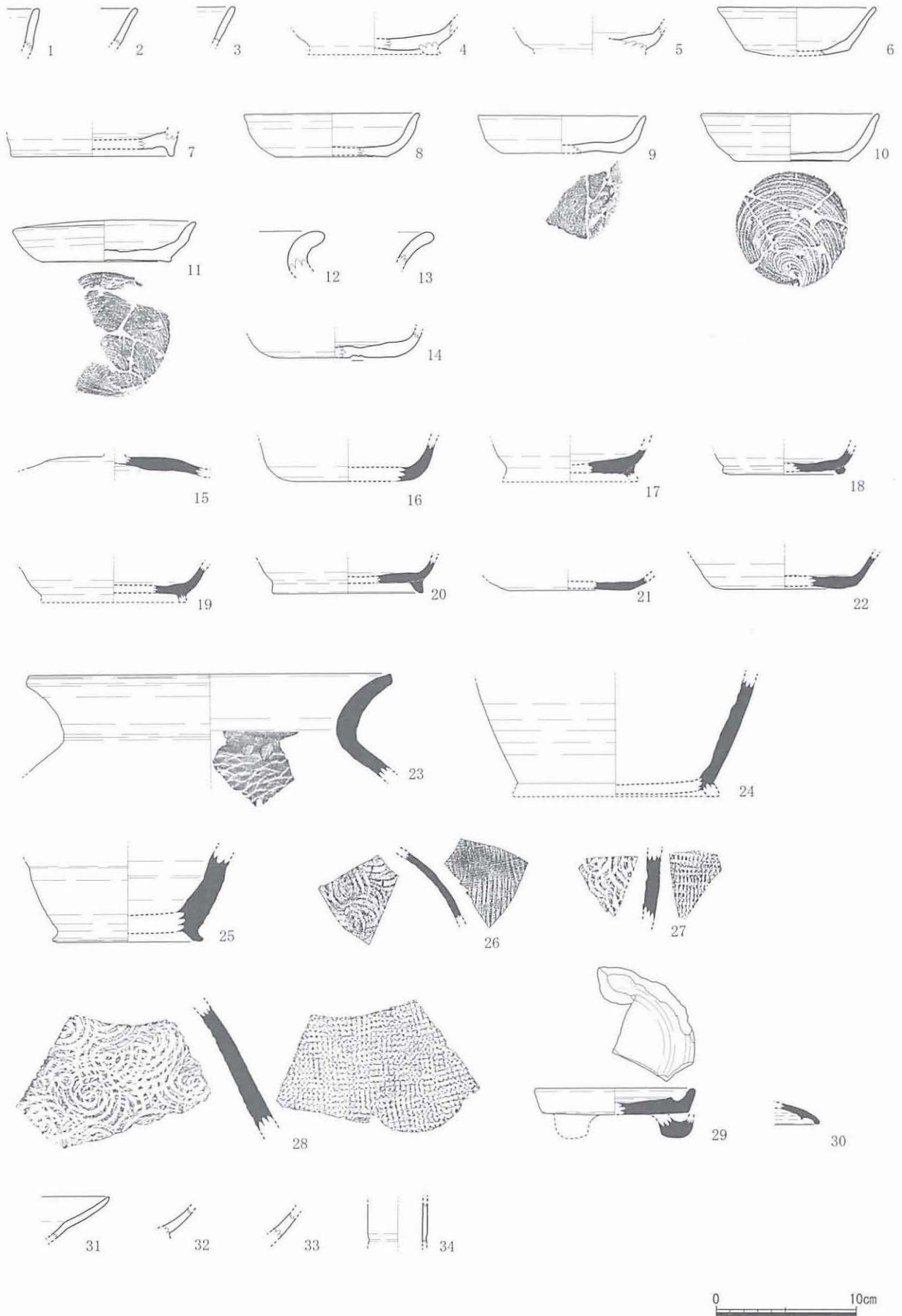


図5 9911調査地点出土遺物実測図1 (1/4)



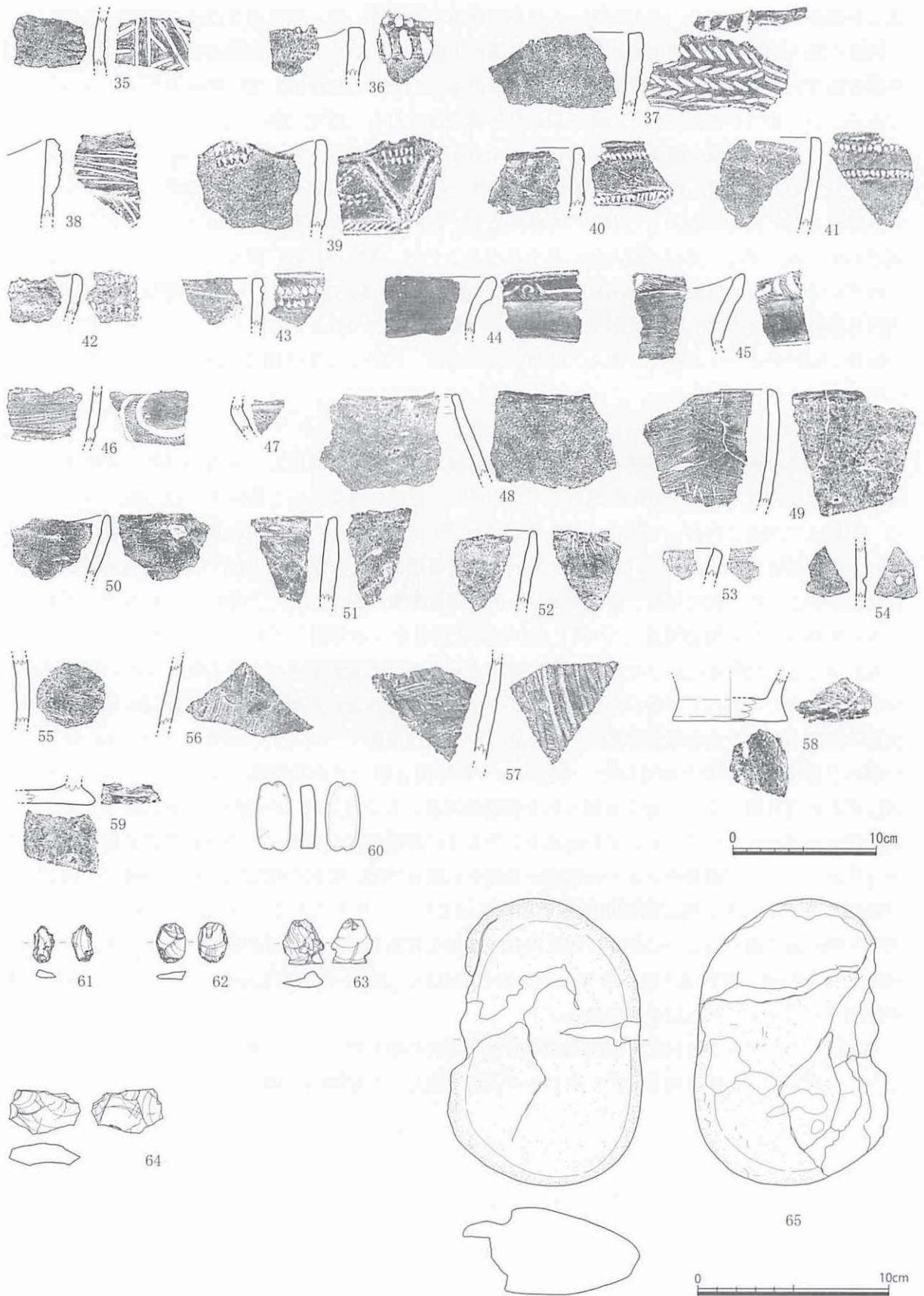


図6 9911調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/3)

が溜まるようになっているようだ。30はピットとした基盤層の窪みから出土した須恵器蓋である。かえしが僅かに残っており、7世紀末～8世紀初頭頃であろう。31～34は近代以降の磁器である。

図6：35～60は縄文土器である。前期と後期の土器が出土した。35は曾畑式の深鉢の口縁部である。36は南福寺式の深鉢の口縁部である。37・38は出水式の深鉢の口縁部、39～43は御手洗A式の前段階である。44～46は小池原下層式の鉢の口縁及び胴部片である。47は太郎迫式である。48～60までは無紋の土器である。有紋の縄文土器の構成からすると後期の所産の可能性はある。48～55は器面をナデで調整している。49は、内面は丁寧にナデを施す。50は焼成後に穿孔をしているが、貫通はしていない。55は土器を円形に加工したようにも思えるが、周縁はなにも調整されておらず、断面がそのまま残されている。56は、外面は縦方向にナデをほどこすが、条痕が顕著に残る。内面のナデは丁寧に施されている。57は、外面は幅5mmほどの道具でミガキを縦方向に施している。内面のミガキは粗く、方向も縦横である。58・59は底部である。60は土錐で、縄文土器を再加工している。61～63は黒曜石の剝片、64はチャートの剝片である。65は敲石である。欠損してない側面に敲打による痘痕が残る。

#### (5) まとめ

今回の調査は9907地点と同様、白川に向かって傾斜する地形を確認し、同様な時期の遺物を得た。現在の地形は、以前、学生寮の敷地として活用され、眼前に構築された堤防までは整地されているため、本地点で白川に向かって崖状に落ち込むことは想定外であった。上記の整地により包含層は削平され、遺構面もダメージを受けたと考えられ、通常遺構面とする黄色土上面では、遺構を確認することはできなかった。2011年に、本調査地点と9907調査地点の間を試掘した際には（埋蔵文化財調査センター年報18、1134調査地点）、古代と思われる住居址を1基確認しており、旧地形では崖の際に近いあたりにまで集落が広がっていた可能性が考えられる。黒髪南地区における縄文土器の出土状況については、未だ不明の点が多い。敷地の北半では、おおむね地山土層と古代の遺物包含層の中間層に後期・晩期の遺物を含む場合が多い。南地区の中央入口道路下（0203調査地点）では、地山層の中に早期の土器や石器が含まれていた。今回のように地山土層の下の基盤層にまで達する地点は9907・9911調査地点以外にない。地山土層のある程度の深さにまで縄文時代の遺物が含まれることは常に念頭に置かねばならないことと、その範囲がどのように設定できるのかが、今後の課題である。同じ南地区であっても、当調査センターの建物が立地する付近では、古代の遺物包含層が明確には確認できず砂層となっており、既に旧河川敷の範囲内ではないかと考えられる。南地区の南側の敷地境は、9911・9907調査地点のように際まで縄文時代の遺物を含む地山や基盤層が確認される一方、西側では砂層となり明確な遺物包含層や遺構面が確認されない。また、地表下2.5mにおいて近世以降の畑地が発見されるなど、状況は多様である。

今後は、このような段丘崖や旧河川敷の範囲が調査の積重ねにより、確定していくことが望まれる。こうした成果が、近隣に所在したとされる「蚕養の渡し」の解明へと繋がるであろう。

表3 9911調査地点出土遺物一覧表

区	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
5	1	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/8	溝 (I区)		
	2	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/6	50073	圧痕あり?	
	3	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR7/8	溝 (12層)		
	4	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	50082		
	5	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR6/6	溝 (I区)	内外面赤色化粧土	
	6	土師器	坏	口径 11.4 底径 7.4 器高 3.5	口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	50002 50003		内外面赤色化粧土
	7	土師器	碗	口径 底径 器高	底部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	50081		
	8	土師器	坏	口径 12.5 底径 8.0 器高 3.2	約1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR7/4	50091	底面糸切り 内面にスス?付着	
	9	土師器	坏	口径 12.0 底径 8.4 器高 2.7	約1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	50091	底面糸切り	
	10	土師器	坏	口径 12.8 底径 8.5 器高 3.5	3/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR7/6	50091	底面糸切り	
	11	土師器	坏	口径 13.0 底径 9.5 器高 3.0	2/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	50091	底面糸切り	
	12	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	50059		内外面赤色化粧土
	13	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR7/4		溝下部	外面にスス付着
	14	土師器	坏	口径 底径 器高	8.6	1/8	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR5/4	8号ビット	
	15	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	50048		
	16	須恵器	坏	口径 底径 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	溝 (I区)		
	17	須恵器	碗	口径 底径 器高	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y5/3 外: Hue 2.5Y5/2	50052		外面に自然軸あり
	18	須恵器	碗	口径 底径 器高	7.6	底部1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/1	溝 (擾乱周囲)	外面に自然軸あり
	19	須恵器	碗	口径 底径 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y5/2	13層		
	20	須恵器	碗	口径 底径 器高	10.8	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR3/3	溝下部	赤焼
	21	須恵器	坏	口径 底径 器高	8.4	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 2.5Y6/2	溝 (I区)	
	22	須恵器	坏	口径 底径 器高	8.7	底部1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	50079	
	23	須恵器	壺	口径 26.0 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ,タタキ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5Y4/1 外: Hue 7.5Y5/1	50061 50062		
	24	須恵器	壺?	口径 底径 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5GY6/1 外: Hue 10Y5/1	溝 (II区南半 部帯)		
	25	須恵器	壺	口径 底径 器高	10.7	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y3/1		
	26	須恵器	甕 (H)	口径 底径 器高	胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	溝下部		
	27	須恵器	甕	口径 底径 器高	9.0	胴部~底部片	内:タタキ 外:タタキ	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 10Y4/1	溝下部	
	28	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内:タタキ 外:タタキ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR5/2	50090		
	29	須恵器	円面碗	口径 11.5 底径 器高	約1/4	内:回転ナデ 外:削り	内: Hue 5B17/1 外: Hue 10Y3/1	溝 (I区)	外面に自然軸あり	
	30	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y5/2	2号ビット		
	31	磁 器	皿?	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 白色 外: Hue 白色	12層上面	白磁	
	32	磁 器	茶碗	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 白色 外: Hue 白色	12層上面	白磁	

1. 黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事に伴う発掘調査 (9911調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色	出土層	備考
5	33	陶器	碗?	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 5Y7/2 外:Hue 5Y7/2	2号ピット	白磁 内外面に釉あり
	34	磁器	湯のみ?	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 白色 外:Hue 白色	攪乱(Ⅱ区)	外面絵付
6	35	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR4/2	溝(12層)	竹畑式
	36	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 5Y5/2 外:Hue 2.5Y5/3	13層	南福寺式
	37	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR5/4 外:Hue 10YR4/2	溝(Ⅰ区)	出水式
	38	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR5/4 外:Hue 10YR5/4	50016	出水式
	39	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR3/1	13層	御手洗A式
	40	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y6/4 外:Hue 10YR7/4	13層	御手洗A式
	41	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y5/3 外:Hue 10YR5/3	14層	御手洗A式
	42	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y5/1 外:Hue 2.5Y5/2	13層	御手洗A式
	43	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 10YR6/6	13層	御手洗A式
	44	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR7/6 外:Hue 7.5YR6/6	14層上面	小池原下層式
	45	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y5/2 外:Hue 5YR5/4	14層	小池原下層式
	46	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:磨き	内:Hue 10YR5/2 外:Hue 10YR2/1	14層	小池原下層式
	47	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR3/2	溝(12層)	太郎迫式
	48	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/3 外:Hue 10YR5/3	14層	外面口縁部にスス付着
	49	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y5/2 外:Hue 2.5Y5/3	14層	
	50	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR4/2	50009	
	51	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 10YR7/6	13層	圧痕?
	52	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 7.5YR5/4 外:Hue 2.5Y5/2	13層	
	53	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR5/2 外:Hue 10YR5/3	14層	
	54	縄文土器	深鉢形土器	長さ 幅 厚さ	胴部片	内: 外:	内:Hue 10YR6/4 外:Hue 2.5Y5/3	13層	重量9.4g
	55	縄文土器	深鉢形土器	長さ 幅 厚さ	胴部片	内: 外:	内:Hue 5Y4/2 外:Hue 2.5Y5/3	14層	重量27.4g 再利用・土製円盤?
	56	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 10YR4/2 外:Hue 10YR5/2	50027	
	57	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内:Hue 7.5YR5/4 外:Hue 10YR6/4	50044	
	58	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部約1/4	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 2.5Y6/4 外:Hue 2.5Y5/3 底面:Hue 2.5Y7/4	14層上面	
	59	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内:ナテ 外:ナテ	内:Hue 5Y3/1 外:Hue 5Y3/1	溝(1層)	
	60	土製品	土 錘	長さ 幅 厚さ	完形品	内: 外:	内:Hue 2.5Y4/2 外:Hue 2.5Y4/2	12層	重量16.2g 土器片再利用
	61	石器	黒曜石	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	50022	重量1.0g
	62	石器	黒曜石	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	13層	重量1.5g
	63	石器	黒曜石	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	12層	重量3.1g
	64	石器	チャート	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	14層	重量10.4g
	65	石器	燧石	長さ 幅 厚さ		内: 外:	内:Hue 外:Hue	50011	重量85.6g

## 2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査（0204調査地点）

### （1）調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経過

本調査地点は白川右岸の標高17mの地点にあたる。南地区の中部南西部に位置し、9603調査地点と道路を隔てた位置にある。旧工学部建物が調査区内に存在しており、調査対象地区のおよそ半分は破壊されていた。また、調査区西側1/3ほどは旧運動場部分に相当し、現地表面より1.5mほど削平を受けていた。9603調査地点（熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ）とそれに接する9704調査地点（同）では東西方向の方形区画溝（幅およそ2m）とそれに囲まれた掘立柱建物が検出されており、9603調査地点のほぼ中央で検出された2本の溝（溝間4m）は本学内に存在が推定されている蚕養（こかい）駅内もしくはそれに通じる古代道路に比定される意見があるなど、本調査地点でも古代官衙関連の遺構の存在が予想されていた。

本調査地点は平成15年度竣工予定の総合研究棟の建築予定地であり、埋蔵文化財調査室では、隣接する9603調査地点での調査成果をもとに、削平は受けているものの遺構の残存状態はほぼ良好であること、先に述べたように、「蚕養（こかい）駅」と古代官道の存在が予想されている大学構内においても重要な地点であると判断し、施設部と協議の上、建築に先立ち、4月17日に試掘調査を実施した。その結果、旧工学部建物跡地の攪乱された部分を除き、遺構や包含層が残存していることが判明し、調査が必要であると判断した。

#### b. 調査の経過

熊本市教育委員会への埋蔵文化財の発掘調査手続き後、5月6日から5月29日にかけて建設予定地に残存していた楠の移植に伴う調査（0206調査地点）を実施し、樹木移植後、埋蔵文化財調査のための1次掘削（表土・攪乱層除去）を終えた、6月12日より本調査に着手した。

発掘調査の結果、古墳時代末から古代にかけての遺構、および縄文時代の包含層を確認した。発掘調査はおよそ2ヶ月間を要し、8月14日に無事終了した。発掘調査面積は2,803㎡であった。

#### c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：坂元紀乃

発掘作業員：伊藤千代子・岡田イツ代・岡村久美子・河野義勝・黒木重信・黒木タケ子・白川チズ子・白石美智子・新里亮人・鈴木笙子・高松北子・田口伸也・溜瀨俊子・中川毅人・野口春美・林田恵子・早田咲百合・番山明子・福田久美子・堀川貞子・前田日出男・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登・森田みどり

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜瀨俊子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山寄早苗

### （2）調査区の基本層序（図9）

本調査地点の層序は、黒髪南地区の基本的な土層堆積状況と同じである。北壁の土層（図9上段）によって説明を加える。

1層：表土・攪乱層：厚さ60cm

2-6層：黒褐色土層 (10YR2-3) 厚さ20cmほどの数枚の層からなり、一部3層に砂が多く混じる。調査区の西側のみに存在し、斜めの東から西にかけて傾斜した堆積をなす。その堆積状況からみて人為的な埋土と判断できる。

7層：黒褐色土層 (7.5YR2/2) 厚さ20~30cmの水平体積層である。調査区東側 (溝5より東側) と50cmほどの高度差があり、西側の工学部運動場建設後に堆積した層と考えられる。

8・9層：灰褐色土層 (7.5YR5/2) と黒褐色土層 (10YR2/1) 調査区東側のみに堆積する。東側は7層堆積以前に削平された可能性がある。

10層：暗赤褐色土層 (5YR3/2) 厚さ40cmほどで、堆積の基底面は調査区の東側から西側にかけて緩く傾斜している。周辺の地点でもみられる、近代遺構の耕作土の基盤となる層である。

11層：黒褐色土層 (10YR3/1) 厚さ30cmほどの水平体積総であるが、調査区の西側部分は10層に削平されている。

12層：にぶい赤褐色土層 (5YR4/4) 厚さ15cmほどの柔らかな土層である。調査区西側のみに残存する

13層：黒褐色土層 (7.5YR3/2) 厚さ50cmほどの基盤土である。

遺物の出土状況から、11層が古代遺物包含層および遺構構築面であり、11層下部から13層の上部にかけて縄文時代後期の遺物が出土する。

本調査地点は、9603・9704調査地点と同じく西側1/3が旧運動場の造成によって削平を受けており、この部分においては近代以降の堆積層である10層で覆われていた。東側の堆積状況から判断して、およそ50cm~1mほどの削平を受けたものと思われる。この上部には昭和28年の白川洪水の際の洪水砂が被覆し、その上部は被災後の処理土 (造成土) である2-6層が厚く堆積している。

### (3) 検出遺構

今回の調査では、近世末の堀1条、古代溝6条、古代竪穴住居址4基、火葬墓1基、縄文土器包含層を確認した。

#### <溝>

##### 5号溝

調査区西部にほぼ南北方向に走る幅3m、深さ1.5mの堀である。近世末の陶磁器類 (図14: 3~8) と用途不明の銅製品 (図14: 9) が出土した。陶磁器類の種類は、陶器鉢・播鉢・瓦器鉢・染付碗・青磁香炉・青磁人形片などである。

##### 12号溝

調査区西部に東西方向に走る幅2.5m、深さ50cmの断面形台形の2段掘りの溝である。南側が緩やかに立ちあがる。土師器甕・坏・須恵器坏 (図14: 10~12) などの小片が出土した。

##### 13号溝

12号溝に平行する溝である。幅1m、深さ30cmの断面U字形を呈する。土師器・須恵器の小片が少量出土している。ほぼ第12号溝と同じ時期と思われる。

これらの溝はその位置関係からみて、西側に位置する9603調査地点を東西に走る溝と連なる一連の溝であると思われる。ただし、東側は攪乱のためその端部が明確ではない。少なくとも5号溝以东へは延びていない。築造順は8・9号溝と5号溝の間に入る可能性が高い。

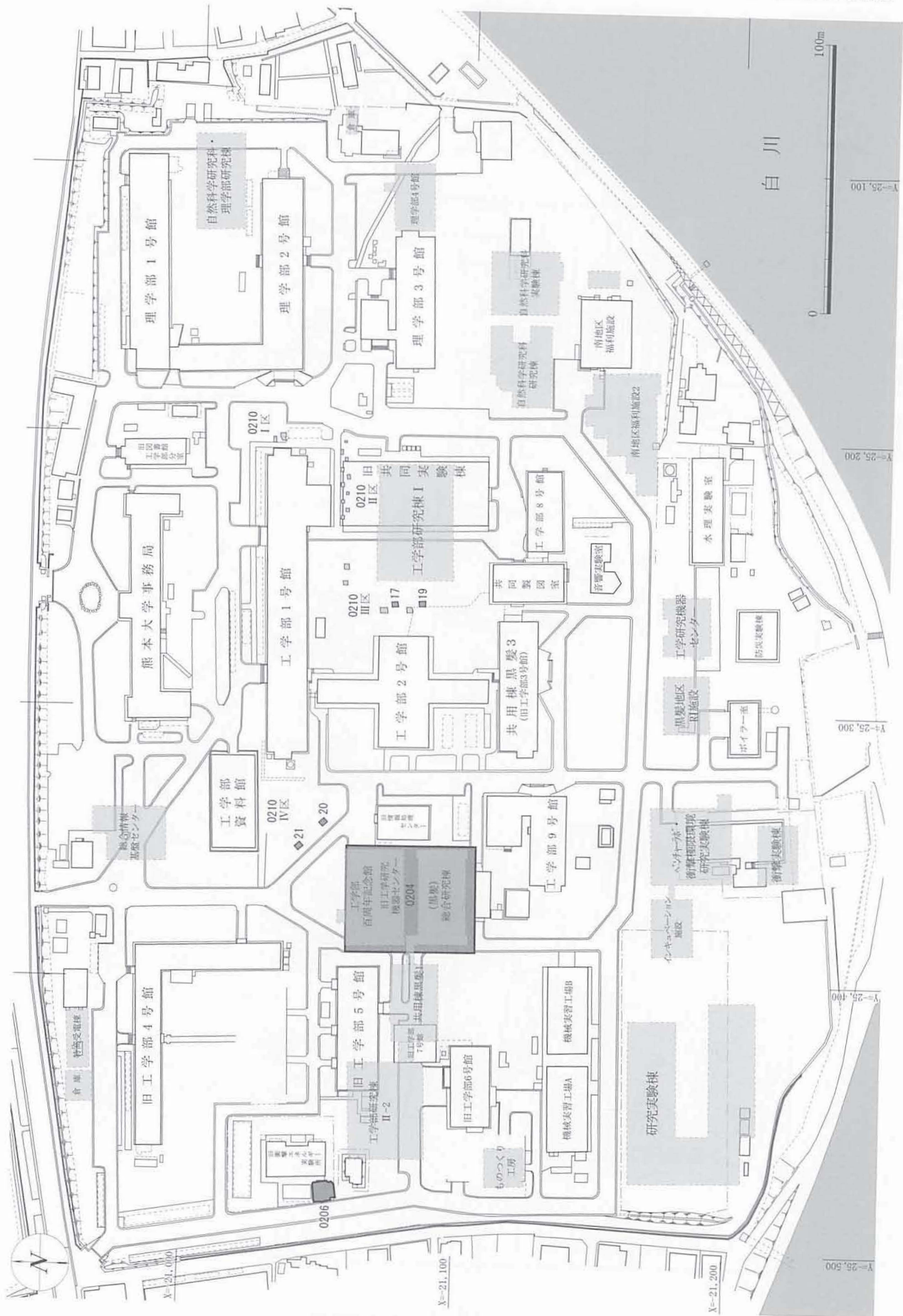


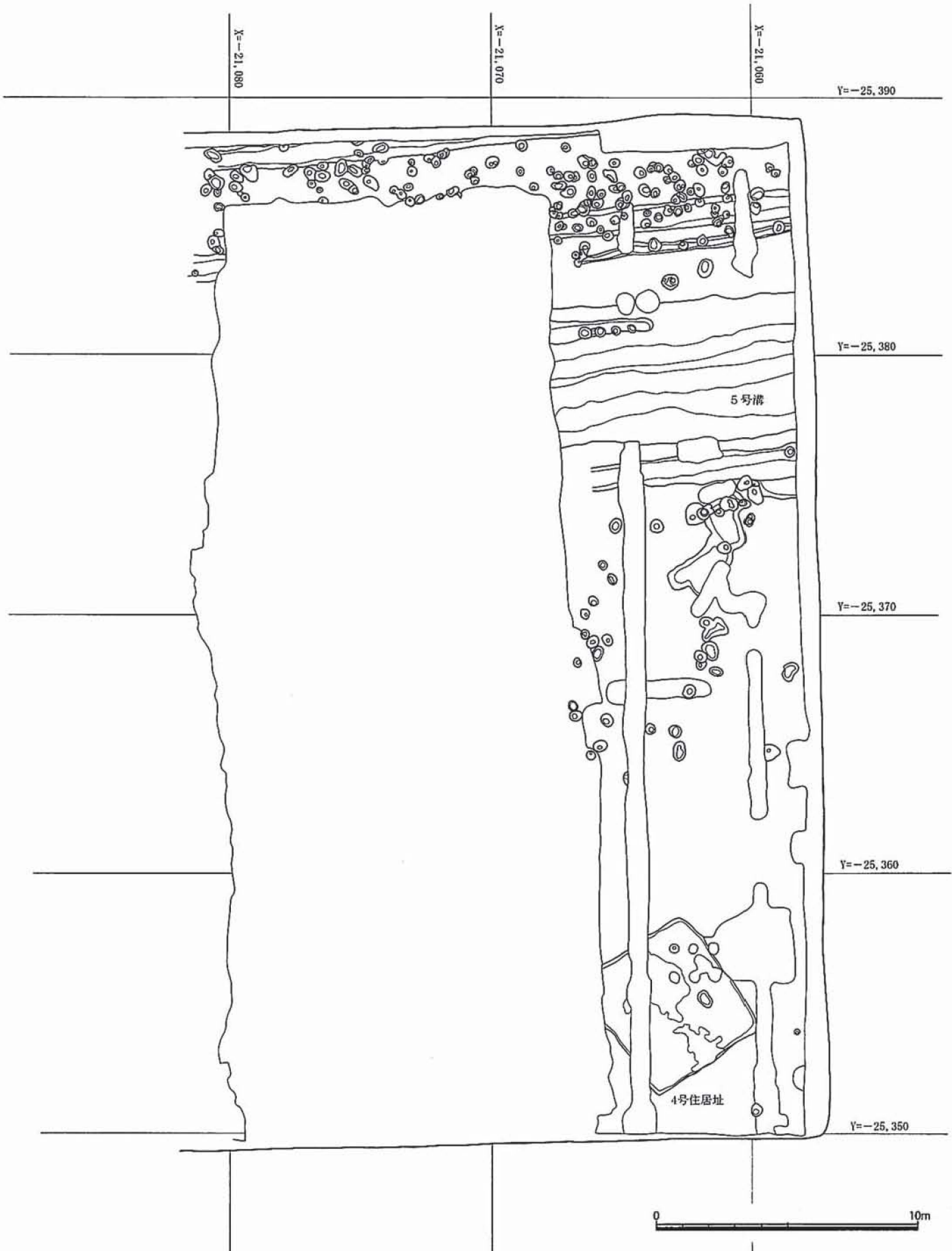
図7 黒髪南地区における調査地点位置図 (1/2000)

2. 黒髮団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)



図8 0204調査地点遺構配置実測図 (1/200)





2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)

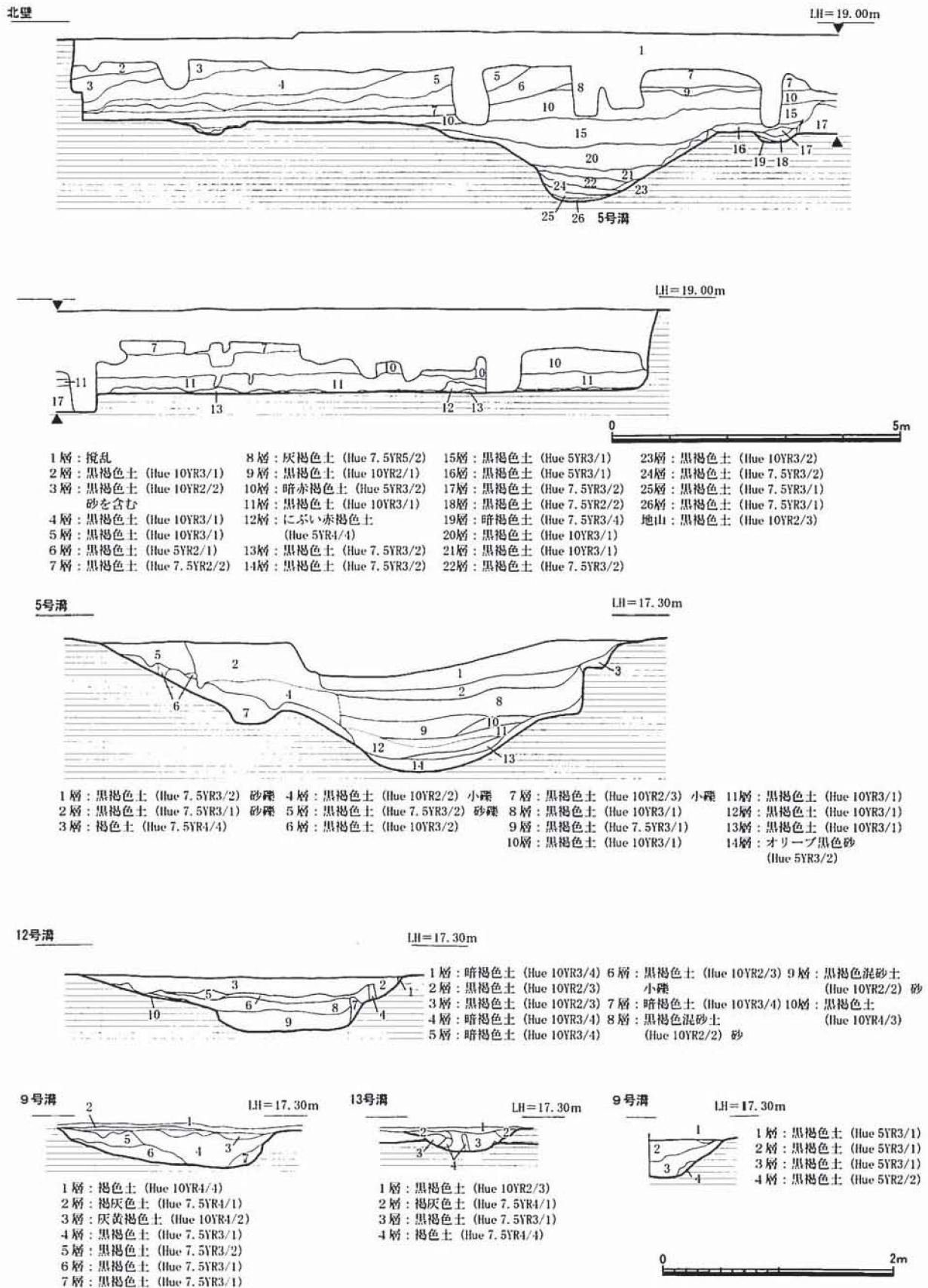


図9 0204調査地点各遺構土層断面実測図 (1/100・1/50)

## 8・9号溝

調査区の西側隅を南北方向に走る溝である。いずれも幅1m前後、深さ30～10cmである。磁北から6度西へ振れる。この方位は9603調査地点で検出した方形区画とはほぼ同じである。遺物は土師器や須恵器の細片が少量出土したが、時期を示すものに須恵器の高台付の坏などがある(図14:13～16)。ほぼ8世紀後半代の遺構と考えられる。

その位置と規模からみて、道の側溝と思われるが、残念ながらこの部分の削平が大きいことから、路面は残存していない。また両溝は平行して走るが、北側において若干距離を縮めている。

この他、調査区南側中央で約10mの距離を置いて東西に平行して走る幅80cm、深さ10cmあまりの溝2本(10号・11号溝)を検出しているが、覆土からみて古代の遺構である可能性が高い。11号溝からは土師器の坏と甕が出土している。これらは7世紀末～8世紀初めの時期のものであるが、遺物はごく少量であり、これら遺物がこれらの溝の正確な時期を表すか否かは不明である。

## <竪穴住居址>

### 1号竪穴住居址(図10)

調査区南東端で検出した方形の竪穴住居址である。規模は5×5m以上であり、西辺の南寄りに竈を設置している。ただし、竈の残存状態はあまり良好ではなく、焼けた粘土が残存し、その前面で砂岩製の支柱を検出したただけであった。住居址内には硬化面が中央西よりに認められた。住居に伴う柱穴は検出していない。土師器甕・須恵器壺の破片(図14:19～24)が出土した。床面からガラス製の小玉1点(図14:25)が出土している。

### 2号竪穴住居址(図10)

1号竪穴住居址の北側に隣接している方形の竪穴住居址である。規模は4×4mの略方形を呈する。北辺中央に竈があるが、竪穴住居址本体と竈ともに削平が激しく、残存状況はよくない。竈は粘土と右側の袖石が確認できたのみである。遺物は土師器の坏や甕形土器(図14:26～31)が住居床面から破片の状態出土した他、東辺中央付近のピット内から須恵器甕(図14:32)が破片を重ねるような状態(図10上段)で検出された。

### 3号竪穴住居址(図11)

調査区中央部東側で検出した方形の竪穴住居址である。削平を受けており、壁の立ちあがりは5～10cm程度であった。本調査地点においてはもっとも大きな住居址であり、その規模は6.5×6.3mである。北辺中央に竈をもつ。竈も攪乱によって破壊を受けていた。竈方向に長軸をもつ主柱穴6個が確認できた。その間には2面の一部重なる硬化面が細長く広がっていた。床面から土師器甕・坏・須恵器坏身の破片(図14:33～39)の他、天草地方産の凝灰岩を使用した大型の砥石1点と砂岩製の小型の砥石1点(図15:40・41)が出土した(図15:40・41)。

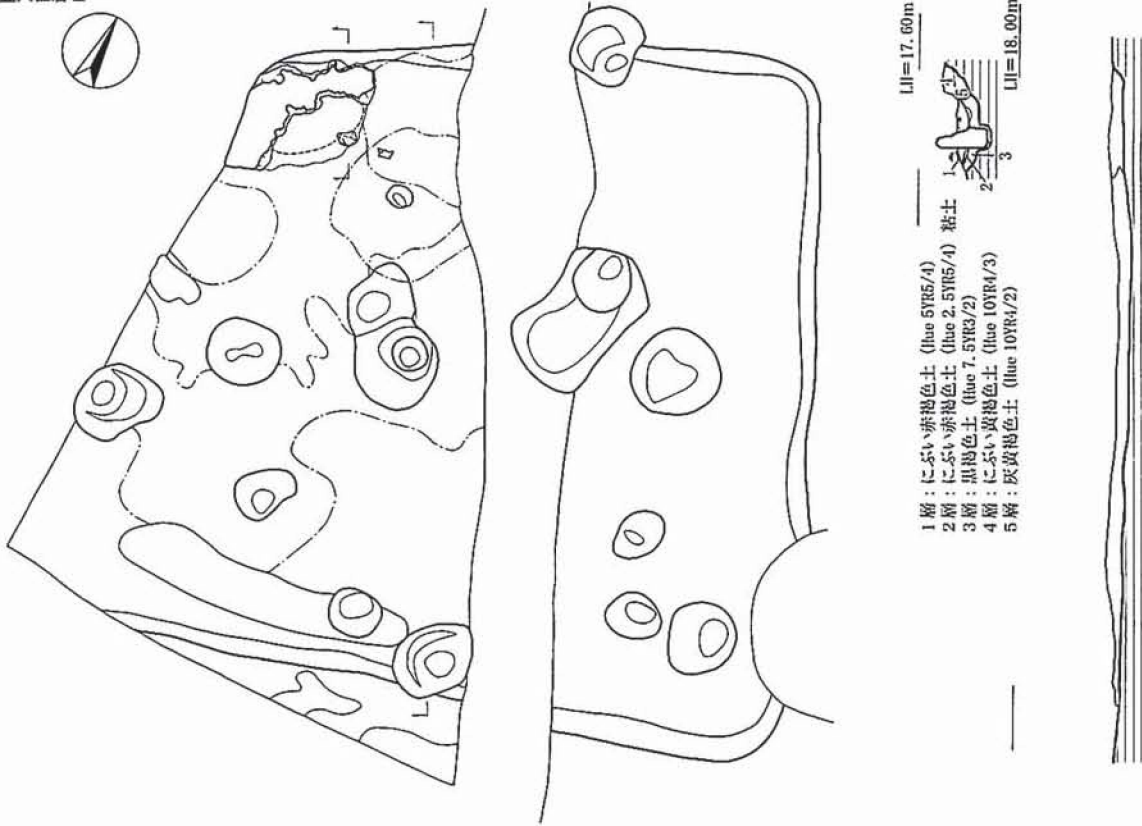
### 4号竪穴住居址(図12)

調査区北東隅で検出した方形竪穴住居址である。5.5×5.0mの規模をもつ。南部を攪乱によって切られるが、残存状況は良好であった。東辺中央に竈をもち、その前面に硬化面が認められた。竈は中央に砂岩製の短い支柱をもつが、袖石は確認できなかった。破壊され土器とともに粘土・焼土が2×1mの範囲に広がっていた。主柱穴は検出していない。竈とその南東角を中心に若干の遺物が出土した。遺物は逆刺のある須恵器坏身および土師器甕・鉢である(図15:42～53)。

各竪穴住居址の時期は、3号竪穴住居址が最も古く7世紀初で、4号竪穴住居址が8世紀前半、1・2号竪穴住居址が8世紀後半と考えられる。住居規模は時代が新しくなるにつれ小型化している。

2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)

1号竪穴住居址



2号竪穴住居址

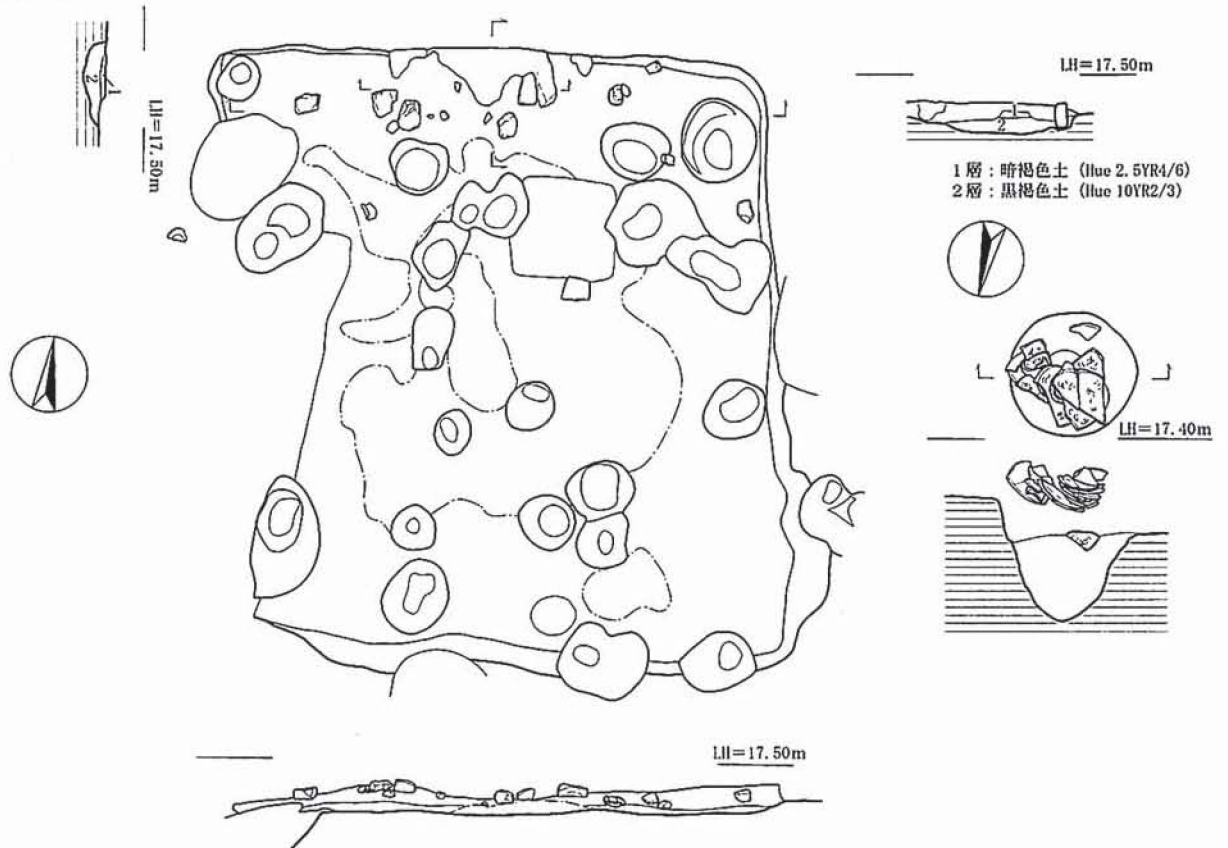


図10 1・2号竪穴住居址実測図 (1/50)

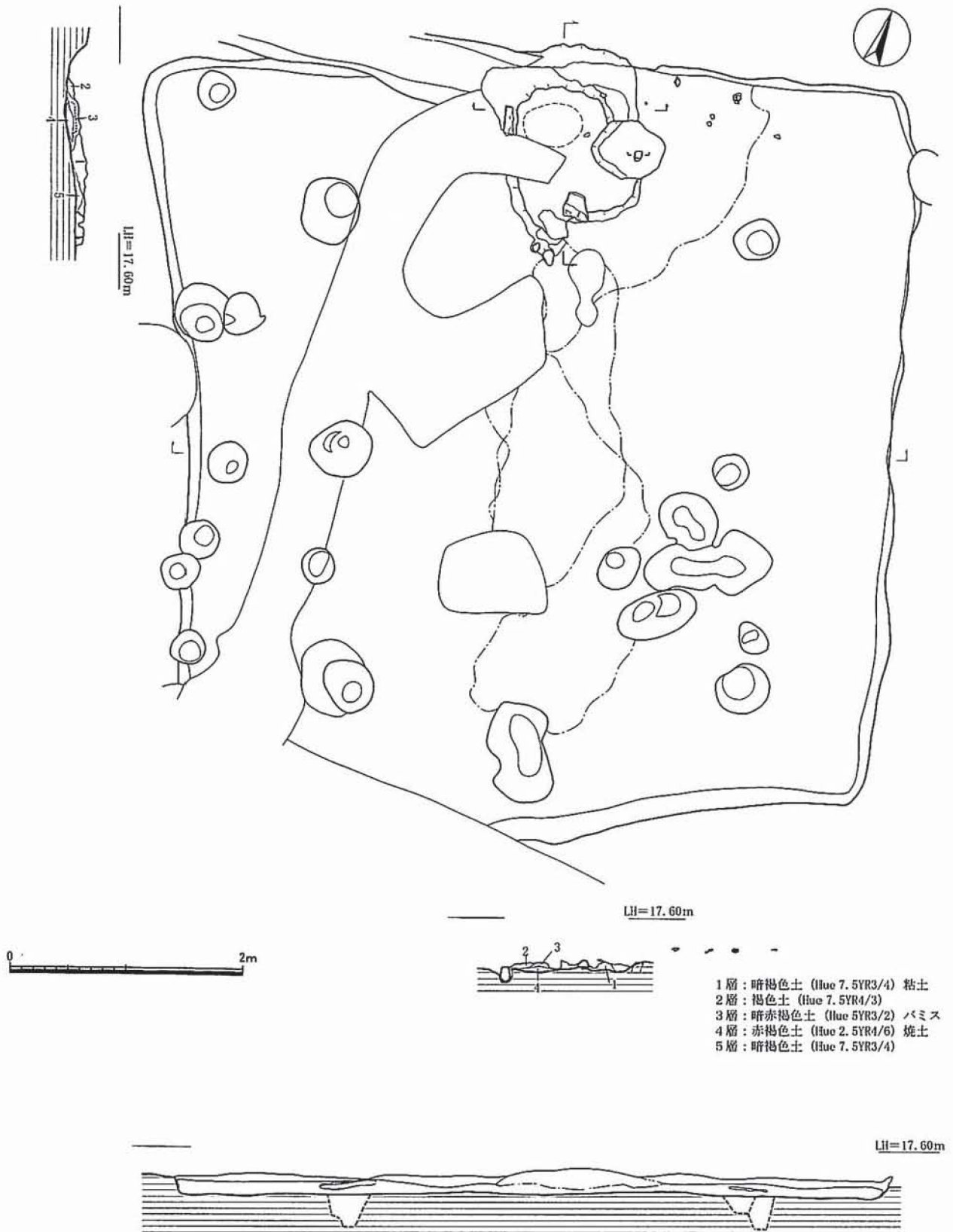


図11 3号竪穴住居址実測図 (1/50)

2. 黒髮団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)

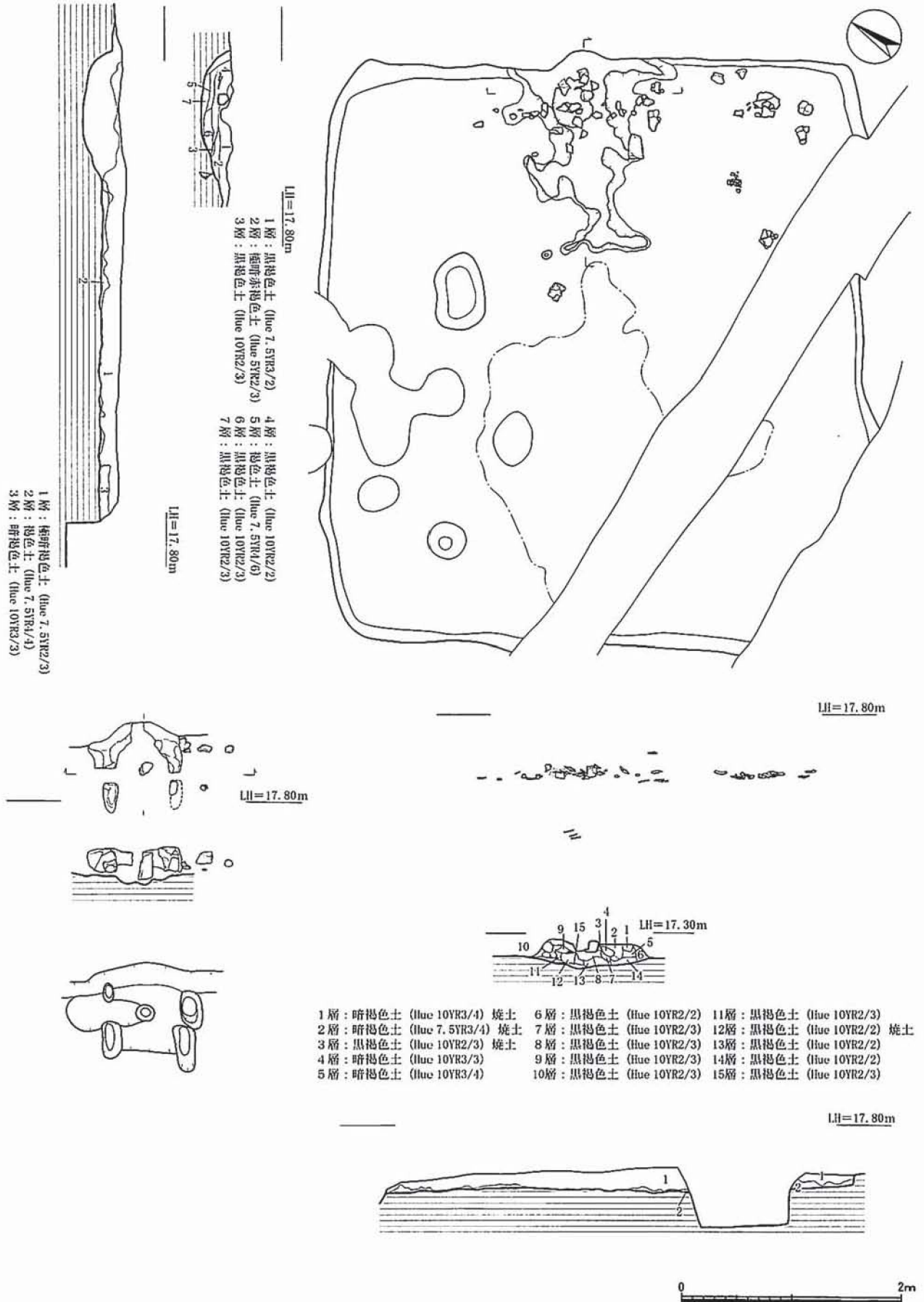


図12 4号竪穴住居址実測図 (1/50)

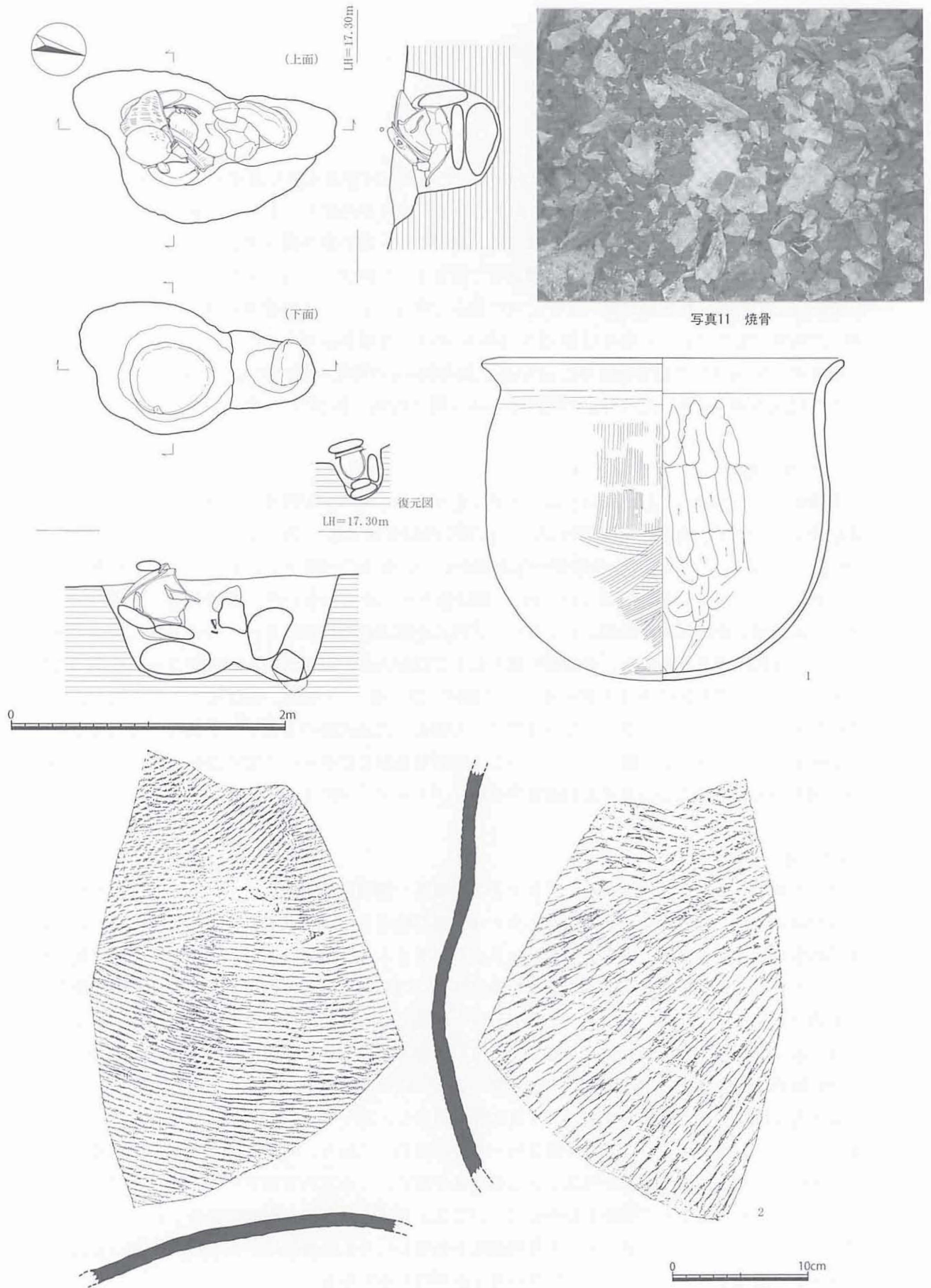


図13 21号火葬墓実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

竈の設置位置はすべて北辺側であり、共通している。

#### <その他の遺構>

##### 21号火葬墓 (図13)

3号竪穴住居址の北部1.5mのところ検出した土師器の甕形土器と須恵器の大型甕の破片を利用した蔵骨器である。長さ1m、幅50cmあまりの2つの穴が接続したような土坑を掘り、その一つの基底に円い扁平な大型礫を敷き、さらにその上部にもう一段の扁平礫を敷き、その上部に土師器甕の蔵骨器を置いている。そして、その周囲を石で囲むように配置した後、須恵器甕の破片で蓋をして、石で押さえている。検出時には、すでに石の重みで潰れており、土師器甕も割れ、内部にあった焼骨が一部外側に溢れていた。従来は復元図 (図13) のような埋葬法であったと考えられる。

蔵骨器に使用された甕形土器は口径27cm、器高24cmの薄手の器壁をもつ (図13: 1)。蓋に使用された須恵器甕の破片は底部付近の破片であり、長さ34cm、幅24cmである (図13: 2)。

#### (4) 出土遺物

遺構出土品 (図14・15) については、すでに述べているので、省略する。図16: 54~61はピットや単独出土の古代の土師器・須恵器である。図16: 60は寛永通宝、同61は鉄鎌である。同62は布目瓦 (平瓦) 片である。このほか、各遺構や包含層から、弥生時代中期中ごろを中心とした甕形土器の口縁部片が検出されている (図16: 63~69)。原位置をとどめていないが、本調査地点西側の9704調査地点では該期の甕棺墓群が検出されており、古代に造成される以前はこの一帯にも弥生時代の遺構が存在した可能性がある。また、各遺構の覆土および13層上面の包含層から縄文時代後期前半と後期末を中心とした土器片30点あまりが出土した (図16: 73~93)。である。後期前半 (北久根山式) に遡る資料も若干存在するが、中心となる時期は、天城式・古閑式期のもので、小破片ではあるが、同期の深鉢形土器や浅鉢形土器類が出土している。黒曜石製およびチャート製の剥片とともに、後期後半の九州系の玉の素材となるクロム白雲母岩の小片 (チップ) が出土している。

#### (5) まとめ

今回の調査では縄文時代晩期から近世末までの遺構・遺物を検出した。その中でも重要な成果としてはやはり古代官道の側溝と考えられる8・9号溝を検出したことであろう。これらの溝は9603調査地点の東側にこれらに対応する側溝が無い点から推測すると、古代官道の延長部にあたる可能性が高い。この可能性の信憑性は9603調査地点で検出された方形区画の東西辺の溝がこの2本の側溝を越えて本調査区内まで伸びていないという事実から一層高くなる。両調査地点の間の状況が不明なので断言はできないが、この区画は先に予想した官道の西側溝に取り付く可能性がでてきた。しかし、東西方向の区画としては12・13号溝や10・11号溝のように別の区画が存在したことを示している。10・11号溝は道路に取り付く脇道の側溝である可能性もあるが、削平と5号溝によって破壊され、8・9号溝との関係は不明である。12・13号溝は8・9号溝を切っており、時期的に下るものであるが、調査区の途中で5号溝に連なる近世の溝である可能性が高く、この道路を取巻く一帯の区画がどのような状況で、しかもどのように変遷したのかについては、今後より面的な調査が継続されなければ明確な判断は下せない。しかし、少なくとも東西南北を基調とした土地区画は、この付近に限って言えば、近世末まで継承されていたことは5号溝の存在から明らかである。

この一帯は白川の河川敷と台地を隔てる段丘崖縁に位置しており、駅関連施設が存在したとすれば、



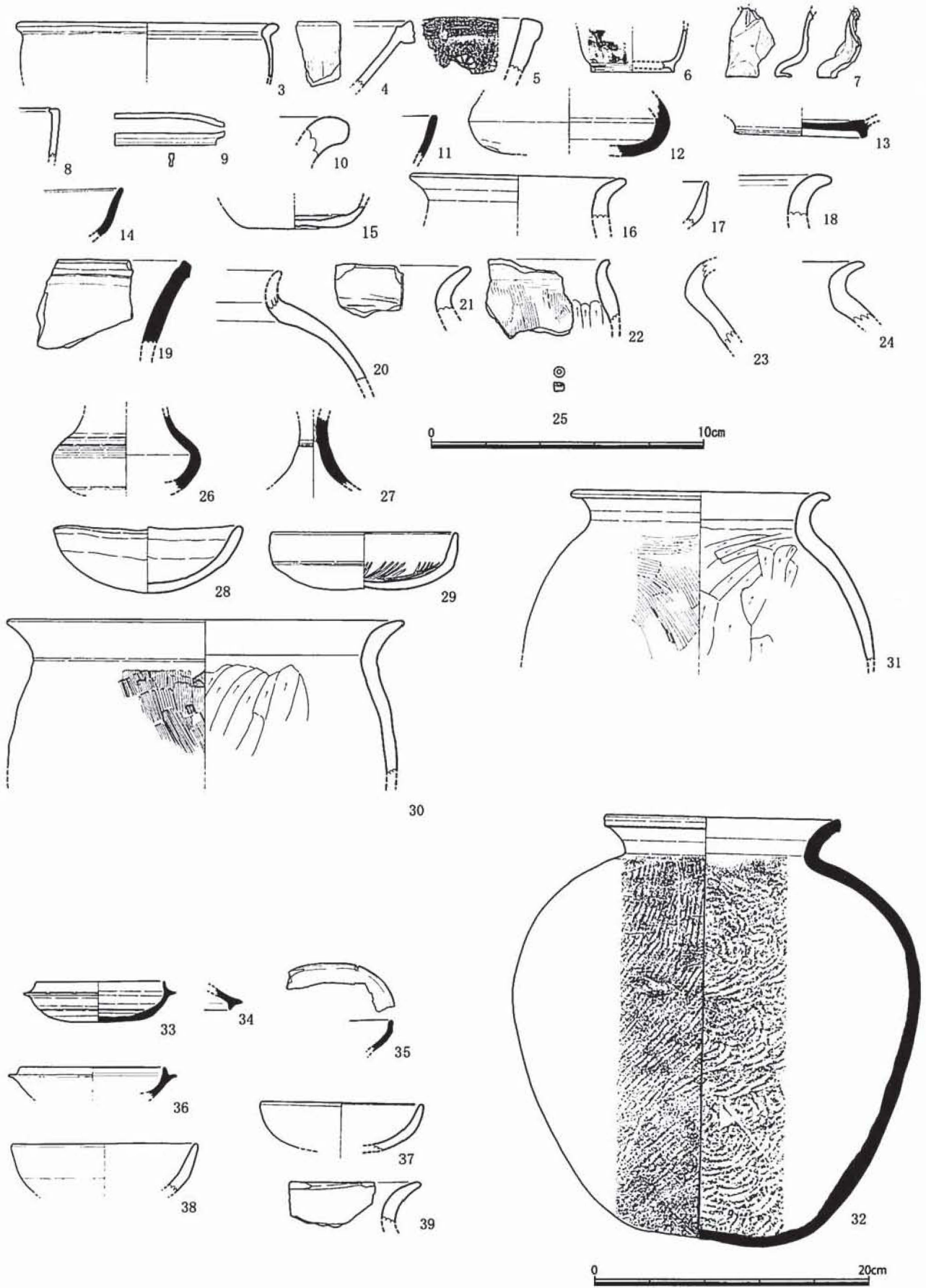


図14 0204調査地点出土遺物実測図1 (1/2・1/4)

2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)



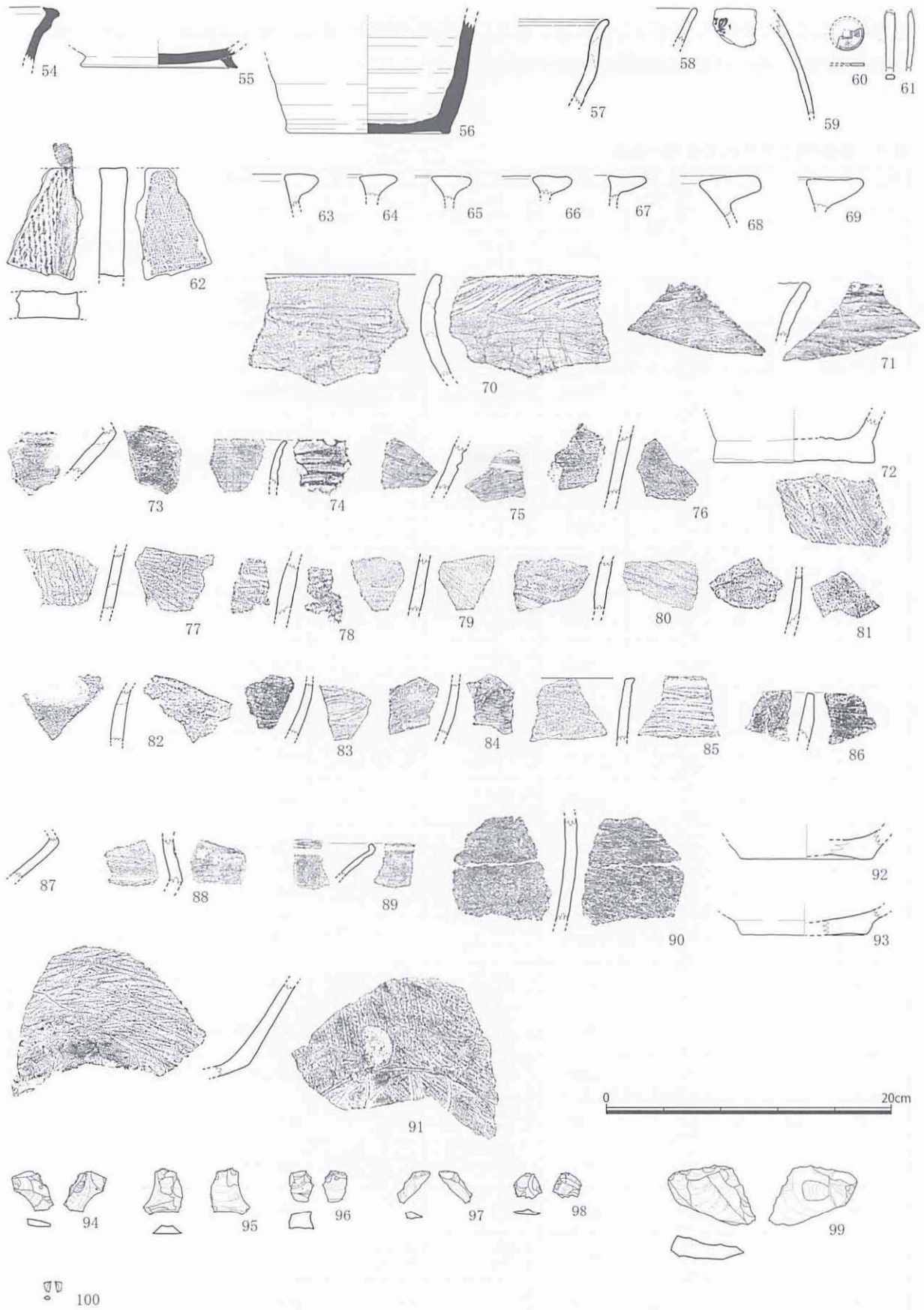


図16 0204調査地点出土遺物実測図3 (1/4・1/3)

2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)

位置的に見てこの付近が最も有力な候補である。今後は西側の (9704・9603調査地点) 地点で検出された方形区画と掘立柱建物の時期的変遷が重要な焦点となろう。

表4 0204調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 質	出土遺構	備 考
13	1	土師器	甕	口径 27.0 底径 器高 24.0	3/4	内：ヘラ削り、回転ナデ 外：ハケ目、回転ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	21号火葬墓	磁片器
	2	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 25Y7/2 外：Hue 10YR4/2	21号火葬墓	磁片器蓋 (受胴部片転用) 自然釉あり
14	3	陶器	鉢	口径 19.0 底径 器高	口縁部片	内： 外：	内：Hue 7.5YR3/1 外：Hue 7.5YR3/1	5号溝 (Ⅰ区)	
	4	陶器	すり鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ハケ目、回転ナデ、 削り 外：回転ナデ、削り出し	内：Hue 5YR4/2 外：Hue 7.5YR4/2	5号溝付近	赤焼
	5	瓦器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 2.5YR4/1 外：Hue 10YR1.7/1	5号溝 (Ⅰ区)	
	6	磁器 (染付)	碗	口径 底径 器高 6.0	底・胴部片	内： 外：	内：白色 外：白色	包含層 5号溝付近	白い磁台に呉須で染付
	7	磁器 (青磁)	人形	長さ 5.1 幅 3.5 厚さ 0.5		内：ナデ 外：釉	内：Hue 7.5YR6/2 外：Hue 5G6/1	5号溝	
	8	磁器 (青磁)	香炉	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y8/2 外：Hue 5GY7/1	5号溝	
	9	銅製品	不明	長さ 7.9 幅 1.1 厚さ 0.35		内： 外：	内：Hue 外：Hue	5号溝	重量11.8g
	10	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 10YR8/6	12号溝 (Ⅲ区)	
	11	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y6/1	12号溝 (Ⅲ区)	
	12	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR6/1 外：Hue 5YR4/1	8号溝 (Ⅲ区)	
	13	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.7	底部のみ	内：回転ナデ 外：ナデ、削り	内：Hue 10Y5/1 外：Hue 7.5YR6/1	9号溝 (Ⅲ区)	外面に自然釉あり
	14	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue N6/0 外：Hue N7/0	9号溝 (Ⅱ区)	外面に自然釉あり
	15	土師器	坏	口径 底径 器高 6.5	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	9号溝 (Ⅱ区)	
	16	土師器	甕	口径 16.0 底径 器高	口縁部片	内：ナデ、ハケ目 外：ナデ	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR6/3	9号溝	
	17	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/3 外：Hue 10YR7/3	11号溝・30号遺構	外面に黒色磨研
	18	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/4	11号溝	内外面にスス付着
	19	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 2.5Y7/3	1号竪穴住居址 P-1	
	20	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 2.5YR4/6	1号竪穴住居址	丹塗り
	21	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue	1号竪穴住居址東側	
	22	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 5YR3/1 外：Hue 5YR5/3	1号竪穴住居址	内面にスス付着
23	土師器	甕	口径 底径 器高	破片	内：削り 外：ナデ	内：Hue 外：Hue	1号竪穴住居址東側	丹塗り	
24	土師器	甕	口径 底径 器高	破片	内：削り 外：ナデ	内：Hue 外：Hue	1号竪穴住居址東側	丹塗り	
25	ガラス製品	玉 (ブルー)	長さ 0.4 幅 0.35 厚さ 0.4	完形	内： 外：	水色	1号竪穴住居址床面	重量0.1g	
26	須恵器	小壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、ハケ目、 削り	内：Hue 7.5YR5/3 外：Hue 7.5YR4/3	2号竪穴住居址床下		

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色	出土遺構	備考
14	27	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 25YR6/2 外: Hue 5Y6/2	2号壑穴住居址 P-10	外面に線状痕あり
	28	土師器	甗	口径 13.6 底径 器高 4.9	ほぼ完形	内:回転ナデ, 磨き 外:回転ナデ,	内: Hue 10R5/6 外: Hue 2.5YR6/6	2号壑穴住居址	
	29	土師器	坏	口径 13.7 底径 6.0 器高 4.2	約1/4	内:回転ナデ, 磨き 外:回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	2号壑穴住居址	外面にスス付着・線状痕あり
	30	土師器	甗	口径 28.6 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 5YR6/6	2号壑穴住居址 P-8・ P-14	内面にスス付着
	31	土師器	甗	口径 19.0 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR5/3 外: Hue 5YR5/4	2号壑穴住居址 P-4・ 床下	内外面にスス付着 黒斑あり
	32	須恵器	甗	口径 17.5 底径 10.0 器高 31.3	2/3	内:回転ナデ, 削り, タタキ 外:回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5B4/1 外: Hue 5B4/1	2号壑穴住居址 P-2	内面に青海叩き痕あり
	33	須恵器	坏	口径 9.2 底径 5.0 器高 2.9	2/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y4/1	3号壑穴住居址 P-1・ 複乱 (Ⅱ区)	
	34	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	3号壑穴住居址竈周辺	
	35	須恵器	坏?	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10Y3/1 外: Hue 10Y3/1	3号壑穴住居址	
	36	須恵器	坏	口径 10.3 底径 器高	口縁部の1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR5/3 外: Hue 10YR5/2	3号壑穴住居址竈周辺	
	37	土師器	坏	口径 12.0 底径 器高	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR3/2 外: Hue 7.5YR5/2	3号壑穴住居址 P-4	内外面に丹塗りか?
	38	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 磨き 外:回転ナデ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR6/3	3号壑穴住居址 P-5	外面黒色磨研
	39	土師器	甗	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	3号壑穴住居址 P-12	
	15	40	石器	砥石	長さ 21.25 幅 7.5 厚さ 6.8	完形	内: 外:	灰色	3号壑穴住居址
41		石器	砥石	長さ 5.25 幅 2.5 厚さ 2.1	完形	内: 外:	白茶褐色 (栴檀様)	3号壑穴住居址	重量360g 砂岩
42		須恵器	坏	口径 底径 器高 6.8	1/5	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 10Y4/1	4号壑穴住居址覆土	
43		土師器	製塩土器?	口径 17.0 底径 器高	1/4	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	4号壑穴住居址No30	
44		土師器	小型丸底壺	口径 9.5 底径 器高 10.2	1/2	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR5/4	4号壑穴住居址No6・ 覆土	外面にスス付着 黒斑あり
45		土師器	甗	口径 21.0 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 磨き, 削り 外:回転ナデ, ヘラ磨 き, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 2.5YR4/6	4号壑穴住居址No1	内外面口縁部に丹塗り
46		土師器	甗	口径 底径 器高	約1/2	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/6 外: Hue 5YR5/4	4号壑穴住居址	内外面にスス付着
47		土師器	甗	口径 18.4 底径 器高	約1/2	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	4号壑穴住居址 No13・No17・No22・ No24・No25・No26・ No33・覆土・燻焼土・ 燻焼土周辺・甗	
48		土師器	甗	口径 9.6 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	4号壑穴住居址焼土	
49		土師器	甗	口径 21.0 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	4号壑穴住居址・覆土	外面にスス付着
50		土師器	甗	口径 22.2 底径 器高	1/5	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 7.5YR7/4	4号壑穴住居址 No7・ No8・No18・覆土	内外面にスス付着
51		土師器	鉢	口径 26.2 底径 器高 15.4	1/5	内:回転ナデ, 削り, ハケ目 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	4号壑穴住居址No3	内外面にスス付着
52		土師器	甗	口径 15.3 底径 器高	約1/3	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 5YR5/4	4号壑穴住居址No4	
53		土師器	甗	口径 16.0 底径 器高	1/6	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR5/4	4号壑穴住居址竈	
16		54	須恵器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 5Y4/1	28号遺構

2. 黒髪団地南地区総合研究棟新営工事に伴う発掘調査 (0204調査地点)

区	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
16	55	須恵器	鉢	口径 底径 器高 10.8	底部1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	37号遺構	
	56	須恵器	鉢もしくは壺	口径 底径 器高 11.2	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25Y6/1 外: Hue 25Y6/1	40号遺構	
	57	土師器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR4/6 外: Hue 25YR4/6	52号遺構	丹塗り
	58	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	40号遺構	外面に黒塗(判読不明)あり
	59	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内: 削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10R4/6	P-2001	丹塗り
	60	銅 鏡	寛永通宝	長さ 幅 厚さ 2.4 2.4 0.15	1/4	内: 外:	内: Hue 外: Hue	41号遺構	重量1.2g 寛永通寶
	61	鉄 器	鐵	長さ 幅 厚さ 4.0 0.9 0.35		内: 外:	内: Hue 外: Hue	P-20010	重量3.6g
	62	瓦	布目瓦	長さ 幅 厚さ 7.9 5.3 1.9	破 片	内: 布目 外: 布目, 磨き	内: Hue 10YR3/1 外: Hue 10YR3/1	包含層(Ⅱ区)	
	63	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR8/3 外: Hue 7.5YR6/3	包含層(Ⅲ区)	
	64	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外:	内: Hue 25YR7/2 外: Hue 25YR7/3	9号溝(Ⅲ区)	
	65	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外:	内: Hue 25YR6/3 外: Hue 25YR6/3	9号溝(Ⅲ区)	
	66	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y7/3 外: Hue 10YR8/2	包含層(Ⅱ区)	
	67	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外:	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 25YR7/3	12号溝(Ⅲ区)	
	68	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 25YR8/3	8号溝(Ⅲ区)	
	69	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25YR7/4 外: Hue 25YR7/3	9号溝(Ⅲ区)	
	70	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y7/3 外: Hue 25Y6/3	P-20015	口縁外面に斜線文あり
	71	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 25Y4/2	P-20005	口唇部に刻目文あり
	72	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高 11.3	底部1/3	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/3	42号遺構	
	73	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: 削り 外: 磨き	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 7.5YR4/3	13号溝(Ⅲ区)	
	74	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き?	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	12号溝(Ⅲ区)	内面に黒斑あり
	75	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y6/4 外: Hue 25Y6/3	樹地山直上	外面に凹線文あり
	76	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: 削り 外: 磨き, ハケ目	内: Hue 25YR5/2 外: Hue 10Y R 5/3	11号溝	
	77	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: 磨き 外:	内: Hue 25YR6/3 外: Hue 10YR6/3	11号溝	
	78	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ? 外:	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	15号遺構	
	79	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y7/4	包含層(Ⅲ区)	
	80	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y4/3	P-20015	
	81	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ? 外:	内: Hue 25YR4/2 外: Hue 10YR4/2	9号溝(Ⅲ区)	
	82	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: 回転ナデ 外:	内: Hue 25Y5/2 外: Hue 7.5YR5/4	20号遺構(Ⅲ区)	外面にスス付着
	83	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外:	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 5Y5/2	9号溝(Ⅱ区)	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色	出土遺構	備考
16	84	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 5Y2/1	8号溝（Ⅱ区）	黒斑か？
	85	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y3/2	西包含層（Ⅰ区）	
	86	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き？	内：Hue 2.5YR7/3 外：Hue 10YR7/3	13号溝（Ⅲ区）	
	87	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 2.5Y7/4 外：Hue 10YR8/4	包含層（Ⅰ区）	
	88	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5Y6/3 外：Hue 2.5Y6/4	擬乱（Ⅱ区）	
	89	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き？	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 10YR5/3	3号壘穴住居址	外面スス付岩か？ 沈線紋あり
	90	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 2.5Y3/1	包含層（Ⅰ区）	
	91	縄文土器	鉢形土器？	口径 底径 器高	胴部下半	内：磨き 外：	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	11号溝	
	92	縄文土器	深鉢形土器	口径 9.6 底径 器高	底部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 2.5Y7/4 外：Hue 10YR7/4	P-20008	
	93	縄文土器	深鉢形土器	口径 8.6 底径 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5Y6/4 外：Hue 10YR6/4	包含層（Ⅰ区）	
	94	石器	剥片	長さ 2.1 幅 2.2 厚さ 0.65	完形	内： 外：	黒色	包含層	重量1.8g 黒曜石
	95	石器	使用痕のある剥片	長さ 2.5 幅 2.0 厚さ 0.45	完形	内： 外：	黒色	包含層	重量2.0g 黒曜石
	96	石器	剥離痕のある剥片	長さ 1.65 幅 1.35 厚さ 0.95	完形	内： 外：	黒色	包含層	重量2.1g 黒曜石
	97	石器	剥片	長さ 1.7 幅 1.7 厚さ 0.35	完形	内： 外：	黒色	包含層	重量0.6g 黒曜石
	98	石器	小剥片	長さ 1.35 幅 1.5 厚さ 0.35	完形	内： 外：	黒色	包含層	重量0.5g 黒曜石
	99	石器	剥片	長さ 3.3 幅 4.1 厚さ 1.3	完形	内： 外：	青緑色	包含層	重量17.0g
	100	石片	玉原石片	長さ 0.75 幅 0.55 厚さ 0.25	完形	内： 外：	緑色	包含層	重量0.1g クロム白雲母岩

### 3. 黒髪団地南地区総合研究棟新営に伴う樹木移植工事に伴う発掘調査 (0206調査地点)

#### (1) 調査の目的と経過

##### a. 調査地と調査経緯

本調査地点は工学部・理学部が所在する黒髪南地区の西端中ほどに位置する。工学部研究棟Ⅱ-2の北西隅に位置する。南東側に隣接する9704調査地点(工学部研究棟Ⅱ-2敷地 熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ)では甕棺墓群が確認され、また南地区北西隅の市側の市道付近においても過去に甕棺墓が発見されている。9603調査地点では古代および近世の遺構・墓地が調査されており、本調査地点一帯は、弥生時代から近世にかけての遺跡が密集する範囲である。

本地点の調査は、黒髪団地南地区統合研究棟を建設するにあたり、建設予定地(0204調査地点 本書)内にあり支障となる樹木の移植先である。本地点は小さな建物(倉庫)の跡地のため攪乱を受けていると予想された。重機による掘削をしたところ、旧建物の基礎などを除去した後、地表下2.5mで遺構面(地山)を検出したため、調査を実施した。また、移植元である樹木周囲についても、掘削範囲内から古代の遺物包含層及び遺構が検出されたが、0204調査地点内であるので、移植元の調査については、まとめに概要を記す。

##### b. 調査の経過

移植先 2002年5月20日 一次掘削開始、作業員による作業開始。  
5月21日 遺構掘削、遺物検出と記録(全体写真)、測量。  
5月22日 測量。調査終了。  
移植元 2002年5月24日 深さ確認のための掘削立会。  
5月27日 作業員による作業開始。遺構掘削、遺物検出。  
5月28日 遺構掘削、遺物検出と記録(全体写真)、測量。  
5月29日 測量。調査終了。

##### c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：坂元紀乃

発掘作業員：岡田イツ代・黒木重信・黒木タケ子・白石美智子・溜渕俊子・早田咲百合・

番山明子・福田久美子・堀川貞子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・

溜渕俊子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山崎早苗

#### (2) 調査区の基本層序 (図17)

表土のすぐ下は旧建物による攪乱層、その下は1層、2層となる。1層は現代の埋土層、2層は昭和28年の洪水による砂の堆積層である。鉦物の沈殿層とそれらに挟まれた4層(5層上面)は旧運動場面で、北に位置する特高受電棟建設に伴う調査時にも(0102調査地点)、地表下2mで塹壕跡を検出している。9704調査地点では、4層を洪水砂(2層)が直接被覆しており、3層は運動場を造成しなおした際の客土と考えられる。5・6層は近世末の耕作土、7・8層は同時期の古代の遺構埋土



と思われる。

### (3) 検出遺構 (図17)

本調査地点では、古代の遺構が形成される柔らかい地山層は削平されており、近世耕作土を除去すると、地山層下の砂岩ブロック状の硬い基盤層が検出された。この基盤層は西側に向かって緩やかに傾斜していた。この傾斜面に沿うように、幅1.5m、深さ0.2~0.5m程度の浅い溝状の窪みがあり、そこから成人用甕棺の破片が出土した。溝状の窪みが墓塚であるかは不明である。破片は、口縁がやや散乱し向きもばらばらである。層序の観察からは5・6層が乱れない水平堆積をしており、この5・6層の造成の際に墓塚と甕棺は破壊されたと考えられ、破片はその際に動かされ、或いは乱雑に集めて埋められた可能性がある。

### (4) 出土遺物 (図17)

甕の破片を復元した結果、底部を欠くがほぼ縦に半裁した形状になった。凸帯は口縁下には付けず、やや低い位置に断面三角形の凸帯2条が廻ると考えられる。口縁は丸味を帯びたT字形を呈し、やや外側に低く傾斜する。焼成は堅緻で器壁が薄い。これらの特徴から、甕棺は橋口編年のK II c式(汲田式)である。2の蓋は直線的でふくらみをもたない円錐形である。3は小型と考えられる甕棺の口縁部である。

### (5) まとめ

まず、移植元について概要を記す。位置は0204調査地点の南半、やや東寄りに位置する。共同溝の基礎脇にあったため、樹木の周囲をドーナツ状に、直径約5mの半円状に掘削した。掘削した結果、0204調査地点で検出された、10号溝が樹木の根の部分以外で検出され、ほかピットが検出された。出土遺物は、土師器片・須恵器片である。

移植先である本調査地点で検出された甕棺は、9704調査地点で確認された甕棺墓群の列の延長上に位置しており、同じ墓域を形成した甕棺であると考えられる。9704調査地点で検出された甕棺は、弥生時代中期後半のK III a式(須玖式)と黒髪式である。本調査地点の甕棺は、弥生時代中期前半のK II c式(汲田式)であることから、本調査地点の甕棺のほうが1型式古い。

検出状況についてであるが、同じ運動場造成範囲にありながら、9704調査地点の甕棺は破壊を免れたものもあり、受けた破壊の程度には大きな差がある。本調査地点では、甕棺片は標高16.10~15.60mの間で検出された。最も深い地点を甕棺の墓塚底部付近とし、9704調査地点の墓塚構造を参考とすると16.80m程が墓塚の掘り方であったと考えられる。9704調査地点では、最も深い墓塚の掘り方は標高14.00m、他も15.20mほどまで深く掘削されている。本地点と同じ深さの甕棺は、本地点同様に全壊に近い状態まで破壊されている。しかし、一方では標高16.40mでも、甕棺を斜位に設置する際に最初に掘削される長方形土塚から残されたものもある。土層を確認すると、本調査地点では、標高16.30m前後にまで、運動場造成前の地山削平が及んでいる。9704地点では、調査区北西部は同様の深さまで削平されているが、約10m南東側では、標高17.20m程度までしか、造成による破壊が及んでいない。

9704調査地点の甕棺群の深さと位置関係を整理すると、本調査地点に近いものは、墓塚の掘り方がやや浅かったことと、運動場造成前に行われたと考えられる地山の削平が深く及んだことで壊滅的な破壊を受けた。南東側に位置した甕棺は地中深くに設置されたことと、地山の削平が南になるにつれ



浅くなったことにより、破壊の程度が軽くなった。甕棺の遺存状況の差は、墓塚の掘削の深さと後世に行われた土地改造の条件の差といえる。

以上、本調査地点で古い甕棺が検出されたことと、墓塚掘削の深さの違いから、一連の甕棺墓域について北側から形成が開始され、南西側に展開していったと考えられることと、次第に墓塚を深く掘削し甕棺を埋設するようになったと考えられる、という新たな知見を得る成果となった。

表5 0206調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
17	1	弥生土器	甕の蓋	口径 底径 器高 11.7	底部～胴部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR4/4 外：Hue 7.5YR4/4	集中・No1・No13・No15・No16・一括・攪乱	甕棺（上甕）
	2	弥生土器	甕 棺	口径 底径 器高 92.0	1/3	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR4/4	集中・No23・No24・No80・No89・他	甕棺（下甕）
	3	弥生土器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 10YR7/4	西攪乱	

## 4. 黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査 (0210調査地点)

### (1) 調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

黒髪南地区総合研究棟 (0204調査地点) の建設に伴い新設する共同溝の設置、および道路敷設予定箇所に植栽されている樹木を移植する必要が生じた。移植先の候補地として工学部1号館と工学部研究棟Iの間の緑地帯、および工学部研究資料館南側の緑地帯が挙げられた。周辺での既往調査により遺物包含層および遺構の存在が予想されたため、移植工事に先だって2002年10月よりおよそ3日間移植地の発掘調査を実施した。コンクリート基礎が出たために移植不能と判明したトレンチについては、近くに新たなトレンチを設定し、11月中旬に調査を実施した。

樹木移植予定地のうち遺物包含層に達する深さ80cm以上のものを選択し、計21箇所のトレンチを設定し、調査を実施した。トレンチの配置は工学部1号館南・東側で15箇所、工学部研究棟 (I) 西側で4箇所、工学部研究資料館南側で2箇所であった。工学部1号館南・東側のトレンチ (1~15) はすべて攪乱されており、遺構は検出していない。工学部研究棟 (I) 西側では4個のトレンチ (16~19) を設定したが、2つのトレンチ (17・19) において包含層・遺構面を確認した。また、工学部研究資料館南側では、古代遺構と縄文時代の遺物包含層を確認できた (トレンチ20・21)。

#### b. 調査の経過

2002年10月1日 掘削開始、1~15トレンチ。作業員による作業開始。

10月2日 16~21トレンチ掘削、遺構掘削、遺物検出と記録 (全体写真)、測量。

10月3日 遺物検出と記録 (全体写真)、測量。調査終了。

11月18日 18トレンチ再掘削、調査終了。

#### c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：坂元紀乃

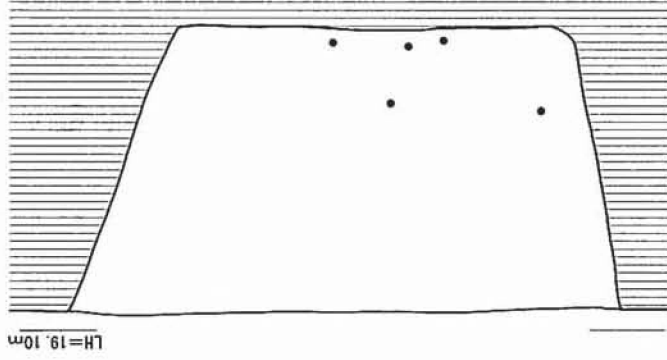
発掘作業員：伊藤千代子・岡田イツ代・押方富江・河野義勝・白石美智子・高松北子・田口伸也・溜淵俊子・野口春美・林田恵子・早田咲百合・福田久美子・堀川貞子・松井昭子・水上順子・宮村邦子・森川征子・森川護・森田登・森田みどり

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・古賀敬子・首藤優子・末吉美紀・溜淵俊子・林田恵子・早田咲百合・増井弘子・山寄早苗

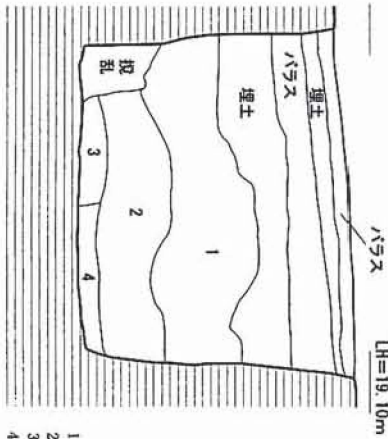
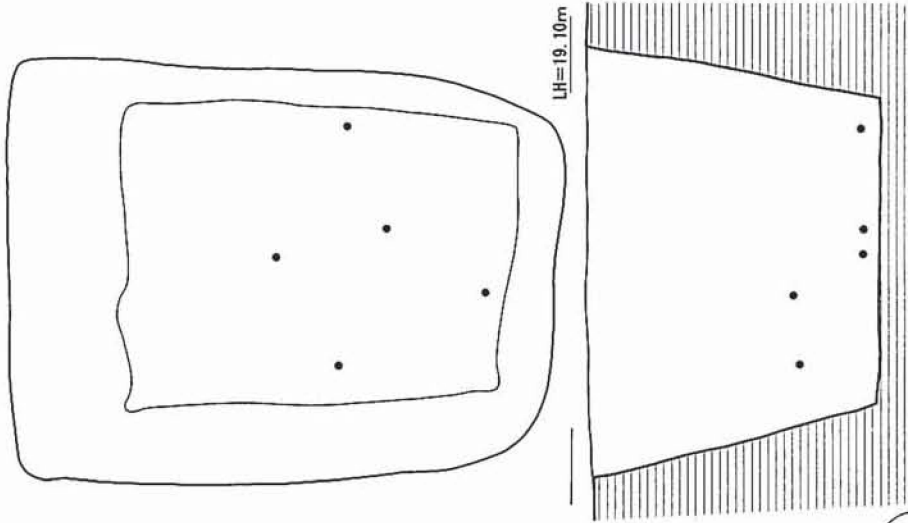
### (2) 調査区の基本層序 (図18・19)

本調査地点一帯の基本層序は、上部に厚さ80cmあまりの表土および埋土が堆積しており、その下部に近代の遺物包含層 (畑地) である黒褐色土層 (1層：7.5YR3/2~10YR3/2) が30~40cmあまり堆積している。その下に、やや黒味の強い古代遺物包含層である黒褐色土層 (2層：7.5YR2/2~10YR2/2) が厚さ30cmあまり堆積し、その下部は基盤層としている暗褐色土層 (3層：7.5YR3/2) へと連なる。2層は古代の遺物包含層であるが、既往の調査成果から下位 (地山土層との漸移層部分) には縄文時代後晩期の遺物を含むことが判明している。また、0203調査地点においては地点により3層には縄文時代早期~後期の遺物が含まれることも判明している。

トレンチ17



トレンチ19



- 1層：黒褐色土 (fine OR3/2)
- 2層：黒褐色土 (fine OR2/2)
- 3層：黒褐色土 (fine OR2/2)
- 4層：黒褐色土 (fine OR2/2)

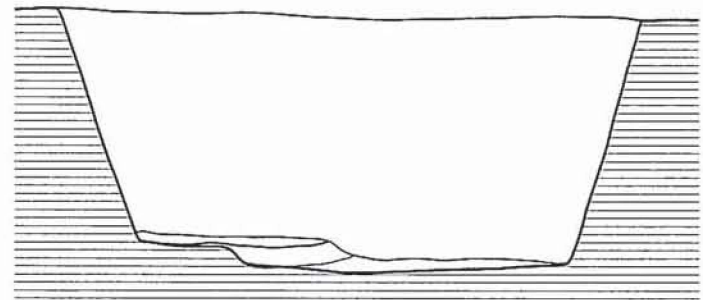
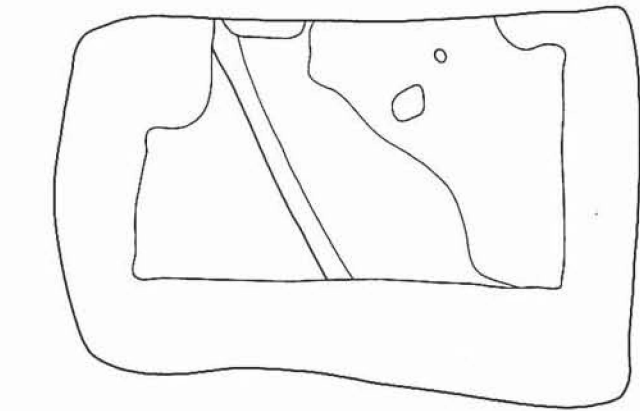
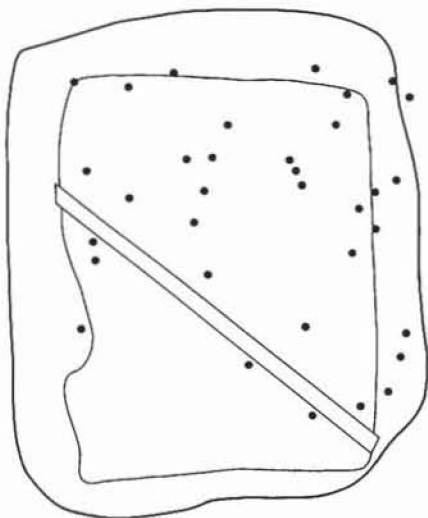


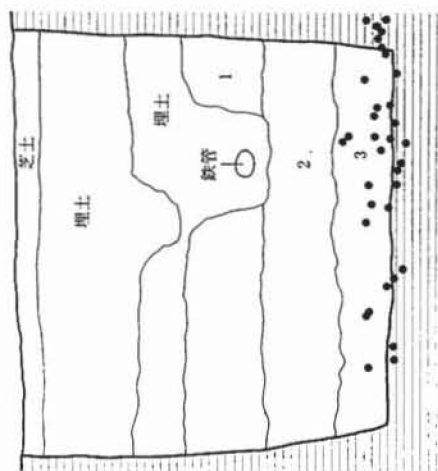
図18 0210調査地点トレンチ17・19遺物出土状況実測図 (1/40)

4. 黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査 (0210調査地点)

トレンチ20

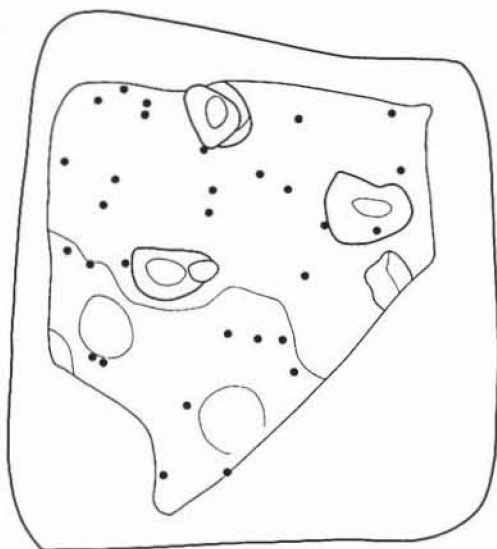


LH=19.20m



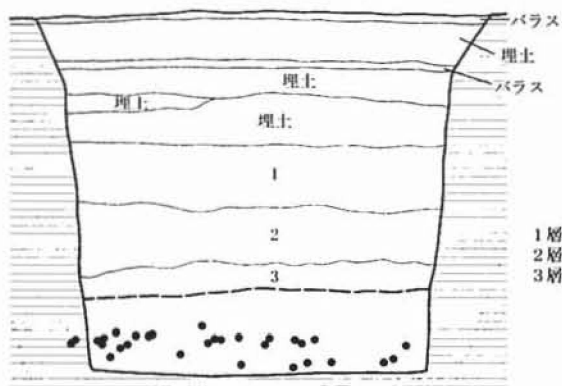
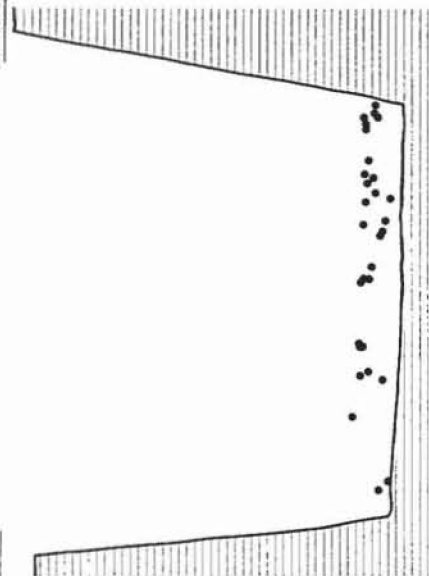
- 1層: 黒褐色土 (Hue 7.5YR3/2)
- 2層: 黒褐色土 (Hue 7.5YR2/2)
- 3層: 暗褐色土 (Hue 7.5YR3/4)

トレンチ21



LH=19.20m

LH=19.20m



- 1層: 黒褐色土 (Hue 7.5YR3/2)
- 2層: 黒褐色土 (Hue 7.5YR2/2)
- 3層: 暗褐色土 (Hue 7.5YR3/4)

0 2m

図19 0210調査地点トレンチ20・21遺物出土状況実測図 (1/40)

**(3) 検出遺構 (図18・19)****<トレンチ17>**

トレンチ17は、工学部研究棟 I の西側のⅢ区に位置し、北から2つ目のトレンチである。遺構は検出していないが、古代および縄文時代の遺物包含層を確認した。それぞれ慎重に掘削した結果、古代の遺物包含層から須恵器壺片 (図20: 22・23・24)、地山土層から縄文土器片 (同 4・7・12) を検出した。

**<トレンチ19>**

トレンチ19はⅢ区に位置する、最も南のトレンチである。本トレンチでは、古代の竪穴住居址の一部と思われる遺構を確認した。住居の立ちあがり硬化面を検出した。黒髪南地区における既往の調査では、古代の住居址は主軸が北から若干西に傾くことが判明しており、この住居址も同様に古代の住居址で、南壁に相当する部分を検出したと考えられる。出土遺物には須恵器壺の口縁部片 (図20: 22) などがある。

**<トレンチ20>**

トレンチ20は、工学部資料館の南側のⅣ区に位置し、東側のトレンチである。古代の竪穴住居址の床と思われる硬化面を確認し、さらに掘削をおこなった。すると、地山土層から縄文土器片 (図20: 5・6) や石器 (黒曜石剥片) などが出土した (図20: 25~31・33)。地山土層は、遺物が検出されなくなるまで、遺物取り上げと掘り下げを繰り返した。

**<トレンチ21>**

トレンチ21は、トレンチ20の西側に位置する。古代の遺物包含層を掘り下げ、地山土層を0.3mほど掘削すると縄文時代の土器・石器約30点が出土した (図20: 8~17・32)。地山土層は、遺物が検出されなくなるまで、遺物取り上げと掘り下げを繰り返した。

**(4) 出土遺物 (図20)**

図20: 1~20は縄文土器である。1・2は、器面は内外面ともに丁寧に磨いている。3も外面は磨いており、内面は丁寧にナデにより平滑に仕上げている。4・19は同一個体で、外面は丁寧に磨き、内面はナデで平滑に仕上げている。7は、1~3と同じく、外面は磨いており、内面はナデにより平滑に仕上げている。5は底部である。底面は条痕があり、凹凸がある。6は、内外面ともに貝殻条痕があり、春日式の胴部の可能性がある。8も、外面は貝殻条痕がある。器面は凹凸がある。内面はナデにより平滑に仕上げている。9は山形状になった中期中葉の春日式の口縁部である。胎土に滑石が混入しており、脂質光沢がある。表面には細かい押引文が施文されている。10は、外面には小さな点列による文様らしきものがあるが、明瞭ではない。表面は非常に荒れている。内面は平滑にナデられている。11は、外面は貝殻条痕、内面も貝殻条痕がある。12の外面は粗いナデ、内面は外面に比べ平滑にナデられている。14も春日式、13も春日式の可能性が高い。15は、外面はナデており小さな凹凸がある。内面は貝殻条痕がある。16は、内外面ともにナデによる調整である。17は粗い条痕による調整で、器壁が1cmをこえ非常に厚い。珪灰鉄鉱が胎土中に入っており、押型文以前の早期前半の土器である。18は、内外面ともに磨いている。4・19と良く似ている。20は内外面ともにナデている。以上の土器のなかで、貝殻条痕により器表面を調整しているものは、春日式と考えられ、ほかの磨きやナデによる調整のものは、後晩期の土器と思われる。

21~24は須恵器である。21は長頸壺の頸部、22は甕の口縁部である。連続する山形のヘラ記号がある。23・24は甕の口縁・頸部である。24は外面に自然釉が全面にかかっている。22は6世紀後半、

4. 黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査 (0210調査地点)

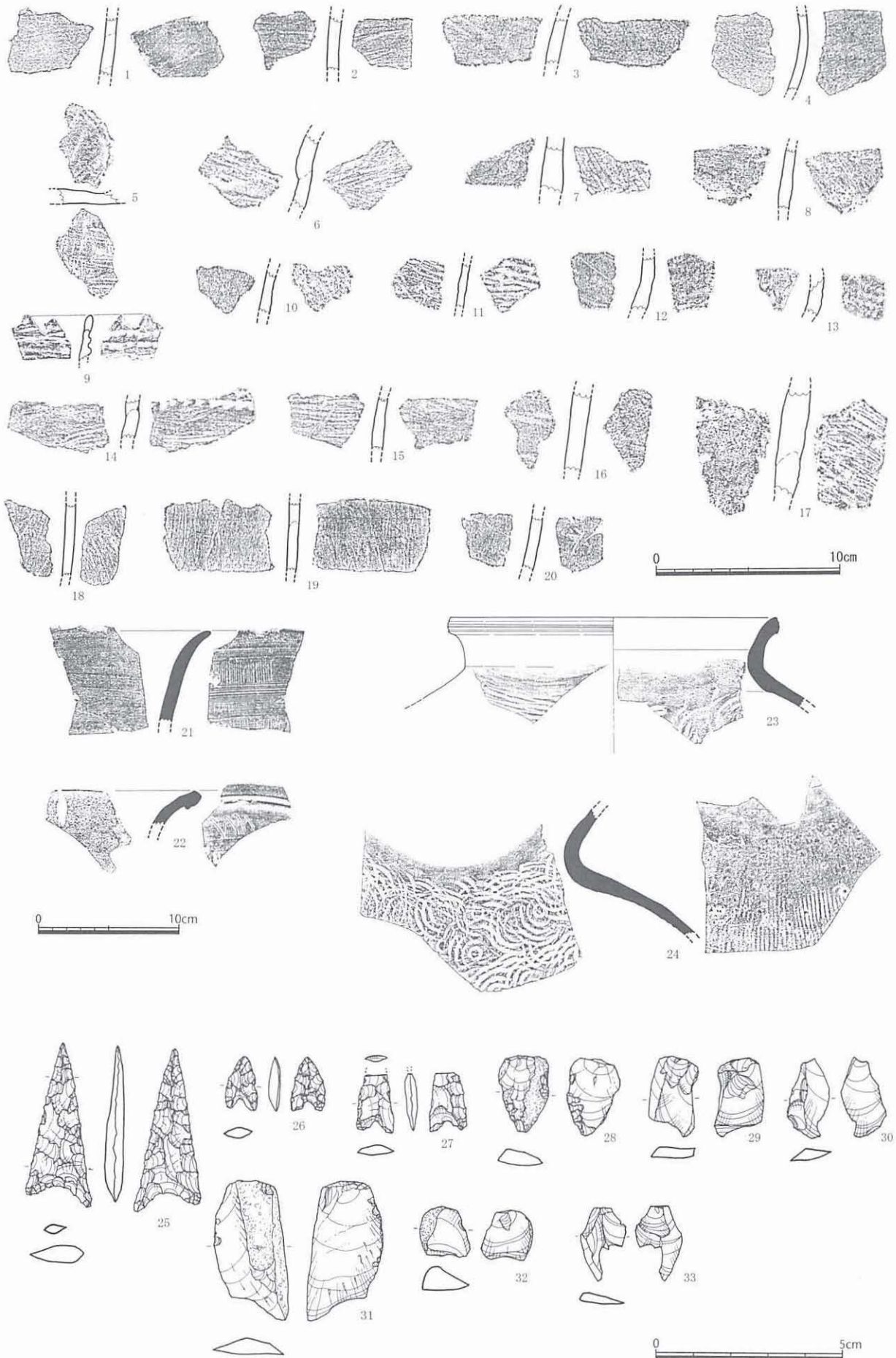


図20 0210調査地点出土遺物実測図 (1/3・1/4・2/3)



23・24は8世紀後半と考えられる。

25～33は石器である。25～27は打製石鏃、28～33は剥片である。

#### (5) まとめ

全部で21箇所のトレンチを設置し、その中の4つのトレンチで遺構や遺物を確認できた。トレンチが大きく4地点に分かれたことで、試掘調査と同様の成果を得た。17・19トレンチは、土製印が出土した9412調査地点（現工学部研究棟Ⅰ：熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ）の西側に位置し、古代の遺跡がさらに西側に広がることが確認できた。トレンチ20・21では、工学部資料館南側の緑地帯一帯が、攪乱などを受けずに良好な状態で遺跡が保存されていることが確認できた。本地点では、地山土層の上位に縄文時代の遺物が含まれることが確認できた。出土状態から、縄文時代の包含層として良いであろう。先に報告した0302調査地点は、本地点の成果を受けて調査を実施した。その結果、縄文時代の早期から後期に至るまでの土器・石器が多量に出土した。1112調査地点（熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅱ）のうち、工学部資料館南側の緑地帯における掘削では、僅少なながら黒曜石の剥片が出土した。その他、近隣の調査において、地山土層から縄文時代の遺物が出土する事例はなく、現況では0302調査地点および本調査地点トレンチ20・21周辺において、地山土層に縄文時代の遺物が含まれると考えられる。しかし、今回の地点は、出土した土器は春日式が多く、その後晩期のものがあるが、0302調査地点のような、時期幅はない。そうすると、縄文時代の遺物出土地点は時期ごとに小規模な範囲で変わる可能性がある。狭い調査範囲であっても、このように各地点を綿密に調査する通常は地山土層上面までを調査対象としており、以下の掘削は行っていない。今後は各地点において確認作業を行う必要があるだろう。

4. 黒髪団地南地区工学部樹木移植工事に伴う発掘調査 (0210調査地点)

表6 0210調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
20	1	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 10YR7/3	トレンチ14 包含層3層	
	2	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR4/1 外: Hue 10YR4/2	トレンチ16	
	3	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:磨き	内: Hue 25Y7/4 外: Hue 25Y5/1	トレンチ16	
	4	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR4/1 外: Hue 7.5YR4/3	トレンチ17 包含層3層	
	5	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 25Y3/1 外: Hue 25Y4/1	トレンチ20 R-3・ 30365	
	6	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 5YR4/4 外: Hue 7.5YR4/3	トレンチ20 P-2・ 30366	
	7	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 2.5Y3/2	トレンチ17 30565	
	8	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 10YR6/3	トレンチ21 4層上・30547	外面にスス付着
	9	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	トレンチ21 4層下・30657	外面に押引文あり
	10	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 10YR4/3	トレンチ21 4層下・30656	
	11	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/4	トレンチ21 包含層	内外面に条痕文あり
	12	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue 2.5Y3/1	トレンチ21 30546	内外面にスス付着
	13	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/2	トレンチ21 4層下・30642	外面に、刺突・爪形文あり
	14	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR3/2 外: Hue 10YR3/2	トレンチ21	外面に条痕文と竹筭文あり 外面にスス付着
	15	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR4/4 外: Hue 10YR5/4	トレンチ21 4層上・30554	
	16	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 7.5YR3/1 外: Hue 10YR3/2	トレンチ21 包含層3層	
	17	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 8YR7/2 外: Hue 7.5YR5/4	トレンチ21 4層下・30643	外面に条痕文あり
	18	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 5YR4/3		
	19	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 7.5YR5/4	トレンチ17 包含層3層	
	20	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 10YR6/4		
	21	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:ハケ目	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 10YR5/2	トレンチ19 3層中心	内面に自然軸あり
	22	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10YR2/1 外: Hue 10YR2/1	トレンチ17 視乱・30567	
	23	須恵器	壺	口径 23.4 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,タタキ 外:回転ナデ,タタキ	内: Hue 外: Hue	トレンチ17 30568	
	24	須恵器	壺	口径 底径 器高	頸部~胴部片	内:回転ナデ,タタキ 外:回転ナデ,タタキ	内: Hue 5G17/1 外: Hue 10Y4/1	トレンチ17 30569	外面に自然軸あり
	25	石器	石鏃	長さ 4.4 幅 1.85 厚さ 0.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20 S-1・30360	重量26g 安山岩
	26	石器	石鏃	長さ 1.45 幅 0.85 厚さ 0.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20 S-7・30536	重量0.3g 黒曜石
	27	石器	石鏃	長さ 1.6 幅 1.0 厚さ 0.33	2/3	内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20 S-2・30361	重量0.5g 安山岩
	28	石器	剥片	長さ 2.1 幅 1.4 厚さ 0.45		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20	重量1.3g 黒曜石
	29	石器	剥片	長さ 2.2 幅 1.4 厚さ 0.6		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20	重量1.2g 黒曜石
	30	石器	剥片	長さ 2.15 幅 1.15 厚さ 0.35		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20 S-4・30362	重量0.8g 黒曜石
	31	石器	剥片	長さ 3.8 幅 2.05 厚さ 0.6		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20	重量3.3g 黒曜石
	32	石器	剥片	長さ 1.35 幅 1.4 厚さ 0.65		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ21・30561	重量1.1g 黒曜石
	33	石器	剥片	長さ 2.0 幅 1.25 厚さ 0.3		内: 外:	内: Hue 外: Hue	トレンチ20・30599	重量0.3g 黒曜石

### Ⅲ 本荘北地区の調査



## 1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

### (1) 調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

本荘北地区に所在する本庄遺跡は、熊本市遺跡地図№8-95の熊大病院敷地遺跡として周知されている遺跡である。阿蘇に発する白川は、中流域で河岸段丘を発達させながら熊本大学黒髪地区付近で蛇行したあと穏やかな流れとなって下流へ下る。本遺跡はその中流から下流へさしかかる地点であり、白川左岸に形成された自然堤防上(標高14m)に位置している。

本荘北地区において実施された大学病院薬剤部注射患者毎セット支給室等取設工事に伴う発掘調査(9807調査地点)では、7世紀後半から9世紀初頭にかけての竪穴住居址や掘立柱建物が検出された(熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ)。また1996年に行われた医学部校舎建設工事に伴う発掘調査(9601調査地点)では8世紀~9世紀の古代の集落址が調査され、その際「田井」「杵本寺」などのヘラ書きや墨書をもつ土器が大量に出土した。また古墳時代前期の住居址が、付近一帯としては初めて確認され、古墳時代から古代にかけての複合的な遺跡の広がりを示している(熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ)。これらの出土遺物と類似した「田井」のヘラ書き土器が出土している大江遺跡群や新屋敷遺跡といった奈良・平安時代の集落址が、本遺跡の上流に控えている。

本事業は、平成10年の年度当初計画にあげられていた事業である。8月中旬に施設部より発掘調査の依頼があった。調査期間を積算したところ半年以上かかることになり、調査員二人で調査に当たることとした。諸手続き・準備を終えた後、年内に調査を開始した場合、1・2月の年報作成期間に調査を一時中断せねばならないため3月から調査に入ることになった。ところが、年度末に補正予算によって年報作成期間にもかかわらず理学部自然科学等総合実験棟の新営工事に係る発掘調査(9810調査地点、熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ)を優先して行わねばならないことになり、3月からの本事業の調査には二人体制では臨めない状況となった。このため施設部と協議を重ね、12月~1月の間に調査予定地内の支障配管切替工事を先行して行い(熊本大学埋蔵文化財調査室年報5)、理学部の調査の終了を待って4月から本調査に入ることになった。調査は、廃土処理等の都合から調査区をⅠ区(東側)とⅡ区(西側)に2分割し、Ⅰ区から調査を行った。

#### b. 調査の経過

- 1999年4月5日 Ⅰ区(東側)発掘調査開始。重機による攪乱除去、鋤き取り。作業員投入。
- 1999年6月15日 Ⅰ区全体写真撮影。残りの図面・写真・測量。
- 1999年6月21日 Ⅰ区 調査終了。うって返し。
- 1999年7月5日 Ⅱ区(西側)調査開始。
- 1999年7月23日 掘立柱建物群、写真撮影。古代包含層掘削、遺構検出、掘削。
- 1999年8月27日 Ⅱ区全体写真撮影。残りの図面・写真・測量。
- 1999年8月30日 現場説明会開催。
- 1999年9月2日 発掘調査終了。





1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

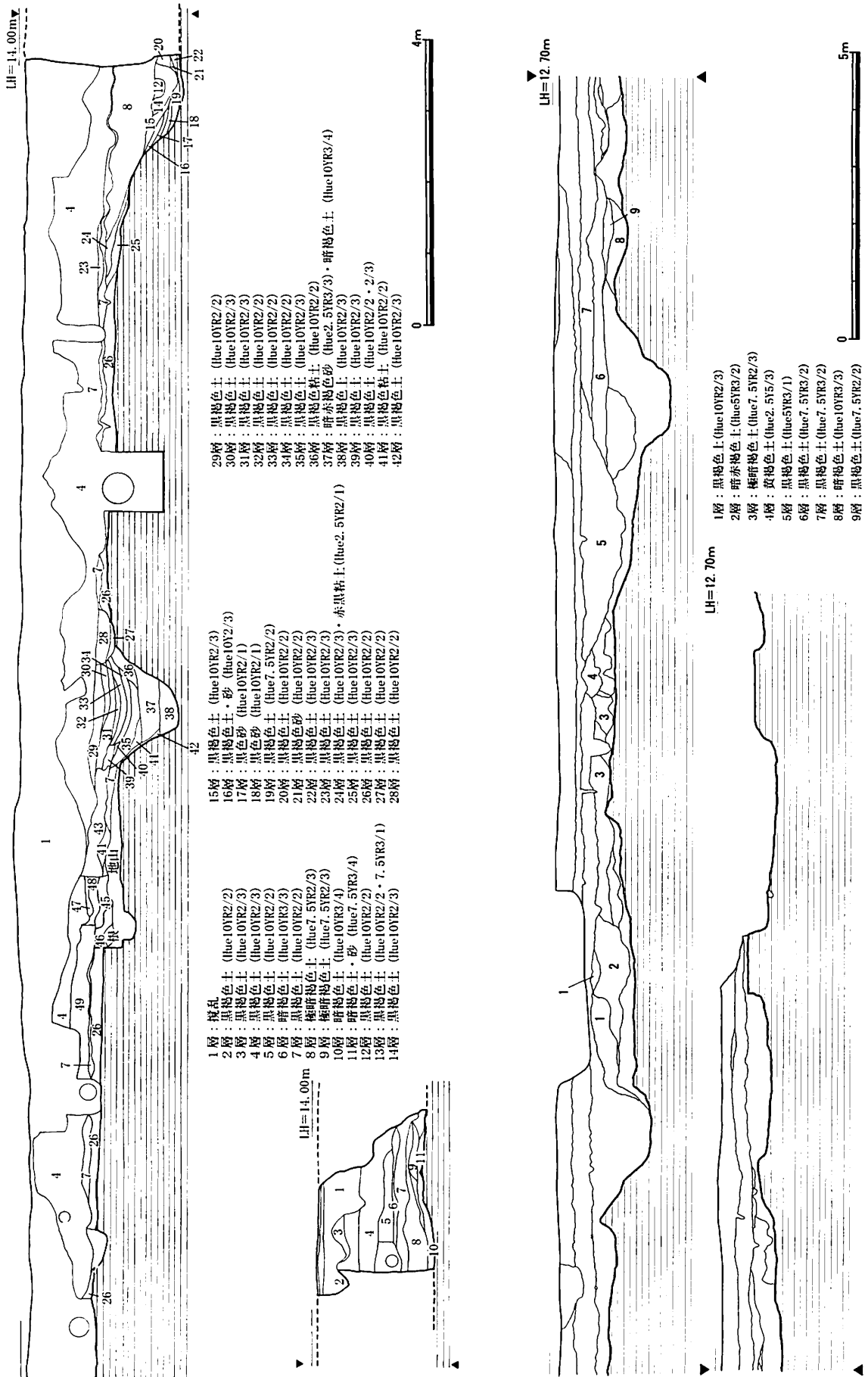


図23 9901調査地点北東壁土層断面実測図・中央土層断面実測図 (1/80・1/100)



### c. 調査の組織

調査員：小畑弘己・大坪志子

事務担当：松嶋木綿子

作業員：上野しず香・岡崎光子・岡田イツ代・岡村久美子・押方富江・甲斐田末男・勝野義勝・熊本茂仁・黒木重信・黒木タケ子・古賀敬子・小細工洋子・坂口三輝子・白石亜紀・白石美智子・鈴木笙子・高松北子・溜淵俊子・土田ちえみ・中川毅人・橋口剛士・林田恵子・番山明子・福田久美子・古野京子・堀川貞子・松井昭子・宮村邦子・宮本里美・宮本千恵子・村上浩明・森川征子・森川護・森田ミドリ・吉田ひろこ・徐鐘旻

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・土田ちえみ・林田恵子・増井弘子・山寄早苗

### (2) 調査区の基本層序 (図23)

調査区は周囲全てが包含層や遺構面まで攪乱を受けており、周辺での調査において参考となるような良好な層序の確認は出来ていない。かろうじて、調査区東壁において、遺物包含層と遺構の検出面についてある程度深さなどがおさえられた。1～4・23層までは近・現代埋土で深さ1.4m辺りまで堆積している。5層－黒褐色土層(10YR2/2、厚さ25cm)と6層－暗褐色土層(10YR3/3、厚さ15cm)は近世・近代の耕作である。7層－黒褐色土層(10YR2/2、厚さ4～30cm)が古代の遺物包含層である。5・6層が確認できた南側の一部で最も遺存状態がよかったが、その他の箇所では削平されていた。7層下の26層は古墳時代の遺構の覆土である。これまでは遺構検出面(地山)としている暗褐色土の直上に古代の遺物包含層が堆積していたが本調査区では古代の遺物包含層下に古墳時代の遺構の覆土があり、古墳時代の遺構の広がりに伴い場所によっては古墳時代の遺構覆土・遺物包含層がある可能性を示している。

### (3) 検出遺構と出土遺物

今回の調査で検出した主な遺構は、古墳時代前期～中期初頭の竪穴住居址15基と竪穴3基、土坑1基、古代では8世紀後半の竪穴住居址11基、竪穴1基、9世紀前半の竪穴住居址7基、竪穴1基、掘立柱建物址6棟、溝は古代から近世まで大小合わせて17条、土壙墓1基、集石遺構2基である。竪穴住居址については、可能性例も含まれる。このほか多数のピットが検出され、遺物を得ている。古代の遺構・遺物については、建物の主軸の方向や遺物の傾向から2期(I期：8世紀後半、II期：8世紀末～9世紀代)に大別して記述することにする。本調査区で検出された溝の中には、古代の条里方向には合わない溝が多数あるが、遺物から純粹に古墳時代の所産と確定できるものはない。このため、溝は一括して古代の項で記述する。

#### 古墳時代の遺構

##### <竪穴住居址>

本調査地点では、古墳時代前期～中期初頭にかけて多数の竪穴住居址が検出された。住居址の主軸の方位を確認すると、古墳時代の竪穴住居址の主軸は北を向かず、北北西から南南東へ若干傾斜する調査区の傾斜と直交する、調査区を横断する溝に対して主軸が直交するもの、あるいはそれに近いものが大半である。少数北を向くものがある。

### 3号竪穴住居址(図24)

I区の調査区の北隅近くの北壁よりの地点で検出された。縦2.9m横3.6mで、主軸は南北方向に対してちょうど45度西に振れている。検出時の深さは約0.3cmである。調査区の中でも高い位置にあるため、上面はかなり削平されている。中央部で硬化した床面が確認できた。また、東南側の壁近くに炉穴と思われる穴が確認された。柱穴は検出されなかった。焼土や木炭、砂岩が床面に散在していた。この住居址からは、良好な状態で遺物が多量に出土した。古墳時代前期(布留I末~II期)の古式土師器である(図25:1~24)。器種には、高坏・小型丸底壺・屈曲浅鉢・器台・甕・壺がある。また、鉄製品として刀子(図79:683)が出土した。

### 5号竪穴住居址(図24)

I区の東壁中央、やや北寄りで検出した。東側一部が調査区外に延びる。住居の主軸は3号竪穴住居址と同一方向である。住居址の東南半分が4号溝によって削られている。現状では縦約3.2m、幅4.2mである。隣接する80号竪穴住居址の様子から、4号溝の対岸あたりに南壁があった可能性があると考えられる。検出時の深さは0.2mである。本住居址からも良好な状態の古式土師器が多量に出土したほか、木炭などが床面に散在していた。住居址の中央では硬化した床面が確認されたが、柱穴は検出されなかった。出土した遺物は古墳時代前期(布留I末~II期)の古式土師器である(図26:25~54、図27:55~61)。器種は小型鉢、屈曲浅鉢・小型丸底壺・器台・高坏・甕・二重口縁壺の口縁部などである。高坏には、実用ではなく祭祀用と思われる小型品(37)がある。

### 35号竪穴住居址(図28)

I区の中央、やや北寄り、2号溝の西側で検出した。住居址の主軸の方向は3号竪穴住居址より少し西に振れている。縦5m、幅約5.9mである。後に住居址の東壁と南壁の一部を37号溝に掘りこまれており、マンガン層の沈着などがある。硬化面や柱穴などは検出されなかった。床面には土器片や円礫、焼土が散在していた。特に、円礫が多かったのが注目される。出土遺物は古墳時代前期末~中期初頭と考えられる古式土師器である(図28:62~66)。古代の甕と甔の把手も出土しているが、住居址の主軸方向から判断して本来本遺構に伴うものではない。

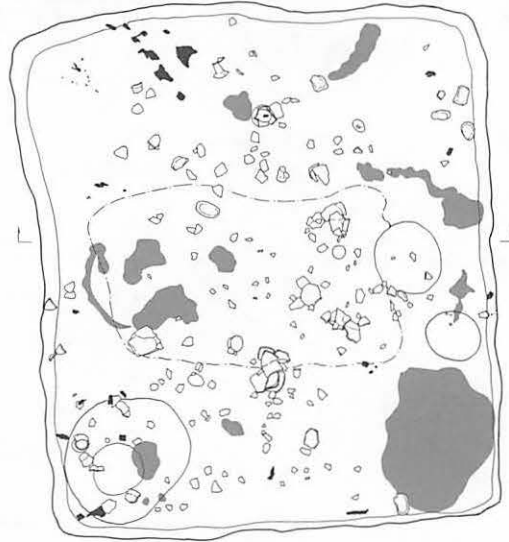
### 80号竪穴住居址(図29)

I区の東側、5号竪穴住居址の西側に位置し、5号竪穴住居址の西壁を一部切るかたちで検出された。80号竪穴住居址も南西側半分を4号溝により削られているが、対岸に南壁が依存しており全体のプランは確認できる。4号溝より北側の部分を検出した当初は、2基の竪穴住居の重複と考えて掘り下げを行ったが、4号溝の対岸の様子から1基の住居であると判断した。住居址の主軸の向きは3・5号竪穴住居址と同一方向である。縦5.6m、幅7.4mで、やや長方形である。中央部分で硬化した床面が確認されたが、柱穴は検出されなかった。北西側と西側には、8世紀と9世紀の竪穴住居址が重複している。遺物は、古墳時代中期初頭と考えられる古式土師器(図30:67~86)のほか、不定形の垂玉(図78:680)が1点出土している。土師器は高坏・壺・甕で、高坏が多い。

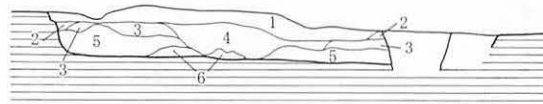
### 92号竪穴住居址(図30)

I区の南西部、156号溝(380号溝)と72号溝の間で検出された。西側を74号溝、南側を156号溝に切られており、また東側は93号竪穴住居址とした掘り込みと攪乱の影響もあり遺存状態は良くない。現状は縦約4.2m、幅約3mである。住居址の主軸は、北西から若干東に振れており、南側の156号溝と直交する。硬化面や柱穴は検出されなかった。遺物は住居址の北西側でまとまって出土した(図31:87~91)。古墳時代前期(布留I末~II期)と考えられる高坏・甕・壺である。91は特異な形をした壺である。

3号竪穴住居址



LH=13.00m

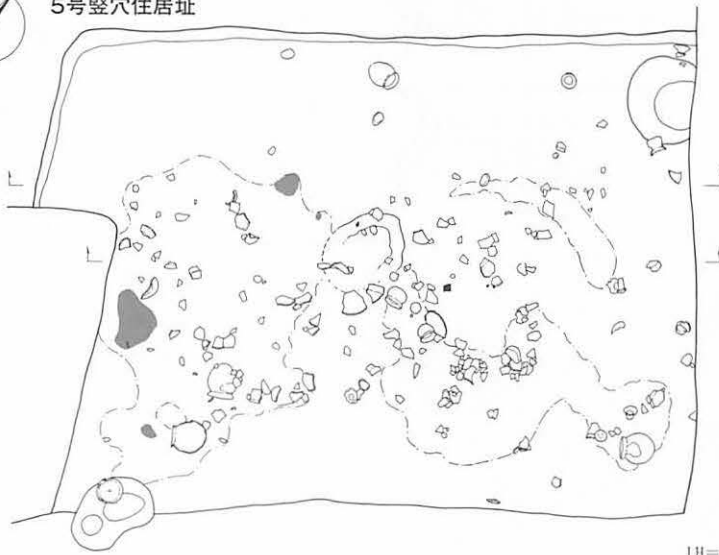


- 1層：極暗褐色土 (Hue7.5YR2/3)
- 2層：黒褐色土 (Hue7.5YR3/1)
- 3層：黒褐色土 (Hue5YR2/2)
- 4層：黒色土 (Hue5YR1.7/1)
- 5層：黒褐色土 (Hue7.5YR3/2)
- 6層：極暗褐色土 (Hue7.5YR2/3)

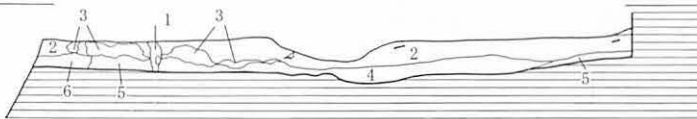
LH=13.00m



5号竪穴住居址



LH=12.80m



- 1層：褐色砂 (Hue10YR4/4)
- 2層：灰褐色土 (Hue7.5YR4/2)
- 3層：灰褐色焼土 (Hue7.5YR6/2)
- 4層：極暗褐色土 (Hue7.5YR2/3)
- 5層：暗灰黄色砂質土 (Hue2.5YR4/2)
- 6層：暗褐色砂質土 (Hue10YR3/4)

LH=12.80m

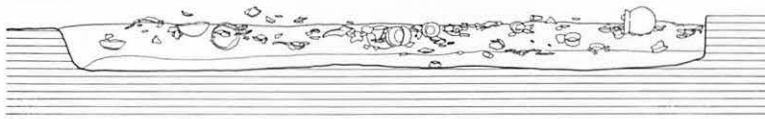


図24 3・5号竪穴住居址実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

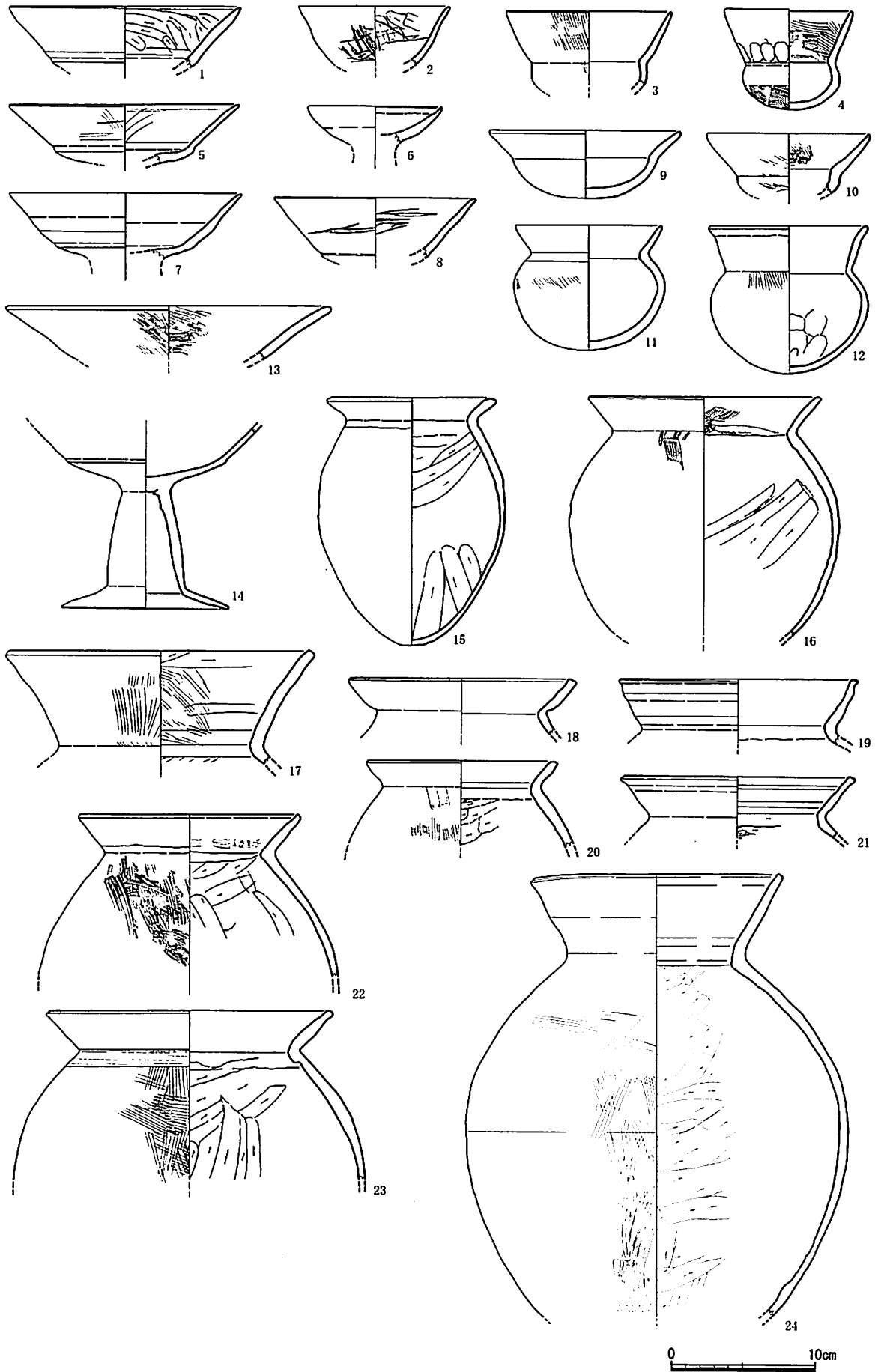


図25 3号竖穴住居址出土遺物実測図 (1/4)

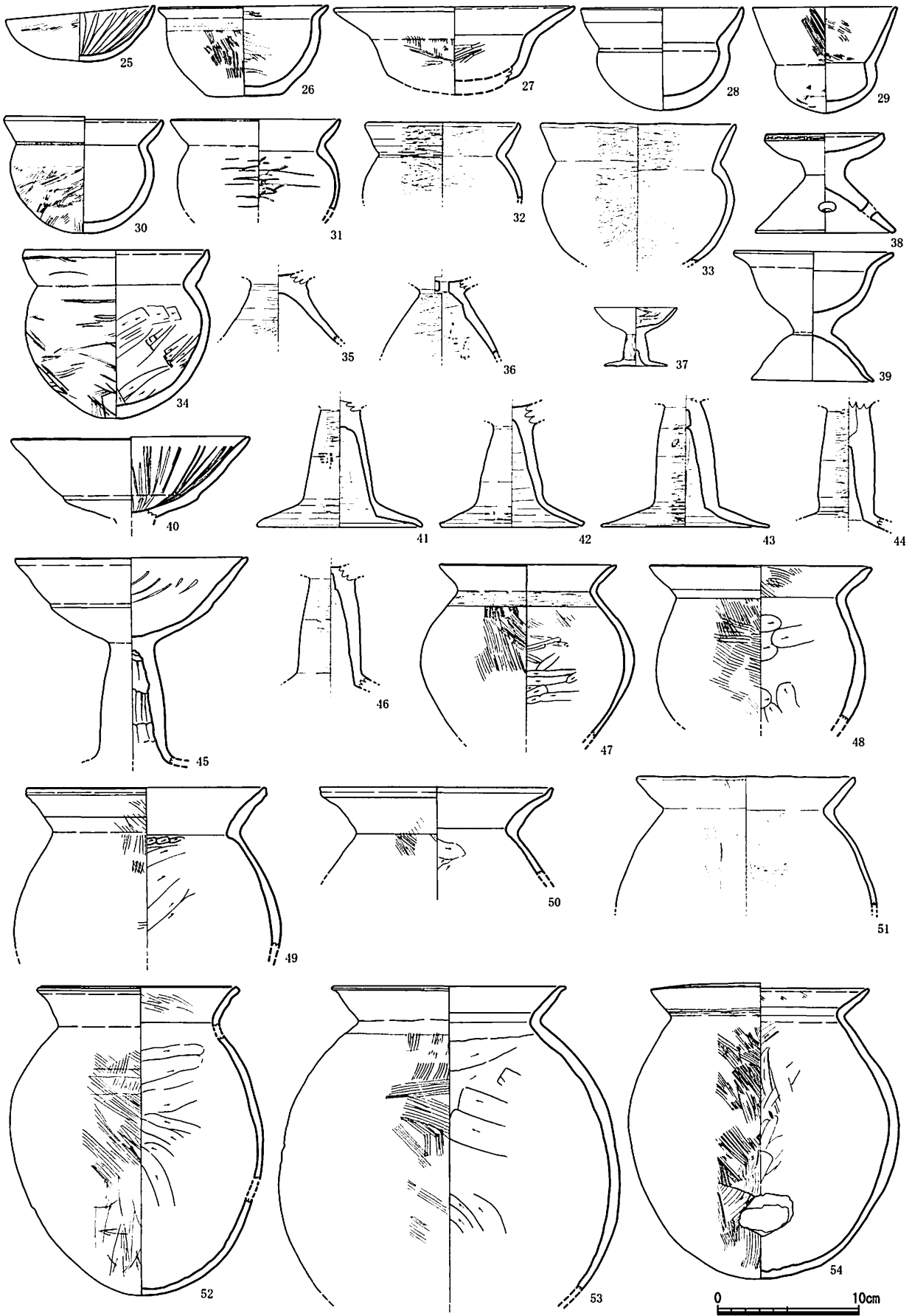


図26 5号罌穴住居址出土遺物実測図1 (1/4)

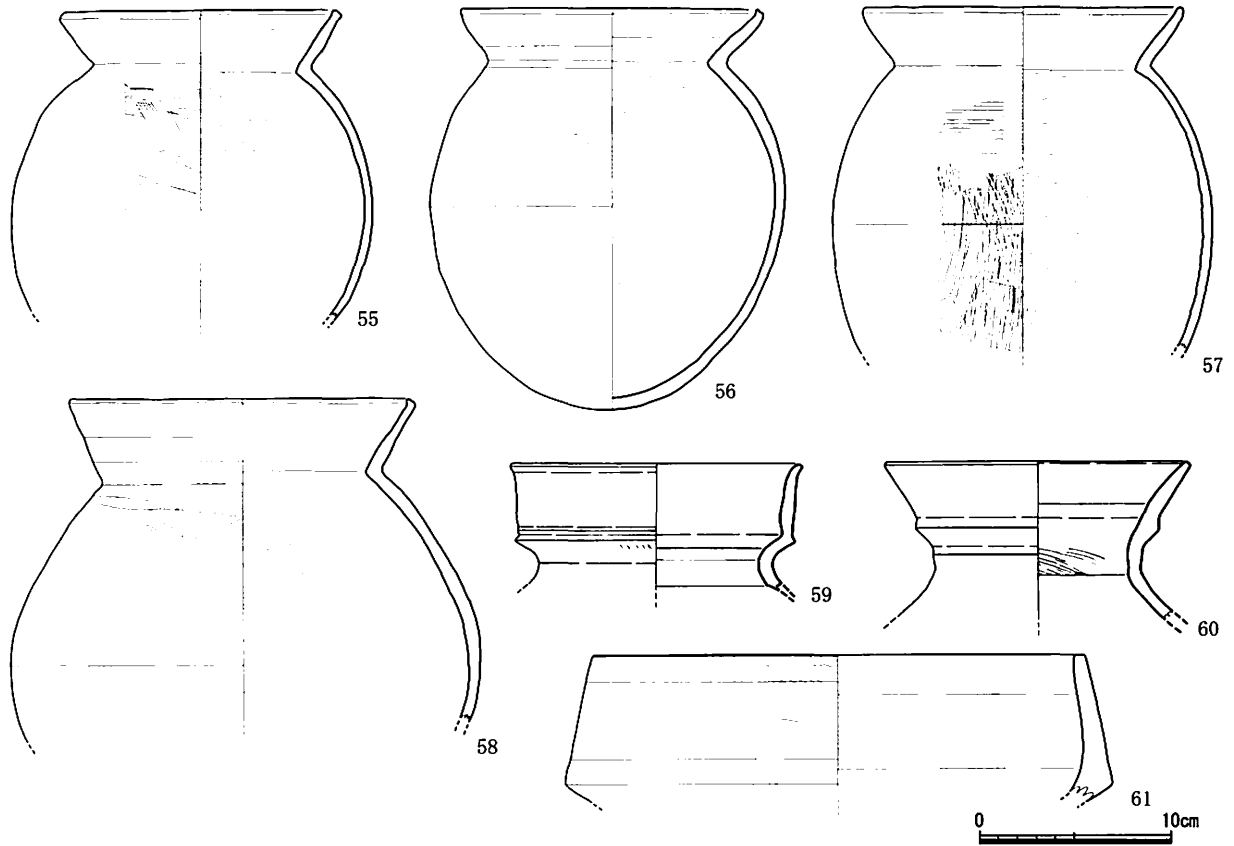


図27 5号竪穴住居址出土遺物実測図2 (1/4)

### 113号竪穴住居址 (図32)

I区の西側中央部で検出された。住居址の中央部を4号溝が貫き、また近・現代の建物基礎により南半の大部分を破壊されている。4号溝の南側は一部が残っているが、72号溝によって削られている。35号竪穴住居址や52号竪穴住居址がある台地は4号溝に向かって緩やかに傾斜しており、本住居址付近は浅い溝状になっていた。住居址はほぼ北西を向いているが、主軸は北西より若干西に振れており、4号溝とは直交している。現状で縦5.3m、幅7.4mである。深さは5cm前後で削平が著しく、かろうじてプランを確認することができた。硬化面を一部確認したほかは、明確な柱穴は確認されず、出土遺物も少ない。出土遺物は、古墳時代の古式土師器とともに古代の遺物が混在しているが、住居址の主軸の向きから、古墳時代中期の所産と判断した。図33：92～101は土師器の高坏脚部と甕である。92～101は古代の遺物で、土師器坏・甕・高坏（須恵器赤焼け?）、須恵器の甕である。本来は重複する114号竪穴住居址の遺物の可能性が高い。

### 253号竪穴住居址 (図34)

II区の北隅（I区との境）、調査区北壁沿に位置する。調査区北壁沿いに敷設されていた配管により、住居址の大半はすでに破壊され、住居址の南東隅が残っているのみである。後に、古代の291号竪穴住居址に切られる（重複する）。縦1.9m、幅約3m、深さは0.2mある。削平が著しく、本来なら遺存状況は悪い。住居址の主軸は北を向いており、古墳時代の住居址の中では珍しい。出土遺物は古墳時代前期（布留I末～II期）である。図35：102～103は土師器の高坏である。

### 337・338号竪穴住居址 (図35)

II区の中央やや西より、古い建物基礎の南側に位置する。北側が基礎によって破壊されている。遺

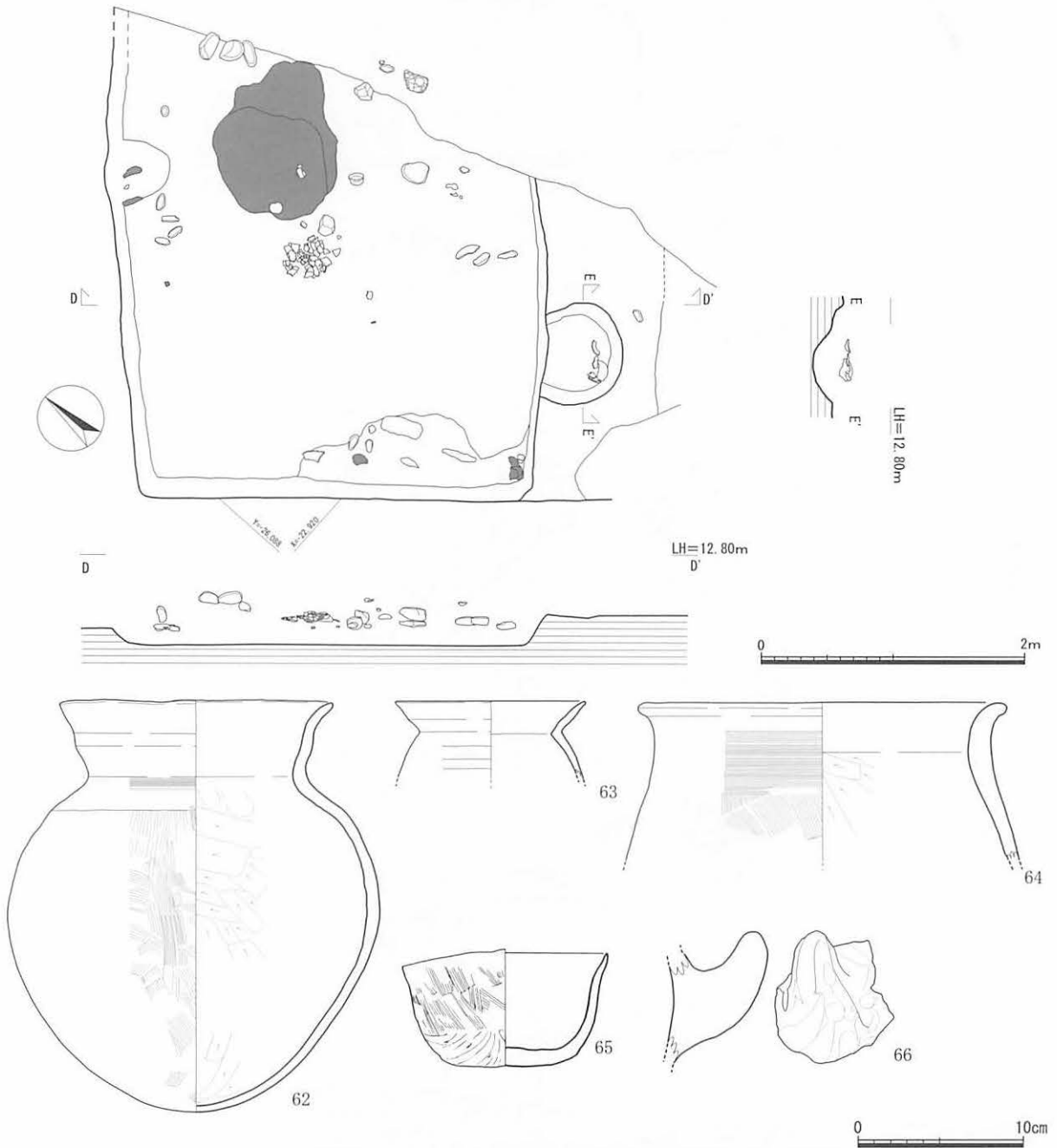


図28 35号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

構検出面で遺構全体を把握した時には約3.2×3.7mの竪穴住居址とを考えていたが、遺構埋土を掘削すると南側がさらに深くなった。そこで、北側を337号竪穴住居址、南側を338号竪穴住居址とした。337号竪穴住居址は現状で縦約3.2m、幅約1.5m、深さは0.2m程度である。338号竪穴住居址は、縦約3.2m、幅2.5m、深さ約0.5mである。中央付近で硬化した床面が検出され、土器や礫などが出土した。337号・338号竪穴住居址の主軸は北西を向いている。337号竪穴住居址の時期は主軸の向きから古墳時代、338号竪穴住居址は、出土遺物から古墳時代前期（布留Ⅰ末～Ⅱ期）と考えられる（図35：104～106）。古式土師器の鉢・甕・二重口縁壺である。

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

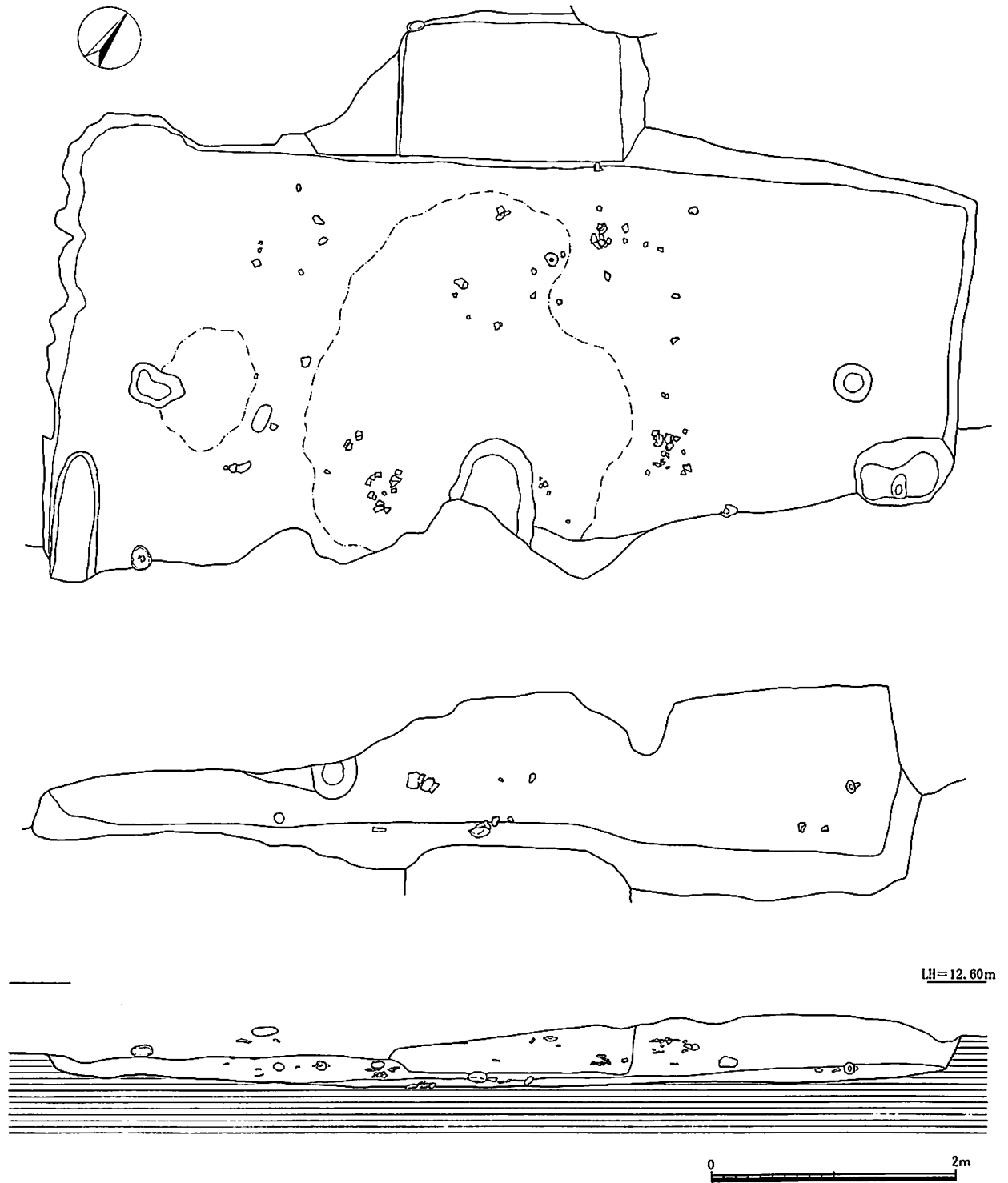


図29 80号竪穴住居址実測図(1/50)

340号竪穴住居址(図35)

Ⅱ区の中央やや西より、337・338号竪穴住居址の西側で検出した。古い建物の基礎で大半を破壊されており、全体の1/4程度が残るのみである。基礎の北側には続きがなく、1辺は2.5mを超えないと考えられる。現状では縦約1.4m、幅約1.5m、深さ約0.8mである。住居址の主軸は北西に振れており、337・338号竪穴住居址と向きはほぼ同じである。出土遺物は、小型の丸底壺(図35:107)であるが、類例に乏しい。祭祀用と思われる。前期終わり～中期初頭か。





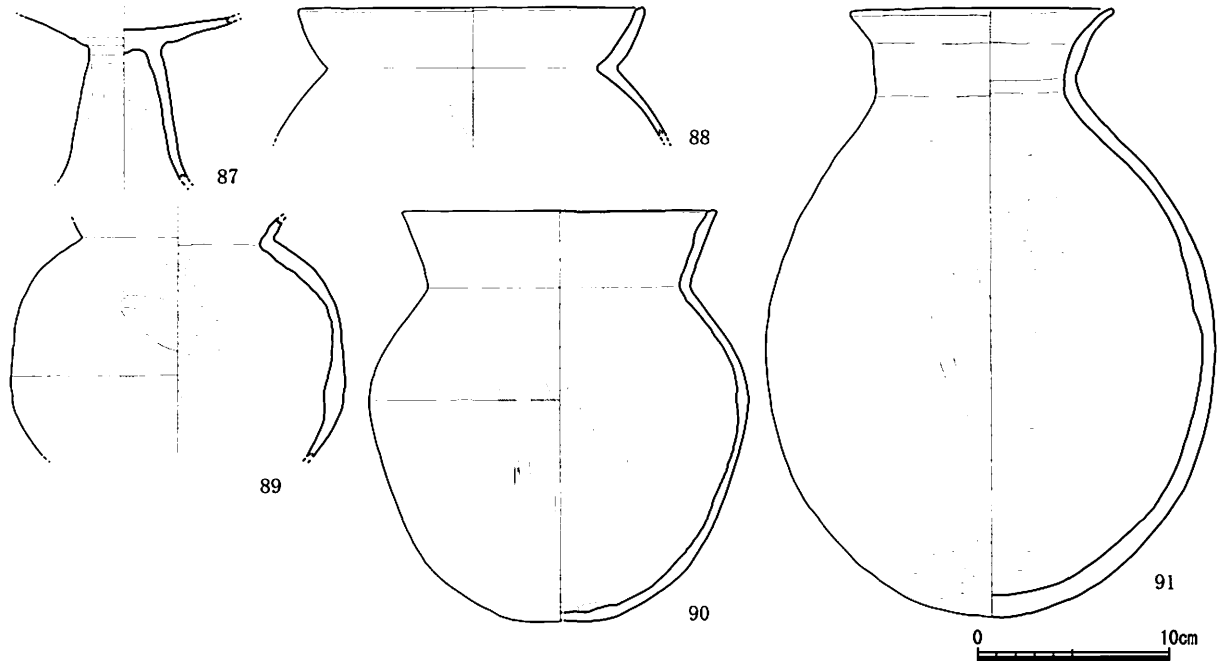


図31 92号竪穴住居址出土遺物実測図(1/4)

### 346号竪穴(図36)

Ⅱ区の調査区北壁中央付近に位置する。古代の竪穴住居址や掘立柱建物が密集し、重複している場所であり、本竪穴も埋没後に290号竪穴住居址が造られている。縦約3.6m、幅最大で2mである。西側の幅は1.6mとやや狭まるため、若干台形である。深さは約0.6mである。断面も、上辺が広がり、底が狭まるため台形になっている。主軸は南西を向いおり、遺構の向きは調査区に並行しており、ほかの古墳時代の遺構と同様の傾向を示す。底部から土器と焼土が検出された。住居址としては狭小で、ほかの住居址と比較して深さも深い。類似する例は、本荘南地区の9801調査地点でも検出されており、遺構内からは古代の土器と鉄製品(鎌)が出土している。祭祀を行った場所と考えられている。本遺構は、向きと出土遺物から古墳時代前期(布留Ⅰ末~Ⅱ期)終わり~中期初頭と考えられる(図37: 108~116)。手捏ねのミニチュア土器と古式土師器の高坏・甕・壺が出土している。ミニチュア土器が出土していることから、本遺構は、祭祀行為に関連する可能性がある。

### 352・353号竪穴住居址(図36)

Ⅱ区の中央やや西寄り、338・338号竪穴住居址の北側に位置する。住居址の南側を、古い建物の基礎によって破壊されている。これらの住居址は、337・338号竪穴住居址と同様に、遺構面での遺構プランを把握した時には1基の住居址と認識していたが、埋土を掘削すると、中央部が深くなることを確認した。そのため、外側の浅い住居址を352号竪穴住居址、内側の住居址を353号竪穴住居址とした。352号竪穴住居址は、現状で縦横ともに約4.5mの正方形を呈し、深さは0.05mである。削平が著しく、かろうじて残っていた状態である。住居址の主軸は北西を向いている。住居址の中心部分は、353号竪穴住居址によって切られており、硬化した床や遺物など、本住居址の利用痕跡は残されていない。353号住居は、現状では縦約2.6m、幅約3.6mである。深さは、遺構面からは0.4mである。住居址の主軸は北西を向いている。中央部では、硬化した床面が検出された。352号竪穴住居址の出土遺物は図37: 117~119で、古墳時代前期(布留Ⅰ末~Ⅱ期)と考えられる鉢・壺の口縁?・二重口縁壺の口

113・114号竪穴住居址

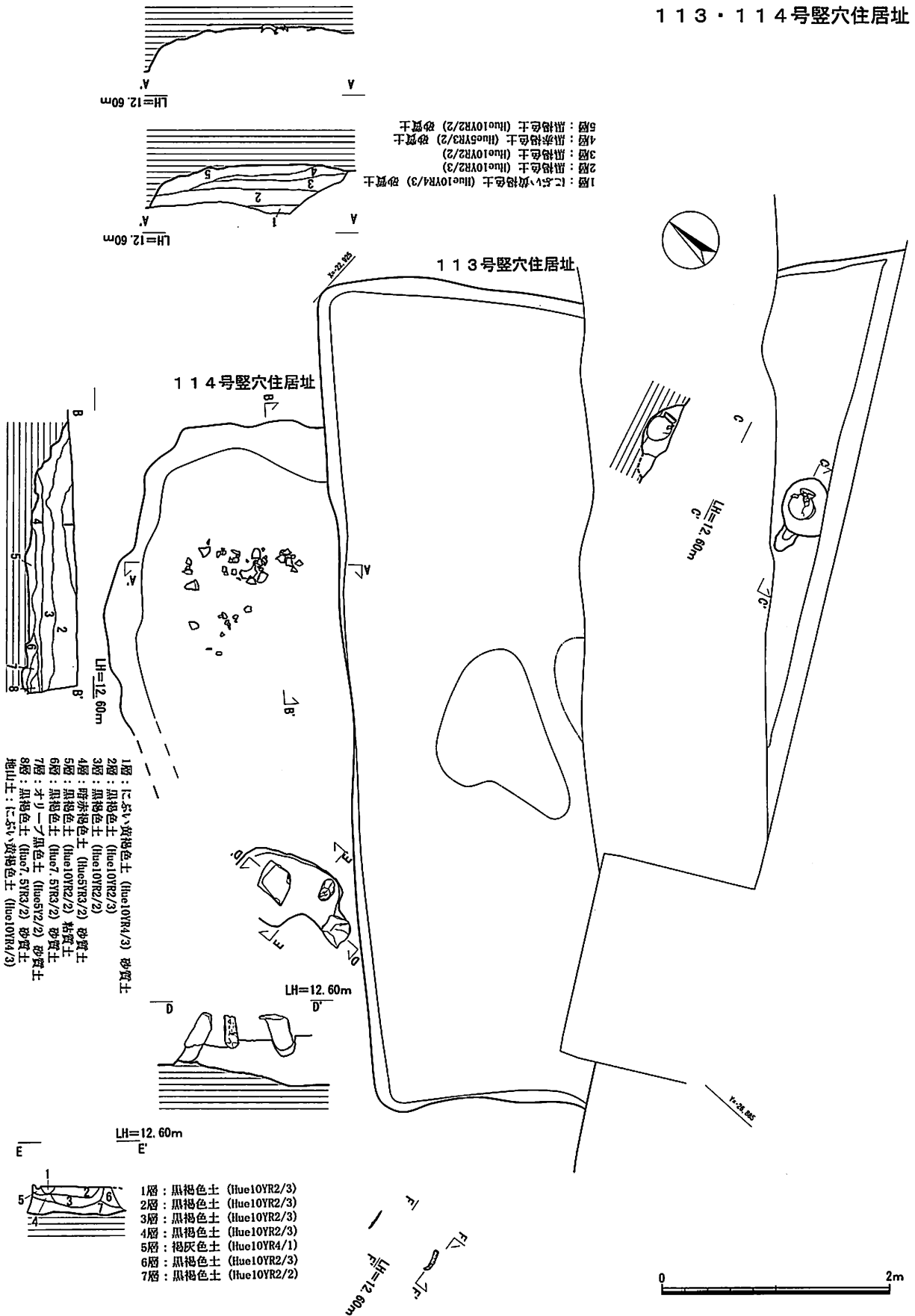


図32 113・114号竪穴住居址実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

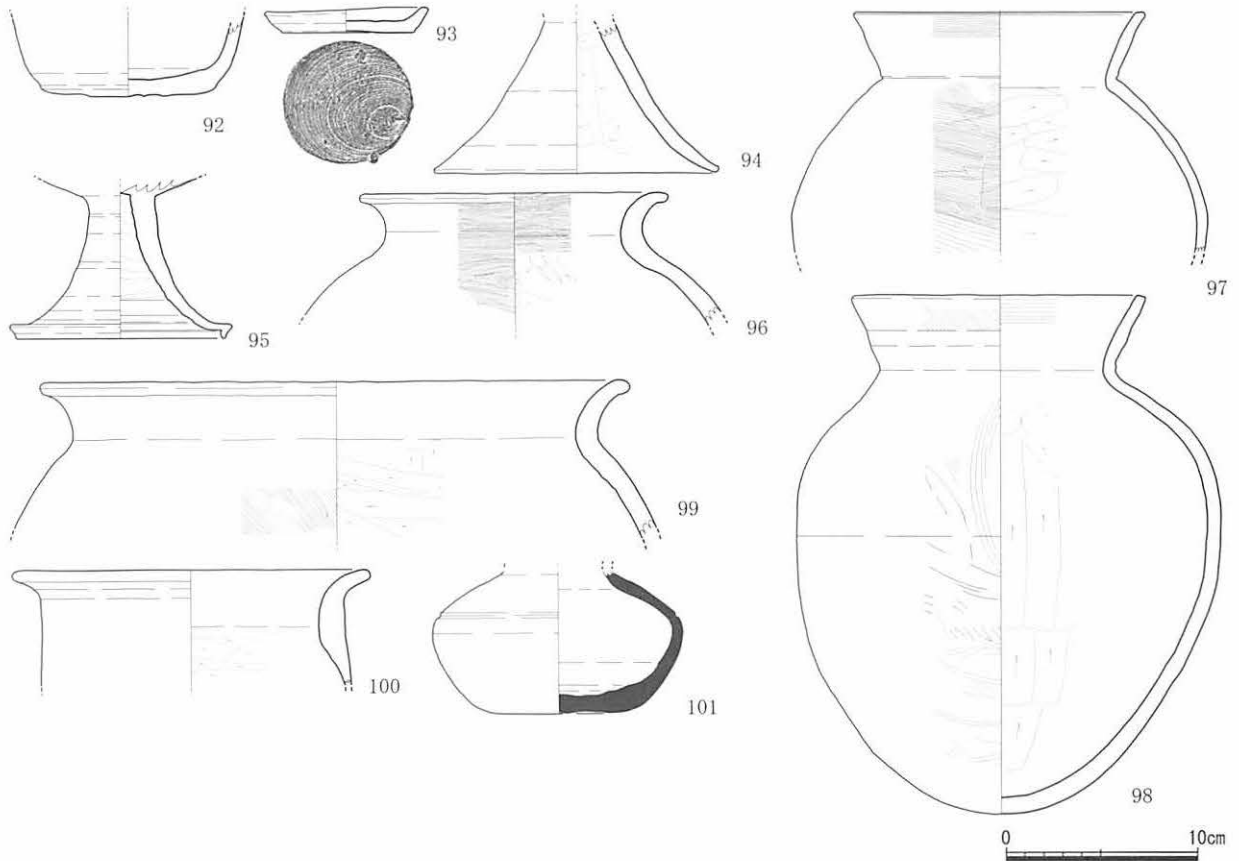


図33 113号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/4)

縁部が出土している。353号竪穴住居址の出土遺物は図37：120～122で、古墳時代中期初頭と考えられる古式土師器甕・二重口縁壺の頸部・小壺である。

**354号竪穴 (図37)**

Ⅱ区の北西隅より、72号溝の北側縁に位置する。現状では縦約2.2m、幅約2.3mでほぼ方形を呈する。深さは0.5m程である。主軸は北西を向いており、他の古墳時代の住居址と同じである。住居址としては狭小で、土坑としてはやや大きい。出土遺物は古式土師器の器台・小型丸底壺 (屈曲浅鉢)・小壺・甕が出土しており (図37：123～126)、古墳時代前期の終わりのころと考えられる。

**360号竪穴住居址 (図38)**

Ⅱ区の中央やや北寄り、72号溝の南側に位置する。500号掘立柱建物と重複している。住居址の北半分は、72号溝によって破壊されている。現状では、縦約3.2m、幅約5.6m、深さは0.2mである。主軸は北北西を向いている。床の中央一帯には焼土が散在しており、住居址の中央やや南よりになる地点には、炉と考えられる掘り込みを検出した。また、一面から土器片が出土した。出土遺物は図39：127～139で、古式土師器の小型丸底壺・器台・高坏・甕が出土している。甕の口縁がやや立ち上がり気味のものがあるため、古墳時代前期の終わりのころと考えられる。

**361号竪穴 (図38)**

Ⅱ区の中央やや東寄りに位置する。本遺構は北側半分以上を72号溝によって破壊され、また西側には362号竪穴が隣接している。現状は住居址状で南東隅が一部残るのみで縦約1.5m、幅1.8m、深さは約0.7mである。主軸はおおむね北を向くようである。埋土を完掘した状況では、床と思われる平坦

253・291号竪穴住居址

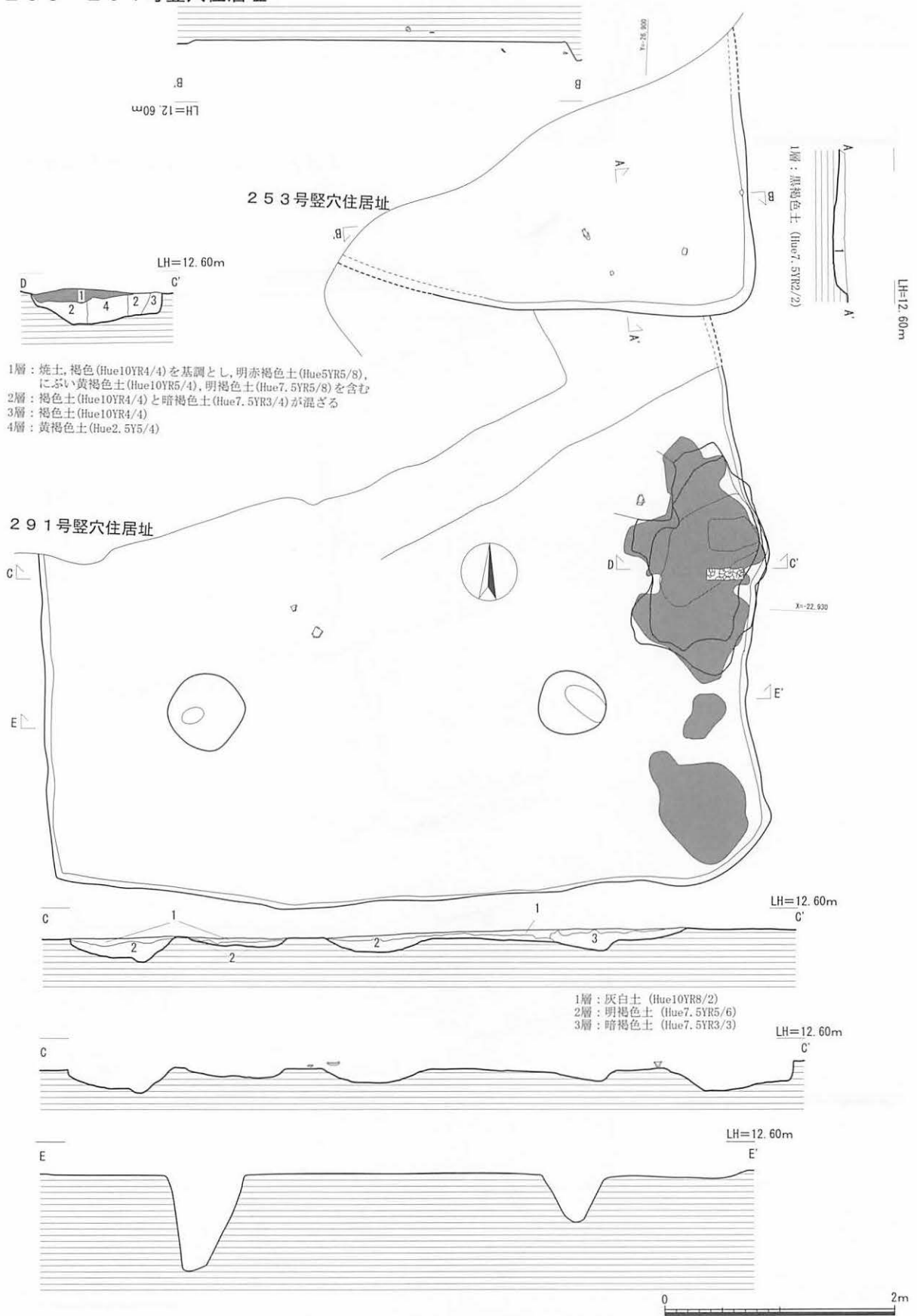
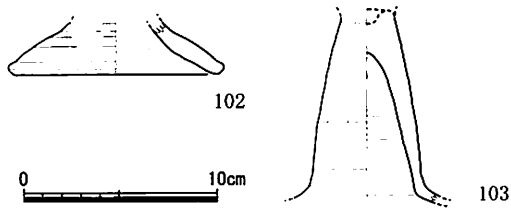


図34 253・291号竪穴住居址実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)



337・338・340号竖穴住居址

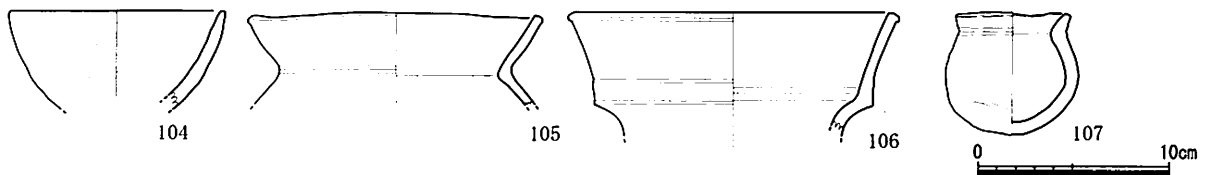
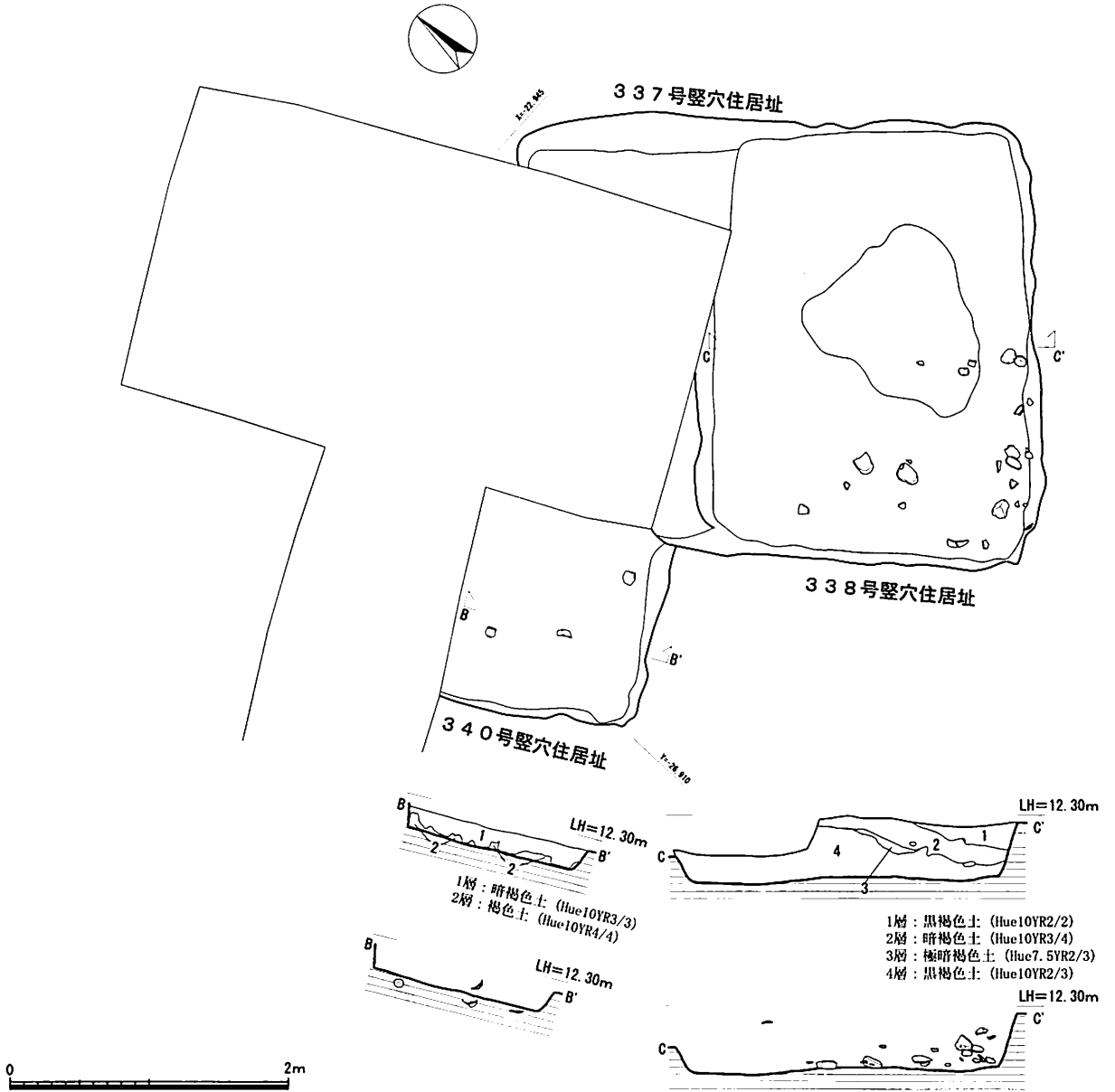
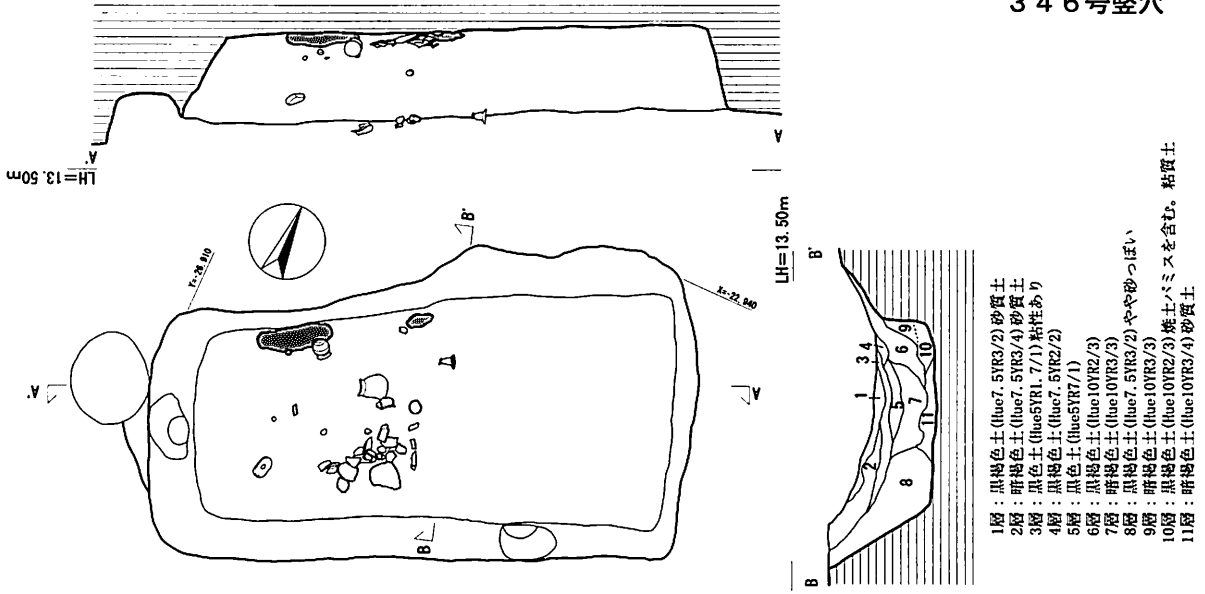


図35 253・337・338・340号竖穴住居址出土遺物実測図・337・338・340号竖穴住居址実測図(1/4・1/50)

346号竪穴



352・353号竪穴住居址

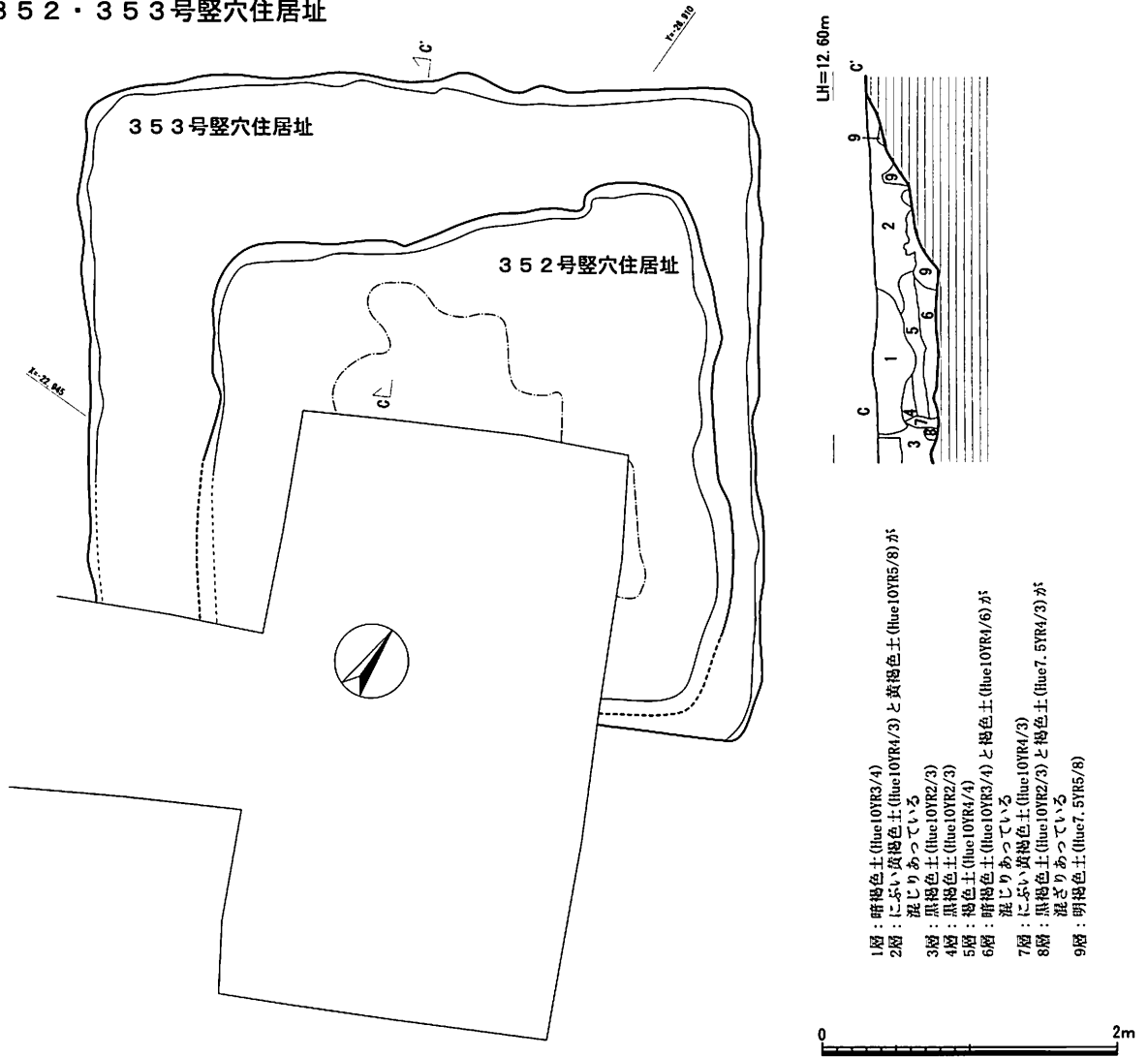
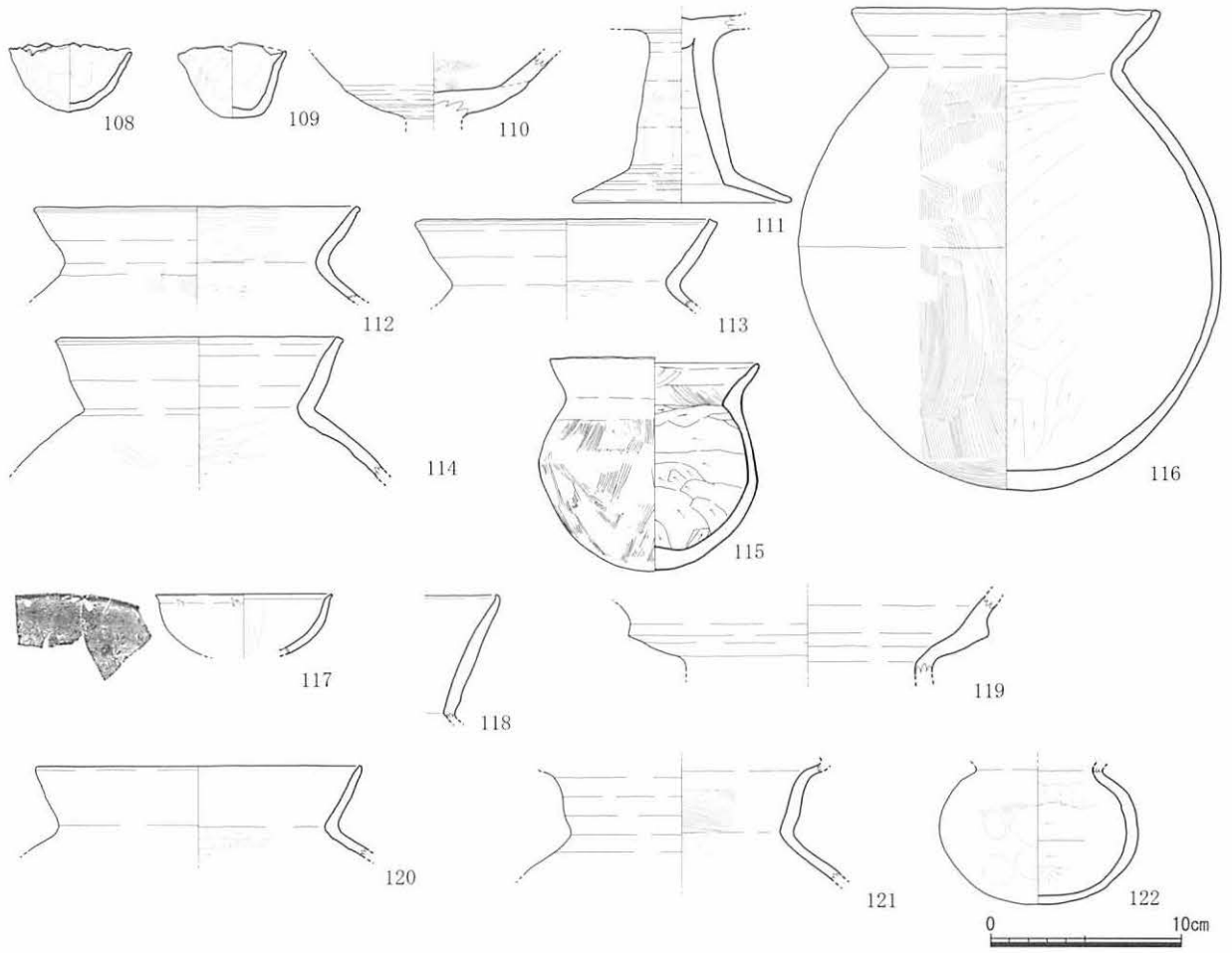


図36 346号竪穴・352・353号竪穴住居址実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)



374号溝・354号竪穴

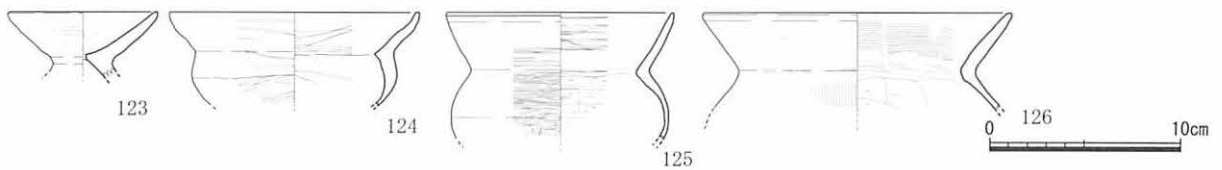
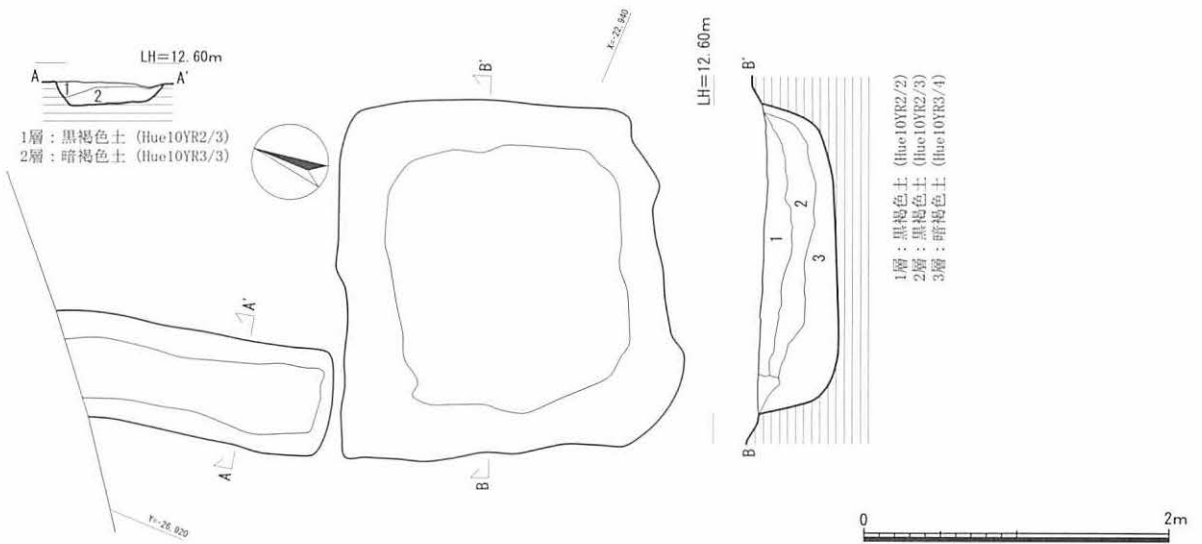
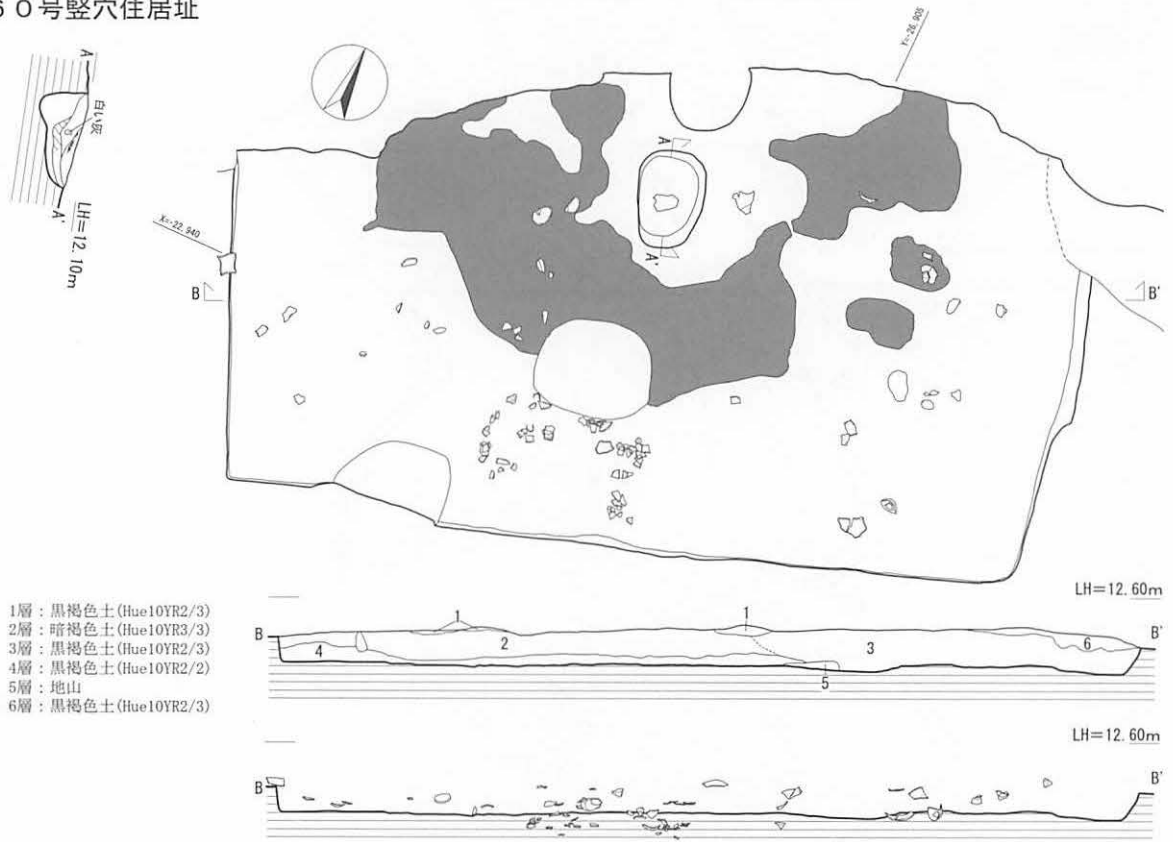


図37 346号竪穴・352・353号竪穴住居址・354号竪穴出土遺物実測図・354号竪穴・374号溝実測図 (1/4・1/50)



360号竖穴住居址



361・362号竖穴

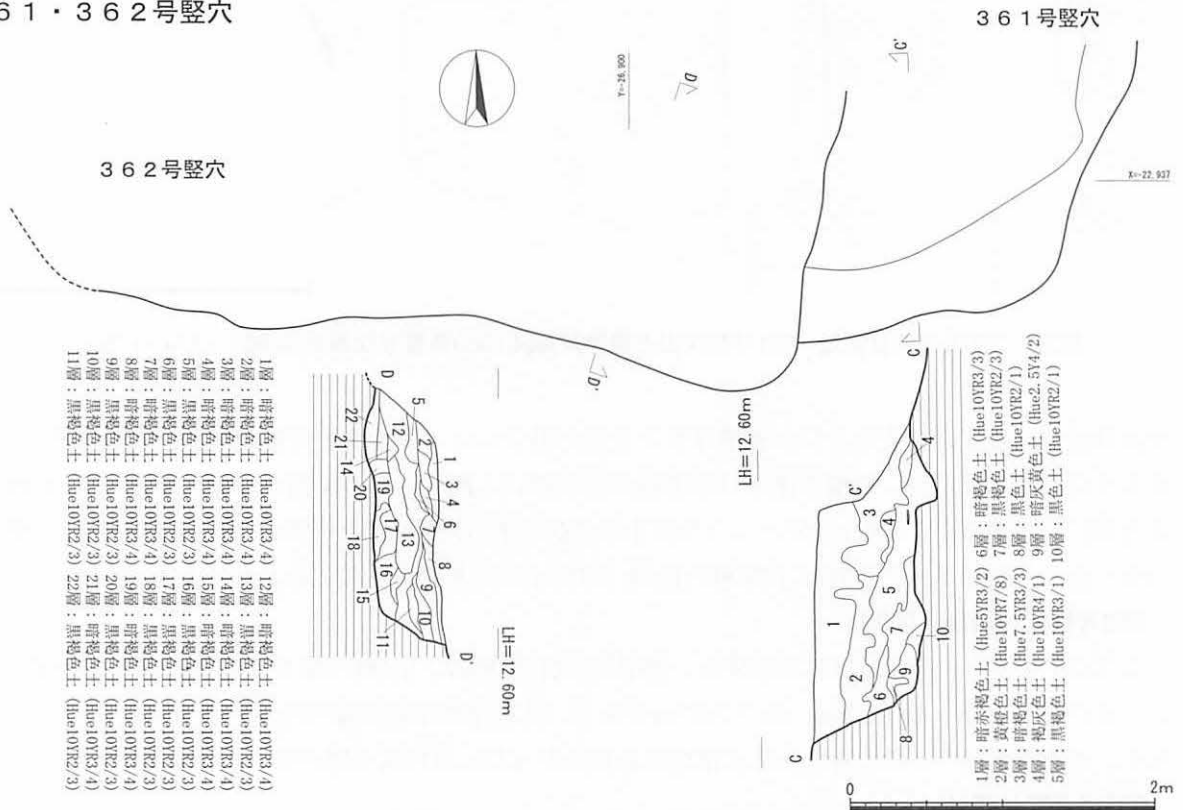


図38 360号竖穴住居址・361・362号竖穴実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

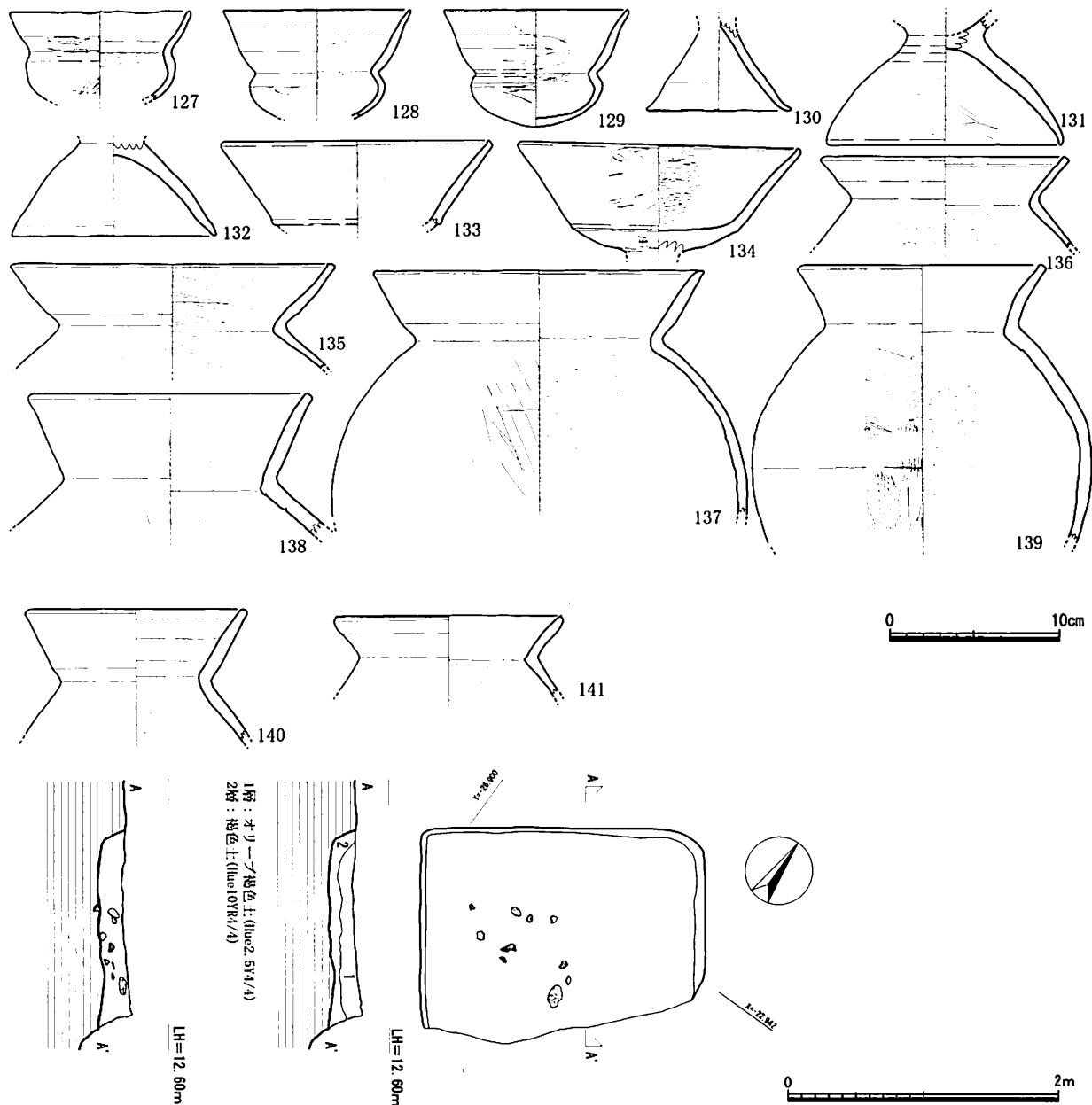


図39 360号竪穴住居址・361号竪穴出土遺物実測図・363号竪穴住居址実測図(1/4・1/50)

な面は検出されず、柱穴もない。遺構プランを見た場合には、本遺構を西側の362号竪穴が切っているように捉えられるが、遺構の深さは本遺構の方が深い。掘り込みの範囲から考えると、361号竪穴は西側には広がらず、346号竪穴のような狭小な遺構であった可能性が高い。出土遺物は古式土師器の壺・甕で(図39:140~141)、古墳時代前期(布留I末~II期)と考えられる。

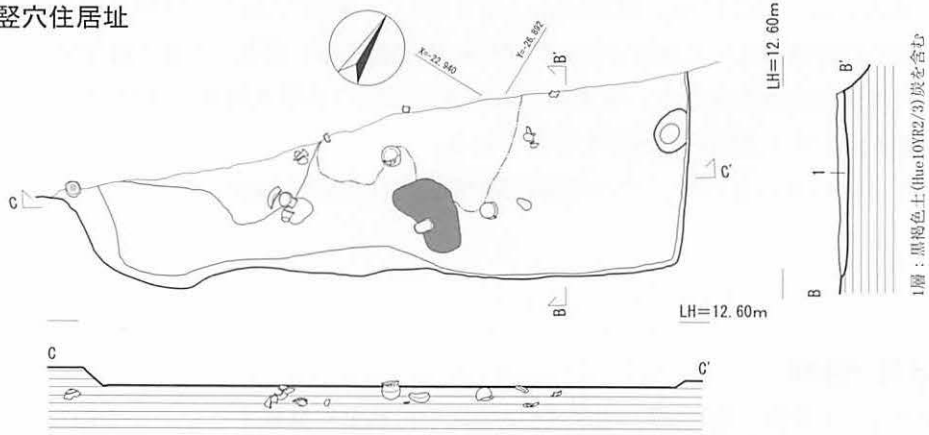
**363号竪穴住居址(図39)**

II区の中央部、やや東寄りに位置する。363号竪穴住居址は、南側1/3弱を4号溝によって破壊されている。縦約1.6m、幅約2.1m、深さ約0.2mである。住居址の主軸は北西を向いている。硬化した床面や、本遺構に伴うと考えられる柱穴は検出されなかった。遺物は土器の碎片である。

**387号竪穴住居址**

II区の東より、4号溝と380号溝の間に位置する。住居址の北側は半分以上が4号溝によって破壊

387号竖穴住居址



368号土坑

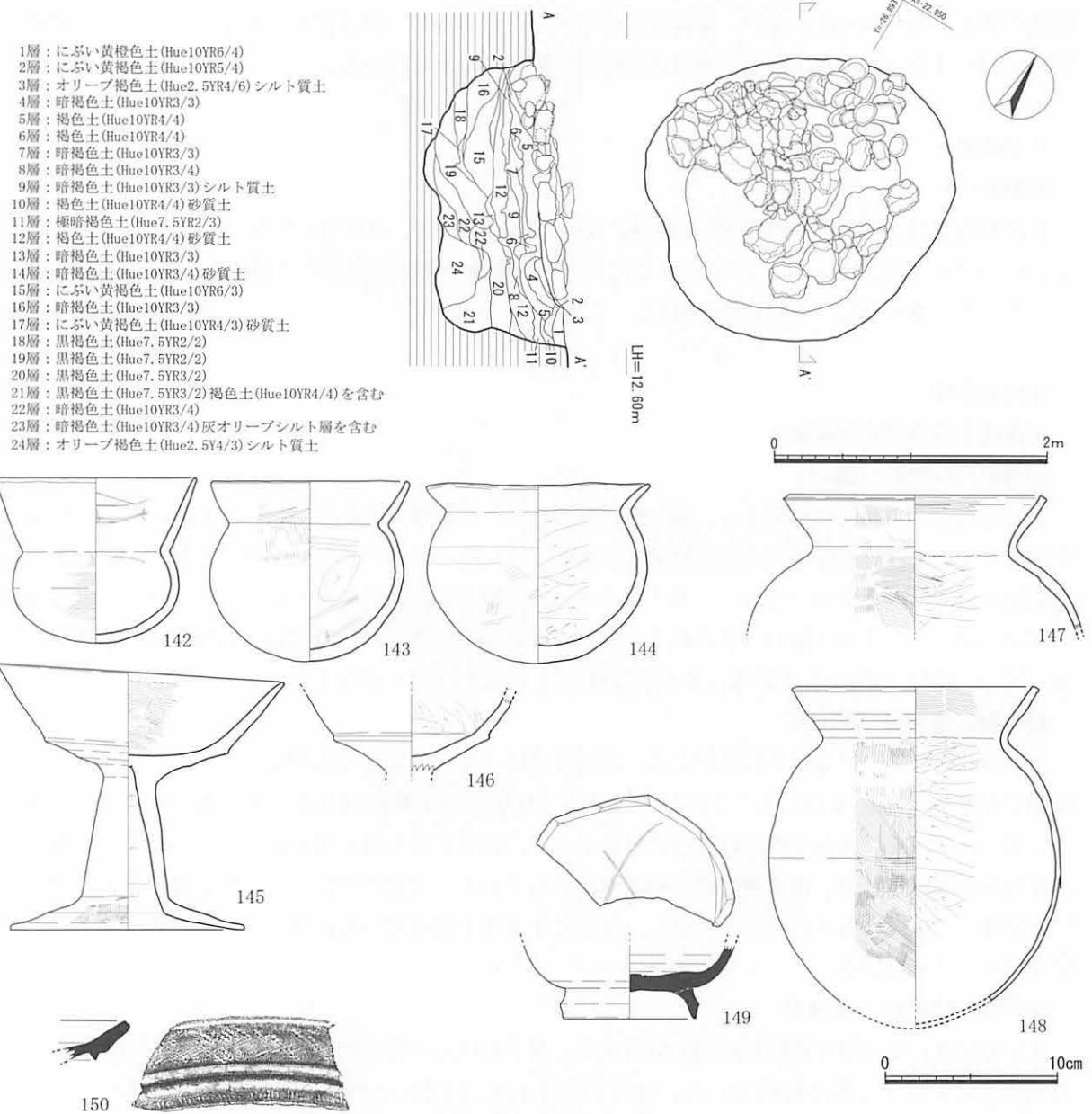


図40 387号竖穴住居址・368号集石土坑実測図・387号竖穴住居址・368集石土坑・394号ピット出土遺物実測図 (1/50・1/4)

## 1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

されている。現状では、縦約1.2m、幅約4.2m、深さは0.15m程度である。住居址の主軸は北西を向いており、調査区の傾斜に対して直交する。住居址の中央部には、硬化した床面が広がり、焼土も検出された。柱穴は検出されなかった。出土遺物は古式土師器の小型丸底壺と高坏である (図40: 142~146)。前期 (布留 I 末~II期) の所産と考えられる。

堅穴住居址と考えられるものは、このほかに340号堅穴住居址の西側に位置する339号堅穴住居址 (?) がある。

### <土坑>

#### 368号集石土坑 (図40)

II区の南側中央、1号溝 (381号溝) と358号溝の間の台地上に位置する。不正の円形で、上部に積石をしている。積石には河原石 (円礫) と不正形の石が仕様されている。土坑の底部は平坦ではなく、側壁も整えられた感じはしない。墓壙の可能性も考えられるが、骨は検出されなかった。出土遺物は図40: 147~149で、古式土師器の甕と古代の須恵器坏が出土している。

### <その他>

#### 394ピット

II区の東寄り、387号堅穴住居址の南側、156号溝 (380号溝) の北側に位置する。不整形の半円形で、長さ0.7m、幅1.0m、深さ0.5mでやや大きい。須恵器の甕の口縁部片 (図40: 150) が出土した。このほか、多くのピットが検出された。

### 古代の遺構

#### <古代 I 期の堅穴住居址>

##### 30号堅穴住居址 (図41)

I区の東より中央部に位置する。80号堅穴住居址の上に掘りこまれていた。当初は80号堅穴住居址を別のプランで検討し80号堅穴住居址を先に掘り下げたため全体の正確なプランを把握できなかった。住居址の主軸は南北を向いており、おそらく4m四方ほどの住居址であったと考えられる。北壁側でわずかに硬化した床面と甕の白色の粘土と焼土、袖石が確認された。遺物は土師器片と須恵器甕の頸部 (図42: 151) が出土している。また鉄製品の釘 (図79: 684) が出土している。

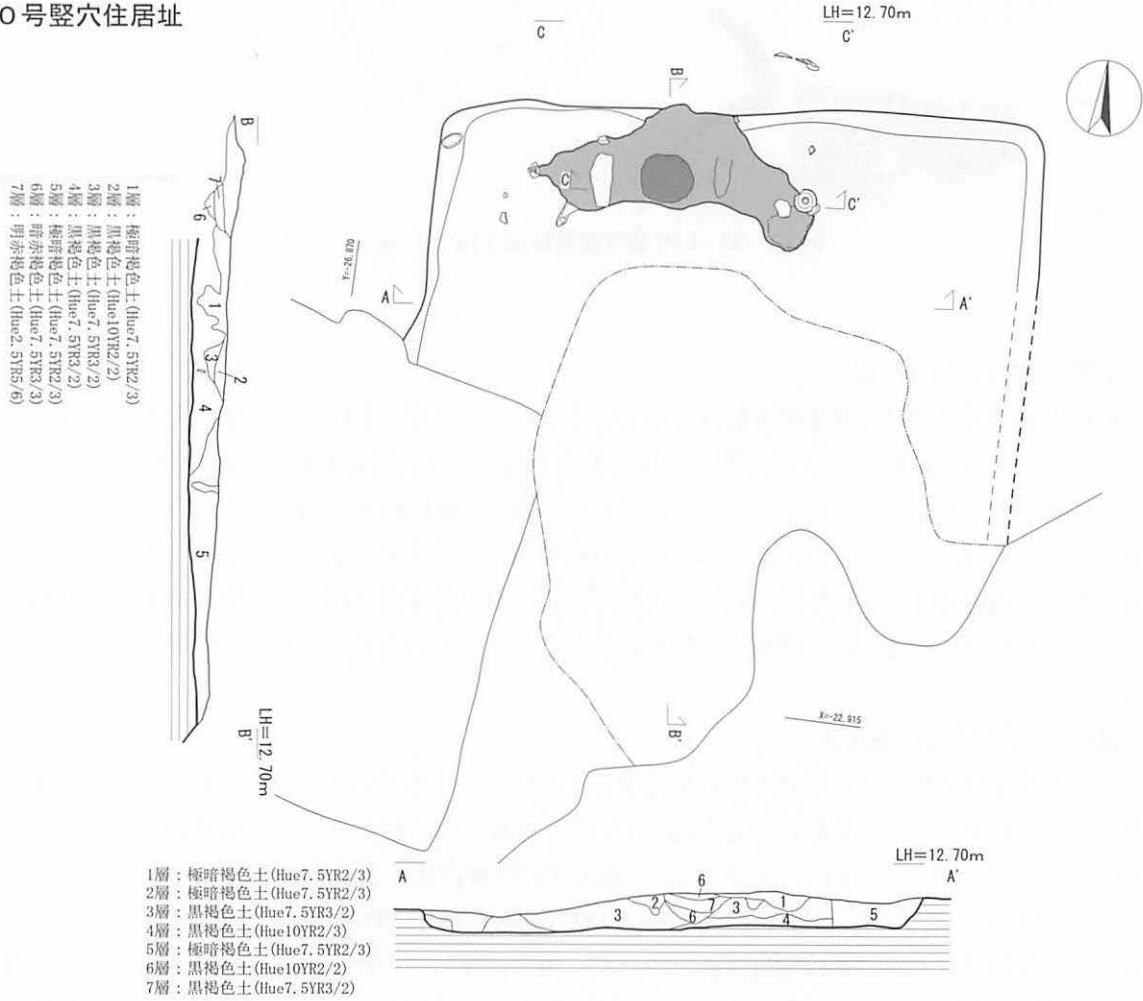
##### 43号堅穴住居址 (図41)

I区の北西、調査区北壁下に位置する。配管工事により、住居址の北側半分ほどを削平されている。現状で縦2.7m、幅約4m、深さは約0.2mである。住居址の主軸は南北より若干西に振れ、北北西を向いている。硬化下床面や柱穴は確認されなかった。西壁に甕の跡と思われる焼土が詰まった掘り込みと袖石が検出された。出土遺物は土師器が出土している。図42: 152~153は坏と甕である。2の坏は、屈曲して稜線があり口縁部が肥厚し、丁寧にミガキを掛けている。甕よりやや古相である。6世紀後半~7世紀初頭か。

##### 50号堅穴住居址 (図43)

I区の北西、43号堅穴住居址の南に位置する。東半分は52号堅穴住居址に切られている。住居址の主軸は南北より少し西に振れている。現状では縦3m、幅2m、深さは0.2m程度である。硬化した床面や柱穴などは確認されなかった。住居に明確に伴う遺物が少なく時期決定は困難であるが、当該期の遺構のなかでは早い段階のものと考えられる。出土遺物は土師器の二重口縁壺の口縁部である

30号竖穴住居址



43号竖穴住居址

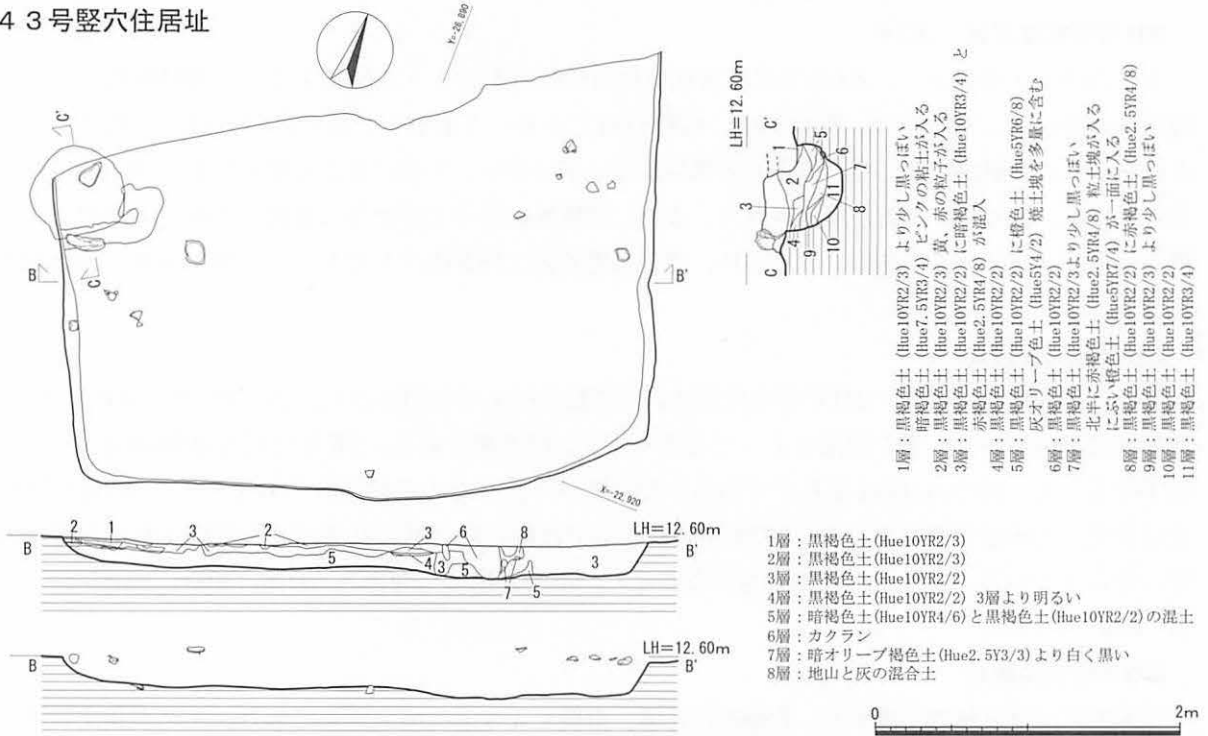


図41 30・43号竖穴住居址実測図 (1/50)

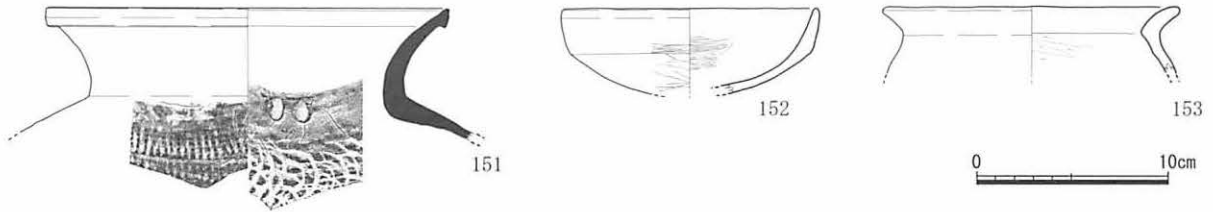


図42 30・43号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/4)

(図44：154)。

#### 52号竪穴住居址 (図43)

検出当初は4基の竪穴住居址が切り合っているものとして掘り下げをおこなったが、遺物や散在する炭の状況から、最終的に1基の竪穴住居であると判断した。縦約6m、幅約5.2m、深さ0.2mである。住居址の主軸は南北を向いている。硬化した床面が、住居址の南側で一部確認できた。床面には炭が一面に散在していた。ただし、木炭などの建築部材を示すようなものは無く、焼失住居とは考えられない。遺物は土師器の坏蓋・坏・甕・甑の把手、須恵器坏蓋・坏・鉢・壺がある。土師器の坏蓋にかえしがついているもの、須恵器の坏身にかえしがついているものがあり、時期が古いものがある(図44：155～179)。

#### 290号竪穴住居址 (図45)

Ⅱ区の調査区北壁沿い。ほぼ中央に位置する。北側半文は配管による破壊されている。上面もかなり削られていた。どちらも軸は南北を向いている。硬化した床面や柱穴などは確認されなかった。遺物も少なく碎片ばかりである。古墳時代の346号竪穴の埋没後、その上に造られている。現状で縦約2.7、幅約3.7m、深さは0.1m程度で、削平のために非常に浅い。住居址の主軸は北を向く。西壁付近で焼土が検出されたが、竈は検出されなかった。西壁に竈が造られていた可能性がある。出土遺物は図45：180～185の、土師器坏と須恵器蓋である。181～183は8世紀末～9世紀初頭で、やや新しい。

#### 291号竪穴住居址 (図34)

Ⅱ区の調査区北壁沿い、290号竪穴住居址の東側に並列するように位置する。北側は配管によって破壊されている。現状では、縦約5m、幅約6.1mである。本来なら、約6m四方の住居址であったと考えられる。削平が著しく、ほとんど深さは残っていない。主軸は北から僅かに西に振れる。住居址の壁には、作りつけの竈が検出された。また、住居址に伴うと考えられる柱穴も検出された。出土遺物は図45：186～191である。土師器坏、甕、須恵器蓋、坏が出土しており、7世紀後葉～8世紀後葉である。

#### 297号竪穴住居址

Ⅱ区の調査区北壁近く、291号竪穴住居址の南に軸を揃えて検出された。297号竪穴住居址は291号住居址に切れおき、また攪乱によって北側のプランは不明である。297号住居址は幅6.4m、上面の削平が著しく、深さは10cm 足らずである。72号溝が埋没したのちに造営されている。297号住居址では硬化した床面が確認された。297号竪穴住居址では竈の跡と思われる焼土が確認された。竈は西壁に作られている。支柱などは確認されなかった。出土遺物は土師器坏(図45：192)と土製鏡(図78：675)である。

#### 343号竪穴住居址

Ⅱ区の東、中央部に位置する。北側を72号溝、南側を4号溝に削平されており、また全体的に削平が著しく、僅かに住居址のプランを確認した。主軸は北西を向く。遺物は、住居址の範囲において古

50・52号竪穴住居址

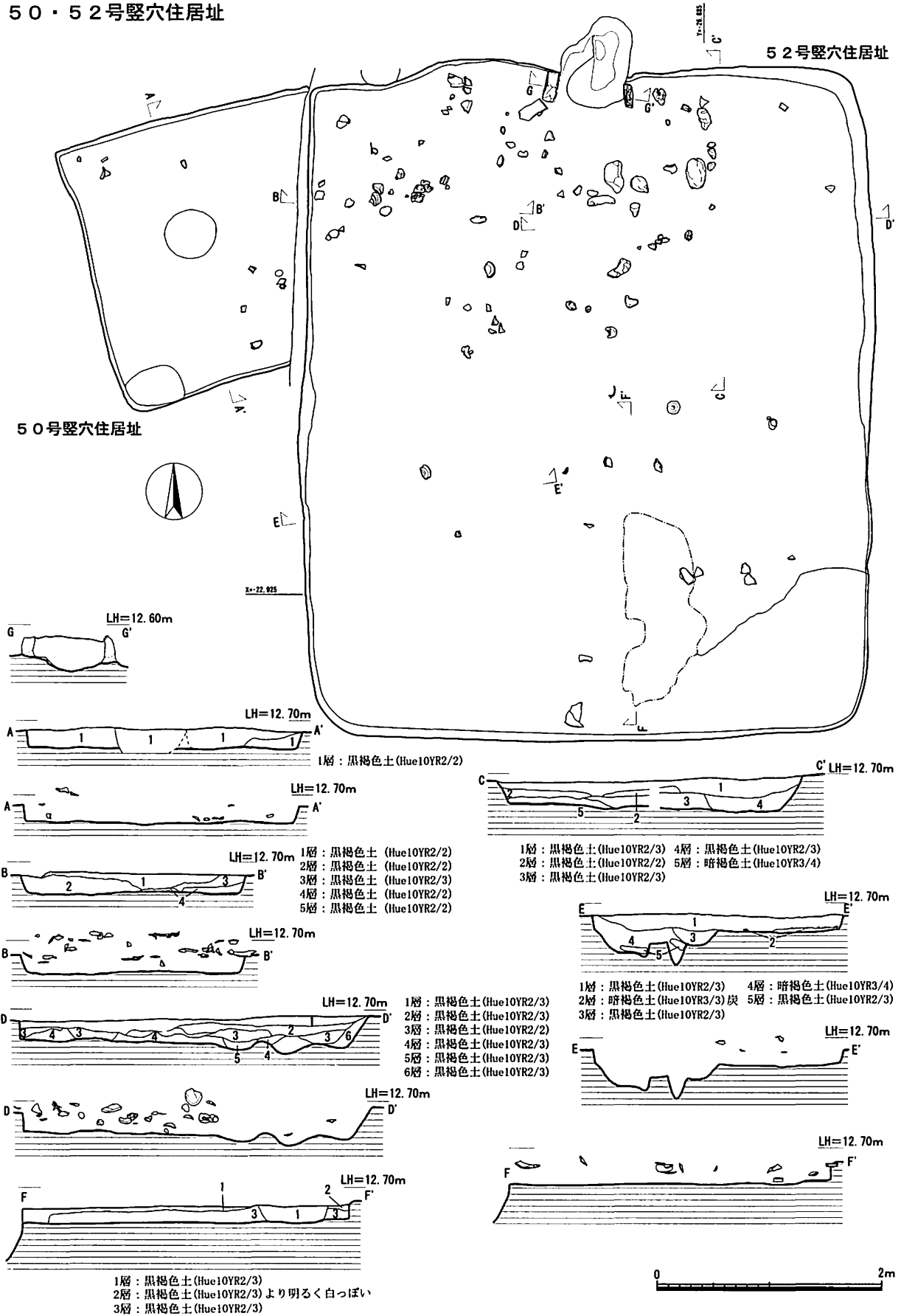


図43 50・52号竪穴住居址実測図 (1/50)

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

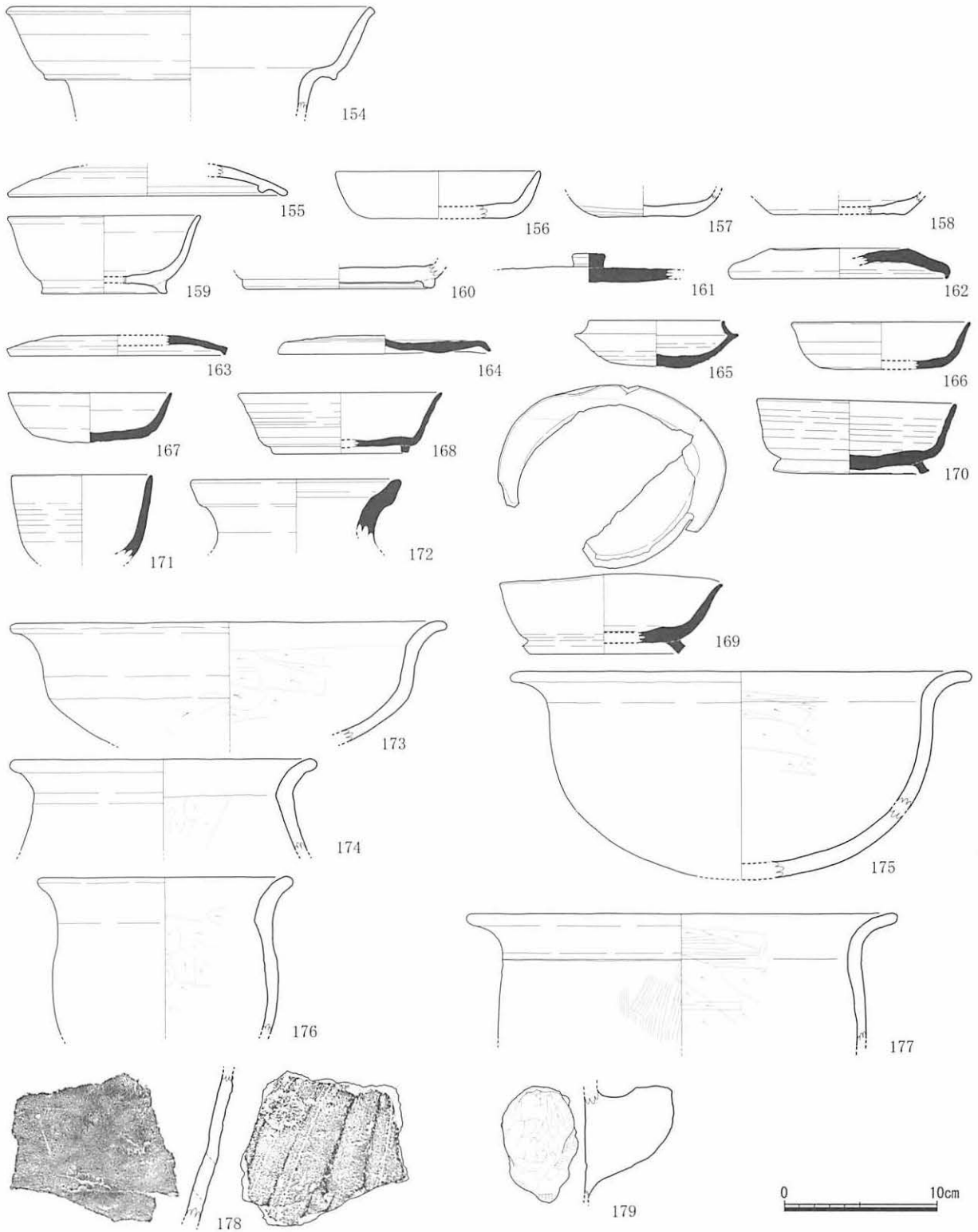


図44 50・52号竪穴住居址出土遺物実測図(1/4)

式土師器と古代の土器が多量に出土したが、碎片が多く図化に至らなかった。8世紀後半の須恵器碗が床と考えられる面の直上で出土しており、住居址の主軸は北西を向くが、古代の住居址と判断した。

355号竪穴住居址(図46)

Ⅱ区の北側中央、290号竪穴住居址の南に軸を揃えて検出された。355号住居址は290号住居址に切



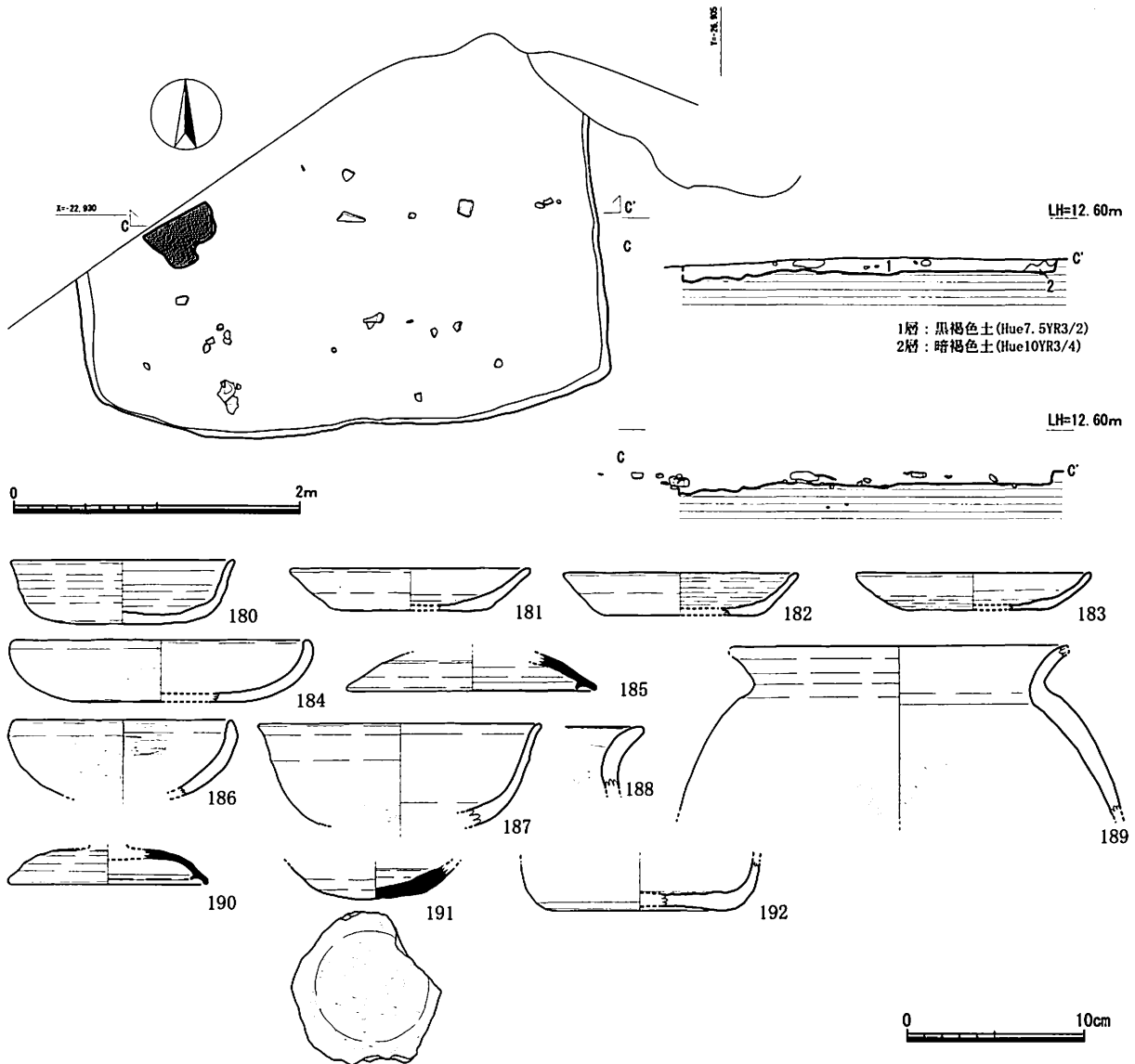


図45 290号竪穴住居址実測図・290・291・297号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/50・1/4)

られおり、また攪乱によって北側のプランは不明である。現状では、縦約3.8m、幅約5.2mで、297竪穴住居址同様上面の削平が著しく、深さは10cm 足らずである。346号竪穴が埋没したのちに造営されている。355号住居址でも竈の跡と思われる焼土が確認された。355号住居址では西壁に作られている。支柱などは確認されなかった。また、住居址に伴う柱穴も検出されなかった。出土遺物は土師器の甕、甑である (図46: 199~201)。

#### 356号竪穴住居址 (図47)

II区の北西隅、大きな攪乱の北側に位置する。住居址の中央部を72号溝に削平されている。溝の北側を356号竪穴住居址、南側を327号竪穴住居址として調査を進めたが、同一の住居址の可能性はある。北側の住居址は、壁部分が別の遺構によって切られている。現状では、北側は縦約1.5m、幅約4.2m、南側は縦約1.5m、幅約5.5mである。住居址の主軸は北北西を向き、古墳時代の住居址と同じ向きである。遺物は図47: 202の甕が出土している。

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

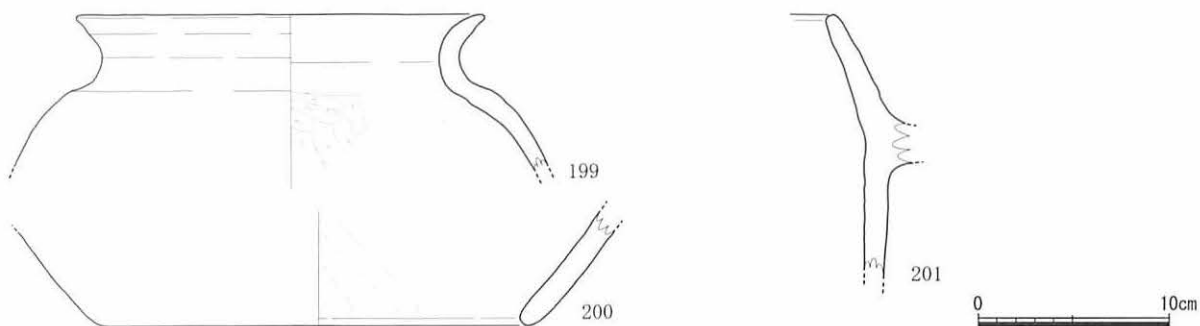
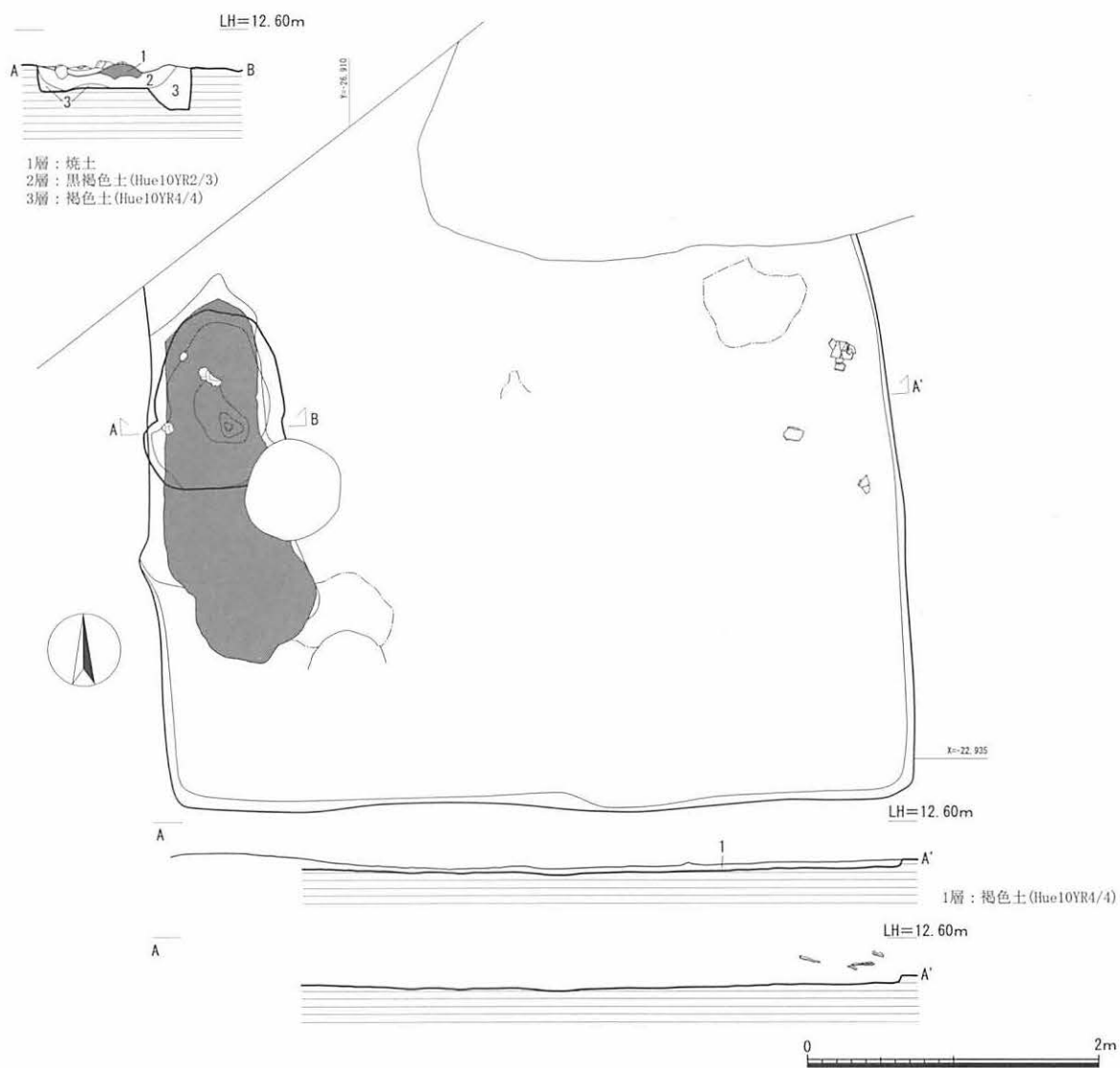
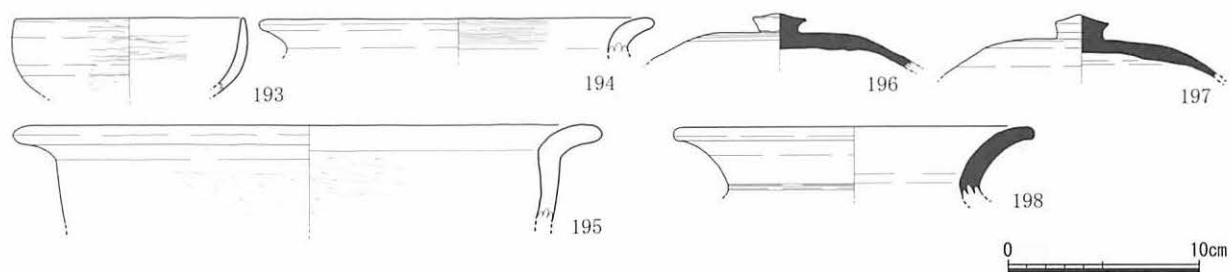
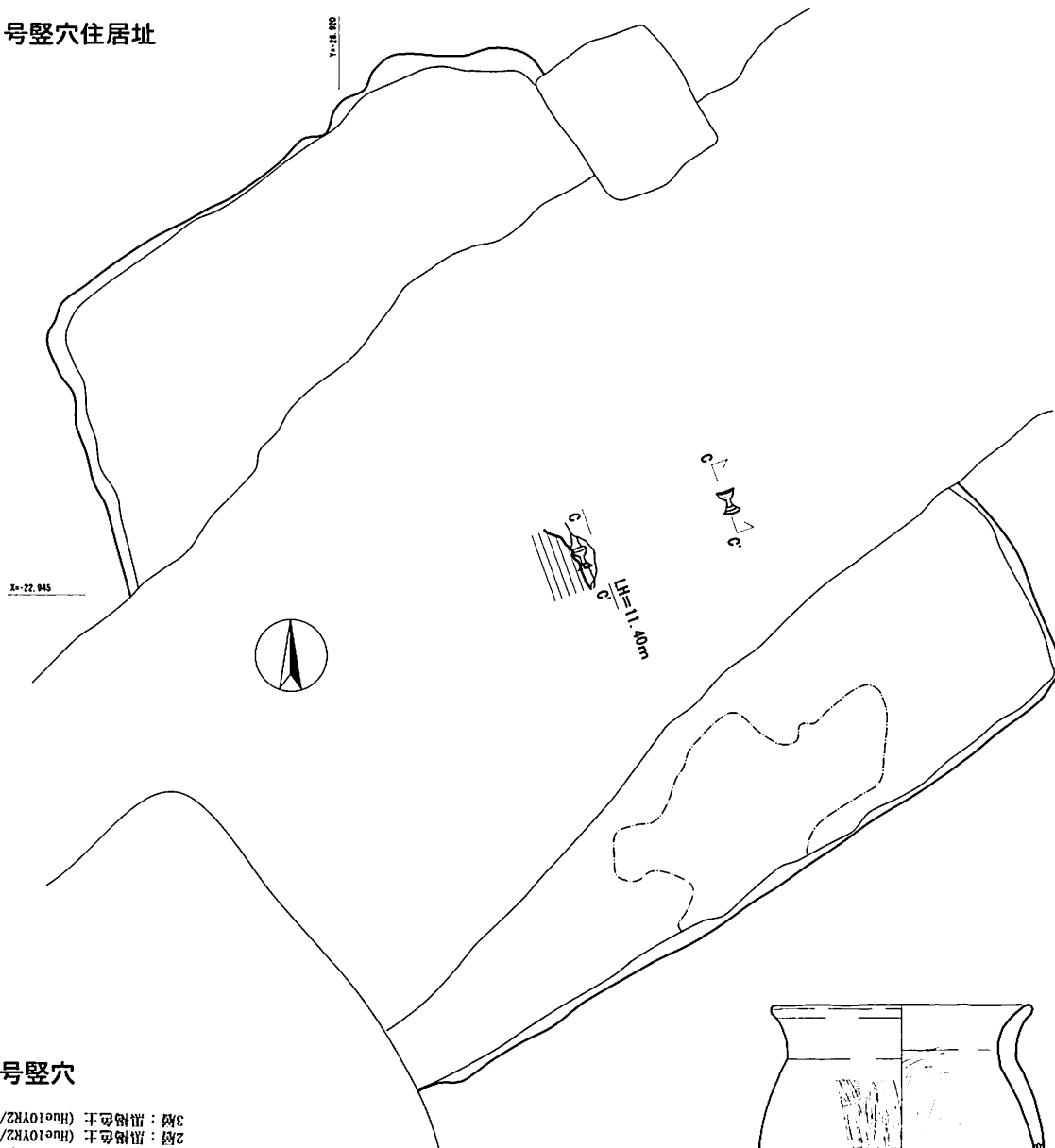


图46 343・355号竖穴住居址出土遺物実測図・355号竖穴住居址実測図 (1/4・1/50)

356号竖穴住居址



357号竖穴

1層：褐色土 (Iue7, SYR4/6)  
 2層：黒褐色土 (Iue10YR2/2)  
 3層：黒褐色土 (Iue10YR2/2)

LH=12.20m

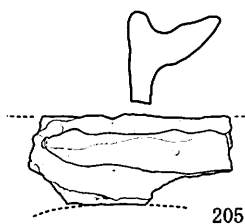
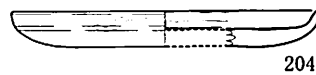
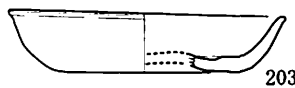
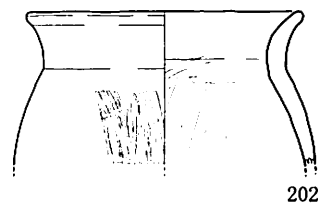
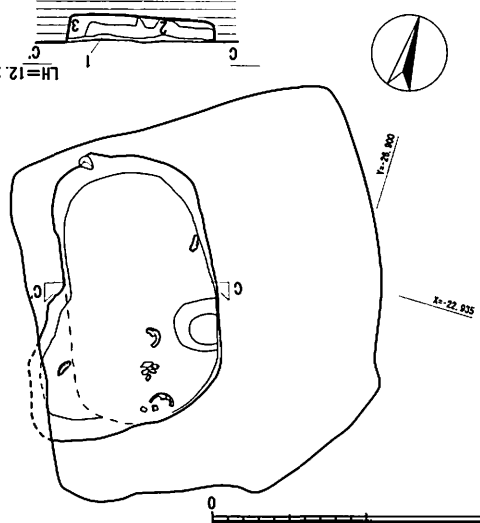


図47 356号竖穴住居址・357号竖穴実測図・356号竖穴住居址・357・348号竖穴出土遺物実測図 (1/50・1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

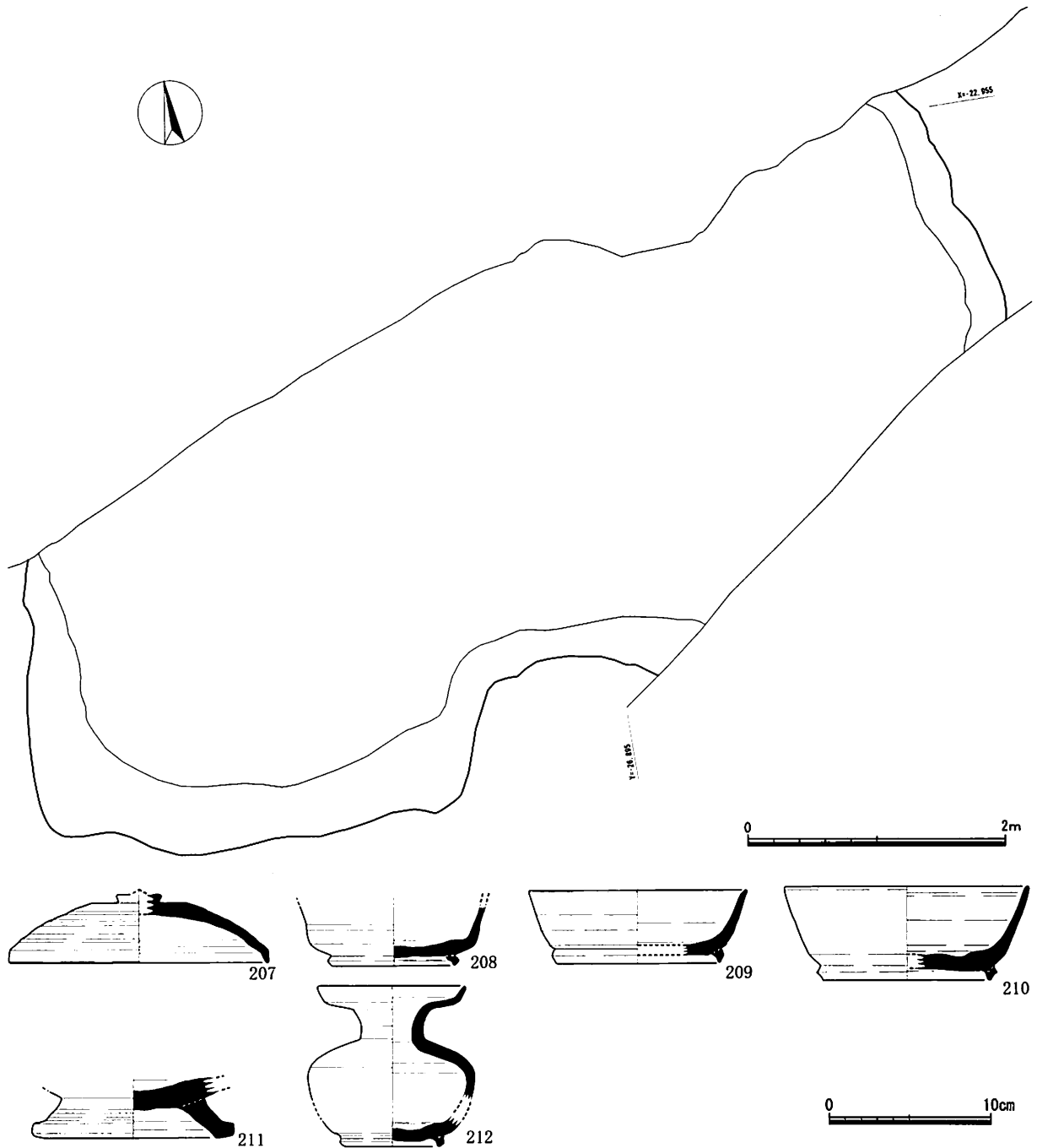


図48 367号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

**357号竪穴 (図47)**

Ⅱ区の中央やや北東より、72号溝上に位置する。現状では、縦2.3m、横2.5m、深さ0.2mの浅い方形の掘り込みの中に、縦約1.7m、最大幅約1.3mの楕円形を呈する掘り込みがある。主軸は北北東を向いている。本遺構も、346号竪穴のように、住居址としては狭小である。出土遺物は、中の掘り込みからは土師器の坏・皿、移動式竈の底部分出土し (図47: 203~205)、外の浅い部分から206の土師器坏が出土した。

**367号竪穴住居址 (図48)**

Ⅱ区の南側中央に位置する。358号溝が住居址の中央を貫く。しかしながら、本来あるはずの北側

半分は検出できなかった。現状では縦約3.5m、幅約8mである。埋土を掘削すると、住居址のような掘り込みとなったが、床と考えられる面は検出できず、遺物は基盤の砂岩ブロック状の層まで入り込んだ状態であった。出土遺物は図48：207～212で、須恵器の坏蓋、坏、壺などが出土している。

### <古代Ⅱ期の竪穴住居址>

#### 25号竪穴住居址 (図49)

I区の中央やや東寄り、2号溝と4号溝が交差する北東隅に位置する。古墳時代の80号竪穴住居址の西側を切っている。現状では縦3.0m、幅3.2m、深さは0.2mである。住居の主軸は北西からやや東に振れている。住居址の南西隅では竈の跡と考えられる焼土と遺物を検出した。また、住居址の中央には硬化した床面を確認した。出土遺物は図50：213～239で、土師器の坏、甕、須恵器の蓋坏の坏身、坏、甕の口縁部が出土している。231は底部外面に「安」であろうか、墨書がある。225～227・229は古式土師器の甕の口縁であり、また須恵器の蓋にはかえしがつく時期の古いものがあるが、ほかの遺物や住居址の様子から、本住居址は8世紀後葉～9世紀初頭の所産であろう。

#### 114号竪穴住居址 (図32)

I区の中央やや東寄り、113号竪穴住居址の北側に位置する。住居址の時期の関係上は113号竪穴住居址のほうが古く、114号竪穴住居址が切る形となるが、113号住居址のプランを確定し掘削した後に114号住居址を確認したため正確な範囲を把握することができなかった。また、攪乱もあり、全容は不明である。西側では、本住居址に伴う可能性がある竈の跡が検出された。住居址の北西角付近で遺物がまとまって出土した。図50：240～242を図化した。土師器甕の口縁部と須恵器蓋坏の蓋である。

#### 157号竪穴住居址 (図51)

Ⅱ区の北西隅に位置する。北側と西側が調査区外に延び、東側は排水管によって既に破壊を受けているため全体のプランは確認できなかった。現状では縦約5m、幅2.3m、深さは0.3mである。住居の主軸は北を向く。床面には土師器や須恵器などの遺物が散在していたほか、硬化した床面も確認できた。調査区の北側の壁に竈が露出していた。精査した結果支柱などが確認された。9世紀前半の設営と考えられる。今回、北壁は検出されておらず調査区外へと遺構埋土は延びるようであるが、竈の位置を考慮すると別の住居址や遺構が重複していた可能性が考えられる。出土遺物は図51：243～266である。土師器の蓋坏の蓋、坏、碗、皿、甕、須恵器の蓋、坏で、古墳時代の遺物(259)が僅かに混入している。250の底部には細い格子状のヘラ記号があり、252の底部には判読できないが墨書がある。

#### 258号竪穴住居址 (図52)

Ⅱ区のほぼ中央に位置する。北側には360号竪穴住居址が隣接し、本遺構が切っている。また、500号掘立柱建物に切られている。東側半分は破壊されており、現状は縦約3.6m、幅3.0m、深さは0.1m程度である。住居の主軸は北からやや西に振れる。住居址の中央部では、硬化した床面が確認された。柱穴は不明である。古代の住居址であり、竈が設置されていたと考えられるが、検出した範囲では確認されなかった。500号掘立柱建物を切っており、時期は8世紀後半以降である。出土遺物は図52：267～271である。土師器坏と甕、須恵器坏である。269の坏の底部には、判読不明であるが、格子状の細いヘラ記号と墨書がある。

#### 300号竪穴住居址 (図52)

I区とⅡ区の境、調査区北壁近くに位置する。現状で縦約2.9m、幅約2.9m、深さ約0.5mで、住居址中央では、硬化した床が検出された。柱穴は検出されなかった。主軸は北を向く。住居址の南東隅

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

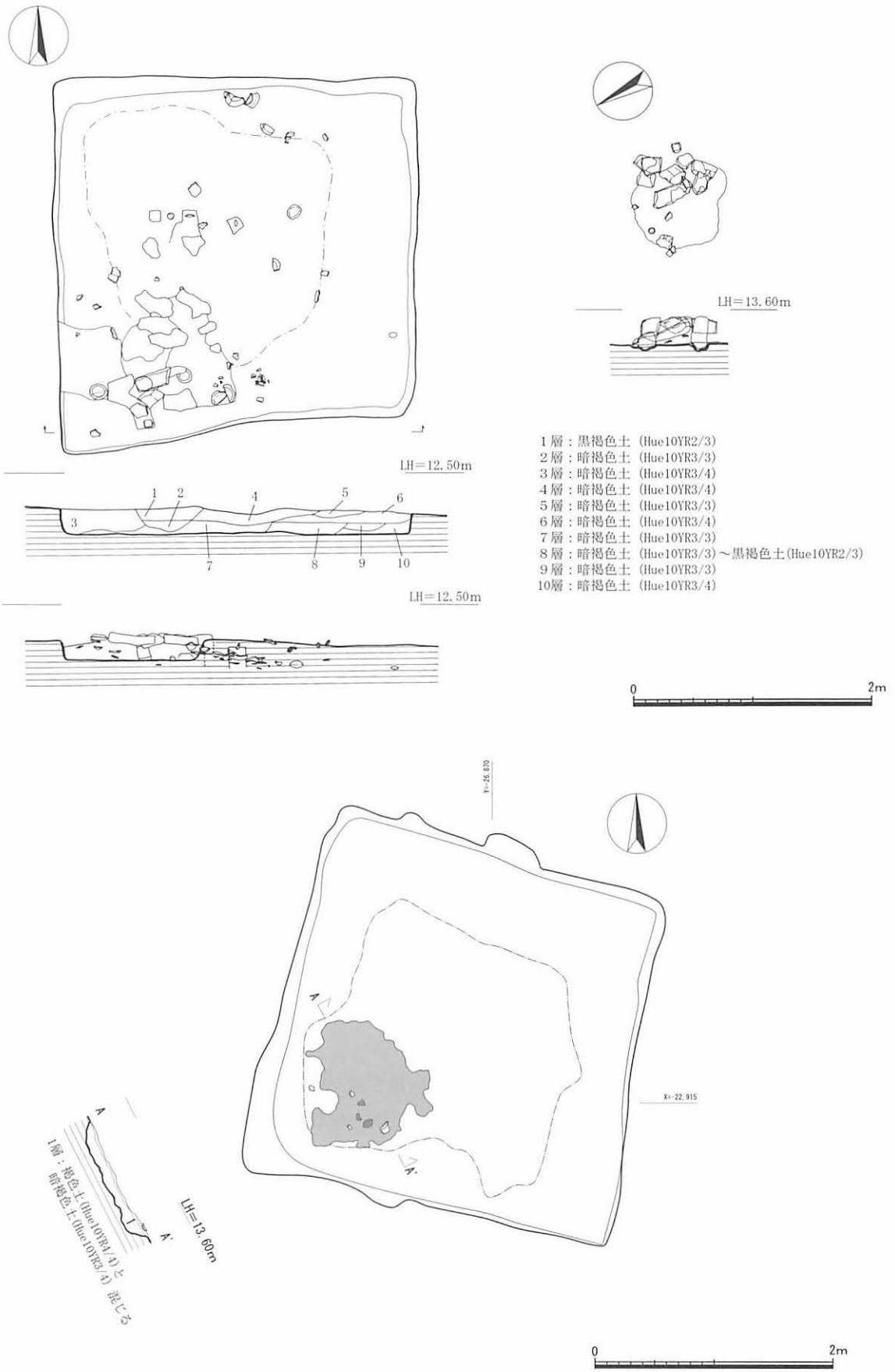


図49 25号竪穴住居址実測図 (1/50)

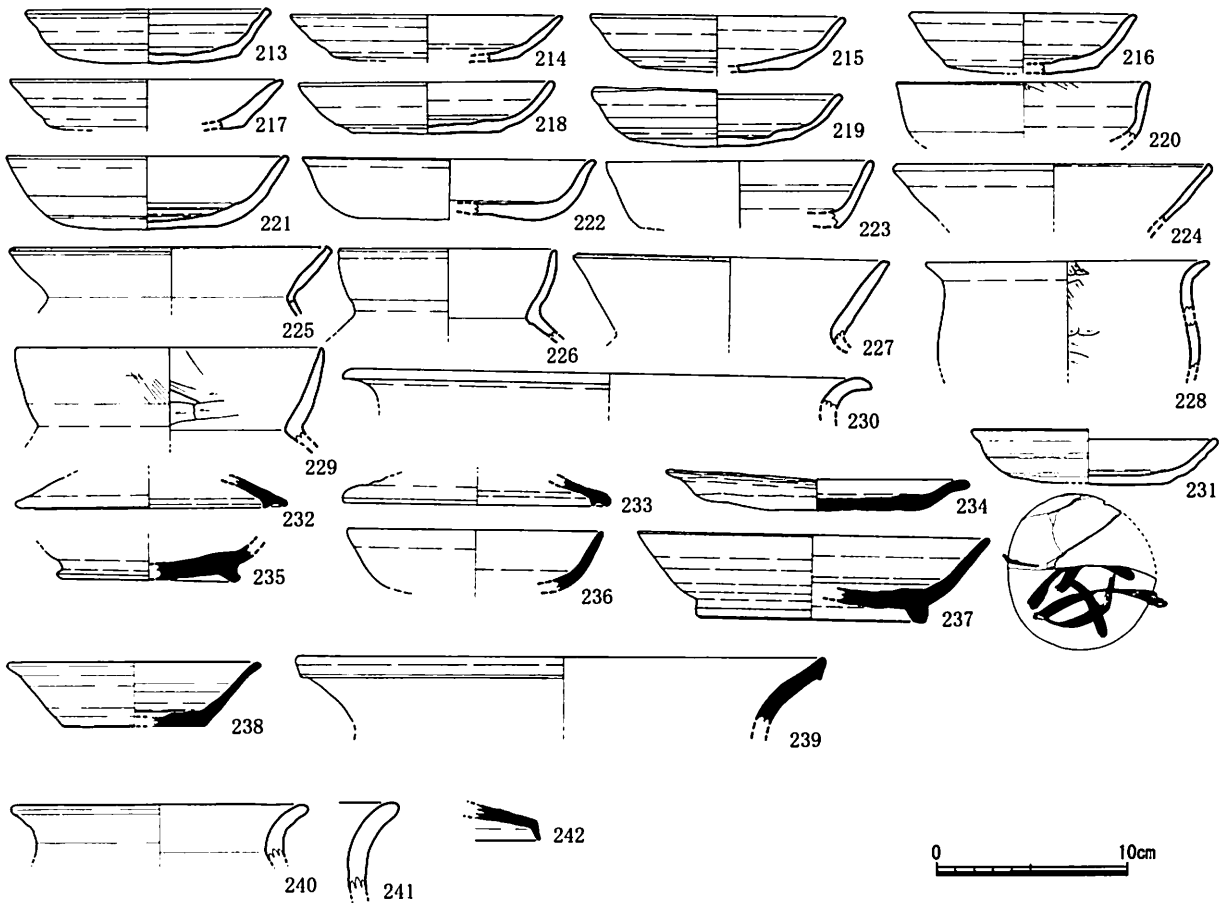


図50 25号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/4)

には、竈が造りつけられていた。東壁に一段浅く張り出す部分があるが、これは竈に伴うものと考えられる。また、床の周囲には、幅0.2m、深さ0.1程の溝が壁に沿って廻らされている。このような構造を持つ住居址は、本住居址が唯一である。竈付近では、竈の構築部材と遺物が多量に検出された。出土遺物は図53：272～314、図78：653である。土師器の坏・甕と須恵器の蓋、坏、鉢、甕、土錐である。304～310の7点の土師器坏の底部には墨書が記されていた。305・307・309は「安」、306は「女」、308は「五□」である。住居址からの墨書土器の出土点数は、本庄遺跡では本住居址が最多である。ほかに鉄製品の釘（図79：685）が1点出土している。8世紀末～9世紀前半の遺物である。

**310号竪穴住居址（図54）**

I区とII区の境、前調査区の中央部に位置する。300号竪穴住居址の南側で検出された。配管などの攪乱が多く、全体的に削平を受けており、ベルト状に一部が本来の状態が残されていた。大よそのプランは把握できるが、住居址や遺物の残存状態は良くない。現状での推定では、縦約5.9m、幅約5.9mである。住居の主軸は北を向く。東側に竈の跡と考えられる焼土塊があり、ここが本住居址の東壁付近と考えられる。出土遺物は図54：315～327である。土師器の坏・碗・甕、須恵器の長頸壺（肩部）である。本住居址からも、墨書のある坏が1点出土した。文字は判読不明である。このほか鉄製品の刀子（図79：686）が1点出土している。

**359号竪穴住居址**

I区とII区の境、調査区の南壁沿い中央に位置する。竪穴住居址の可能性のある遺構の一部が検出

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

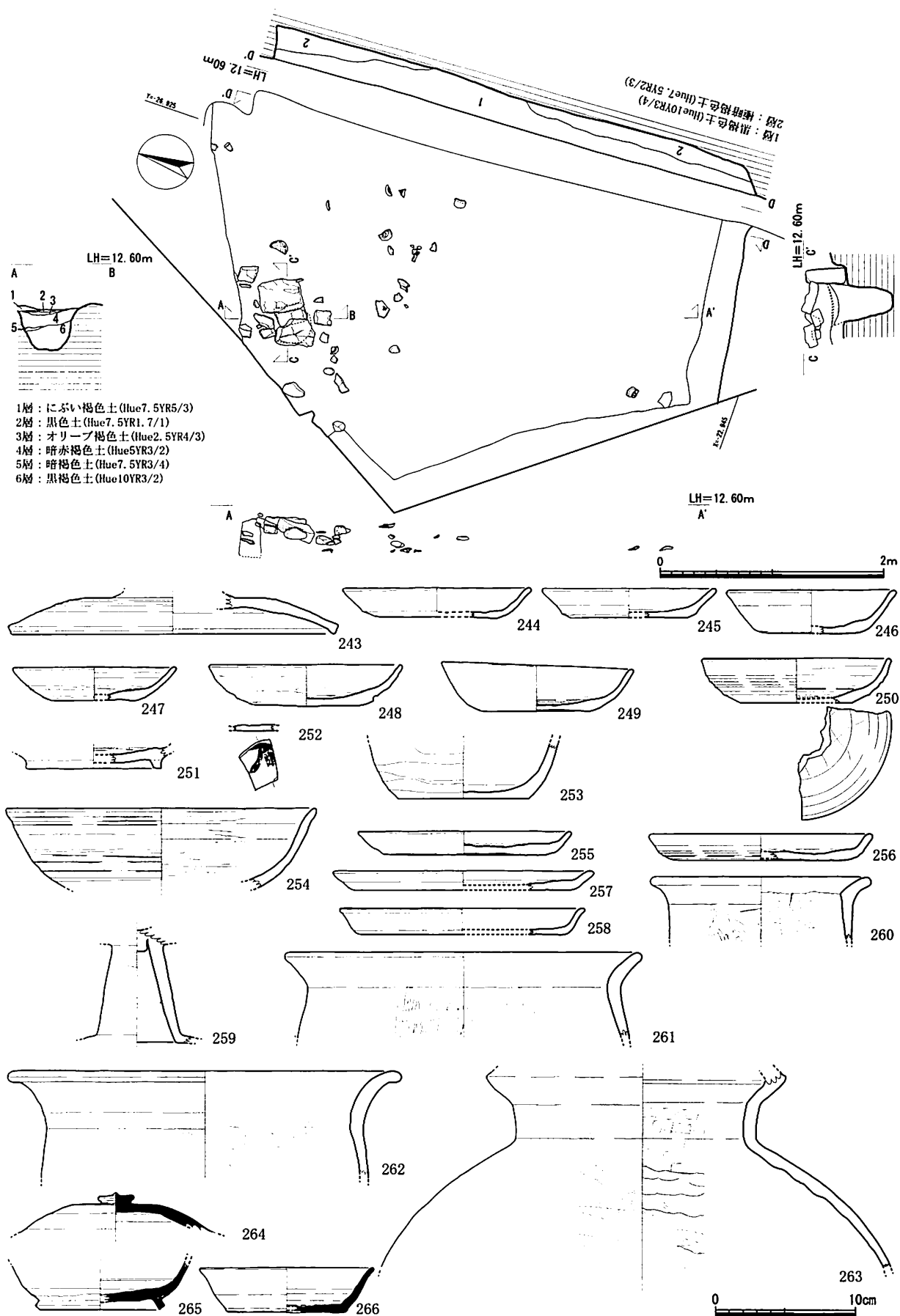
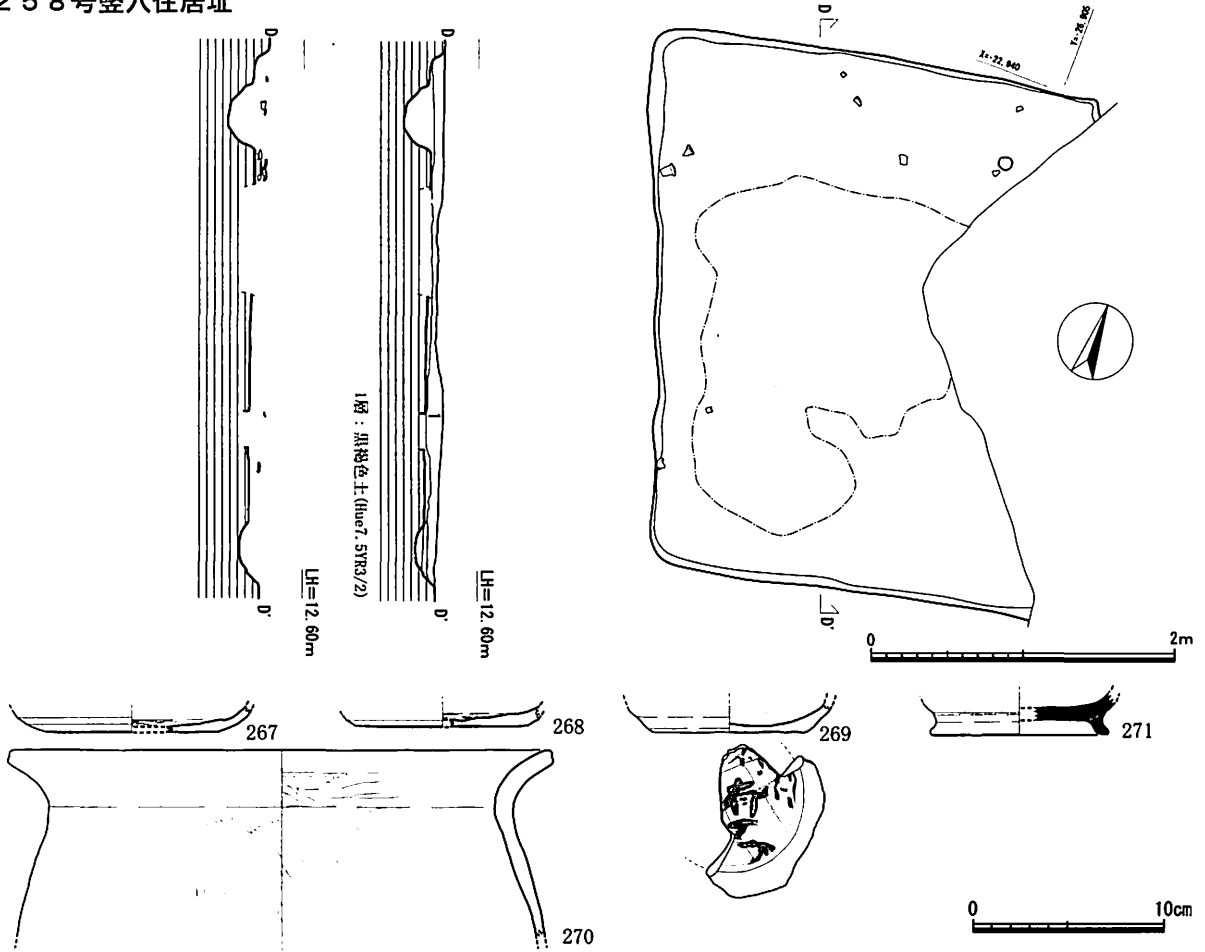


図51 157号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)



258号竖穴住居址



300号竖穴住居址

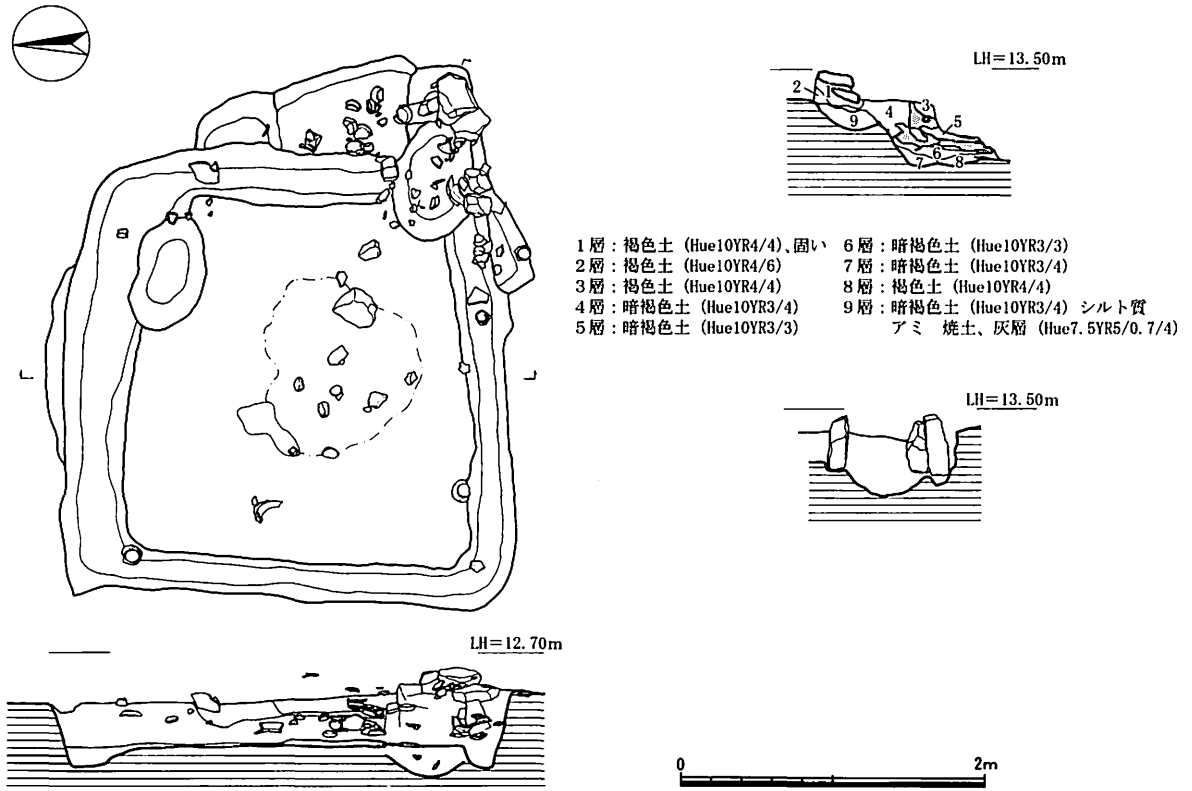


図52 258号竖穴住居址実測図・出土遺物実測図・300号竖穴住居址実測図 (1/50・1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

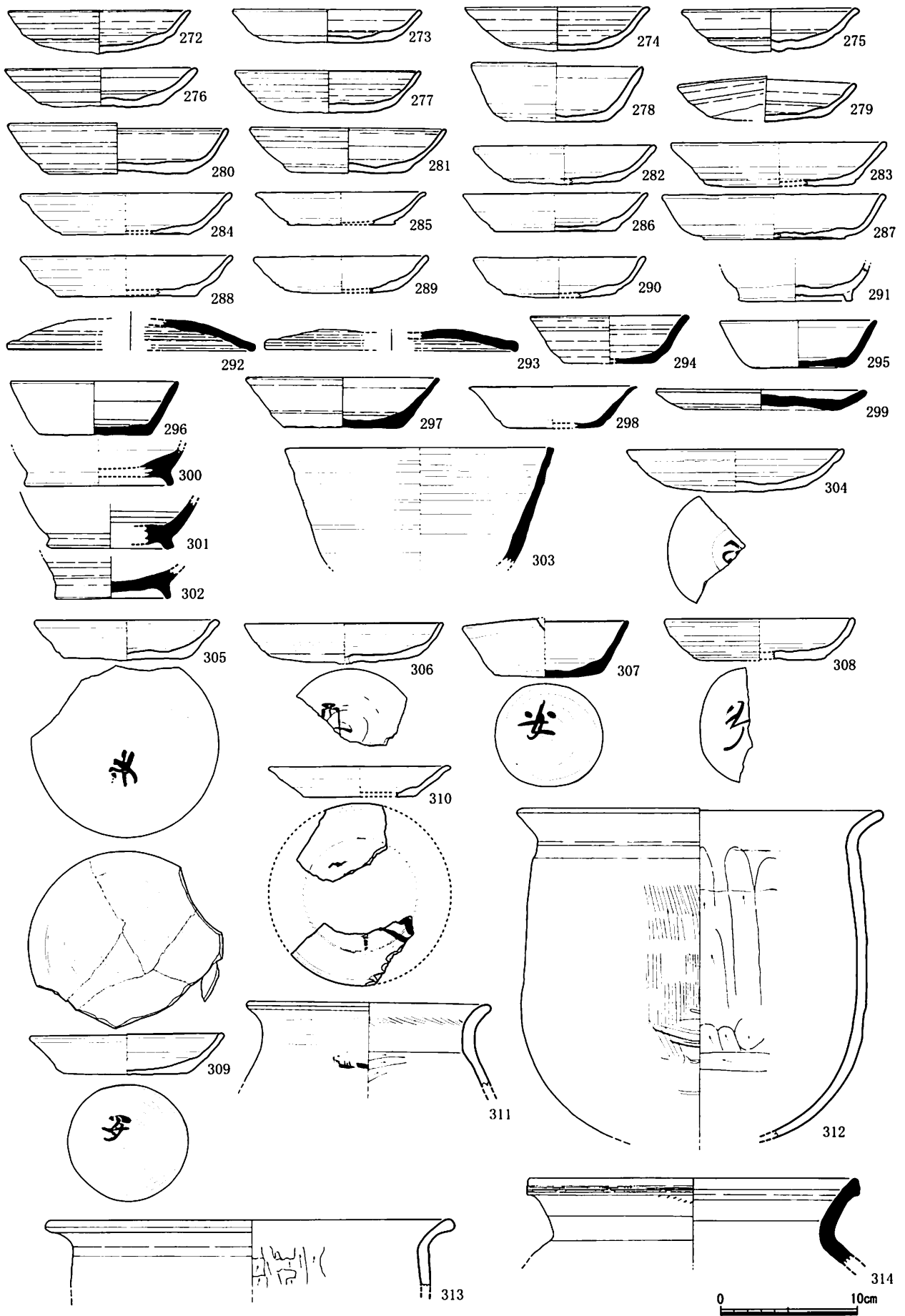


图53 300号竖穴住居址出土遺物実測图 (1/4)

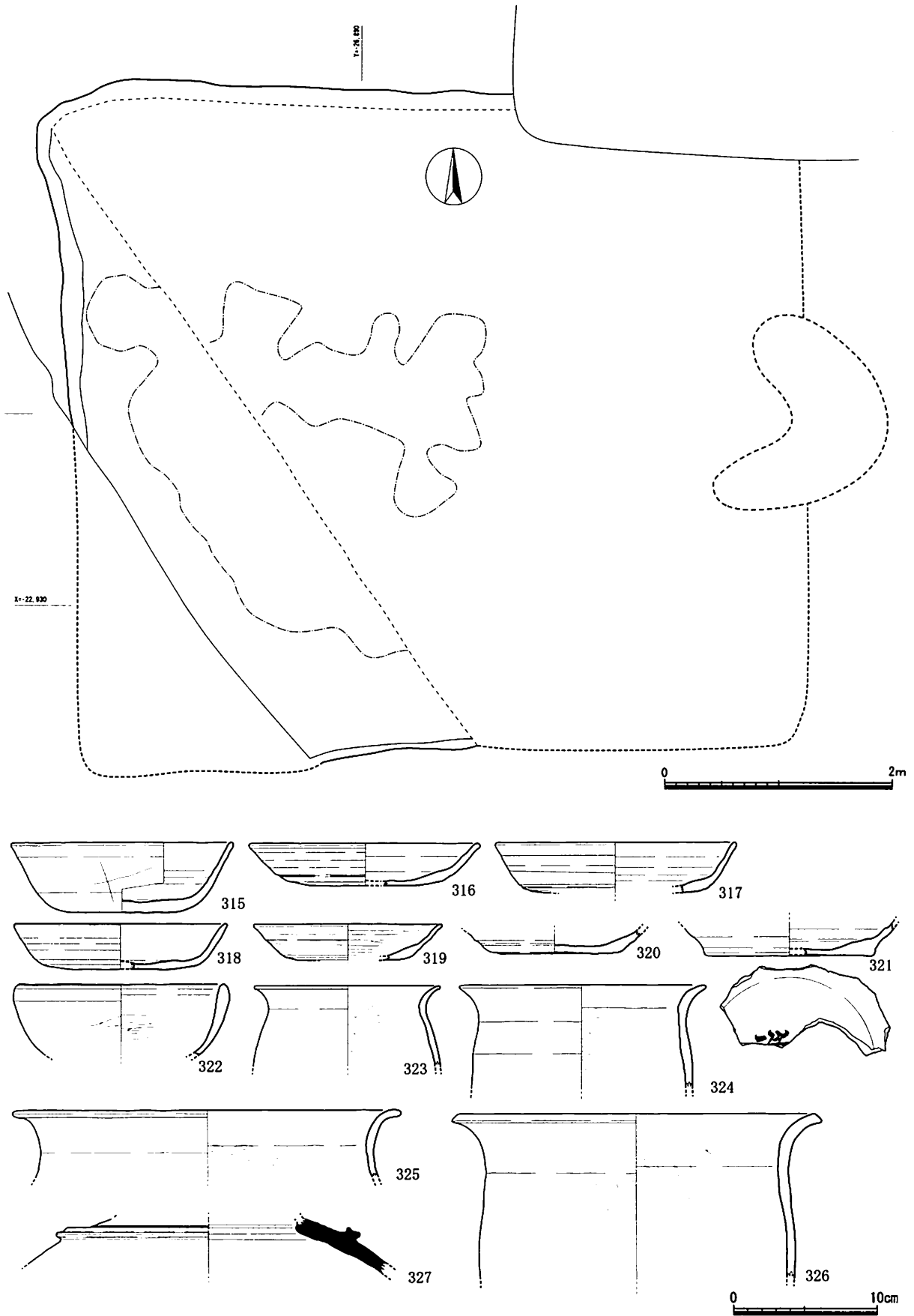


図54 310号竪穴住居址実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

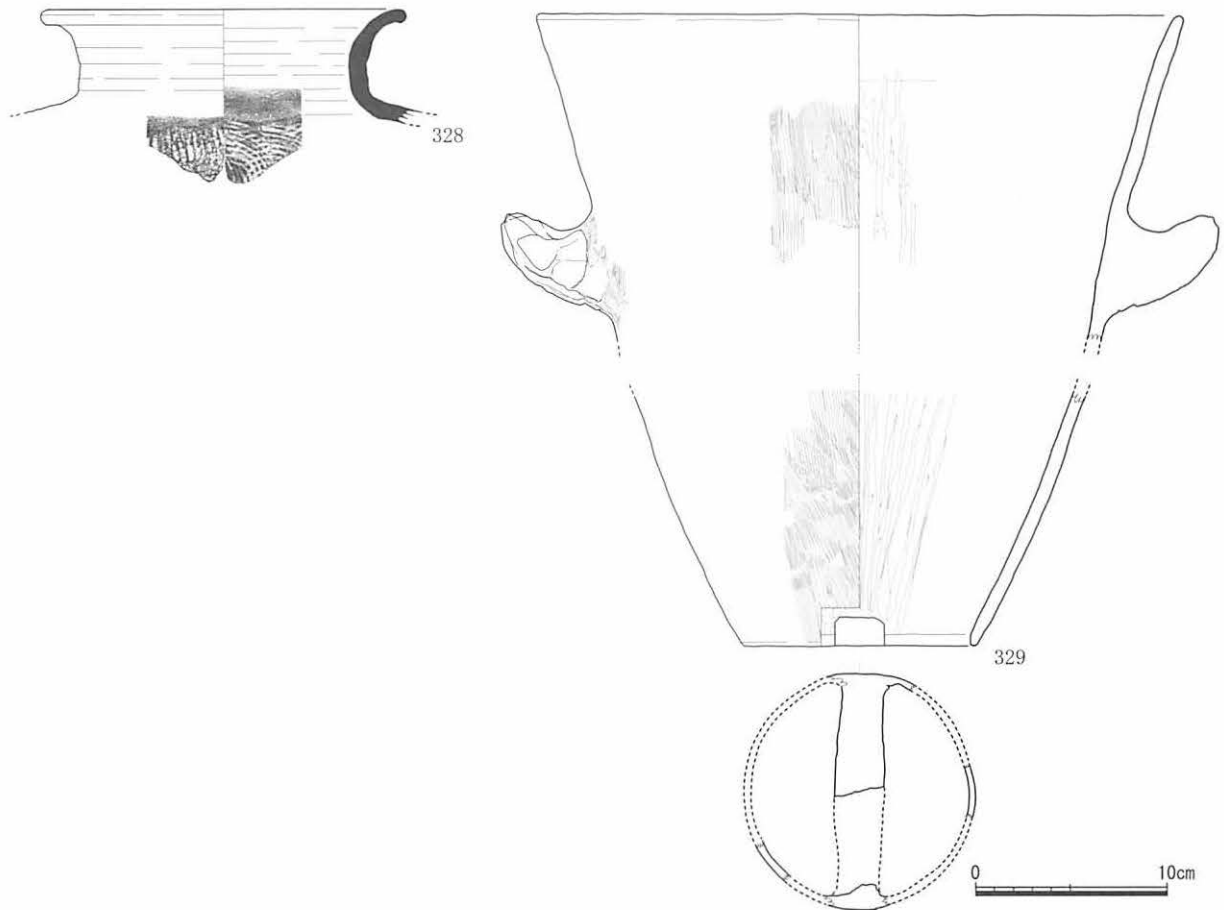


図55 359・362号竪穴住居址出土遺物実測図 (1/4)

された。現状では縦約0.8m、幅約3.0mである。主軸は北西からやや南に振れる。出土遺物は須恵器の壺の頸部である (図55：328)。

#### 362号竪穴 (図38)

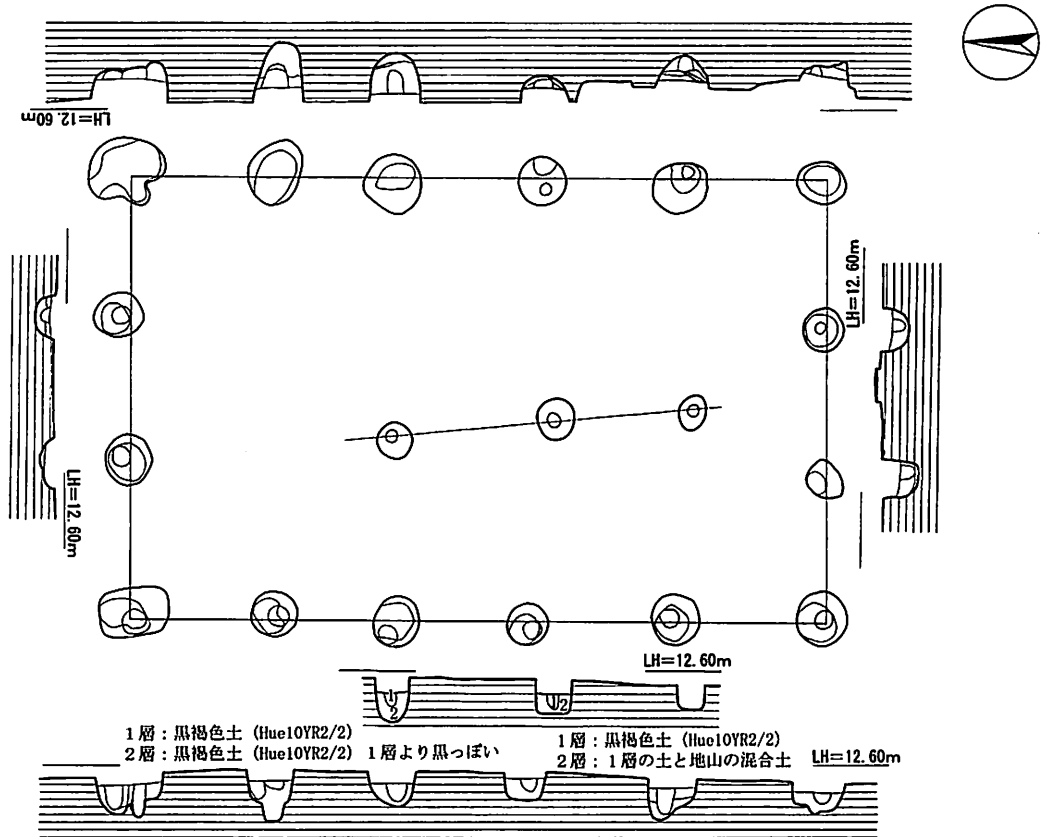
Ⅱ区の中央やや北東寄り、361号竪穴住居址の西側に位置する。西側は360号竪穴住居址、北側は72号溝、東側は361号竪穴住居址が隣接する。361号竪穴住居址と同様に、住居の北側半分以上を72号溝によって破壊されている。現状では、縦約2.0m、幅4.6m、深さ約0.5mである。主軸は北を向く。遺構プランはほかの竪穴住居址と同じで、5m四方の住居址に復元できそうであるが、本遺構もほかの住居址と比較すると、深さがある。完掘時では、床と思われるような平坦な面は検出されず、柱穴もない。361号竪穴住居址と同様に、掘削時に床面と考えられる平面は検出されず、砂岩ブロック状の基盤層が底部で検出された。出土遺物は図55：329の、土師器の甌である。底部の蒸気孔は棧渡タイプである。

#### <掘立柱建物址>

本調査区では、6棟の掘立柱建物址を確認した。掘立柱建物址は、古代の遺物包含層に掘り込まれている。Ⅰ区では柱穴列の把握が困難で調査後に認定した。Ⅱ区では遺物包含層上で把握することができた。500・501号以外は、調査区の北西外に広がり、全体の確認は出来なかった。このほかに南北や東西に並ぶピットがあり、本来は掘立柱建物を構成する柱穴である可能性がある。

500・501号掘立柱建物

500号掘立柱建物



501号掘立柱建物

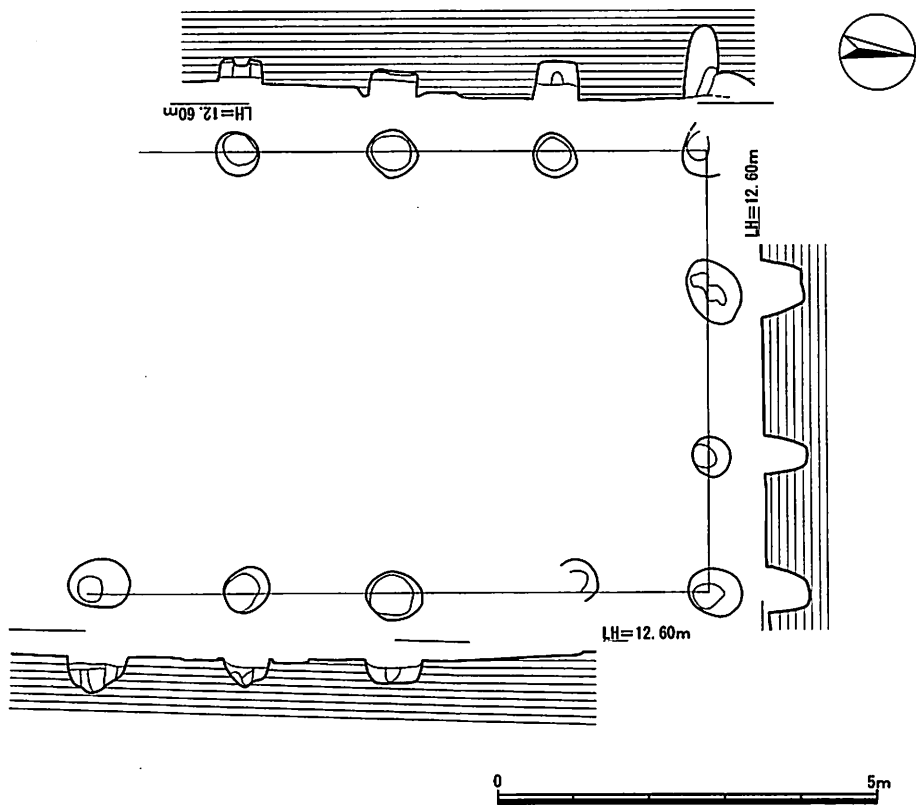


図56 500・501号掘立柱建物実測図 (1/100)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

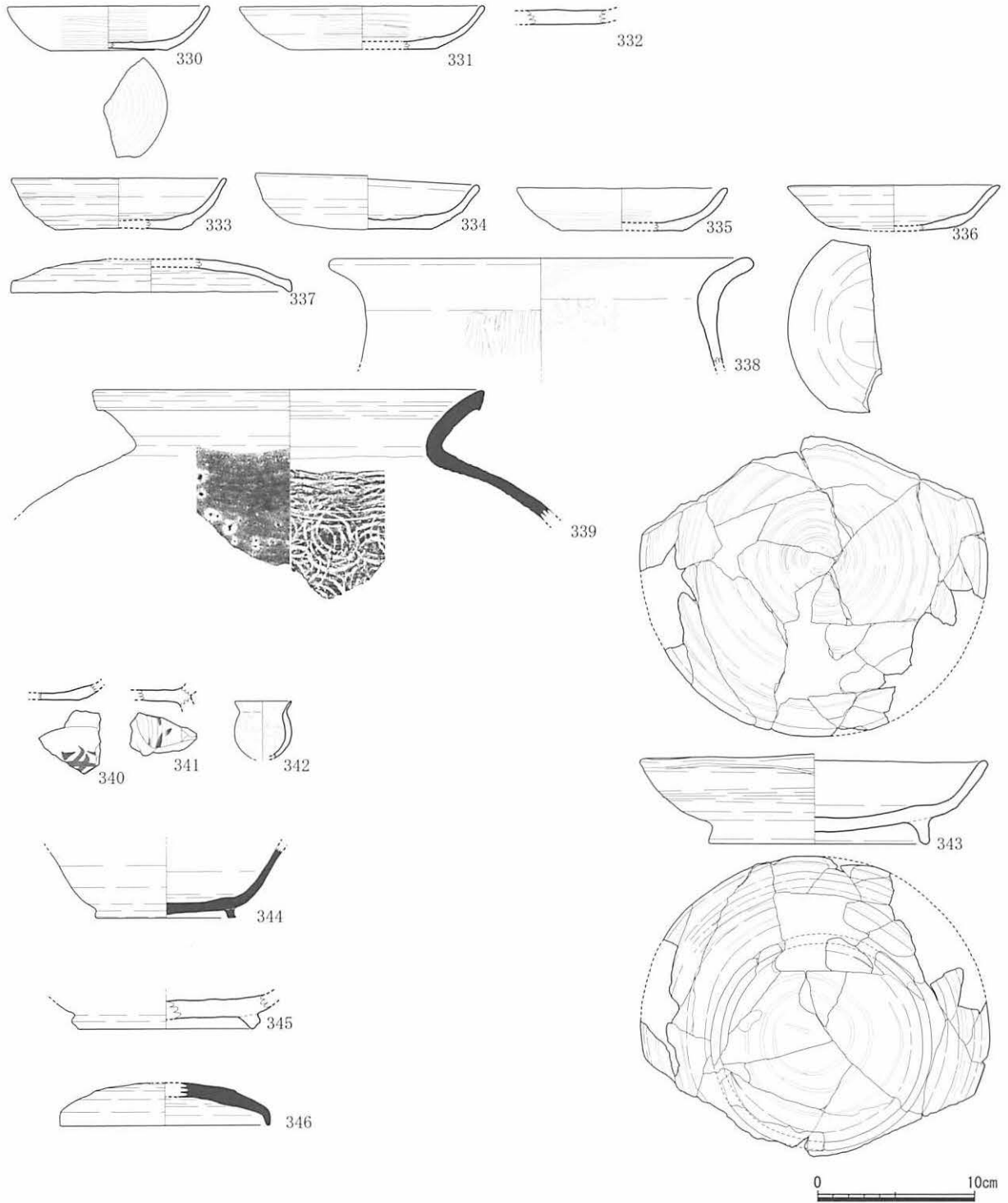


図57 500・501・502・503号掘立柱建物出土遺物実測図 (1/4)

500号掘建柱建物址 (図56)

Ⅱ区の北側中央で検出した。桁行5間、梁行3間の掘立柱建物である。主軸は南北方向である。72号溝が埋没した後、355号竪穴住居址の上に設営されている。柱間は桁行・梁行とも1.8～2mである。柱穴は径が55cm～70cm、柱痕は径25cmである。検出面からの深さは30cm～80cmである。建物の方位からは8世紀後半以降と考えられ、355号竪穴住居址を切る事から8世紀代も終り頃の可能性が

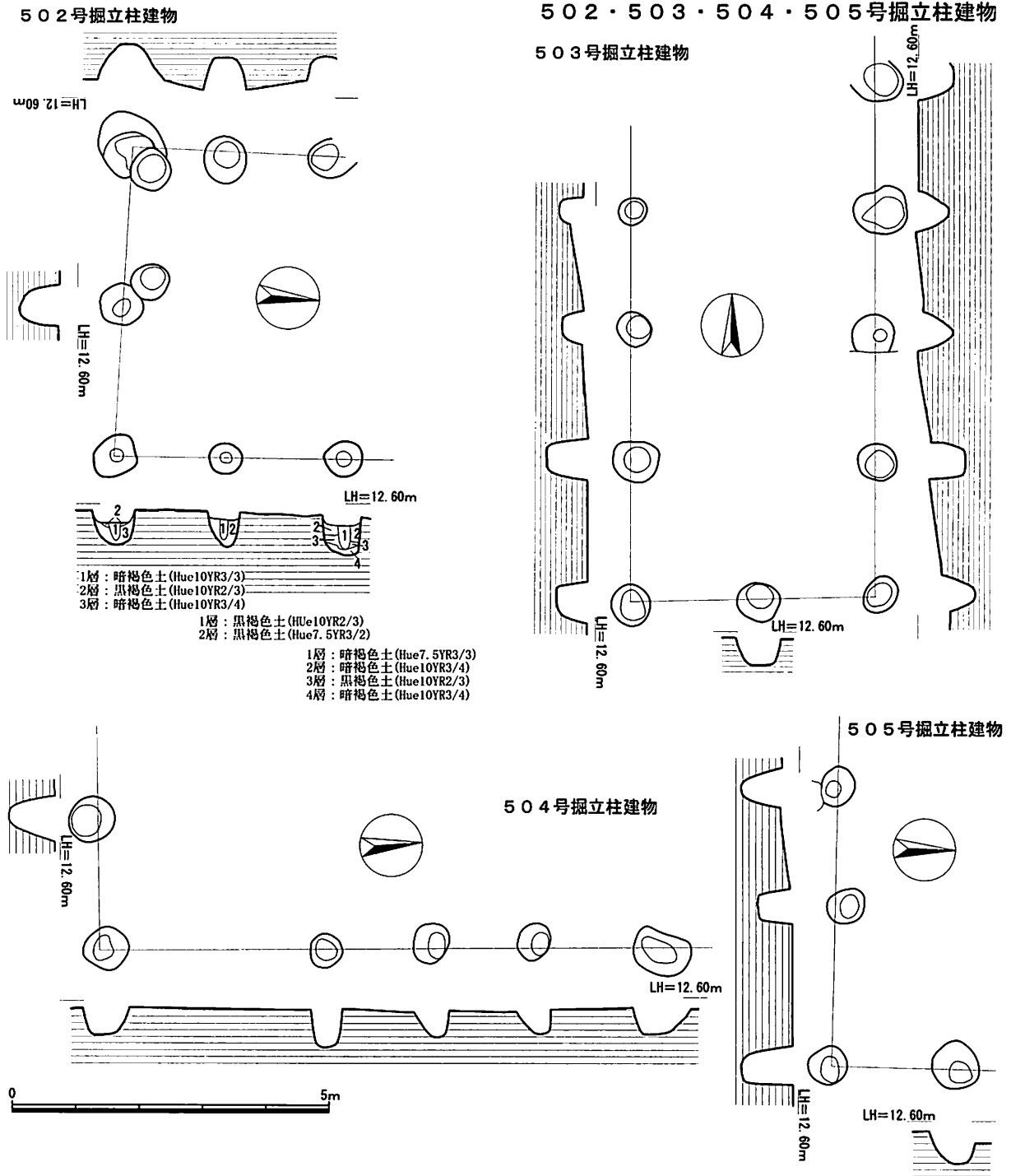


図58 502・503・504・505号掘立柱建物実測図 (1/100)

あろう。出土遺物は図57：330～332で、土師器の坏が出土している。8世紀末～9世紀初頭と考えられる。

501号掘立柱建物址 (図56)

Ⅱ区の北西、500号掘立柱建物址の4mほど西側で検出された。500号と主軸を揃えている。南側が攪乱のため不明だが、500号と同じ3間×5間の建物であったと考えられる。調査終了後に認定した。柱間は1.8～2m、柱穴は径が55cm～80cm、柱痕は径約25cm、検出面からの深さは30cm～50cmで

## 1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

ある。設営時期は500号と同じ頃と思われる。出土遺物は図57:333~339で、土師器の坏、蓋、甕、須恵器甕などである。また、鉄製品の鏃(図79:687)が1点出土している。

### 502号掘立柱建物址(図58)

Ⅱ区の北側中央で、355号竪穴住居址と500号掘立柱建物址と重複して検出された。北半分が調査区以北に延びるため全体は分からない。桁行3間以上、梁行3間の建物である。調査終了後に認定した。主軸は南北方向をとり500号と向きを揃えている。柱間は桁行が約1.9m、梁行が約2.3mである。柱穴は径が50~80cm、柱痕は15~20cm、深さは50~60cmである。355号住居址を切っているが500号との前後関係は判断し難い。出土遺物は図57:340~344である。土師器坏、須恵器坏と壺形のミニチュア土器が出土している。340・341の2点の土師器の坏の底部には墨書がある。文字は判読不明である。

### 503号掘立柱建物址(図58)

調査区の北側中央付近で検出した。調査終了後認定した。北側がさらに調査区外に延びるのかは不明である。現状では桁行4間、梁行2間である。主軸は南北方向を向いており、上記の掘立柱建物と方向を揃えている。柱間は桁行で1.9~2m、梁行で1.9m、柱穴は40~70cmである。出土遺物は図57:345~346で、土師器坏と須恵器蓋である。8世紀後半の所産と考えられる。

### 504号掘立柱建物址(図58)

調査区の北側中央付近、503号掘立柱建物址と重複して検出された。調査終了後に認定した。北側がさらに調査区外に延びるのか、また西側は何間となるかは不明である。現状では桁行5間、梁行1間である。主軸はおおむね南北方向を向いているがやや東に振れており、上記の掘立柱建物とは方向が微妙にずれる。柱間は桁行で1.7~2m、梁行で2.0m、柱穴は50~70cm、深さは45~70cmである。

### 505号掘立柱建物址(図58)

調査区の北側中央付近、503号掘立柱建物址の西側0.8mで検出された。調査終了後に認定した。桁行き、梁行きともに調査区外に延びると考えられる。現状では桁行1間、梁行2間である。主軸は南北方向を向いており、500号や501号などの掘立柱建物と方向を揃えている。柱間は桁行で2.1m、梁行で1.9~2.5m、柱穴は60~75cm、深さは50~80cmである。

この他掘立柱建物となると思われるピットが4棟分あると認識している。

## <溝>

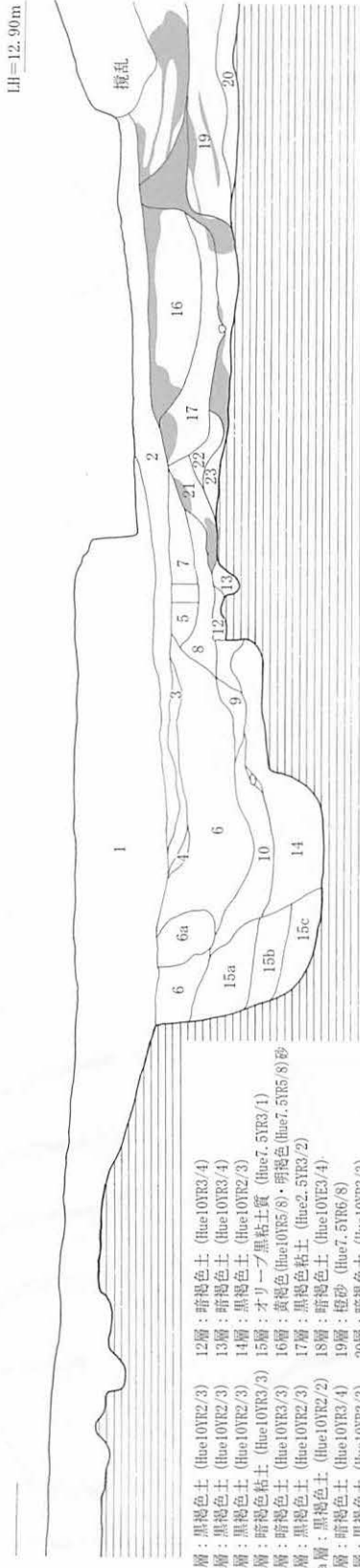
本調査区では、古墳時代から近世に至るまでの大小さまざまな溝が検出された。溝は、調査区の南側を東西に横断するものが多い。地形的に西側から東側に向かって流れている。調査区南側の溝が集積する範囲は、水的作用の為であろう、マンガンと思われる鉱物の沈着が著しく、溝の形状がそのままコーティングされた状態のものが多い。古墳時代・古代の溝はまとめて遺構番号に則して記述し、最後に近世以降の溝について記述する。

### 1号溝

1号溝は、調査区の南側を北東-南西方向に貫く溝である。幅最大2m、最も深いところで1.2mである。Ⅰ区で2号溝、72号溝と交差し、交差する地点から西側では幅を1m前後にたもって南西から北東に向かって流れている。Ⅱ区では381号溝として掘削したが、同一の溝と判断した。8世紀前半には埋没したと考えられる4号溝、それを切る379号との関係を整理すると、1号溝は9世紀前半の設営と考えられる。出土遺物は図60:347~392、図61:393~417、図62:418~435、381号として取り上げた図75:631~633、図78:654・655である。土師器の蓋、坏、皿、甕、鉢、甗、移動式竈、

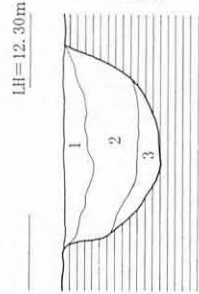


1号溝



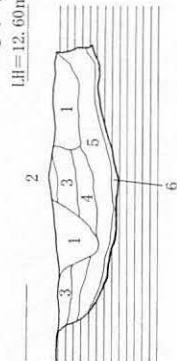
- 1層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 2層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 3層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 4層：暗褐色粘土 (hue10YR3/3)
- 5層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 6層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 6a層：黒褐色土 (hue10YR2/2)
- 7層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
- 8層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 9層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 10層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 11層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 12層：暗褐色土 (hue7.5YR3/4)
- 13層：暗褐色土 (hue7.5YR3/4)
- 14層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 15層：オリーブ黒粘土質 (hue7.5YR3/1)
- 16層：黄褐色 (hue10YR5/8)・暗褐色 (hue7.5YR3/2)
- 17層：黒褐色粘土 (hue2.5YR3/2)
- 18層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
- 19層：砂 (hue7.5YR6/8)
- 20層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 21層：暗褐色土 (hue10YR2/3)
- 22層：褐色土 (hue10YR4/6)
- 23層：暗褐色土 (hue10YR3/4)

57号溝



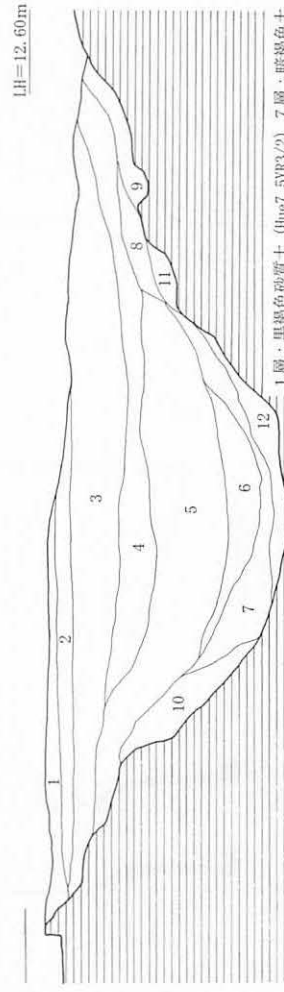
- 1層：暗褐色砂質土 (hue10YR3/4)
- 2層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
- 3層：にぶい黄褐色砂質土 (hue10YR4/3)

37号溝



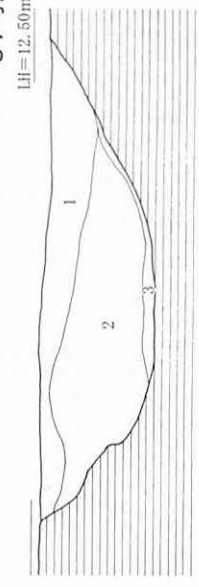
- 1層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
- 2層：オリーブ褐色土 (hue2.5YR4/4)
- 3層：褐色土 (hue10YR4/4)
- 4層：暗褐色土 (hue7.5YR3/4)
- 5層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
- 6層：暗褐色土 (hue7.5YR3/3)

2号溝



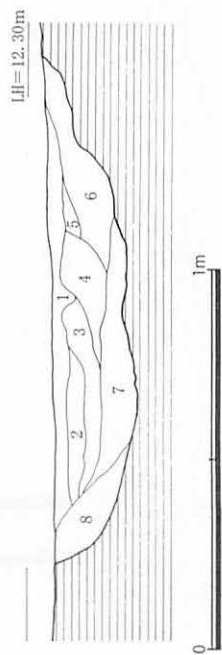
- 1層：黒褐色砂質土 (hue7.5YR3/2)
- 2層：黒褐色砂土 (hue10YR2/3)
- 3層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
- 4層：暗褐色土 (hue10YR3/4)
- 5層：暗褐色砂質土 (hue10YR3/4)
- 6層：暗褐色土 (hue7.5YR3/3)
- 7層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 8層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
- 9層：暗赤褐色土 (hue5YR3/3)
- 10層：黒褐色土 (hue7.5YR3/2)
- 11層：黒褐色砂質土 (hue7.5YR3/2)
- 12層：暗褐色砂質土 (hue10YR3/2)

37号溝



- 1層：褐色土 (hue10YR4/4)
- 2層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 3層：暗褐色土 (hue7.5YR3/3)

72号溝



- 1層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 2層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 3層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 4層：黒褐色砂質土 (hue10YR2/3)
- 5層：暗褐色砂質土 (hue10YR3/3)
- 6層：暗褐色土 (hue10YR2/2)
- 7層：黒褐色土 (hue10YR2/2)
- 8層：暗褐色土 (hue7.5YR3/4)

図59 各遺構土層断面実測図 (1/20・1/40)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

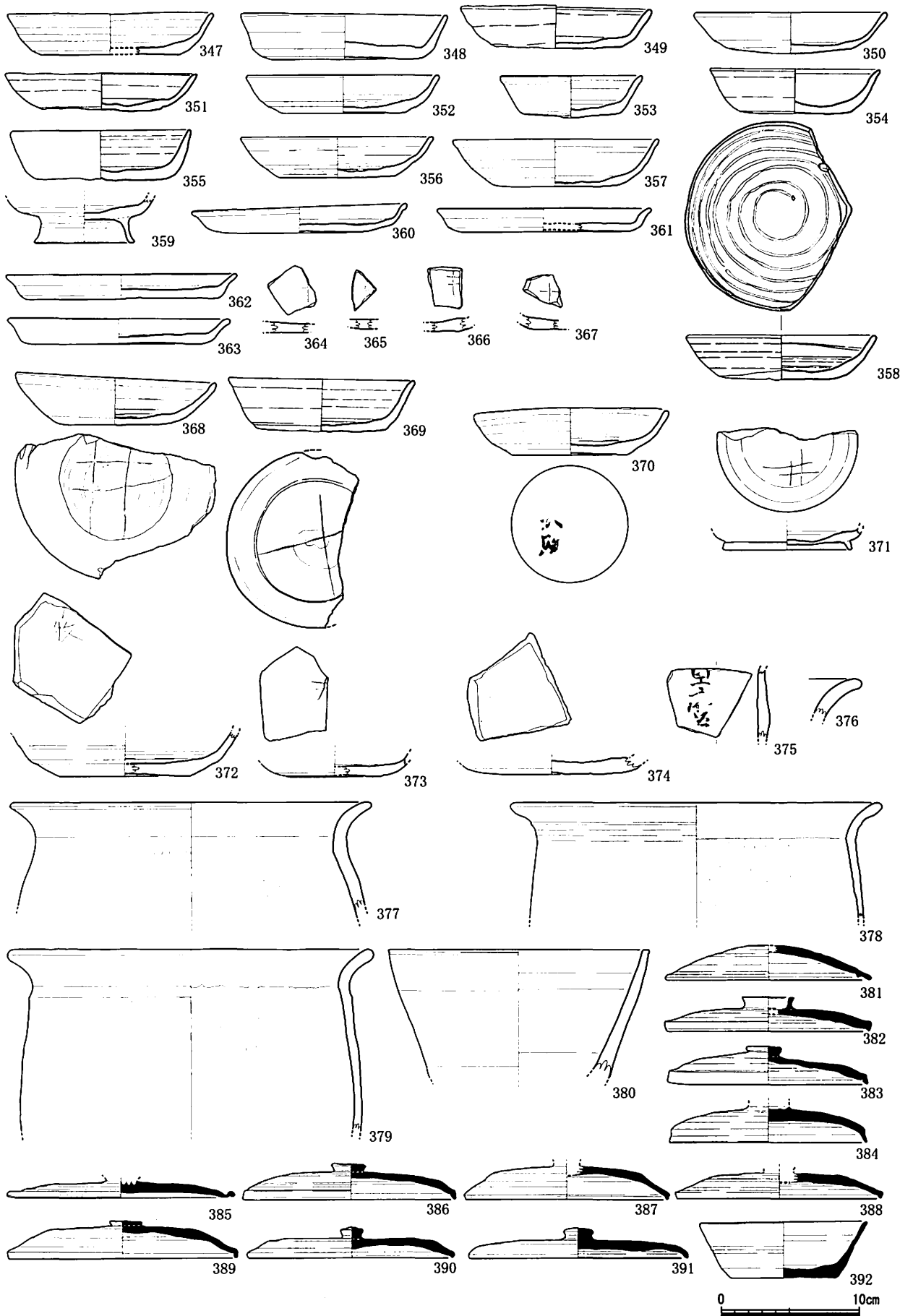


图60 1号溝出土遺物実測図1 (1/4)

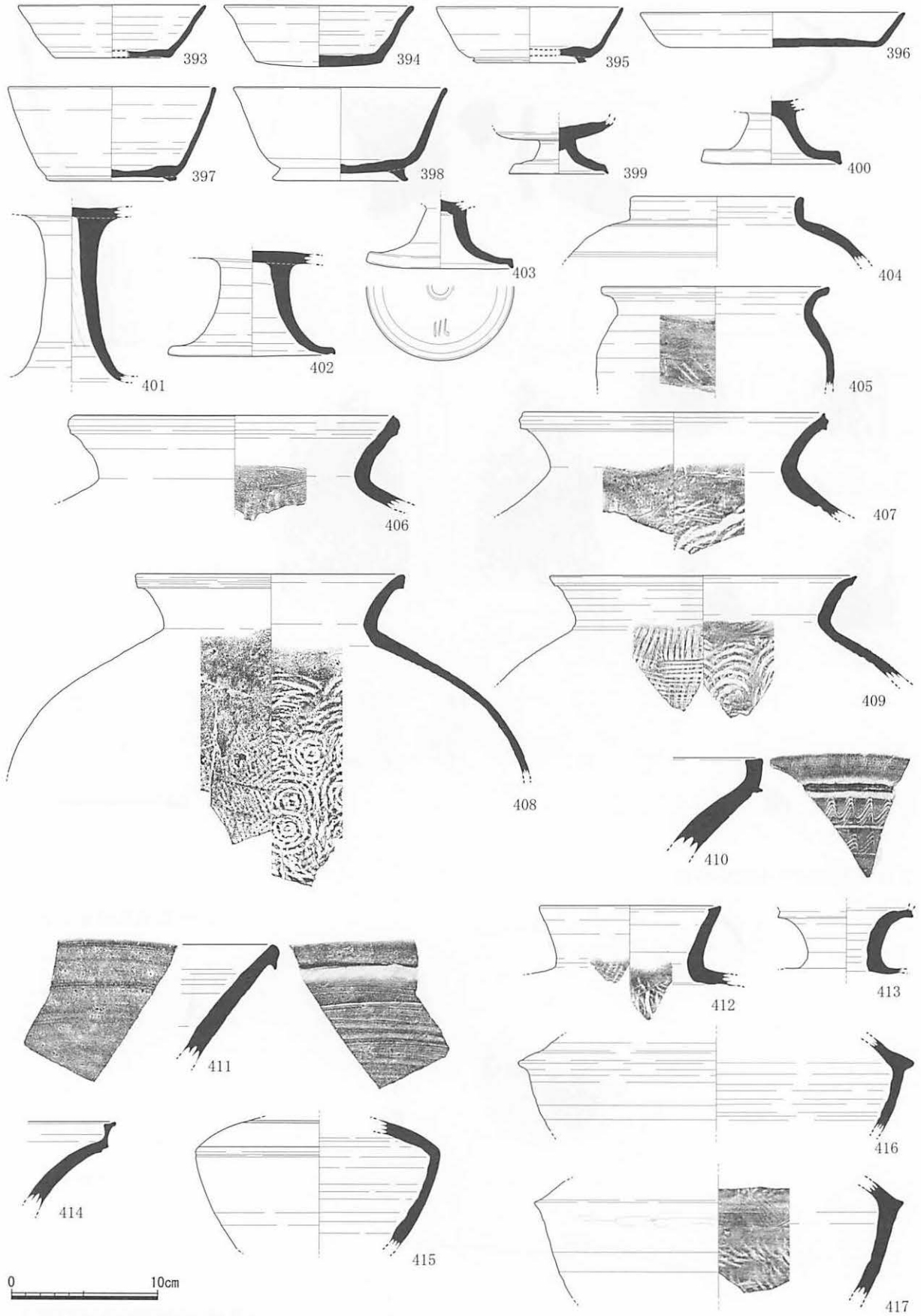
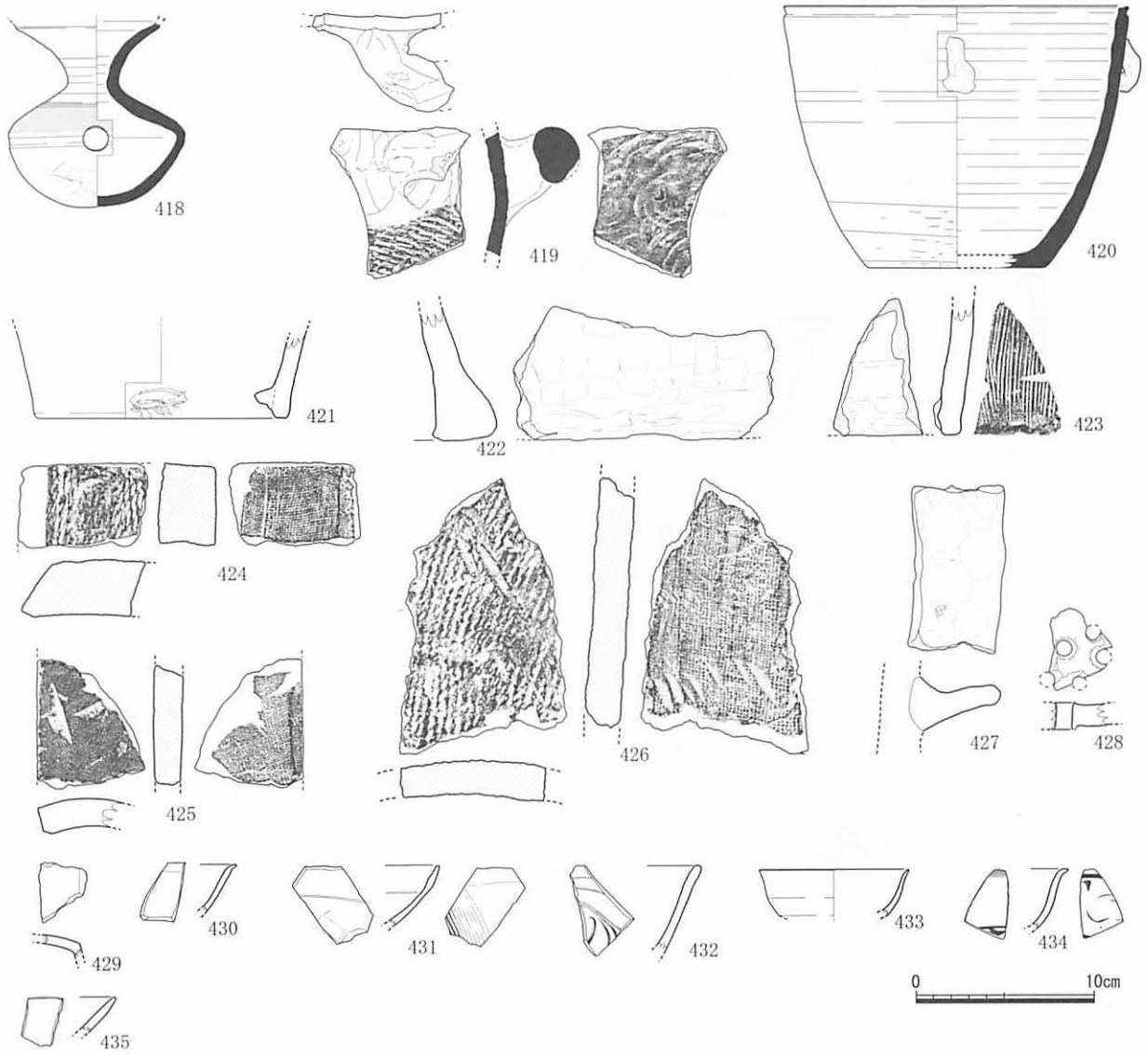
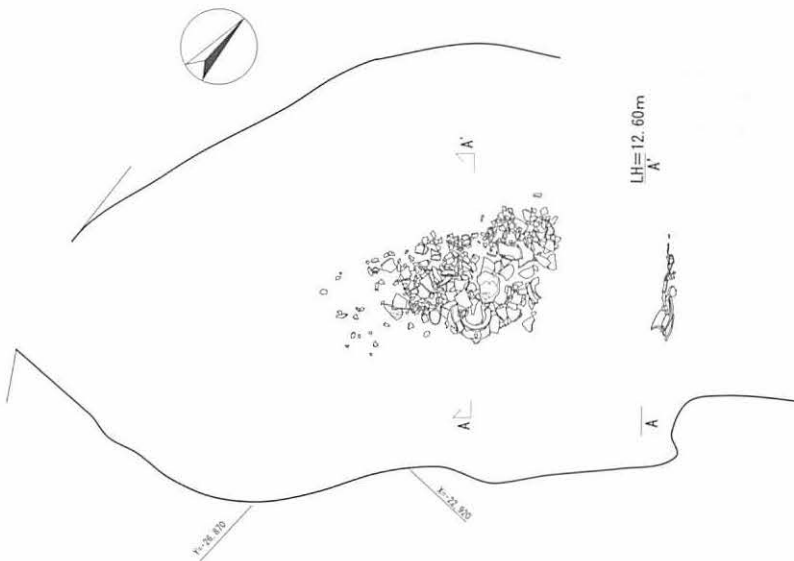


図61 1号溝出土遺物実測図2 (1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)



3 8号土器破碎土器集中部



7 2号溝須恵器出土状況

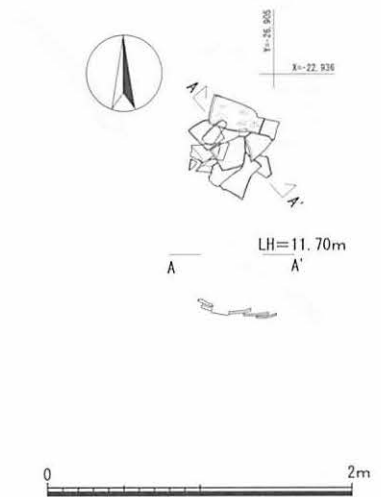


図62 1号溝出土遺物実測図3・38号破碎土器集中部・72号溝須恵器出土状況実測図 (1/4・1/50)



図63 4号溝出土遺物実測図1 (1/4)

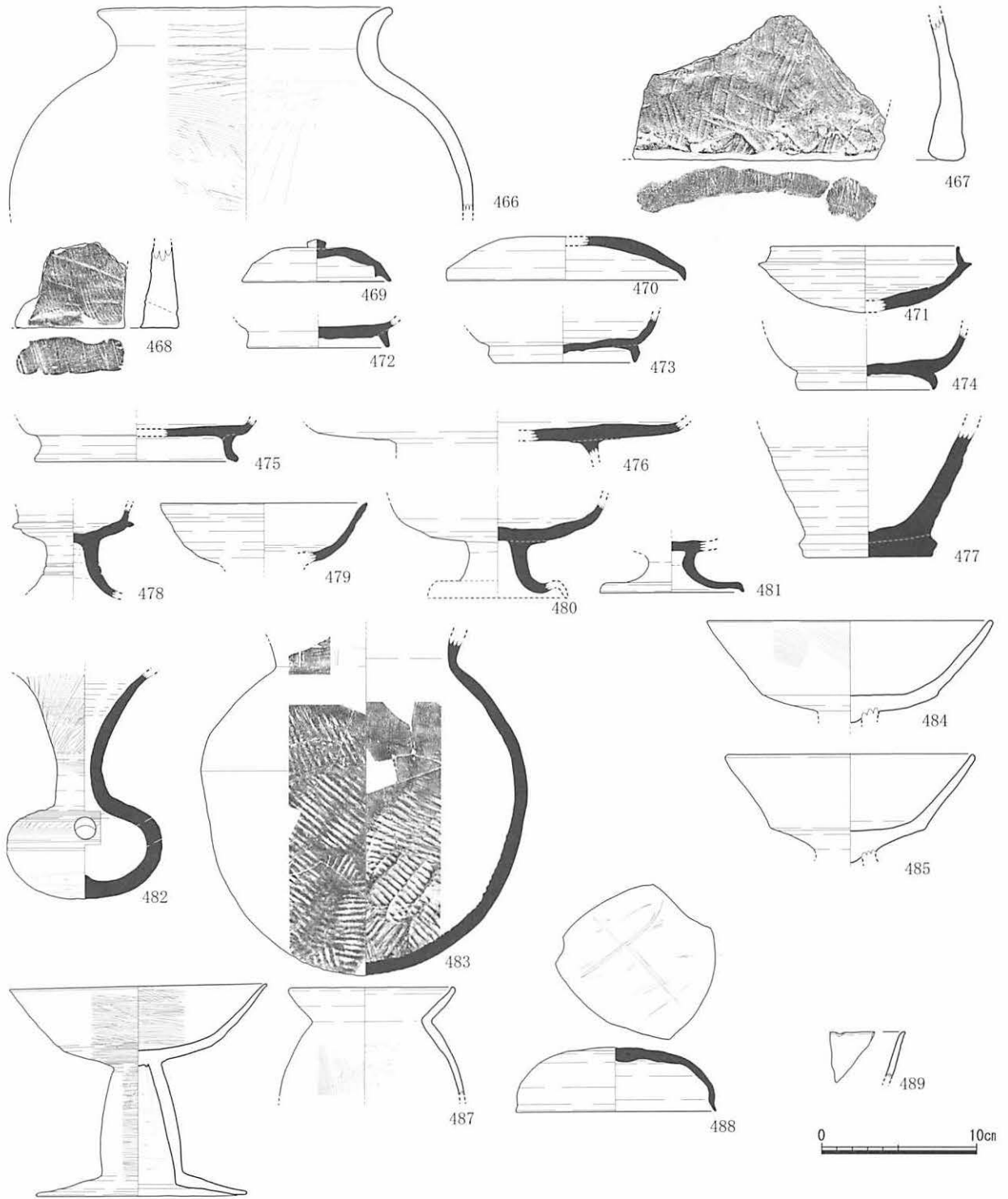


図64 4号溝出土遺物実測図2 (1/4)

須恵器の坏、高坏、甕、長頸壺、甕、甗、布目瓦、土製品（陶製紡錘車、漁網錘）、陶磁器類が出土した。364～367、371～374は見込みに刻書があり、364・367は「十」または「井」、365は不明、366・371・373は恐らく「井」、372は「□牧」である。374は「七木」のようだが「柒」か。368と369は底にヘラ記号でそれぞれ「井」「十(×)」と刻まれている。370は「赤 or 水 間」、375は「□麻呂」のようである。403は脚の内側に三本の線が「川」の字のように刻まれている。8世紀後半から9世紀前葉のものが主体である。図62：429～435は中世以降の陶磁器類である。429は近世の陶器か。

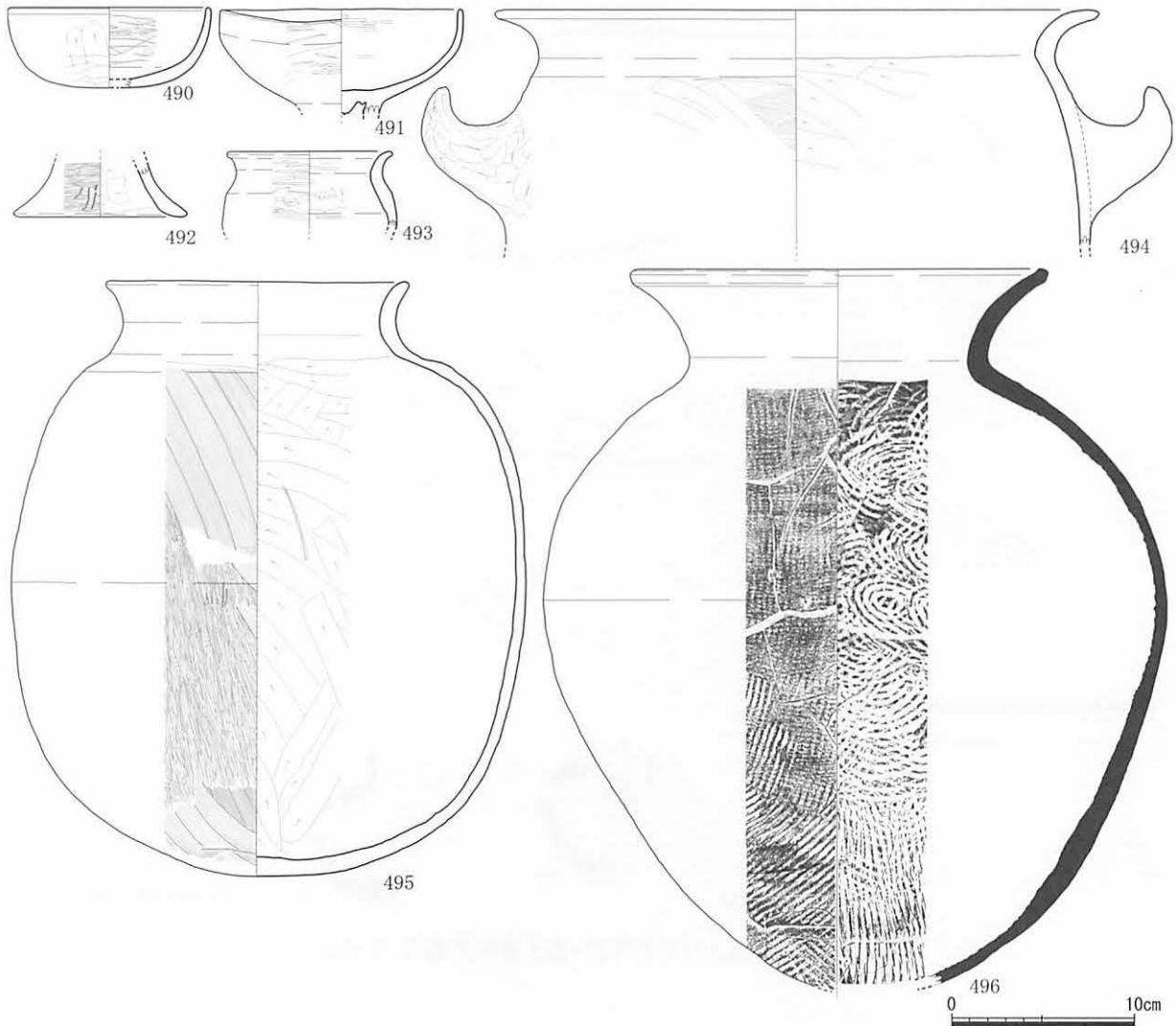


図65 4号溝内38号出土遺物実測図 (1/4)

430は白磁で11世紀後半～12世紀前半、431は同安窯の青磁碗、432・435は龍泉窯の青磁碗で12世紀中葉～後半である。433は小碗の磁器で、時期は不明である。434は肥前陶磁である。このほか、鉄製品の刀子（図79：688）が出土している。

#### 4号溝

4号溝は、調査区の中央を北東—南西に貫く溝である。1号溝より若干北に振れている。幅約2.2m、深さ1.1m前後で一直線に掘削され北東から南西に向かって流れている。古墳時代前期の住居址を切っているが、5世紀には既に設営・利用されていたと思われる。上面で土師器甕と須恵器甕等を並べか重ねて故意に破損してあり、祭事を行った跡と思われる（38号遺構）。また、72号溝と交差する調査区有中央付近では、馬と思われる動物の頭部骨が検出された（95号遺構）。水に関する祭祀が行われたと思われる。溝は8世紀前半には埋没していたと考えられる。出土遺物は図63：436～465、図64：466～489、図65：490～496、図66：497～499、図78：681・682である。土師器の蓋、坏、高坏、甕（甑）、壺、須恵器蓋、坏、高坏、甗、盤、鉢、甕、古墳時時代の古式土師器の高坏、甕、須恵器蓋、白玉、ガラス玉が出土した。おおむね7世紀代～8世紀前半の所産であるが、古墳時代の遺構を切って設営されたため、古墳時代の遺物を含む。また、446は糸切り底の土師器の小皿で、後世の遺

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

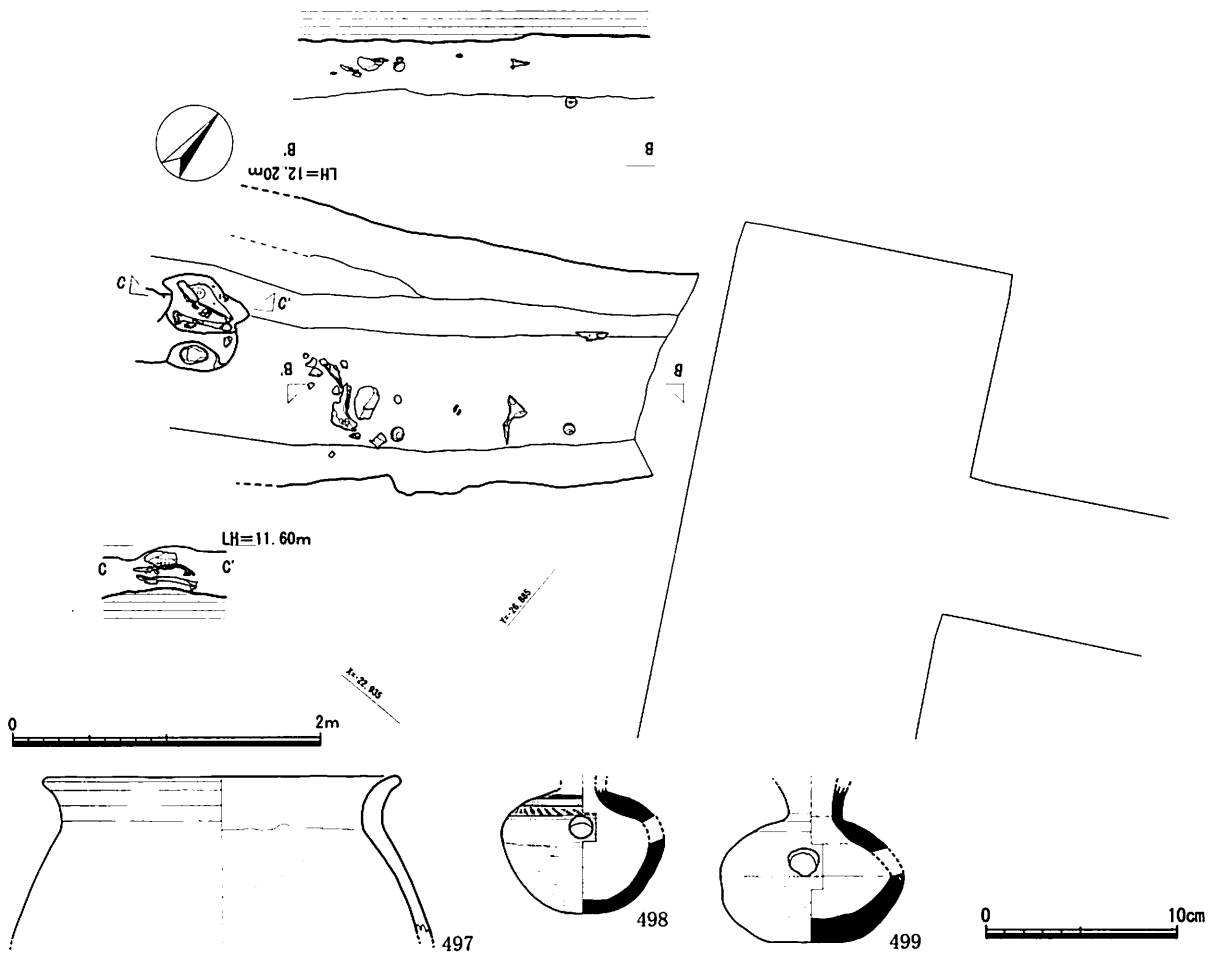


図66 95号馬骨出土状況実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

物が混入している。465は、灰色を呈し須恵器のようであるが、胎土に砂が多量に混入し、焼成は軟らかく須恵器のような堅緻さが無い。頸部には、半週ほど縦にヘラ描きした棒線の文様がある。図63：489は白磁である。近世の所産か。38号遺構から出土した遺物は6世紀後半～7世紀前半とみられ、推定される4号溝の埋没年代より古い。溝の埋没後に古い土器類を集めて破壊したと考えられる。

**15号溝**

I区の南壁沿い、1号溝の南に位置する。幅が約1m、深さが20cm程度の細く浅いみぞである。15号溝は周辺と同じくマンガンの沈着があるが形状は不明確である。砂とマンガン層が互層となって堆積していた。出土遺物は図67：500～507で、7世紀代～8世紀代の土師器の坏、須恵器坏、壺・甕の口縁部などが出土した。

**37号溝**

I区の中央に位置する、舌状の溝状遺構である。幅約1.8m、深さは30～5cmの浅い溝である。南側は72号溝と接していたようだが、北側は二股に分かれ、それぞれ次第に浅くなり消える。出土遺物は図67：508～518で、土師器の蓋、坏、甕、高坏(?)が出土した。7世紀代～9世紀中葉の所産と考えられる。

**57号溝**

調査区中央に位置し、南西から北東に流れる溝である。幅約1m、深さは最も深いところで約50cm





図67 15・37・57号溝出土遺物実測図 (1/4)

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

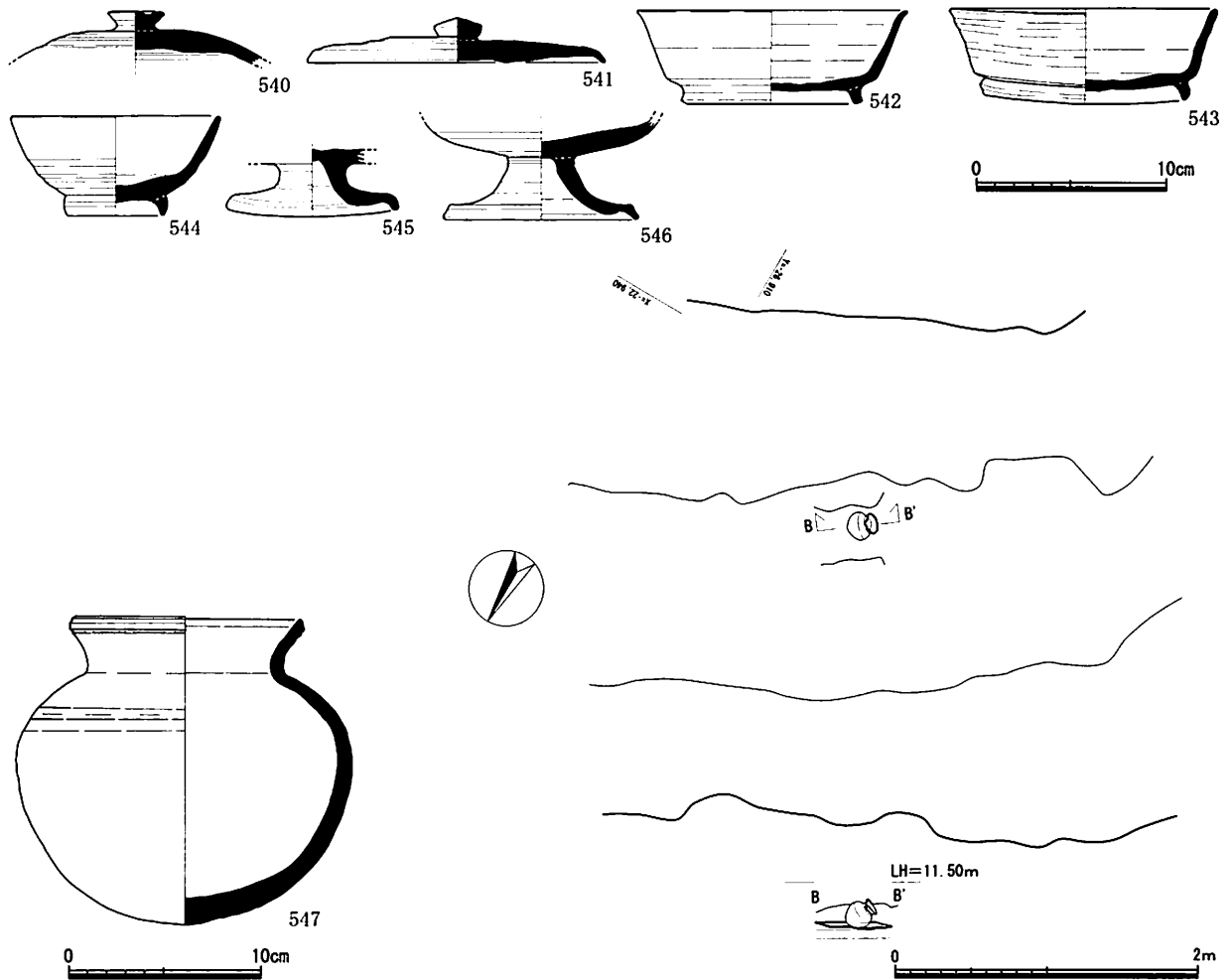


図68 57号溝出土遺物実測図・369号壺出土状況実測図・出土遺物実測図(1/4・1/50)

である。72号溝と4号溝がある程度埋没した段階で新たに掘りこまれている。8世紀中頃以降の設営と推定される。東西の両端は不明瞭で本来の長さや流路は把握できなかった。遺物より8世紀中頃から利用され短期間のうちに埋没したと思われる。出土遺物は、図67：519～539、図68：540～546、図78：656・657である。土師器の坏、碗、甕、甑、須恵器の蓋、碗、高坏、土製紡錘車、土錐である。土師器坏の526と528は「大」あるいは「火」か、刻書がある。8世紀後半のものを中心に7世紀代から9世紀代の所産のものがある。

**58号溝**

調査区中央を北に向かって流れている。幅0.8m、深さ0.15mの小さな溝である。方位から8世紀後半以降、条里にならって設営されたものと思われる。

**72号溝**

72号溝は、調査区を湾曲しながら東西に走る。72号はⅡ区では幅約3.4m前後、深さは1.3m前後で安定しているが、調査区の中央より東では攪乱やその他の溝との重複などにより形状が一定しない。川底はマンガンと砂の互層となっていた。その中には、破損のない遺物が含まれている(369号・371号)。遺物より6世紀中頃には設営・利用され、8世紀後半までには埋没したと思われる。出土遺物は図68：547、図69：548、図70：549～562、図71：563～565、図72：566、図78：676である。土師器の高坏、甑、須恵器の高坏、甕、移動式竈、石製紡錘車である。6世紀後半～7世紀中ごろの所産で

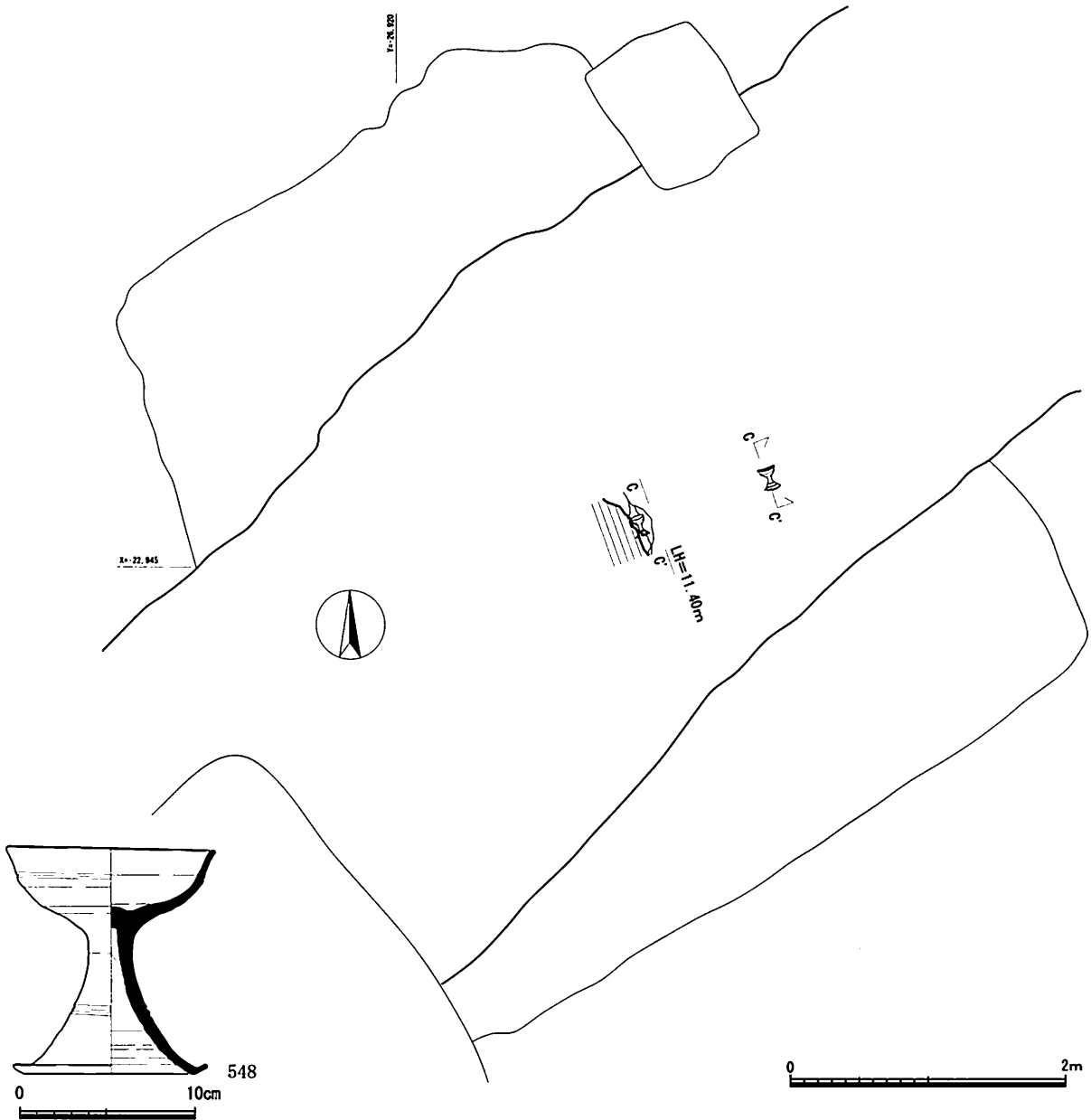


図69 371号土器出土状況実測図・出土遺物実測図 (1/50・1/4)

ある。72号溝からは古式土師器も大量に出土しており、機会を改めて報告したい。

**74号溝 (図73)**

調査区の中央、やや南に位置し、北西—南東方向に走る。幅0.7m、深さ0.3mの小さな溝である。北は72号溝57号溝と交差し、南は156 (380) 号溝と交差する。時期の特定は遺物が少なく困難である。出土遺物は図73：567～568、図78：677で、須恵器蓋と長頸壺の胴部、石製紡錘車である。7世紀末葉の所産と考えられる。92号竪穴住居址の埋没後、7世紀代に設営され、短期間に埋没したと考えられる。

**156・380号溝**

調査区の南側を1号溝と並行して、調査区を北東—南西方向に貫く。156号溝は幅2.6m前後、深さ0.2mである。2号溝に切られている辺りで1号溝がゆるく湾曲しているが、両者はこの辺りで重な

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

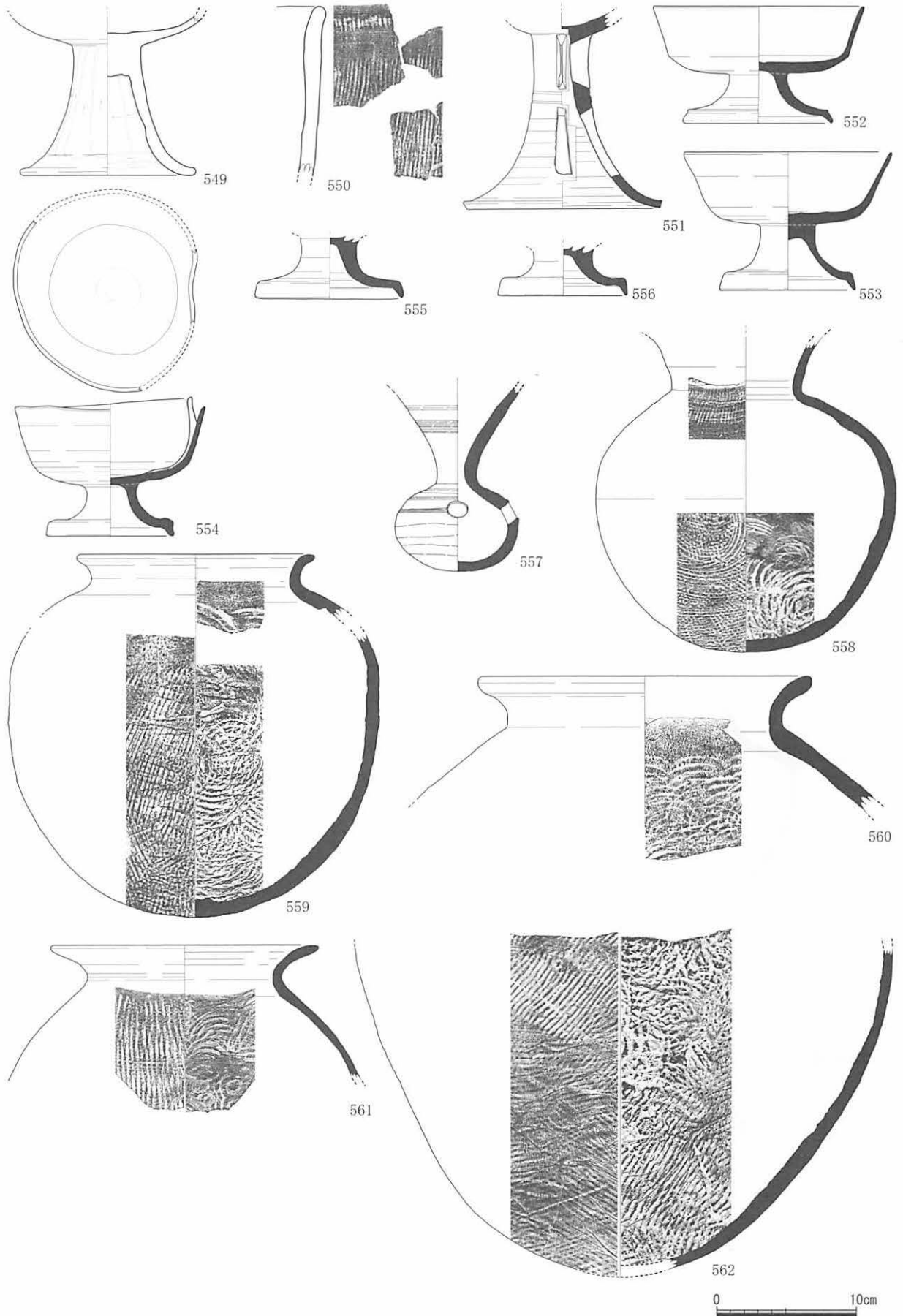


図70 72号溝出土遺物実測図1 (1/4)

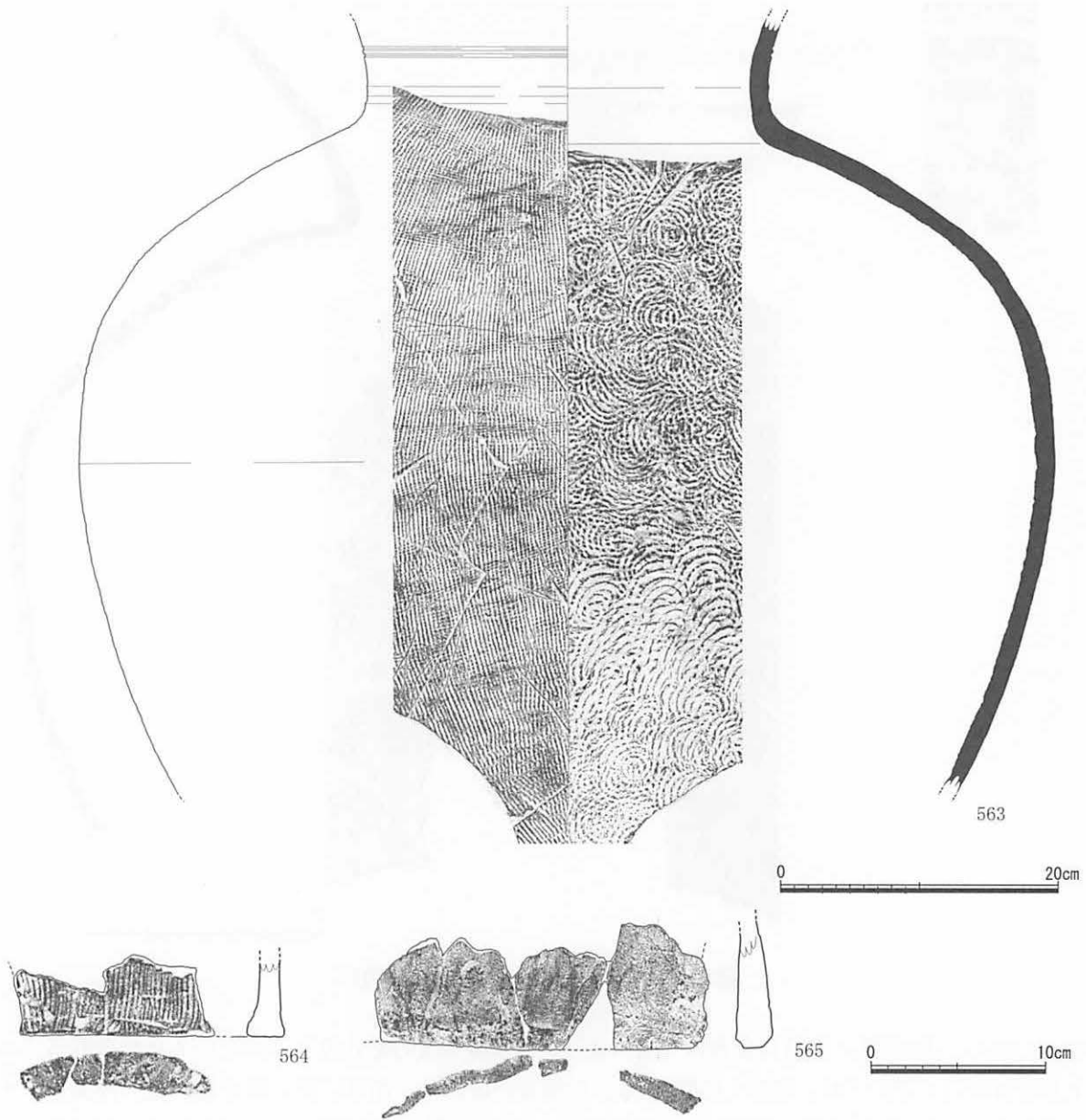


図71 72号溝出土遺物実測図2 (1/5・1/4)

るものと思われる。1号溝と同様、水的作用によるマンガン沈殿物と思われる銹物で被覆されていた。設営時の溝の形状をとどめていると思われる。遺物の年代と切り合いから、4号溝よりは早い8世紀前半に埋没したと考えられる。I区では156号、II区では380号とし、最終的に両者が同一の溝であることを確認した。出土遺物は図73：569と、380号として取り上げた図75：627～630ある。また、刀子(図79：689)が1点出土している。8世紀前半の所産と考えられる。

**289号溝 (図74)**

調査区の中央、300号竪穴住居址の北側に位置する。北西-南東方向に走るが、北は調査区外に延び、南は300号竪穴住居址の手前で途切れる。幅0.7m、深さ0.1mである。

**358号溝**

調査区の南側を380号溝や1号溝と並行して、調査区を北東-南西方向に貫く。幅1.5m前後、深さ



図72 72号溝出土遺物実測図3 (1/6)

0.4mである。380号溝と同様に鉦物の沈着により、設営時の溝の形状をとどめていると思われる。出土遺物は図73：570～591、図78：658である。土師器の蓋、坏、高坏、甕、須恵器の蓋、坏高坏、土錐である。576は墨書、577・582は刻書がある。577・578は判読不明であるが、583は「主帳 (帳?)」と読める。また、582は蓋の頂部に×印のヘラ記号がある。6世紀末・7世紀初頭～9世紀中ごろまでの遺物があるが、8世紀後半のものが主流を占める。

#### 365号溝

Ⅱ区の南西隅に位置する、溝状の遺構である。深さは0.5mで、西に向かって深くなる。西側の肩は調査区外である。358号溝の北側では、本溝の続きは検出されなかった。出土遺物は図74：592の土師器の高坏である。6世紀末～7世紀初頭の所産と考えられる。

#### 373号溝 (図74)

調査区の南西隅を東西に走る。西端は358号溝に切れ、東端は調査区外に伸びる。幅0.6m、深さ0.15mの細く小さな溝である方向は、条里に合わせたものと考えられる。373号溝は、鉦物の沈着はなかった。

#### 374号溝 (図37)

Ⅱ区の北西、501号掘立柱建物の北側に位置する。調査区の北壁から南に舌状に延びる溝状の掘り

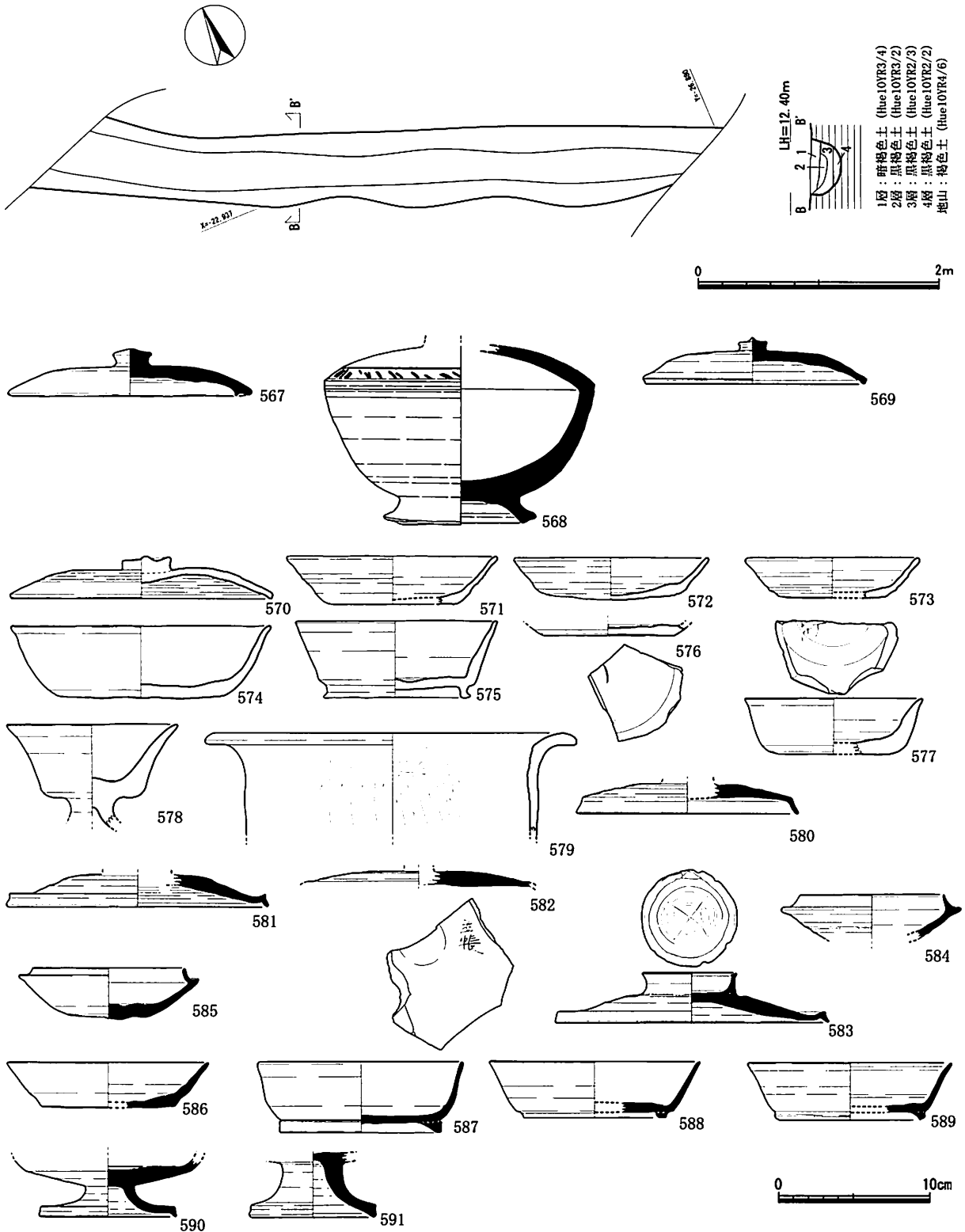


図73 74号溝実測図・74・156・358号溝出土遺物実測図 (1/50・1/4)

込みである。方向は、条里に合わせたものと考えられる。幅0.7m、深さ0.15mである。

379号溝

II区の中央やや南を、大よそ東西に走る溝である。幅は1~2m、深さは0.1~0.4mである。380号や4号溝を切っており、これらが埋没した後に、設営されたと考えられる。鉞物の沈着があった。出

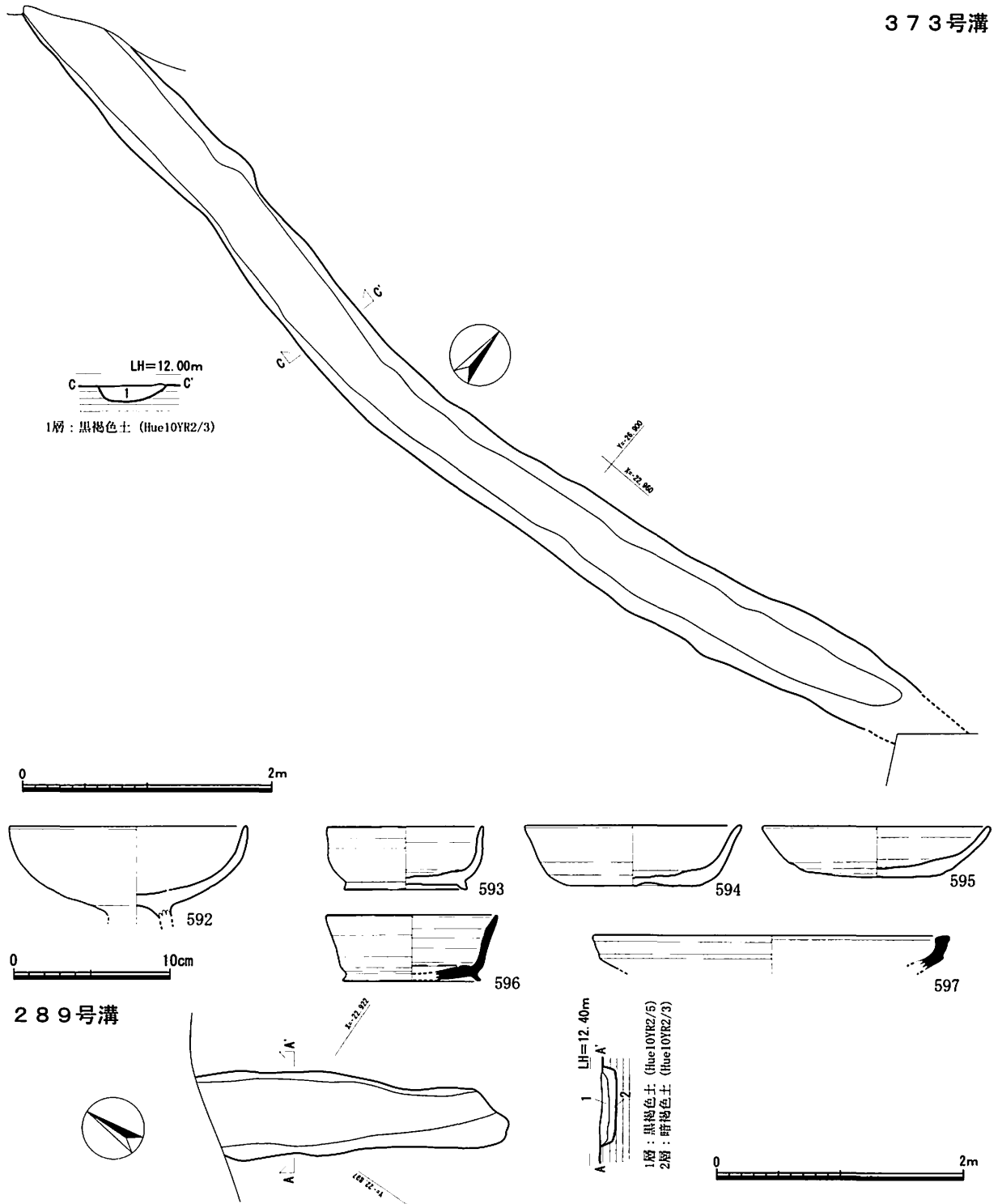


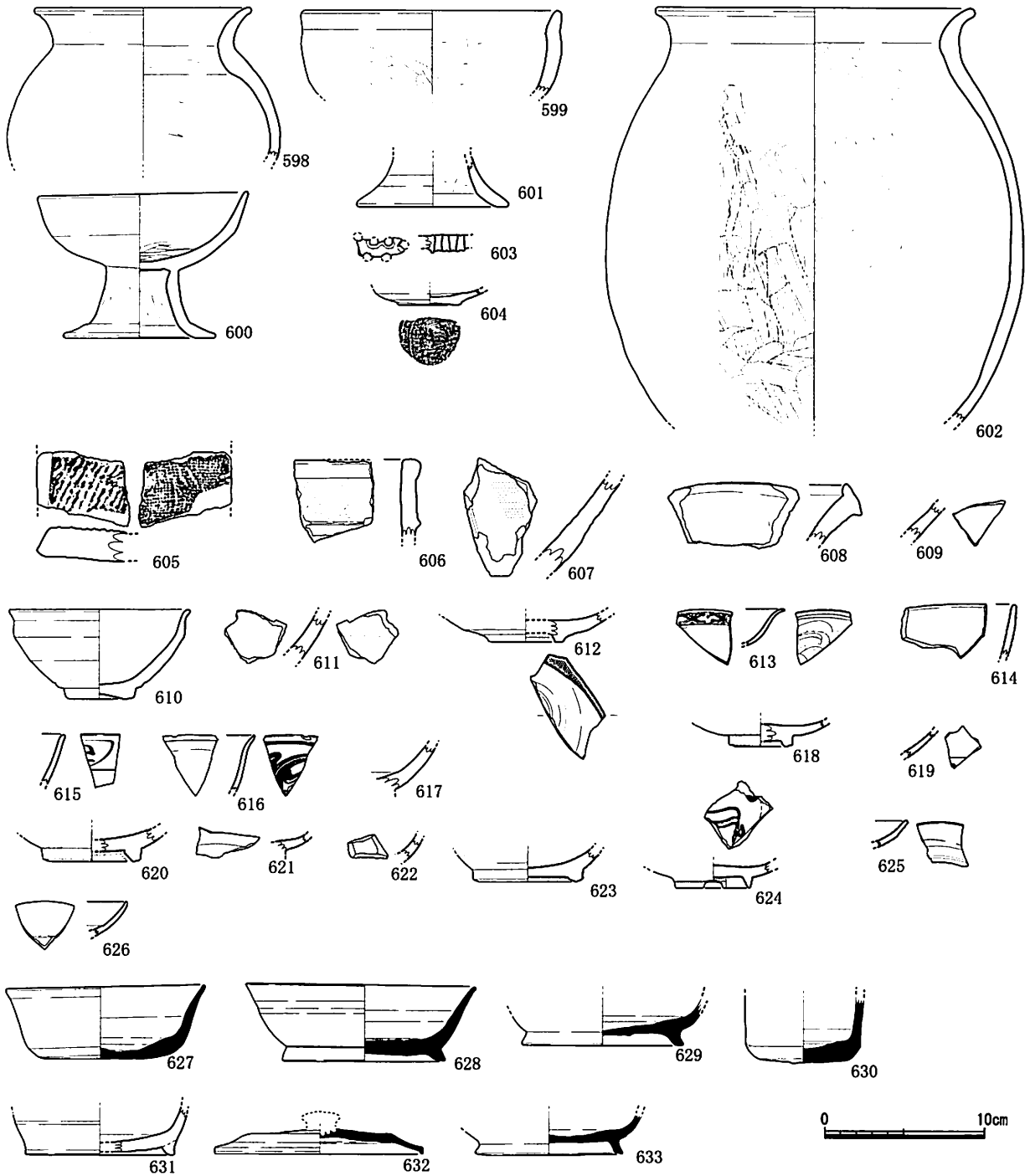
図74 373号・289号溝実測図・365・379号溝出土遺物実測図 (1/50・1/4)

土遺物は図74：593～597である。土師器の坏・碗と須恵器碗、壺（甕）の口縁である。8世紀後葉～9世紀初頭と考えられる。

### 2号溝

I区の中央を、北北西—南南東に貫く。幅約5m、深さ約1.1mで、溝の中で最も大きな溝である。北に向かって流れている。時期は最も新しく近代以降のものである。出土遺物は図75：598～625であ





265号獣骨出土状況

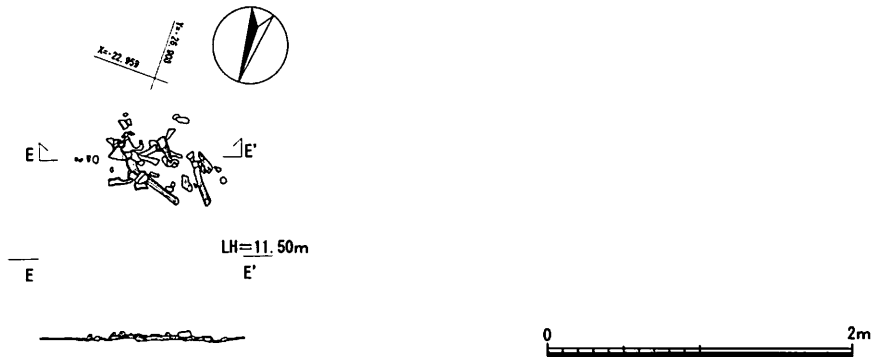


図75 2・16・380・381号溝出土遺物実測図・265号獣骨出土状況実測図 (1/4・1/50)

る。土師器の甕、鉢 (碗?)、高坏、甑底部、坏、布目瓦など古代の遺物が含まれるが、他は火鉢、播り鉢、茶碗類の中世以降近世の遺物である。606・607は瓦質土器の火鉢・播鉢で、中世後期である。608は陶器の播鉢で中世の所産か。609は陶器の鉢か。近世代である。

610・611は天目茶碗である。610は中近世、611は中世後期以降の所産である。612は陶器の皿である。近世の所産である。613・616は染付の碗で、近世の所産である。614・615は龍泉窯の青磁碗で、14世紀後半～15世紀前後である。617・621・622は龍泉窯の青磁碗である。12世紀中葉～後半である。618は白磁の碗である。時期は不明である。619は龍泉窯の青磁碗で12世紀中葉～13世紀前半である。620・623・625・626は白磁の碗で、11世紀後半～12世紀前半である。焼成が悪いか被熱があるようである。624は染付の皿である。時期は不明である。

#### 16号溝

I 区の南東隅、15号溝と並行に南壁に沿って流れる溝であるが、終始は不明である。鉍物の沈着が見られる。15号溝と類似するが、遺物から近代の遺構とした。出土遺物は図75：626で、磁器の破片である。

### <その他の遺構>

#### 265号獣骨 (図75)

358号溝の北側、358号溝と373号溝が接する付近で、獣骨と土器片が混在して出土した。土器片の下からは炭化物も出土している。土器は土師器の甕と須恵器片である。8世紀末と思われる甕の口縁がある。獣骨は大型の動物のもので、牛か馬と考えられる。

#### 366号土坑 (図76)

II 区、358号溝の北側、調査区西壁から12m付近に位置する。0.8×0.9mの正方形に近く、深さは0.5mである。南西隅が浅く掘り込まれ、礫が数個置かれていた。遺構の性格は不明である。出土遺物は図76：634の土師器の坏である。8世紀後葉と考えられる。

#### 115号胞衣壺埋設遺構 (図76)

I 区、30号堅穴住居址の北壁外で検出した。1.6×1.1m、深さ0.5mのピット状の掘り込みの中に、西に寄せてさらに直径0.5m、深さ0.3mの穴を掘り、その中に設置していた。土師器の甕に須恵器の蓋をしていた (図76：635・636)。中には土の流入もなく、密閉状態が保たれていた。8世紀後半のものと思われる。このほか須恵器の壺が出土している (図76：637)。

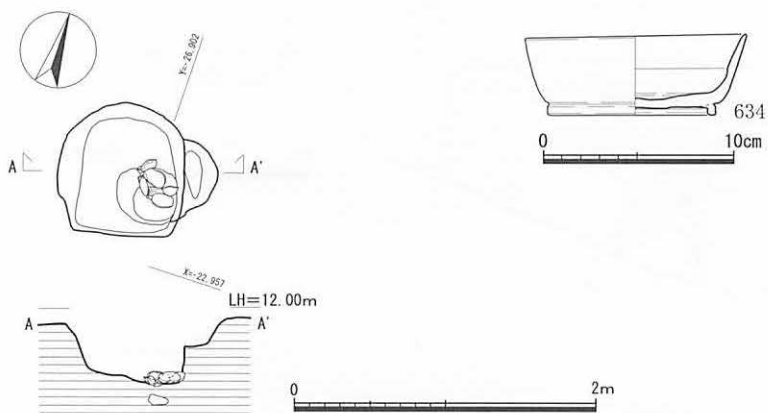
#### 370号集石 (図76)

II 区の調査区西壁下、1号溝 (381号溝) と358号溝の間に位置する。河原石と砂岩の不正形な礫からなる。幅1m程度、深さ0.3m程度の浅い皿状の窪みに積まれていたようであるが、性格は不明である。出土遺物は図76：638～641で、土師器坏と須恵器坏、甕である。土師器の坏638の見込みと、639の外面に「井」と思われる字の刻書がある。8世紀後葉～末と考えられる。

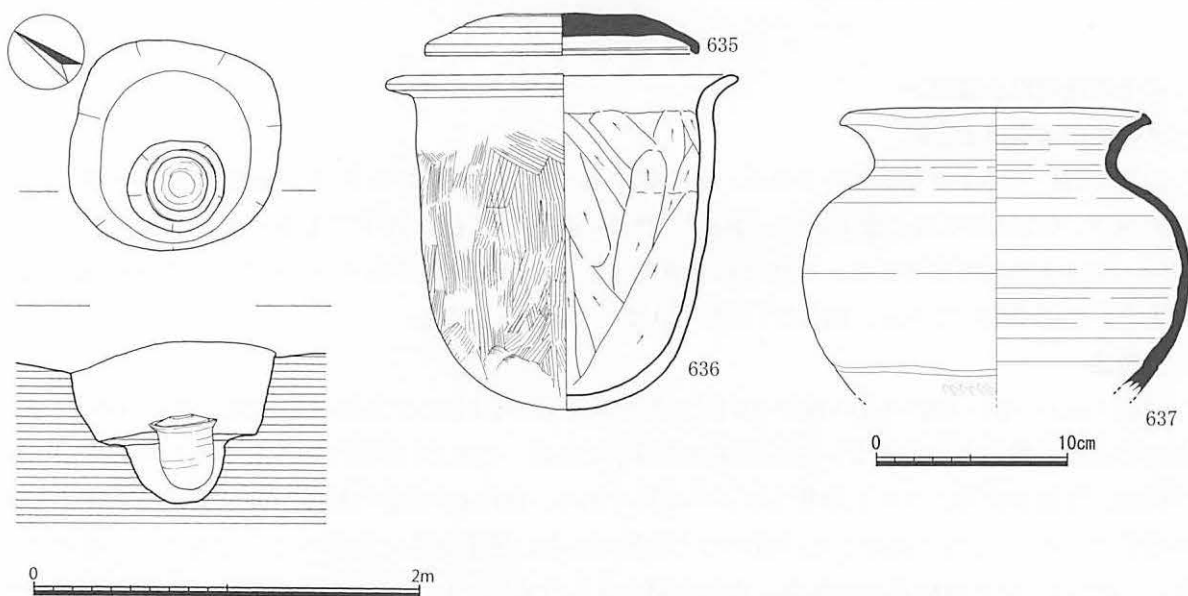
#### 250号土墳墓 (図77)

II 区の西壁中央に位置する攪乱東側において、土墳墓が1基検出された。4号溝の西端付近である。1/3程が現代の建物の基礎工事により破壊され、また骨の遺存状態も良好とはいえないが、埋葬の様子は確認できる。頭位は北で仰臥しており、足は軽く曲げていたと思われる。胸部あるいは腹部で手を合わせていたようだ。副葬品としては左肩付近から刀子が1本と、右肘部分から土師器の小皿1枚が出土した (図77：642・643)。

366号土坑



115号胞衣壺



370号集石状況

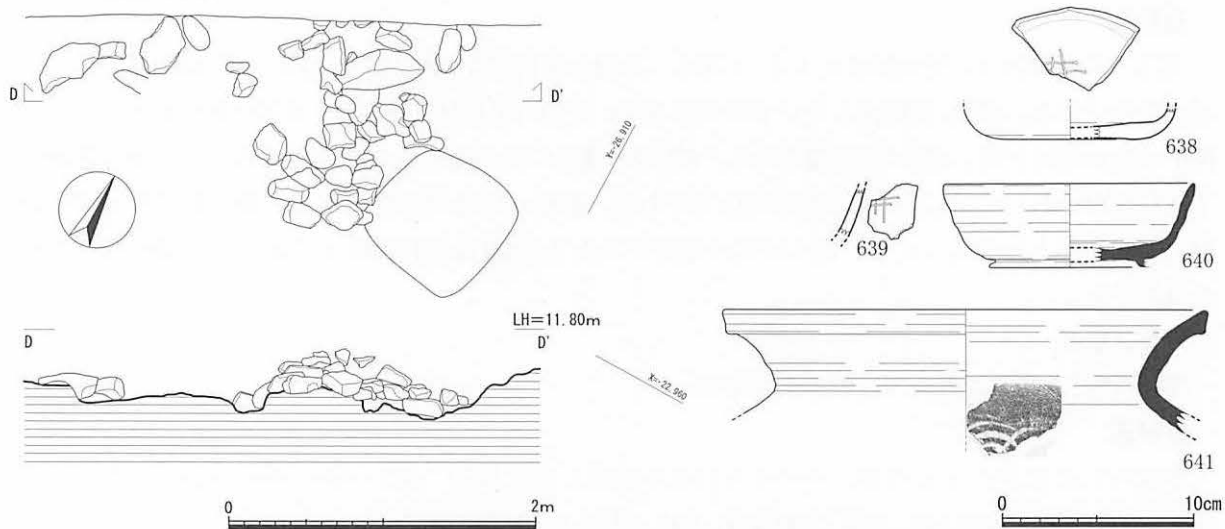


図76 366号土坑・115号胞衣壺出土状況実測図・370号集石状況実測図・各遺構出土遺物実測図 (1/50・1/40・1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

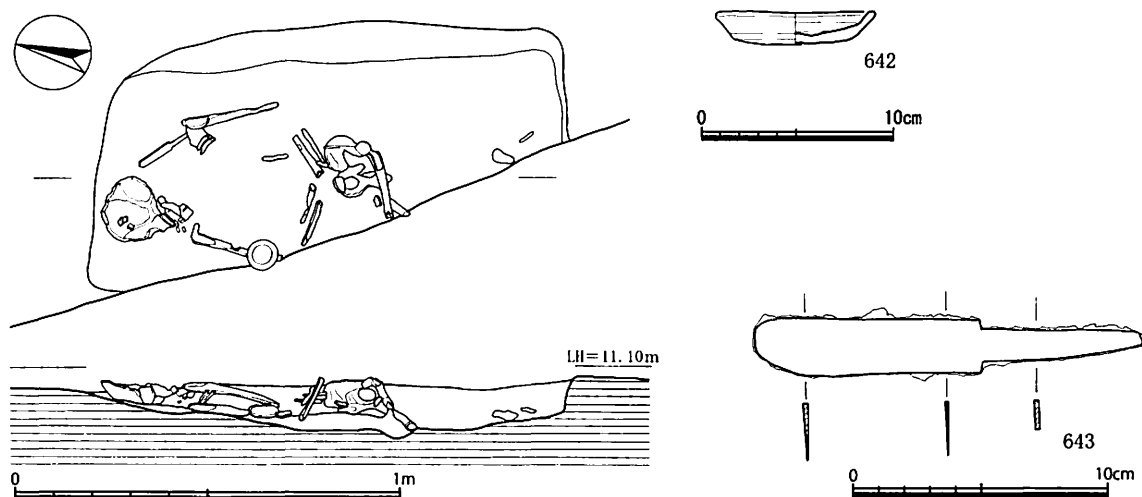


図77 250号土塚墓人骨出土状況実測図・出土遺物実測図 (1/20・1/4・1/3)

<その他の出土遺物>

その他の遺構出土土器

図78：644・645は須恵器の坏である。8世紀末葉～9世紀初頭であろう。646は長頸壺の胴部で8世紀後半、647は須恵器の壺である。468は土師器の甕で、口縁は薄手で上を向く。9世紀前葉か。649・650は土師器の碗である。それぞれ8世紀後半、9世紀前葉であろう。651の土師器の甑（把手坏甕？）の把手部分である。644は17号溝、他はピット出土である。

土製品

図78：652・654・657～659・662～674は土錐である。674は他の土錐の3倍の大きさである。654は火鉢や火桶の脚のようである。655・656は紡錘車である。656は土師器片を再加工したもので、片面が凸面、片面が凹面となり、全体も不正形な円である。660は須恵器の把手（耳）である。壺か提瓶の把手であろう。661は湾曲した円筒状の土製品である。把手あるいは脚のようであるが、非常に小さい。675は土製の鏡模造品である。中央を摘まみあげて鈕とし、細い棒状のもので孔を貫通させている。

石製品

図78：676～678は石製紡錘車である。676は、片面が平坦で片面が凸面である。677は両面ともに平坦な作りである。678は旅両面ともに平坦であるが、片面の平面径が小さく、676に近い形態となる。676・678は蛇紋岩製、677は滑石製である。679は暗濃緑の蛇紋岩製の有孔円盤である。表面と周縁は丁寧に研磨されている。680は不正形の垂玉である。乳緑～緑色の石材である。特に整形はせずに研磨し、穿孔したと考えられる。縄文時代の遺物であろう。681は滑石製白玉である。古墳時代の遺構の遺物である。

ガラス製品

図78：682は水色のガラス製の小玉である。

鉄製品

多数の鉄製品が出土したが、そのうち14点を図化した。図79：683・686・688・689・692・693・694は刀子、684・685は釘、687・690は鋸、691・695・696は鎌である。

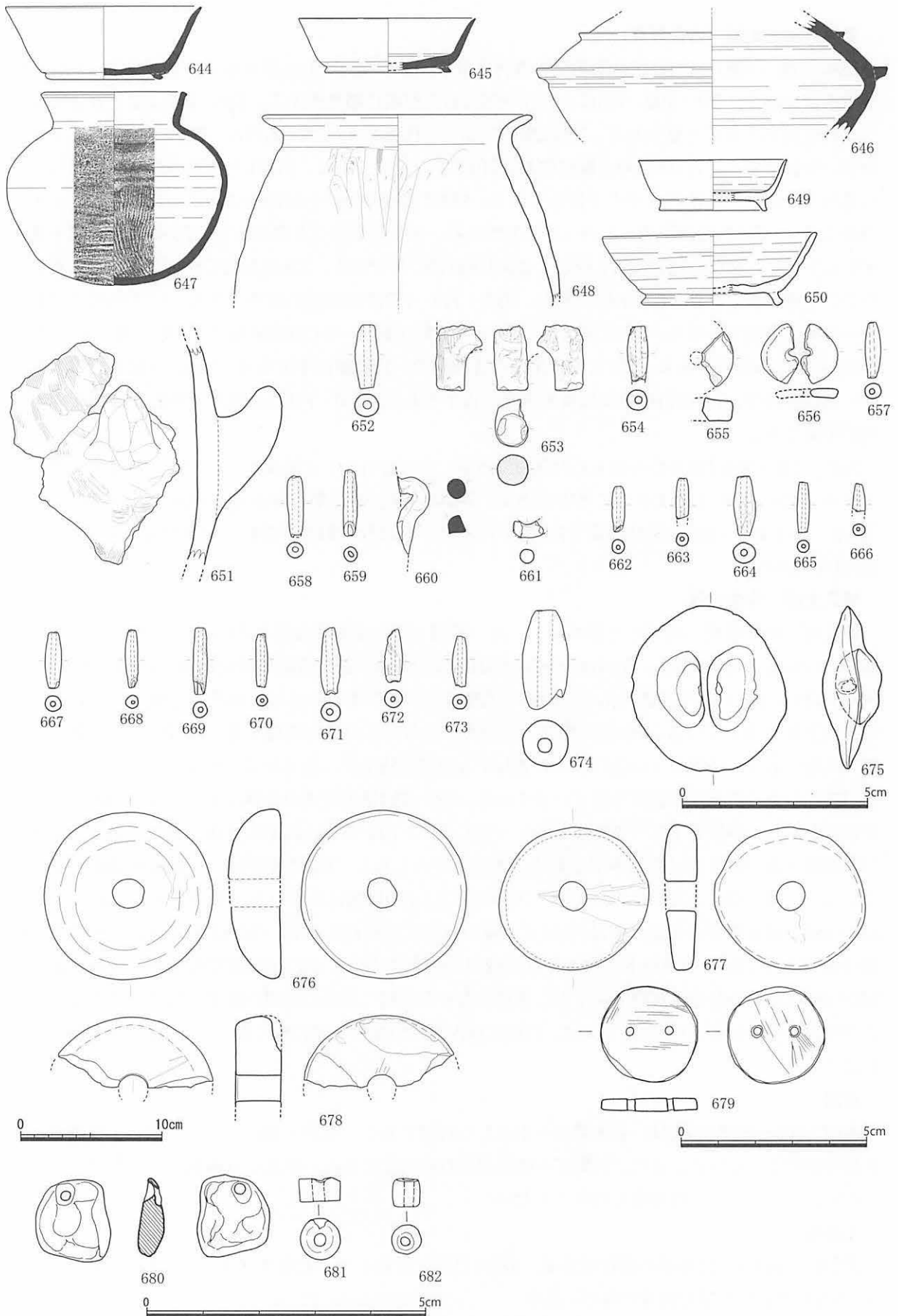


図78 その他遺構出土遺物・土製品・石製品実測図 (1/4・2/3・1/1)

### 遺構外出土土器 (古代以降)

図80：697～図81：741は包含層出土の遺物である。697～704は土師器の坏で、7世紀代～9世紀前半の所産である。701・702・703は、判読不明であるが底に墨書がある。705～707は甕で8世紀後半～9世紀前半の所産と思われる。708は甑の底部で、棧渡しタイプであろう。709・710は多孔タイプの甑の底部である。711は移動式竈の底部、710は手捏土器である。713は土師器の壺で、器面は赤色の化粧土をかけ、全体にミガキを掛けている。714は古墳時代の土師器壺である。715～720は須恵器の蓋である。715は頂部に「×」のヘラ記号がある。かえしを持つものはなく、720はかなり扁平化がすすんでいる。図80：721～727、図81：728は須恵器の坏である。721は丸底でかえしが付く古相のもので、7世紀前半、他は8世紀代である。図81：729～732は須恵器の高坏である。いずれも7世紀前半～中葉の所産であろう。733は須恵器の鉢、734は甕(壺?)の口縁部の破片、735は甕の頸・肩部、736は長頸壺の胴部である。737は龍泉窯系の青磁碗で、13世紀前半である。738は白磁碗で11世紀後半～12世紀後半、739は白磁皿で12世紀中葉～後半である。740・741は越州系青磁碗で8世紀末～10世紀中葉である。

図81：742～756は攪乱から出土した遺物である。参考資料として掲載する。742～748は土師器の坏である。744・745・748はそこに墨書がある。744は「東」か、墨書がある。745は判読不明、748は「新羅」か? 749・750は須恵器蓋で750は「×」のヘラ記号がある。751～753は須恵器の坏、754～755は壺である。

### 縄文土器・弥生土器

縄文時代後期後葉～晩期の土器が出土した。図82：757～759は太郎迫式の鉢・深鉢である。760～762は三万田式の鉢である。760は口縁部に磨消縄文がある。761と762は無紋の鉢の口縁である。763～778は鳥井原式の鉢・深鉢である。口縁の文様帯に二本の並行する幅広の凹線を施し、それらを寄せて稜を作り出している。766は御領式・天城式に見られる山形の突起がある。779～787は御領式の鉢・深鉢である。口縁の文様胎に二本の並行する凹線を施すが、鳥井原ほど幅が広くなく、深い凹線を明確に引き、凹線間の突帯を際立たせている。788～794は天城式の深鉢である。深鉢口縁部の沈線は雑に引かれ、本数も1本～4本まであり一定しない。795～817は古閑式の鉢・深鉢である。深鉢は、口縁部の沈線が寄り雑に複数本引かれる。無文のものもある。802は焼成後に内外の両面から穿孔している。図83：818～822は黒川式の鉢・浅鉢である。819以外はいずれも表面を丁寧に磨いている。823～826は刻目突帯文土器、827は夜臼式の壺の口縁と思われる。828・829は太郎迫式～御領式の時期の鉢の底部である。830も後期後葉～末の深鉢の底部である。831～835晩期の深鉢の底部である。836～858は時期の特定は困難であった。後期後葉から晩期の以外の時期の縄文土器の出土がないため、この時期のものと考えられる。860は、口縁に刻みを持つ弥生土器の甕である。861は弥生土器の甕の底部である。

### 石器

図84：862～図88：918は、各遺構から出土した石器である。磨石・敲石・台石・砥石・打製石斧・石鏃等が出土している。また、図版67～69は黒曜石の剥片である。写真のみ掲載した。番号は左上段から右に付している。観察表と対照されたい。

### その他

図版67：919は炭化種子の破片である。920は刀子に付着していた布片である。921は鉄滓と思われる。922は獣骨の下顎の部分である。馬か。

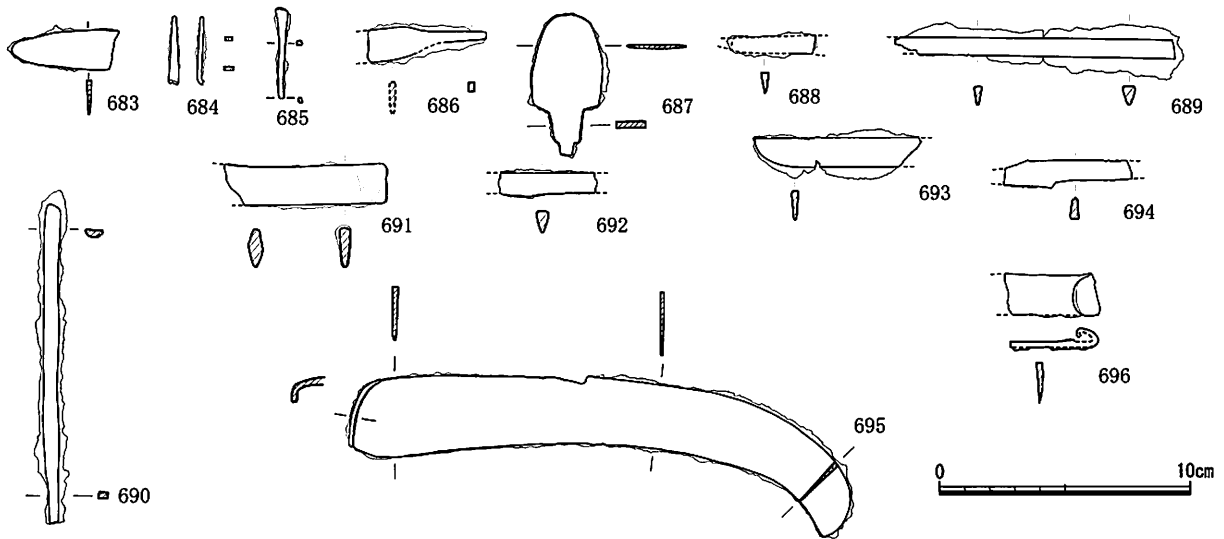


図79 9901調査地点出土鉄製品実測図 (1/3)

#### (4) まとめ

本調査地点は、本荘北地区において9601調査地点につづき古代の集落を確認し、また古墳時代の集落を初めて広範囲で確認した地点である。9601調査地点の調査時には、西側に古墳時代の集落が展開するものと予想されたが、その予想通りに古墳時代の住居址群が検出された。

古墳時代の竪穴住居址は、概ね古墳時代前期から中期初頭までの一定の時期であった。近辺の0006調査地点・0104調査地点・0119調査地点・0304調査地点でも、同様の時期の住居址や遺物が確認されている。古墳時代中期以降の集落は、本調査地点寄り南側の0411調査地点・0509調査地点や本荘中地区で確認されており、古墳時代の集落の占地は、白川沿いから次第に離れていくことが確認できた。

古墳時代の後、本調査地点では6世紀末・7世紀初頭から溝の設営が始まり、8世紀から竪穴住居址が造られ集落が形成される。8世紀末には、多くの溝が埋没し竪穴住居址も減少する。この後、掘立柱建物が建てられるようになると考えられる。古代の成果としては、「主帳」刻書土器の出土がある。本庄遺跡は古代詫麻郡に属する。詫麻郡は8里からなり、郡としての等級は「中郡」にあたる。主帳は郡司の第四等官でいわゆる書記官であり、中郡では定員1名である。「宮崎産業経営大学の柴田博子氏によると、「主帳」墨書土器が日向国庁跡を含む官衙遺跡である宮崎県寺崎遺跡で出土しており、この報文の時点（柴田博子2001）では寺崎遺跡の例を含めて全国で3例と極めて少ない。柴田氏は主帳やそのほか官職銘のある資料について、文字が記されたものが坏であるというその性格・機能から、国司や貴人に対する郡家による接待などの饗宴の場での使用・廃棄を想定している。刻書土器が多量に出土した9601調査地点の調査者も、供膳具の多さに注目し火事場処理を行う施設の存在を想定している。本調査地点の出土遺物は膨大で、内容は9601調査地点と類似しており一連の施設であったと考えられる。9601調査地点からは「杵本寺」をはじめ「佛」「寺」などの刻書土器が出土しており、近辺に寺が存在していたことを伺わせる。本調査地点や9601調査地点と、もし近辺に寺が存在していたとするならば、その位置関係は官衙遺跡である渡鹿A遺跡と渡鹿廃寺、神水遺跡と陳山廃寺の位置関係に類似する。本調査地点及び9601調査地点の主要な時期は8世紀後半から9世紀前葉にかけてである。両地点の中間に位置する0707調査地点も古代の遺構は同様で、かつ9世紀後半以降は水田が造られている。機能した時期は渡鹿A遺跡（7世紀末～8世紀前半）の後、神水遺跡（8世紀

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

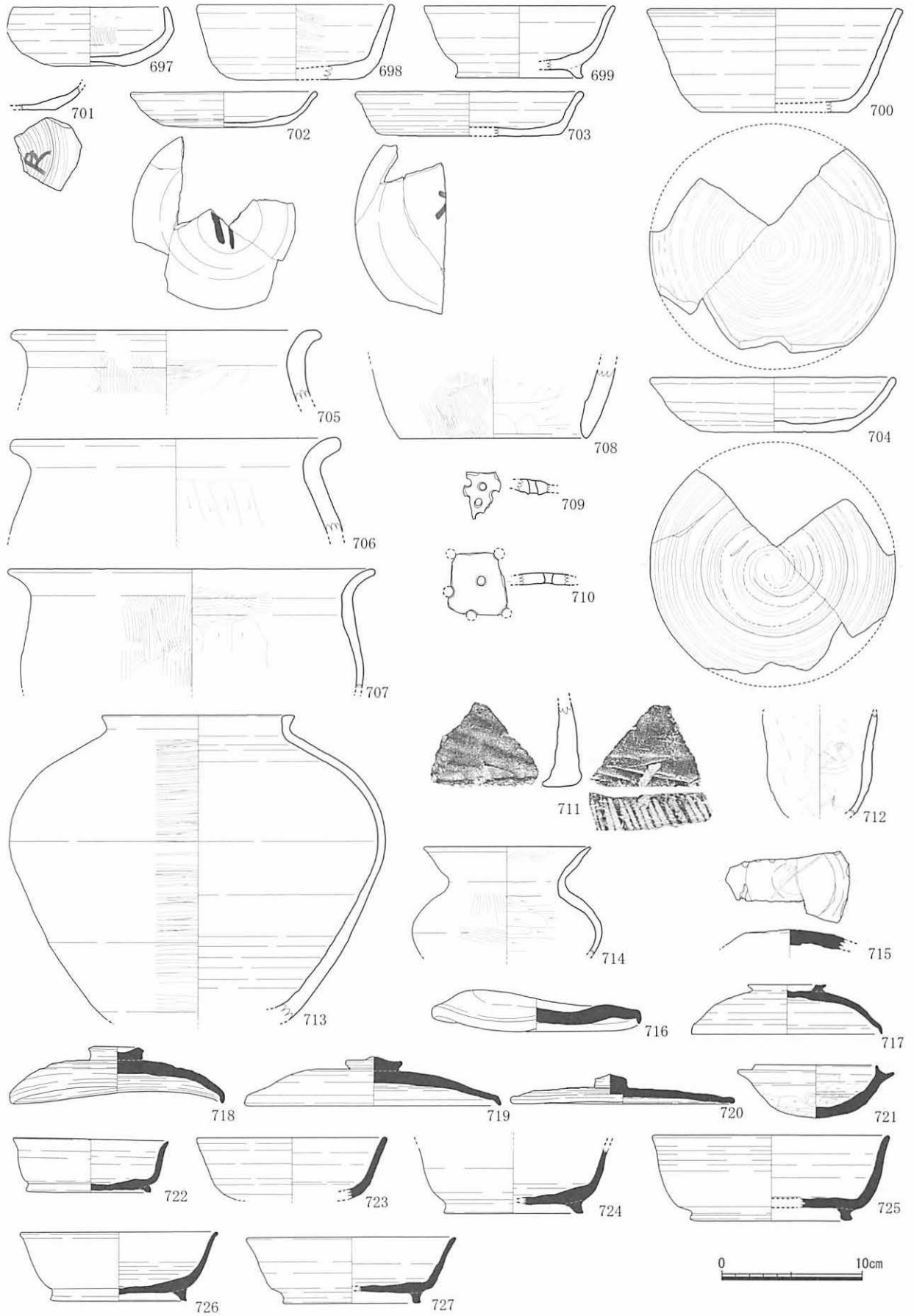


図80 9901調査地点包含層出土遺物実測図1 (1/4)



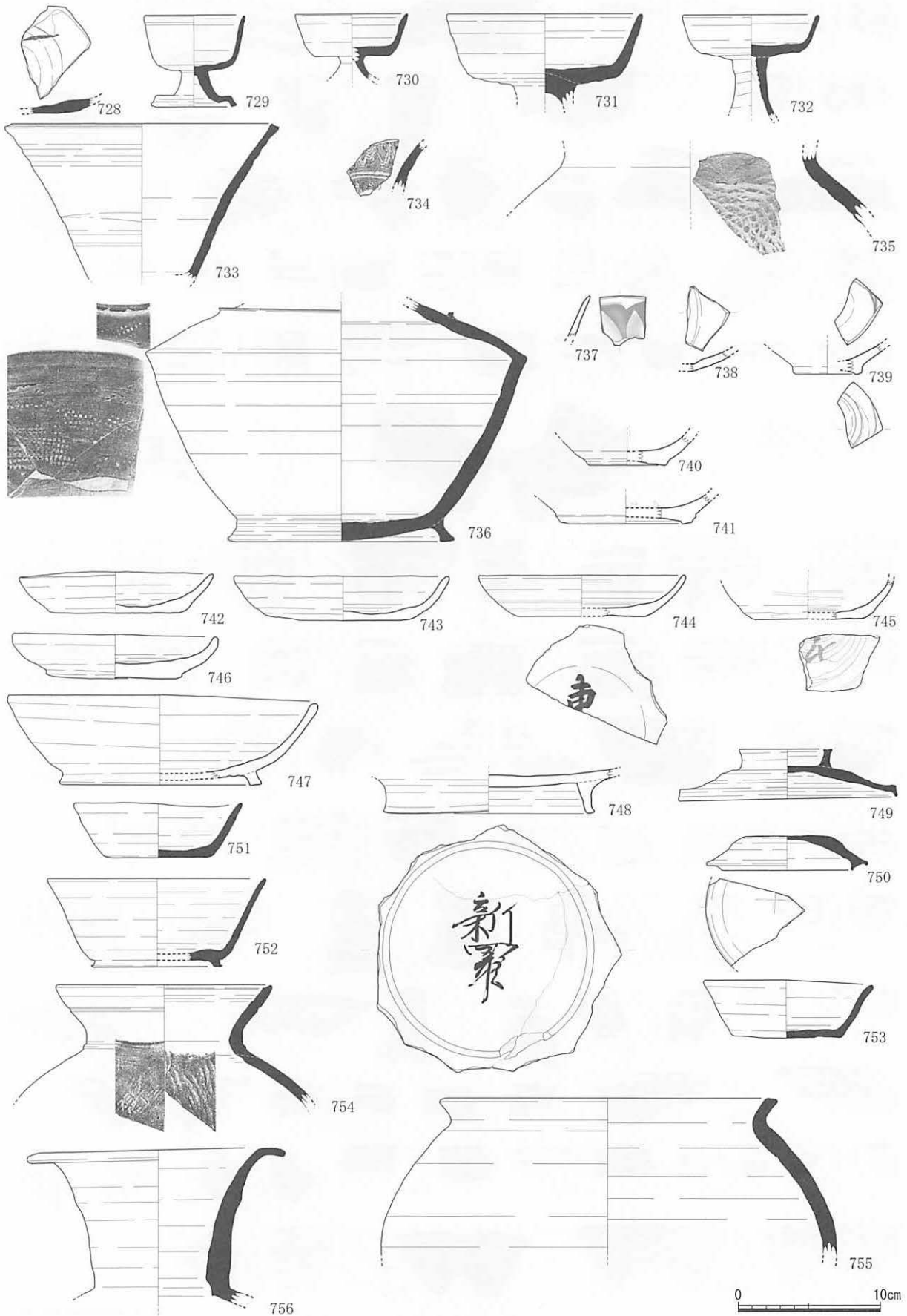


図81 9901調査地点包含層出土遺物実測図2 (1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

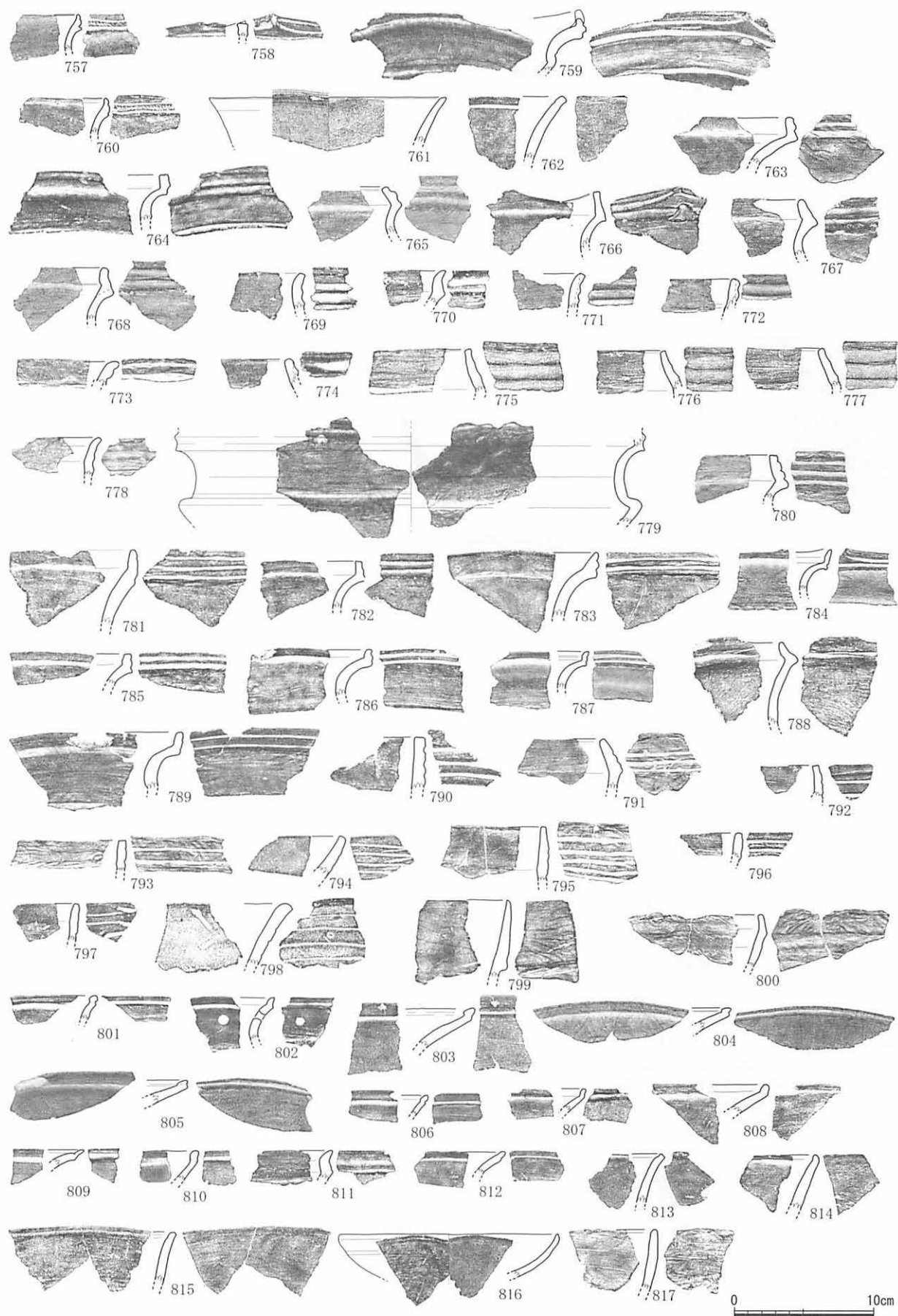


図82 9901調査地点出土縄文土器実測図1 (1/4)

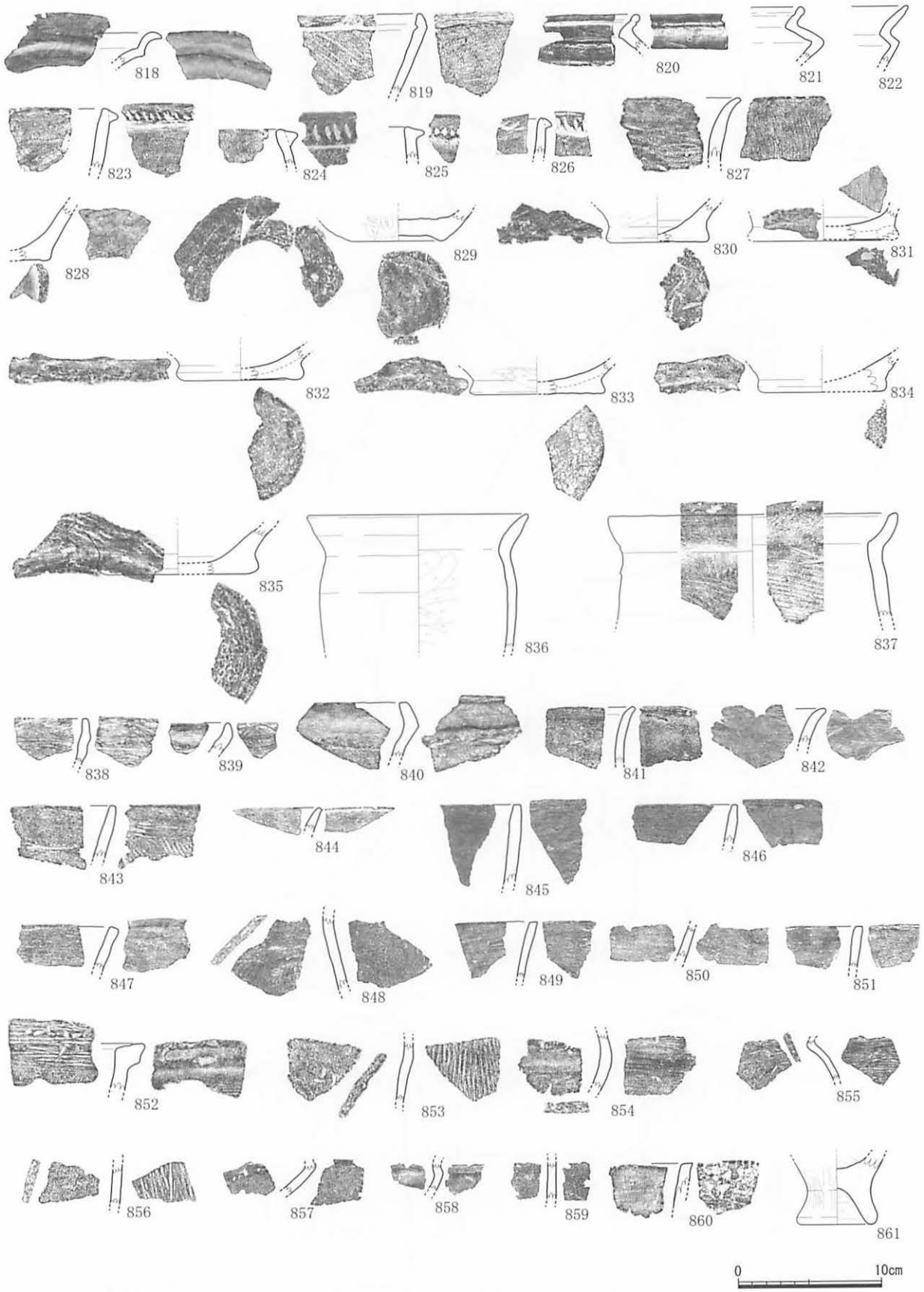


図83 9901調査地点出土縄文土器・弥生土器実測図2 (1/4)

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

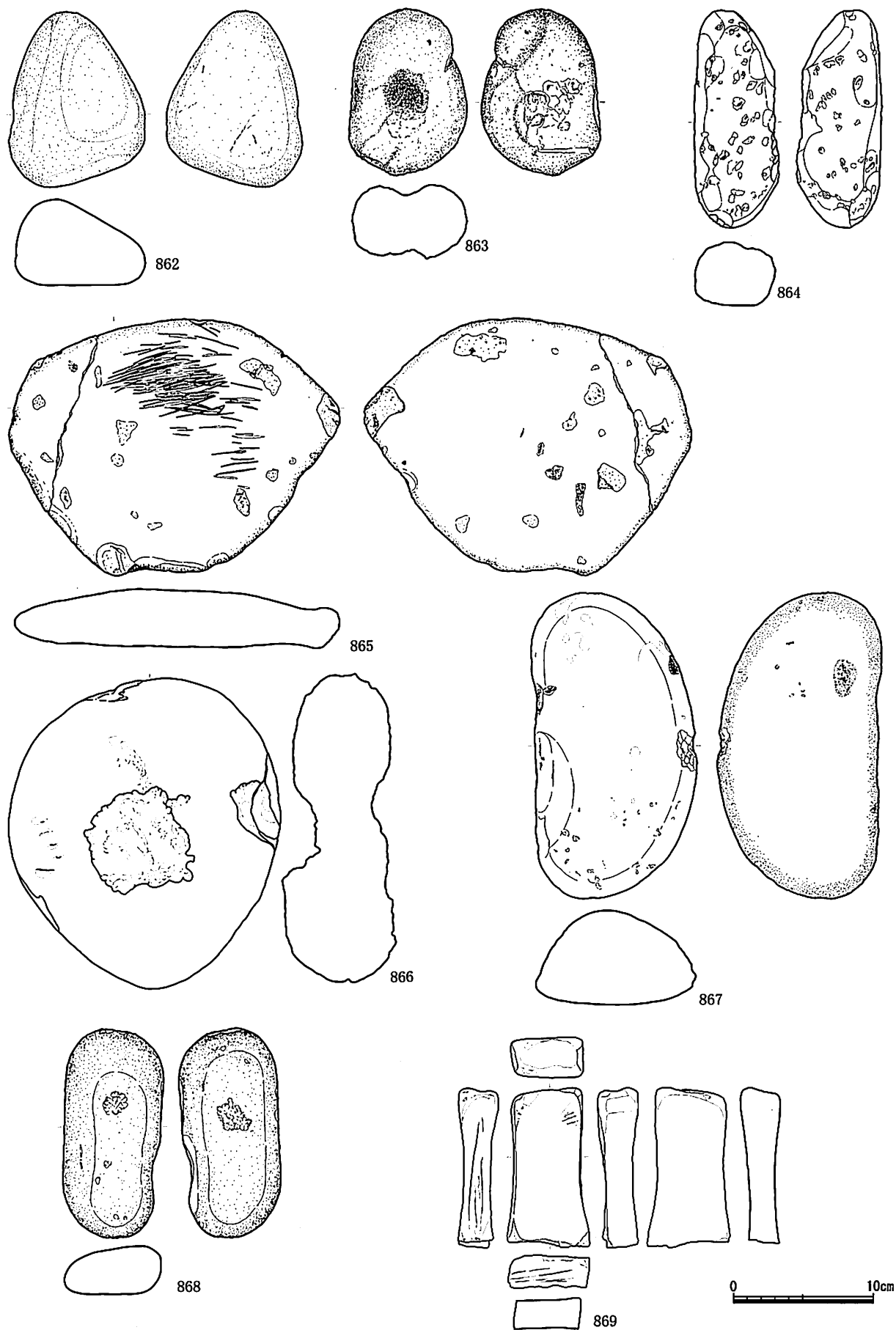


図84 9901調査地点出土石器実測図1 (1/4)

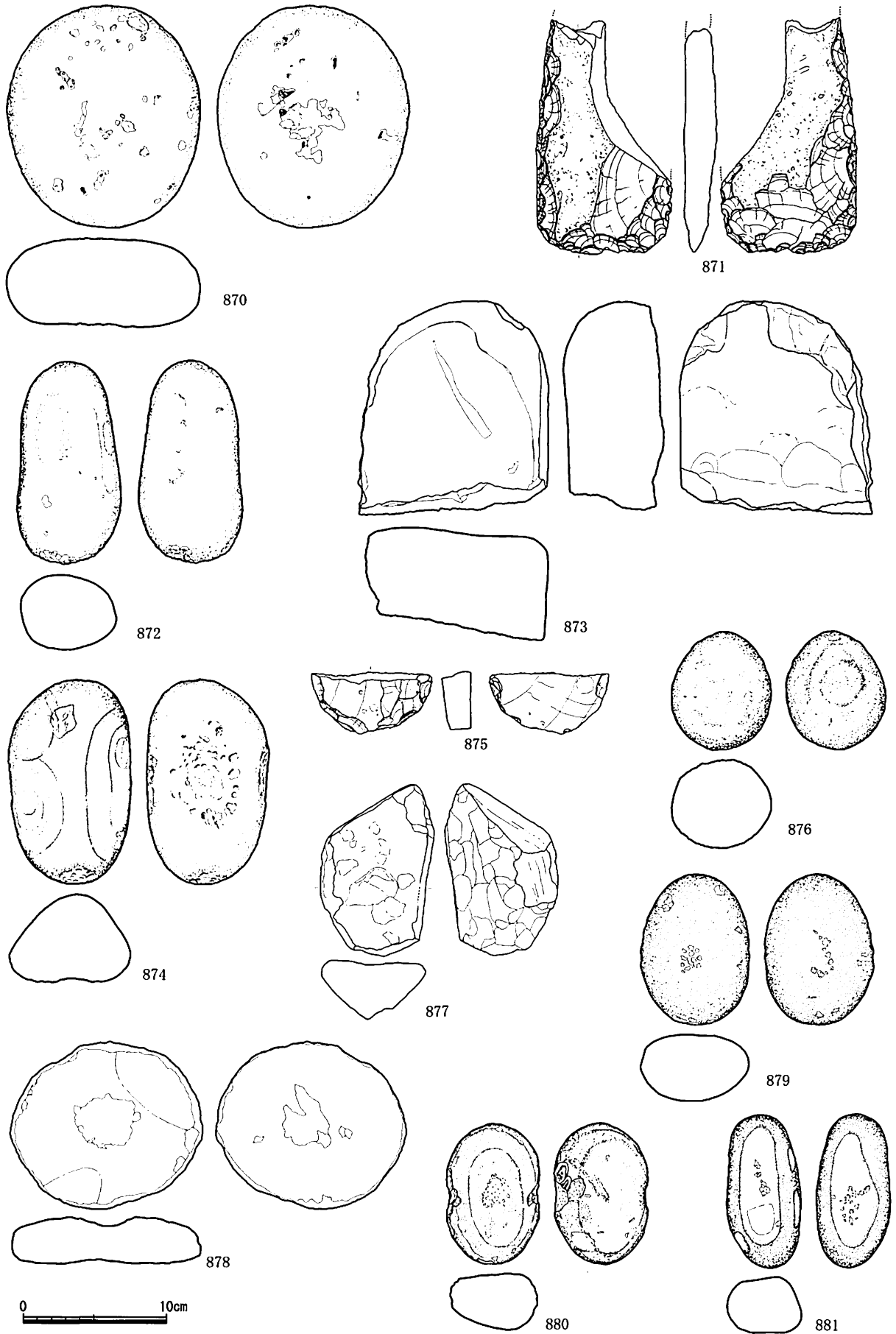


図85 9901調査地点出土石器実測図2 (1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

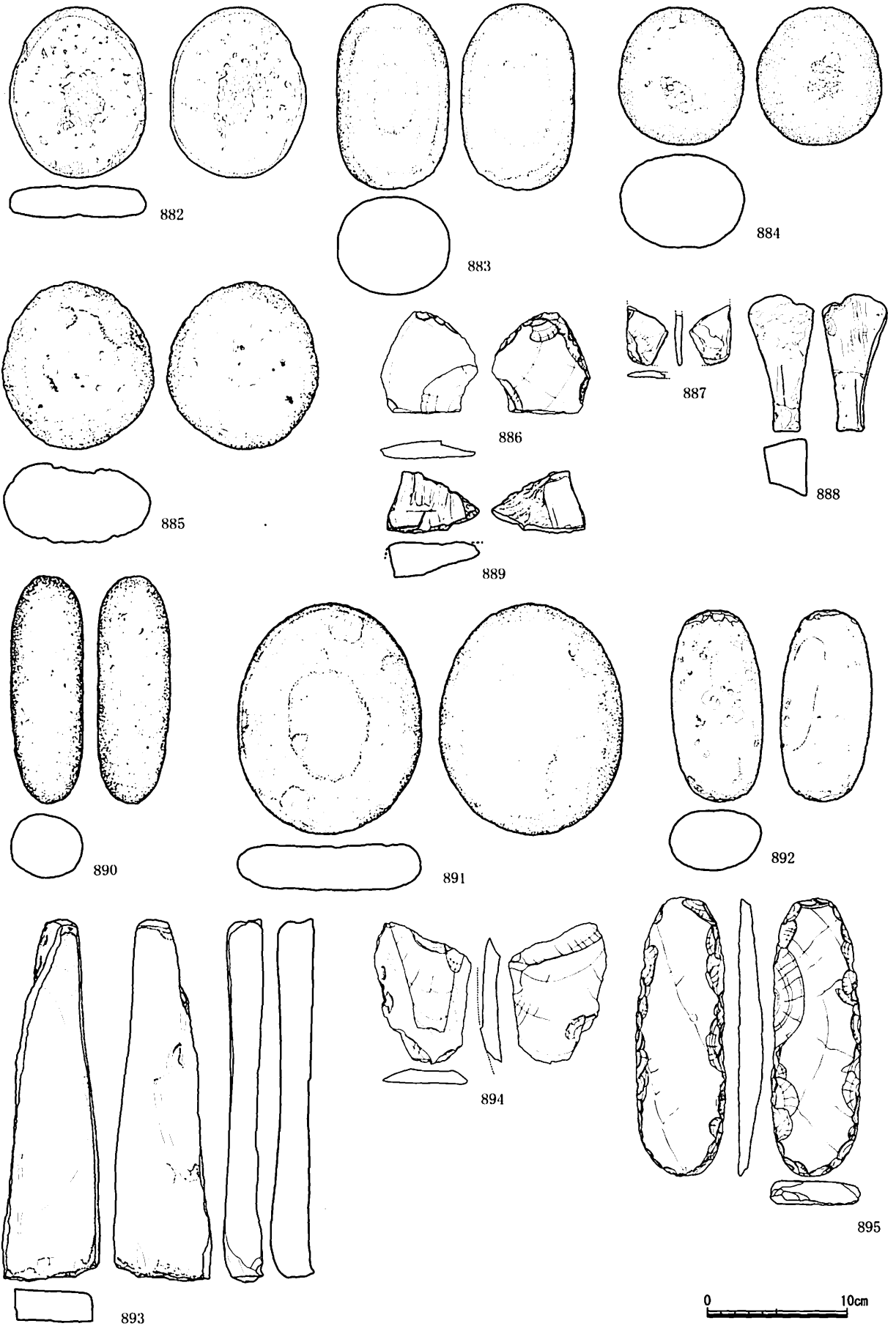


図86 9901調査地点出土石器実測図3 (1/4)

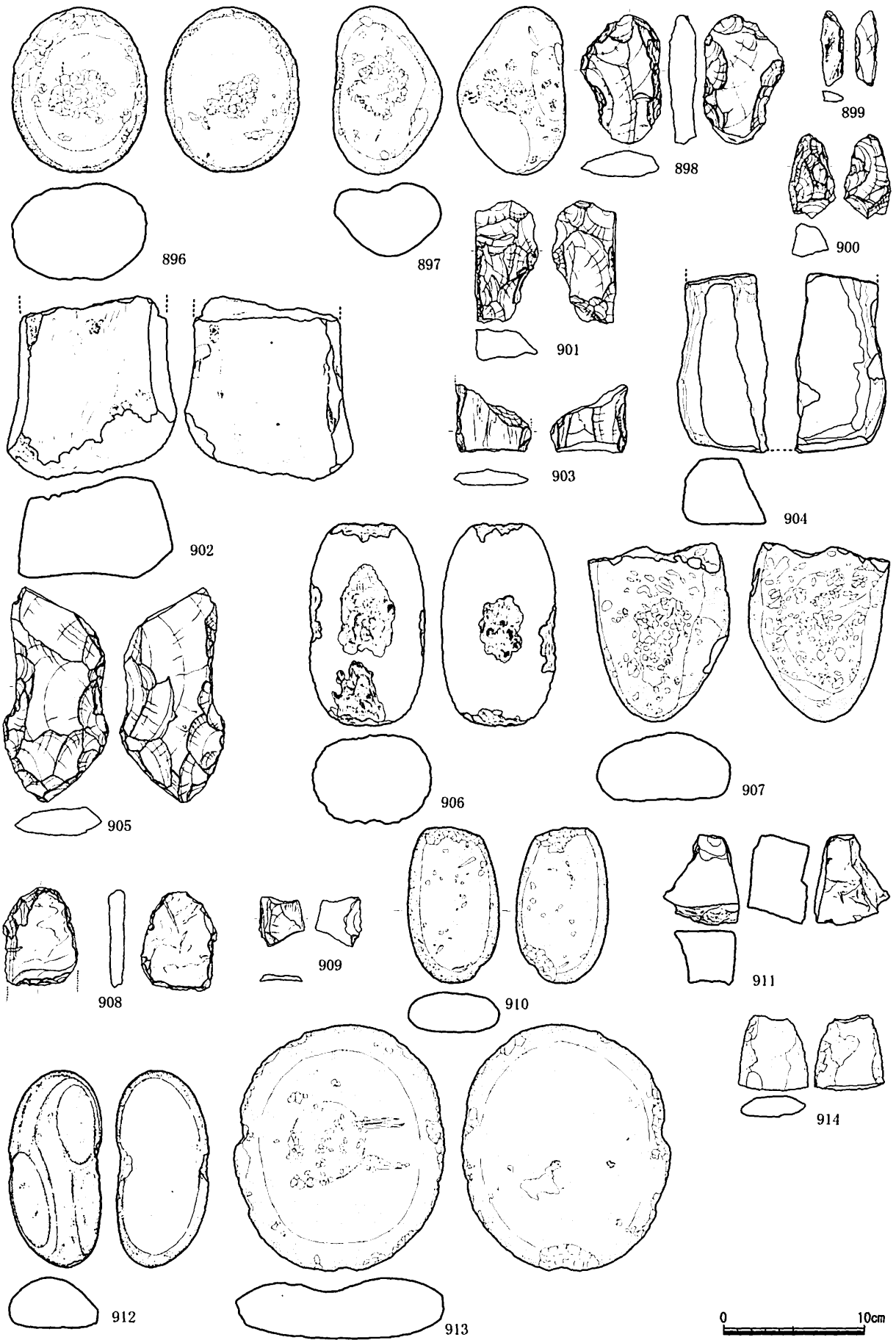


図87 9901調査地点出土石器実測図4 (1/4)

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

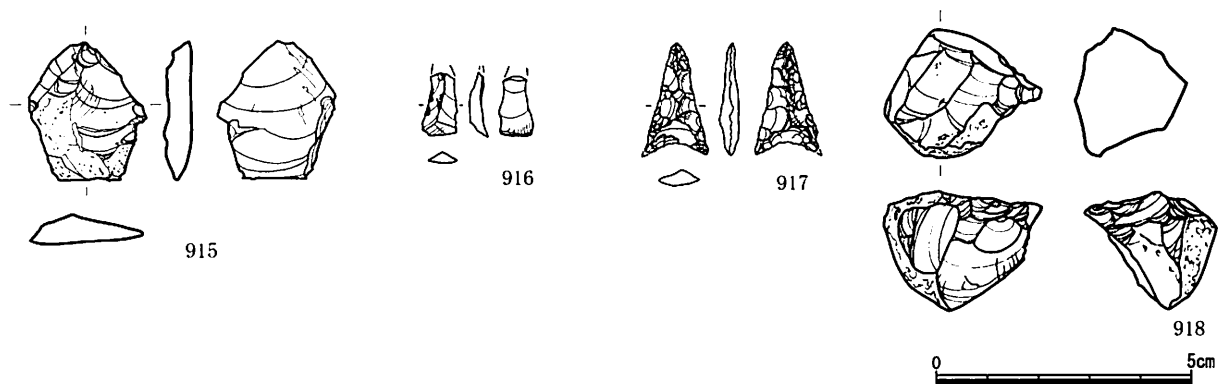


図88 9901調査地点出土石器実測図5 (2/3)

後半～9世紀前半) とほぼ同時期とみられる。

「主帳」の土器は1点のみで、持ち込みの可能性もあるが、本荘北・南地区における既往の調査では、布目瓦や硯、銅製の蛇尾や巡方など役所・役人の存在を示す遺物が出土しており、本荘地区に郡衙かそれに類する施設が存在した可能性も考えられる。ただし、本庄遺跡の位置は想定されている西海道および阿蘇大路からはやや離れている。現在、国府跡や官衙跡と推定される遺跡群が、これらの道沿いに立地している点とは異なる。

本荘北地区内における発掘調査は、既存建物により既に破壊されている可能性が高い部分、既に調査を終えた部分を勘案すると、細部を除き調査は一段落を迎えている。一方、九州新幹線の開通事業に伴う二本木遺跡の発掘調査の進展により、肥後国府とその他の古代史の解明が進められると期待される。今後は、肥後国府の解明の中で本庄遺跡の機能や性格が明らかにされていくことが期待される。

参考文献

熊本市教育委員会 2007『二本木遺跡群Ⅱ－二本木遺跡群第13次調査区発掘調査報告書－』

柴田博子 2001「寺崎遺跡出土の墨書土器について」『寺崎遺跡－日向国庁を含む官衙遺跡－』宮崎県教育委員会

熊本市 1998『新熊本市史』通史編 第一巻 自然・原始・古代



表7 9901調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
25	1	土師器	高 坏	口径160 底径器高	1/5	内: 回転ナデ, ヘラナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR8/3	3号竪穴住居址	
	2	土師器	坏	口径106 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 10YR8/4	3号竪穴住居址	焼きムラあり
	3	土師器	小型九底甕	口径11.6 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	3号竪穴住居址	
	4	土師器	小型九底甕	口径9.0 底径器高7.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	3号竪穴住居址	
	5	土師器	高 坏	口径160 底径器高	1/6	内: 回転ナデ 外: ハケ目, 磨き	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 10YR7/4	3号竪穴住居址	外面に黒斑あり
	6	土師器	器 台	口径9.4 底径器高	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25Y7/4 外: Hue 2.5Y7/4	3号竪穴住居址	内外面にスス付着
	7	土師器	高 坏	口径16.0 底径器高	坏部のみ 1/2	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 10YR2/1 外: Hue 10YR3/1	3号竪穴住居址	
	8	土師器	高 坏	口径14.2 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/3	3号竪穴住居址	内面にスス付着
	9	土師器	浅 鉢	口径13.4 底径器高4.8	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	3号竪穴住居址	底面にスス付着
	10	土師器	小型九底甕	口径11.4 底径器高	1/4	内: 回転ナデ, ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	3号竪穴住居址	口縁部にスス付着?
	11	土師器	小型九底甕	口径10.2 底径器高8.8	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y6/4 外: Hue 2.5Y6/4	3号竪穴住居址	外面底部に黒斑あり
	12	土師器	小型九底甕	口径11.2 底径器高10.5	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/4	3号竪穴住居址	内外面にスス付着
	13	土師器	高 坏	口径22.6 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	3号竪穴住居址	
	14	土師器	高 坏	口径11.6 底径器高	2/3	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/3	3号竪穴住居址	内外面にスス付着
	15	土師器	甕	口径11.9 底径器高17.5	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR3/3 外: Hue 10YR3/3	3号竪穴住居址	内外面にスス付着 外面に吹きこぼれあり
	16	土師器	甕	口径16.2 最大径18.8 器高	約1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR3/1 外: Hue 10YR8/4	3号竪穴住居址	内面がよく焼けていない 外面に黒斑あり
	17	土師器	壺	口径21.4 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削りハ ケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/6	3号竪穴住居址	外面に焼きムラあり
	18	土師器	壺	口径16.0 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 10YR7/6	3号竪穴住居址	外面にスス付着
	19	土師器	壺	口径16.6 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	3号竪穴住居址	
	20	土師器	壺	口径8.5 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 2.5Y6/3	3号竪穴住居址	外面にスス付着
	21	土師器	壺	口径16.4 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 7.5YR7/6	3号竪穴住居址	
	22	土師器	壺	口径15.6 底径器高	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	3号竪穴住居址	内面口縁部にスス付着
	23	土師器	壺	口径19.2 底径器高	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 2.5Y6/2	3号竪穴住居址	
	24	土師器	壺	口径17.2 底径器高	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/6	3号竪穴住居址	外面にスス付着・焼きムラあり
26	25	土師器	浅 鉢	口径10.8 底径器高4.1	ほぼ完形	内: ナデ, ヘラナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR8/4	5号竪穴住居址	外面にスス付着
	26	土師器	鉢	口径11.8 5.4 底径器高6.4	約1/2	内: ナデ, ハケ目, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y7/3	5号竪穴住居址	
	27	土師器	屈曲浅鉢	口径17.2 底径器高	1/3	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 5Y6/8 外: Hue 5Y6/8	5号竪穴住居址	外面にスス付着
	28	土師器	小型九底甕	口径11.5 底径器高7.5	ほぼ完形	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5Y2/1	5号竪穴住居址	内面口縁部にスス付着
	29	土師器	小型九底甕	口径10.3 底径器高7.6	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	5号竪穴住居址	
	30	土師器	小型九底甕	口径11.0 底径器高8.4	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	5号竪穴住居址	
	31	土師器	小型九底甕	口径11.2 底径器高	1/5	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	5号竪穴住居址	外面に黒斑あり

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
26	32	土師器	小型丸底壺	口径11.0 底径器高	1/6	内:ナデ,削り,磨き 外:ハケ目,磨き	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 10YR5/2	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	33	土師器	小型丸底壺	口径14.0 底径器高	1/6	内:削り,ハケ目,磨き 外:ハケ目,磨き	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 7.5YR5/6	5号壑穴住居址	内外面にスス附着	
	34	土師器	小型丸底壺	口径12.8 底径器高12.1	ほぼ完形	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 2.5YR7/4	5号壑穴住居址	外面に焼きムラあり	
	35	土師器	高 坏	口径 底径器高	1/3	内:ナデ,ハケ目 外:ナデ,ヘラ磨き	内:Hue 10YR8/3 外:Hue 7.5YR7/4	5号壑穴住居址		
	36	土師器	器 台	口径 底径器高	1/3	内:削り,ハケ目 外:ナデ,ヘラ磨き	内:Hue 2.5Y7/4 外:Hue 7.5YR7/6	5号壑穴住居址		
	37	土師器	ミニチュア高坏	口径8.6 底径6.7 器高6.2	約2/3	内:ナデ 外:ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	5号壑穴住居址	外面底部にスス附着	
	38	土師器	器 台	口径8.4 底径9.6 器高7.2	1/3	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,磨き	内:Hue 7.5YR5/4 外:Hue 7.5YR5/4	5号壑穴住居址	穿孔あり 内外面にスス附着	
	39	土師器	器 台	口径11.0 底径8.7 器高9.2	約1/2	内:磨き 外:ナデ,磨き	内:Hue 10YR7/3 外:Hue 10YR7/3	5号壑穴住居址		
	40	土師器	高 坏	口径16.6 底径器高	約1/2	内:回転ナデ,ヘラ磨き 外:回転ナデ,ヘラ磨き	内:Hue 2.5Y6/4 外:Hue 2.5Y6/4	5号壑穴住居址		
	41	土師器	高 坏	口径11.8 底径器高	約1/2	内:回転ナデ,削り 外:削り,ハケ目,磨き	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 7.5YR7/4	5号壑穴住居址	焼きムラあり	
	42	土師器	高 坏	口径10.4 底径器高	約1/2	内:回転ナデ,ナデ,削り 外:ナデ,削り,ハケ目	内:Hue 10R5/6 外:Hue 2.5YR6/6	5号壑穴住居址	内外面にスス附着	
	43	土師器	高 坏	口径12.0 底径器高	約1/2	内:回転ナデ,ナデ,削り 外:削り,ハケ目,磨き	内:Hue 10YR6/3 外:Hue 10YR6/3	5号壑穴住居址	圧痕あり	
	44	土師器	高 坏	口径 底径器高	1/3	内:ナデ,削り 外:磨き	内:Hue 10YR6/2 外:Hue 10YR6/3	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	45	土師器	高 坏	口径16.2 底径器高	1/2	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,磨き	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 10YR7/4	5号壑穴住居址	脚部にスス附着	
	46	土師器	高 坏	口径 底径器高	1/3	内:削り 外:磨き	内:Hue 10YR5/3 外:Hue 10YR4/3	5号壑穴住居址		
	47	土師器	壺	口径12.4 底径器高	約1/4	内:回転ナデ,削り,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 7.5YR7/6 外:Hue 7.5YR7/6	5号壑穴住居址	内外面にスス附着	
	48	土師器	壺	口径15.8 底径器高	1/3	内:ヘラナデ,ハケ目 外:ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR7/3 外:Hue 7.5YR6/6	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	49	土師器	壺	口径16.5 底径器高	1/8	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 2.5YR6/4 外:Hue 5YR5/4	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	50	土師器	壺	口径16.6 底径器高	口縁部片	内:ナデ,削り 外:ナデ,ハケ目	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 5YR6/6	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	51	土師器	壺	口径15.6 底径器高	口縁~脚部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR4/3 外:Hue 10YR6/3	5号壑穴住居址	内外面にスス・コゲ附着	
	52	土師器	壺	口径13.7 最大径17.8 器高22.0	ほぼ完形	内:回転ナデ,削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/4	5号壑穴住居址	外面に焼きムラあり	
	53	土師器	壺	口径16.0 最大径24.5 器高	1/5	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 5YR6/4 外:Hue 7.5YR6/4	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
	54	土師器	壺	口径15.2 底径器高21.2	ほぼ完形	内:回転ナデ,削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 7.5YR7/4	5号壑穴住居址		
	27	55	土師器	壺	口径14.6 最大径18.8 器高	約1/2	内:回転ナデ,ナデ,削り,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR7/3 外:Hue 10YR7/3	5号壑穴住居址	内外面にスス・コゲ附着
		56	土師器	壺	口径16.0 最大径18.2 器高21.1	ほぼ完形	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ,ハケ目	内:Hue 10YR7/4 外:Hue 2.5Y7/3	5号壑穴住居址	内面にコゲあり 外面にスス多く附着
		57	土師器	壺	口径16.8 最大径20.0 器高	約1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 7.5YR7/4 外:Hue 7.5YR6/2	5号壑穴住居址	内面にコゲあり 外面にスス附着
58		土師器	壺	口径18.0 最大径24.4 器高	1/3	内:ナデ,削り,磨き 外:ナデ,ハケ目	内:Hue 2.5Y7/3 外:Hue 10YR7/4	5号壑穴住居址	内面にコゲあり 外面にスス多く附着 外面部にヘラ搨あり	
59		土師器	二重口縁壺	口径15.0 底径器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内:Hue 7.5YR6/6 外:Hue 7.5YR6/6	5号壑穴住居址	外面にスス附着	
60		土師器	二重口縁壺	口径15.6 底径器高	口縁部片	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ	内:Hue 5YR6/8 外:Hue 5YR6/8	5号壑穴住居址		
61		土師器	壺	口径26.0 底径器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:ハケ目,削り	内:Hue 2.5Y6/3 外:Hue 2.5Y6/2	5号壑穴住居址	内外面にスス附着	
28	62	土師器	壺	口径16.4 底径器高	ほぼ完形	内:回転ナデ,ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内:Hue 2.5Y5/6 外:Hue 2.5Y5/6	35号壑穴住居址	外面スス附着 吹きこぼれ痕あり	
	63	土師器	小型丸底壺	口径11.6 底径器高	1/6	内:回転ナデ 外:回転ナデ,磨き	内:Hue 7.5YR6/4 外:Hue 10YR6/4	35号壑穴住居址	外面にスス附着・吹きこぼれ痕あり	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
28	64	土師器	甕	口径 底径 器高 22.4	口縁部1/5	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	35号竪穴住居址	
	65	土師器	鉢	口径 底径 器高 12.5 8.0 7.2	ほぼ完形	内:回転ナデ,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	35号竪穴住居址	外面に焼きムラあり
	66	土師器	瓶	口径 底径 器高	取手のみ	内:削り 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR7/4 外: Hue 5YR7/6	35号竪穴住居址	
30	67	土師器	高 坏	口径 底径 器高 18.6	坏部のみ ほぼ完形	内:磨き 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	80号竪穴住居址	外面にスス付着
	68	土師器	高 坏	口径 底径 器高 19.4	坏部2/3	内:ナデ,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR6/6	80号竪穴住居址	
	69	土師器	高 坏	口径 底径 器高 18.2	坏部約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5Y7/4 外: Hue 7.5YR7/4	80号竪穴住居址	
	70	土師器	高 坏	口径 底径 器高 20.0	坏部約1/4	内:回転ナデ,ナデ, 削り,ハケ目 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	80号竪穴住居址	
	71	土師器	高 坏	口径 底径 器高 20.6	約1/2	内:回転ナデ,削り, ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	80号竪穴住居址	外面にスス付着
	72	土師器	高 坏	口径 底径 器高	坏部1/8	内:ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	80号竪穴住居址	
	73	土師器	高 坏	口径 底径 器高	1/4	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 10YR6/4	80号竪穴住居址	坏部内面にスス付着
	74	土師器	高 坏	口径 底径 器高	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	80号竪穴住居址	
	75	土師器	高 坏	口径 底径 器高	脚部1/4	内:削り,磨き 外:磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	80号竪穴住居址	
	76	土師器	高 坏	口径 底径 器高 12.4	脚部のみ ほぼ完形	内:削り,ハケ目 外:回転ナデ	内: Hue 10YR8/8 外: Hue 7.5YR7/8	80号竪穴住居址	
	77	土師器	高 坏	口径 底径 器高 14.0	脚部4/5	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,ハケ目, 指オサエ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	80号竪穴住居址	外面の一部に黒斑あり
	78	土師器	高 坏	口径 底径 器高	1/4	内:削り 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目,磨き	内: Hue 10YR5/4 外: Hue 10YR6/4	80号竪穴住居址	
	79	土師器	小型丸底壺	口径 最大径 器高 10.6	2/3	内:ナデ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	80号竪穴住居址	
	80	土師器	壺	口径 底径 器高 10.8	約1/4	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	80号竪穴住居址	
	81	土師器	小型丸底壺	口径 底径 器高 10.8 13.0	2/3	内:回転ナデ,ナデ, 削り,磨き 外:ナデ,磨き	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	80号竪穴住居址	外面にスス付着
	82	土師器	壺	口径 底径 器高	口縁~肩部片	内:回転ナデ,ナデ, 削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	80号竪穴住居址	外面にスス付着
	83	土師器	壺	口径 底径 器高 17.4	約1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	80号竪穴住居址	外面にスス付着・吹きこぼれあり
	84	土師器	壺	口径 底径 器高 17.2	口縁部片	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR7/4	80号竪穴住居址	内外面にスス付着
	85	土師器	壺	口径 底径 器高 16.5	口縁部2/3	内:回転ナデ,ナデ, 削り,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	80号竪穴住居址	
	86	土師器	甕?	口径 底径 器高	肩部片	内:ナデ,ハケ目 外:ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	80号竪穴住居址	外面に条痕あり
31	87	土師器	高 坏	口径 底径 器高	1/3	内:ナデ,削り,ハケ目 外:ナデ,削り,ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR7/4	92号竪穴住居址	
	88	土師器	壺	口径 底径 器高 18.2	口縁部1/4	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 10R5/6	92号竪穴住居址	
	89	土師器	甕	口径 最大径 器高 17.4	約1/4	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目,磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	92号竪穴住居址	内面底面にコゲあり 外面にスス付着
	90	土師器	壺	口径 底径 器高 16.6 4.0 21.5	1/8	内:回転ナデ,ナデ, 削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	92号竪穴住居址	内外面にスス付着
	91	土師器	壺	口径 底径 器高 13.8 32.1	1/3	内:削り,ハケ目 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5YR7/6 外: Hue 10YR7/6	92号竪穴住居址	
33	92	土師器	坏	口径 底径 器高 9.0	1/4	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	113号竪穴住居址	
	93	土師器	かわらけ	口径 底径 器高 8.5 6.9 1.4	完 形	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/3	113号竪穴住居址 50311	底面糸切り
	94	土師器	器 台	口径 底径 器高 15.0	脚部3/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	113号竪穴住居址	
	95	土師器	高 坏	口径 底径 器高 11.6	1/6	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	113号竪穴住居址・ 50528	

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
33	96	土師器	壺	口径16.2 底径器高	口縁~肩部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 磨き	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR5/6	113号壺穴住居址	丹塗り
	97	土師器	壺	口径15.2 底径器高	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR3/2 外: Hue 10YR3/1	113号壺穴住居址	
	98	土師器	壺	口径15.3 底径器高27.2	ほぼ完形	内: ナデ, 削り, 指オサエ 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	113号壺穴住居址	内面底にコゲあり 外面にスス付着・吹きこぼれ痕あり
	99	土師器	甕	口径30.8 底径器高	口縁~肩部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 5YR7/6	113号壺穴住居址	
	100	土師器	甕	口径18.6 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	113号壺穴住居址・50331	
	101	須恵器	壺	口径最大径13.2 底径6.0	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	113号壺穴住居址	
35	102	土師器	高 坏	口径11.2 底径器高	脚部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR4/1	253号壺穴住居址	
	103	土師器	高 坏	口径器高	1/8	内: 回転ナデ, ナデ, 磨き 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	253号壺穴住居址	
	104	土師器	鉢形甕	口径11.2 底径器高	1/4	内: 回転ナデ, ヘラ削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR7/4	337・338号壺穴住居址	
	105	土師器	甕	口径15.4 底径器高	口縁部2/3	内: 回転ナデ, ナデ, ヘラ削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 10YR6/6	337・338号壺穴住居址	
	106	土師器	二重口縁壺	口径17.4 底径器高	口縁部1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR7/4	337・338号壺穴住居址	
	107	土師器	小型九底壺	口径6.0 底径器高6.4	完 形	内: 回転ナデ, 指ナデ 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/4	340号壺穴住居址・P-1	外面底部にスス付着
37	108	手捏ね土器	鉢	口径6.4 底径器高3.7	ほぼ完形	内: 指ナデ, 指オサエ 外: 指ナデ, 指オサエ	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 2.5Y6/3	346号壺穴	
	109	手捏ね土器	鉢	口径5.6 底径器高2.0 器高4.0	ほぼ完形	内: 指ナデ, 指オサエ 外: 指ナデ, 指オサエ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 2.5Y5/2	346号壺穴	焼きムラあり
	110	土師器	高 坏	口径器高	坏部1/2	内: ハケ目, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	346号壺穴	外面にスス付着
	111	土師器	高 坏	口径器高	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/4	346号壺穴	
	112	土師器	壺	口径17.0 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 2.5Y6/1	346号壺穴	
	113	土師器	壺	口径16.0 底径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10R6/8 外: Hue 10R6/8	346号壺穴	
	114	土師器	壺	口径15.0 底径器高	口縁~肩部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	346号壺穴	外面にスス付着・吹きこぼれあり
	115	土師器	小型九底壺	口径11.0 底径器高11.3	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/6 外: Hue 10YR6/6	346号壺穴	外面に焼きムラあり
	116	土師器	壺	口径16.2 最大径22.2 器高25.6	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	346号壺穴	
	117	土師器	鉢	口径9.2 底径器高	1/6	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	352号壺穴住居址	内面に暗文あり 外面に貝の押型文あり
	118	土師器	壺	口径器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/3	352号壺穴住居址	
	119	土師器	二重口縁壺	口径器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	352号壺穴住居址	
	120	土師器	壺	口径17.0 底径器高	口縁~肩部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR6/3	353号壺穴住居址	
	121	土師器	二重口縁壺	口径器高	頸~肩部片	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/3	353号壺穴住居址	内外面にスス・コゲ付着 外面に吹きこぼれ痕あり
	122	土師器	小型九底壺	口径最大径10.5 器高	1/3	内: 削り, 指オサエ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/3	353号壺穴住居址	外面に黒斑あり
	123	土師器	器 台	口径7.8 底径器高	1/2	内: ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	354号壺穴住居址	
124	土師器	罎	口径13.0 底径器高	口縁部1/6	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	354号壺穴住居址		
125	土師器	小型九底壺	口径12.0 底径器高	口縁~肩部1/6	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目, 磨き	内: Hue 5YR4/4 外: Hue 10R4/6	354号壺穴住居址	内外面にスス?付着	
126	土師器	甕	口径16.2 底径器高	口縁部1/4	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR2/1	354号壺穴住居址	スス付着	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
39	127	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 8.6	1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	360号竪穴住居址	
	128	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 11.0	約1/4	内:回転ナデ,ナデ, 磨き 外:回転ナデ,磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR5/4	360号竪穴住居址	
	129	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 11.0 7.0	1/6	内:回転ナデ,ナデ, 磨き 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目,磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	360号竪穴住居址	
	130	土師器	器 台	口径 底径 器高 8.6	脚部のみ3/4	内:ナデ,ハケ目 外:回転ナデ	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 10YR7/6	360号竪穴住居址	
	131	土師器	器 台	口径 底径 器高 14.0	1/4	内:削り,磨き 外:回転ナデ,削り, 磨き	内: Hue 10YR1.7/1 外: Hue 7.5YR6/4	360号竪穴住居址	脚部内面黒色磨研
	132	土師器	高 坏	口径 底径 器高 12.0	脚部のみ 5/6	内:磨き 外:ハケ目後ナデ	内: Hue 2.5Y6/4 外: Hue 10YR6/4	360号竪穴住居址	
	133	土師器	高 坏	口径 底径 器高 16.0	口縁部1/4	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	360号竪穴住居址	
	134	土師器	高 坏	口径 底径 器高 16.8	1/4	内:磨き 外:磨き,ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 10YR7/4	360号竪穴住居址	
	135	土師器	壺	口径 底径 器高 19.0	口縁~胴部片	内:回転ナデ,ナデ, 削り,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10R5/4 外: Hue 2.5YR6/4	360号竪穴住居址	外面にスス・コゲ付着
	136	土師器	壺	口径 底径 器高 14.7	口縁部片	内:回転ナデ,削り, ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	360号竪穴住居址	外面にスス付着・黒斑あり
	137	土師器	壺	口径 底径 器高 19.6	1/8	内:回転ナデ,削り, ハケ目 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/3	360号竪穴住居址	内面口縁部にコゲあり 外面にスス・コゲ付着
	138	土師器	壺	口径 底径 器高 16.6	口縁部のみ 1/2	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	360号竪穴住居址	
	139	土師器	壺	口径 底径 器高 14.7	約1/6	内:回転ナデ,ナデ, 削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 2.5Y7/4	360号竪穴住居址	外面にスス・コゲ付着
	140	土師器	壺	口径 底径 器高 13.0	口縁部片	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/6	361号竪穴	
141	土師器	壺	口径 底径 器高 13.6	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	361号竪穴	外面口縁部にスス付着	
40	142	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 11.6 9.1	約1/2	内:回転ナデ,ナデ, 磨き 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5R4/6 外: Hue 7.5R4/6	387号竪穴住居址	
	143	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 11.5 10.5	4/5	内:ナデ,ハケ目 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 2.5Y7/4 外: Hue 2.5Y5/3	387号竪穴住居址	
	144	土師器	小型丸底甕	口径 底径 器高 13.2 10.5	ほぼ完形	内:回転ナデ,ナデ, 削り,指オサエ 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 7YR7/4 外: Hue 7YR7/4	387号竪穴住居址	外面にスス付着
	145	土師器	高 坏	口径 底径 器高 16.5 13.5 15.5	3/4	内:回転ナデ,ナデ, 削り,ハケ目 外:回転ナデ,ナデ, 削り,ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR7/4	387号竪穴住居址	黒斑あり 内外面にスス付着
	146	土師器	高 坏	口径 底径 器高	坏部のみ 2/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y8/4 外: Hue 10YR8/4	387号竪穴住居址	
	147	土師器	壺	口径 底径 器高 15.4	口縁~胴部 1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ, ハケ目	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	368号集石土坑	内面にコゲあり 外面にスス付着
	148	土師器	壺	口径 最大径 器高 14.1 17.1	1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 2.5YR5/8	368号集石土坑	黒斑あり
	149	須恵器	碗	口径 底径 器高 7.6 4.3	1/3	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ヘラ削り	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue N5/0	368号集石土坑	ヘラ記号「×」あり
	150	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	394号ピット	
	42	151	須恵器	甕	口径 底径 器高 21.0	口縁~肩部 1/3	内:回転ナデ,タタキ 外:回転ナデ,タタキ	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 10BG4/1	30号竪穴住居址
152		土師器	坏	口径 底径 器高 13.6	約1/4	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,磨き	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	43号竪穴住居址	黒斑あり
153		土師器	甕	口径 底径 器高 15.6	口縁部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	43号竪穴住居址	
44	154	土師器	二重口縁甕	口径 底径 器高 24.0	口縁部のみ 1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5Y6/8 外: Hue 2.5Y6/6	50号竪穴住居址	
	155	土師器	蓋	口径 底径 器高 18.2	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	52号竪穴住居址	
	156	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 9.0 3.1	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	52号竪穴住居址	
	157	土師器	坏	口径 底径 器高 5.8	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	52号竪穴住居址	

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
44	158	土師器	坏	口径 底径 器高 8.6	底部片	内:ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10R6/6 外: Hue 5YR7/4	52号竪穴住居址・ 50272	
	159	土師器	碗	口径 底径 器高 12.6 8.2 5.1	1/4	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	52号竪穴住居址	
	160	土師器	碗	口径 底径 器高 12.6	1/8	内:磨き 外:ナデ,削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	52号竪穴住居址	
	161	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内:ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR5/3 外: Hue 5Y6/1	52号竪穴住居址	
	162	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.6 2.0	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue N4/0 外: Hue N4/0	52号竪穴住居址	
	163	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.3 1.4	1/8	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/1	52号竪穴住居址	
	164	須恵器	蓋	口径 底径 器高 12.0 1.2	1/2	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue N5/0	52号竪穴住居址	内面にスス付着 外面に自然釉あり
	165	須恵器	坏	口径 底径 器高 9.0 3.2	1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue N4/0 外: Hue N4/0	52号竪穴住居址	
	166	須恵器	坏	口径 底径 器高 11.8 6.8 3.1	1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5PB6/1 外: Hue 5PB6/1	52号竪穴住居址	内外面に自然釉あり
	167	須恵器	坏	口径 底径 器高 10.7 3.3	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	52号竪穴住居址	内外面に自然釉あり
	168	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.4 9.0 4.0	1/3	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10Y4/1 外: Hue 10Y3/1	52号竪穴住居址・ 50975	
	169	須恵器	碗	口径 底径 器高	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 5GY6/1	52号竪穴住居址	
	170	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.2	1/3	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 5Y4/1	52号竪穴住居址	外面一部に自然釉あり
	171	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.2	1/6	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5B4/1 外: Hue 7.5Y3/1	52号竪穴住居址	
	172	須恵器	壺	口径 底径 器高 13.8	口縁部1/3	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 2.5Y5/1	52号竪穴住居址	内外面にスス付着
	173	土師器	甕(鍋形)	口径 底径 器高 28.5	約1/8	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,ナデ削り	内: Hue 10YR7/2 外: Hue 5YR6/4	52号竪穴住居址	内外面にスス付着
	174	土師器	甕	口径 底径 器高 20.0	口縁部1/4	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 2.5YR6/8	52号竪穴住居址	内外面にスス付着
	175	土師器	甕(鍋形)	口径 底径 器高 30.4	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 2.5YR7/6	52号竪穴住居址	内面にコゲあり 外面にスス付着
	176	土師器	甕	口径 底径 器高 16.6	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	52号竪穴住居址	
177	土師器	甕	口径 底径 器高 28.4	口縁部片	内:回転ナデ,ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	52号竪穴住居址		
178	土師器	移動式甕	口径 底径 器高	胴部片	内:削り 外:ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	52号竪穴住居址		
179	土師器	瓶	口径 底径 器高	取手のみ	内:削り,ハケ目 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	52号竪穴住居址・ 50638		
45	180	土師器	坏	口径 底径 器高 12.5 7.8 3.6	1/4	内:回転ナデ,ナデ, 削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	290号竪穴住居址	
	181	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 8.2 2.4	口縁~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	290号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	182	土師器	坏	口径 底径 器高 13.4 8.6 2.4	口縁~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	290号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	183	土師器	坏	口径 底径 器高 13.3 8.0 2.1	1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	290号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	184	土師器	坏	口径 底径 器高 16.4 9.0 3.5	口縁~底部片	内:ナデ,削り 外:削り	内: Hue 10R4/6 外: Hue 10R4/6	290号竪穴住居址	内外面に丹塗り
	185	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.2	1/6	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue N4/0	290号竪穴住居址	
	186	土師器	坏	口径 底径 器高 12.2	口縁~胴部片	内:回転ナデ,磨き 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	291号竪穴住居址	内面にスス付着
	187	土師器	坏	口径 底径 器高 16.0	1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	291号竪穴住居址	
	188	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ,削り, 磨き 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 5YR7/6	291号竪穴住居址	
	189	土師器	甕	口径 底径 器高 19.3	口縁~胴部片	内:ナデ,削り 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/4	291号竪穴住居址	頸部内面にコゲあり

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
45	190	須恵器	蓋	口径 11.2 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y4/1 外: Hue 7.5Y4/1	291号竪穴住居址	
	191	須恵器	坏	口径 底径 器高	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y8/2 外: Hue 5Y7/1	291号竪穴住居址	ヘラ記号あり 黒斑あり
	192	土師器	坏	口径 9.6 底径 器高	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	297号竪穴住居址	
46	193	土師器	坏	口径 12.0 底径 器高	1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR5/8 外: Hue 2.5YR5/8	343号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	194	土師器	甕	口径 20.7 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	343号竪穴住居址	
	195	土師器	甕	口径 30.7 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	343号竪穴住居址	外面にスス・コゲ付着
	196	須恵器	蓋	口径 底径 器高	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N4/0 外: Hue N5/0	343号竪穴住居址	外面に自然釉あり
	197	須恵器	蓋	口径 底径 器高	4/5	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/1	343号竪穴住居址	
	198	須恵器	壺?	口径 19.0 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10GY4/1 外: Hue N4/0	343号竪穴住居址	
	199	土師器	甕	口径 20.2 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10R6/8 外: Hue 10R5/6	355号竪穴住居址	
	200	土師器	甌	口径 底径 器高	破 片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	355号竪穴住居址	内面にスス付着
	201	土師器	移動式甕	口径 底径 器高	破 片	内: ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/4	355号竪穴住居址	内外面にスス付着
	202	土師器	甕	口径 14.6 底径 器高	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR5/4	356号竪穴住居址	内外面にスス・コゲ付着
	47	203	土師器	坏	口径 14.3 底径 9.0 器高 3.3	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 10YR7/4	357号竪穴
204		土師器	皿	口径 16.2 底径 10.0 器高 1.9	1/3	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/8	357号竪穴	内面にスス付着
205		土師器	移動式甕	口径 底径 器高	破 片	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 5YR5/4	357号竪穴	外面にスス付着
206		土師器	坏	口径 14.8 底径 10.0 器高 3.2	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ヘラ削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	348号 (357号竪穴の一角)	
207		須恵器	蓋	口径 15.8 底径 4.25 器高	3/4	内: 回転ヘラ削り 外: 回転ヘラ削り	内: Hue 10YR4/1 外: Hue N4/0	367号竪穴住居址	
208		須恵器	碗	口径 7.6 底径 3.7 器高	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ヘラ削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	367号竪穴住居址	
48	209	須恵器	碗	口径 13.4 底径 10.2 器高 4.5	1/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR2/2・ 5/3 外: Hue 10YR5/2	367号竪穴住居址	内面剥離
	210	須恵器	碗	口径 15.2 底径 10.4 器高 5.8	1/4	内: ナデ, 削り 外: 削り	内: Hue 10YR5/1 外: Hue 2.5Y7/1	367号竪穴住居址	外面に自然釉あり
	211	須恵器	台付壺?	口径 10.0 底径 3.7 器高	1/3	内: ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y8/2 外: Hue 2.5Y6/1	367号竪穴住居址	
	212	須恵器	壺	口径 9.0 底径 5.6 器高	3/4	内: 回転ヘラ削り 外: 回転ヘラ削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	367号竪穴住居址	
	213	土師器	坏	口径 12.3 底径 9.2 器高 2.8	4/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	25号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	214	土師器	坏	口径 14.0 底径 器高	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	25号竪穴住居址	内外面にスス付着
	215	土師器	坏	口径 13.3 底径 8.0 器高 2.9	約1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	25号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
216	土師器	坏	口径 11.6 底径 7.9 器高 3.2	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 2.5YR5/6	25号竪穴住居址	内外面赤色化粧土	
50	217	土師器	坏	口径 14.0 底径 10.0 器高 2.7	口縁~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	25号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	218	土師器	坏	口径 13.0 底径 7.8 器高 2.7	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	25号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	219	土師器	坏	口径 13.0 底径 8.5 器高 3.0	ほぼ全形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	25号竪穴住居址	灯明皿として使用か? 内外面赤色化粧土
	220	土師器	坏	口径 13.2 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	25号竪穴住居址	
	221	土師器	坏	口径 14.5 底径 8.0 器高 3.9	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	25号竪穴住居址	外面にスス付着 内外面赤色化粧土

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(翻種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
50	222	土師器	坏	口径 底径 器高 15.1 10.0 3.3	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	25号壑穴住居址		
	223	土師器	坏	口径 底径 器高 14.0	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	25号壑穴住居址	外面に焼きムラあり	
	224	土師器	甕	口径 底径 器高 16.4	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	25号壑穴住居址	外面にスス付着	
	225	土師器	甕	口径 底径 器高 16.2	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	25号壑穴住居址		
	226	土師器	小 甕	口径 底径 器高 11.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR7/8	25号壑穴住居址		
	227	土師器	甕	口径 底径 器高 16.2	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 10YR6/3	25号壑穴住居址	外面に焼きムラあり	
	228	土師器	甕	口径 底径 器高 14.6	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	25号壑穴住居址	内外面にスス付着	
	229	土師器	甕	口径 底径 器高 15.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	25号壑穴住居址		
	230	土師器	甕	口径 底径 器高 28.0	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	25号壑穴住居址	外面にスス付着	
	231	土師器	坏	口径 底径 器高 13.0 8.1 2.9	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5Y6/6	25号壑穴住居址	墨書「安」あり 内外面赤色化粧土	
	232	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.2	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N5/0	25号壑穴住居址		
	233	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.2	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 10Y6/1	25号壑穴住居址	外面に自然釉あり	
	234	須恵器	皿	口径 底径 器高 16.0 12.2 2.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y7/1	25号壑穴住居址	内外面に焼きムラあり	
	235	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.0	底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	25号壑穴住居址		
	236	須恵器	碗?	口径 底径 器高 13.3	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	25号壑穴住居址		
	237	須恵器	碗	口径 底径 器高 18.6 12.2 4.5	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	25号壑穴住居址		
	238	須恵器	坏	口径 底径 器高 13.2 7.3 3.4	1/3	内: 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y8/1 外: Hue 7.5Y7/1	25号壑穴住居址		
	239	須恵器	甕	口径 底径 器高 27.6	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR5/1 外: Hue 10YR5/1	25号壑穴住居址	外面に自然釉あり	
	240	土師器	甕	口径 底径 器高 15.4	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/4 外: Hue 5YR7/4	114号壑穴住居址		
	241	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/3	114号壑穴住居址		
	242	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	114号壑穴住居址		
	51	243	土師器	蓋	口径 底径 器高 23.4	1/8	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	157号壑穴住居址	内外面赤色化粧土
		244	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 9.0 2.2	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	157号壑穴住居址	内外面赤色化粧土
		245	土師器	坏	口径 底径 器高 12.4 8.4 2.1	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	157号壑穴住居址	内外面赤色化粧土
246		土師器	坏	口径 底径 器高 12.2 7.0 3.1	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	157号壑穴住居址	内外面赤色化粧土	
247		土師器	坏	口径 底径 器高 11.6 6.2 2.4	1/3	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 10R6/8	157号壑穴住居址	内外面赤色化粧土	
248		土師器	坏	口径 底径 器高 13.8 8.0 3.0	4/5	内: 回転ナデ後磨き 外: 回転ナデ後磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	157号壑穴住居址・ P-7・P-8		
249		土師器	坏	口径 底径 器高 13.8 8.0 3.0	2/3	内: 回転ナデ, 回転磨き 外: 回転ナデ, 削り, 回転磨き	内: Hue 2.5Y6/8 外: Hue 7.5Y6/4	157号壑穴住居址		
250		土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 7.9 3.2	1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	157号壑穴住居址	底面にヘラ記号あり	
251		土師器	碗	口径 底径 器高 9.6	底部片	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	157号壑穴住居址		
252		土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 10YR6/3	157号壑穴住居址	墨書あり	
253		土師器	鉢	口径 底径 器高 9.4	1/4	内: 回転ナデ 外: 削り後ナデ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	157号壑穴住居址		



図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
51	254	土師器	碗	口径 底径 器高 22.0 12.3 1.8	1/8	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 10R5/8 外: Hue 10R5/8	157号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	255	土師器	皿	口径 底径 器高 15.2 12.3 1.8	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	157号壘穴住居址	全面に赤色化粧土
	256	土師器	皿	口径 底径 器高 16.0 12.0 1.9	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	157号壘穴住居址	内面にスス附着
	257	土師器	皿	口径 底径 器高 18.8 15.0 1.4	口縁~底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	157号壘穴住居址	
	258	土師器	皿	口径 底径 器高 17.6 14.8 1.9	口縁~底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR5/6	157号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	259	土師器	高 坏	口径 底径 器高	脚部2/3	内: ナデ, 削り 外: 磨き	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 10YR6/4	157号壘穴住居址	
	260	土師器	甕	口径 底径 器高 15.8	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	157号壘穴住居址	
	261	土師器	甕	口径 底径 器高 25.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 5YR7/4	157号壘穴住居址	
	262	土師器	甕	口径 底径 器高 28.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 指ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 7.5YR6/4	157号壘穴住居址	外面にスス附着
	263	土師器	二重口縁蓋	口径 底径 器高 25.4	口縁~胴部片	内: ハケ目, 磨き 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	157号壘穴住居址・ 床下・P-10・P-20・ 掘り方・覆土上・20・ 覆土床上・10・竈付近	
	264	須恵器	蓋	口径 底径 器高	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N5/0	157号壘穴住居址 P-2	
	265	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.2	底部1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 7.5Y4/1	157号壘穴住居址・ P-21	
	266	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.4 8.4 3.2	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5Y4/1 外: Hue 7.5Y5/1	157号壘穴住居址	
	52	267	土師器	坏	口径 底径 器高 9.0	1/8	内: 回転ナデ, ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR7/8	258号壘穴住居址
268		土師器	坏	口径 底径 器高 9.1	底部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 2.5YR6/6	258号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
269		土師器	坏	口径 底径 器高 8.0	1/6	内: 回転ナデ, 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR7/6	258号壘穴住居址	黒書あり へら記号あり
270		土師器	甕	口径 底径 器高 28.4	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR5/4	258号壘穴住居址	内外面にコゲ・吹きこぼれあり
271		須恵器	碗	口径 底径 器高 9.4	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y7/3	258号壘穴住居址	
53	272	土師器	坏	口径 底径 器高 13.0 9.4 3.3	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	273	土師器	坏	口径 底径 器高 13.5 9.8 2.5	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	274	土師器	坏	口径 底径 器高 13.3 7.7 3.3	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	275	土師器	坏	口径 底径 器高 12.4 8.0 3.2	4/5	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号壘穴住居址	灯明皿として使用か? 内外面赤色化粧土 スス附着
	276	土師器	坏	口径 底径 器高 13.6 8.6 2.9	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	277	土師器	坏	口径 底径 器高 13.4 9.6 3.2	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	278	土師器	坏	口径 底径 器高 12.5 7.3 4.3	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y8/4 外: Hue 2.5Y8/4	300号壘穴住居址	外面全体にスス附着
	279	土師器	坏	口径 底径 器高 12.8 8.1 3.4	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	280	土師器	坏	口径 底径 器高 15.7 10.0 3.8	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	281	土師器	坏	口径 底径 器高 14.2 8.7 3.3	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	300号壘穴住居址	内外面赤色化粧土
	282	土師器	坏	口径 底径 器高 13.4 8.0 2.9	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	300号壘穴住居址	
	283	土師器	坏	口径 底径 器高 15.8 10.4 3.3	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	300号壘穴住居址	
	284	土師器	坏	口径 底径 器高 15.0 3.0 9.2	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR6/8	300号壘穴住居址	

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
53	285	土師器	坏	口径 12.5 底径 7.9 器高 2.4	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	300号堅穴住居址	内外面赤色化粧土	
	286	土師器	坏	口径 13.6 底径 9.0 器高 2.8	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	300号堅穴住居址	灯明皿として使用か? 内外面赤色化粧土	
	287	土師器	坏	口径 16.4 底径 10.4 器高 3.3	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	300号堅穴住居址		
	288	土師器	坏	口径 15.4 底径 10.2 器高 3.0	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	300号堅穴住居址	内外面口縁部にスス付着 内外面赤色化粧土	
	289	土師器	坏	口径 12.8 底径 7.0 器高 2.7	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR6/8	300号堅穴住居址	外面にスス付着 内外面赤色化粧土	
	290	土師器	坏	口径 12.6 底径 7.6 器高 3.0	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/8 外: Hue 2.5YR5/8	300号堅穴住居址	内面にスス付着 内外面赤色化粧土	
	291	土師器	碗	口径 8.4 底径 8.4	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	300号堅穴住居址		
	292	須恵器	蓋	口径 18.0 底径 18.0	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	300号堅穴住居址		
	293	須恵器	蓋	口径 18.7 底径 18.7	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	300号堅穴住居址		
	294	須恵器	坏	口径 11.2 底径 6.6 器高 3.5	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/1	300号堅穴住居址	焼きムラあり	
	295	須恵器	坏	口径 11.6 底径 7.2 器高 3.5	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue N7/0	300号堅穴住居址	内外面にスス付着	
	296	須恵器	坏	口径 10.0 底径 8.2 器高 3.9	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR4/1 外: Hue 7.5YR4/1	300号堅穴住居址		
	297	須恵器	坏	口径 14.0 底径 8.6 器高 3.7	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 10Y6/1	300号堅穴住居址		
	298	須恵器	坏	口径 12.4 底径 6.4 器高 3.1	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 5Y4/1	300号堅穴住居址		
	299	須恵器	皿	口径 15.4 底径 11.5 器高 1.5	1/8	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	300号堅穴住居址	内面にスス付着	
	300	須恵器	碗	口径 10.8 底径 10.8	底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/1 外: Hue 10YR6/1	300号堅穴住居址		
	301	須恵器	碗	口径 9.3 底径 9.3	底部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/2	300号堅穴住居址		
	302	須恵器	碗	口径 8.4 底径 8.4	底部のみ	内: 回転ナデ, ナデ, ハケ目 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	300号堅穴住居址		
	303	須恵器	鉢	口径 19.8 底径 19.8	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	300号堅穴住居址		
	304	土師器	坏	口径 16.0 底径 10.0 器高 3.0	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号堅穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	305	土師器	坏	口径 13.0 底径 8.5 器高 3.0	3/4	内: 回転ナデ, ヘラ磨き 外: 回転ナデ, 削り, ヘラ磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号堅穴住居址	墨書あり	
	306	土師器	坏	口径 14.4 底径 10.8 器高 3.0	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	300号堅穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	307	須恵器	坏	口径 12.0 底径 7.7 器高 4.3	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	300号堅穴住居址	墨書あり	
	308	土師器	坏	口径 13.7 底径 9.0 器高 3.1	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	300号堅穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	309	土師器	坏	口径 14 底径 9.0 器高 3.0	3/4	内: 回転ナデ, ヘラ磨き 外: 回転ナデ, ヘラ磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	300号堅穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	310	土師器	坏	口径 13.4 底径 8.4 器高 2.3	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	300号堅穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	311	土師器	甕	口径 18.0 底径 18.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	300号堅穴住居址		
	312	土師器	甕	口径 26.4 最大径 25.4 器高 29.0	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	300号堅穴住居址	内外面にスス付着	
	313	土師器	甕	口径 29.0 底径 29.0	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	300号堅穴住居址	内面にスス付着	
	314	須恵器	甕	口径 24.0 底径 24.0	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	300号堅穴住居址		
	54	315	土師器	坏	口径 15.4 底径 7.0 器高 4.8	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR6/8	310号堅穴住居址・ 38975	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
54	316	土師器	坏	口径 16.2 底径 8.0 器高 3.0	約1/6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 5YR6/6	310号竪穴住居址	内面赤色化粧土
	317	土師器	坏	口径 17.0 底径 器高	1/8	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	310号竪穴住居址	内面赤色化粧土
	318	土師器	坏	口径 14.8 底径 7.0 器高 3.2	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	310号竪穴住居址	
	319	土師器	坏	口径 13.2 底径 器高	1/8	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き, 削り	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR6/6	310号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	320	土師器	坏	口径 底径 器高 8.4	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 25YR6/6	310号竪穴住居址	内外面赤色化粧土
	321	土師器	坏	口径 12.0 底径 器高	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR6/6	310号竪穴住居址	墨書あり 内外面赤色化粧土
	322	土師器	坏	口径 14.2 底径 器高	口縁部片	内: 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 25YR5/6 外: Hue 25YR5/6	310号竪穴住居址	丹塗り
	323	土師器	甕	口径 13.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR5/3 外: Hue 7.5YR5/3	310号竪穴住居址	内外面にスス付着
	324	土師器	甕	口径 17.4 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR5/4 外: Hue 7.5YR5/4	310号竪穴住居址	内外面にスス付着
	325	土師器	甕	口径 27.0 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	310号竪穴住居址	外面にスス付着
	326	土師器	甕	口径 26.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/3 外: Hue 7.5YR7/3	310号竪穴住居址	外面に吹きこぼれ痕あり
	327	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N7/0 外: Hue N5/0	310号竪穴住居址	外面に自然釉あり
55	328	須恵器	壺	口径 19.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, タタキ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 25Y5/1	359号竪穴住居址	
	329	土師器	甎	口径 34.0 底径 12.2 器高	約1/6	内: 回転ナデ, ナデ, 外: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	362号竪穴	外面に黒斑あり
57	330	土師器	坏	口径 12.8 底径 7.4 器高 2.9	1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	500号掘立柱建物 (171号ピット)	
	331	土師器	坏	口径 15.6 底径 9.4 器高 2.8	1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR6/6	500号掘立柱建物 (171号ピット)	
	332	土師器	甕?	口径 底径 器高 0.9	底部の一部	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 25YR5/8 外: Hue 25YR5/8	500号掘立柱建物 (171号ピット)	
	333	土師器	坏	口径 13.6 底径 8.0 器高 3.2	2/3	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	501号掘立柱建物 (173号ピット)	
	334	土師器	坏	口径 14.2 底径 8.2 器高 2.8	4/5	内: 回転ナデ, 削り, オサエ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	501号掘立柱建物 (173号ピット)	
	335	土師器	坏	口径 13.5 底径 7.8 器高 2.7	1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 25YR5/6	501号掘立柱建物 (230号ピット)	
	336	土師器	坏	口径 13.6 底径 8.4 器高	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 25YR5/6 外: Hue 25YR5/6	501号掘立柱建物 (177号ピット)	ヘラ記号あり 穿穴あり 内外面赤色化粧土
	337	土師器	蓋	口径 18.4 底径 器高 2.1	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ, 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 5YR6/6	501号掘立柱建物 (173号ピット)	
	338	土師器	甕	口径 27.2 底径 器高	口縁~胴部 1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/4	501号掘立柱建物 (197号ピット)	
	339	須恵器	甕	口径 25.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 25YR4/1 外: Hue N8/0	501号掘立柱建物 (197号ピット)	内面口縁部・外面に自然釉あり
	340	土師器	坏	口径 底径 器高	底部1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25YR5/6 外: Hue 25YR6/6	502号掘立柱建物 (199号ピット)	墨書あり
	341	土師器	碗	口径 底径 器高	底部1/10	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 10R5/6	502号掘立柱建物 (342号ピット)	墨書あり
	342	土師器	手捏ね土器	口径 3.2 底径 器高	1/6	内: ナデ, ヘラ削り 外: ナデ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR6/4	502号掘立柱建物 (199号ピット)	外面底部・外面体部にスス付着
	343	土師器	碗	口径 22.2 底径 14.0 器高 5.7	2/3	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 25YR6/6	502号掘立柱建物 (342号ピット)	外面一部に焼きムラあり 内外面赤色化粧土
	344	須恵器	碗	口径 8.8 底径 器高 4.6	底部1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	502号掘立柱建物 (202号ピット)	
	345	土師器	碗	口径 11.0 底径 器高 1.2	底部1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25YR6/8 外: Hue 25YR6/8	503号掘立柱建物 (136号ピット)	
346	須恵器	蓋	口径 13.3 底径 器高 2.7	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 10Y5/1	503号掘立柱建物 (108号ピット)		
60	347	土師器	坏	口径 14.0 底径 10.0 器高 3.0	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR6/8 外: Hue 25YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
60	348	土師器	坏	口径 15.0 底径 10.0 器高 3.4	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝	
	349	土師器	坏	口径 13.8 底径 9.4 器高 3.2	4/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	1号溝	内外面にスス付着 内外面赤色化粧土
	350	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.0	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	灯明皿として使用か? 内外面赤色化粧土
	351	土師器	坏	口径 13.8 底径 9.0 器高 2.8	4/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝・50001	灯明皿として使用か? 内外面赤色化粧土
	352	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.8	約1/2	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土
	353	土師器	坏	口径 10.3 底径 7.0 器高 3.1	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土
	354	土師器	坏	口径 13.2 底径 9.3 器高 3.8	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝	灯明皿として使用か? 内外面にスス付着
	355	土師器	坏	口径 12.8 底径 10.2 器高 3.7	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR7/8	1号溝・50007	内面にスス付着
	356	土師器	坏	口径 14.0 底径 8.4 器高 3.0	約1/2	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 10R6/8	1号溝	内外面赤色化粧土
	357	土師器	坏	口径 15.0 底径 9.0 器高 3.5	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土
	358	土師器	坏	口径 13.5 底径 9.2 器高 3.2	3/4	内: 回転ナデ, ヘラ磨き 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝・50086	内外面赤色化粧土
	359	土師器	碗	口径 7.2 底径 7.2 器高	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N4/0 外: Hue 7.5YR7/4	1号溝	内黒 外面にスス付着
	360	土師器	皿	口径 15.6 底径 13.5 器高 2.1	4/5	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土
	361	土師器	皿	口径 15.6 底径 12.0 器高 1.7	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	内外面赤色化粧土
	362	土師器	皿	口径 16.6 底径 13.4 器高 1.8	2/3	内: 削り 外: 削り	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	1号溝	内外面にスス付着
	363	土師器	皿	口径 16.0 底径 12.0 器高 1.9	約2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	1号溝	スス付着 内外面赤色化粧土
	364	土師器	坏	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR8/6 外: Hue 7.5YR8/4	1号溝	ヘラ記号「#」?あり
	365	土師器	坏	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝	刻書(判読不明)あり
	366	土師器	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝	ヘラ記号「#」?あり
	367	土師器	坏	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝	刻書「十」?あり
	368	土師器	坏	口径 14.4 底径 8.2 器高 3.8	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR5/6	1号溝	底面にヘラ記号あり
	369	土師器	坏	口径 13.2 底径 9.4 器高 3.9	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝	底面にヘラ記号あり 内外面赤色化粧土
	370	土師器	坏	口径 14.2 底径 8.4 器高 3.4	3/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝	墨書「赤 or 水・間」あり 内外面赤色化粧土
	371	土師器	碗	口径 9.4 底径 9.4 器高	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	ヘラ記号「#」あり
	372	土師器	坏	口径 9.4 底径 9.4 器高	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR8/4	1号溝・50547	刻書「?牧」あり
	373	土師器	坏	口径 底径 器高	破片	内: 回転ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	墨書「?麻呂」あり 内外面赤色化粧土
	374	土師器	坏	口径 7.2 底径 7.2 器高	約1/8	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝	ヘラ記号「#」?あり
	375	土師器	坏	口径 10.0 底径 10.0 器高	1/8	内: 回転ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	1号溝	刻書「七ホ」あり
	376	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR8/2 外: Hue 10YR8/2	1号溝	内外面にスス付着
	377	土師器	甕	口径 26.0 底径 26.0 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/1 外: Hue 7.5YR7/3	1号溝	内外面にスス付着・吹きこぼれ 痕あり
378	土師器	甕	口径 27.0 底径 27.0 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	1号溝	内外面にスス付着	
379	土師器	甕	口径 26.4 底径 26.4 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 5YR5/4	1号溝	内面口縁部にコゲあり	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
60	380	土師器	鉢	口径 19.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/8	1号溝	
	381	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 器高 2.5	1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 回転ヘラ削り	内: Hue N7/0 外: Hue N5/0	1号溝	
	382	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 器高 2.5	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/4 外: Hue N4/0	1号溝	内外面に自然釉あり
	383	須恵器	蓋	口径 14.6 底径 器高 2.8	3/4	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	1号溝	内面に自然釉あり
	384	須恵器	蓋	口径 14.3 底径 器高 2.6	1/6	内: 回転ナデ, ナデ, ヘラ削り 外: 回転ナデ, ヘラ削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 5Y5/1	1号溝	
	385	須恵器	蓋	口径 16.4 底径 器高	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 指オサエ 外: ナデ, 削り, 指オサエ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	1号溝・50172	
	386	須恵器	蓋	口径 15.6 底径 器高 2.7	ほぼ完形	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	1号溝	
	387	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 器高	1/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	1号溝	
	388	須恵器	蓋	口径 15.2 底径 器高	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	1号溝	
	389	須恵器	蓋	口径 16.6 底径 器高 2.8	1/4	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y8/1	1号溝	
	390	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 器高 2.2	約1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/1 外: Hue 7.5YR7/1	1号溝	
	391	須恵器	蓋	口径 16.0 底径 器高 2.2	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue 2.5Y7/1	1号溝	
	392	須恵器	坏	口径 12.2 底径 器高 7.6 器高 4.1	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10BG5/1 外: Hue 2.5GY5/1	1号溝	
61	393	須恵器	坏	口径 13.0 底径 器高 8.0 器高 3.8	約1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	1号溝	
	394	須恵器	坏	口径 13.2 底径 器高 8.6 器高 4.3	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 2.5Y7/2	1号溝	
	395	須恵器	碗	口径 13.2 底径 器高 8.0 器高 3.9	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	1号溝	
	396	須恵器	坏	口径 18.6 底径 器高 14.0 器高 2.5	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	1号溝	
	397	須恵器	碗	口径 14.4 底径 器高 9.0 器高 6.7	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	1号溝	
	398	須恵器	碗	口径 15.0 底径 器高 9.6 器高 6.6	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/1	1号溝	底面に自然釉あり
	399	須恵器	高 坏	口径 7.0 底径 器高	約1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 10YR5/1	1号溝	内外面に自然釉あり
	400	須恵器	高 坏	口径 9.8 底径 器高	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/1	1号溝	外面に自然釉あり
	401	須恵器	高 坏	口径 器高	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	1号溝	内外面赤色化粧土赤焼け
	402	須恵器	高 坏	口径 11.6 底径 器高	約1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	1号溝	内外面に自然釉あり
	403	須恵器	高 坏	口径 10.4 底径 器高	約1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	1号溝	ヘラ記号? 刻番? 「□」あり
	404	須恵器	壺	口径 12.2 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 沈線文	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	1号溝	外面に沈線文あり
	405	須恵器	壺	口径 16.0 最大径16.7 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5Y3/1 外: Hue N6/0	1号溝	
	406	須恵器	甕	口径 23.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y4/1 外: Hue N7/0	1号溝	内外面に自然釉あり
	407	須恵器	甕	口径 21.7 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue 5Y4/1 外: Hue N7/0	1号溝	内外面に自然釉あり
	408	須恵器	甕	口径 18.7 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 10YR4/1 外: Hue N7/0	1号溝	内外面に自然釉あり
	409	須恵器	甕	口径 21.6 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ, 削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	1号溝	
	410	須恵器	壺	口径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue N5/0	1号溝	外面に沈線文・平行波状文あり

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色 図	出土遺構	備 考	
61	411	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10Y3/1 外: Hue 10G2/1	1号溝	内外面に自然軸あり	
	412	須恵器	壺	口径 12.8 底径 器高	口縁部のみ 1/3	内: 回転ナデ, タタキ, 削り 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	1号溝		
	413	須恵器	壺	口径 底径 器高	頸部のみ	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue N6/0	1号溝	内外面に自然軸あり	
	414	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y3/1 外: Hue 10R2/1	1号溝	内外面に自然軸あり	
	415	須恵器	壺	口径 最大径 器高 17.0	1/2	内: 回転ナデ 外: 削り	内: Hue 10Y7/1 外: Hue 10Y6/2	1号溝	外面肩部に緑色の自然軸あり	
	416	須恵器	壺	口径 最大径 器高 27.8	胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 2.5Y5/3	1号溝		
	417	須恵器	壺	口径 最大径 器高 25.8	胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	1号溝		
62	418	須恵器	甕	口径 最大径 器高 9.9	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り, 回転カキ目	内: Hue 2.5GY5/1 外: Hue 2.5GY5/1	1号溝		
	419	須恵器	瓶	口径 底径 器高	破片	内: タタキ 外: ナデ, タタキ, 指オサエ	内: Hue 7.5Y4/1 外: Hue 5Y5/1	1号溝		
	420	須恵器	鉢	口径 19.4 底径 10.0 器高 14.9	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y5/1	1号溝		
	421	土師器	瓶	口径 底径 器高 14.0	底部片	内: 回転ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 2.5YR6/8	1号溝	外面赤色化粧土	
	422	土師器	移動式竈	長さ 7.6 幅 14.8 厚さ 3.65	破片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 5YR6/6	1号溝		
	423	土師器	瓶	長さ 7.7 幅 5.0 厚さ 1.65	底部片	内: 回転ナデ 外: ハケ目	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	1号溝		
	424	瓦	布目瓦	長さ 7.3 幅 4.7 厚さ 3.3	破片	内: 布目 外: 縄目	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10Y5/1	1号溝	須恵	
	425	瓦	布目瓦	長さ 7.35 幅 6.0 厚さ 1.65	破片	内: 布目, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR7/4	1号溝		
	426	瓦	布目瓦	長さ 15.5 幅 9.5 厚さ 2.1	破片	内: 布目 外: タタキ	内: Hue 2.5Y4/2 外: Hue 5Y4/1	1号溝		
	427	土師器	移動式竈	長さ 5.3 幅 9.5 厚さ 3.5	破片	内: ナデ, 指オサエ 外: ナデ, 指オサエ	内: — 外: Hue 10YR7/3	1号溝		
	428	土師器	瓶	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝		
	429	陶器	壺?	口径 底径 器高	破片	内: 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 7.5YR4/4	1号溝		
	430	磁器	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue N7/0 外: Hue N7/0	1号溝		
	431	同安窯青磁	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5Y6/3 外: Hue 5Y6/3	1号溝	内外面に青磁軸あり	
	432	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5GY6/1 外: Hue 5GY6/1	1号溝	内外面に青磁軸あり	
	433	磁器	碗	口径 底径 器高 8.4	口縁~胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5Y5/2 外: Hue 7.5Y5/2	1号溝		
	434	磁器	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10GY8/1 外: Hue 10GY8/1	1号溝	肥前陶磁 呉須で染付け	
	435	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5Y6/3 外: Hue 2.5Y6/3	1号溝	内外面に青磁軸あり	
	63	436	土師器	蓋	口径 15.0 底径 器高 4.3	約2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	4号溝	
		437	土師器	蓋	口径 11.6 底径 器高 2.0	約1/6	内: 回転ナデ, オサエ ナデ 外: 回転ナデ, ヘラ削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	4号溝	
438		土師器	坏	口径 9.6 底径 7.9 器高 4.1	3/4	内: 回転ナデ, 指オサエ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/6	4号溝		
439		土師器	坏	口径 13.0 底径 器高	口縁部片	内: ヘラ磨き 外: ヘラ磨き	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 7.5YR7/3	4号溝	外面にスス?コケ?付着?	
440		土師器	坏	口径 11.8 底径 器高 4.8	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 削り	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	4号溝・トレンチ		
441		土師器	坏	口径 13.0 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 2.5YR6/8	4号溝	外面にヘラ掃あり 内外面にスス付着	
442		土師器	坏	口径 12.0 底径 5.1 器高 3.9	1/2	内: 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/8	4号溝		

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
63	443	土師器	碗	口径 底径 器高 14.2 8.4 5.4	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR8/4	4号溝	高台内に2条の沈線あり	
	444	土師器	碗	口径 底径 器高 12.6 8.8 5.9	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/8	4号溝		
	445	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.8 8.2 4.1	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 5YR6/6	4号溝	須恵の赤焼け?	
	446	土師器	かわらけ	口径 底径 器高 8.0 6.0 1.0	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	4号溝	底面糸切り	
	447	土師器	碗	口径 底径 器高 16.0 7.6 6.9	約1/4	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR5/6	4号溝	内外面にスス付着	
	448	土師器	高 坏	口径 底径 器高	2/3	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	4号溝	脚部内面赤色化粧土 坏部脚部外面丹塗り	
	449	土師器	高 坏	口径 底径 器高	約1/2	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 10R5/8 外: Hue 10R5/8	4号溝	内外面赤色化粧土	
	450	土師器	高 坏	口径 底径 器高 12.0	約1/2	内: 削り 外: 削り	内: Hue 7.5YR8/6 外: Hue 7.5YR7/6	4号溝	外器面荒れて所々丹塗り残る	
	451	土師器	高 坏	口径 底径 器高 9.4	2/3	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	4号溝	坏部・脚部外面に丹塗り	
	452	土師器	高 坏	口径 底径 器高	約1/8	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 磨き	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 2.5YR4/6	4号溝	外面・坏部赤色化粧土	
	453	土師器	甕	口径 底径 器高 4.6	約1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 工具ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	4号溝		
	454	土師器	甕	口径 底径 器高 15.0	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 7.5YR6/4	4号溝	内外面にコゲ付着	
	455	土師器	甕	口径 底径 器高 13.0	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, ハケ目 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR4/3 外: Hue 7.5YR5/4	4号溝	内外面にスス・コゲ付着	
	456	土師器	甕	口径 底径 器高 19.8	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR6/4	4号溝	外面にスス付着	
	457	土師器	甕	口径 底径 器高 19.4	1/6	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 磨き	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	4号溝	外面一部にスス付着	
	458	土師器	甕	口径 底径 器高 22.0	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	4号溝		
	459	土師器	甕	口径 底径 器高 28.2	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 7.5YR7/4	4号溝・攪乱	外面口縁部に吹きこぼれ痕あり 胴部にスス付着	
	460	土師器	鉢	口径 底径 器高 29.4	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR6/4	4号溝	外面にスス・コゲ付着	
	461	土師器	甕(鍋形)	口径 底径 器高 33.0	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR5/4	4号溝	内面にコゲあり 外面にスス付着・吹きこぼれ痕 あり	
	462	土師器	瓶	口径 底径 器高 24.0	1/8	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	4号溝	外面にスス付着	
	463	土師器	瓶	口径 底径 器高	取手のみ	内: 削り 外: 指ナデ, ハケ目, 指オサエ	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 5YR6/6	4号溝	外面にスス付着	
	464	土師器	瓶	口径 底径 器高	取手のみ	内: 削り 外: ナデ, ハケ目, 指 オサエ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/6	4号溝		
	465	土師器	壺	口径 底径 器高 7.1 6.5 13.6	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5Y4/2 外: Hue 2.5Y4/2	4号溝	ヘラ描あり	
	64	466	土師器	壺	口径 底径 器高 18.9	約1/3	内: 回転ナデ, 削り, 指オサエ 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 2.5YR5/8	4号溝 (30号 壑穴住居址可能 性)	内外面の口縁部~頸部赤色化粧 土
		467	土師器	移動式甕	口径 底径 器高	底部片	内: 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 7.5YR7/4	4号溝	
468		土師器	移動式甕	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ, 削り, 指オ サエ 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/3	4号溝		
469		須恵器	蓋	口径 底径 器高 9.6 2.7	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 削り	内: Hue N5/0 外: Hue 5Y5/3	4号溝	外面全体に自然釉あり	
470		須恵器	蓋	口径 底径 器高 15.6 2.8	1/3	内: 削り, ナデ 外: 削り	内: Hue 7.5Y7/1 外: Hue 7.5Y5/1	4号溝		
471		須恵器	坏	口径 底径 器高 12.3 4.3	約1/2	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 5Y5/1	4号溝		
472		須恵器	碗	口径 底径 器高 8.8 1.8	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue N5/0 外: Hue 2.5Y6/1	4号溝		
473		須恵器	碗	口径 底径 器高 9.1 6.1	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/1	4号溝		
474		須恵器	碗	口径 底径 器高 9.2	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N6/0	4号溝	底面に自然釉あり	

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
64	475	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.0	脚部の1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5GY5/1 外: Hue N4/0	4号溝	
	476	須恵器	盤	口径 底径 器高 2.4	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 10YR5/1	4号溝	
	477	須恵器	鉢	口径 底径 器高 4.0 8.2	1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 25Y6/1	4号溝	
	478	須恵器	高 坏	口径 最大径 器高 7.8	約1/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 10Y5/1	4号溝	
	479	須恵器	坏	口径 底径 器高 13.0 3.9	約1/6	内: 回転ヘラ削り 外: 回転ヘラ削り	内: Hue N3/0 外: Hue N4/0	4号溝	
	480	須恵器	高 坏	口径 底径 器高 14.0 5.0 6.0	約1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25Y6/1 外: Hue 5Y6/1	4号溝	
	481	須恵器	高 坏	口径 底径 器高 9.2 3.35	約1/3	内: 回転ナデ, ヘラ削り 外: ヘラ削り	内: Hue 25Y8/3 外: Hue N6/0	4号溝	
	482	須恵器	甌	口径 最大径 器高 10.0	5/6	内: 回転ナデ 外: ナデ, 削り, 回転 カキ目	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	4号溝	外面に斜突文・ヘラ描文あり 胴部に粘土片あり振ると音がする
	483	須恵器	壺	口径 最大径 器高 21.2	4/5	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue N7/0 外: Hue N5/0	4号溝	
	484	土師器	高 坏	口径 底径 器高 18.5	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 削り, ハケ目	内: Hue 25YR6/8 外: Hue 5YR6/6	4号溝	
	485	土師器	高 坏	口径 底径 器高 16.2	坏部のみ ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y7/4 外: Hue 25Y7/3	4号溝・50011・51002・ 51042	
	486	土師器	高 坏	口径 底径 器高 16.5 13.5 13.7	約1/2	内: ナデ, 削り, ハケ 目, 磨き 外: ハケ目, 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR6/4	4号溝	
	487	土師器	小型丸底甌	口径 底径 器高 11.8	1/6	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR8/2	4号溝	内外面にスス・コゲ付着
	488	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.0 4.1	4/5	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25Y7/1 外: Hue 25Y6/2	4号溝	ヘラ記号あり
	489	白 磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	4号溝	
65	490	土師器	坏	口径 底径 器高 11.0 7.4 4.5	約1/2	内: 磨き 外: 回転ナデ, ナデ, 磨き	内: Hue 25YR5/8 外: Hue 25YR6/8	38号土器集中部	外面に焼きムラあり 内外面口縁部赤色化粧土
	491	土師器	高 坏	口径 底径 器高 13.2	約1/2	内: 磨き 外: ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 10R5/6 外: Hue 10R5/8	38号土器集中部	内外面赤色化粧土
	492	土師器	高 坏	口径 底径 器高 9.4	脚部1/4	内: ナデ, 削り 外: 磨き	内: Hue 10R5/8 外: Hue 10R5/8	38号土坑集中部	内外面一部赤色化粧土
	493	土師器	壺	口径 底径 器高 8.4 4.3	2/3	内: 削り, 磨き 外: ハケ目, 磨き	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 2.5YR5/6	38号土器集中部	
	494	土師器	瓶	口径 底径 器高 30.6	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/4	38号土坑集中部	取手下面にスス付着
	495	土師器	甕	口径 最大径 器高 16.4 28.0 32.5	3/5	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目, 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10R4/8	38号土器集中部	外面に一部黒斑あり 内外面赤色化粧土
	496	須恵器	甕	口径 最大径 器高 23.0 34.3	ほぼ完形	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 5Y4/1	38号土器集中部	
66	497	土師器	甕	口径 底径 器高 18.6	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR4/1 外: Hue 7.5YR4/1	95号 (4号溝内)	
	498	須恵器	甌	口径 底径 器高 2.1	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 削り, カキ目	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 7.5YR4/3	95号 (4号溝内)	
	499	須恵器	甌	口径 底径 器高 4.0	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	95号 (4号溝内)	
67	500	土師器	坏	口径 底径 器高 10.3 5.4	ほぼ完形	内: 磨き, 指オサエ 外: 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR6/8 外: Hue 7.5YR6/8	15号溝・50557	
	501	土師器	坏	口径 底径 器高 16.0 8.0 5.0	1/4	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR8/2 外: Hue 10YR8/2	15号溝	
	502	土師器	碗	口径 底径 器高	1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	15号溝	ヘラ記号? 「八」あり
	503	土師器	坏	口径 底径 器高 14.0 11.0 3.1	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	15号溝・50149	
	504	土師器	碗	口径 底径 器高 16.4	1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/4	15号溝	
	505	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.4 9.2 5.3	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	15号溝・50134・50145	焼きムラあり 赤焼け
	506	須恵器	壺?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 削り 外: 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	15号溝	外面に沈線文・平行波状文あり



図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
67	507	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：削り 外：削り	内：Hue 5GY4/1 外：Hue 5GY5/1	15号溝	外面に沈線文・波状文あり
	508	土師器	蓋	口径 底径 器高	2/3	内：回転ナデ 外：削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/4	37号溝	
	509	土師器	蓋	口径 16.1 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 磨き	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	37号溝	
	510	土師器	坏	口径 13.6 底径 8.0 器高 3.2	約1/2	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR5/6	37号溝	内外面赤色化粧土
	511	土師器	坏	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.0	ほぼ完形	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	37号溝	内外面赤色化粧土
	512	土師器	坏	口径 13.6 底径 9.0 器高 2.8	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	37号溝	内外面赤色化粧土
	513	土師器	坏	口径 16.8 底径 9.0 器高 3.5	口縁部～底部 1/8	内：回転ナデ, 磨き 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 2.5YR5/6	37号溝	内外面赤色化粧土
	514	土師器	皿	口径 15.9 底径 13.0 器高 1.9	1/2	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, ナデ	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	37号溝	内外面赤色化粧土
	515	土師器	碗	口径 底径 器高	1/6	内：回転ナデ, 磨き 外：回転ナデ, 削り, 磨き	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR5/6	37号溝	外面にスス付着
	516	土師器	碗	口径 底径 器高	底部のみ 1/2	内：ナデ 外：回転ナデ, ナデ, 削り	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	37号溝	
	517	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部1/3	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 7.5YR7/4 外：Hue 7.5YR6/4	37号溝	
	518	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	口縁部1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 10Y6/1	37号溝	ヘラ描あり
	519	土師器	坏	口径 10.8 底径 器高 3.9	1/3	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, 指ナサエ	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 2.5YR5/6	57号溝	内外面に2～5mm程の黒斑を 確認できる
	520	土師器	坏	口径 13.6 底径 6.0 器高 4.5	1/3	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/4	57号溝	
	521	土師器	坏	口径 15.3 底径 10.0 器高 5.2	約1/2	内：回転ナデ, 磨き 外：回転ナデ, 削り, 磨き	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	57号溝	外面に黒斑あり
	522	土師器	坏	口径 底径 器高	1/3	内：ナデ, 磨き 外：削り, 磨き	内：Hue 2.5YR6/8 外：Hue 2.5YR6/8	57号溝	内外面に黒斑あり
	523	土師器	坏	口径 13.8 底径 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 5YR6/6	57号溝	
	524	土師器	坏	口径 13.0 底径 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 5YR6/6	57号溝	
	525	土師器	坏	口径 12.2 底径 5.6 器高 4.8	3/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/4	57号溝	
	526	土師器	坏	口径 底径 器高	1/8	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	57号溝	刻書「大」または「火」？あり 底面にスス付着
	527	土師器	碗	口径 16.6 底径 12.8 器高 3.8	1/2	内：回転ナデ, 磨き 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	57号溝	
	528	土師器	碗	口径 12.8 底径 9.4 器高 4.9	1/4	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	57号溝	底面に刻書「大」あり
	529	土師器	碗	口径 13.6 底径 9.0 器高 5.1	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	57号溝	焼きムラあり
	530	土師器	碗	口径 13.8 底径 9.6 器高 3.6	1/2	内：回転ナデ, ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	57号溝	
	531	土師器	碗	口径 底径 器高	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	57号溝	
	532	土師器	坏	口径 12.4 底径 器高 4.7	1/3	内：磨き 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	57号溝	外面に沈線が縦に描かれる
	533	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5YR7/6	57号溝	
	534	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 削り	内：Hue 7.5YR5/4 外：Hue 7.5YR6/4	57号溝	外面に吹きこぼれ痕あり
	535	土師器	甕	口径 底径 器高	1/5	内：ナデ, 磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR7/6 外：Hue 7.5YR6/6	57号溝・51081	
	536	土師器	甕	口径 19.0 底径 器高	約1/4	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, 磨き	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 7.5YR6/4	57号溝	焼きムラあり
	537	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ナデ	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 10YR7/4	57号溝	内面にスス付着
	538	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁～胴部片	内：回転ナデ, 削り 外：回転ナデ, ハケ目	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 7.5YR5/4	57号溝	内面にスス付着

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
67	539	土師器	甌	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 5YR6/6	57号溝	外面にコゲあり	
68	540	須恵器	釜	口径 底径 器高	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	57号溝		
	541	須恵器	釜	口径 15.8 底径 器高 2.4	2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	57号溝		
	542	須恵器	碗	口径 14.3 底径 9.6 器高 5.0	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/2	57号溝		
	543	須恵器	碗	口径 14.2 底径 11.1 器高 5.1	2/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	57号溝		
	544	須恵器	碗	口径 11.0 底径 5.0 器高 5.3	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 5Y3/1	57号溝	外面に自然釉あり	
	545	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 10Y5/1	57号溝		
	546	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue N5/1	57号溝		
	547	須恵器	壺	口径 12.0 最大径17.5 器高 15.3	ほぼ完形	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5G2/1 外: Hue 5G2/1	369号壺出土状況 (72号溝内)		
69	548	須恵器	高 坏	口径 12.0 底径 11.1 器高 13.2	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10BG4/1 外: Hue 10BG4/1	371号高坏出土状況 (72号溝内)	外面に自然釉あり	
70	549	土師器	高 坏	口径 底径 器高	12.5	脚部のみ	内: ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/6	72号溝	
	550	土師器	甌	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 7.5YR7/4	72号溝	内面口縁部コゲ付着	
	551	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	14.4	脚部のみ	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y8/1 外: Hue 5Y8/1	72号溝	
	552	須恵器	高 坏	口径 15.2 底径 10.8 器高 8.5	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 10YR3/1	72号溝1層		
	553	須恵器	高 坏	口径 14.8 底径 9.6 器高 10.0	2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 2.5Y6/1	72号溝	外面・脚部内面に自然釉あり	
	554	須恵器	高 坏	口径 12.6 底径 9.2 器高 10.0	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 5Y5/1	72号溝		
	555	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	10.7	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	72号溝		
	556	須恵器	高 坏	口径 底径 器高	9.3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y4/1 外: Hue 7.5Y3/1	72号溝	外面に自然釉あり	
	557	須恵器	甌	口径 最大径9.0 器高	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YG6/1 外: Hue 10YG6/1	72号溝	内外面にスス付着	
	558	須恵器	壺	口径 最大径21.6 器高	4/5	内: 回転ナデ, ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y6/2	72号溝		
	559	須恵器	壺	口径 底径 器高	1/2	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	72号溝 51208		
	560	須恵器	壺	口径 24.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue N6/0 外: Hue 5Y4/2	72号溝	外面に厚く自然釉あり	
	561	須恵器	壺	口径 19.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, タタキ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	72号溝		
	562	須恵器	甌	口径 最大径39.1 器高	1/2	内: タタキ 外: タタキ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR4/1	72号溝		
	71	563	須恵器	壺	口径 最大径70.0 器高	約1/3	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ, ハケ目, タタキ	内: Hue N6/0 外: Hue 10Y6/1	72号溝・51179・51203	外面にカキ目あり
564		土師器	甌	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ, 削り, 指オ サエ 外: 削り, ハケ目	内: Hue 10YR8/2 外: Hue 7.5YR7/6	72号溝		
565		土師器	甌	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 5YR5/3 外: Hue 5YR4/2	72号溝	外面にスス付着	
72	566	須恵器	壺	口径 57.8 最大径92.0 器高	約1/2	内: 回転ナデ, 削り, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	72号溝・51118・ 51198・51199・51200・ 51201・51218・51221	外面肩部に自然釉あり	
73	567	須恵器	釜	口径 16.0 底径 器高 3.2	完 形	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	74号溝		
	568	須恵器	壺	口径 最大径18.0 底径 10.2	2/3	内: ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	74号溝・51181	外面に自然釉あり	
	569	須恵器	釜	口径 14.9 底径 器高 3.1	約1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 10YR5/1 外: Hue 7.5Y5/1	156号溝		
	570	土師器	釜	口径 底径 器高	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	358号溝		

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
73	571	土師器	坏	口径 14.0 底径 8.0 器高 3.2	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR6/6	358号溝	内外面赤色化粘土
	572	土師器	坏	口径 13.0 底径 8.6 器高 2.8	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	358号溝	内面・底面にスス付着
	573	土師器	坏	口径 11.6 底径 6.8 器高 2.7	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	358号溝	内外面赤色化粘土
	574	土師器	坏	口径 17.0 底径 11.0 器高 4.8	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ツマミ ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 25YR6/8	358号溝	
	575	土師器	碗	口径 13.4 底径 9.8 器高 5.1	約3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/8 外: Hue 5YR7/8	358号溝	
	576	土師器	坏	口径 8.8 底径 8.8 器高	1/8	内: 磨き 外: 削り	内: Hue 25YR7/6 外: Hue 25YR7/6	358号溝	底面に墨書「ノ」?あり 内外面赤色化粘土
	577	土師器	坏	口径 11.8 底径 7.4 器高 3.7	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR7/4	358号溝	刻書(判読不明)あり
	578	土師器	高 坏	口径 11.2 底径 11.2 器高	坏部のみ ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ツマミ ナデ	内: Hue 7.5YR7/8 外: Hue 7.5YR7/6	358号溝	
	579	土師器	甕	口径 24.7 底径 24.7 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR8/4 外: Hue 7.5YR8/4	358号溝	
	580	須恵器	蓋	口径 14.8 底径 14.8 器高	1/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 10YR4/3 外: Hue 10YR4/1	358号溝	
	581	須恵器	蓋	口径 17.2 底径 17.2 器高	約1/4	内: ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR4/2 外: Hue 7.5YR4/2	358号溝	内面口縁部・外面に自然釉あり
	582	須恵器	蓋	口径 18.2 底径 18.2 器高	1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR7/8 外: Hue 5YR7/8	358号溝	刻書「主根」あり
	583	須恵器	蓋	口径 18.2 底径 3.3 器高	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 7.5YR4/2	358号溝	ヘラ記号あり
	584	須恵器	坏	口径 9.6 底径 9.6 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5GY4/1 外: Hue 5GY5/1	358号溝	
	585	須恵器	坏	口径 11.8 底径 9.9 器高 3.4	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N4/0	358号溝	
	586	須恵器	坏	口径 13.2 底径 8.8 器高 3.0	1/5	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/2	358号溝	内面中央が凹んでいる
	587	須恵器	碗	口径 13.6 底径 10.0 器高 4.7	1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5PB6/1 外: Hue N4/0	358号溝	
	588	須恵器	碗	口径 10.2 底径 9.6 器高 3.7	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue N4/0	358号溝	
	589	須恵器	碗	口径 13.6 底径 9.4 器高 3.8	1/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N3/0	358号溝	
	590	須恵器	高 坏	口径 9.0 底径 9.0 器高	1/2	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue N4/0	358号溝	脚部内面・外面に自然釉あり
591	須恵器	高 坏	口径 8.4 底径 8.4 器高	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5B4/1 外: Hue 5B5/1	358号溝		
74	592	土師器	高 坏	口径 14.9 底径 6.0 器高	3/4	内: 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 10YR7/4	365号溝	
	593	土師器	碗	口径 9.8 底径 7.8 器高 4.1	1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ヘラ削り	内: Hue 2.5YR7/6 外: Hue 2.5YR7/6	379号溝	
	594	土師器	坏	口径 14.0 底径 8.6 器高 3.9	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ヘラ削り	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR6/6	379号溝	
	595	土師器	坏	口径 14.8 底径 8.0 器高 3.3	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 2.5YR6/8	379号溝	内外面赤色化粘土
	596	須恵器	碗	口径 11.2 底径 9.0 器高 4.3	1/4	内: 削り 外: 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/2	379号溝	
	597	須恵器	壺(甕)	口径 3.0 底径 2.2 器高	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 2.5Y6/1	379号溝	
	598	土師器	甕	口径 13.5 底径 13.5 器高	1/4	内: ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 5YR6/6	2号溝	
75	599	土師器	鉢	口径 16.4 底径 16.4 器高	1/6	内: 回転ナデ, 削り 外: ナデ, 削り, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/6	2号溝	
	600	土師器	高 坏	口径 13.0 底径 9.4 器高 9.2	ほぼ完形	内: ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 2.5YR6/8	2号溝	
	601	土師器	高 坏	口径 9.6 底径 9.6 器高	脚部のみ 1/4	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 2.5YR5/8	2号溝	
	602	土師器	甕	口径 20.1 底径 20.1 器高	1/3	内: 削り 外: 回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR7/4	2号溝	外面に黒斑あり

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
75	603	土師器	瓶	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 75YR6/4 外: Hue 75YR6/4	2号溝		
	604	土師器	かわらけ	口径 底径 器高 4.0	1/4	内: 回転ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	2号溝	底面糸切り	
	605	瓦	布目瓦	長さ 幅 厚さ 5.7 4.7 2.0	破 片	内: 布目 外: 縄文	内: Hue 75Y6/1 外: Hue 75Y6/1	2号溝	須恵	
	606	瓦質土器	火 鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N3/0 外: Hue 75GY4/1	2号溝	外面に押型文あり	
	607	瓦質土器	播 鉢	口径 底径 器高	破 片	内: 回転ナデ, スリ目 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 10Y3/1 外: Hue 5Y4/1	2号溝		
	608	陶 器	播 鉢	口径 底径 器高	破 片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR4/2	2号溝		
	609	陶 器	鉢?	口径 底径 器高	胴部片	内: 削り 外: 削り	内: Hue 5YR6/2 外: Hue 5YR4/3	2号溝		
	610	陶器 (天目)	碗	口径 底径 器高 11.2 4.2 5.6	1/6	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 5Y3/2 外: Hue 5Y3/2	2号溝	暗赤褐色地に黒のかけ流し文様あり	
	611	陶 器	碗	口径 底径 器高	破 片	内: ナデ 外: 削り	内: Hue N1.5/0 外: Hue N1.5/0	2号溝	天目茶碗	
	612	陶 器	碗	口径 底径 器高 4.8	底部~胴部片	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 10YR5/2 外: Hue 10YR5/2	2号溝		
	613	磁 器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 青白色 外: Hue 青白色	2号溝	内面呉須で染付け 外面に陰刻文あり 内外面に釉あり	
	614	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y5/2 外: Hue 25Y5/2	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	615	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10GY6/1 外: Hue 10GY6/1	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	616	磁 器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 青白色 外: Hue 青白色	2号溝	内外面呉須で染付け	
	617	青 磁	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/2	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	618	白 磁	碗	口径 底径 器高 4.0	底部1/2	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 白色釉 外: Hue 白色釉	2号溝		
	619	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10Y6/2 外: Hue 10Y6/2	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	620	白 磁	碗	口径 底径 器高	底部1/3	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 75Y7/1 外: Hue 75Y7/1	2号溝		
	621	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 75Y5/3 外: Hue 75Y6/2	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	622	龍泉窯青磁	碗	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10Y6/2 外: Hue 10Y6/2	2号溝	内外面に青磁釉あり	
	623	白 磁	碗	口径 底径 器高 6.0	底部1/4	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 5Y8/2 外: Hue 10Y8/1	2号溝	被熱?	
	624	磁 器	皿	口径 底径 器高 4.8	底部1/4	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 青白色 外: Hue 青白色	2号溝	呉須で染付け 高台に砂目付着	
	625	白 磁	皿	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 白色 外: Hue 白色	2号溝		
	626	白 磁	小 碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: 削り 外: 削り	内: Hue 25GY8/1 外: Hue 25GY8/1	16号溝		
	627	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.3 7.5 4.7	2/3	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	380号溝	赤焼け 内面焼きムラあり	
	628	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.4 10.2 4.9	2/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	380号溝下層	内面に焼きムラあり 赤焼け 外面にスス付着	
	629	須恵器	碗	口径 底径 器高 10.2	3/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 75Y6/1 外: Hue 5Y7/1	380号溝		
	630	須恵器	碗	口径 底径 器高 5.8	底部のみ	内: 回転ナデ 外: 削り	内: Hue N5/0 外: Hue 5Y5/1	380号溝		
	631	土師器	碗	口径 底径 器高 9.2	約1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 5YR6/6	381号溝		
	632	須恵器	蓋	口径 底径 器高 13.0	約1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue 5Y6/1	381号溝		
	633	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.4	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR4/1 外: Hue 5YR4/2	381号溝	赤焼け	
	76	634	土師器	碗	口径 底径 器高 11.7 8.4 4.3	約2/3	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 25YR6/6 外: Hue 25YR6/6	366号土坑	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
76	635	須恵器	蓋	口径14.3 底径器高2.2	ほぼ完形	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue N6/0 外: Hue N4/0	115号胞衣壺ビット	胞衣壺 外面に自然軸あり
	636	土師器	甕	口径18.0 底径器高17.7	完 形	内:回転ナデ,削り, ハケ目 外:回転ナデ,ハケ目	内: Hue 10YR8/6 外: Hue 10YR8/6	115号胞衣壺ビット	胞衣壺
	637	須恵器	壺	口径16.4 最大径20.4 器高	1/6	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り, タタキ	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 10Y5/1	115号胞衣壺ビット	内面口縁部・外面に自然軸あり
	638	土師器	坏	口径底径器高8.0	底部1/4	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	370号集石	ヘラ記号「#」あり
	639	土師器	坏	口径底径器高	胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 5YR7/6	370号集石	ヘラ記号「#」あり
	640	須恵器	碗	口径底径器高13.2 4.4	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue 10YR5/2	370号集石	外面に焼きムラあり
	641	須恵器	甕	口径底径器高25.6	口縁~胴部片	内:回転ナデ,削り, タタキ 外:回転ナデ,削り	内: Hue 5Y7/1 外: Hue N7/0	370号集石	内外面に自然軸あり
77	642	土師器	小皿	口径底径器高7.9 1.8	ほぼ完形	内:ナデ 外:ナデ,削り	内: Hue 5YR6/8 外: Hue 5YR6/6	250号土壇墓	
	643	鉄	刀子	長さ15.25 幅2.35 厚さ0.25		内: 外:	内: Hue 外: Hue	250号土壇墓	重量30.8g
78	644	須恵器	碗	口径底径器高14.0 8.4 5.3	1/2	内:回転ナデ,ナデ 外:回転ナデ,削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	17号溝	
	645	須恵器	碗	口径底径器高12.8 9.0 3.95	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y4/1 外: Hue N5/0	188号ビット	
	646	須恵器	壺	口径最大径器高25.6	胴部片	内:回転ナデ,削り 外:回転ナデ,削り	内: Hue 10Y5/1 外: Hue 10B6/1	131号ビット	
	647	須恵器	壺	口径底径器高5.4 14.1	2/3	内:回転ナデ,ハケ目 外:タタキ	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue 2.5Y2/1	146号ビット	
	648	土師器	甕	口径底径器高19.6	1/6	内:回転ナデ,ヘラ削り 外:回転ナデ,ナデ	内: Hue 10R5/6 外: Hue 7.5YR6/6	179号ビット	
	649	土師器	碗	口径底径器高10.7 7.6 3.7	1/3	内:回転ナデ,回転ヘ ラ削り 外:回転ナデ,回転ヘ ラ削り	内: Hue 2.5YR6/8 外: Hue 5YR6/8	214号ビット	高台の底以外に丹塗り
	650	土師器	碗	口径底径器高14.6 10.2 5.2	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ,回転ヘ ラ削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 10R5/6	350号ビット	
	651	土師器	瓶	口径底径器高15.8	取っ手及び 胴部小片	内:削り 外:ナデ,ハケ目	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 10YR7/6	399号ビット	
	652	土製品	土 錘	長さ4.6 幅1.7 厚さ1.6	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5YR5/6	300号竈穴住居址	
	653	土製品	脚?	長さ4.7 幅2.5 厚さ3.35	1/4	内: 外:ナデ,磨き	内: 外: Hue 7.5YR6/6	166号ビット	
	654	土製品	土 錘	長さ4.0 幅1.5 厚さ1.4	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: 外: Hue 7.5YR5/4	1号溝	重量9.0g
	655	土師器	紡錘車	長さ4.0 幅2.2 厚さ1.65	約1/4	内: 外:ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR7/4	1号溝	内面に赤色残る
	656	土師器	紡錘車	長さ4.25 幅2.7 厚さ0.7	約1/2	内:ナデ 外:ハケ目	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 7.5YR5/4	57号溝	重量8.0g 土器片再利用
	657	土製品	土 錘	長さ4.0 幅1.15 厚さ1.1	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: 外: Hue 7.5YR7/4	57号溝	重量5.0g
	658	土製品	土 錘	長さ4.45 幅1.25 厚さ1.15	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 2.5Y7/2	358号溝・一括	
	659	土製品	土 錘	長さ4.7 幅1.1 厚さ1.1	ほぼ完形	内: 外:ナデ,削り	内: Hue 外: Hue 10YR7/3	2号溝	焼きムラあり
	660	須恵器	取 手	口径底径器高	取手のみ	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5B17/1	2号溝	
	661	土製品	取 手	口径底径器高	破 片	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/4	包含層	
	662	土製品	土 錘	長さ3.3 幅0.9 厚さ1.0	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 5YR6/6	包含層・I区	
	663	土製品	土 錘	長さ2.9 幅0.9 厚さ0.9	約2/3	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/4	包含層・I区西	
664	土製品	土 錘	長さ4.3 幅1.6 厚さ1.5	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR7/3	包含層・I区西		
665	土製品	土 錘	長さ3.7 幅0.9 厚さ0.9	ほぼ完形	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/4	包含層・I区西		
666	土製品	土 錘	長さ2.0 幅0.9 厚さ0.8	一 部	内: 外:ナデ	内: Hue 外: Hue 7.5YR5/4	包含層・I区西		

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	現存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
78	667	土製品	土 鉢	長さ 4.1 幅 1.2 厚さ 1.1	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/4	包含層・I区西		
	668	土製品	土 鉢	長さ 4.2 幅 0.9 厚さ 0.9	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/3	包含層・I区西		
	669	土製品	土 鉢	長さ 4.8 幅 1.0 厚さ 1.1	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR8/4	包含層・西	焼きムラあり	
	670	土製品	土 鉢	長さ 3.8 幅 0.8 厚さ 0.8	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 外: Hue 5YR5/6	包含層・I区西		
	671	土製品	土 鉢	長さ 4.9 幅 1.4 厚さ 1.4	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR7/4	包含層・I区	黒斑あり	
	672	土製品	土 鉢	長さ 3.8 幅 1.3 厚さ 1.3	約2/3	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR7/4	包含層		
	673	土製品	土 鉢	長さ 3.6 幅 1.1 厚さ 1.0	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 外: Hue 5Y2/1	包含層・I区北西		
	674	土製品	土 鉢	長さ 7.1 幅 3.3 厚さ 3.3	約2/3	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR7/2	包含層・II区	黒斑あり	
	675	土製品	鏡	長さ 4.5 幅 4.2 厚さ 1.6	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 25Y2/1 外: Hue 25Y4/1	297号堅穴住居址	鏡面にスス付着	
	676	石製品	紡錘車	長さ 4.5 幅 4.5 厚さ 1.3	完 形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	72号溝	重量43.8g 蛇紋岩製	
	677	石製品	紡錘車	長さ 3.85 幅 4.1 厚さ 0.9	ほぼ完形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	74号溝	重量24.4g 滑石製	
	678	石製品	紡錘車	直径 39~42 孔高 1.7/1.9 高さ 1.2	1/2	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	179号ピット	重量13.0g 蛇紋岩	
	679	石製品	有孔円盤	長さ 2.65 幅 2.65 厚さ 0.3	完 形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10GY2/1 外: Hue 10GY2/1	74号溝	重量4.1g 径2.0mmの穴	
	680	石製品	垂 玉	長さ 1.5 幅 1.3 厚さ 0.46	完 形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5GY4/1 外: Hue 5GY4/1	80号堅穴住居址	重量1.1g	
	681	石製品	白 玉	長さ 0.4 幅 0.73 厚さ	完 形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5BG4/1 外: Hue 5BG4/1	4号溝	重量0.4g・滑石 孔径2.0mm	
	682	ガラス製品	小 玉	長さ 0.49 幅 0.52 厚さ	完 形	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue コバルト ブルー 外: Hue コバルト ブルー	4号溝	重量0.2g 孔径1.7mm	
	79	683	鉄	刀 子	長さ 4.35 幅 1.65 厚さ 0.2		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	3号堅穴住居址	重量3.4g
		684	鉄 器	釘	長さ 2.75 幅 0.4 厚さ 1.5		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	30号堅穴住居址	重量1.0g
685		鉄	釘	長さ 3.7 幅 0.6 厚さ 0.6		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	300号堅穴住居址	重量1.9g	
686		鉄 器	刀 子	長さ 4.7 幅 1.4 厚さ 0.25		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	310号堅穴住居址	重量6.9g	
687		鉄	鍬	長さ 5.75 幅 3.1 厚さ 0.35		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	501号掘立柱建物 (174号ピット)	重量9.0g	
688		鉄 器	刀子?	長さ 3.6 幅 1.1 厚さ 0.3	先端部 基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量2.0g	
689		鉄 器	刀子	長さ 11.4 幅 2.25 厚さ 1.9	先端部 基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	50928	重量21.0g	
690		鉄	鍬	長さ 13.05 幅 1.2 厚さ 0.3		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	73号焼土塊	重量17.4g	
691		鉄 器	刀 子	長さ 6.3 幅 1.6 厚さ 0.6		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・I区西	重量15.6g	
692		鉄 器	刀子	長さ 3.9 幅 1.15 厚さ 0.5	先端部 基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・I区西	重量4.3g	
693		鉄 器	刀子?	長さ 6.65 幅 1.95 厚さ 0.7	基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・I区西	重量9.8g	
694		鉄 器	刀子?	長さ 5.1 幅 1.1 厚さ 0.35	先端部 基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・I区西	重量5.0g	
695		鉄製品	鍬	長さ 19.95 幅 3.15 厚さ 0.25		内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・I区	重量50.5g	
696		鉄 器	鍬	長さ 3.75 幅 1.7 厚さ 0.25	先端部 基部欠損	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 外: Hue	包含層・II区東	重量5.5g	
80	697	土師器	碗	口径 10.8 底径 4.8 器高 4.2	1/2	内: ナデのち磨き 外: 横ナデ, 工具による ナデ, ナデ	内: Hue 25Y5/3 外: Hue 7.5YR6/6	包含層・排土		
	698	土師器	坏	口径 14.0 底径 10.1 器高 5.4	2/3	内: 回転ナデのち磨き 外: 回転ナデのち磨き 痕, ナデのち工具 痕	内: Hue 5YR6/0 外: Hue 5YR6/6	包含層・I区西南溝	口縁部外面に一部黒斑あり	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 明	出土遺構	備 考
80	699	土師器	碗	口径 13.6 底径 9.2 器高 5.2	1/4	内：回転ナデ、ナデ、 削り 外：回転ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 10YR8/3	包含層・I区西	底部に焼きムラあり
	700	土師器	鉢	口径 18.2 底径 10.4 器高 7.4	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ナデ	内：Hue 2.5YR5/8 外：Hue 5YR5/6	包含層・南側遺構検出 時	
	701	土師器	坏	口径 13.2 底径 10.4 器高 1.7	底部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	包含層・南一括	底部に墨書あり
	702	土師器	坏	口径 13.2 底径 9.0 器高 2.6	約1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 2.5YR6/6	包含層・東西 西	墨書(判読不明)あり 内外面赤色化粧土
	703	土師器	坏	口径 16.4 底径 13.0 器高 3.2	1/4	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ナデ	内：Hue 10R5/6 外：Hue 2.5YR5/6	包含層・南一括	墨書(判読不明)あり 内外面赤色化粧土
	704	土師器	坏	口径 17.5 底径 10.4 器高 3.9	2/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	Ⅱ区包含層・南	
	705	土師器	甕	口径 21.0 底径 10.4 器高 5.1	1/6	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/3	包含層 (59号の外)	
	706	土師器	甕	口径 22.6 底径 10.4 器高 6.8	1/8	内：回転ナデ、削り 外：回転ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 2.5Y6/2	包含層 (59号の外)	
	707	土師器	甕	口径 26.0 底径 10.4 器高	口縁~胴部片 1/3	内：回転ナデ、削り、 ハケ目 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 5YR6/4 外：Hue 5YR6/6	包含層	
	708	土師器	瓶	口径 13.2 底径 5.0 器高	1/6	内：ヘラ削り 外：ハケ目	内：Hue 5YR7/6 外：Hue 5YR7/6	包含層 (59号の外)	
	709	土師器	瓶	口径 10YR6/4 底径 10YR6/4 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	包含層・I区西	穿孔あり(外→内)
	710	土師器	瓶	口径 10YR6/4 底径 10YR6/4 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	包含層・I区西	穿孔あり(外→内)
	711	土師器	移動式竈	長さ 6.1 幅 8.6 厚さ 2.8	底部破片	内：ナデ 外：ナデ、削り	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR7/3	包含層(1号溝と358号 溝内陸)	底部にすだれ状の圧痕あり
	712	手捏ね土器	鉢	口径 最大径 8.2 器高	1/4	内：ナデ、削り 外：ナデ、削り	内：Hue 2.5Y8/1 外：Hue 10YR8/3	包含層・I区西	外面に焼きムラあり
	713	土師器	壺	口径 13.6 底径 10.4 器高	約1/2	内：回転ナデ 外：削り、磨き	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 2.5YR5/8	包含層・南	
	714	土師器	壺	口径 12.0 最大径 13.6 器高	1/6	内：回転ナデ、削り、 ハケ目 外：回転ナデ、ハケ目	内：Hue 10YR7/3 外：Hue 10YR6/4	包含層・清掃	口縁部にスス付着
	715	須恵器	蓋	口径 15.0 底径 8.4 器高 1.8	破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/1	包含層・下層	ヘラ記号あり
	716	須恵器	蓋	口径 13.7 底径 3.5 器高	ほぼ完形	内：ナデ、削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue N5/0 外：Hue N5/0	包含層・南側清掃	
	717	須恵器	蓋	口径 15.2 底径 4.1 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ、ナデ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/1	包含層・I区西	
	718	須恵器	蓋	口径 18.4 底径 3.5 器高	1/2	内：回転ナデ、ナデ、 削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10Y5/1 外：Hue 2.5Y5/1	包含層・I区	
	719	須恵器	蓋	口径 16.0 底径 2.2 器高	1/2	内：回転ナデ、ナデ、 削り 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 7.5Y5/1	包含層(1号溝と358号 溝の間)	外面口縁部に焼きムラあり
	720	須恵器	蓋	口径 11.2 底径 3.8 器高	3/4	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y6/1	包含層・南側一括	
	721	須恵器	坏	口径 11.0 底径 8.4 器高 3.9	2/3	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り、 磨き	内：Hue 5Y3/1 外：Hue 5Y4/1	包含層・Ⅱ区	
	722	須恵器	碗	口径 13.5 底径 4.4 器高	4/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y5/1 外：Hue 7.5Y5/1	包含層(1号溝と358号 溝の間)	
	723	須恵器	坏	口径 8.0 底径 4.6 器高	口縁部一部	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y5/3 外：Hue 5Y5/1	包含層・I区西	
	724	須恵器	碗	口径 17.0 底径 6.1 器高	1/4	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y6/2 外：Hue 2.5Y7/1	包含層 (59号の外)	
	725	須恵器	碗	口径 14.0 底径 5.0 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5Y4/1 外：Hue 7.5Y4/1	包含層(1号溝と29号 溝の間)	内外面に自然釉あり
	726	須恵器	碗	口径 15.0 底径 4.7 器高	1/2	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 7.5YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	包含層・I区西	外面に焼きムラあり
	727	須恵器	碗	口径 8.0 底径 4.2 器高	約1/2	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、ナデ、 削り	内：Hue 7.5Y5/2 外：Hue 7.5Y5/2	包含層・I区	
	81	728	須恵器	坏	口径 7.0 底径 6.0 器高 6.5	破片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR6/6 外：Hue 5YR6/6	包含層・I区西
729		須恵器	ミニチュア 高坏	口径 8.0 底径 4.2 器高	1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y5/1	包含層・I区	
730		須恵器	ミニチュア 高坏	口径 8.0 底径 4.2 器高	約1/2	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、ヘラ削り	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue N5/0	包含層 (59号の外)	

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考	
81	731	須恵器	高 坏	口径 底径 器高 14.0 6.5	坏部1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 10YR5/1	包含層・Ⅱ区		
	732	須恵器	ミニチュア 高坏	口径 底径 器高 9.7 7.3	坏部の一部	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5Y5/1 外: Hue 5Y5/1	包含層・下層	外面に自然釉あり	
	733	須恵器	鉢	口径 底径 器高 19.2	1/8	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	包含層・Ⅱ区	赤焼	
	734	須恵器	壺(甕?)	口径 底径 器高	破片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/4	包含層・Ⅱ区	波状文・沈線文あり 外面にスス付着	
	735	須恵器	壺(甕?)	口径 底径 器高 4.1	約1/8	内: 回転ナデ, タタキ 外: 回転ナデ	内: Hue N5/0 外: Hue N6/0	包含層 (59号の外)		
	736	須恵器	壺	口径 底径 器高 16.1	約2/1	内: ナデ 削り 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 5Y6/6	包含層・Ⅱ区南		
	737	龍泉窯系 青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 7.5Y5/3 外: Hue 7.5Y5/3	包含層・Ⅰ区西	内外面に青磁釉あり	
	738	白磁	碗	口径 底径 器高 2.2	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10Y8/1 外: Hue 10Y8/1	包含層・Ⅰ区西		
	739	白磁	皿	口径 底径 器高 4.9 2.1	破片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10Y7/1 外: Hue 10Y7/1	包含層・Ⅰ区西	内面に紋様あり	
	740	越州窯系 青磁	碗	口径 底径 器高 5.2 2.1	底部1/2	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5Y5/3 外: Hue 5Y5/3	包含層・Ⅰ区西	内外面に青磁釉あり 底部一部釉がはげている	
	741	越州窯系 青磁	碗	口径 底径 器高 9.3	1/8	内: 削り 外: 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y6/2	包含層・南溝掃	内外面に青磁釉あり 高台削り出し 内面に目あとあり	
	742	土師器	坏	口径 底径 器高 13.5 9.0 2.7	ほぼ完形	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	攪乱		
	743	土師器	坏	口径 底径 器高 15.3 11.9 3.1	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	攪乱		
	744	土師器	坏	口径 底径 器高 14.8 9.0	1/3	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	攪乱	墨書「東?」あり 内外面赤色化粧土	
	745	土師器	坏	口径 底径 器高 7.8	1/8	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	攪乱	墨書あり 内外面赤色化粧土	
	746	土師器	坏	口径 底径 器高 14.4 9.5 3.2	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR8/4	攪乱	スス付着	
	747	土師器	大 碗	口径 底径 器高 21.7 14.1 6.3	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR5/6	攪乱・南		
	748	土師器	碗	口径 底径 器高 15.0	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	攪乱	墨書「新羅」あり	
	749	須恵器	蓋	口径 底径 器高 15.6 3.7	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ, 削り	内: Hue 10YR6/6 外: Hue N6/0	攪乱		
	750	須恵器	蓋	口径 底径 器高 11.4 2.5	約1/8	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y5/2 外: Hue 7.5Y6/1	攪乱	ヘラ記号「+」あり	
	751	須恵器	坏	口径 底径 器高 11.9 7.7 3.9	1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 5Y5/1	攪乱		
	752	須恵器	碗	口径 底径 器高 15.4 9.2 6.2	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue N5/0	攪乱		
	753	須恵器	坏	口径 底径 器高 12.1 7.8 4.1	3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転ヘ ラ削り	内: Hue 7.5Y6/1 外: Hue 7.5Y6/1	攪乱		
	754	須恵器	壺	口径 底径 器高 15.2	口縁~胴部片	内: ナデ, 削り, タタキ 外: 回転ナデ, 削り, タタキ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 7.5Y3/1	攪乱	口縁部内外面に自然釉あり	
	755	須恵器	壺	口径 底径 器高 24.0	口縁~胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N5/0	攪乱		
	756	須恵器	壺	口径 底径 器高 18.1 10.9	口縁~頸部 1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue N5/0 外: Hue N6/0	攪乱	内面に自然釉あり 外面に黒斑・焼き膨れあり	
	82	757	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue 2.5Y3/1	包含層51019	太郎道 沈線文あり すり消し縄文
		758	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y5/4 外: Hue 10YR7/4	27号竪穴住居址	太郎道 波状口縁
		759	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 10YR6/4	370号集石	太郎道 外面に沈線文あり
		760	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y3/3 外: Hue 2.5Y3/3	包含層・Ⅰ区	三万田 沈線文あり
761		縄文土器	首長の鉢?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR7/3	72号溝	三万田 (鳥井原)	
762		縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/6 外: Hue 10YR7/4	包含層	三万田 内面に沈線文あり	



図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cc)	残存量	特徴	色 図	出土遺構	備 考
82	763	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR5/4	346号壘穴	烏井原 沈線文あり
	764	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高 2.8	口縁部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR5/6	72号溝	烏井原 沈線文あり
	765	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR5/1 外：Hue 10YR6/3		烏井原
	766	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y5/2 外：Hue 10YR7/4	72号溝	烏井原 外面に凹線文あり
	767	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y6/4 外：Hue 25Y4/1		烏井原 (三万田) 外面に沈線文あり
	768	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR6/3	72号溝	烏井原
	769	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 10YR6/4	72号溝	烏井原
	770	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y7/4 外：Hue 25Y7/4	包含層・I区西	烏井原
	771	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y4/2 外：Hue 10YR3/1	92号壘穴住居址	烏井原 外面に凹線文あり
	772	縄文土器	浅鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y4/1 外：Hue 25Y4/1	35号壘穴住居址	烏井原 外面に凹線文あり
	773	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR6/4	343号壘穴住居址	烏井原 外面に沈線文あり
	774	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 5Y2/1 外：Hue 5Y3/1	35号壘穴住居址一括	烏井原 外面に凹線文あり
	775	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 7.5Y2/1 外：Hue 7.5Y2/1	72号溝	烏井原 外面に凹線文あり
	776	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 7.5YR7/4	72号溝	烏井原 外面に凹線文あり
	777	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/3 外：Hue 7.5YR5/4	72号溝	烏井原
	778	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR6/6	355号壘穴住居址	烏井原 沈線文あり
	779	縄文土器	深鉢形土器	口径 最大径 器高 39.4	胴部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y7/4 外：Hue 10YR7/3	92号壘穴住居址	御領 (烏)
	780	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y6/3 外：Hue 10YR7/4	370号集石	御領 外面に沈線文あり
	781	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y6/4 外：Hue 10YR7/4	包含層・II区	御領 沈線文あり
	782	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR7/4	72号溝	御領
	783	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR5/3	包含層・II区	御領 外面に沈線文あり
	784	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue N1.5/0 外：Hue N1.5/0	360号壘穴住居址	御領 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	785	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y3/3 外：Hue 25Y3/2	包含層・II区	御領 外面に沈線文あり
	786	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 25Y5/1 外：Hue 25Y6/3	包含層・II区	御領 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	787	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue N1.5/0 外：Hue N1.5/0	360号壘穴住居址	御領 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	788	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR5/3 外：Hue 10YR6/4	72号溝	天城
	789	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：磨き	内：Hue 10YR8/3 外：Hue 10YR7/4	500号掘立柱建物 (158号ピット)	天城 外面に沈線文あり
	790	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR6/4	1号溝	天城 外面に沈線文あり
	791	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：磨き	内：Hue 25Y5/2 外：Hue 7.5YR6/6	367号壘穴住居址	天城 外面に沈線文あり
	792	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 25Y5/4 外：Hue 25Y5/4	327号?	天城 (古閑) 外面に沈線文あり
793	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR5/4 外：Hue 10YR7/3	346号壘穴	天城 (古閑II) 沈線文あり	
794	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR3/3	包含層・下層	天城 外面に沈線文あり	

1. (医病) 病棟(軸) 新営工事に伴う発掘調査(9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
82	795	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y8/4 外: Hue 25Y6/4	72号溝・357号竪穴	古関Ⅱ 外面に沈線文あり
	796	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y4/2 外: Hue 25Y6/4	包含層・Ⅱ区	古関(天城) 外面に沈線文あり
	797	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 削り 外: 磨き	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y5/1	360号竪穴住居址	古関Ⅱ 外面に文様あり
	798	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR6/3 外: Hue 10YR6/4	72号溝	古関 外面に沈線文あり
	799	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/3	包含層・Ⅰ区西	古関Ⅰ
	800	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR5/4 外: Hue 10YR5/4	343号竪穴住居址	古関Ⅱ胴部
	801	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 5Y3/1 外: Hue 7.5Y2/1	114号竪穴住居址	古関Ⅱ(黒) 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	802	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 5Y4/1 外: Hue 2.5Y4/2	57号溝	古関Ⅱ(黒) 穿孔あり
	803	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	72号溝	古関 外面に沈線文あり
	804	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 10YR3/2	35号竪穴住居址	古関 沈線文あり
	805	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y7/1 外: Hue 2.5Y6/3	4号溝	古関 沈線文あり 黒色磨研土器
	806	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 7.5Y2/1 外: Hue 7.5Y2/1	72号溝	古関 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	807	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue 2.5Y3/2	72号溝	古関
	808	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	1号溝	古関 沈線文あり
	809	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y2/1 外: Hue 2.5Y2/1	4号溝	古関
	810	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR5/6 外: Hue 10YR5/4	35号竪穴住居址一括	古関Ⅱ 外面に凹線文あり
	811	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/2 外: Hue 10YR3/2	72号溝	古関 外面に沈線文あり
	812	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 7.5Y2/1 外: Hue 7.5Y3/1	52号竪穴住居址 43号竪穴住居址	古関Ⅱ 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	813	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y4/1 外: Hue 10YR6/3	72号溝	古関
	814	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	1号溝北	古関
	815	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 2.5Y5/3	72号溝	古関
816	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y3/1 外: Hue N2/0	343号竪穴住居址	古関 黒色磨研土器	
817	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR4/1 外: Hue 2.5Y5/2	337・338号竪穴住居址	古関Ⅱ	
83	818	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR7/4	72号溝	黒川
	819	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5Y6/4 外: Hue 2.5Y6/4	包含層・Ⅰ区	黒川 内外面に沈線文あり
	820	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 5Y2/1 外: Hue 5Y3/1	92号竪穴住居址	黒川 外面に沈線文あり 黒色磨研土器
	821	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 7.5Y3/1 外: Hue 7.5Y2/1	1号溝	黒川 黒色磨研土器
	822	縄文土器	浅鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 7.5Y3/1 外: Hue 7.5Y3/1	包含層・Ⅰ区	黒川 黒色磨研土器
	823	縄文土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 10YR7/6	4号溝	刻目突帯文あり
	824	縄文土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 7.5YR7/6	1号溝	刻目突帯文あり
	825	縄文土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR7/2 外: Hue 10YR7/2	1号溝	刻目突帯文あり
	826	縄文土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 7.5YR5/4 外: Hue 10YR4/1	包含層(2号溝より東)	刻目突帯文あり

Ⅲ 本荘北地区の調査

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cc)	残存量	特徴	色 閉	出土遺構	備 考
83	827	縄文土器	盃型土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y4/1 外: Hue 10YR6/2	72号溝	夜白?
	828	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: 磨き	内: Hue 25Y5/3 外: Hue 25Y6/4	72号溝	太郎道~御領
	829	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	底部2/3	内: ナデ 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR6/3	355号竪穴住居址	太郎道~御領
	830	縄文土器	深鉢形土器	7.2	底部1/4	内: ナデ 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 10YR6/3	2号溝	後期後葉~末葉
	831	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部片	内: 磨き 外: 削り	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/4	4号溝	晩期 圧痕?あり
	832	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	底部1/3	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR3/1 外: Hue 10YR5/4	137号ピット	晩期
	833	縄文土器	深鉢形土器	7.2	底部約1/4	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	101号ピット	晩期
	834	縄文土器	深鉢形土器	9.0	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 10YR5/3	2号溝	晩期
	835	縄文土器	深鉢形土器	11.2	底部1/6	内: ナデ 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 25Y7/4 外: Hue 10YR6/6	4号溝	晩期
	836	縄文土器	深鉢形土器	15.6	口縁~胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 7.5YR4/3 外: Hue 7.5YR6/4	4号溝	外面にススとコゲ附着
	837	縄文土器	深鉢形土器	20.5 7.3	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y5/2 外: Hue 25Y3/2	1号溝	外面一部にスス附着
	838	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 7.5Y3/2 外: Hue 10Y3/1	343号竪穴住居址	黒色磨研土器
	839	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/3	1号溝	
	840	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y6/4 外: Hue 10YR6/4	72号溝	
	841	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y5/2	72号溝	外面にスス附着
	842	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y4/1 外: Hue 10YR6/2	2号溝	黒色磨研土器
	843	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 10YR6/4	4号溝	外面に条痕あり
	844	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 25Y5/1	包含層 (3号竪穴住居址付近)	
	845	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y5/3	4号溝	
	846	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y5/3 外: Hue 25Y3/1	4号溝	
	847	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 25Y6/3 外: Hue 25Y5/3	72号溝	
	848	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: 磨き	内: Hue 25Y6/2 外: Hue 10YR8/4	包含層・南溝掘	圧痕あり 0002
	849	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 25Y3/2 外: Hue 10YR3/1	56号ピット	
	850	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	113号竪穴住居址	
	851	縄文土器	深鉢形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR5/4 外: Hue 10YR5/3	87号ピット	
	852	縄文土器	?	口径 底径 器高	口縁部片	内: 削り, 磨き 外: 削り, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/3 外: Hue 7.5YR7/3	包含層	圧痕あり 0009
	853	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR5/3	358号溝 359号竪穴住居址	圧痕あり 0007 条痕あり
	854	縄文土器	壺形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: 磨き	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR6/4	2号溝	圧痕あり 0006
	855	縄文土器	鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: 削り, 磨き 外: 磨き	内: Hue 10YR5/2 外: Hue 10YR5/2	72号溝・1層	圧痕あり 0008
	856	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ハケ目	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR5/4	30号竪穴住居址・ベルト他	圧痕あり 0003 条痕あり
	857	縄文土器	浅鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y5/3 外: Hue 10YR6/3	291号竪穴住居址・掘り方	圧痕あり 0004
	858	縄文土器	鉢形土器	口径 底径 器高	胴部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 25Y4/2 外: Hue 25Y4/2	掘乱・Ⅱ区	圧痕あり 0001

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
83	859	縄文土器	深鉢形土器?	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: 磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR6/4	355号竪穴住居址	庄痕あり 0005	
	860	縄文土器	甕形土器	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 10YR3/1	包含層・下層	口唇部に刻み目あり スス付着?	
	861	弥生土器	甕形土器	口径 底径 器高	6.6	脚部のみ	内: 回転ナデ, 削り 外: ハケ目	内: Hue 7.5Y2/1 外: Hue 10YR7/3	380号溝下層	内面にコゲあり
84	862	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	12.7 9.6 6.1	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	5号竪穴住居址	重量958g
	863	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	12.05 8.5 5.25	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	5号竪穴住居址	重量678g
	864	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	15.7 6.1 4.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	35号竪穴住居址	重量582g
	865	石器	台石	長さ 幅 厚さ	23.0 18.45 4.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	35号竪穴住居址	重量1400g
	866	石器	台石	長さ 幅 厚さ	22.1 20.1 8.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	80号竪穴住居址	重量1600g
	867	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	21.85 11.8 6.75	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	80号竪穴住居址	重量2200g
	868	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	14.9 7.65 3.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	80号竪穴住居址	重量615g 敲石としても使用
	869	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	11.9 5.9 2.9		内: 外:	内: Hue 外: Hue	80号竪穴住居址	重量310g 砂岩
85	870	石器	台石	長さ 幅 厚さ	16.0 13.65 6.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	113号竪穴住居址	重量1400g
	871	石器	打製石斧	長さ 幅 厚さ	16.9 9.75 2.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	113号竪穴住居址	重量435g 安山岩
	872	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	14.45 7.3 5.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	337・338号竪穴住居址	重量817g
	873	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	15.1 13.6 8.1	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	337・338号竪穴住居址	重量2200g 砂岩
	874	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	14.1 8.6 6.25	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	346号竪穴	重量1000g
	875	石器	二次加工のある剥片	長さ 幅 厚さ	4.4 8.6 2.1	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	346号竪穴	重量9973g 安山岩
	876	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	8.4 7.1 6.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	353号竪穴住居址	重量470g
	877	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	12.3 8.7 4.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	360号竪穴住居址	重量406g 砂岩
	878	石器	凹石	長さ 幅 厚さ	12.0 13.6 3.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	360号竪穴住居址	重量580g
	879	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	10.7 7.8 4.75	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	343号竪穴住居址	重量530g
	880	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	10.15 6.7 4.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	343号竪穴住居址	重量348g 檜石としても使用
	881	石器	磨石	長さ 幅 厚さ	10.95 5.3 3.95	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	343号竪穴住居址	重量382g
86	882	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	12.4 9.6 2.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	362号竪穴	重量384g
	883	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	13.4 8.2 6.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量1600g
	884	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	9.95 8.95 6.75	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量775g
	885	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	12.0 10.7 5.75	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量865g
	886	石器	スクレイパー	長さ 幅 厚さ	7.35 7.1 1.35	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量77.95g 磨製石斧破片再利用
	887	石器	磨製石斧	長さ 幅 厚さ	3.5 3.5 0.5	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	1号溝	重量8.87g 蛇紋岩
	888	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	9.8 4.65 4.05	砥石の一部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量155g 天草砥石
	889	石器	砥石	長さ 幅 厚さ	4.45 6.65 2.5	砥石の一部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量74.9g 天草砥石
	890	石器	敲石	長さ 幅 厚さ	16.2 5.15 4.5	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量446g

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
86	891	石器	凹石	長さ 16.55 幅 13.15 厚さ 3.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量828g
	892	石器	敲石	長さ 13.7 幅 6.4 厚さ 4.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量552g
	893	石器	砥石	長さ 25.9 幅 6.95 厚さ 3.15	砥石の一部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量720g 砂岩
	894	石器	磨製石斧	長さ 10.15 幅 7.0 厚さ 1.5	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	95号(4号溝内)	重量110g
	895	石器	打製石斧	長さ 20.7 幅 6.5 厚さ 1.8	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	95号(4号溝内)	重量338g
87	896	石器	敲石	長さ 11.9 幅 9.5 厚さ 6.9	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	15号溝	重量1000g
	897	石器	敲石	長さ 12.1 幅 7.85 厚さ 5.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量630g 掘石としても使用
	898	石器	両面加工ス クレイバー	長さ 9.3 幅 5.8 厚さ 2.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量118g サスカイト
	899	石器	石斧	長さ 5.4 幅 1.6 厚さ 0.8	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量9.81g 蛇紋石
	900	石器	石核	長さ 6.05 幅 3.35 厚さ 2.4	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量50.0g サスカイト
	901	石器	両面加工品	長さ 8.85 幅 4.55 厚さ 2.25	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量106g サスカイト
	902	石器	砥石	長さ 13.1 幅 11.9 厚さ 7.2	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	57号溝	重量1200g 砂岩
	903	石器	打製石斧	長さ 4.85 幅 5.55 厚さ 1.1	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	72号溝・Ⅱ区西側3.4 層	重量32.73g 片岩
	904	石器	砥石	長さ 12.75 幅 6.5 厚さ 4.7	砥石の一部	内: 外:	内: Hue 外: Hue	72号溝・Ⅱ区1層	重量617g 砂岩
	905	石器	両面加工ス クレイバー	長さ 15.5 幅 7.55 厚さ 2.0	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	72号溝・Ⅱ区西	重量248g サスカイト
	906	石器	敲石	長さ 14.5 幅 8.3 厚さ 6.35	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	74号溝	重量1000g
	907	石器	掘石	長さ 12.8 幅 10.15 厚さ 4.9	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue	74号溝・Ⅱ区1層	重量738g
	908	石器	打製石斧 再加工品	長さ 7.1 幅 5.35 厚さ 1.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	2号溝	重量72.24g 片岩
	909	石器	磨製石斧	長さ 3.5 幅 3.25 厚さ 0.5	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	207号ピット	重量6.31g 蛇紋石
	910	石器	敲石	長さ 11.15 幅 6.5 厚さ 2.85	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	32号?	重量308g 掘り石として使用
	911	石器	砥石	長さ 6.45 幅 5.35 厚さ 4.2	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	包含層・Ⅰ区西	重量158g 砂岩
	912	石器	磨石	長さ 14.0 幅 6.5 厚さ 3.6	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	包含層	重量484g
	913	石器	台石	長さ 17.5 幅 15.1 厚さ 4.3	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	包含層	重量1200g 敲石としても使用
	914	石器	打製石斧	口径 5.4 底径 5.0 器高 1.5	頭部片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	Ⅱ区遺構検出時	重量54.0g 安山岩
	88	915	石器	剥片	長さ 幅 厚さ	剥片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	3号竪穴住居址
916		石器	剥片	口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue	3号竪穴住居址	重量0.2g
917		石器	石鏃	口径 底径 器高	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	72号溝	重量0.6g
918		石器	石核	長さ 2.1 幅 2.55 厚さ 2.2	完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	32号?	重量13.1g 黒曜石
	919	種子		口径 底径 器高	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	重量0.4g
	920	布片	刀子	口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue	250号土壌墓	重量0.1g 副葬刀子付着
	921	鉄滓		口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue	5号竪穴住居址・Na109	重量15.6g
	922	骨	馬の骨	口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue	95号(4号溝内)・骨3	

1. (医病) 病棟 (軸) 新営工事に伴う発掘調査 (9901調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)			残存量	出土遺構	備考
				長さ	幅	厚さ			
	923	石器	剥片	長さ 1.8	幅 1.69	厚さ 0.19		50988	重量0.4g・黒曜石
	924	石器	原石	長さ 1.92	幅 1.48	厚さ 0.82		II区	重量2.4g・黒曜石
	925	石器	剥片	長さ 2.4	幅 1.98	厚さ 1.26		1号溝	重量5.3g・黒曜石
	926	石器	原石	長さ 1.37	幅 1.21	厚さ 1.11		1号溝	重量2.2g・黒曜石
	927	石器	剥片	長さ 2.39	幅 1.17	厚さ 0.32		1号溝	重量0.7g・黒曜石
	928	石器	剥片	長さ 2.54	幅 1.81	厚さ 0.46		3号竪穴住居址	重量2.8g・黒曜石
	929	石器	使用痕のある剥片	長さ 1.95	幅 1.19	厚さ 0.39		4号溝	重量0.8g・黒曜石
	930	石器	使用痕のある剥片	長さ 2.98	幅 3.02	厚さ 1.11		4号溝	重量7.6g・黒曜石
	931	石器	剥片	長さ 1.23	幅 1.12	厚さ 0.23		4号溝	重量0.3g・黒曜石
	932	石器	使用痕のある剥片	長さ 3.16	幅 1.72	厚さ 0.5		4号溝	重量2.4g・黒曜石
	933	石器	加工痕のある剥片	長さ 2.98	幅 2.2	厚さ 1.13		4号溝	重量6.2g・黒曜石
	934	石器	使用痕のある剥片	長さ 2.75	幅 2.34	厚さ 0.73		4号溝	重量3.6g・黒曜石
	935	石器	剥片	長さ 2.09	幅 1.41	厚さ 0.53		5号竪穴住居址	重量1.3g・黒曜石
	936	石器	剥片	長さ 2.64	幅 1.54	厚さ 0.34		5号竪穴住居址	重量1.2g・黒曜石
	937	石器	剥片	長さ 1.86	幅 1.01	厚さ 0.74		16号溝	重量1.5g・黒曜石
	938	石器	剥片	長さ 2.83	幅 2.23	厚さ 0.44		32号?	重量2.4g・黒曜石
	939	石器	剥片	長さ 1.71	幅 1.2	厚さ 0.54		34号溝状遺構	重量1.1g・黒曜石
	940	石器	剥片	長さ 3.69	幅 1.83	厚さ 0.35		35号竪穴住居址	重量2.3g・安山岩
	941	石器	剥片	長さ 2.83	幅 2.19	厚さ 0.35		35号竪穴住居址	重量2.1g・黒曜石
	942	石器	剥片	長さ 1.21	幅 1.25	厚さ 0.33		35号竪穴住居址	重量0.7g・黒曜石
	943	石器	剥片	長さ 1.83	幅 1.45	厚さ 0.2		35号竪穴住居址	重量0.6g・黒曜石
	944	石器	剥片	長さ 2.47	幅 1.79	厚さ 0.3		35号竪穴住居址	重量1.4g・安山岩
	945	石器	剥片	長さ 3.11	幅 2.48	厚さ 0.73		35号竪穴住居址	重量4.6g・黒曜石
	946	石器	剥片	長さ 1.88	幅 0.9	厚さ 0.34		35号竪穴住居址	重量0.6g・黒曜石
	947	石器	剥片	長さ 2.67	幅 0.89	厚さ 0.42		35号竪穴住居址	重量1.0g・黒曜石
	948	石器	剥片	長さ 1.22	幅 0.95	厚さ 0.13		35号竪穴住居址	重量0.3g・黒曜石
	949	石器	剥片	長さ 1.63	幅 1.28	厚さ 0.31		35号竪穴住居址	重量0.6g・黒曜石
	950	石器	剥片	長さ 2.38	幅 1.43	厚さ 0.71		35号竪穴住居址	重量2.5g・黒曜石
	951	石器	剥片	長さ 1.25	幅 0.85	厚さ 0.3		37号溝	重量0.3g・黒曜石
	952	石器	原石	長さ 1.21	幅 1.08	厚さ 0.64		37号溝	重量1.1g・黒曜石
	953	石器	剥片	長さ 1.9	幅 1.76	厚さ 0.71		52号竪穴住居址	重量2.1g・黒曜石
	954	石器	剥片	長さ 2.22	幅 1.23	厚さ 0.22		52号竪穴住居址	重量0.5g・黒曜石
	955	石器	剥片	長さ 2.01	幅 1.67	厚さ 0.4		52号竪穴住居址	重量1.7g・黒曜石
	956	石器	剥片	長さ 1.95	幅 1.53	厚さ 0.2		52号竪穴住居址	重量0.9g・黒曜石
	957	石器	剥片	長さ 2.88	幅 2.12	厚さ 0.51		52号竪穴住居址	重量3.4g・黒曜石
	958	石器	剥片	長さ 2.01	幅 1.3	厚さ 0.37		52号竪穴住居址	重量1.2g・黒曜石
	959	石器	剥片	長さ 1.4	幅 1.29	厚さ 0.65		52号竪穴住居址	重量0.8g・黒曜石
	960	石器	剥片	長さ 3.09	幅 2.87	厚さ 0.99		52号竪穴住居址	重量8.1g・黒曜石
	961	石器	剥片	長さ 1.55	幅 0.87	厚さ 0.57		52号竪穴住居址	重量0.7g・黒曜石
	962	石器	剥片	長さ 3.23	幅 1.53	厚さ 0.42		57号溝	重量3.2g・蛇紋岩
	963	石器	剥片	長さ 2.77	幅 2.25	厚さ 0.78		57号溝	重量4.7g・黒曜石
	964	石器	剥片	長さ 2.89	幅 1.51	厚さ 0.47		57号溝	重量2.2g・黒曜石
	965	石器	剥片	長さ 2.19	幅 1.61	厚さ 0.59		4号溝 (M70)	重量2.0g・黒曜石
	966	石器	剥片	長さ 3.27	幅 1.52	厚さ 0.67		72号溝	重量3.4g・黒曜石
	967	石器	剥片	長さ 2.8	幅 2.62	厚さ 0.86		72号溝	重量3.2g・黒曜石
	968	石器	剥片	長さ 2.55	幅 2.29	厚さ 0.65		72号溝	重量4.3g・黒曜石
	969	石器	剥片	長さ 4.02	幅 2.64	厚さ 1.02		72号溝	重量9.2g・黒曜石
	970	石器	剥片	長さ 4.0	幅 2.2	厚さ 1.11		72号溝	重量8.9g・黒曜石
	971	石器	剥片	長さ 4.93	幅 2.74	厚さ 0.71		72号溝	重量11.6g・黒曜石
	972	石器	剥片	長さ 3.01	幅 2.13	厚さ 0.56		77号ピット?	重量3.6g・黒曜石
	973	石器	剥片	長さ 2.55	幅 1.9	厚さ 0.23		80号竪穴住居址	重量1.3g・黒曜石
	974	石器	剥片	長さ 2.54	幅 2.11	厚さ 0.43		92号竪穴住居跡	重量2.3g・黒曜石
	975	石器	剥片	長さ 2.12	幅 1.68	厚さ 0.69		98号ピット?	重量2.7g・黒曜石
	976	石器	剥片	長さ 3.08	幅 1.42	厚さ 1.07		100号ピット?	重量3.2g・黒曜石
	977	石器	剥片	長さ 2.61	幅 2.37	厚さ 0.64		100号ピット?	重量3.6g・黒曜石
	978	石器	剥片	長さ 3.38	幅 1.68	厚さ 0.58		113号竪穴住居址	重量2.8g・黒曜石
	979	石器	剥片	長さ 3.18	幅 1.47	厚さ 0.35		114号竪穴住居址	重量1.5g・黒曜石
	980	石器	剥片	長さ 2.32	幅 1.99	厚さ 0.57		118号ピット	重量2.6g・黒曜石
	981	石器	原石	長さ 1.92	幅 1.56	厚さ 1.3		502号掘立柱建物 (202号ピット)	重量4.4g・黒曜石
	982	石器	剥片	長さ 1.96	幅 1.56	厚さ 0.45		291号竪穴住居址	重量1.1g・黒曜石
	983	石器	剥片	長さ 3.41	幅 1.63	厚さ 1.38		358号溝	重量7.6g・黒曜石
	984	石器	石核	長さ 2.05	幅 1.03	厚さ 0.66		358号溝	重量1.2g・黒曜石
	985	石器	チップ	長さ 1.54	幅 1.28	厚さ 0.29		362号竪穴	重量0.5g・黒曜石
	986	石器	使用痕のある剥片	長さ 2.84	幅 3.07	厚さ 0.94		366号土坑	重量8.1g・黒曜石
	987	石器	剥片	長さ 1.32	幅 1.44	厚さ 0.35		367号竪穴住居址	重量0.7g・黒曜石
	988	石器	チップ	長さ 1.0	幅 0.52	厚さ 0.07		攪乱・4号溝横断マンガン溜り	重量 (計測不能)・黒曜石
	989	石器	剥片	長さ 0.94	幅 1.97	厚さ 1.05		攪乱	重量2.5g・黒曜石
	990	石器	剥片	長さ 1.57	幅 2.36	厚さ 0.41		攪乱	重量1.6g・黒曜石
	991	石器	剥片	長さ 1.2	幅 1.3	厚さ 1.18		包含層?	重量1.4g・黒曜石
	992	石器	剥片	長さ 1.55	幅 1.21	厚さ 0.27		包含層?	重量0.4g・黒曜石
	993	石器	剥片	長さ 2.75	幅 1.72	厚さ 0.43		包含層?	重量1.9g・黒曜石
	994	石器	剥片	長さ 3.14	幅 2.25	厚さ 0.59		包含層?	重量3.9g・黒曜石
	995	石器	剥片	長さ 1.95	幅 1.17	厚さ 0.82		下層	重量2.1g・黒曜石

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (c m)			残存量	出土遺構	備考
				長さ	幅	厚さ			
	996	石器	石核	長さ 1.16	幅 1.27	厚さ 1.17		下層	重量2.1g・黒曜石
	997	石器	剥片	長さ 2.07	幅 1.98	厚さ 0.46		下層	重量2.1g・黒曜石
	998	石器	剥片	長さ 2.16	幅 0.84	厚さ 0.25		51010	重量0.4g・黒曜石
	999	石器	剥片	長さ 1.14	幅 2.17	厚さ 0.72		50570	重量2.4g・黒曜石
	1000	石器	剥片	長さ 2.97	幅 1.22	厚さ 0.42		50897	重量1.1g・黒曜石
	1001	石器	剥片	長さ 3.87	幅 2.94	厚さ 1.14		50989	重量10.4g・黒曜石
	1002	石器	剥片	長さ 4.27	幅 3.36	厚さ 0.94		51018	重量9.0g・黒曜石
	1003	石器	剥片	長さ 1.91	幅 1.25	厚さ 1.05		包含層・I区西側	重量3.0g・黒曜石
	1004	石器	加工痕のある剥片	長さ 1.02	幅 2.15	厚さ 0.74		包含層・I区西側	重量1.7g・黒曜石
	1005	石器	加工痕のある剥片	長さ 2.77	幅 2.36	厚さ 0.54		包含層・I区西側	重量3.9g・黒曜石
	1006	石器	加工痕のある剥片	長さ 2.38	幅 1.91	厚さ 0.43		包含層・I区西側	重量2.0g・黒曜石
	1007	石器	剥片	長さ 1.83	幅 1.73	厚さ 0.64		包含層・I区西側	重量2.4g・黒曜石
	1008	石器	剥片	長さ 3.06	幅 2.39	厚さ 0.76		包含層・I区西側	重量5.0g・黒曜石
	1009	石器	剥片	長さ 1.59	幅 1.28	厚さ 0.75		包含層・I区西側	重量1.8g・黒曜石
	1010	石器	剥片	長さ 1.64	幅 1.17	厚さ 0.96		包含層・I区西側	重量2.3g・黒曜石
	1011	石器	剥片	長さ 1.15	幅 0.76	厚さ 0.08		包含層・I区西側	重量0.1g・黒曜石
	1012	石器	剥片	長さ 1.24	幅 1.43	厚さ 0.29		包含層・I区西側	重量0.4g・黒曜石
	1013	石器	加工痕のある剥片	長さ 1.54	幅 1.22	厚さ 0.24		包含層・I区西側	重量0.4g・黒曜石
	1014	石器	剥片	長さ 1.57	幅 1.27	厚さ 0.19		包含層・I区西側	重量0.5g・黒曜石
	1015	石器	原石	長さ 2.41	幅 1.56	厚さ 0.54		包含層・I区西側	重量2.1g・黒曜石
	1016	石器	加工痕のある剥片	長さ 2.26	幅 1.81	厚さ 0.46		包含層・I区西側	重量1.7g・黒曜石
	1017	石器	剥片	長さ 1.81	幅 1.45	厚さ 0.24		包含層・I区西側	重量0.5g・黒曜石
	1018	石器	使用痕のある剥片	長さ 2.39	幅 2.17	厚さ 1.04		包含層・I区西側	重量6.7g・黒曜石
	1019	石器	剥片	長さ 4.61	幅 3.79	厚さ 0.46		包含層・I区西側	重量7.0g・黒曜石
	1020	石器	剥片	長さ 3.35	幅 2.32	厚さ 0.62		包含層・I区西側	重量6.8g・黒曜石
	1021	石器	加工痕のある剥片	長さ 3.8	幅 3.07	厚さ 1.1		包含層・I区西側	重量14.6g・黒曜石
	1022	石器	加工痕のある剥片	長さ 5.48	幅 4.27	厚さ 0.66		包含層・I区西側	重量10.8g・黒曜石
	1023	石器	剥片	長さ 1.57	幅 2.38	厚さ 0.5		包含層	重量1.5g・黒曜石
	1024	石器	剥片	長さ 2.15	幅 1.69	厚さ 1.21		包含層	重量5.8g・黒曜石
	1025	石器	剥片	長さ 1.32	幅 1.65	厚さ 0.69		包含層	重量1.7g・黒曜石
	1026	石器	剥片	長さ 3.83	幅 3.07	厚さ 1.11		包含層	重量12.2g・黒曜石
	1027	石器	剥片	長さ 3.76	幅 2.63	厚さ 0.42		包含層	重量4.5g・黒曜石





## IV 本莊中地区の調査



## 1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）

### （1）調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

本庄遺跡は熊本大学医学部の敷地を中心として、東西約850m、南北約530mに広がる奈良・平安時代を中核とする集落遺跡で、本調査地点は本庄遺跡の一画に位置する。遺跡の北西側には白川が流れ、南東側には渡鹿堰二の井手用水路が通っている。地形的には白川流域に発達した自然堤防上に立地している（新熊本市史編纂委員会1998）。東には大江遺跡群が隣接し、北東約370mには新屋敷遺跡群があり、奈良・平安時代を中心とする遺構が多数検出されている（網田1993他）。

今回の調査は、医学部基礎研究棟B棟（以下B棟と記述）のとりこわし工事に伴う発掘調査である。B棟は地下室を有する建物であるが、本調査地点の北東側の9801調査地点および南側の9511地点（図89）では古墳時代から奈良・平安時代の集落や近世以降の大溝が発見され、B棟東半の解体工事に伴う発掘調査（0314調査地点）では基礎の間に遺構が見つかったので、今回の調査地点でも建物基礎の間に遺構が存在している可能性が考えられた。そこで建物上物および地下室基礎上面まで撤去した後、2012年6月19日より、熊本市の指導に基づき、基礎解体工事の掘削に際して立会調査を行っていた。立会調査を実施している過程で、6月25日、基礎掘削部の間の砂質土を掘り込んだ遺構の存在が確認された。そこで熊本市文化振興課に連絡をし、許可を得た後、立会調査を発掘調査に切り替え、基礎解体工事の掘削立会と並行して、発掘調査を行った。調査面積は756㎡である。なお本調査は2012年6月25日付け熊大施企第102号により熊本市経由、熊本県教育長宛て埋蔵文化財発掘調査届出書を提出し、熊本県教育長からの発掘調査についての通知（7月18日付け教文第841号）に基づいて実施した。

#### b. 調査の経過

- 2012年6月25日 発掘調査開始。遺構検出を行い、ピットの調査も実施。
- 2012年7月2日 作業員を投入して溝の掘削を開始。
- 2012年7月9日 作業員を増員。遺構測量を開始。
- 2012年7月12日 全景写真撮影。測量終了。
- 2012年7月18日 調査区北東部（北4区）の補足調査を実施。溝を掘削。
- 2012年7月19日 調査区北東部の溝の測量、写真撮影。発掘調査終了。

#### c. 調査の組織

調査員：松田光太郎

事務担当：村田知聖

発掘作業員：岡元美子・栗崎 強・菊池フミヨ・後藤まや・関 律子・古川昌子・松永一代・宮田 義則

整理作業員：井上裕美・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗

1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）

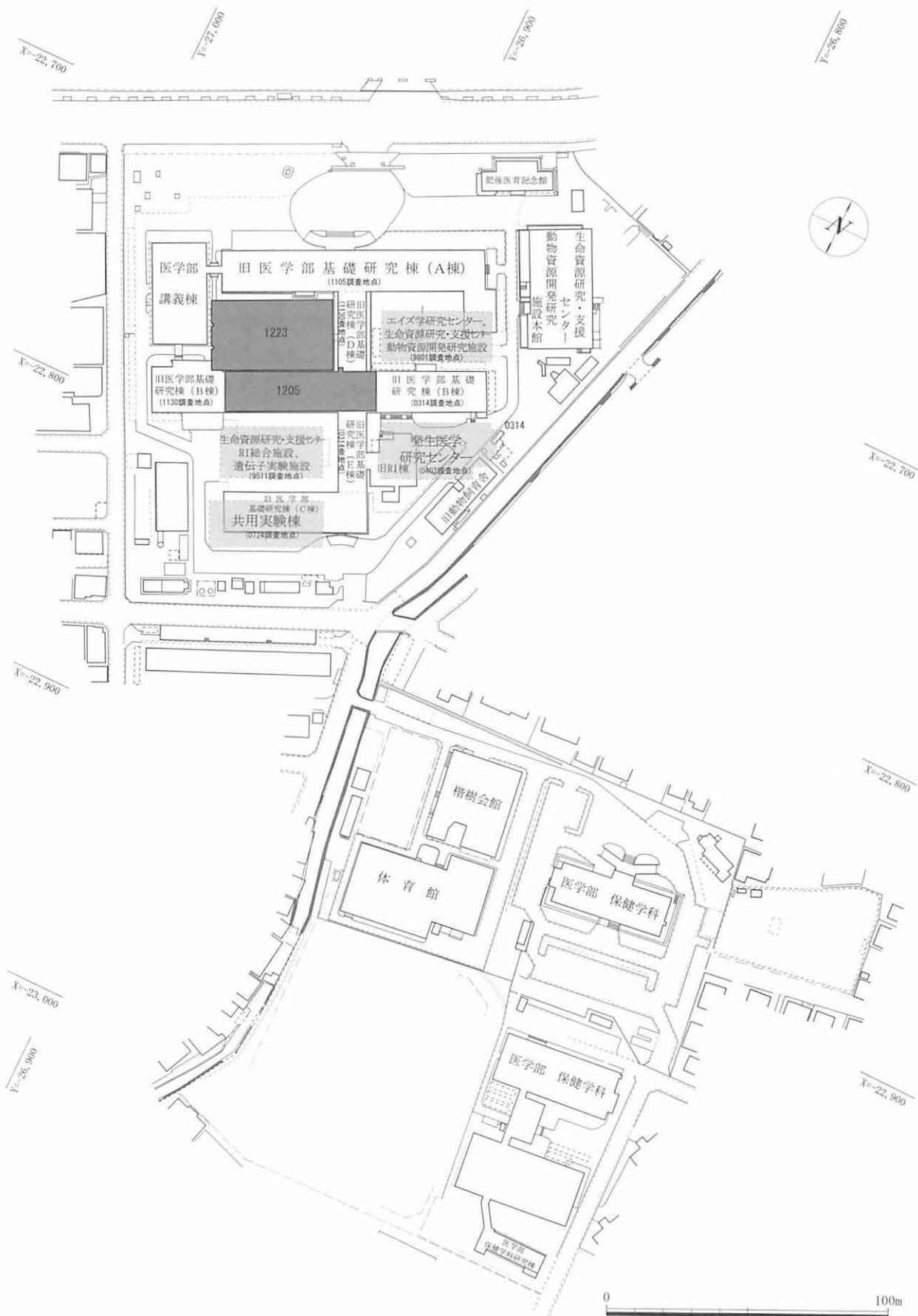


図89 本荘中地区における調査地点配置図 (1/2000)

## (2) 測量基準点の設定と測量方法

熊本大学黒髪団地他敷地測量業務（平成20年）成果簿に記載された本荘団地（中地区）基準点座標の既設基準点 T-28 を器械点とし、同 T-29 を後視点として、新設点 A を設定した。次に新設点 A を器械点、T-28 を後視点として、新設点 B を設定した。続いて新設点 B を器械点、新設点 A を後視点として新設点 C1 を測量した。この新設点 C1（図90、北15区北西隅）は調査区北西隅の柱（コンクリート）上で、かつ調査区外周をなす北壁面・西壁面の延長線の交点に当たる。調査内の測量はこの新設点 C1 を基準点として行った。また水準点は T-28 の標高から移設した。

調査区は長方形をしており、調査区西壁面・南壁面・東壁面・北壁面の成す残り3つの交点（C2・C3・C4）を測量し、調査範囲とした（図90）。調査区内の遺構は調査区の四面の壁面と、調査区内を方形に仕切る梁（コンクリート製）の中軸線を基準線とし、手測量で記録した。調査区は梁によって南北3個、東西15個に区分されるので、北1区、中2区、南15区などと呼称した（図90）。

なお遺構配置図については、各区の大きさは全部同じものと想定し、遺構測量を行ったが、区の大きさが実際と異なる部分があることが整理作業中に判明した。基礎図面を参考として、遺構実測図を当てはめた。そのため、縦横比・大きさには弱干のゆがみが生じた。遺構の位置関係は相対的なものである。

表8 1205調査地点基準点座標一覧表（世界測地系）

点名	X座標	Y座標	標高(m)
T-28	-22801.400	-26963.364	13.664
T-29	-22805.860	-26933.506	
A	-22751.985	-26952.785	
B	-22773.159	-26939.051	
C1	-22775.118	-26941.416	13.708
C2	-22787.644	-26935.226	

## (3) 調査区の基本層序

建物基礎掘削により地表下1.8mまで削平されていた。削平面下には黄褐色の砂質土が存在し、この砂質土を掘り込んで遺構が検出された。この砂質土の下位は灰黄褐色～灰色の砂層へ移行し、砂層の下部には一部硬く岩盤化した部分もあった。

## (4) 検出遺構

溝4条とピット5基が検出された。

### <溝>

#### 1号溝（図91・92）

調査区を北東から南西にかけて斜めに横断する形で検出された。存在するのは北4区から南13区にかけてである。主軸方位はN-35°-Eである。最大幅4.2m、長さ36.2m、深さは最深部で0.6mを測る。建物基礎の分断により、大きく3箇所に分かれて検出されたが、走行が連続するため、一連の溝として把握した。底面は最深部を中心として東西両側に浅いテラスをもつ状況となっていた。

東側テラスは北5区で幅0.9m・北4区で幅2m以上と、北部で幅広く存在した。中7区中央の南東側にも溝の覆土が薄く存在したため、中7区でも幅約1mあったと推測される。南部では東側テラスは幅狭くなり、南9区では幅約0.3mであった（図91土層断面図C-C'参照）。

西側テラスは下段・上段の2段が認められ、東側テラスより幅広い。西側下段テラスは北5区で幅

1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）

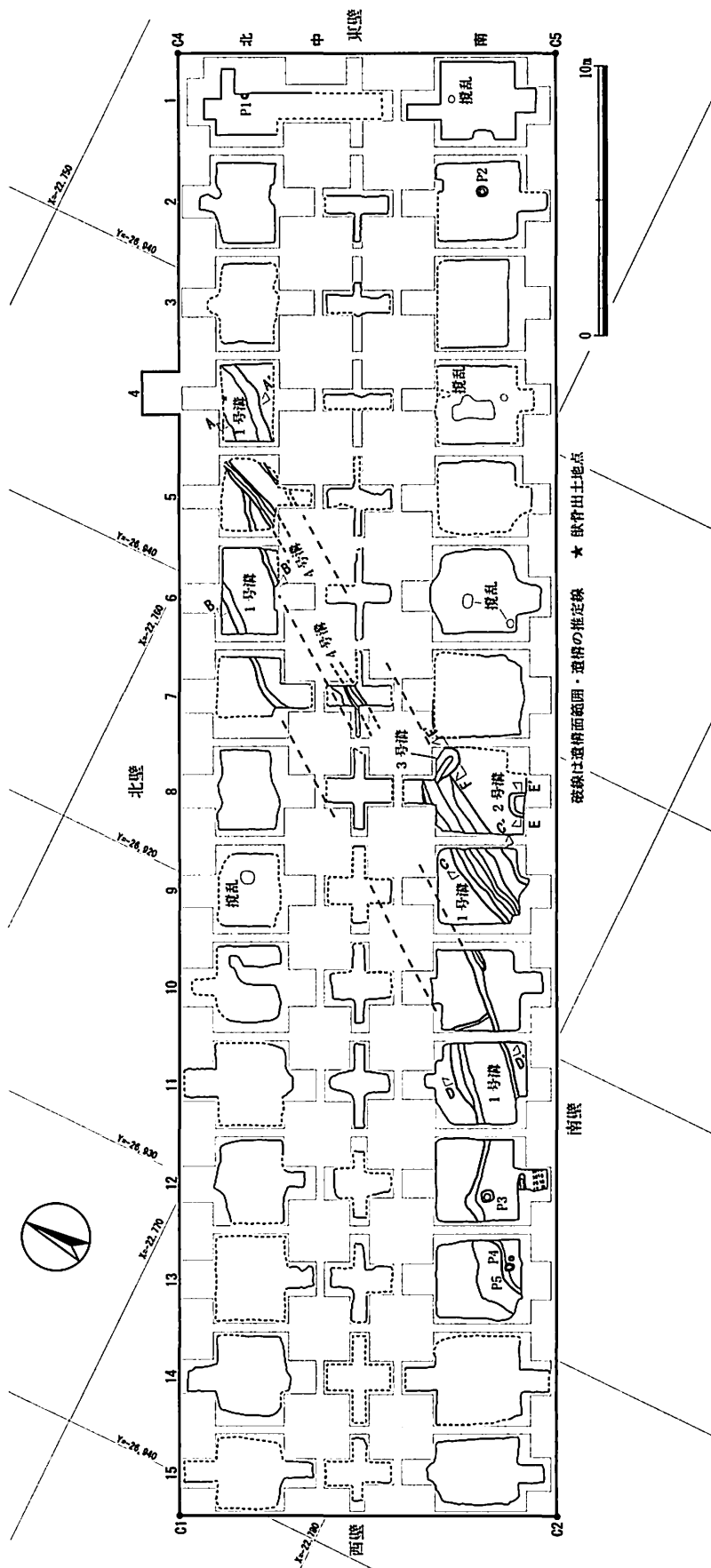
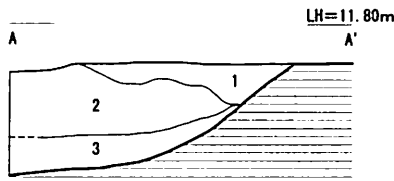


図90 1205調査地点遺構配置図 (1/250)

0.6m、南9・10区では幅2.0m、南部で幅広く、南11区まで連続していた。南12区南端に幅狭い溝状の落ち込みが存在した。これも西側下段テラスのつながりである可能性がある。西側上段テラスは北5～7区で幅1m、南部では南10区西際以西に幅約2.1～2.6mの浅い溝が存在したが、南10区北側にも薄く溝の覆土が存在したため、これは北部の西側上段テラスに連結すると推測される。南10区北側の地山(砂質土)は底面直下なのであろう。西側テラス下段と上段の新旧関係は不明瞭であった<sup>(1)</sup>。テラスの底面は鉄分が集中し硬く変質した部分があった(図91土層断面図C-C' 4層)。水が流れていたためではないかと判断される。

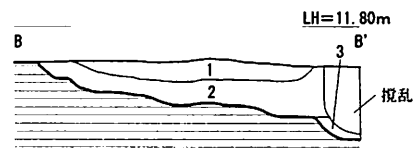
覆土は暗褐色土(10YR3/3)で、何層かの砂質土のラミナが存在した。溝は時に氾濫しながら、徐々に埋没していったと推測される。溝の底面は南部の方が0.1m程低いため、水は緩やかに南に向かって流れていたようである。

1号溝



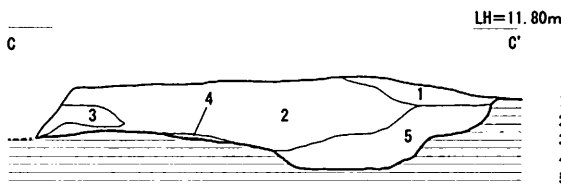
- 1層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 2層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 3層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

1号溝



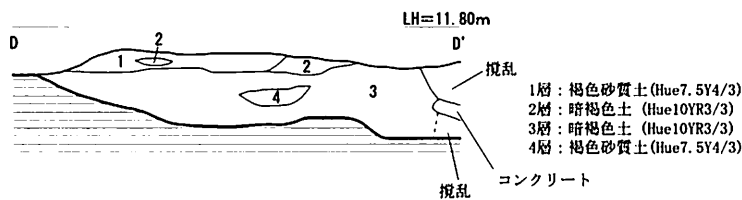
- 1層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 2層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 3層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

1号溝



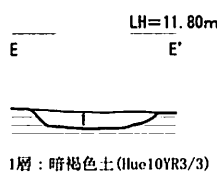
- 1層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 2層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 3層: 褐色砂質土 (Hue7.5YR4/3)
- 4層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 5層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

1号溝



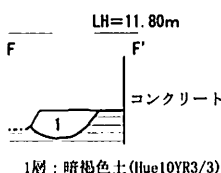
- 1層: 褐色砂質土 (Hue7.5Y4/3)
- 2層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 3層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)
- 4層: 褐色砂質土 (Hue7.5Y4/3)

2号溝



- 1層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

3号溝



- 1層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)



図91 1・2・3号溝土層断面図 (1/50)

北4区では覆土からウマの下顎骨および臼歯が出土した（図90、図版71写真146）。後述する出土遺物の主体的時期からみて、溝は16世紀末から17世紀を中心とする時期に帰属すると判断される。

### 2号溝（図90・91）

調査区南東部の南8区に存在する。主軸方位はN-21°-Wである。幅0.9m、長さ0.6mで、深さは最深部で12cm。覆土は暗褐色土（10YR3/3）であった。1号溝との間には地山（砂質土）上に溝の覆土と同じ暗褐色土が点在したことから、2号溝は1号溝と接続していたと推測される。覆土が1号溝と類似することから、1号溝と同様近世の所産と判断される

### 3号溝（図90・91）

調査区南東部の南8区に存在する。主軸方位はN-81°-Wで、1号溝と直交に近い角度で交わる。幅0.8m、長さ1.4m、深さは最深部で0.28mあった。覆土は暗褐色土（10YR3/3）が堆積していた。覆土が1号溝の覆土と類似していたため、1号溝との新旧関係は不明瞭であった。溝は、1号溝との接続部分では西側に向かって傾斜していた。南7区で検出されなかったのは、南7区の遺構確認面がやや低かったためかもしれない。遺物は出土しておらず、時期比定は難しいが、覆土が1号溝と類似することから、本溝は1号溝と同様近世の所産と判断される。

### 4号溝（図90）

北5区・中7区に存在する。1号溝の底面の下に、深さ0.15~0.2m、幅0.5mの溝が存在した。1号溝と同様、北東から南西に向かって連なっている。1号溝との新旧関係は判然としなかったが、1号溝の上面ではプランがとらえられなかったので、1号溝より古い可能性がある。

この他南7区において、黄褐色の砂質土の上面が硬化した部分が確認された。規模は幅0.6m・長さ2.0m、幅1.0m・長さ1.4mで、2箇所の硬化部分がN-27°-W方向に延び、連なっていた。溝の下底部の可能性はある。

### <ピット>

調査区の北東部に2基（1・2号ピット）、南部に3基（3~5号ピット）確認した。覆土は1・2号ピットが黒褐色土（10YR2/2）、3~5号ピットは暗褐色土（10YR3/3）である。1号ピットは東半分を攪乱により壊され、3~5号ピットは1号溝と重複していた。

平面規模の大きいものは柱穴と判断されるが、小さいものの性格は不明である。

遺物が出土しなかったことから時期は特定できなかったが、隣接する9511調査地点では、黒褐色土は奈良・平安時代の遺物を多く含むと報告されていることから、黒褐色土の覆土をもつ1・2号ピットは奈良・平安時代の所産と判断される。

表9 1205調査地点検出ピット一覧表

番号	出土位置	平面形	平面規模 (cm)	深度 (cm)	覆土	備考
1号ピット	北1区	円形	25	19	10YR 2/2	出土遺物なし
2号ピット	南2区	円形	38×35	18	10YR 2/2	出土遺物なし
3号ピット	南12区	隅丸方形	45×40	26	10YR 3/3	出土遺物なし
4号ピット	南13区	円形	20×19	6	10YR 3/3	出土遺物なし
5号ピット	南13区	楕円形	37×31	8	10YR 3/3	出土遺物なし

### (5) 出土遺物（図92・93：1~41）

遺物のほとんどは1号溝からの出土である。1号溝と4号溝は調査時は共に1号溝として遺物を取



り上げたので、北5区・中7区の1号溝出土遺物中には4号溝から出土したものも含まれる可能性がある。また南12区出土遺物は発掘時の取り上げミスにより、出土層位を明らかにし得ない。出土量は浅コンテナ1箱分である。土器・陶磁器・土製品・金属製品を図示したが、その他には鉄滓2点(84.0g 椀形滓(図版76)、30.8g)とウマの下顎骨および臼歯(図版71写真146)が1号溝から出土している。

#### 1号溝出土遺物(図92: 1~32、図93: 33~36・40・41)

古墳時代後期から奈良・平安時代の遺物と近世の遺物が多く出土した。

図92: 1~6は土師器である。1~3は坏で、1は口縁部片、2・3は底部片である。1は緩やかに湾曲する器形をなし、外面に手持ちケズリを施している。手持ちケズリの存在から7世紀中葉・後葉の所産と判断される。2は平底で、高台を有するものであるが、高台径が小さいため、9世紀代の所産と判断される。同時期と思われる高台付の土師器坏がこの他に1点出土している。3は平底で、底面にヘラ切痕をもつ。浅い器形と思われ、8世紀後葉~9世紀初の所産に類似する。4は高坏の底部片である。内面にミガキが施され、内外面とも赤彩が施されている。赤彩の施された高坏脚部はこの他に1点出土している。5は甕の底部で、底面に回転糸切痕がある。12世紀以降の所産である。6は甕の把手で、外面に粗いハケ目、内面に縦位の削りが施されている。詳細な時期は不明。

図92: 7~18は須恵器である。7・8は蓋である。7・8とも扁平で、口縁端は短く屈折する。7は扁平化が進んでいるので8世紀中葉~後葉、8は扁平化が極度に進んでいるので8世紀後葉~9世紀初と判断される。9は坏である。口縁部は内側に傾き、蓋受けの突出をもっている。口径は10cmであり、7世紀前葉の所産である。10・11は高台をもつ坏の底部である。10は底面角に断面四角形の高台が付くことから、8世紀前葉・中葉の所産と判断される。11は皿の可能性のある扁平な器体をもっており、8世紀後半から9世紀初の所産と判断される。12は高坏の脚部片である。長い脚部をもち、外面にはカキ目を施文している。13~18は外反する口縁部、括れる頸部、球状の胴部をもつもので、壺ないし甕と判断される。13は口縁部片、14は頸部片で、共に横位の波状文を施文している特徴がある。15は屈折する頸部をもち、胴部上部外面にかすかなタタキ痕を有している。16は小形の壺と推測されるもので、外面にカキ目、内面にタタキ痕をもっている。17・18は内外面にタタキ痕をもつ大形の甕と判断されるもので、17は同心円、18は平行のタタキ痕を内面にもっている。甕の破片は図示したもの以外にも少量出土している。

図92: 19は中国の同安窯系青磁碗である。内湾気味に開く口縁部を有し、器厚は薄く、色は7.5Y6/2(灰オリーブ)を呈する。無文であり、12世紀中葉から後葉の碗Ⅱ類(山本2000)と思われる。

図92: 20・21は布目痕をもつ平瓦の破片である。凸面に縄目タタキ痕を有し、凹面に布目痕をもっている。布目瓦はこの他に4点、小破片が出土している。

図92: 22は瓦質土器の鉢である。やや内湾する口縁をもち、口縁部は肥厚し、上端が平坦面をなす。口縁下2.5cmの所に断面三角形の隆帯を横位に巡らせ、区画する。区画内には刺突による花卉状の文様が描かれている。

図92: 23は中国龍泉窯系青磁碗。底部は厚く、高台は断面四角形をなす。釉薬は高台内面を除き、畳付部分も含め、やや厚く施されている。14世紀後葉から15世紀初頭の所産と考えられる。この他、鎚蓮弁文の小破片も1点出土している。

図92: 24~31、図93: 33~36は肥前系の陶器である。24・25は灰釉(10Y6/1灰色、7.5Y6/2灰オリーブ)を施した陶器で、24が皿・25が碗である。釉薬は見込みと外面上半に限定して施され、高台は無施釉。24は高台内面中央が円錐状に突出し、見込みには砂目が付いている。17世紀前半の所産。

1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）

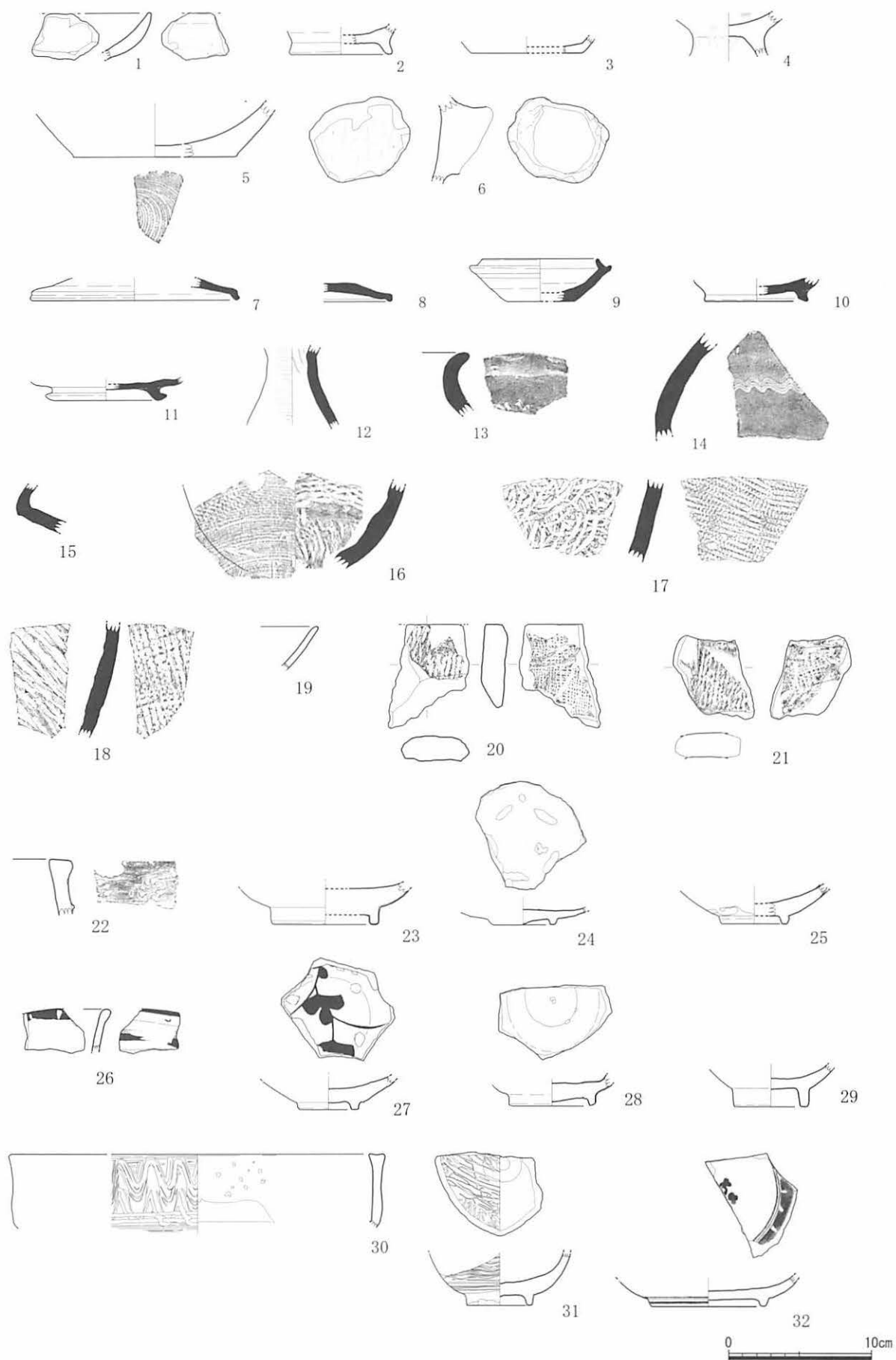


図92 1205調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

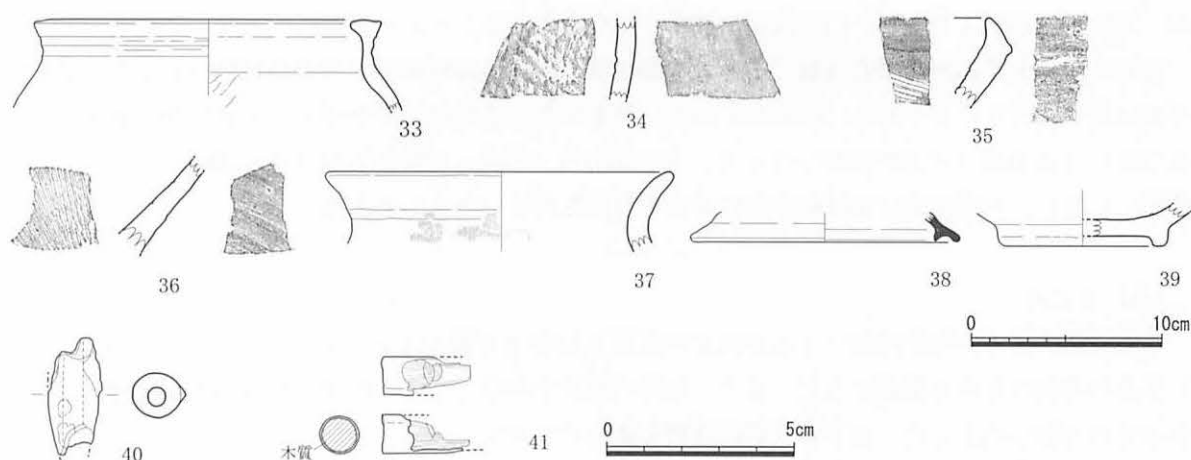


図93 1205調査地点出土遺物実測図2 (1/4・1/2)

26・27は鉄絵をもつもの。26は碗で、口縁内外面を黒く帯状に塗っている。27は皿で、見込みに段を有し、花卉状の文様を描いている。段部には胎土目が残っている。16世紀末から17世紀初頭の所産。28・29は青緑釉を施した碗である。28は断面四角形でやや外側に開く高台をもつ。釉薬は2.5GY6/1（オリーブ灰）で、比較的厚く施されるが、畳付け・高台内部および見込み中央は無施釉である。見込みの釉薬境界部には長さ2～3mm・幅1mmの小さな目跡が2個1対で残っている。見込み中央は凹んでいる。29は断面方形の長い高台を有するもの。釉薬は内外面で色調が異なり、内面は7.5Y4/2（灰オリーブ）、外面は7.5GY3/1（暗緑灰）。畳付けを除き、全面施釉されている。30は銅顔料と鉄顔料で施文した二彩の鉢。外面は横位縞状の釉薬の上に、白化粧土を用いた刷毛目と銅顔料を用いた櫛目により波状の文様を描いている。内面は褐色の素地をもつが、口縁上面から口縁下にかけて鉄釉が施文されている。胴部中段に屈曲をもっている。17世紀から18世紀前半の所産である。31は刷毛目をもつ碗である。釉薬は畳付けを除き全面に施文され、外面に白化粧土を用いた波状文、内面に打ち刷毛目を施している。17世紀後半～18世紀の所産。

図93：33・34は甕である。33は小形の甕。内外面に突出する肥厚口縁をもち、弧状に膨らむ口縁上面はほぼ水平となる。口縁端部には斜めの小刻みが施される。内面には工具を当てたと思われる斜めの痕跡が認められる。色調は内外面とも2.5YR4/2（灰赤）を呈する。34は甕の胴部片。器厚はやや厚手で、内面にタタキ痕を有している。33・34とも17世紀の所産である。

図93：35・36は播鉢である。35は口縁部が内側に屈折し、屈折部がやや下に張り出す特徴をもつ。播り目の脇に余白があるため、播り目はやや間隔をあけた施文であったと思われる。16世紀末～17世紀の所産。36は播鉢胴下部の破片のため、播り目は密集し、交差している。

図92：32は肥前系の磁器染付皿である。見込みにはコンニャク印判による五弁花をもつ。17世紀末～18世紀の所産である。

図93：40は土錘である。紡錘形の管状土錘で、中心に貫通する孔を有している。両端を欠損し、器面には灰色の付着物が存在する。41はキセルである。金属の管部分と木質の羅宇が残存していた。金属部分は断面が正円形をなす。径は小口と反対側がやや小さくなっている。小口付近のみのため雁首か吸い口か判断できなかった。金属部分には接合痕があり、鍛造であることがわかる。

#### 出土層位不明遺物（図93：37～39）

図93：37は土師器の甕である。口縁が強く外反し、頸部以下に縦位のハケ目が施されている。図

94：38は須恵器の蓋である。口縁内面に身受けの突出があることから6世紀の所産と判断される。

図93：39は中国越州窯系青磁碗である。底部は厚く、高台は断面四角形の輪状高台をなす。高台部外側は粗いケズリにより斜めに削られている。釉薬は高台畳付け部分を除き、全面に施されている。見込みには重ね焼きの目跡が付いている。色は5Y6/3（オリーブ黄）を呈する。碗Ⅰ類2aエ（山本前掲）に属し、8世紀末～10世紀中葉にかけて製作されていたものである。

## （6）まとめ

今回の調査地では既存建物による攪乱が地表面下1.8mまで及んでいたが、その直下で溝3条、ピット5基の遺構の存在を確認できた。また1号溝の覆土を中心として、古墳時代後期から中世、近世にかけての遺物が出土した。以下時代別の様相をまとめておく。

### 古墳時代後期・奈良・平安時代

遺構は該期の可能性のあるピット2基（1・2号ピット）が存在した以外、存在しなかった。しかし古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての遺物が近世の溝（1号溝）の覆土から出土した。隣接する9511地点や9801調査地点では古墳時代後期から9世紀前半にかけての竪穴住居址や溝が複数検出されており、同時期の集落が確認されている。本調査地点は地表下1.8mまで削平されていたが、そうでなければ、該期の竪穴住居址などの遺構が存在していたと推測される。

### 中世

本調査地点周辺では16世紀後半以前の遺構、遺物はほとんど見つかっていない。今回出土した龍泉窯系青磁碗は14世紀後葉～15世紀初頭にかけての所産であり、本地域では極めて貴重な資料と言える。

### 近世

今回主要な遺構として最大幅4.2m、長さ36.2mの1号溝を検出した。この大溝は9511調査地点の30号溝、9801調査地点の3号溝、1130調査地点の1号溝につながるものと判断され<sup>(2)</sup>、それらをつなぐと延長120mの溝の存在を確認したことになる。9801調査地点では溝の深さは約1.6mで、その下底面は地表下2.0mに及ぶ。今回はその溝の下底部を調査したことになる。

この1号溝から出土した近世遺物は16世紀後半から18世紀にかけてのものであったが、その主要な遺物の時期から、本遺構を16世紀後半から17世紀の所産と考えた。過去の調査事例を見ると、9511調査地点の30号溝は近世初期の遺物を含むとされ、9801調査地点の3号溝は19世紀後半以上の時期と考えられている。本調査地点の1号溝の時期は9511地点の30号溝の時期と整合する。遺構の項で述べたように、大溝の埋没は緩やかに進行していったと思われる。今回は溝の下底部のみを調査したため新しい時期の遺物が出土しなかったが、溝は数百年間機能していた、と考えることができるのではないだろうか。

この他に1号溝と接続する異方向の溝2条（2・3号溝）を検出した。2号溝は9511調査地点の10号溝（16世紀後半）の延長上にあり、3号溝は同溝と主軸方位が一致する。これらの溝は相互に関係していた可能性がある。

ところで本調査地点1号溝はN-35°-Eの方位をもっているが、この上流側の延長上には、本調査地点の東700mに存在する渡鹿堰二の井手用水路がある。この渡鹿堰二の井手用水路は、白川渡鹿堰を取水源とし、慶長年間（1596～1615年）に加藤清正が開削したと伝えられる大井手から分水するもので、熊本城の防衛および白川下流域左岸の灌漑を目的として築造されたとされている（松元他2008）。二の井手用水路も1号溝も共に南に向かって流れることから、1号溝は二の井手用水路から分水する灌漑を目的とした用水路であった可能性がある。1号溝の上限年代が近世初期に比定され、

二の井手用水路の築造年代と一致することも、これを裏付けていると言えるかもしれない。

本荘南地区の溝からは近世の遺物が出土するものの、近世の明確な遺構は検出されていない。それは近世において本地に深い掘削を伴う遺構が希薄であった上、近世以降の耕作による攪乱が地表下深くまで及んでいたことが関係しているのであろう。

## 注

- (1) 上段テラスが下段テラスを覆っているような断面（図92 B-B'断面）も存在したが、覆土に差が見られない箇所（図92 D-D'断面）も存在した。
- (2) この溝の続きは2012年度にも調査し、1223調査地点において、5号溝として調査した。

## 参考文献

- 網田龍生 1993『大江遺跡群Ⅱ』熊本市教育委員会
- 網田龍生 1994「奈良時代 肥後の土器」『先史学・考古学論究 熊本大学文学部考古学研究室創設20周年記念論文集』龍田考古会
- 網田龍生他 1996『新熊本市史 史料編 第1巻考古資料』熊本市
- 網田龍生他 1999「新屋敷遺跡第1・4次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成10年度』
- 小畑弘己 2009「医学部エイズ学研究センター・動物資源・開発研究センター新営に伴う発掘調査（9801調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ』
- 小畑弘己 2003「医学部RI総合センター遺伝子実験施設建設に伴う発掘調査（9511調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ』
- 加藤清正土木事業とりまとめ委員会 1995『加藤清正の川づくり・まちづくり』建設省熊本工事事務所
- 新熊本市史編纂委員会 1998「第二章 地形・地質」『熊本市史通史編第1巻 自然・原始・古代』
- 松元里紗・岩田圭佑・田中尚人 2008「熊本市大井手における里川景観形成に関する研究」『第37回土木計画学会研究発表会講演集』土木計画学会

表10 1205調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	現存量	特徴	色 四	出土遺構	備 考
92	1	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ、削り	内：Hue 25YR4/6 外：Hue 10R4/6	1号溝 (南9)	
	2	土師器	坏	口径 7.2 底径 器高	底部1/5	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR8/4 外：Hue 7.5YR6/6	1号溝 (北4)	
	3	土師器	坏	口径 7.6 底径 器高	底部1/8	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR7/6	1号溝 (北4)	底面ヘラ切
	4	土師器	高坏	口径 5.2 底径 器高	底部	内：ナデ、磨き、削り 外：ナデ、磨き、削り	内：Hue 25YR4/6 外：Hue 25YR4/6	1号溝 (北4)	内外面赤彩
	5	土師器	甕	口径 11.2 底径 器高	底部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 10YR6/4 外：Hue 10YR4/1	1号溝 (南9)	底面回転系切
	6	土師器	瓶	口径 底径 器高	把手	内：削り 外：ハケ目	内：Hue 25YR6/6 外：Hue 7.5YR6/6	1号溝 (北4)	
	7	須恵器	蓋	口径 14.6 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 7.5Y6/1 外：Hue 7.5Y6/1	1号溝 (南10)	
	8	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 10Y6/1	1号溝 (南9)	
	9	須恵器	坏	長さ 9.9 幅 4.8 厚さ 3.0	1/8	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5GY6/1 外：Hue 5PB3/1	1号溝 (北5)	
	10	須恵器	鉢	口径 7.2 底径 器高	底部1/4	内：ナデ 外：ナデ、ヘラ削り	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5GY6/1	1号溝 (北5)	

1. 医学部基礎研究棟（B棟東側）とりこわし工事に伴う発掘調査（1205調査地点）

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考	
92	11	須恵器	坏	口径 底径 器高 7.4	底部1/3	内：ナデ 外：削り	内：Hue N5/0 外：Hue N5/0	1号溝 (南9)		
	12	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部	内：指オサエ、ナデ 外：カキ目	内：Hue 5Y4/1 外：Hue 10YR5/1	1号溝 (北5)		
	13	須恵器	壺	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ、削り 外：ナデ	内：Hue 10YR6/6 外：Hue 10YR5/3	1号溝 (南9)	樹菌状工具による波状文	
	14	須恵器	壺	口径 底径 器高	頸部片	内：ナデ 外：回転ナデ、カキ目	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y6/1	1号溝 (南10)		
	15	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：ナデ 外：タタキ	内：Hue 5Y6/2 外：Hue 5Y6/2	1号溝		
	16	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：カキ目	内：Hue 5YR4/1 外：Hue 5YR4/1	1号溝 (南9)		
	17	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 10YR1/5 外：Hue 10YR3/3	1号溝 (南8)		
	18	須恵器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：タタキ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue 5Y5/1	1号溝 (北4)		
	19	青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5Y6/2 外：Hue 7.5Y6/2	1号溝 (北5)	同安窯系	
	20	瓦	平瓦	長さ 幅 厚さ 7.3 5.7 1.8		内：布目圧痕 外：縄目シタタキ	内：Hue 5Y7/1 外：Hue 5Y7/1	1号溝 (南8)	布目瓦	
	21	瓦	平瓦	長さ 幅 厚さ 5.9 5.7 1.7		内：布目 外：縄目タタキ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 2.5YR4/3	1号溝 (南9)	布目瓦	
	22	瓦質土器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 5Y5/1 外：Hue N4/0	1号溝 (南8)		
	23	青磁	碗	口径 底径 器高 7.4	底部片	内： 外：ヘラ削り	内：Hue 7.5Y5/3 外：Hue 7.5Y5/3	1号溝 (北4)	内外面施釉、龍泉窯系	
	24	陶器	皿	口径 底径 器高 5.5	底部片	内： 外：ヘラ削り	内：Hue 7.5Y5/2 外：Hue 5Y6/2	1号溝 (南9)		
	25	陶器	碗	口径 底径 器高 4.6	底部1/8	内： 外：削り	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 10YR6/4	1号溝 (南9)	内外面施釉	
	26	陶器	鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内： 外：	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 10YR5/2	1号溝 (南9)	内外面施釉	
	27	陶器	皿	口径 底径 器高 4.1	1/3	内： 外：削り	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 7.5Y7/4	1号溝 (南9)	鉄絵、内外面施釉	
	28	陶器	碗	口径 底径 器高 5.2	底部1/2	内：ナデ 外：削り	内：Hue 10R5/1 外：Hue 2.5YR5/1	1号溝 (南9)	内外面施釉	
	29	陶器	鉢	口径 底径 器高 5.2	底部片	内： 外：削り	内：Hue 7.5Y4/2 外：Hue 7.5GY3/1	1号溝 (北4)	内外面施釉	
	30	陶器	碗	口径 底径 器高 26.2	口縁部片	内：ナデ 外：	内：Hue 2.5YR5/2 外：Hue 7.5Y4/3	1号溝 (南9)	内外面施釉	
	31	陶器	碗	口径 底径 器高 4.6	底部1/2	内： 外：	内：Hue 5YR4/2 外：Hue 5YR4/1	1号溝 (南9)	内外面施釉	
	32	磁器	皿	口径 底径 器高 10.0	底部片	内：削り 外：削り	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 7.5Y7/1	1号溝 (南9)	染付、内外面施釉	
	93	33	陶器	甕	口径 底径 器高 18.0	口縁部片	内：ナデ、斜位工具痕 外：ナデ	内：Hue 2.5YR4/2 外：Hue 2.5YR4/2	1号溝 (南10)	
		34	陶器	甕	口径 底径 器高	胴部片	内：タタキ 外：ナデ	内：Hue 2.5YR2/1 外：Hue 10R5/1	1号溝 (北4)	内外面施釉
		35	陶器	擂鉢	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR6/4 外：Hue 5YR5/4	1号溝 (北6)	内面掘り目
		36	陶器	擂鉢	口径 底径 器高	胴部片	内： 外：ナデ	内：Hue 2.5YR3/3 外：Hue 10YR3/4	1号溝 (北5)	内面掘り目
		37	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内：ナデ、削り 外：ハケ目、ナデ	内：Hue 10YR7/4 外：Hue 10YR7/4	出土層位不明 (南12)	
		38	須恵器	蓋	口径 底径 器高 14.2	口縁部片	内：回転ナデ 外：ナデ	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 10YR8/4	出土層位不明 (南12)	
		39	青磁	碗	口径 底径 器高 8.4	底部片	内： 外：	内：Hue 5Y6/3 外：Hue 5Y6/3	出土層位不明 (南12)	内外面施釉、越州窯系
		40	土製品	土鈴	長さ 幅 厚さ 3.1 1.2 1.0	9/10	内： 外：ナデ	内：Hue 10YR3/7 外：Hue 10YR3/7	1号溝 (北5)	重量32g
		41	銅製品	キセル	長さ 幅 厚さ 2.3 1.0 1.0	金属部分・覆字	内： 外：	内：Hue 7.5GY4/1 外：Hue 7.5GY4/1	1号溝	鍛造

1号溝 (北5) の遺物には、4号溝出土遺物も含まれる可能性がある。

## 2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査（1223調査地点）

### (1) 調査の目的と経過

#### a. 調査地と調査経緯

本調査地点は白川左岸に所在する本庄遺跡の一面に位置する。本地点の東側には古墳時代後期～平安時代の溝8条・竪穴住居址3基・掘立柱建物址や近世以降の大溝を検出した9801調査地点があり、南側には、1205地点を挟んで、奈良・平安時代の竪穴住居跡5基や溝3条などを検出した9511調査地点がある。また東・南側にはB棟・D棟解体工事に伴って実施した0314・1130・1205調査地点がある(図94)。

今回の調査は、国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴い実施したものである。工事予定地では、事前に行った熊本市の試掘調査において、地表下0.9mに遺構の存在が確認されており、調査は、熊本大学が提出した土木工事による発掘調査の届出に対し、発掘調査を行う必要があるとした熊本市教育委員会の通知に基づいて実施した<sup>(1)</sup>。9月26日、地表面下約0.85mまでの1次掘削および配管・建物基礎の撤去を行い、10月1日発掘調査を開始した。調査面積は1,059m<sup>2</sup>。調査期間は10月1日から11月30日までの2ヶ月の予定で調査を始めたが、途中で延長協議をし、12月18日まで調査を行った。

#### b. 調査の経過

2012年10月1日 発掘調査開始。重機による調査区東半の攪乱・埋土掘削、遺構確認を実施。

2012年10月4日 溝の調査を開始。

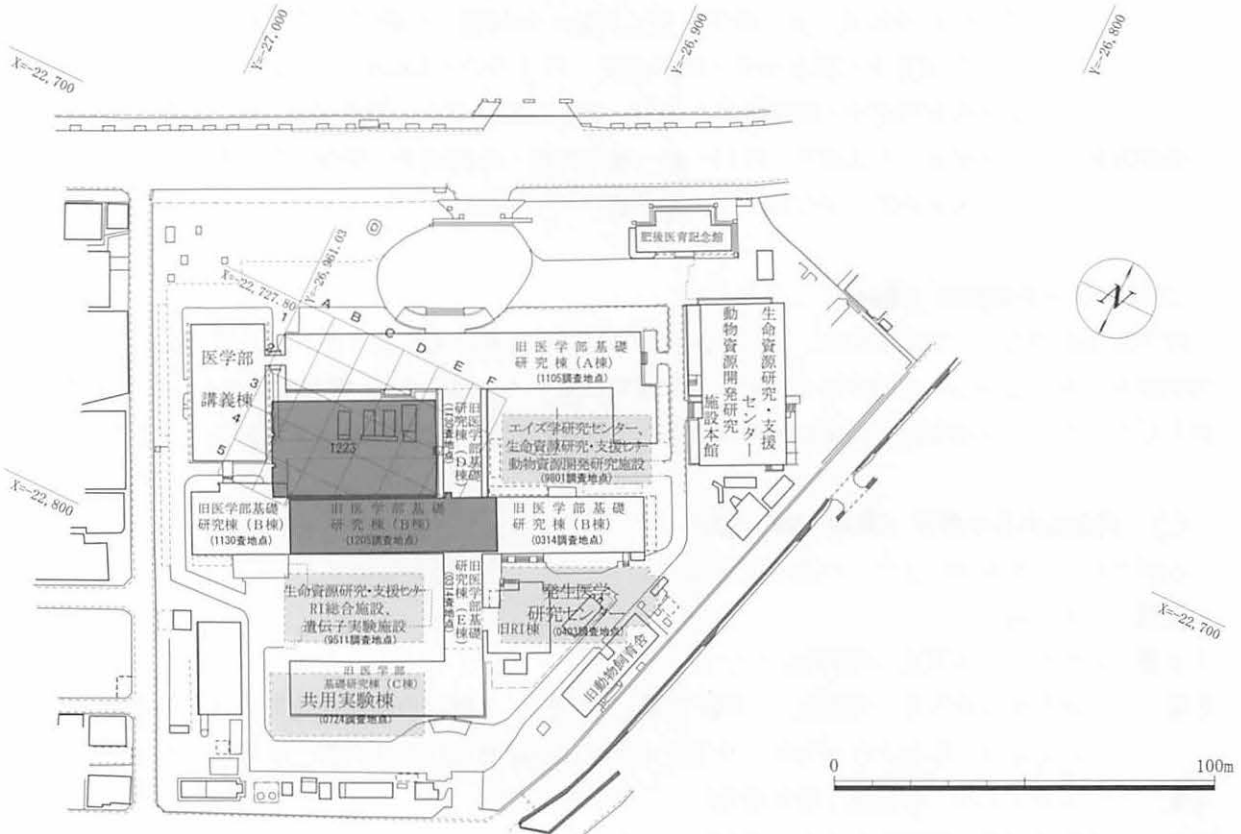


図94 調査区グリッド配置図 (1/2000)

## 2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査（1223調査地点）

- 2012年10月12日 遺構の写真撮影・包含層掘削を開始。  
2012年10月15日 遺構の平面測量を開始。  
2012年10月19日 古代の掘立柱建物址と竪穴住居址を検出。古代の遺構の調査本格化。  
2012年11月7日 調査期間延長の協議をし、期間を延長。  
2012年11月19日 調査区東半の壁面土層断面図作成。  
2012年11月20日 調査区東半の全景写真撮影。遺構の補足調査。  
2012年11月21日 重機による調査区東半の埋戻。  
2012年11月26日 重機による調査区西半の攪乱・埋土掘削、遺構確認を実施。  
2012年11月27日 溝の調査を開始。  
2012年12月3日 包含層掘削開始。  
2012年12月4日 古代の竪穴住居址を検出。遺構の調査本格化。  
2012年12月11日 調査区西半の壁面土層断面図作成。  
2012年12月13日 調査区西半の全景写真撮影。  
2012年12月17日 重機による調査区西半の埋戻。  
2012年12月18日 発掘調査終了。

### c. 調査の組織

調査員：松田光太郎・多賀晴司

事務担当：村田知聖

発掘作業員：石村義則・稲本佳子・今村明美・押方富江・川元恵子・栗崎 強・建寄豊美・柴田道子・白石美智子・関 律子・田上次敏・中村良一・野田 昇・畑中儀介・早田咲百合・古川昌子・松永一代・松本和徳・松本晋治・松山誠一・松山れい子・三島多恵子・水本美恵子・森川征子・森川 護・森本紀代子・森本清子・宮田義則

整理作業員：井上裕美・入江由真・江口 路・鬼塚美枝・小山正子・甲斐 郁・柴田 亮・首藤優子・末吉美紀・増井弘子・山崎早苗

### (2) グリッドの設定 (図94)

世界測地系の  $X = -22,727.8031$ 、 $Y = -26,961.0304$ （平面直角座標系Ⅱ系）を基準点とし、平面直角座標系に沿って10m単位の方眼を設定し、東西では東へA・B・C…、南北では南へ1・2・3…と命名した。グリッドは東西と南北の列の交点として把握し、A-3区、B-4区のようにした。

### (3) 調査区の基本層序 (図98・99・100)

本調査地点の基本層序は以下の通りである<sup>(2)</sup>。

I a層：攪乱・埋土

I b層：旧耕作土（黄灰色・暗褐色）

Ⅱ層：Ⅱ層上部（褐灰色・暗褐色）、Ⅱ層下部（黒褐色）。Ⅱ層は古墳時代後期～古代の遺物包含層  
Ⅱ層上部は1号掘立柱建物址（9世紀末又は10世紀初め）の柱穴覆土に類似する。

Ⅲ層：包含層下土層（暗褐色・暗灰黄色）

Ⅳ層：基盤層（黄色帯びるシルト・砂層）



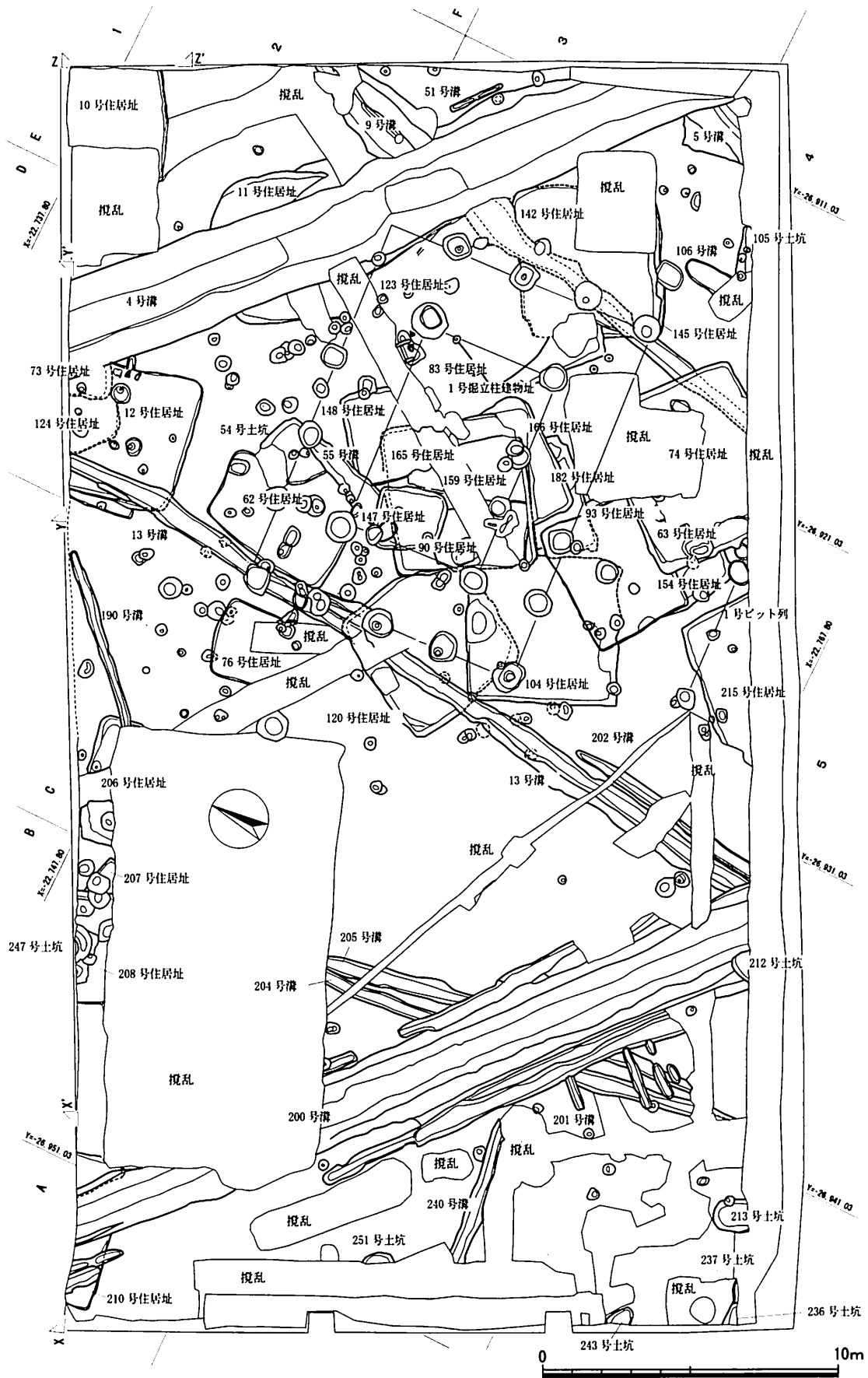


図95 1223調査地点遺構配置図(1) 溝・竪穴住居址・掘立柱建物址・土坑 (1/200)

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

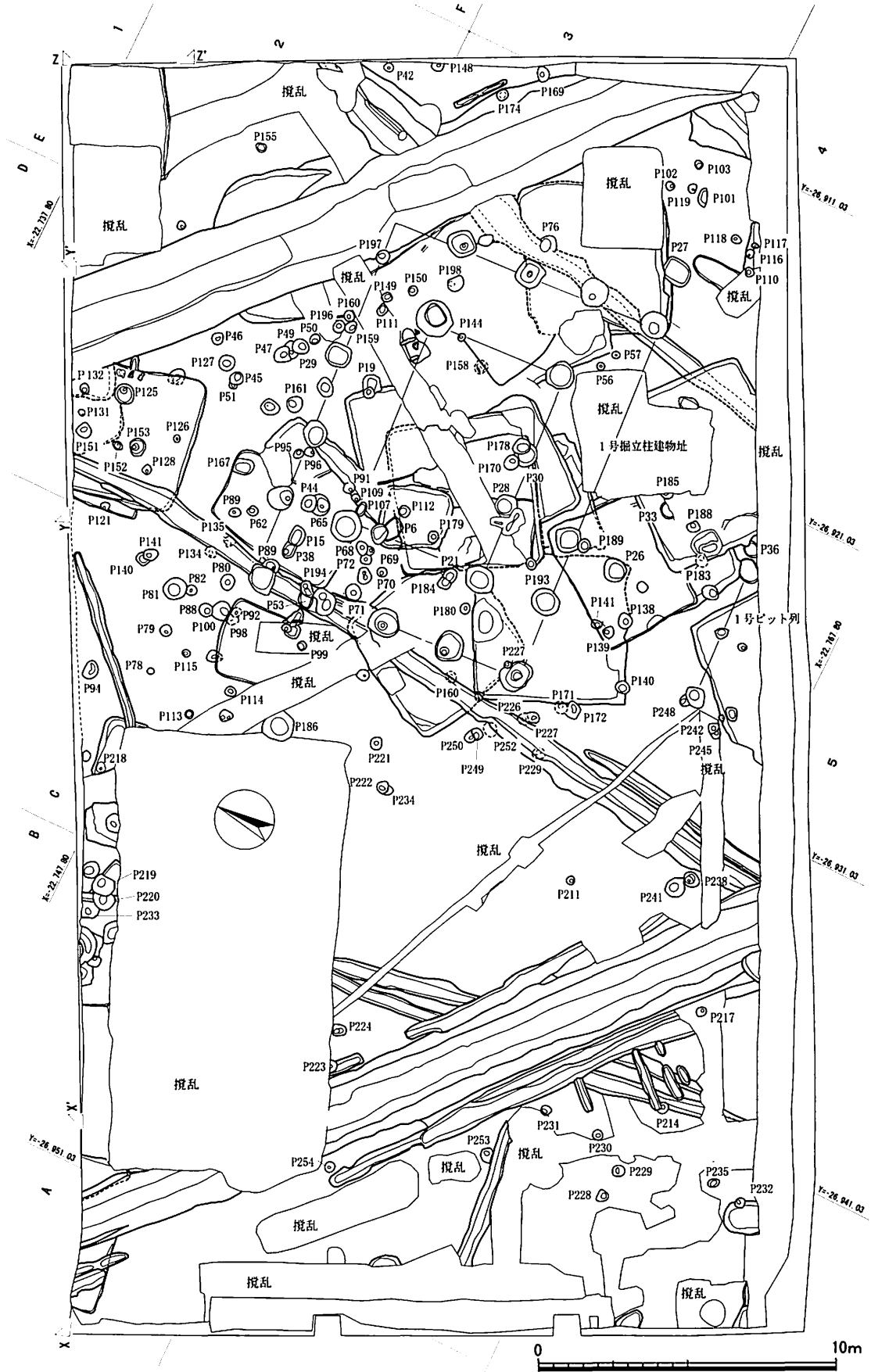


図96 1223調査地点遺構配置図 (2) ピット (1/200)

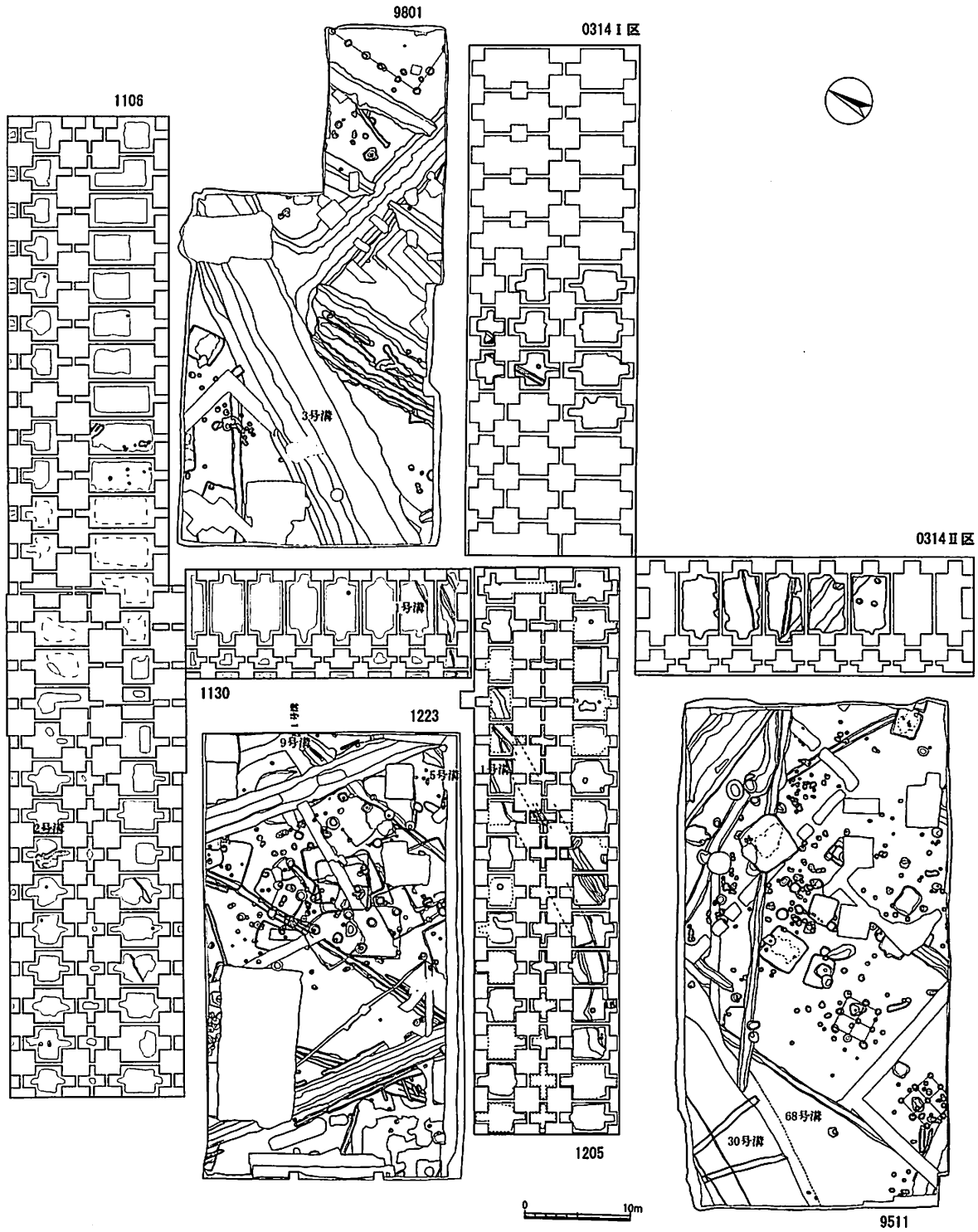


図97 周辺調査地点遺構配置図 (1/600)

(4) 検出遺構

溝15条、竪穴住居址29基、掘立柱建物址1基、ピット列1基、土坑9基、ピットを検出した(図95・96)。

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

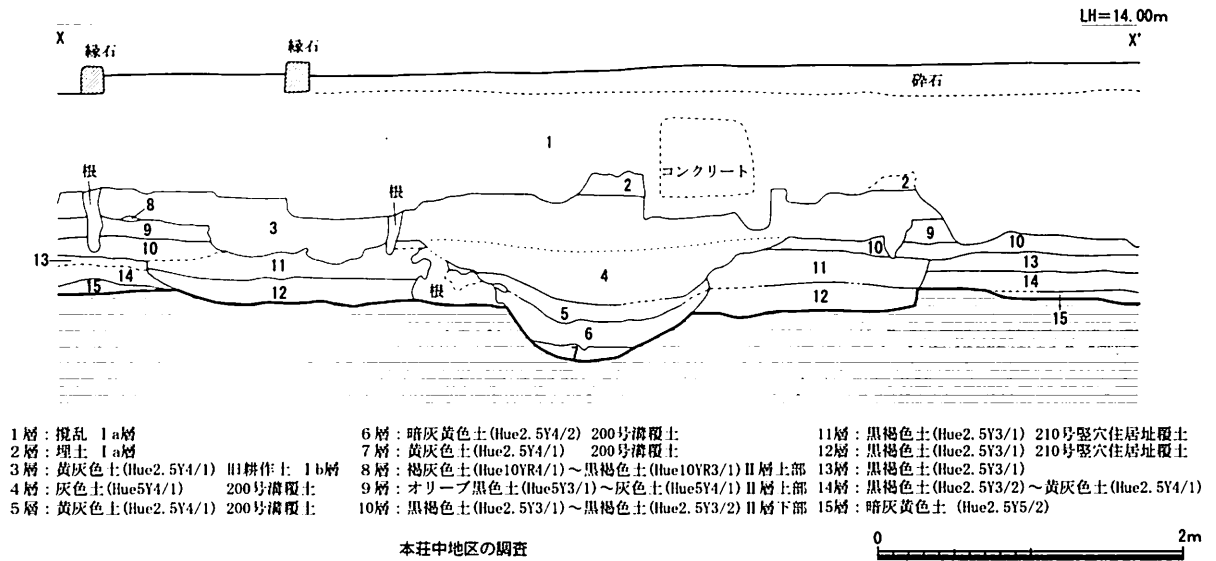


図98 1223調査地点北壁1土層断面図 (1/50)

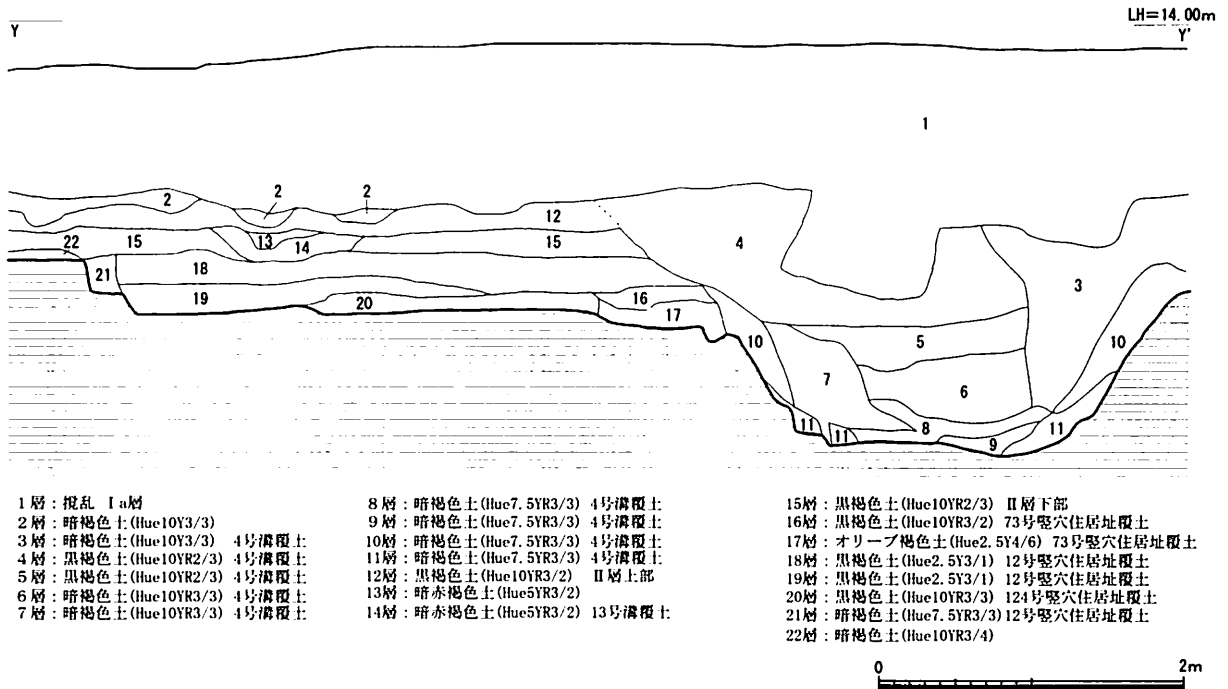


図99 1223調査地点北壁2土層断面図 (1/50)

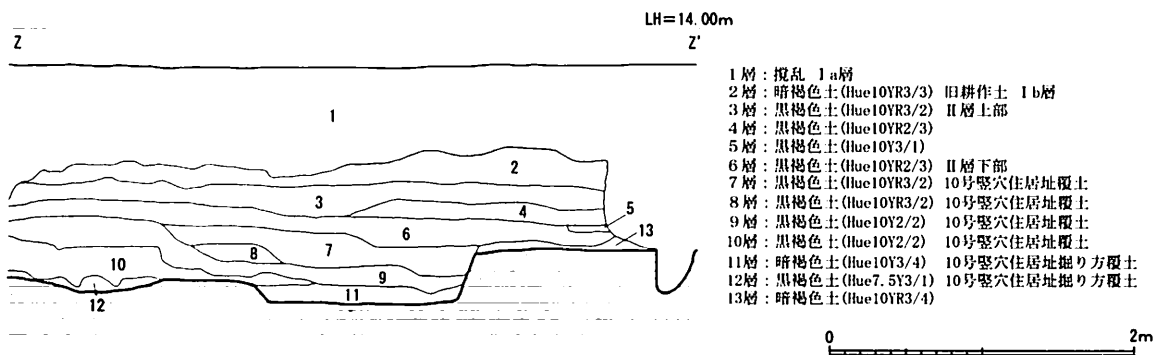


図100 1223調査地点東壁土層断面図 (1/50) セクションポイントの位置は図95に表示。

## ＜溝＞

### 4号溝 (図101)

調査区東側のD-2区、E-2・3区、F-3に存在した。幅約2.7~3.8mの溝が長さ約24.5mにわたって検出された。北端および南端は調査区外に出ている。平面形は直線的で、主軸方位はN-50°-Wである。南端で5号溝と交差するが、5号溝と覆土が類似し、新旧関係は明確にはとらえられなかった。9号溝や11号竪穴住居址を切って構築されており、II層上部より掘り込みが確認された。溝上位は傾斜が緩く、途中(中場)から角度を強めて底面に至る。底面は平らで、断面形は逆台形状をなす。確認面からの深さは最深で約1.4mを測る。底は砂層ないしは固化した砂層に切り込んでいた。覆土は暗褐色土主体。覆土上位にはI b層類似土が存在し、遺構の東側ではI b層類似土が深く入り込んでおり、後世の掘り返しの可能性が考えられた。また覆土中位で、ウマの四肢骨と判断される骨が、レベル上のまとまりをもって出土した(図版173)。覆土下部は水の影響をうけたためか赤褐色化し硬い部分が多かった。底面には長方形の凹みが存在した。出土遺物には古墳時代後期から平安時代のもも含まれていたが、17世紀後半のものが多かった。II層上部から掘り込んでいる点と、出土遺物により、本溝は近世初期の所産と判断される。なお本溝の延長上に1106調査地点の2号溝がある。

### 5号溝 (図101)

調査区東南隅のF-3・4区に存在した。最大幅約2.6mの溝が長さ約2.6mにわたって検出された。北端は4号溝と交差しており、南端はI a層(攪乱)に切られ、その先は調査区外に出ている。平面形は直線的で、主軸方位はN-25°-Eである。溝の深さは最深で約0.6mを測る。本溝周辺は攪乱がIV層まで深く入りこんでおり、溝の上部は消失していた。

当初は、砂や黄色土を多く含む暗褐色土(I b層類似)および褐色土を覆土とする溝(5号溝)と、その下位の黒褐色土・灰褐色土・褐色土を覆土とする溝(旧108号溝)を別々の遺構として認識したが、両者とも溝の方向が同じであり、覆土に砂をやや多く含む点で類似していたため同一溝(の覆土の違い)と判断した。しかし覆土の違いが認識されたことから、溝の掘り返しがあった可能性も考えられよう。図101土層断面図B-B'は旧108号溝でとった断面である。溝は砂層(IV層)にまで達していたが、溝の最深部は調査区外に出ているため検出されなかった。覆土は4号溝の覆土に類似していたため、4号溝に近い時期、近世初期の所産と判断される。なお本溝は9511地点の30号溝、9801地点の3号溝、1130地点の1号溝、1205地点の1号溝と連続する溝である。

### 51号溝 (図101)

調査区東側のE-3区に存在した。平面形は長さ約2.0m、最大幅約0.2mの直線状をなし、主軸方位はN-49°-Eである。4号溝とほぼ平行する。II層下部の確認面からの深さは最大で約0.08mを測る。覆土は黒褐色土からなる。出土遺物はなく、時期は不明である。

### 190号溝 (図103)

調査区中央北側のC-2区に存在した。最大幅約0.27mの溝が長さ約6.4mにわたって検出された。平面形は直線的で、主軸方位はN-46°-Eである。南西端は攪乱により壊されていた。確認面(II層上面)からの深さは最深で約0.15mを測る。覆土は暗褐色土(I b層)からなっていた。同様のものはD-2・3区に多数平行して存在しており(図99土層断面図2層)、畝のような耕作に関する遺構と判断される。覆土がI b層であることから、近世以降の所産と判断される。

### 200号溝 (図102)

調査区西側のA-3、B-3・4、C-4・5区に存在した。II層上面で確認され、深い部分は最大幅約2.6m、深さ約0.8~1.0mの溝であった。南北両端が調査区外に出ているが、長さ約25.8mにわたって

たつて検出された。またこの深い溝の両脇に深さ約0.06～0.3m、幅約0.4～0.8mの浅い溝が1ないし2条平行して存在していた。これら脇に付随する溝は深い部分の溝とは若干時期が異なる可能性はあるが、溝の方向が同じであるため、同一番号の溝とした。平面形は直線的で、主軸方位はN-49°-Wである。204・205号溝・210号竪穴住居址を切り、201号溝に切られていた。溝の底面は地山の砂層（IV層）に達し、底面は平坦で、断面形は逆台形状を呈する。覆土は大きく3層に分かれ、上層（図102土層断面図1層）は灰色土、中層（同図2・3層）は黄灰色土・暗灰黄色土、下層（同図4層）が黄灰色土からなっていた。B-4区の覆土中層では大形の獣骨が出土した。覆土にI b層類似土（黄灰色土）を含んでいた点や、青磁や播鉢など中世ないし近世の遺物が含まれることから、中世又は近世の所産と判断される。

#### 201号溝（図102）

調査区西側のB-4、C-4・5区に存在した。4条の平行する溝からなる。各々幅0.3～、0.4m、深さ約0.06～0.1mの溝で、主軸方位はN-45°-Eである。全で一連のものと考え、同一溝として扱った。190号溝同様、畝のような耕作に関係する遺構と判断される。200号溝をほぼ直角に切って存在していた。II層上面で確認され、覆土は灰色土（I b層）であるため、近世以降の所産と判断される。

#### 9号溝（図104）

調査区東側のE-2～4区に存在した。最大幅約2.1mの溝を、長さ約11.9mにわたって検出した。北端は調査区外に出ており、南端は攪乱により切られていた。平面形は直線的で、主軸方位はN-14°-Eである。北側では4号溝に切られていた。4号溝との交差部以北は、攪乱されていたものの、II層中でプランを確認できた所があり、その部分では、溝の幅は2.2m、壁高は最深部で約1.1mあった。溝の立ち上がりを見ると、溝の上位は傾斜が緩く、溝の中央部は幅狭で深くなっていた。4号溝との交差部以南では、竪穴住居址（123・142・74号竪穴住居址）に切られていたため、幅は0.6～1.3m、壁高は0.2～0.6mしかなかった。覆土は黒褐色土・暗褐色土などからなっていた。古墳時代後期に属する74号竪穴住居址に切られるものの、それ以前の遺物は出土していないので、古墳時代後期の所産と判断される。9511調査地点の68号溝（6世紀末）とつながるものと推測される。

#### 55号溝（図104）

調査区東側のD-3区に存在した。最大幅約1.1mの溝が長さ約3.7mにわたって検出された。平面形は直線的で、主軸方位はN-20°-Eである。北端は1号掘立柱建物址（9世紀末又は10世紀初め）の柱穴に壊されており、南端は147号竪穴住居址と切り合っていた。147号竪穴住居址とは覆土が類似していたが、147号竪穴住居址より新しいと判断された。確認面からの深さは最深で約0.3mを測る。覆土はII層下部類似の黒褐色土からなっていた。古墳時代後期又は古代（9世紀末以前）の所産と判断される。

#### 13号溝（図105）<sup>(3)</sup>

調査区中央のC-4・5、D-2～4区に存在した。最大幅約0.9mの溝が長さ約27.5mにわたって検出された。北端は調査区外に出ており、南端は攪乱により切られていた。本溝は高い所ではII層下部上面で確認された。1号掘立柱建物址の柱穴に切れ、202号溝・12・120号竪穴住居址を切っていた。深さは最深で約0.15mを測る。平面形は直線的で、主軸方位はN-6°-Eである。

覆土は灰色土をなしていた。北壁断面では2枚の土層（図99土層断面図13層・14層等）からなり、二時期に及ぶ可能性がある。水の影響を受けたと判断される、鉄分が集積し暗赤褐色を呈する箇所（図105土層断面図A-A' 1・2層等）が多く認められた。

古墳時代後期の竪穴住居址を切り、覆土中から9世紀末の土器が出土しているので、9世紀末頃の

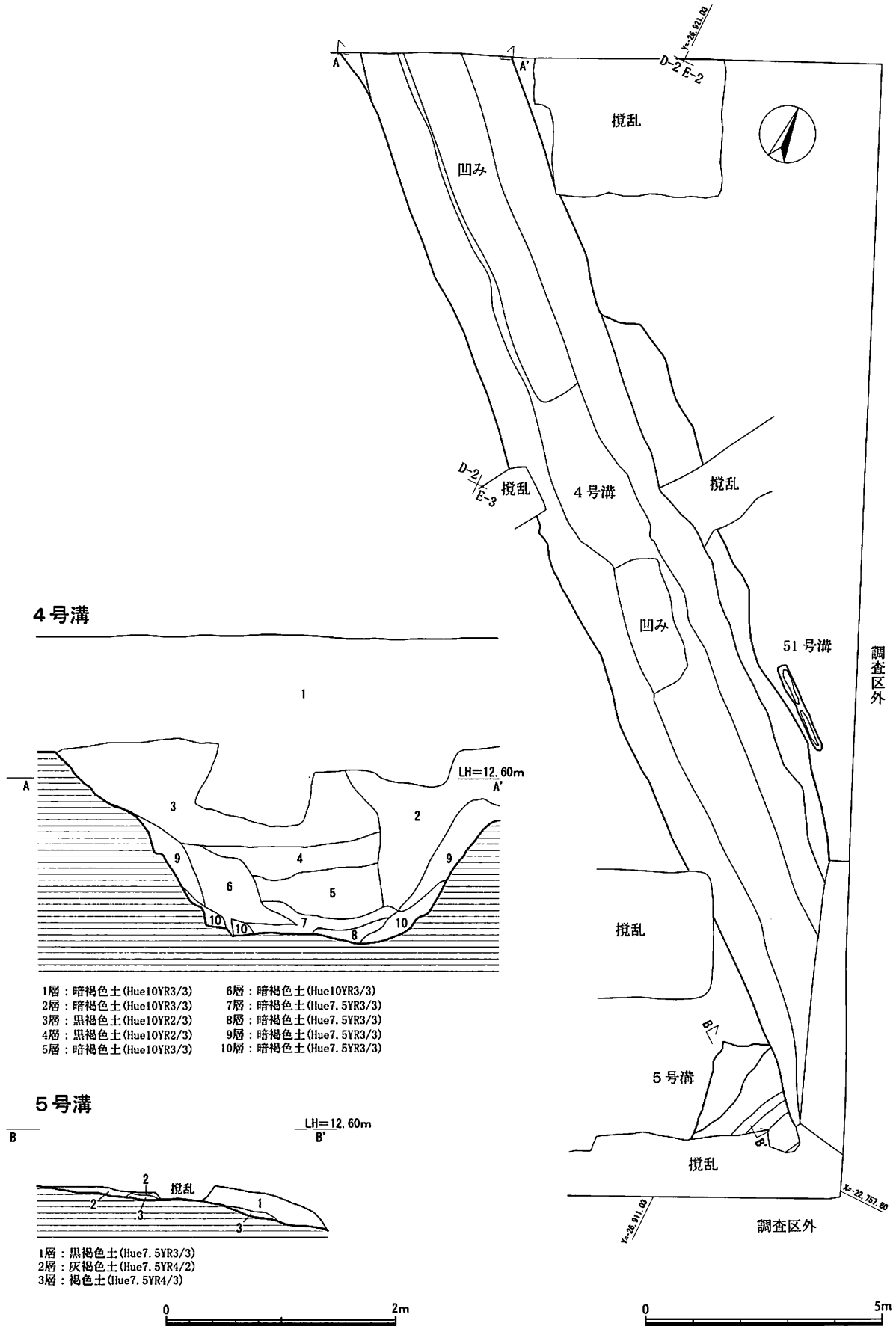


図101 4・5・51号溝実測図 (1/120・1/50)





190号溝

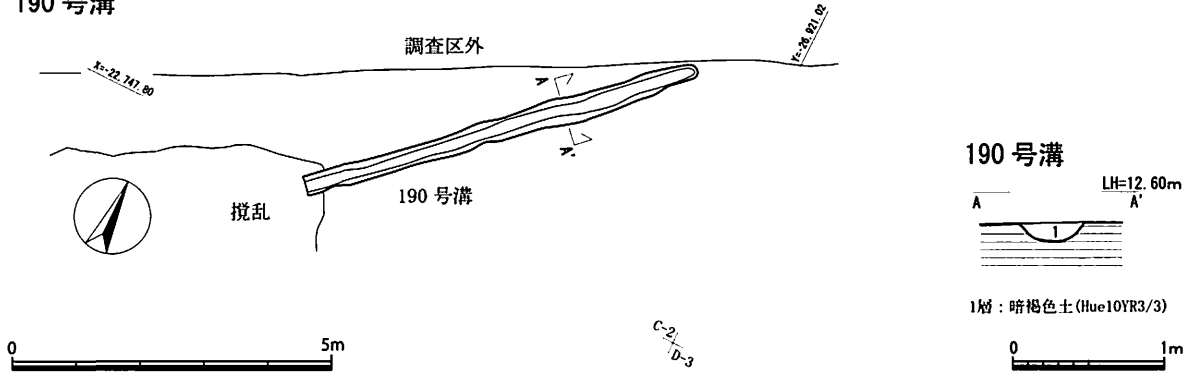
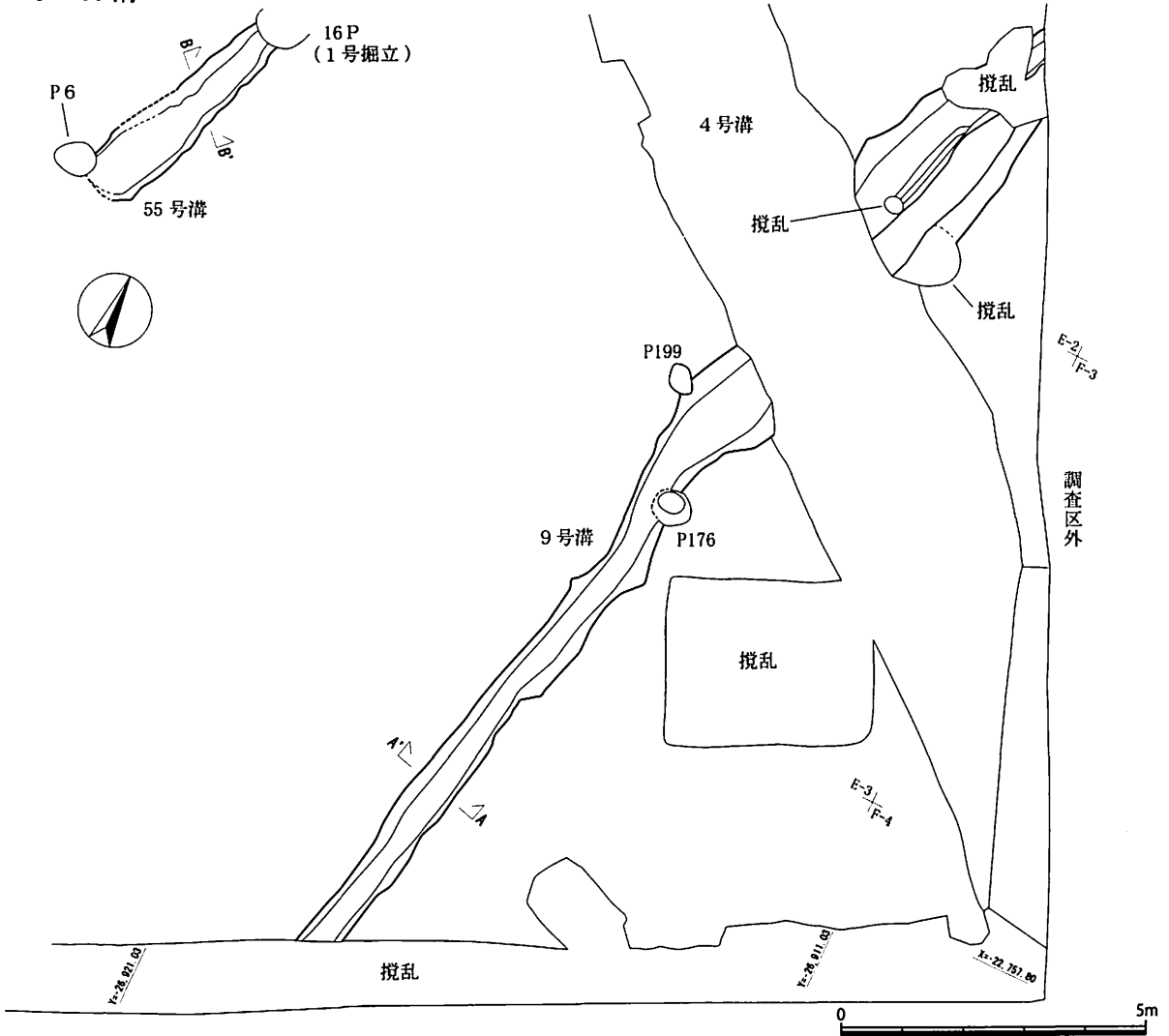
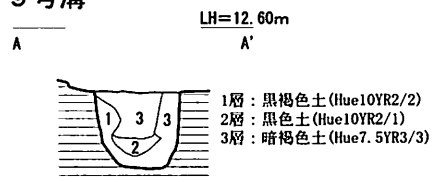


図103 190号溝実測図 (1/120・1/50)

9・55号溝



9号溝



55号溝

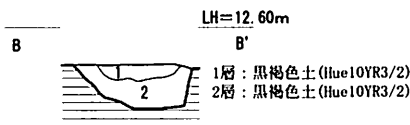


図104 9・55号溝実測図 (1/120・1/50)

13・202号溝

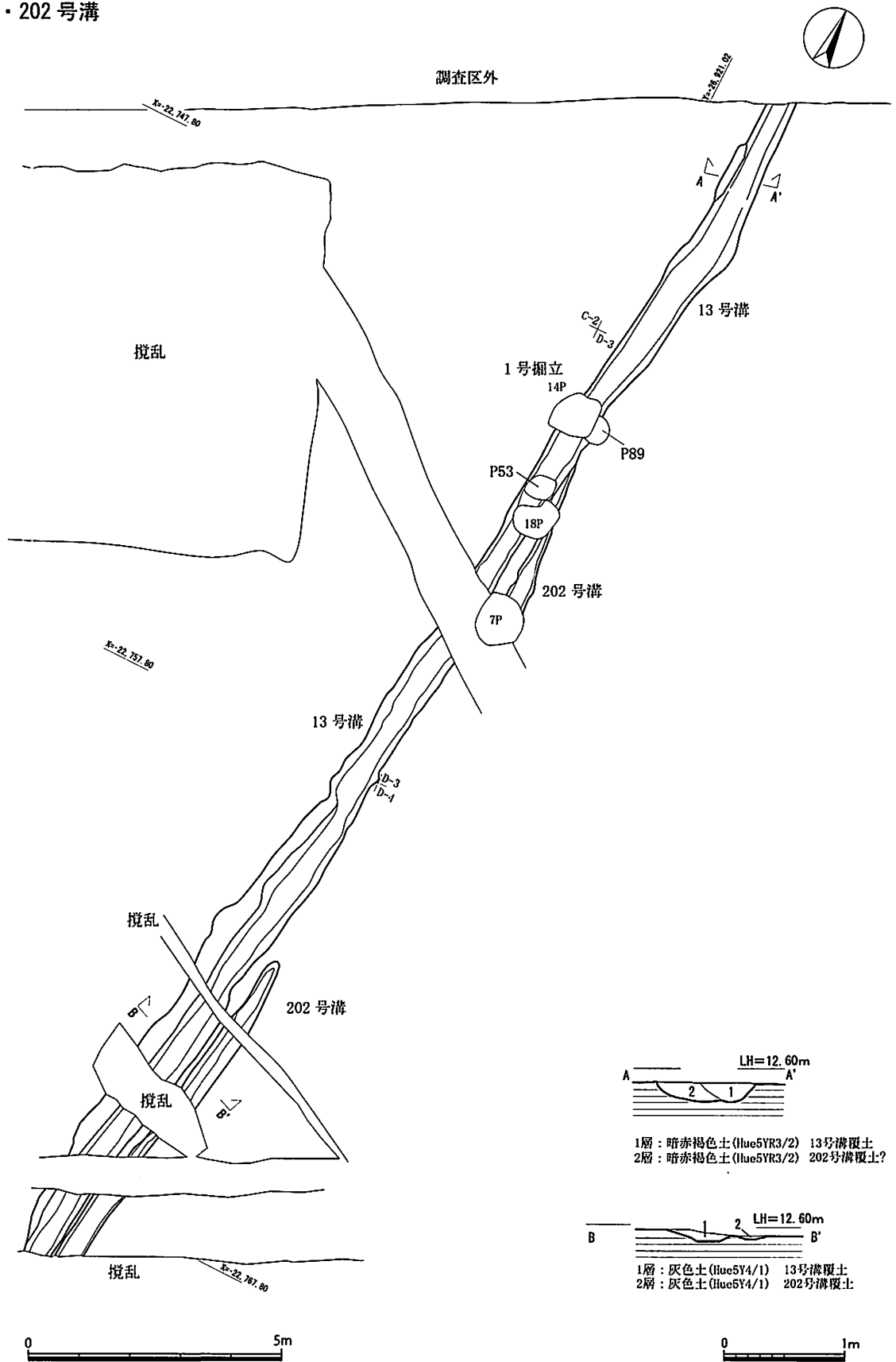


図105 13・202号溝実測図 (1/120・1/50)

204・205・240号溝

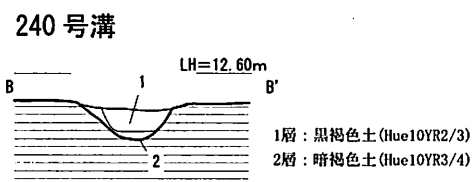
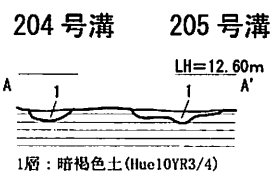
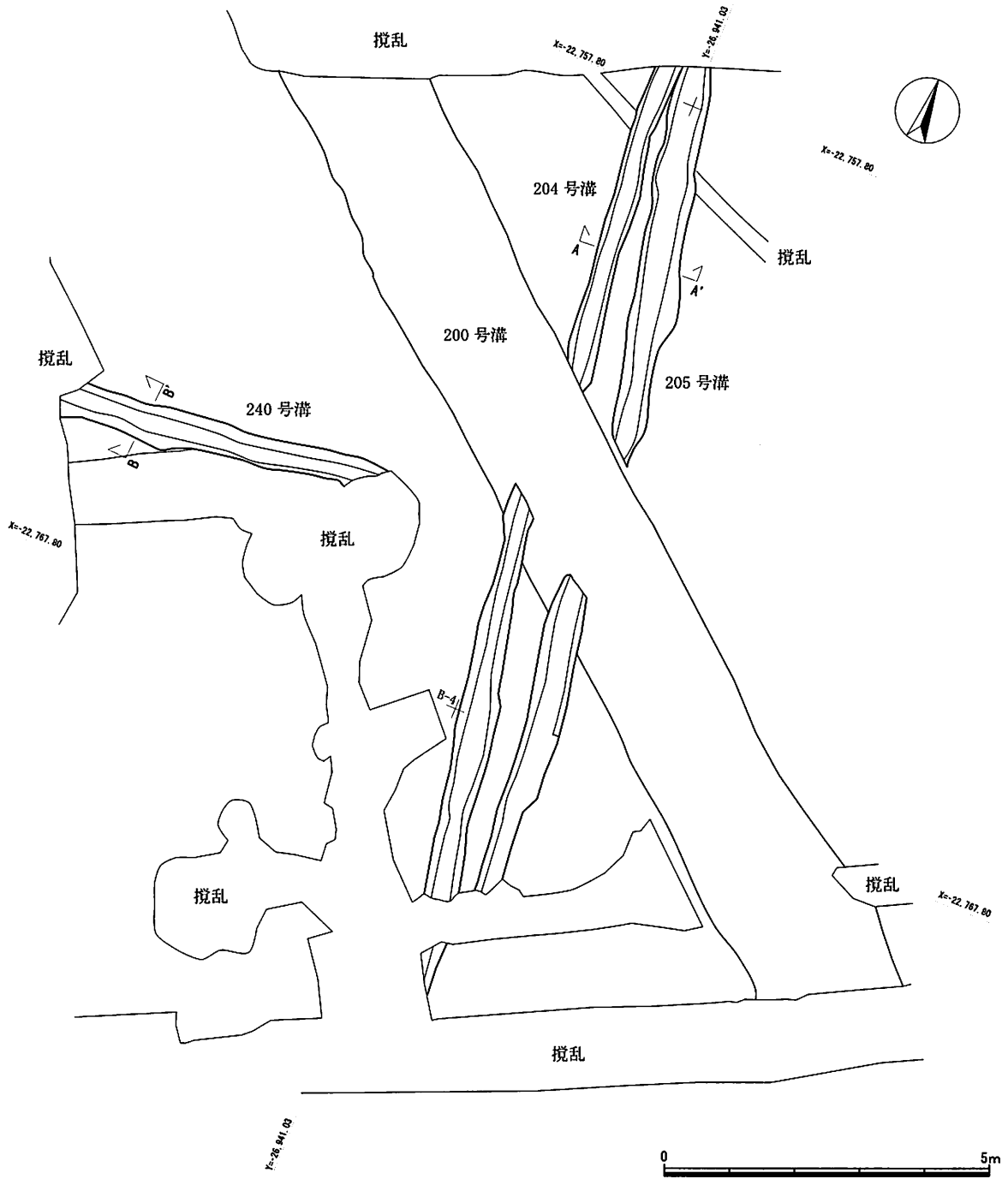


図106 204・205・240号溝実測図 (1/100・1/50)

所産と判断される。

#### 202号溝（図105）

調査区西のC-4・5、D-3・4区に存在した。最大幅約0.5mの溝が、D-3区で長さ約3.8m、C-4区以南で長さ約7.1m確認された。南際は攪乱に切られ消失していた。溝の深さは最深で約0.18mを測る。120号竪穴住居址を切り、13号溝に切られる。D-3区では13号溝の東隣に存在するが、D-2区で西に寄り、図105土層断面A-A'において13号溝が西側に張り出した部分が認められ、そこに繋がる可能性がある。平面形はやや蛇行する。主軸方位はD-3区ではN-4°-W、C-4区以南ではN-8°-Eである。覆土は灰色土からなるが、鉄分が集積する所は暗赤褐色を呈していた。覆土が9世紀末の溝（13号溝）に類似することから、古代の所産と判断される。

#### 204号溝（図106）

調査区西側のB-3・4区、C-3・4・5区に存在した。南北両端を攪乱により壊され、中央を200・201号溝によって切られていたが、幅約0.3~0.4mの溝が長さ約12.4mにわたり検出された。平面形は直線的で、主軸方位はN-7°-Wである。確認面からの深さは最深で約0.16mを測る。覆土は暗褐色土からなっていた。本遺構のすぐ東隣には205号溝が平行して走っていた。覆土がⅡ層上部類似土からなるため、古代又はそれ以降の所産と判断される。

#### 205号溝（図106）

調査区西側のC-3・4・5区に存在した。南北両端を攪乱に、中央を200・201号溝によって切られていたが、幅約0.4~0.7mの溝が長さ約11.4mにわたり検出された。平面形は直線的で、主軸方位はN-7°-Wである。204号溝の東隣にあり、204号溝と平行する。確認面からの深さは最深で約0.15mを測る。覆土がⅡ層上部類似の暗褐色土からなるため、古代又はそれ以降の所産と判断される。

#### 240号溝（図106）

調査区西側のB-4区に存在した。東西両端を攪乱によって壊されていたが、幅約0.4~0.7mの溝が長さ約5.1m検出された。平面形は直線的で、主軸方位はN-85°-Eである。204・205号溝とほぼ直交する方向に向く。確認面からの深さは最深で約0.2mを測る。覆土の大部分は黒褐色土からなっていた。覆土はⅡ層下部に近似するが、204・205号溝とほぼ直交する方向に向くため、両溝と同じく、古代又はそれ以降の所産と判断される。

### <竪穴住居址>

#### 10号竪穴住居址（図107）

調査区北東隅のD-2・E-1・2区で検出された。平面形は方形プランをなすが、西側は攪乱、北および東側は調査区外に出ており、南側の一辺と南西隅が確認されたに過ぎない。南側の一辺の長さからして一辺は3.7m以上ある。南辺方位はN-62°-E（直交方位はN-28°-W（余角））である。壁の立ち上がりは約0.2~0.3mである。覆土は黒褐色土であった。覆土には掘り直したような土があり（図100土層断面図7・8層）、切り合いがあった可能性が考えられた。検出された範囲の北半分には硬化面が存在した。掘り方は南側で深く、約0.1m深く掘られていることが確認された（図107下）。

#### 11号竪穴住居址（図108）

調査区北東部のD-2・E-2区で検出された。平面形は方形のプランをなし、東西の壁が検出された。東西で約5.0m（軸長）を測る。平行する辺の方位はN-29°-Wである。中央を4号溝により切られ、東西2箇所に分断された形で検出された。壁の立ち上がりは約0.2mである。覆土がⅡ層下部と類似する黒褐色土であったため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

### 83号竪穴住居址 (図108)

調査区東側のD-3区で検出された。平面形は約4.2(長軸長)×3.8(短軸長)mの方形プランをなす。長軸方位はN-27°-Eである。覆土は黒褐色土からなる。プランは確認できたが、123号竪穴住居址の覆土中に構築されていることもあり、壁および床面を捉えることができず、上場のみ記録となった。覆土がⅡ層下部と類似することと、後述する1号掘立柱建物址(9世紀末又は10世紀初め)の20号柱穴に切られていることから、時期は古墳時代後期又は古代(9世紀末以前)と判断される。

### 123号竪穴住居址 (図109・110)

調査区東側のD-3・E-3区で検出された。平面形は6.1m(軸長)の長方形プランをなす。軸方位はN-39°-Wである。北側には攪乱、西側には165号竪穴住居址が存在し、壁がわかりやすかったのは南西部であった。壁の立ち上がりは最も高低差がある所で約0.2mである。南側は142号住居址を切っていた。覆土は黒褐色土や暗褐色であった。当初断面B-B'西側で見られた土層の違い(図109土層断面図B-B'6層の層界)から2軒の住居址(123号と75号住居址)の重複と想定したが、最終的には1軒の住居址(123号住居址)と判断した。また同セクションの西端には、住居址を切っ存在する1号掘立柱建物址の164号柱穴がかかっていたが、土層断面図作成時にはその存在を認識していなかった。図109土層断面図10層は164号柱穴の覆土であった可能性がある。

検出された範囲の中央には5.6×3.6mの範囲にわたって硬化面が存在した(図109土層断面図5層内)。竪穴は北辺にあった。長方形に切り出した砂岩2個を平行に並べ、袖を構築していた。袖に挟まれた内側はよく焼けており、焼土と判断された。焼土中より炭化種実が出土した。

住居址中央および東側では硬化面より下に、約3.9×0.9m、約1.7×0.85mの細長い溝状ないし土坑状の掘り込みが確認された。またその外側の北東側ではL字状に曲がる直線的な段差が認められ、それらは掘り方と判断された(図110)。掘り方は、住居址のプランと平行し、溝状のものと段差状のものが2列平行して存在していたため、建て替えの可能性はある。

また東側の壁が不明瞭であったが、それは本遺構の東側から4号溝の位置にかけて別の遺構が2基(図110の20P東側付近と、セクションポイントB'付近)存在していたからであろう。

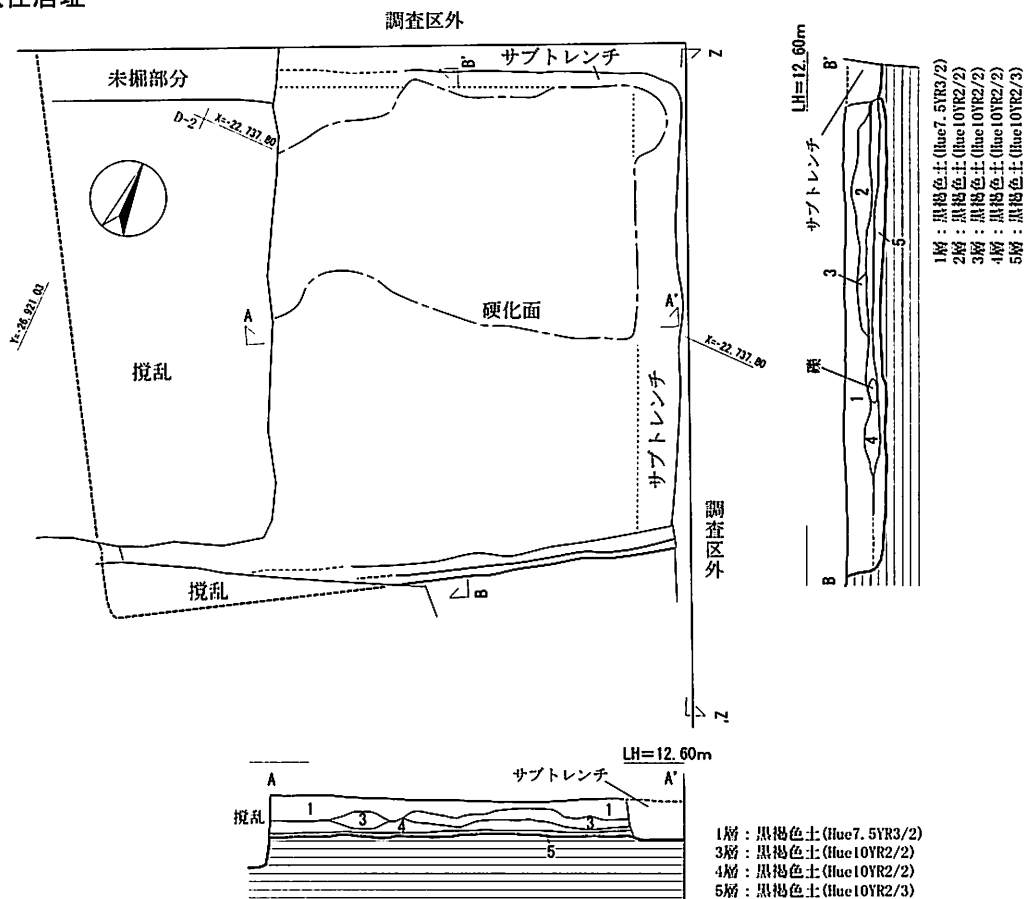
遺物は6世紀末～8世紀初めの遺物が出土している。複数の切り合いが中にあることが原因であろう。1号掘立柱建物址(9世紀末又は10世紀初め)に切られていることから、住居址の時期は古墳時代後期又は古代(9世紀末以前)と判断される。

### 142号竪穴住居址 (図111)

調査区東側のE-3・4区で検出された。平面形は約5.1×4.5mの方形プランをなす。壁の立ち上がりは深い所で約0.12mである。北に近い軸(短軸)方位はN-30°-Wである。南東部は攪乱により、南端隅は1号掘立柱建物址(9世紀末又は10世紀初め)の23号柱穴により壊されていた。北側は123号竪穴住居址に切られていたが、本住居址の壁に平行すると思われる掘り方は深く、その立ち上がりが残存していた。南側は145号竪穴住居址を切っ存在していた。145号竪穴住居址とは辺が平行するため、145号竪穴住居址を建て直して142号竪穴住居址が作られたと判断された。また本住居址確認段階から、覆土を切るN-6°-Wを軸とするライン(図111の別遺構のライン)が確認されていたので、本住居址を切る別の遺構があったと判断される。覆土は黒褐色土であった。掘り方としては、西側で長方形の土坑状の凹みが確認され、東側中央でも段状の凹みが存在した(図111下)。

本住居址の下には、本住居址より古い9号溝が存在していた。本住居址から出土した土器は古墳時代後期(6世紀後葉)のものと9世紀末のものが存在したが、1号掘立柱建物址(9世紀末又は10世紀初め)より古いため、本住居址は古墳時代後期又は古代(9世紀末以前)と判断される。

10号竪穴住居址



10号竪穴住居址 (掘り方)

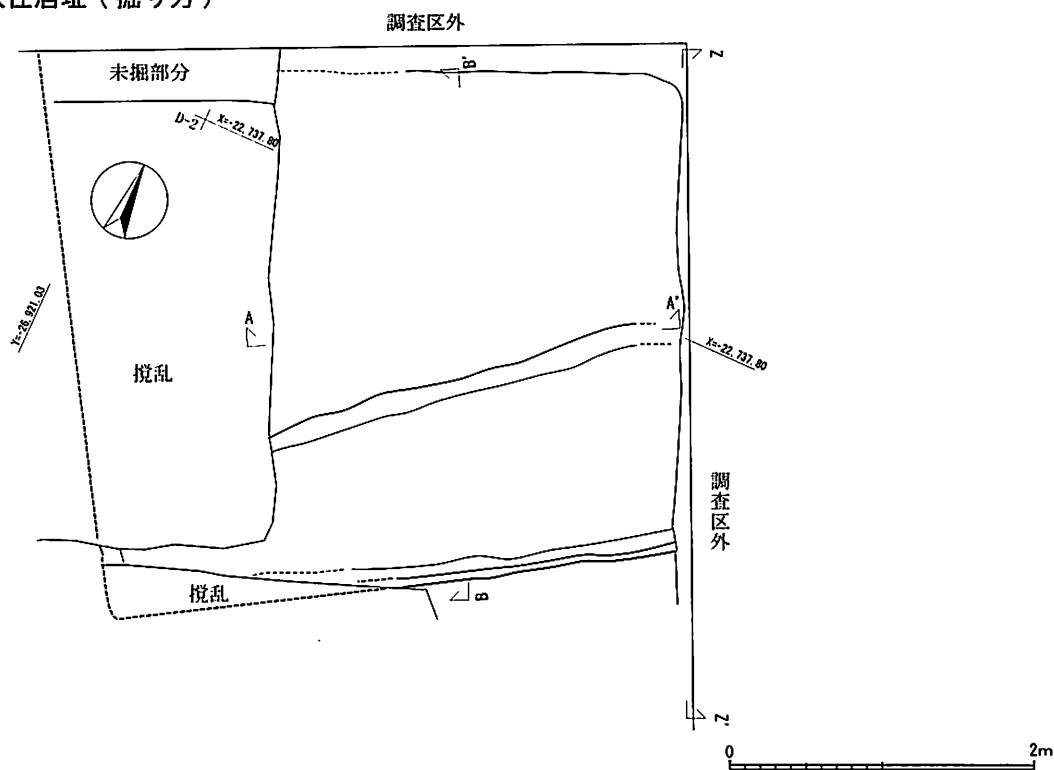
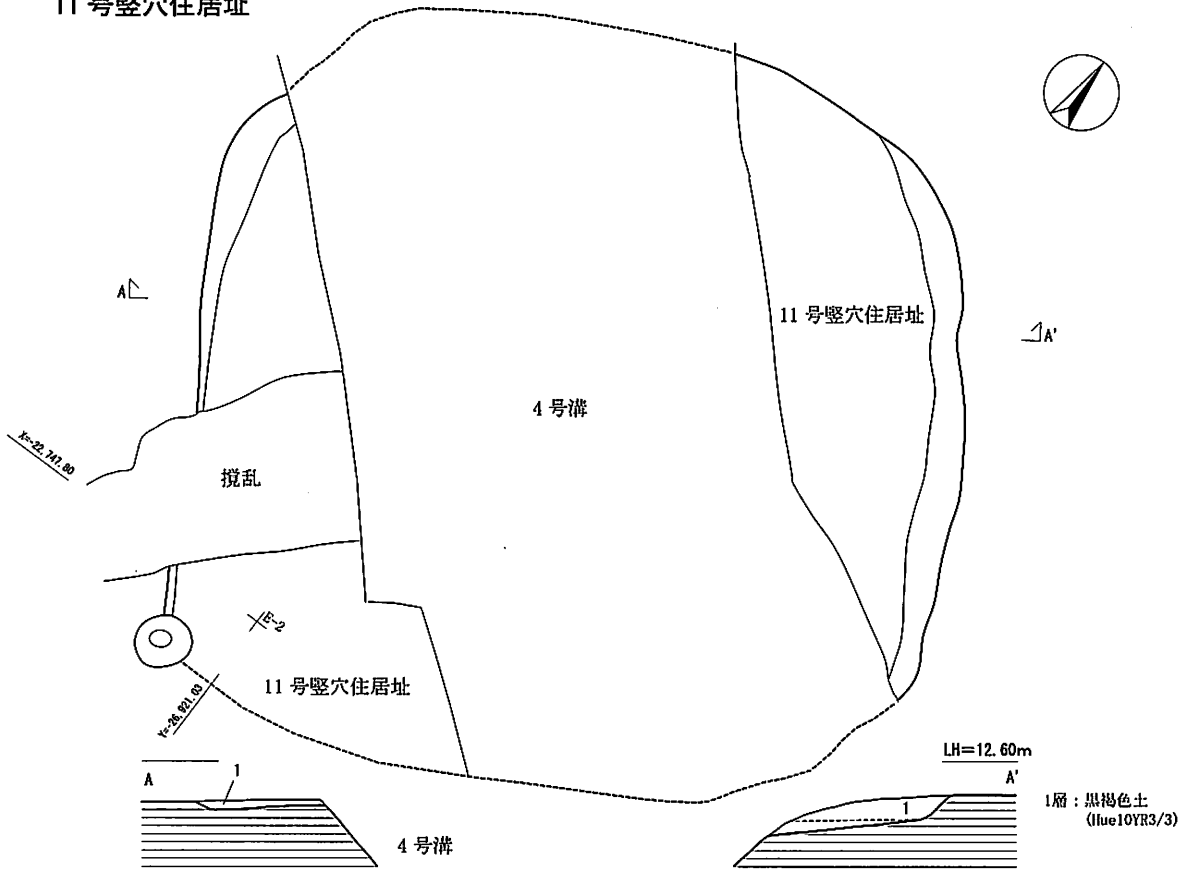


図107 10号竪穴住居址実測図 (1/50) Z-Z'は図100土層断面図に対応。

11号竖穴住居址



83号竖穴住居址

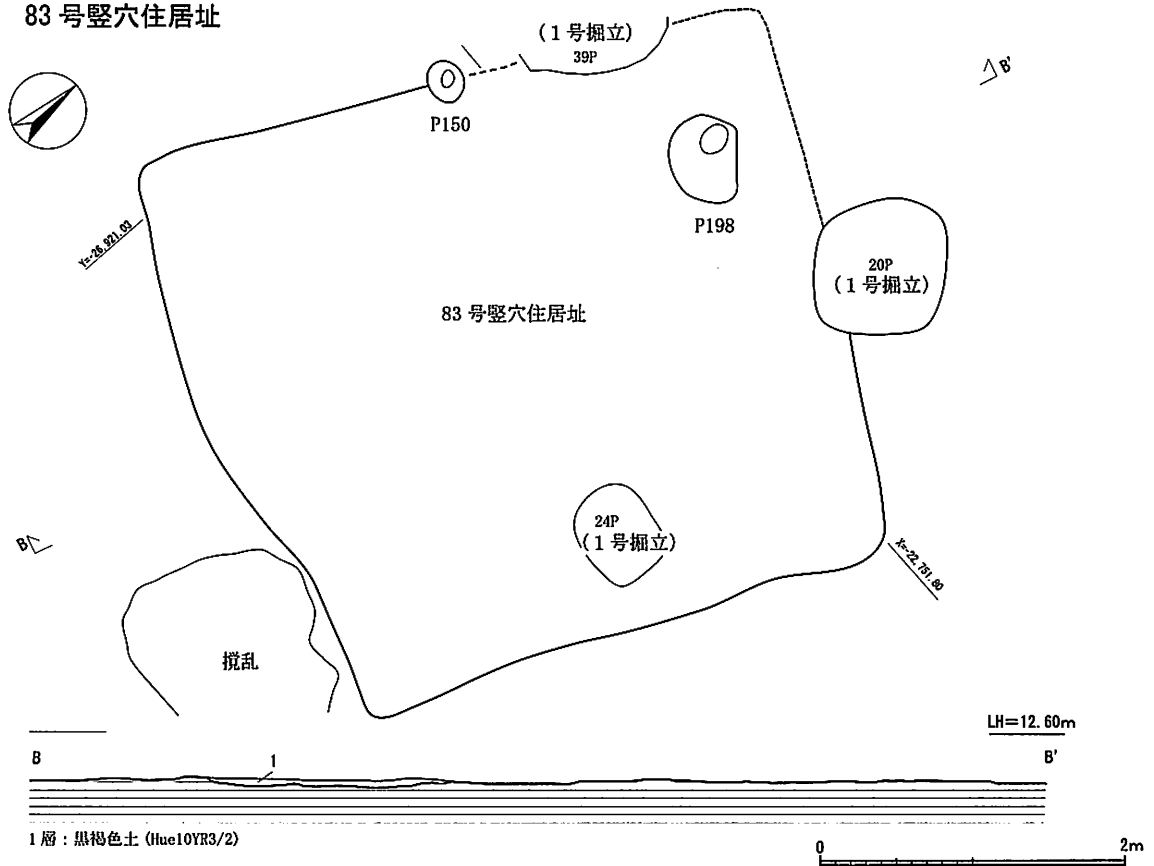
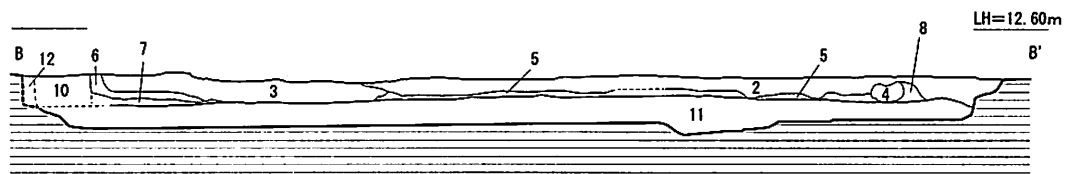
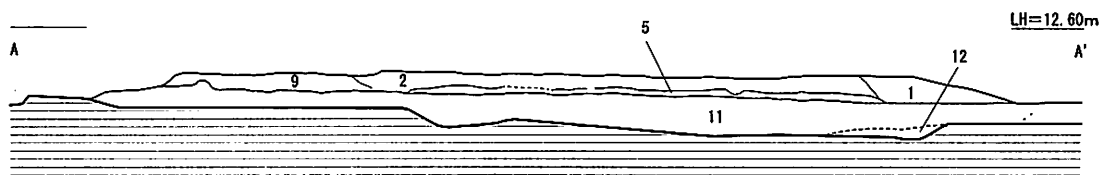
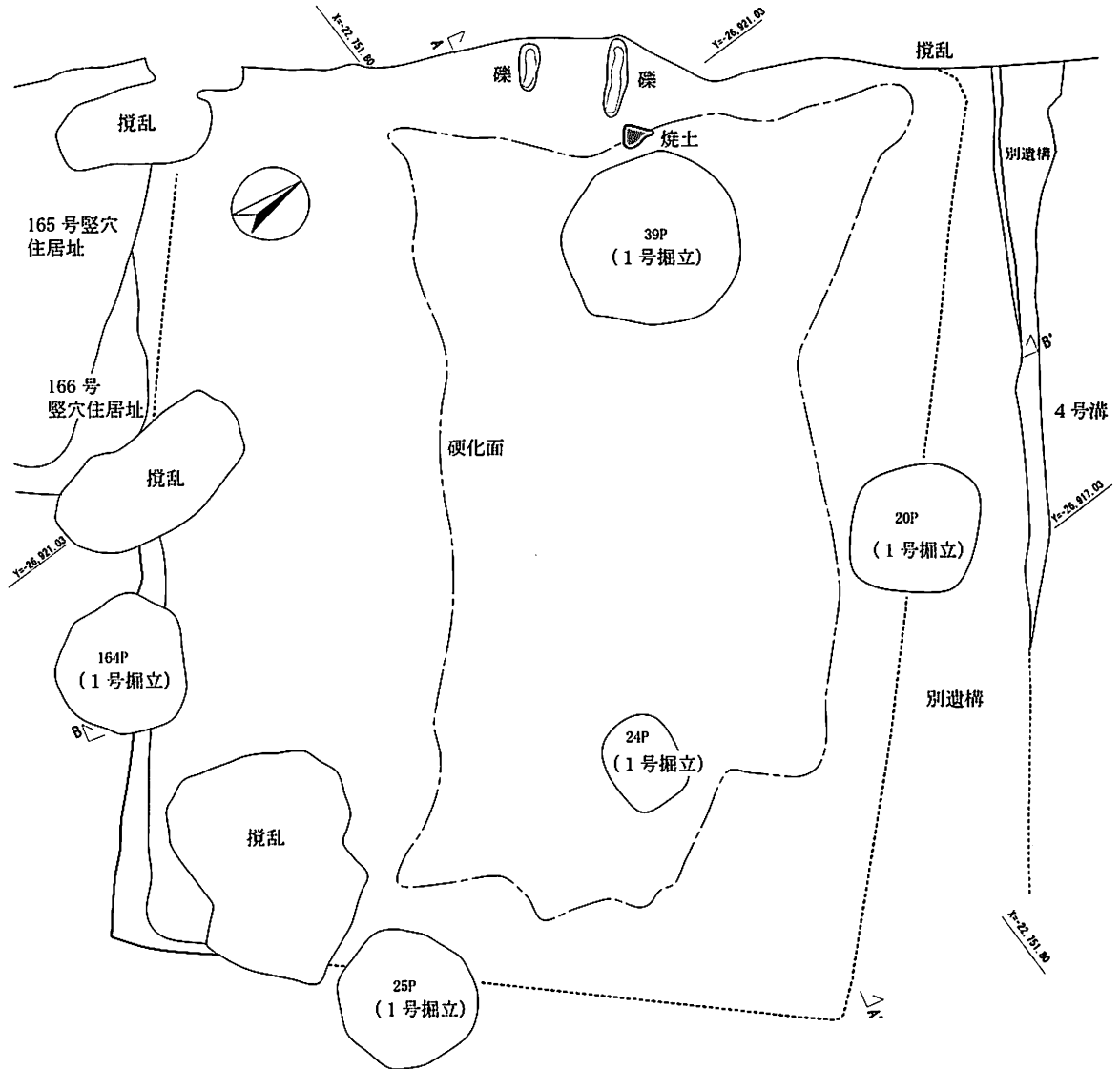


図108 11・83号竖穴住居址実測図 (1/50)

123号竪穴住居址



- |                        |                        |  |
|------------------------|------------------------|--|
| 1層: 黒褐色土 (Hue10YR3/2)  | 6層: 黒褐色土 (Hue7.5YR3/2) | 11層: 暗褐色土 (Hue7.5YR3/4) 掘り方覆土            |
| 2層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)  | 7層: 黒褐色土 (Hue7.5YR3/3) | 12層: 暗褐色土 (Hue7.5YR3/4) 9号溝覆土            |
| 3層: 黒褐色土 (Hue7.5YR3/3) | 8層: 黒褐色土 (Hue10YR3/2)  | 13層: 黒褐色土 (Hue10YR2/3) 1号掘立柱建物址 164号柱穴覆土 |
| 4層: 褐色土 (Hue7.5YR4/3)  | 9層: 暗褐色土 (Hue10YR3/3)  |  |
| 5層: 黒褐色土 (Hue10YR3/1)  | 10層: 暗褐色土 (Hue10YR3/4) |  |

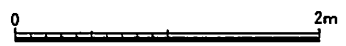
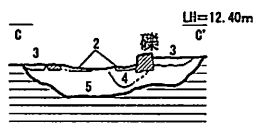
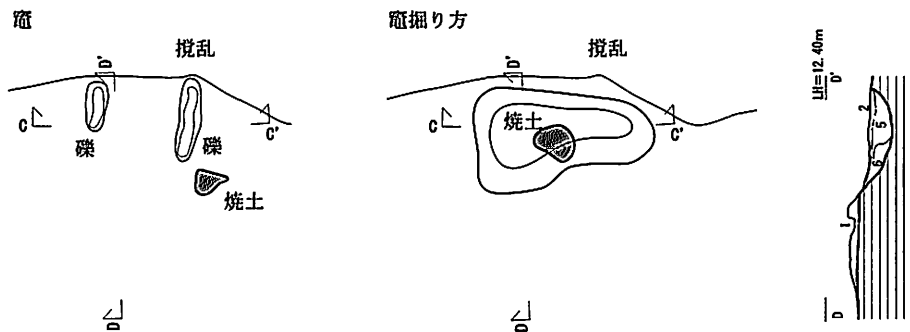
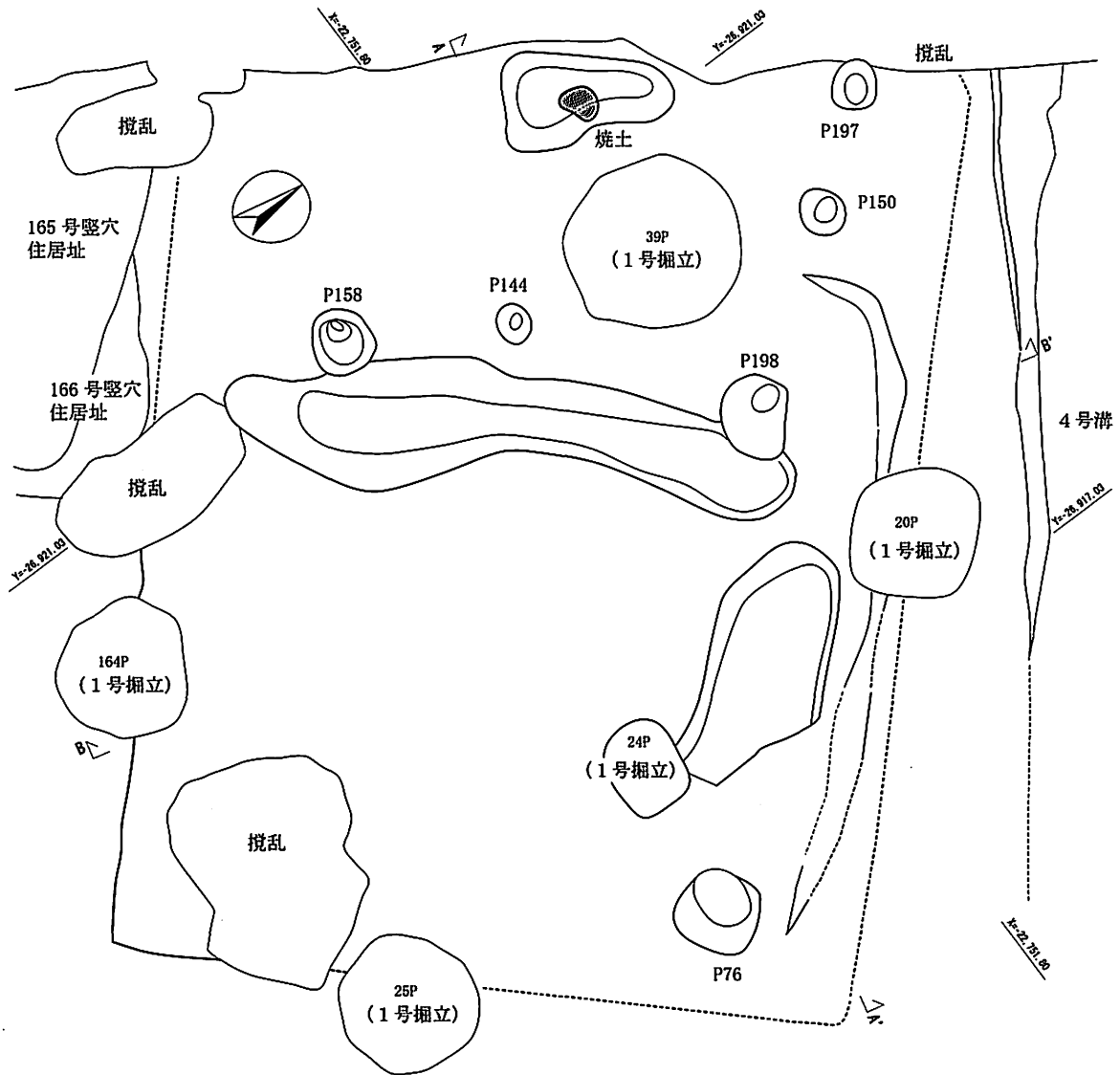


図109 123号竪穴住居址実測図 (1/50)



123号竪穴住居址（掘り方）

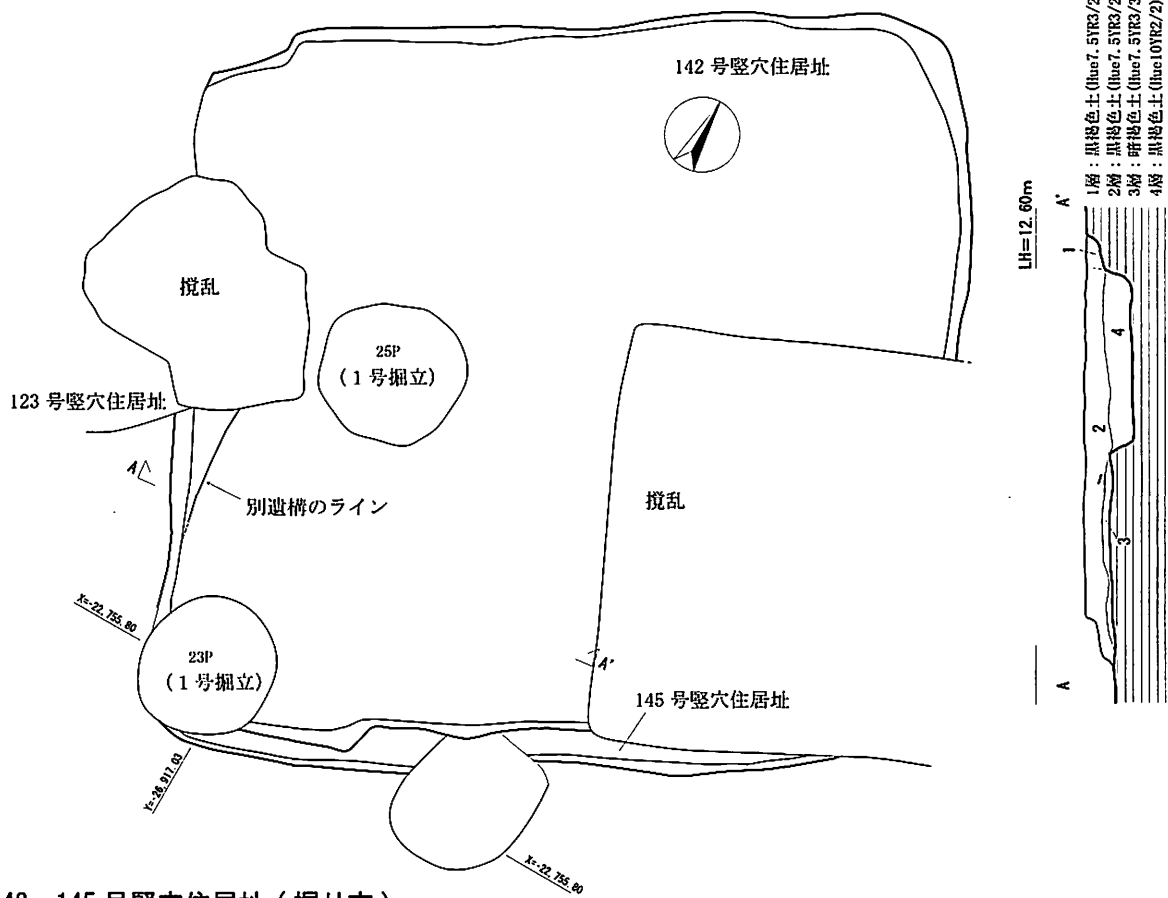


- 1層：暗褐色土 (hue10YR3/3)
- 2層：黒褐色土 (hue10YR2/3)
- 3層：褐色土 (hue10YR4/3)
- 4層：黒褐色土 (hue10YR2/2)
- 5層：極暗褐色土 (hue7.5YR2/3)
- 6層：暗褐色土 (hue7.5YR3/4)



図110 123号竪穴住居址掘り方・竈実測図 (1/50)

142・145号竪穴住居址



142・145号竪穴住居址 (掘り方)

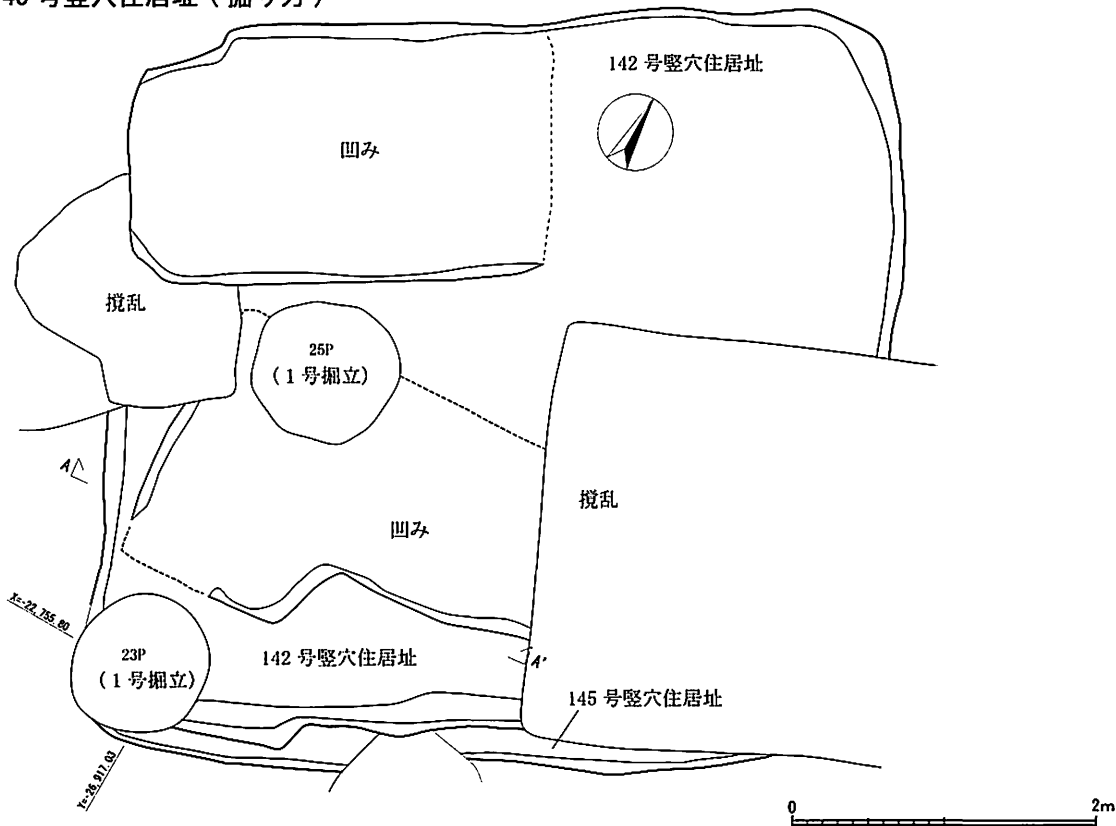


図111 142・145号竪穴住居址実測図 (1/50)

**145号竪穴住居址 (図111)**

調査区東側のE-3・4区で検出された。平面形は方形プランをなす。大部分は145号竪穴住居址と攪乱によって切られていたので、確認できたのは幅約0.2m、長さ約4.5m(南辺)である。南辺の方位はN-61°-E(直交方位N-29°-W(余角))である。掘立柱建物址の23号柱穴により壊されていた。確認できた壁の立ち上がりは約0.1mである。覆土は黒褐色土であった。時期は142号竪穴住居址・1号掘立柱建物址(9世紀末又は10世紀初め)に切られているので、古墳時代後期又は古代(9世紀末以前)と判断される。

**12号竪穴住居址 (図112・113)**

調査区中央北側のD-2区で検出された。平面形は方形のプランをなす。東西方向は約4.6mを測るが、西辺は更に幅約0.4m、深さ約0.1mの張り出しが見られ、古い段階の住居址の重複が考えられる。東西軸方位はN-78°-E(N-12°-W(余角))である。北側は調査区外に出ており、東側は4号溝により壊されている。また東側では73号竪穴住居址と切り合い、北側の掘り方には本住居址より古い124号竪穴住居址が存在する。さらに西側の覆土上には本住居址の覆土を切って13号溝が存在していた。壁の立ち上がりは約0.19mである。覆土は黒褐色土であった。住居址の中央から西側にかけて硬化面が存在した(図112上・図113土層断面図A-A'5層上部付近)。竈は東辺にあった。竈覆土は攪乱により壊されていたが、焼面と判断される硬い焼土が存在した部分(図113土層断面図C-C'4層)も若干認められた。竈の袖は、粘性の強い土の高まりがわずかに確認された。煙道の痕跡も存在した。また住居址の南および西壁下において、硬化面より下において壁に平行する溝状の凹み(深さ約0.2m)がL字状に確認され、掘り方と判断された(図112下)。また掘り方調査中にピットを検出できたが、本住居址に伴う柱穴は、南西隅から約0.7m内側で検出された1基だけであった。113号ピットは径が0.5~0.6mあり、覆土中に柱痕を確認できた柱穴であるが、位置的に見て、本住居址に伴う柱穴ではない。なお本住居址の時期は7世紀中葉頃と判断される。

**73号竪穴住居址 (図113)**

調査区中央北側のD-2区で検出された。平面形は方形プランをなすが、北側は調査区外、東側は4号溝によって切られているので、西1.25m・南辺1.2mと南西隅の一隅が検出されたにすぎない。西辺方位はN-26°-Wである。12・124号竪穴住居址と切り合い関係にある。本住居址は124号竪穴住居址より新しく、12号住居址より古かった。壁の立ち上がりは約0.25mである。覆土は黒褐色土であった。底面直上より、脚付壺の上に高坏が重なって出土した(図版80:写真182)。掘り方掘削中にピットが1基検出されたが、その位置から、本住居址に伴う柱穴とは判断しがたい。本竪穴住居址は12号竪穴住居址より古いので、古墳時代後期(7世紀中葉以前)と判断される。

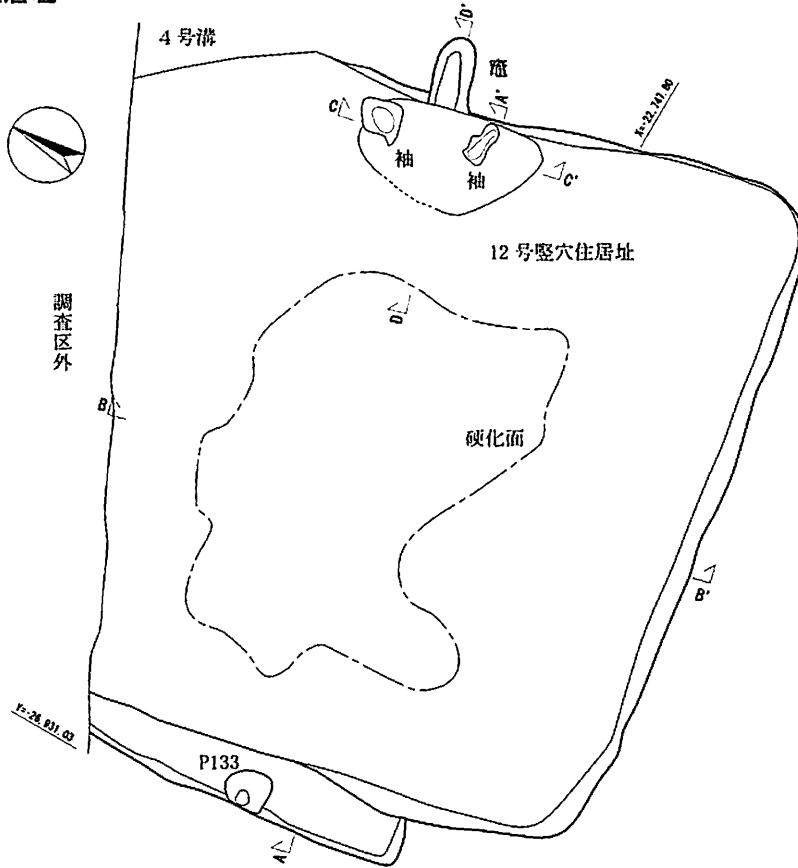
**124号竪穴住居址 (図113)**

調査区中央北側のD-2区で検出された。平面形は方形プランをなすが、東側は73号竪穴住居址により切られ、北側は調査区外に出ているので、西辺17m・南辺約11mと南西隅の一隅が検出されたにすぎない。南辺の方位はN-56°-E(直交方位N-34°-W(余角))である。壁の立ち上がりは約0.18mある。覆土は黒褐色土であった。12号竪穴住居址により切られ、12号竪穴住居址の掘り方覆土が上を覆っていた。掘り方調査中にピットが2基検出されたが、本住居址に伴う柱穴ではない。本竪穴住居址は12号竪穴住居址よりも古いので、古墳時代後期(7世紀中葉以前)と判断される。

**62号竪穴住居址 (図114)**

調査区中央のD-2・3区で検出された。平面形は約4.6×2.5mの長方形プランをなす。長軸方位はN-3°-E。東側は54号竪穴状遺構と攪乱、掘立柱建物の柱穴により壊されていた。壁の立ち上

12号竖穴住居址



12号竖穴住居址（掘り方）

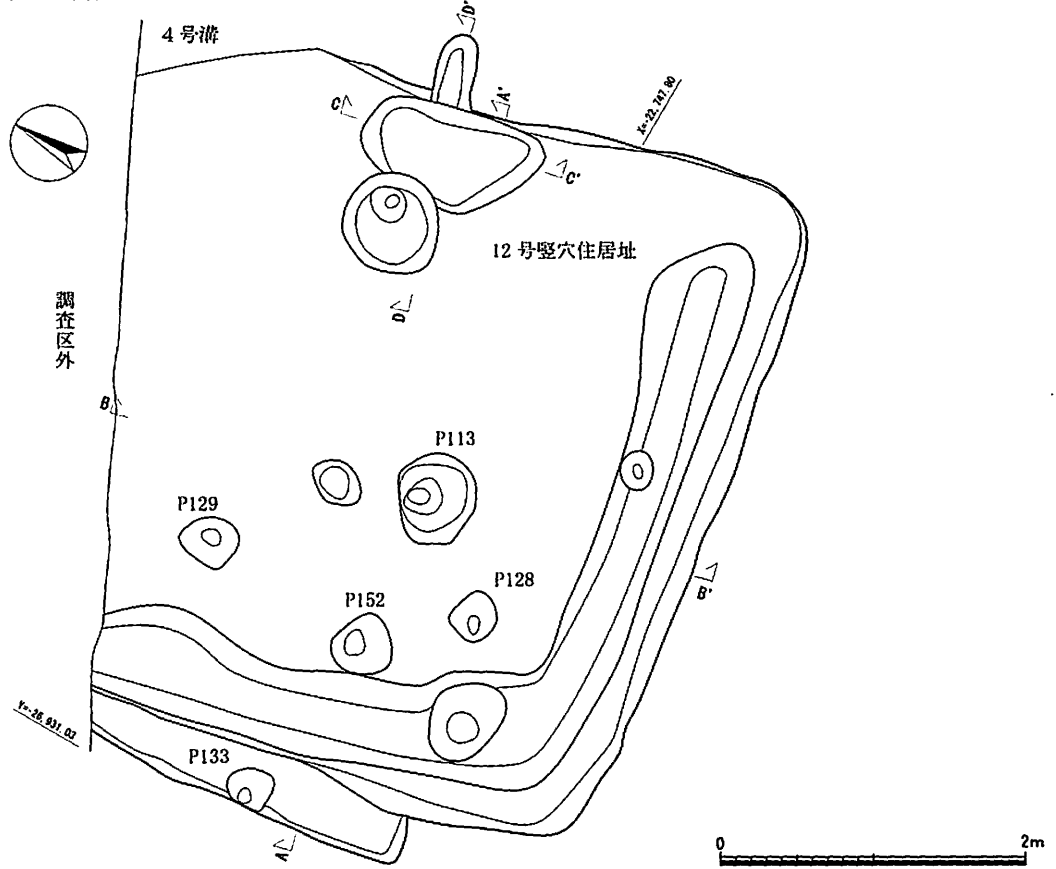
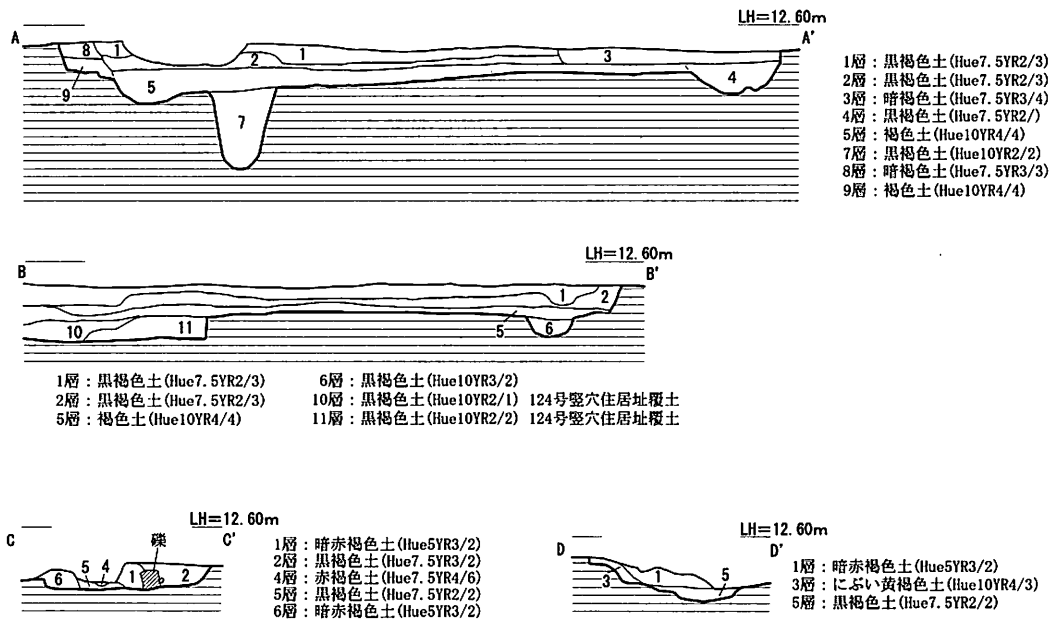


図112 12号竖穴住居址実測図（1/50）

12号竪穴住居址



73・124号竪穴住居址

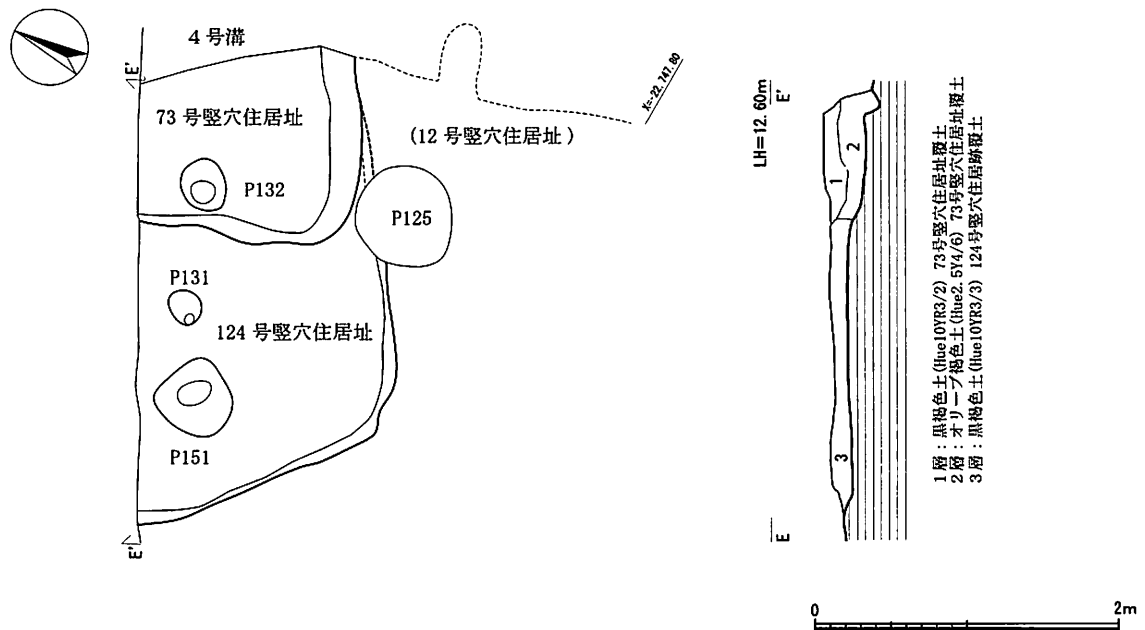


図113 12・73・124号竪穴住居址実測図 (1/50)

がりは南側では低く、確認面から0.08mしかなく、北側では少し深くなり約0.18mある。北側の底面がやや下がっていること、北側と南側では覆土に違いがあることなどから、2時期の住居址が重複した可能性が想定される(図114上の点線範囲に1軒の住居址を想定)。覆土は黒褐色土であった。また167号ピットは焼土を含んでいたことから、竈に関する施設である可能性がある。出土遺物から時期は7世紀前葉と8世紀後葉の2時期と判断される。

#### 76号竪穴住居址（図114）

調査区中央のC-3区、D-3区で検出された。平面形は一辺約2.6mの長方形プランをなす。東辺に平行する軸方位はN-9°-Wである。南側は攪乱により壊されているので、他辺の長さは不明である。壁の立ち上がりは約0.08mである。覆土は黒褐色土であった。東辺には竈があったが、残存したプランから考えて、竈は東辺の中央ではなく、南寄りについていたと想定される。袖と煙道の一部と燃烧面が残っており、竈前の掘り込みが確認された。時期は8世紀以降と判断される。

#### 147号竪穴住居址（図115）

調査区中央のD-3区で検出された。平面形は約2.4×2.2mの小形の方形プランをなす。南東部は掘りすぎのため、正確な形は捉えられなかった。北側は55号溝と切り合い関係にあり、南側は90号竪穴住居址を切って存在していた。55号溝との先後関係は不明瞭であったが、55号溝に切られている可能性はある。また北西隅は6号ピットに切られていた。長軸（南北）方位はN-16°-Wである。壁の立ち上がりは約0.15mである。覆土は黒褐色土であった。掘り方の凹みは浅く存在する。遺物は6世紀末～7世紀前葉の遺物が出土しているが、重複する竪穴住居址群の中でも切り合い上最も新しいため、90号竪穴住居址より新しいことから、時期は8世紀後葉以降と判断される。

#### 148号竪穴住居址（図115）

調査区中央のD-3区で検出された。平面形は軸長約3.1mの方形プランをなす。北西側は55号溝、北東側は19号ピット、南側は攪乱に切れ、攪乱以南にも覆土が残っていた。また北東辺にはピットが重複していた。東西軸方位はN-53°-E（N-37°-W（余角））である。壁の立ち上がりは約0.25mを測る。覆土がⅡ層下部に類似する黒褐色土であるため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

#### 90号竪穴住居址（図116）

調査区中央のD-3区で検出された。北側を147号竪穴住居址に切れ、中央部を攪乱に壊されており、本来の規模は捉えられなかった。また東辺は28号ピットにより切られていた。南東端の辺を見ると、南北軸方位はN-17°-Wである。攪乱以北には砂岩片・焼土・灰の集積が見られた。壁の立ち上がりは約0.12mである。覆土は黒褐色土であった。掘り方の凹みは浅く存在する。遺物は8世紀後葉の遺物が出土している。遺物が少ないので確定はできないが、時期は8世紀後葉の可能性はある。

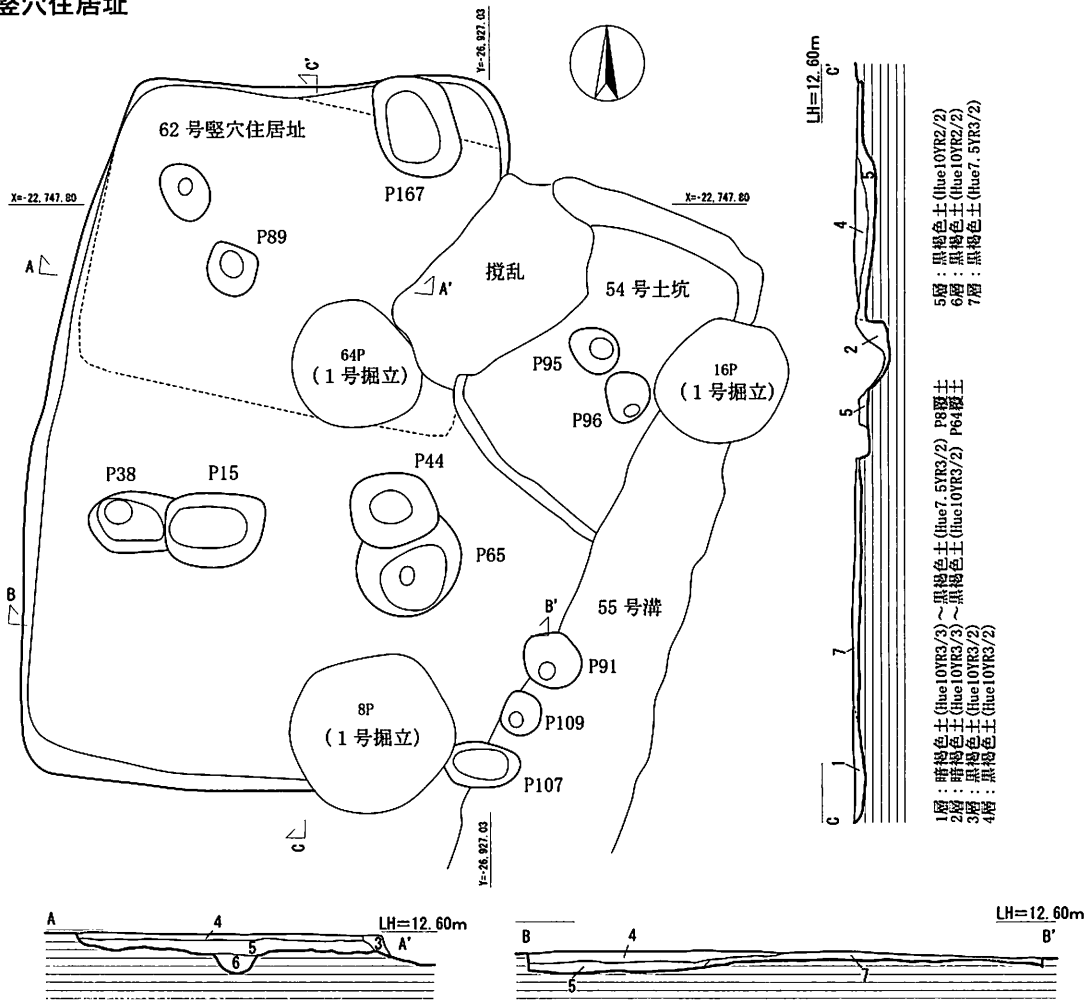
#### 159号竪穴住居址（図116）

調査区中央のD-3区で検出された。平面形は南北長約4.8mの長方形プランをなす。北西隅は壁が明瞭であったが、東辺および南東部は不明瞭であった。165号竪穴住居址の上に重なっており、165号竪穴住居址より新しいが、北側は147・148号竪穴住居址に切れ、南西側では上に90号竪穴住居址が重なっていた。また西辺は1号掘立柱建物址の163号柱穴に切れ、覆土東側には炭化物が土であった。掘り方は南西側で掘り方覆土と思われる土が確認された。覆土はⅡ層下部に類似し、かつ1号掘立柱建物址（9世紀末又は10世紀初め）の163号柱穴に壊されていることから、時期は古墳時代後期又は古代（9世紀末以前）と判断される。

#### 165号竪穴住居址（図117）

調査区中央のD-3区で検出された。平面形は約5.2×5.0mの方形プランをなす。軸（短軸）方位はN-34°-Wである。159号竪穴住居址や1号掘立柱建物址163号柱穴、28号ピットよりは古いが、南側では166号竪穴住居址、西側では104・120号竪穴住居址を切って作られていた。また東隅および北東辺は攪乱により壊されていた。壁の立ち上がりは確認面から約0.25mである。覆土は黒褐色土であった。南側に寄った所に不整形の土坑状の凹みが1基存在した。また掘り方覆土が広く確認された。104・120号竪穴住居址（6世紀末又は7世紀前葉）を切り、1号掘立柱建物址（9世紀末又は10世紀

62号竖穴住居址



76号竖穴住居址

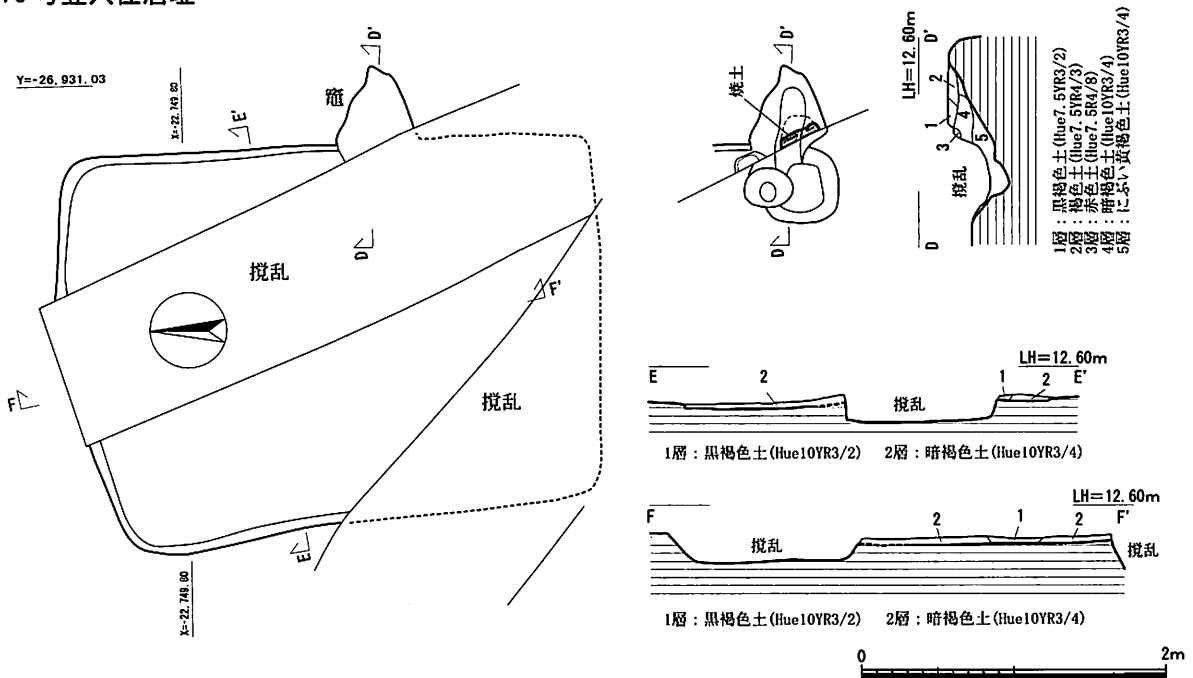


図114 62・76号竖穴住居址実測図 (1/50)

147・148号竪穴住居址

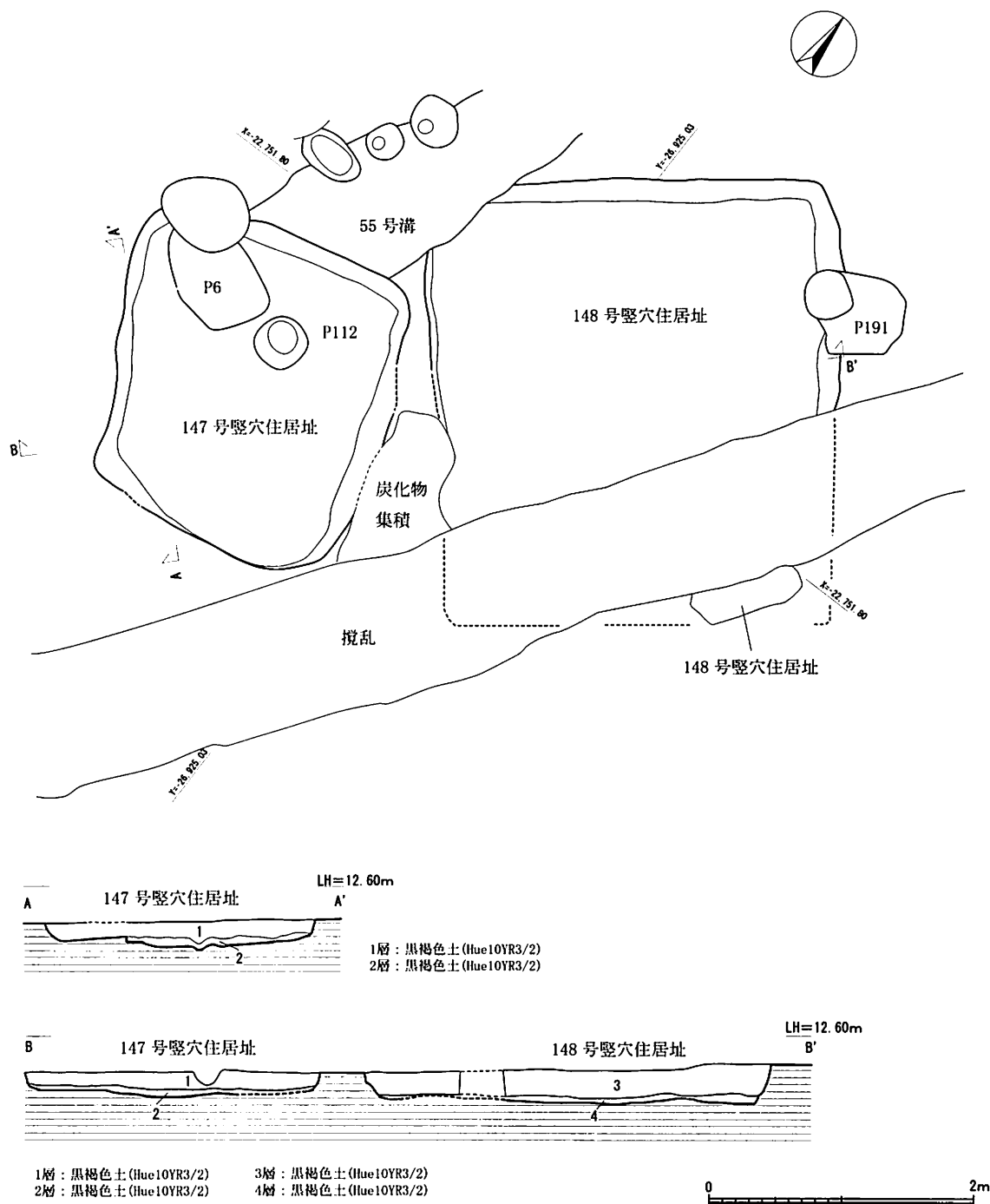


図115 147・148号竪穴住居址実測図 (1/50)

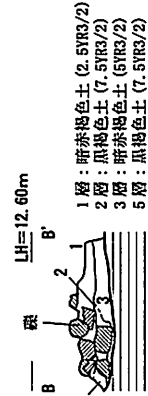
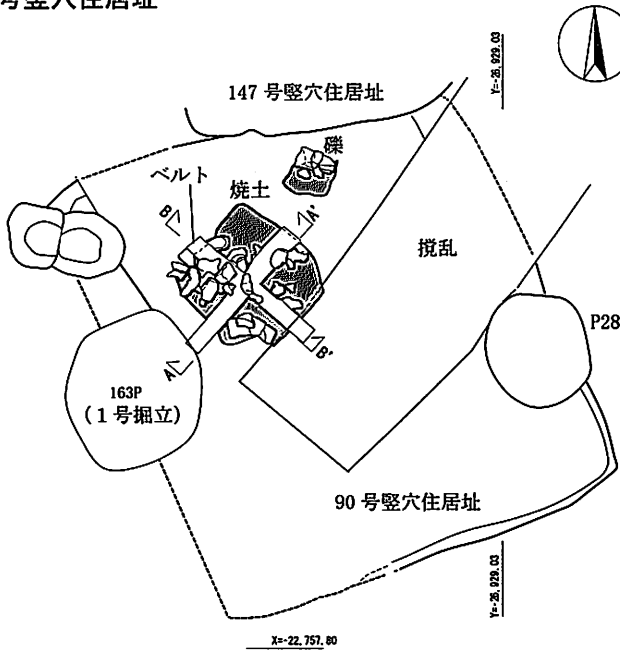
初めに切られているため、時期は古墳時代後期又は古代（9世紀末以前）と判断される

166号竪穴住居址 (図117)

調査区中央のD-3・4区-E-3区で検出された。平面形は方形プランをなす。165号竪穴住居址に切られているが、182号竪穴住居址を切って構築されていた。北東側の境界が不明瞭であったため、住居址一辺の長さを測ることはできなかったが、幅1.6mにわたって検出された。南東辺の方位はN-38°-E (N-52°-W (余角))である。壁の立ち上がりは約0.2mを測る。覆土は黒褐色土で



90号竪穴住居址



159号竪穴住居址

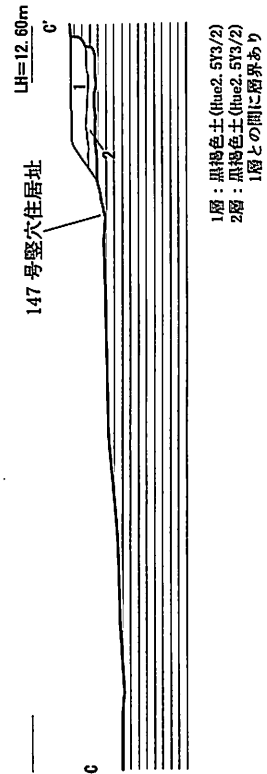
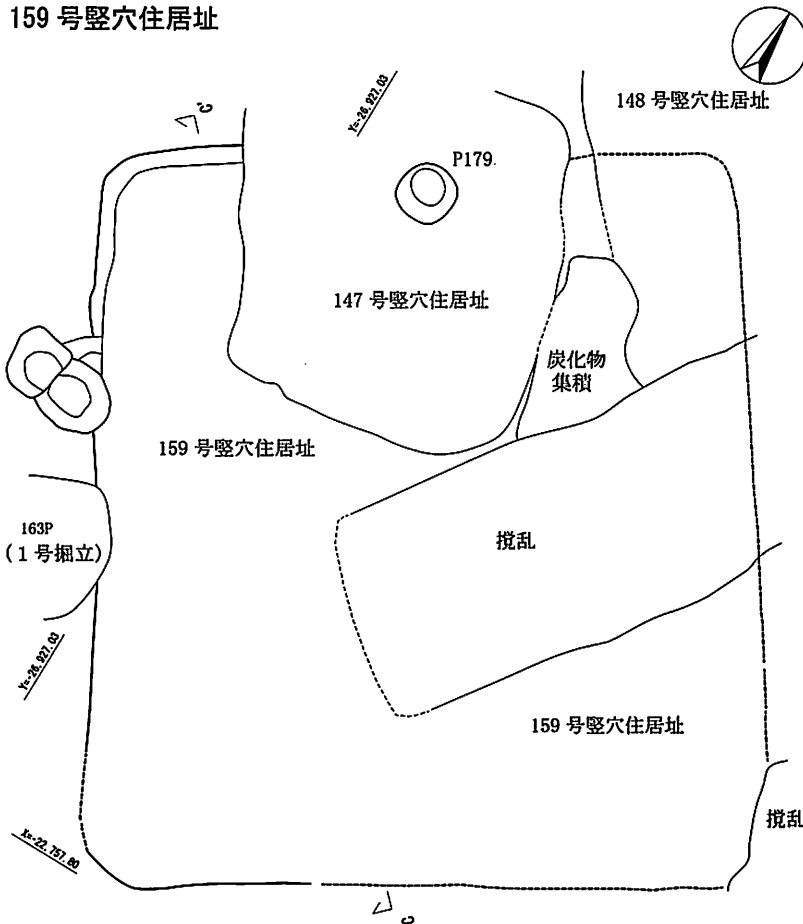
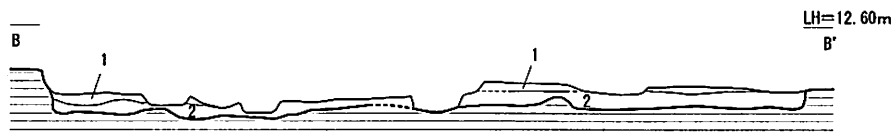
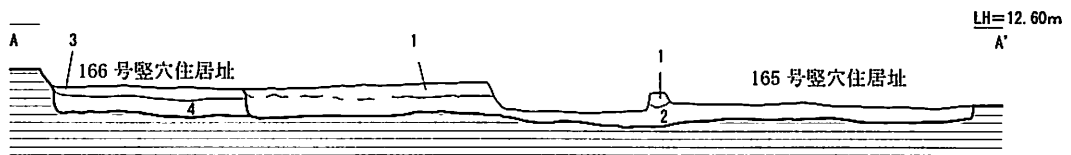
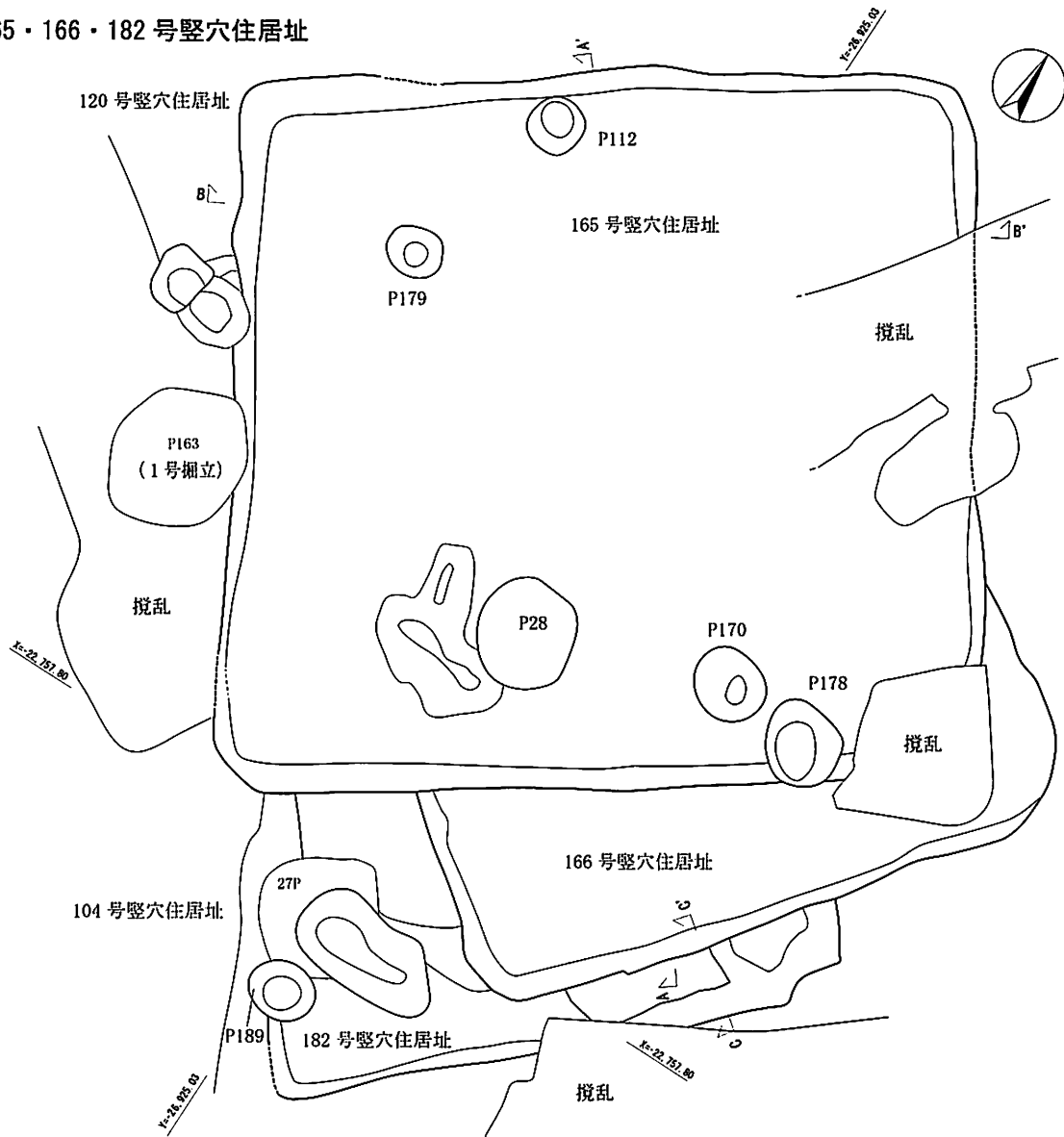
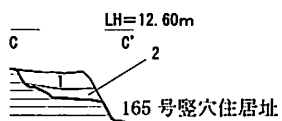


図116 90・159号竪穴住居址実測図 (1/50)

165・166・182号竪穴住居址



1層：黒褐色土 (flue10YR3/2) 165号竪穴住居址覆土 3層：黒褐色土 (flue2.5Y3/1) 166号竪穴住居址覆土  
 2層：黒褐色土 (flue10YR3/2) 165号竪穴住居址覆土 4層：黒褐色土 (flue2.5Y3/2) 166号竪穴住居址覆土



1層：黒褐色土 (flue10YR2/2) 182号竪穴住居址覆土  
 2層：黒褐色土 (flue10YR2/2) 182号竪穴住居址覆土



図117 165・166・182号竪穴住居址実測図 (1/50)

63号竪穴住居址

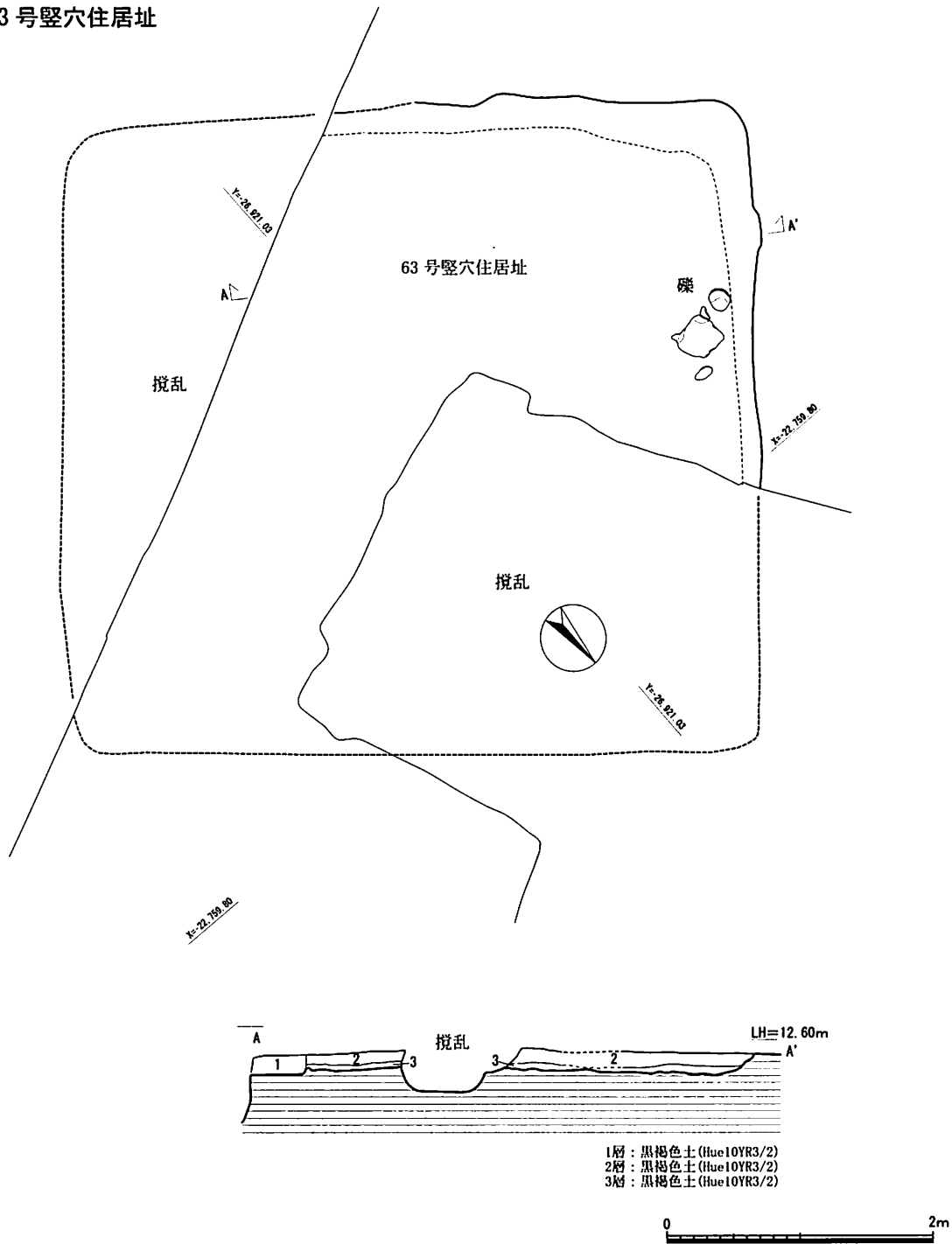


図118 63号竪穴住居址実測図 (1/50)

あった。また掘り方覆土が広く存在した。7～8世紀の遺物を出土した182号竪穴住居址を切り、165号竪穴住居址に切られるため、時期は古墳時代後期又は古代（9世紀末以前）と判断される。

182号竪穴住居址 (図117)

調査区中央のD-3・4区で検出された。平面形は方形プランをなす。北側は165・166号竪穴住居址、西側は104号竪穴住居址によって切られ、南側は93号竪穴住居址により上を削られている。また1号掘立柱建物址27号柱穴にも切られていた。一辺（南辺）約3.9mの住居址が最大で幅2.1mまで検

出された。南辺の方位はN-48°-E（N-42°-W（余角））である。壁の立ち上がりは最大で約0.2mを測る。覆土は黒味の強い黒褐色土であった。南隅は楕円形の土坑状の掘り込みがあり、不明瞭であったが、南および東隅付近がやや深い掘り方を有する。D-3・4区に集中する竪穴住居址群の中で、切り合い上、最も古い住居址の一つに該当する。出土遺物は7世紀～8世紀の遺物が出土している。

### 63号竪穴住居址（図118）

調査区のD-4-E-4区で検出された。北隅から中央部にかけてと南壁の大半を攪乱によって壊されていたが、平面形は約5.9×5.1mの方形プランをなす。軸方位は長軸でN-40°-E（直交方位N-50°-W）である。次に述べる74号竪穴住居址のプランを掘削する過程で生活面と思われる面が捉えられたので住居址とした。74号竪穴住居址の覆土中に構築されており、北・西辺は74号住居址のやや内側に存在するが、東辺は不明瞭であった。壁の立ち上がりは約0.18mである。覆土は黒褐色土であった。北西壁寄りの所で大形の砂岩礫が数個近接して発見されたが、竈は見つからなかった。7世紀前葉の遺物が出土した。

### 74号竪穴住居址（図119・120）

調査区のD-4、E-4区で検出された。北隅から中央部にかけてと南辺の大半を攪乱によって壊されていたが、平面形は約5.9×5.1mの長方形プランをなす。軸方位は長軸でN-40°-E（直交方位N-50°-W）である。93・154号竪穴住居址・9号溝を切って作られていた。壁の立ち上がりは0.3m程度。覆土は黒褐色土であった。竈は西壁中央付近に存在し、その西寄りに土坑が存在した。竈には切り出した一対の砂岩が袖として配置され、それらの囲む中央に甕が3個重ねて据えられていた。そのうちの下位の甕（図133-83）は焚口側の胴部に打ち欠きにより半円形の穴があけられていた。支柱として用いられていたと判断された。上位の甕（同図84）は下位の甕の上に被さって潰れており、上位の甕は、下位の甕の口縁部上に、底部載せて据えられていた。この上位の甕の中に小ぶりの同図82が入っていた。竈の袖石の内側はよく焼けて赤化しており、竈の内部の土にも多量の焼土が含まれていた。竈の下には長楕円の掘り方が存在した。掘り方覆土は黒褐色をなし、焼土や竈構築材の破片を少し含んでいた。西側の土坑には完形の長胴甕（同図81）が正位に設置され、その脇に、土坑を覆うように大形の土器片（甌）（同図87）が潰れて出土した。また大形の土器片と同レベルから、砂石の切石と高坏（図134-91）が出土した。土坑内の土は黒褐色で、焼土は含まれていなかった。掘り方は、前述した竈の掘り方の他に、住居址の西側に凹みがみられた。掘り方は、土坑から東側に向かって細長く低い部分が存在し、北西壁の直下も溝状に低くかった。遺物から時期は6世紀末又は7世紀前葉と判断される。

### 93号竪穴住居址（図123）

調査区のD-4区で検出された。プランは182号竪穴住居址を切っている北東辺が明瞭で、その底面を追究して平面形を捉えた。平面形は約4.5×3.5mの長方形をなすと考えたが、南東壁の位置はもう少し東側であった可能性がある。軸方位は長軸でN-37°-E（N-53°-W）である。南東側は74号竪穴住居址によって切られて消失しており、中央は1号掘立柱建物址の27号柱穴に切られていたが、182・104・154号竪穴住居址を切って構築されていた。壁の立ち上がりは約0.17mである。覆土は黒褐色土であった。74号竪穴住居址（6世紀末又は7世紀前葉）に切られ、104号竪穴住居址（6世紀末又は7世紀前葉）に切られており、それらの竪穴住居址と同じ時期（6世紀末又は7世紀前葉）と判断される。

74号竖穴住居址

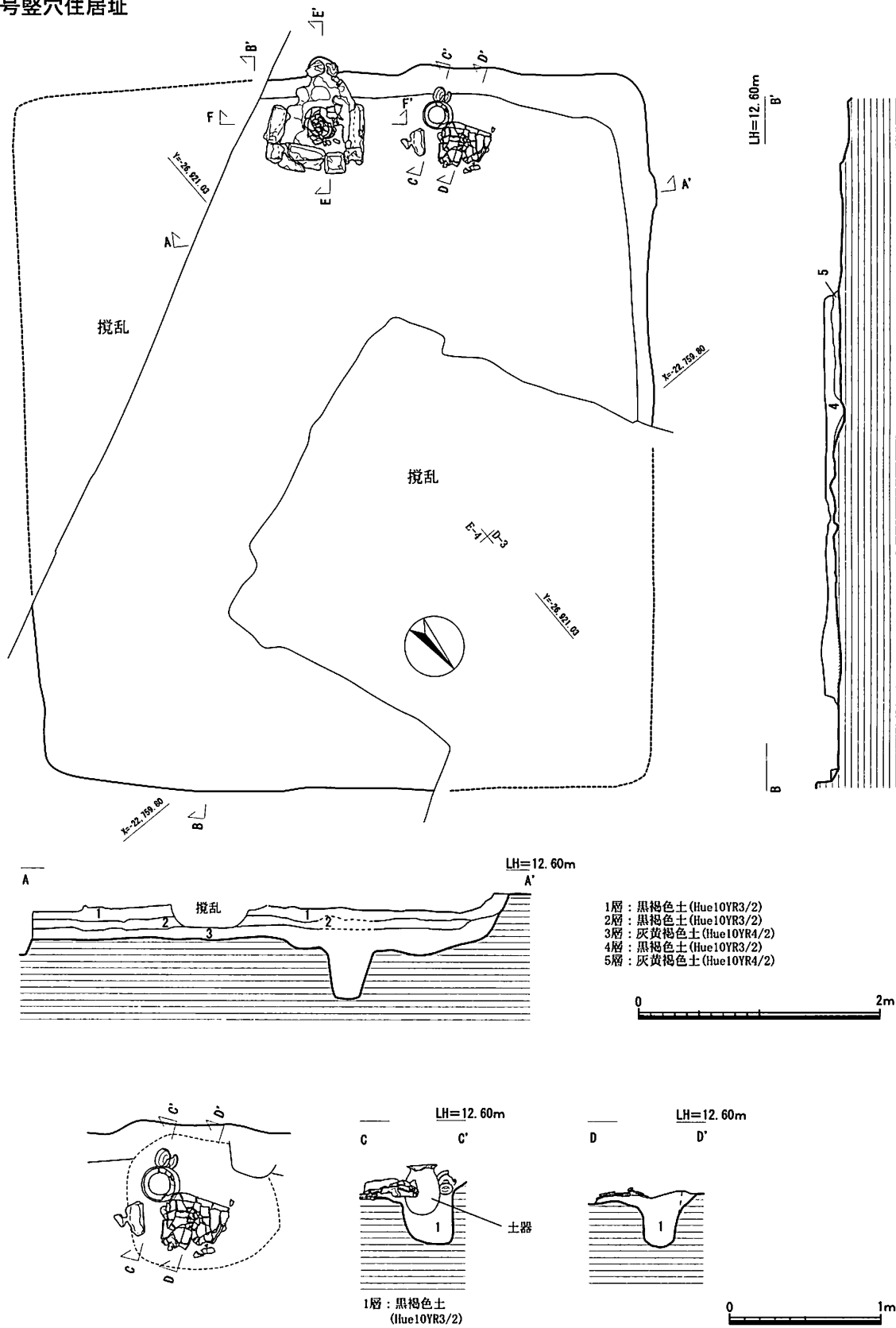
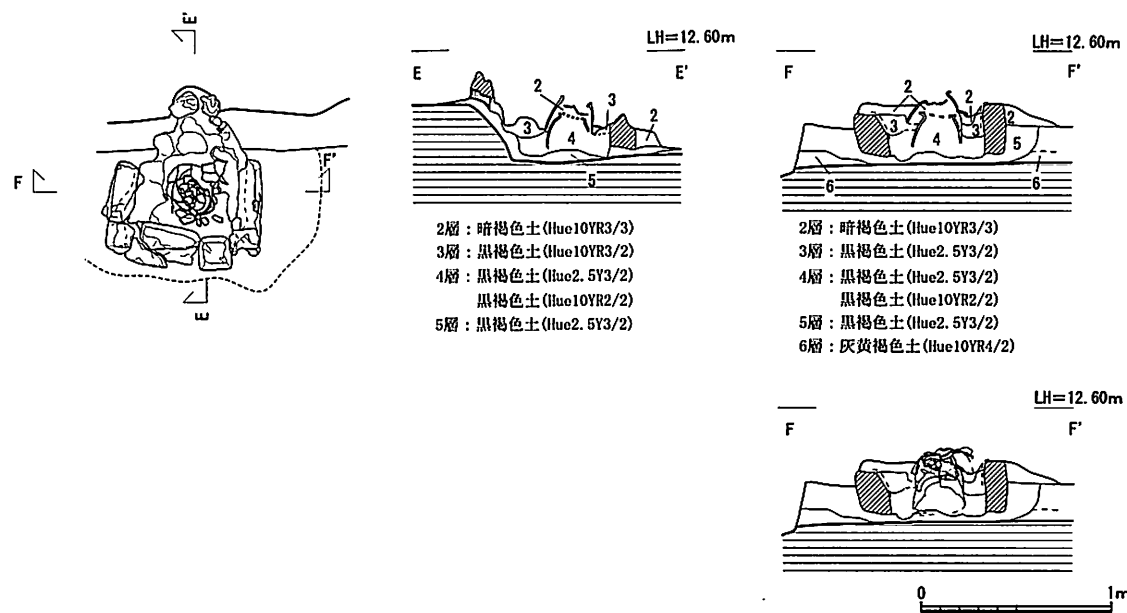


図119 74号竖穴住居址実測図(1) (1/50・1/40)

74号竪穴住居址 (竈)



74号竪穴住居址 (掘り方)

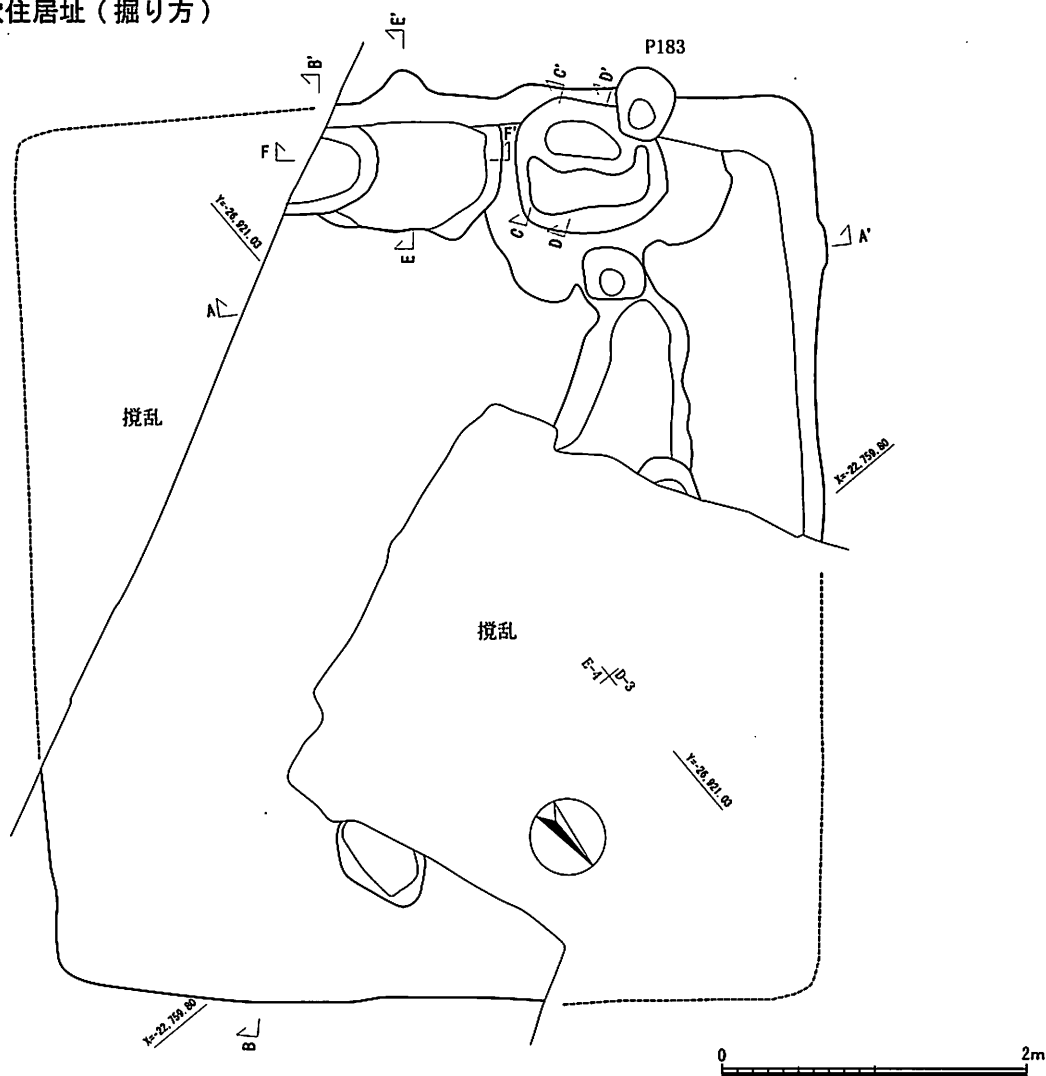
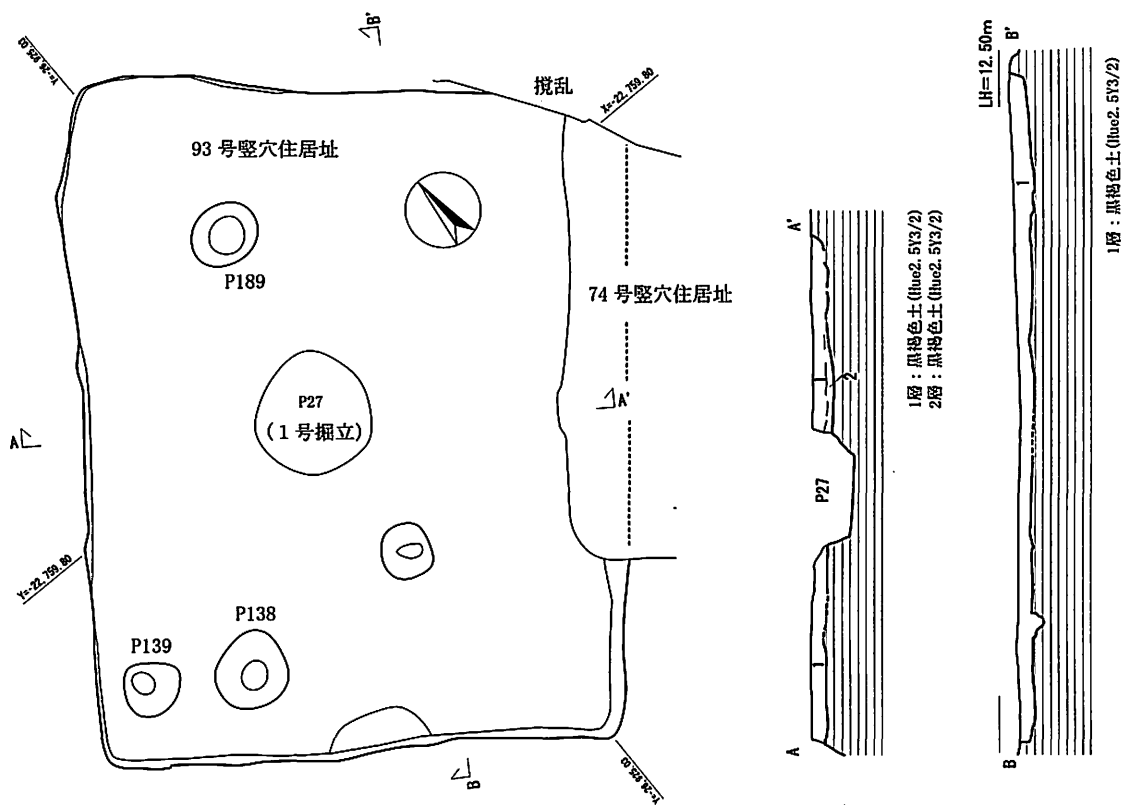


図120 74号竪穴住居址実測図 (2) (1/50・1/40) 土層断面図は図119に掲載。

93号竪穴住居址



154号竪穴住居址

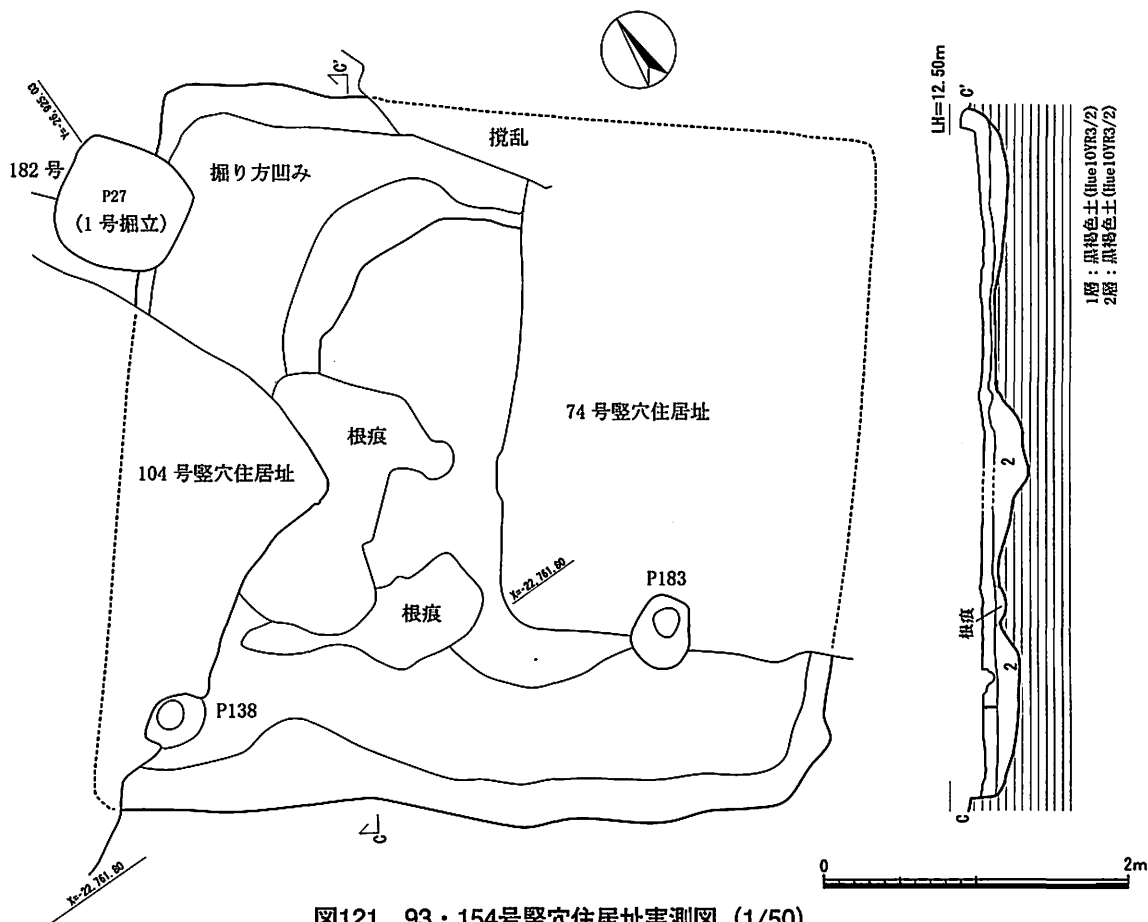


図121 93・154号竪穴住居址実測図 (1/50)

104号竪穴住居址

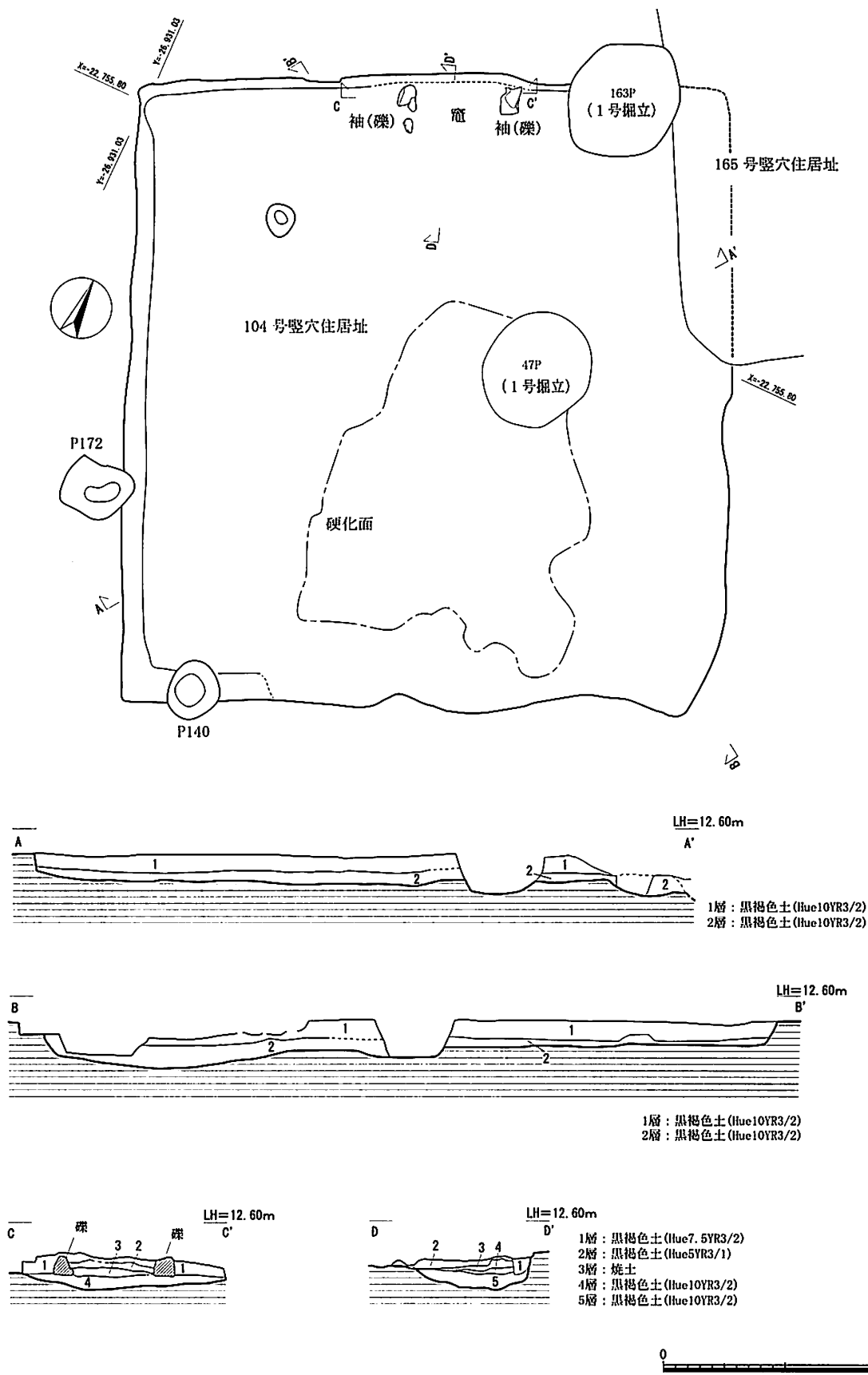


図122 104号竪穴住居址実測図 (1) (1/50)



## 104号竪穴住居址 掘り方

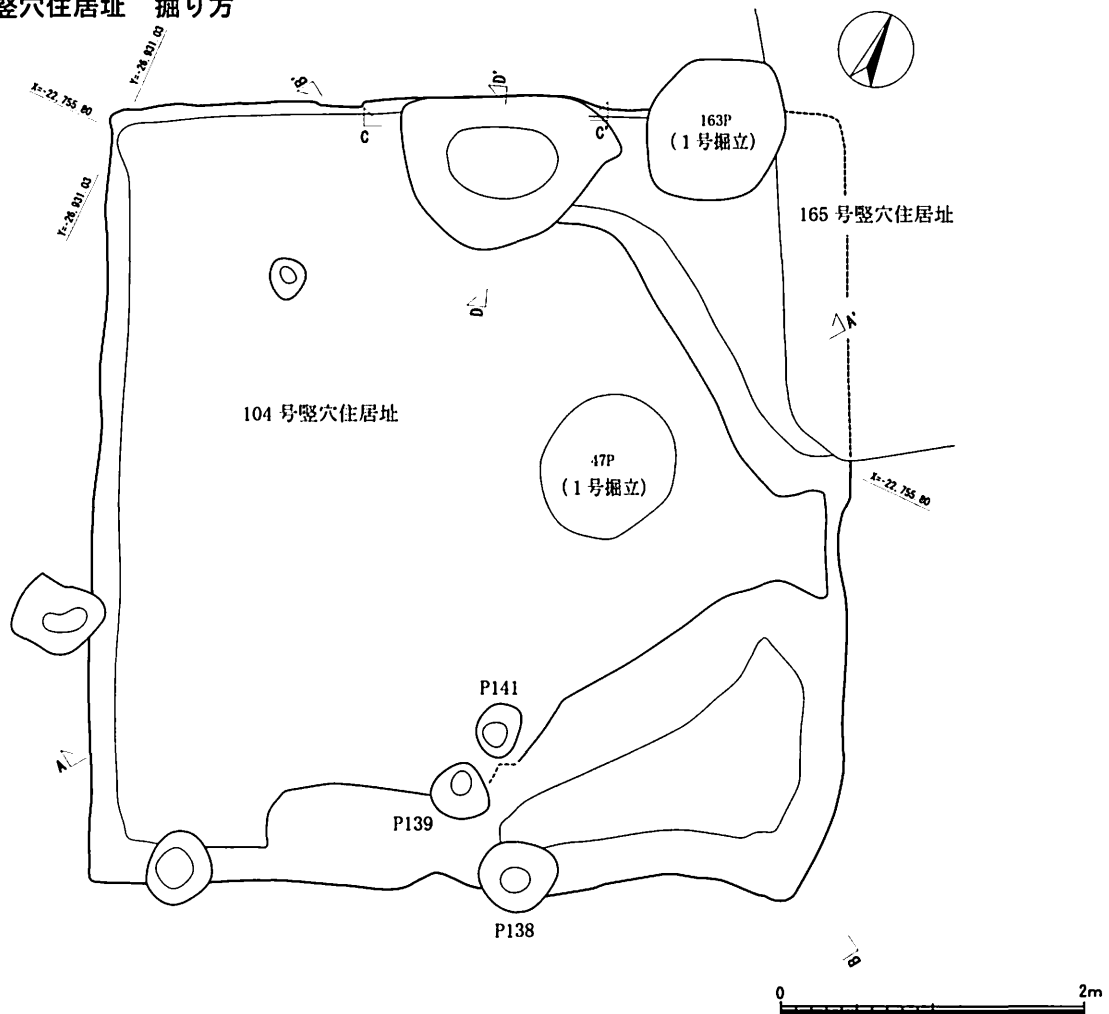


図123 104号竪穴住居址実測図(2) (1/50) 土層断面図は図122に掲載。

## 154号竪穴住居址 (図121)

調査区のD-4区で検出された。平面形は約4.7×4.7mの方形プランをなす。軸方位はN-36°-E (N-54°-W)である。南東側を74号竪穴住居址、西側を104号竪穴住居址や1号掘立柱建物址27号柱穴により切られ、上には93号竪穴住居址が重なっていた。壁の立ち上がりは約0.25mである。覆土は黒褐色土であった。床面より低いレベルにおいて掘り方の掘り込みが確認された。掘り方は住居址中央の円形の範囲が高く、その周囲から壁にかけて低くなるものであった。また中央やや西側には根による攪乱と判断される凹みがあった。74号竪穴住居址や104号竪穴住居址(共に6世紀末又は7世紀前葉)に切られているが、出土遺物の時期に大きな差がないため、それらの竪穴住居址と同じ時期(6世紀末又は7世紀前葉)と判断される。

## 104号竪穴住居址 (図122・123)

調査区中央のD-3・4区で検出された。平面形は約5.1×5.0mの方形プランをなす。軸方位はN-24°-Wである。120号竪穴住居址を切るが、90・93・154・165号竪穴住居址に切られていた。また1号掘立柱建物址(47・163号柱穴)にも切られていた。壁の立ち上がりは約0.2mである。覆土は黒褐色土であった。プランの中央から南壁に向かって主軸を中心として1.5~2.3mの幅で硬化面が存在

した(図122)。硬化面より下位には、北東隅および南東隅を中心として掘り方と判断される掘り込みが存在した(図123)。掘り方は北東隅および南東隅で明瞭で、隅を中心として直角三角形の低い部分が存在した。竈は北壁中央にあった。竈の左右両側には砂岩が袖として用いられていた。竈内には焼土が多く、層をなして存在していた(第122図土層断面図D-D'の3層)。竈の下部には主軸と直交方向に長軸をもつ不整楕円形の掘り方が存在した。74号竪穴住居址(6世紀末又は7世紀前葉)より古く、120号竪穴住居址(6世紀末又は7世紀前葉)に切っているが、出土遺物の時期には大きな差はなく、それらの竪穴住居址と同じ時期(6世紀末又は7世紀前葉)と判断される。

#### 120号竪穴住居址 (図124・125)

調査区のC-3・4、D-3・4区で検出された。平面形は約4.8×4.9mの正方形プランをなす。軸方位は長軸でN-58°-W(直交方位はN-32°-E)である。南側は104号竪穴住居址、南東側は165号竪穴住居址により切られていた。また1号掘立柱建物址の柱穴(7・32・43・163号柱穴)が本住居址の覆土を掘りこんでいた。壁の立ち上がり約0.2mである。覆土は黒味の強い黒褐色土であった。北西壁下から主軸を中心に幅約1.2~1.8mの硬化面が帯状に存在した(図124)。南西部は床面まで104号竪穴住居址により削られていたので、硬化面は確認できなかった。竈は西壁中央にあり、西側は切石、東側は粘土が袖として遺存していた。奥壁は焼土により赤化し、竈の内側には土器小破片が散在していた。竈の下には主軸に直交する長方形の掘り込みが存在した。また北西壁際および南西壁際では硬化面より下位レベルにおいて、掘り方と判断される幅0.6m前後の溝状の掘り込みが確認された(図125)。本竪穴住居址はC・D-3・4区に集中する竪穴住居址の中で切り合い上、最も古いものの1つである。出土遺物より時期は6世紀末又は7世紀前葉と判断される。

#### 206号竪穴住居址 (図125)

調査区西寄りのC-2・3区で検出された。平面形は方形をなす。南側を攪乱によって壊されていたが、確認できた一辺は約3.4mを測る。辺に平行する東西軸方位はN-77°-E(直交方位N-13°-W(余角))である。また中央にも攪乱が存在し、住居址を2つに分断していた。壁の立ち上がりは最大で約0.15mである。覆土は黒褐色土であった。攪乱以西に本住居址に伴うと判断される柱穴が1基存在した。掘り方と判断される掘り込みも存在し、攪乱以西は、壁下から住居址中央付近に向かって緩やかに下がる。攪乱以東は長方形の凹みが存在した。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

#### 207号竪穴住居址 (図126)

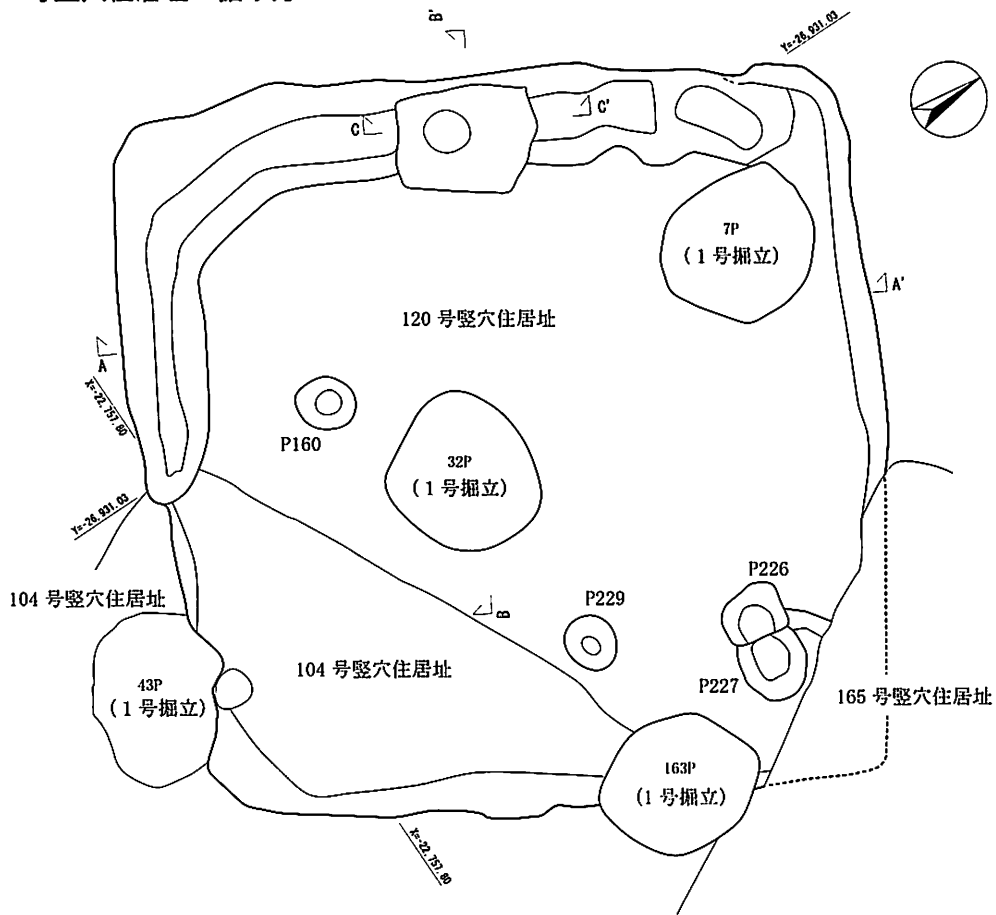
調査区西側のB-3区、C-3区で検出された。平面形は方形プランをなす。南側を攪乱で壊され、北西隅は調査区外に出ていたが、確認できたところでは軸長約2.3mをなす。東西軸方位はN-77°-W(直交方位N-13°-E(余角))である。219・220号ピットには切られていたが、208号竪穴住居址を切って構築されていた。壁の立ち上がりは約最大で0.15mである。覆土は黒褐色土であった。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

#### 208号竪穴住居址 (図126)

調査区西側のB-3区で検出された。平面形は方形プランをなす。北側は調査区外に出ており、南側は攪乱により壊されていたが、軸長は約3.8mあることが確認された。東西軸方位はN-66°-E(直交方位N-24°(余角)-W)。切り合いは219・220号ピット・207号竪穴住居址より古く、247号土坑よりも新しい。壁の立ち上がりは最大で約0.2mである。覆土は黒褐色土であった。調査区壁下のやや西寄りに柱穴と判断される掘り込みが1基存在した。掘り方と判断される掘り込みは比較的深く存在し、東側では約0.25mの深さをもって凹んでいた。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古



120 号堅穴住居址 掘り方



206 号堅穴住居址

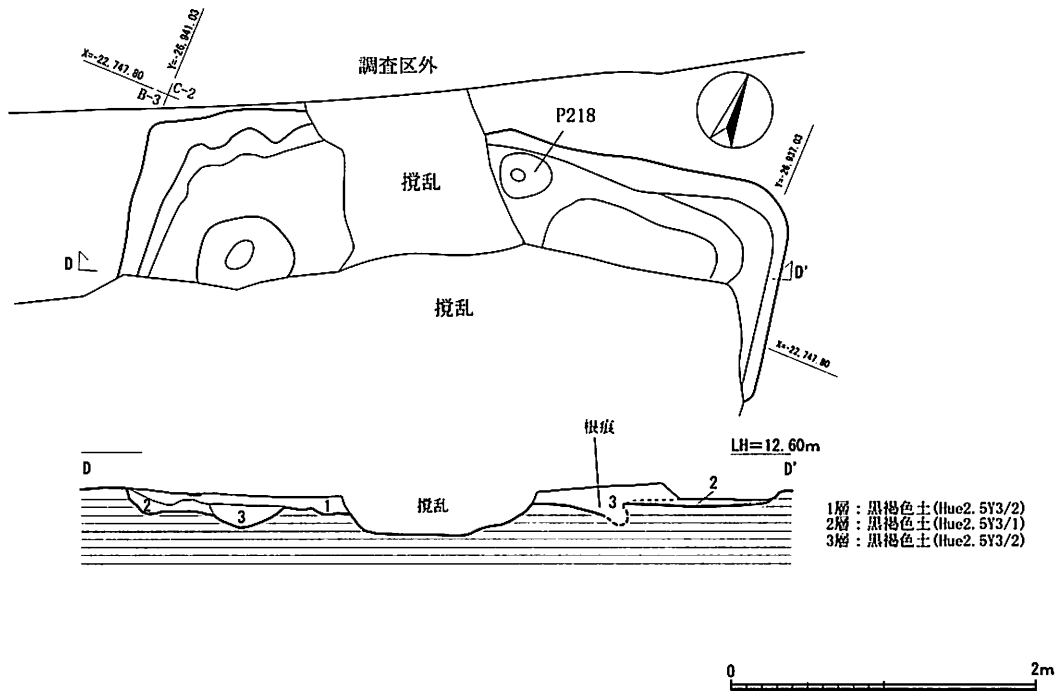
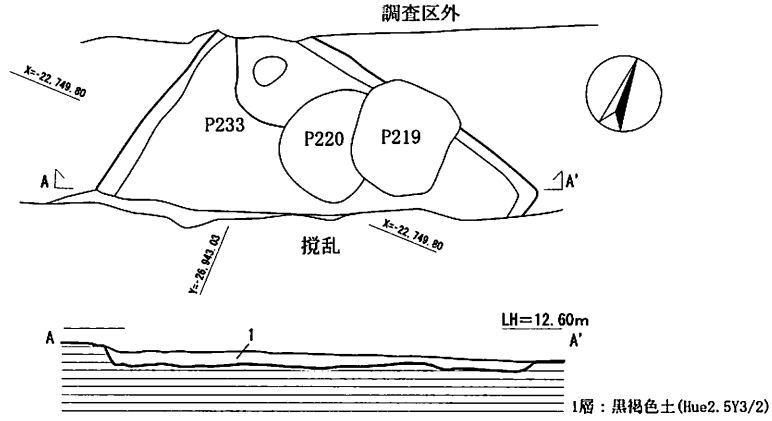
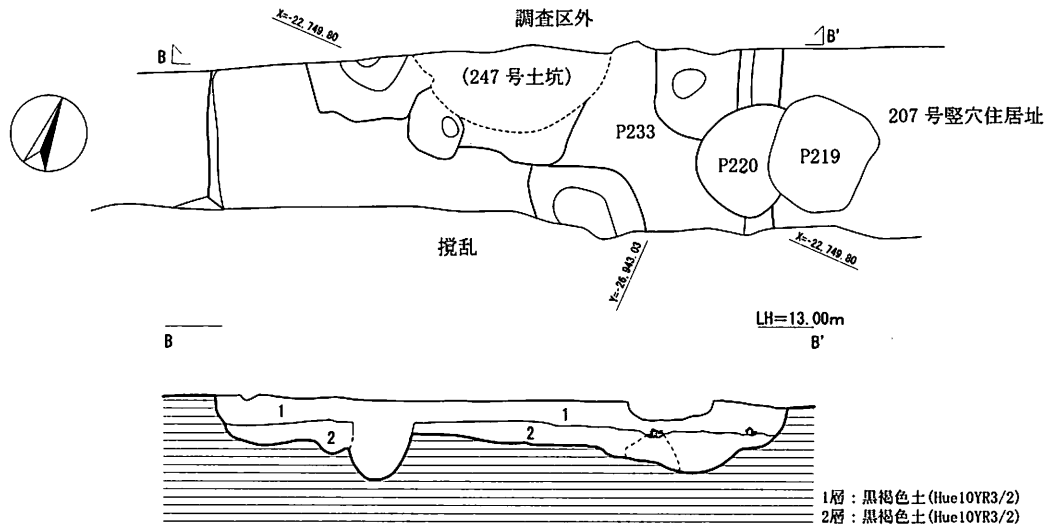


図125 120・206号堅穴住居址実測図 (1/50) A-A' ~ C-C' 土層断面図は図124に掲載。

207号竖穴住居址



208号竖穴住居址



210号竖穴住居址

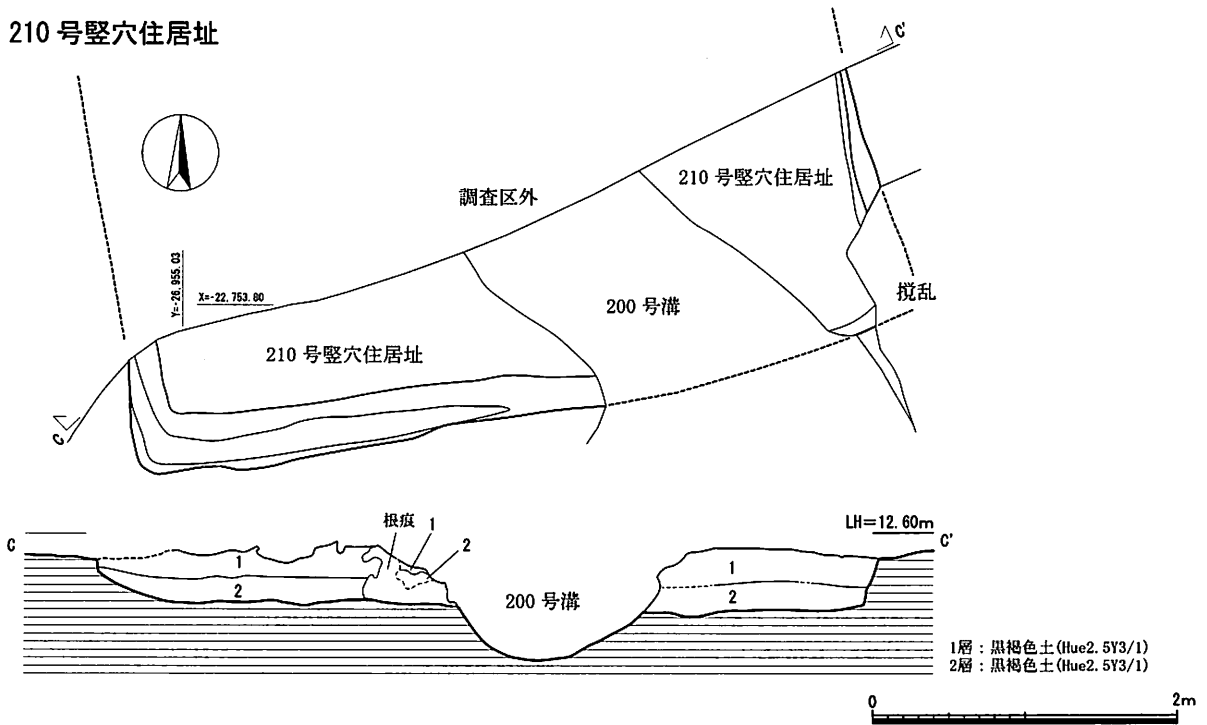


図126 207・208・210号竖穴住居址実測図 (1/50)

### 210号竪穴住居址（図126）

調査区西側のA-3区、B-3区で検出された。平面形は方形プランをなす。北側が調査区外に出ていたが、一辺が約5.1mあることは確認された。確認された一辺に平行する東西軸方位はN-80°-E（直交方位N-10°-W（余角））である。住居址の中央を200号溝が切り、本住居址は分断されていた。壁の立ち上がりは最大で約0.25mである。覆土は黒褐色土であった。掘り方は約0.2mの深さを持ち、西および南壁際に溝状の低い部分をもっていた。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

### 215号竪穴住居址（図127）

調査区南側のD-4区で検出された。平面形は方形プランをなす。南側を攪乱によって壊されており、規模はよくわからないが、一辺5m以上はある。軸方位は竈の付く辺に平行する軸でN-44°-E（直交方位N-46°-W（余角））である。住居址北隅近くの1号ピット列の244号柱穴は本住居址の覆土を切って掘られていた。壁の立ち上がりは約0.3mである。覆土は黒褐色土であったが、住居址東側は暗褐色をなしていた。主軸線を中心にして幅1.4~1.5mの硬化面が帯状に存在した。硬化面を切って、本住居址に伴うと判断される柱穴が1基検出された。竈は北西壁にあった。長方形に切り出した砂岩を一对配置して袖を作っていた。袖に挟まれた中央は窪み、燃焼面が確認された。また燃焼部から北西側に延びる煙道の残骸を確認した。竈の下には円形の掘り込みが存在した。また硬化面より低いレベルにおいては、住居址の東側と西側で、浅い不定形の掘り込みが確認された。西側の掘り込みは北西側と南東側を攪乱により切られていた。東側の掘り込みは東壁際を基準に1.2~1.6mの範囲にわたって面状に低くなっていたが、特に低い部分は北西-南東方向に向く溝状を呈していた。覆土がⅡ層下部に類似すると同時に、1号ピット列の244号柱穴（9世紀末又は10世紀初め）に切られているため、時期は古墳時代後期又は古代（9世紀末以前）と判断される。

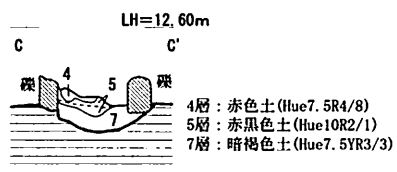
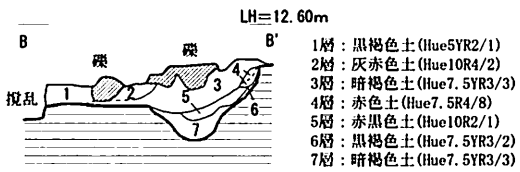
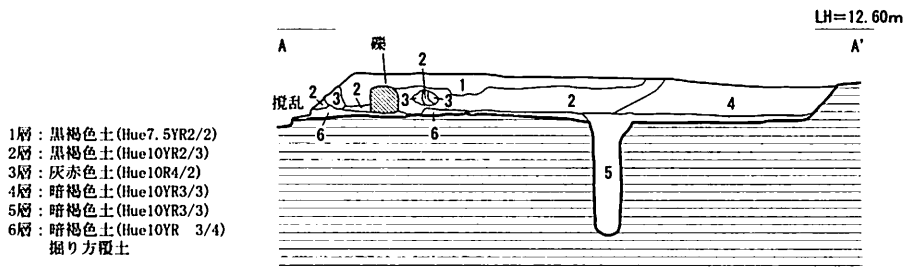
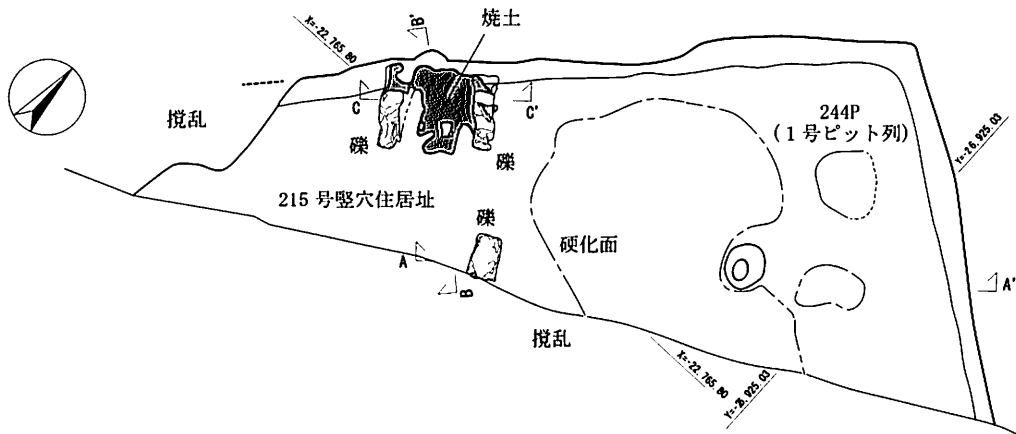
#### <掘立柱建物址>

方形の配列が認められる柱穴群を一つの単位と考え、掘立柱建物址とした。調査区中央のD-3・4区、E-3・4区で1基検出された。1号掘立柱建物址とした。

#### 1号掘立柱建物址（図128）

調査区中央のD-3・4区、E-3・4区で検出された。検出された18基の柱穴より構成される。この柱穴は竪穴住居址と重なるものでは、全て住居址を切って掘られていた。また13号溝をも切って構築されていた。柱穴の二重長方形配列が認められ、四面庇掘立柱建物址と判断した。北東隅は4号溝によって切られていたため確認されていない。また攪乱や竪穴住居址と重複して検出されなかったものもあると推定する。内側の長方形配列は身舎と考えられ、4隅に径1m前後の大形柱穴（8・39・163・164号柱穴）を配する。柱穴は円形。規模は柱穴間で桁行約7.2m、梁行約4.8m。柱間間数は、8号柱穴と39号柱穴の間には柱穴は確認できなかったため、163号柱穴と164号柱穴の間のピットは本掘立柱建物址の柱穴ではないと判断し、桁行・梁行とも1間であったと想定した。庇は桁行が5間（東側は攪乱で確認できず）と推定され、梁行は4間である。庇柱は身舎の4隅の柱穴より若干小さいとは言え、径0.8~1.0mあった。柱穴は隅丸方形に近いもの（20・24・27号柱穴）もあったが、大部分は円形であった。柱穴の中には柱痕を検出できたものがある。柱痕跡が確認できたもので柱間距離を測ると、庇柱では梁行約2.7mであった<sup>(4)</sup>。総長は桁行約12.6m、梁行約9.6m。軸方位は梁行で、N-5°-Wをなし、北に近い方位をとっていた。柱穴深度は最大で0.6mあった。柱穴深度については身舎の柱穴が庇の柱穴に比べ深いという傾向は見られなかった。柱穴覆土はⅡ層上部に類似する暗褐色土が入っており、竪穴住居址や13号溝より新しいのは確実であった。時期は、竪穴住居址より新

215号竪穴住居址



215号竪穴住居址掘り方

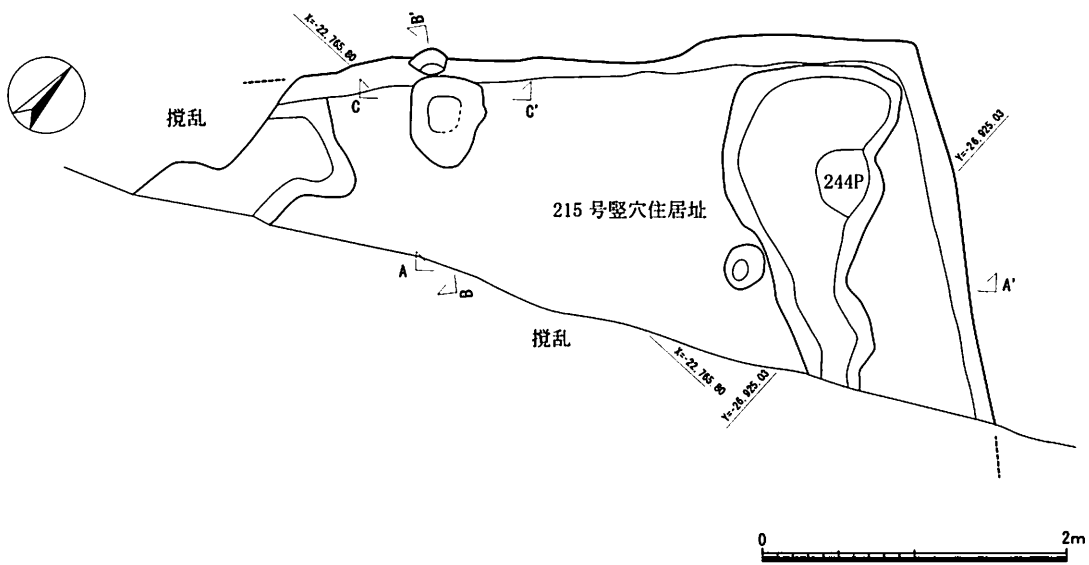


図127 215号竪穴住居址実測図 (1/50)

しいこと、9世紀後葉～末の土師器が覆土中から出土していることから、9世紀末又は10世紀初めと判断される。

この他前述の掘立柱建物址を構成する大形の柱穴と類似する柱穴が存在した(図96・186号ピット等)。単独で存在し、組み合う柱穴は見つからなかったため、掘立柱建物址とは扱わなかった。

#### <ピット列>

直線的な配列が認められるピット列を一つの単位と考え、ピット列と扱った。調査区南東部のD-4区で1基検出された。1号ピット列とした。

#### 1号ピット列 (図128)

調査区中央のD-4区に存在する。3基のピットより構成される。発掘調査の過程で竪穴住居址より新しいピットであることはわかっていたが、打って返しの関係で、2回に分けて調査したため、組合せのわからないピットとして認識していた。出土品整理の過程で、ピット列として番号を付けた。このピットは、154・215号竪穴住居址を切って掘られていた。216号ピットの西側に関連するピットは見つからなかった。また35号ピットの東側は攪乱により壊されており、規模は分からない。ピットは不整形ないしは楕円形で、直径は最も高い確認面(Ⅱ層下部の上位)で確認された35号ピットで0.45mある。1号掘立柱建物址の柱穴より規模は小さい。ピット間は約1.3mで均等に間隔をあげ、総延長約2.6mあった。軸方位はN-85°-E(N-5°-W(余角))をなし、1号掘立柱建物址と平行していた。ピット覆土はⅡ層上部に類似する暗褐色土が入っていた。時期は、竪穴住居址より新しいこと、9世紀後葉～末の土師器が出土していることから、9世紀末又は10世紀初めと判断される。掘立柱建物址の一部という見方もできるが、柵列などの可能性も想定される。

#### <土坑・ピット>

掘立柱建物址の項で説明したものを除き、軸長が約0.7m以上ある大形の掘り込みを土坑として報告する。土坑は調査区の西側、特に南西部のB-5・C-5区付近にまとまっていた。また小形の円形の掘り込みはピットとして遺構全体図に掲載した。ピットは根穴の可能性のあるものも含まれていると判断される。

#### 54号土坑 (図129)

調査区中央のD-3区で検出された。平面形は約2.2×1.5mの不整形プランをなす。長軸方位はN-23°-Wである。壁の立ち上がりは約0.2mである。西側は攪乱、東側は1号掘立柱建物址の柱穴(16号柱穴)と55号溝により切られていた。覆土は黒褐色土であった。出土遺物により、時期は古墳時代後期(7世紀後葉)と判断される。

#### 105号土坑 (図129)

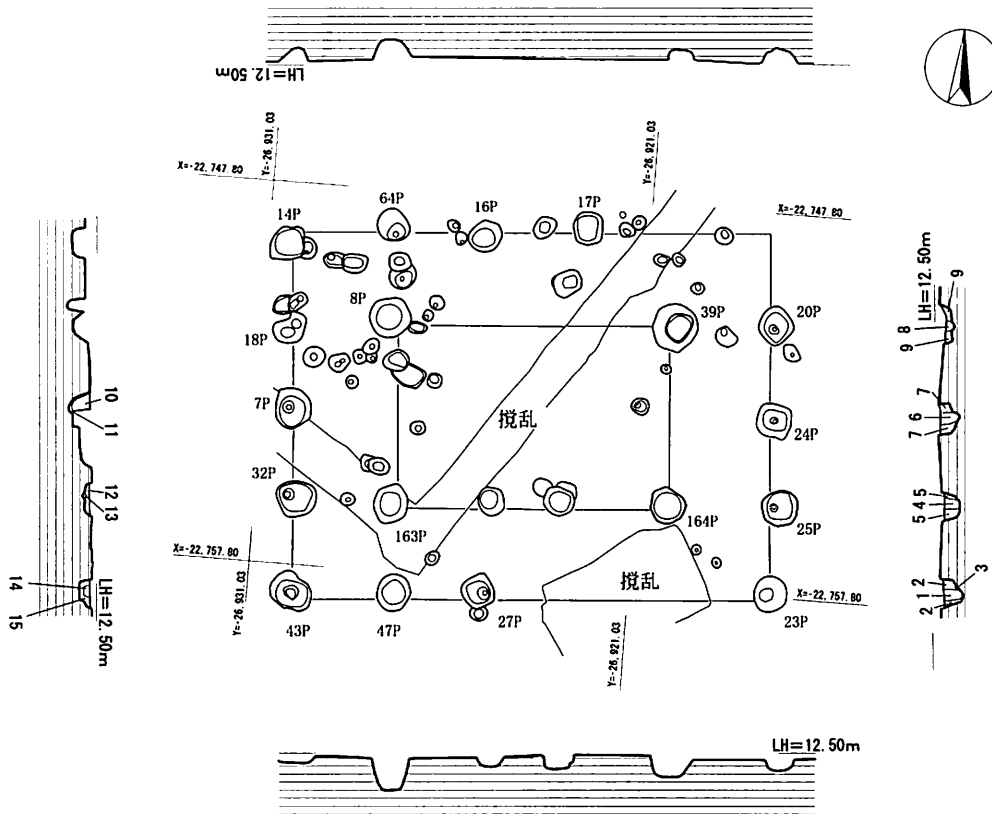
調査区東側のE-4区で検出された。平面形は方形プランをなすが、東・南・西側を攪乱により壊されているので、確認されたのは北辺の約1.6mだけである。北辺の方位はN-63°-E(N-27°-E(余角))。壁の立ち上がりは約0.15mである。覆土は黒褐色土であった。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

#### 212号土坑 (図129)

調査区西側のC-5区で検出された。隅が角張ることから、方形基調の掘り込みの可能性はある。南側半分を攪乱により壊され、上部を200号溝により削られていた。残存部の規模は最も長い所で約1.0mを有する。東側の壁は直立していた。深さは最深部で約0.5mを測る。底面は平坦をなす。覆土はⅡ層下部に類似した黒褐色土が主体をなしていた。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。



1号掘立柱建物址



- |                |                |                 |                 |
|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 1層：暗褐色土10YR3/3 | 6層：暗褐色土10YR3/3 | 10層：暗褐色土10YR3/3 | 14層：暗褐色土10YR3/3 |
| 2層：暗褐色土10YR3/3 | 7層：暗褐色土10YR3/3 | 11層：暗褐色土10YR3/4 | 15層：暗褐色土10YR3/3 |
| 3層：暗褐色土10YR3/3 | 8層：暗褐色土10YR3/3 | 12層：暗褐色土10YR3/3 | 黄色土ブロック含む       |
| 4層：暗褐色土10YR3/3 | 9層：暗褐色土10YR3/3 | 13層：黒褐色土10YR2/3 |                 |
| 5層：暗褐色土10YR3/3 |                |                 |                 |

1号ピット列

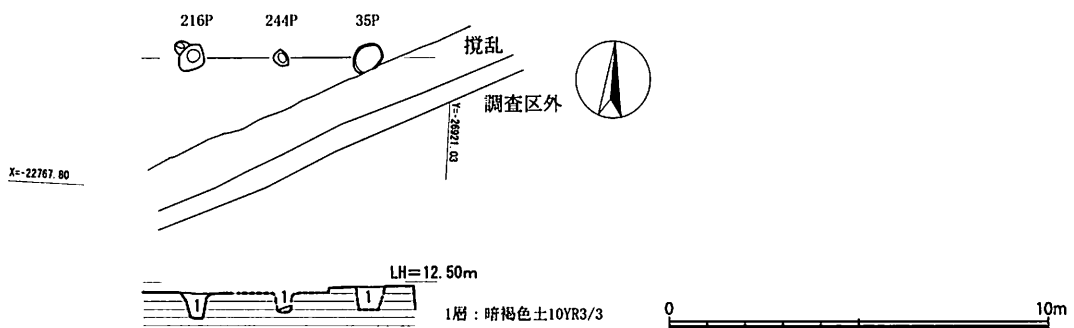
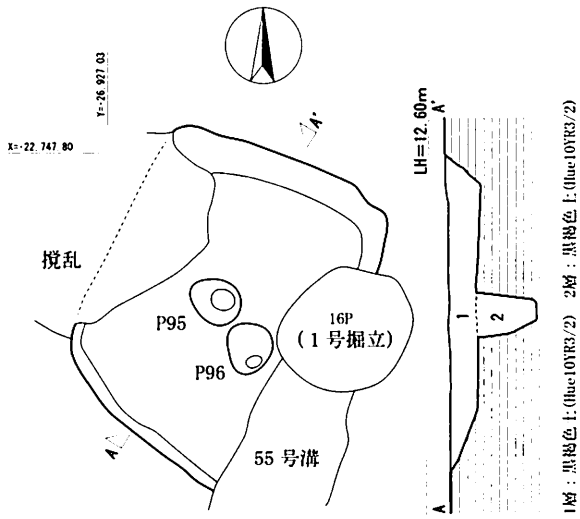


図128 1号掘立柱建物址・1号ピット列実測図 (1/100)

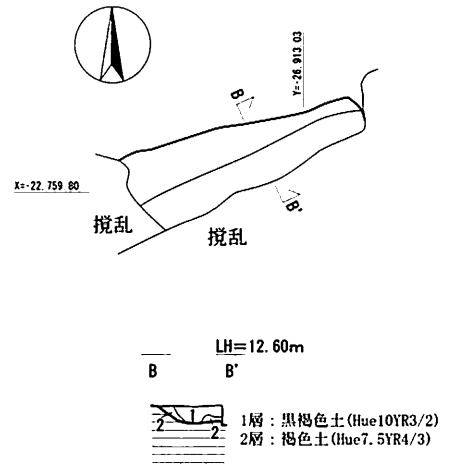
213号土坑 (図129)

調査区南西部のB-5区で検出された。南側を攪乱により切られる。短軸長11.1m、深さ0.37mを測る。覆土は黒褐色土からなる。時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

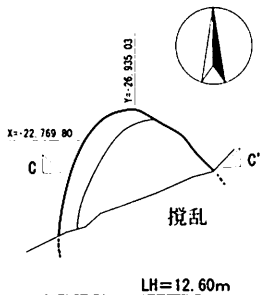
54号土坑



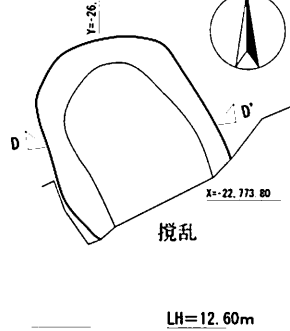
105号土坑



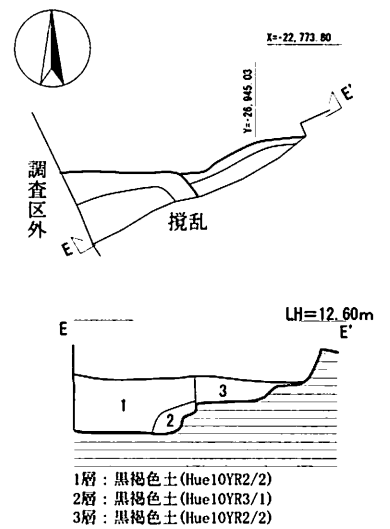
212号土坑



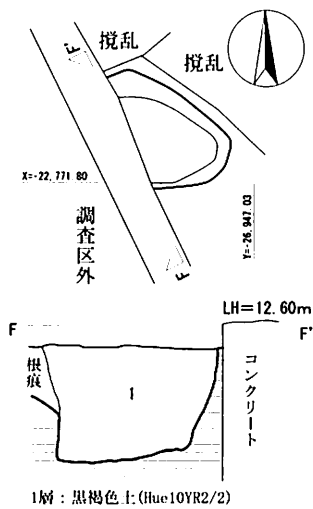
213号土坑



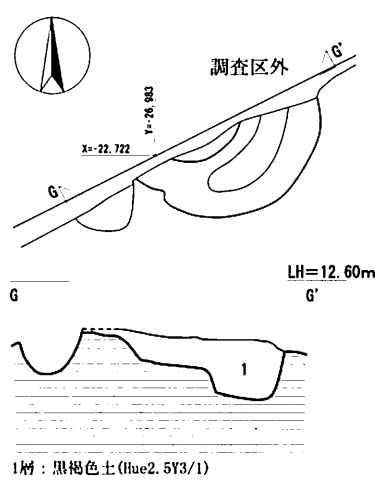
236・237号土坑



243号土坑



247号土坑



251号土坑

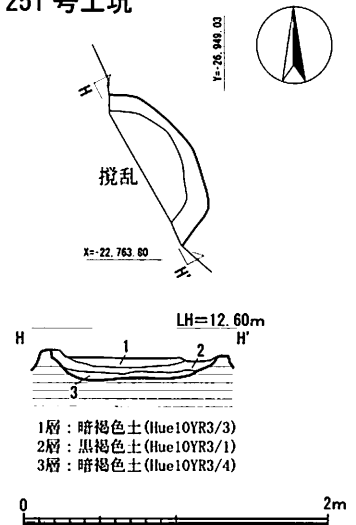


図129 土坑実測図 (1/50)

**236号土坑 (図129)**

調査区南西部のB-5区で検出された。南側を攪乱により失い、西側は調査区外に出ていた。東隣にある237号土坑を切っていた。角が角張っているため、隅丸方形のプランになる可能性がある。残存部の規模は軸長で約0.8m。深さは最深部で約0.4mを測る。底面は比較的平坦であった。覆土はⅡ層下部に類似した黒褐色土が堆積しており、下底面は砂層まで達していた。覆土がⅡ層下部に類似するため、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

**237号土坑 (図129)**

調査区南西部のB-5区で検出された。東および南側を攪乱によって壊され、西側を236号土坑により切られていた。長さ約0.8m、幅約0.2mが残存していた。深さは最深部で約0.2mを測る。覆土はⅡ層下部類似の黒褐色土が堆積していた。覆土の特徴により、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

**243号土坑 (図129)**

調査区西側のB-5区で検出された。平面形は楕円形をなす。西側を攪乱により壊されていたが、残存部から考えて、短軸は約0.8m以上あると判断される。深さは最深部で約0.4mを測る。覆土はⅡ層下部類似の黒褐色土であった。覆土の特徴により、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

**247号土坑 (図129)**

調査区西側のB-3区で検出された。平面形は円形をなすと判断されるが、北半分は調査区外に出ていた。208号竪穴住居址より古く、上部は208号住居址により削られていた。残存部から見ると、径は約1.3mを有する。深さは最深部で約0.3mを測る。覆土は黒褐色土であった。覆土がⅡ層下部に類似したことにより、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

**251号土坑 (図129)**

調査区西側のB-4区で検出された。平面形は円形をなすと判断されるが、西側は攪乱によって壊されていた。残存部は最大長で約1.1mを測る。深さは最深部で約0.15mを測る。覆土は暗褐色土および黒褐色土からなっていた。覆土がⅡ層下部に類似したことにより、時期は古墳時代後期又は古代と判断される。

**(5) 出土遺物 (図130~137)**

遺物としては、縄文時代の土器・石器、古墳時代・古代(奈良・平安時代)・中世・近世の土器・陶磁器・土製品・石製品などが出土した。出土量はコンテナ33箱分である。

遺物は遺構覆土および遺構外Ⅱ層・Ⅰ層などから出土した。遺構内出土遺物(遺構別)、それに引き続き、遺構外出土遺物を以下に報告する。遺構内出土遺物の報告がない遺構は、遺物が出土していないか、出土していても遺物が少なかったり、零細な遺物しか存在しなかったりして、遺構の時期を言及できる資料がない遺構である。

**4号溝出土遺物 (図130: 1~23)**

4号溝からは古墳時代から近世にかけての多くの遺物が出土した。1~12は古墳時代および古代、中世の遺物である。1は土師器で、甌の把手である。この他にも土師器片は出土しているが、溝より古い時代の遺物であると判断されるので、図化はしなかった。須恵器は竪穴住居址からはあまり出土しなかったタイプの遺物(2~4)を紹介する。2は壺で、頸部直下にヘラによる鋸歯文が描かれている。3は鉢ないし壺形をなすと判断されるもので、外面には把手、内面には指おさえ痕が存在する。4は墨書をもつ高台付坏である。5は緑釉陶器の皿である。6~10は貿易陶磁である。6は越州窯系

青磁碗のⅠ類1a（山本2000）と考えられる。蛇の目高台をもつもので、胴部下部に垂れた釉薬がわずかに見えるが、畳付けは無釉となっている。目跡はない。7は越州窯系青磁碗のⅠ類5（山本前掲）と考えられている。底部外面はわずかに上げ底気味の平底で、畳付けは無釉となり、内面に目跡をもっている。両例は8世紀末～10世紀中葉の所産と判断される。8は龍泉窯系青磁碗Ⅰ4a'類（山本前掲）である。体部外面は無文で、体部内面は2条の分割線のみで、紋様を施さない略式形式である。12世紀中葉～後葉の所産と判断される。9は龍泉窯系青磁碗Ⅱ類b（山本前掲）で、鎬蓮弁文をもつ。13世紀初頭～13世紀前葉に伴うものである。10・11は布目瓦の平瓦である。10は内面に布目痕、外面に縄目タタキを有している。11は内面に布目痕、外面に格子目型タタキを有している。12は瓦質土器で、破片上部に沈線文様をもっている。

13以降は近世の遺物。13～18は肥前系陶器。13は薄手の鉢で、内外面に緑色の釉薬を施している。14は皿で、深緑色の釉薬をかけている。畳付および高台側面は無釉で、畳付には砂目が残っている。17世紀後半の所産であろう。15は瓶のような器形をなし、外面に黒色の鉄釉で文様を描いている。16・17は皿。内面・外面に銅緑釉が施されているが、見込み部分は蛇の目風に釉剥ぎがされている。見込みには砂目の跡があることから、17世紀後半の所産と判断される。18は京焼風陶器皿。見込みには鉄絵で山水文を描いている。高台は角形にしっかりと削り出し、高台内に刻印を押している。17世紀後半の所産である。19・20は肥前系染付で、19は碗、20は皿である。21は播鉢で、外面に肥厚する口縁、内面に摺り目をもっている。22・23は破片面子である。23は須恵器、22は釉薬のかかった甕を素材としている。破片の周囲を打ち欠きは粗大であり、円盤状に仕上げる途中の未成品と判断される。この他に鉄滓や鉄片（図版94）が出土した。碗形滓（図版94）もあり、古代のものも含まれている。

#### 200号溝出土遺物（図131：24～29）

24は土師器の坏、25は高台の付く土師器の碗で、それぞれ9世紀前葉、9世紀中葉～後葉の所産である。26は須恵器の壺の口縁部資料で、頸部に波状沈線を描いている。27は外反する口縁をもち、内外面無文のものである。属性が少なく判断に迷うが、胎土の特徴から龍泉窯系青磁碗の可能性もある。時期は12世紀中葉～後葉と考えられる。28は瓦質土器で、内面にハケ目、外面に格子目の型によるタタキが見られる。29は近世の摺鉢である。

#### 13号溝出土遺物（図131：30～32）

30は土師器の碗で、平らな底部の下端が外側に張り出している。9世紀末頃の所産。30・31は須恵器の蓋である。30は口縁に身受けの返しをもつもので、7世紀中葉の所産である。天井部には回転ヘラケズリを施している。

#### 9号溝出土遺物（図131：33）

32は須恵器の壺の口縁部資料。口縁部下が肥厚している。

#### 204号溝出土遺物

古墳時代後期～古代の土器破片が少量出土したが、時期を限定できる資料はなかった。

#### 205号溝出土遺物

古墳時代後期～古代の土器破片が極少量出土したのみで、時期を限定できる資料はなかった。

#### 10号竪穴住居址出土遺物（図131：34・35）

34はハケ目のついた胴の張る甕の口縁部資料である。35は須恵器の杯で、内湾気味に直立する口縁部を有している。7世紀前・中葉の所産である可能性がある。

#### 11号竪穴住居址出土遺物

土師器の胴部破片や須恵器の小破片が出土したのみである。

**123号竪穴住居址出土遺物（図131：36～47）**

36～40は土師器。36は丸みを帯びた体部の外面にケズリ、内面にミガキを施した坏である。37・38・40は甕で、37・38は外面にハケ目、内面にケズリ、40は内面にケズリを施している。39は内外面にミガキを有する碗である。41～45は須恵器。41・42・44・45は坏である。41・42蓋受けの返りをもっており、6世紀末～7世紀前葉の所産と判断される。45は底面角に高台のついたもので、8世紀の所産であろう。43は甗であろう。体部の屈曲部に斜めの小刻みを付している。46は貿易陶磁（白磁）で、薄手の皿である。47は布目瓦の平瓦である。内面に布目痕、外面に縄目タタキ痕を有している。

**142号竪穴住居址出土遺物（図131：48～51）**

48～51は土師器の坏で、48は体部に段を有する。6世紀後葉～7世紀前葉の所産であろう。48は丸みをもつ体部と、外反する口縁を有している。50は小形の平底をもつもので、9世紀末の可能性があり。51は口縁部が直線的に外反する土師器の甕である。

**12号竪穴住居址出土遺物（図132：52～57）**

52は体部に丸みをもつ土師器の碗で、内外面がよく磨かれている。53～57は須恵器。53は蓋で、口縁に身受けの返しをもっている。54は外傾する体部と、直立気味に立ち上がる口縁を有する杯である。7世紀中葉の所産と判断される。56は壺、57は口径が小さく甗の口縁かと判断される。55は薄手の須恵器の碗である。

**73号竪穴住居址出土遺物（図132：58～60）**

58～60は土師器である。58と59は重なって出土したもので（図版80：写真182）、58は高坏の脚部、59は3足の脚をもつ壺形土器である。59は球形の体部をもち、外面がよく磨かれている。60はハケ目をもつ甕である。このほか須恵器では高坏脚基部付近の破片が1点ある。

**62号竪穴住居址出土遺物（図132：61～64）**

61は土師器の盤。口径は大きく、扁平である。62は土師器の坏で、内外面に顕著な回転ヘラミガキを有する。共に8世紀後葉の所産と判断される。63・64は須恵器である。63は蓋である。身受けの返りをもつが、返り部分が長く、口縁端よりも下がる。7世紀前葉の所産である。64は高台を有し、口縁部が外反する坏である。高台は直線的で、断面が角張る短いものが、底部でもやや中央寄りに付いている。8世紀後葉の所産である。この他高坏の脚部片などが出土している。

**76号竪穴住居址出土遺物（図132：65・66）**

65は平底の土師器である。66は直線的に開き、口縁部が外反する須恵器坏ないし碗の口縁部資料である。器高が高い傾向がある。共に8世紀中葉～9世紀の所産と判断される。

**147号竪穴住居址出土遺物**

図化した遺物はないが、6世紀末～7世紀前葉に属する蓋受けの返りをもつ須恵器坏の小破片が出土している。

**90号竪穴住居址出土遺物（図132：68～71）**

68～70は土師器である。68は体部中位に屈曲、体部下半外面にケズリをもつ坏である。69は高坏。70は体部にハケ目をもつ小形の甕であろうか。71は高台の付く須恵器である。高台は短く、断面が角張るもので、底部端ではなく、若干底部中央寄りに付いている。8世紀後葉の所産と判断される。

**165号竪穴住居址出土遺物（図132：67）**

67は頸部が括れ、体部が大きく張り出す器形をなす土師器の甕で、外面にハケ目を施している。外面は赤色を呈する。古墳時代中期頃の可能性が考えられる。

**182号竪穴住居址出土遺物（図132：72）**

72は丸みをもつ体部と、直立する口縁をもつ須恵器の坏である。

**63号竪穴住居址出土遺物（図132：73～75）**

73は土師器の高坏、74は須恵器の蓋、75は須恵器の坏である。73は高坏脚部基部が厚い傾向がある。74は身受けの返り部分が長く、口縁端よりも下がるため、7世紀前葉の所産と判断される。123号竪穴住居址でも同一個体が出土している。75は直線的に開く碗である。この他、土師器甕の口縁部破片も出土している。

**74号竪穴住居址出土遺物（図132：76～80、図133、図134：88～94）**

本調査で最も多くの遺物を出土した竪穴住居址である。

76～88は土師器である。76～78は坏である。76は体部外面下位にケズリを施し、中位に稜をもつ丸底のもので、6世紀末～7世紀前葉の所産と判断される。77は丸い体部をもち、内面にミガキを有するものである。78は平底の坏で、9世紀前葉の所産である。79・80は高坏である。79は杯部の体部は稜をもって屈折している。81～86は頸部が括れ、体部が張る甕であるが、体部の長さが縦長化している。外面にはハケ目、内面にはケズリ（縦位・下→上へ）が施されている。81は土坑内から直立した状態で出土したものである。83は体部を意図的に打ち欠いてある。竈内で出土したもので、支柱として用いられていたものと判断された。84・82も竈内出土で、83の上に乗せられた状態で出土した。

87・88は甕。体部から口縁部にかけて直線的に開く器形をなし、内面はケズリが施されている。とりわけ口縁部直下内面の縦位ケズリは顕著である。87は土坑上面から出土したもので、底部に穴があり、体部には突起が付き、ハケ目を施文している。

89～93は須恵器である。89は蓋、90は坏、91～93は高坏である。89は身受けの返りをもたない。90は口縁部直下に蓋受けの返りをもつもので、底部にヘラケズリを施している。共に6世紀後葉の所産と判断される。91は体部外面にカキ目を施している。94は半分欠損した滑石製紡錘車である。

**93号竪穴住居址出土遺物（図134：95～97）**

95は土師器の高坏の脚部資料である。96・97は須恵器である。96は蓋で、身受けの返りをもつ。97は坏身で、蓋受けの返りをもつ。96は7世紀中葉、97は6世紀末～7世紀前葉の所産である。

**154号竪穴住居址出土遺物（図134：98）**

98は須恵器の高坏の坏部である。杯部は丸く湾曲する体部をもつ。この他、須恵器を模倣した稜をもつ土師器坏の小破片（6世紀後葉～7世紀前葉）が出土している。

**104号竪穴住居址出土遺物（図134：99～104）**

99は土師器の甕で、外面に把手とハケ目、内面にケズリを有している。100～103は須恵器である。100・102は蓋で、100は身受けの返しをもたないもの、102は見受けの返しをもつもの。前者は6世紀末～7世紀前葉、後者は7世紀前葉である。101・103は坏で、蓋受けの返しを有している。共に6世紀末～7世紀前葉の所産と判断される。104は管状の土製錘である。

**120号竪穴住居址出土遺物（図134：105～108、図135：109～111）**

105～108は土師器である。105・106は坏。いずれも内外面に顕著なミガキが認められるが、106は体部ににぶい稜を残している。107は高坏の脚部資料である。108は甕で、体部外面にハケ目、内面にケズリを施している。109～111は須恵器である。109は蓋で、身受けの返しをもたないもの、110は蓋受けの返しをもつ坏身で、共に6世紀末～7世紀前葉の所産である。111は甕である。112は貿易陶磁。薄手で、外反する。一般的に、本遺構出土の須恵器は、青磁が出現する時期のものより古く、共伴したものと考えるににくい。113は耳環である。銅製で、表面にわずかに金箔が残る。

**206号竪穴住居址出土遺物**

図化した遺物はないが、古墳時代後期の須恵器の壺破片資料などが出土した。

**210号竪穴住居址出土遺物 (図135：114)**

114は手捏土器。小形の碗形をなす。古墳時代に作られた天草式と呼ばれる製塩土器である。

**215号竪穴住居址出土遺物**

遺物は図化していないが、ハケ目のついた土器の胴部資料などが出土した。9世紀代の土師器碗も出土しているが、これは本住居址を切っていた1号ピット群の244号ピットの遺物が混在したものである。

**1号掘立柱建物址出土遺物 (図135：115～120・123～125)**

115は8号柱穴出土の土師器の坏で、体部は直線的に外反し、底部は平底を呈している。法量などからして9世紀末の所産と判断される。また同柱穴からは黒色土器Aの破片も出土している。116は25号柱穴出土の高台付き土師器碗かと判断される。同様の土師器碗は他にも1点出土している。117は17号柱穴出土の高台付き土師器碗かと判断される。両柱穴出土遺物は9世紀中葉～後葉の所産と判断される。118・119は24号柱穴出土である。118は広く外傾する土師器杯で、内面はよく磨かれ、ススが付着し、黒色を呈している（黒色土器A）。119は器高の高い高台付碗である。9世紀中葉～後葉の所産。120は39号柱穴出土の坏である。薄手で底部は平底となり、底面にヘラ切り痕が認められる。9世紀末の所産かと判断される。また同柱穴から同時期と判断される端部が外側に張り出した平底底部をもつ坏破片も出土している。123は32号柱穴出土の須恵器の碗である。高台の形状などから9世紀後葉の所産と判断される。124は23号柱穴出土の土師器片で、墨書をもっている。曲線的に書かれているが、判読できない。布目瓦片（125）も出土している。また古墳時代の遺物が32・47号柱穴から出土している。

この他図化はしていないが、14号柱穴でも9世紀後葉の高台付碗の破片が1片出土している。また古墳時代の遺物が32・47号柱穴で出土している。古い遺物が土と一緒に入ったのであろう。

**1号ピット群出土遺物 (図135：126～130)**

126・127は35号ピット出土遺物である。126は土師器の坏で、底部は平底をなし、底部直上でわずかに反りながら体部にかけて直線的に開いている。9世紀中・後葉の所産と判断される。127は須恵器の碗である。底面から体部にかけて曲線的に屈曲し、底面には底面角より中央寄りに低く角張った高台が付けられている。8世紀の所産であろうか。128・129は216号ピット出土遺物で共に土師器の坏で、平底の底部と直線的に開く体部を有している。128はロクロ成形である。9世紀末頃の所産と判断される。130は244号ピット出土の平底と直線的体部を有する土師器で、9世紀の所産であろう。

**54号土坑出土遺物 (図135：131・132)**

131・132は須恵器である。131は蓋で、見受けの返しをもつが、返し部分は短く、7世紀後葉と判断される。132は高坏の脚部資料と判断される。

**236号土坑出土遺物 (図135：133)**

133は須恵器の大形壺で、内外面に工具によるタタキ痕を有している。

**ピット出土遺物 (図135：121・122・134・135)**

121は6号ピット出土の須恵器の高坏である。口縁部に蓋受けの返しを持っており、6世紀の所産である。122は58号ピット出土の須恵器の蓋である。身受けの返しを有し、7世紀前葉の所産と判断される。

134は210号ピット出土の須恵器の蓋である。身受けの返しがあるが、返しの方が口縁部より下位に

あり、7世紀前葉の所産と判断される。135は34号ピット出土の石製の方形硯である。硯の縁および陸部の破片である。P34の覆土は暗褐色土（10YR3/3）で、Ⅱ層上部と類似するが、同様の覆土をもつピットで近世以降の遺物を出土したものもあり、本遺物および34号ピットの時期は不明である。

### 遺構外出土遺物

#### Ⅱ層出土遺物（図136：136～155）

古墳時代後期から古代にかけての遺物を包含するⅡ層から出土した遺物である。分布的には、遺構の密度が高い調査区東半のC・D区から最も多く出土した。以下、器形のわかる資料や、僅少な遺物を中心に報告する。

136～142は土師器である。136は体部に丸みをもつ坏で、内外面にミガキを施している。137・138は直線的な体部をもって外反する坏で、底部は共に平底と判断される。器面にはナデ整形を施している。137・138は9世紀中～後葉の所産と判断される。139は高坏の坏部である。140・141は甕で、体部外面に縦方向のハケ目、体部内面に縦方向のヘラケズリをもっている。頸部が緩く屈曲し、くの字状を呈することから8世紀後葉～9世紀の所産と判断される。142は小形の細長い把手で、甌に付くものと判断される。

143～147は須恵器である。143～146は坏である。143は平底の底部と丸く湾曲する体部をもつもので、口縁部に蓋受けの返しをもたない。144～146は外傾する体部をもつもので、144は高台無し、145・146は高台ありである。高台は底面角より内側よった所に付いている。145・146は器高・高台とも低いので8世紀中葉～後葉のものであろう。147は底径に対し器高が低い、盤である。8世紀後葉～9世紀代の所産と判断される。

148～152は刻書をもつもの。148は土師器の碗の底部外面にヘラによる斜めの刻みを連続的に施した資料である。9世紀の所産。149～152は須恵器である。149・150は擬宝珠形つまみをもつ蓋で、149は内面、150は外面にX字状の記号を刻んでいる。151は底部外面に一本の直線刻みがある。152は体部下半に斜格子目状の刻みがある。

153は須恵器を転用した硯。154は土製の（土師質）の移動式竈の破片と判断される資料である。鏝状の突出が見られる。

155は、平面形が長方形、断面形が正方形の砥石である。使用により長辺中央が凹んでいる。長方形の両端は折れて欠損している。図の上端の欠損部は弱い磨滅が認められ、折れた後もわずかに使用されたと判断されるが、図下端の欠損部は磨滅がなく、下端部の欠損により廃棄されたと判断される。下端の欠損面に風化が認められることから現代の砥石ではないと判断されるが、形態上は現代の砥石に近似し、いつの時代の所産かはわからない。

#### I層他（図136：156・157、図137：158～176）

I a層（埋土・攪乱）・I b層（旧耕作土）などから出土した遺物である。古墳時代以降の遺構から出土した縄文時代遺物もここで紹介する。古墳時代から古代にかけての遺物は器形のわかる資料や、僅少な遺物を掲載した。近世以降の資料は4号溝に多く出土しているので、4号溝に含まれない種類の遺物を報告する。

156・157は縄文時代遺物ないしその可能性があるものである。156・157は無文の土器。156は外面、157は内外面に顕著なミガキが認められる。共に反っている器形をなし、径が大きいため、弥生時代以降の壺ではなく、該期の遺物と判断した。後期後葉ないし晩期前葉の資料であろう。158は磨製石斧、159は石鏃である。158は撥形の平面形をなす。剥片を素材とし、片面に主要剥離面を残している。背面には剥離および敲打による成形が認められる。研磨は全面的に認められるが、刃部表面に入念な



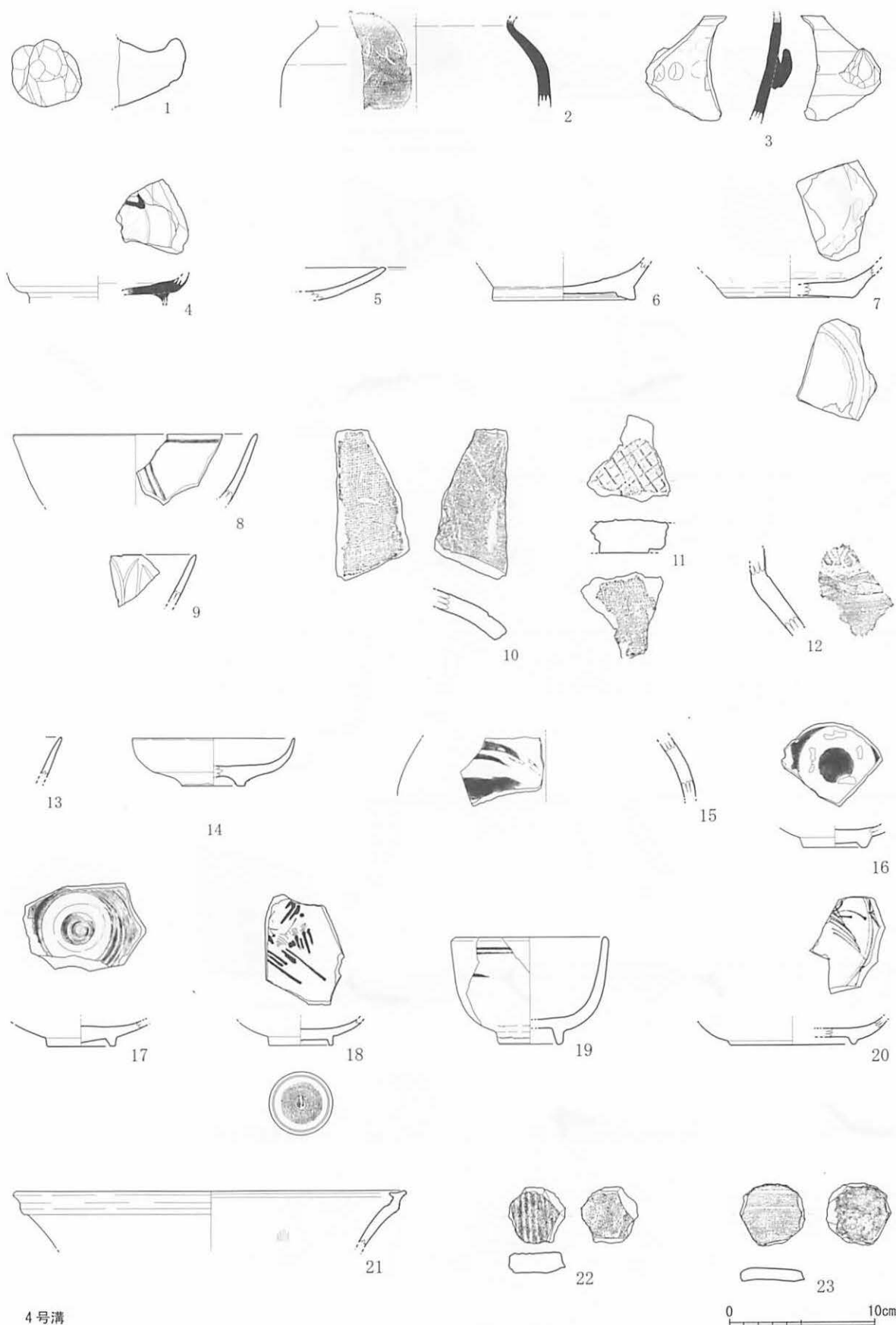


図130 1223調査地点出土遺物実測図1 (1/4)

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

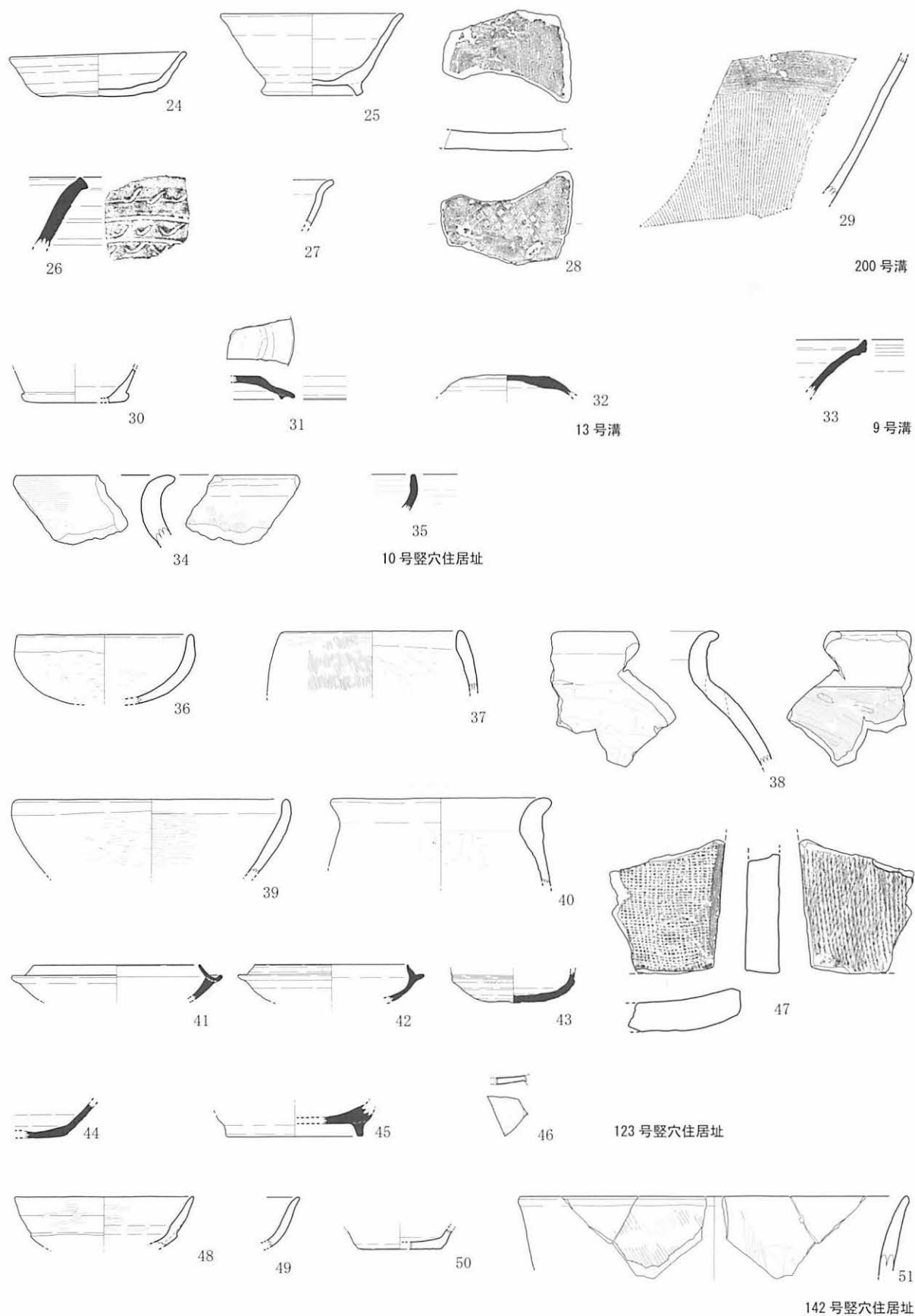
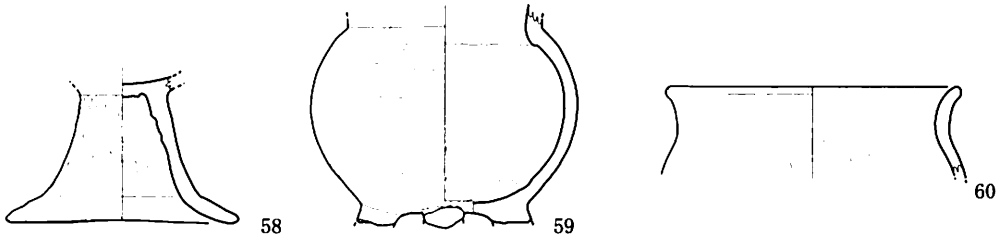


図131 1223調査地点出土遺物実測図2 (1/4)

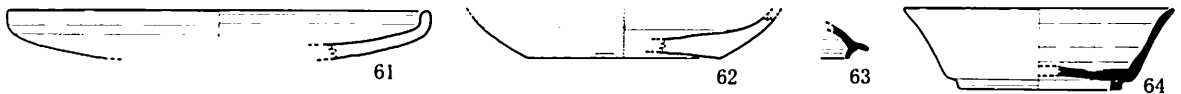
0 10cm



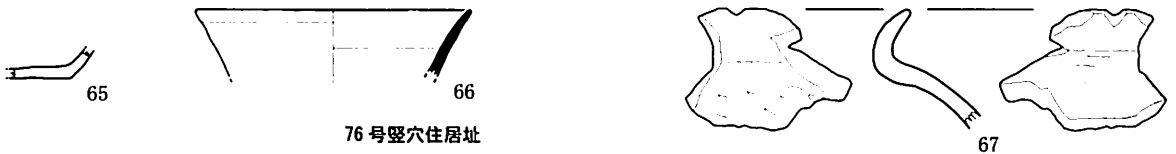
12号竖穴住居址



73号竖穴住居址

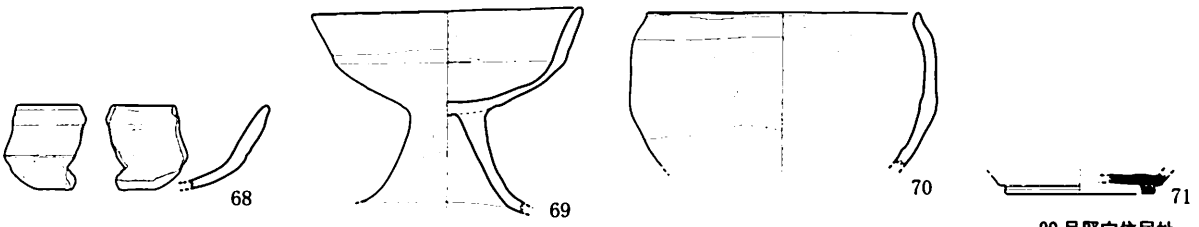


62号竖穴住居址

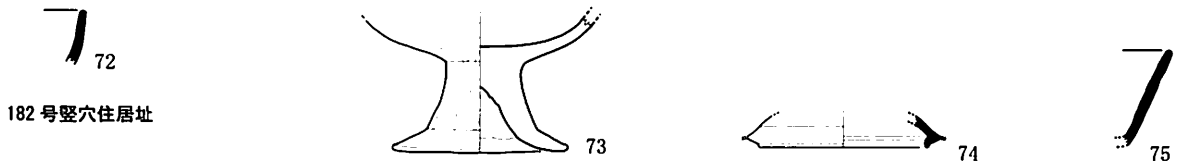


76号竖穴住居址

165号竖穴住居址

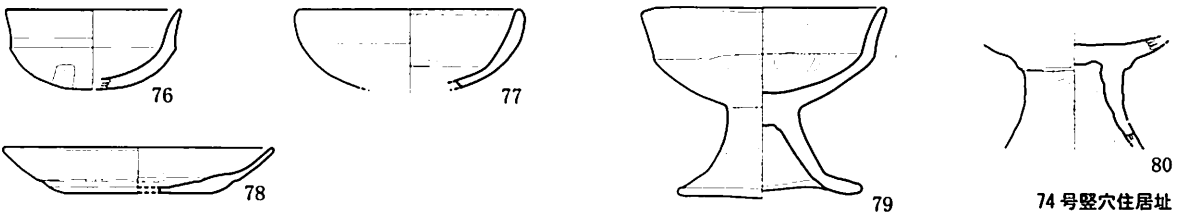


90号竖穴住居址



182号竖穴住居址

63号竖穴住居址



74号竖穴住居址



図132 1223調査地点出土遺物実測図3 (1/4)

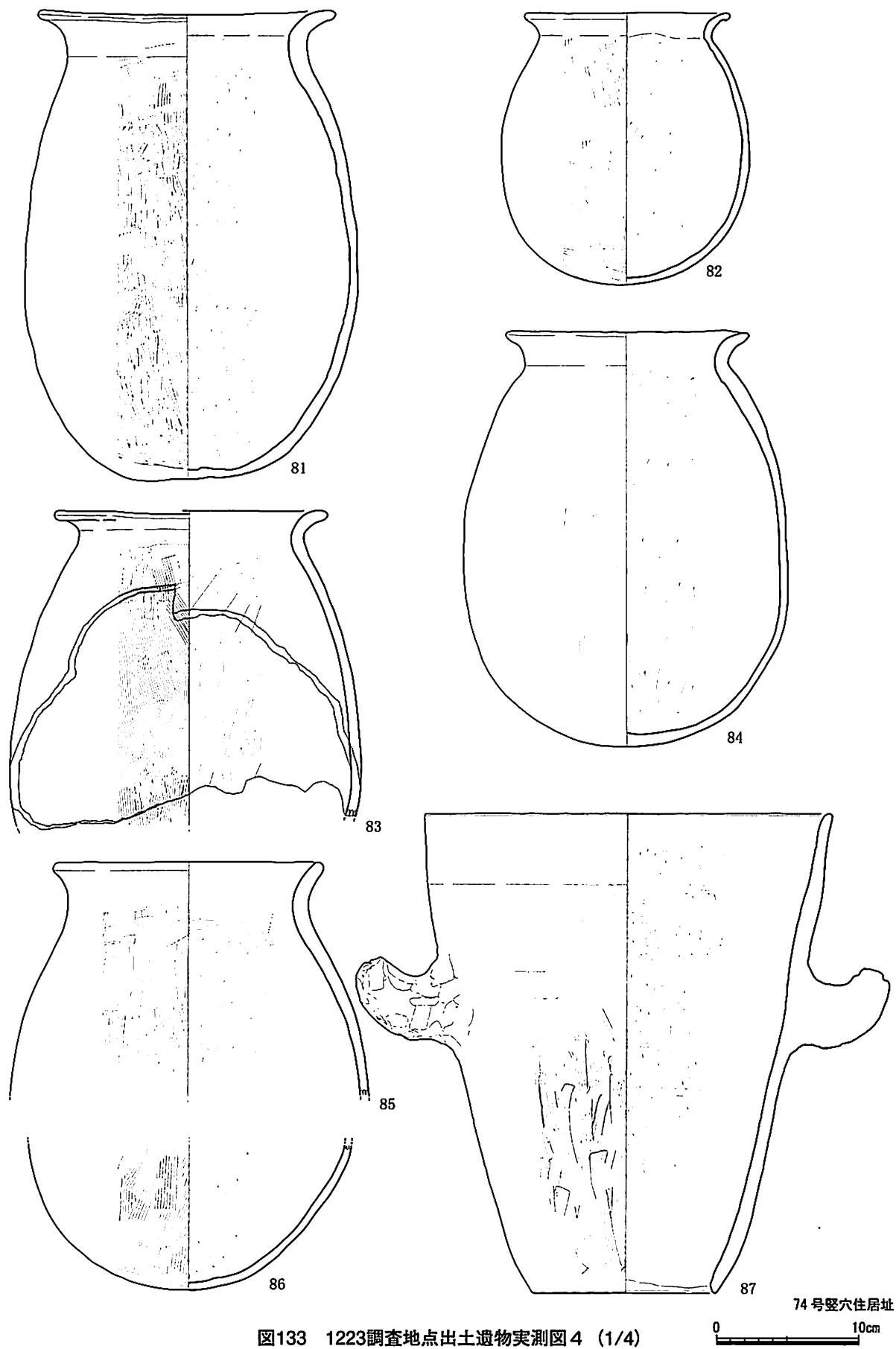
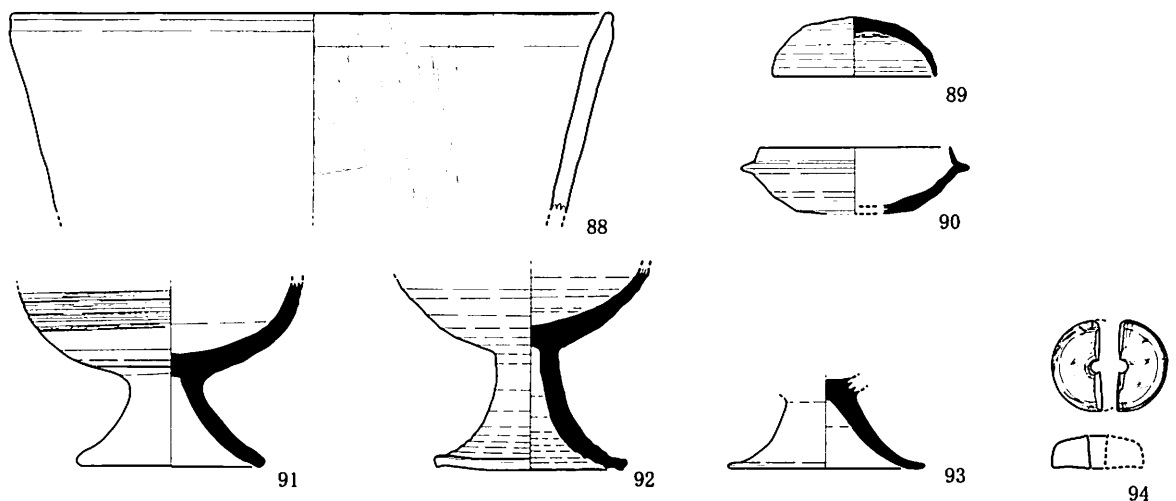


図133 1223調査地点出土遺物実測図4 (1/4)

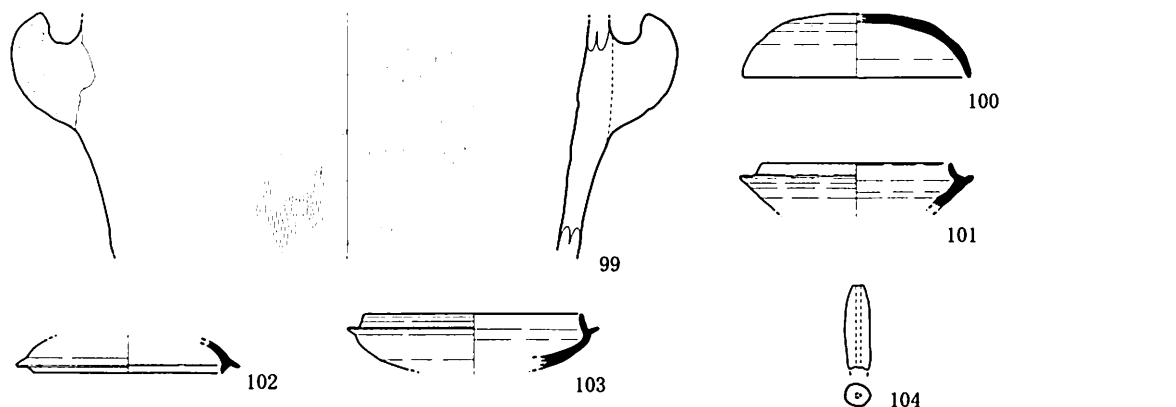


74号竪穴住居址

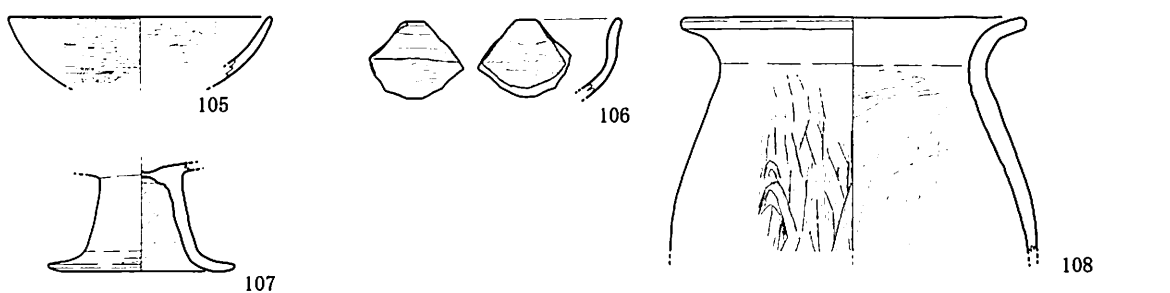


93号竪穴住居址

154号竪穴住居址



104号竪穴住居址



120号竪穴住居址

図134 1223調査地点出土遺物実測図5 (1/4・1/3)



2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

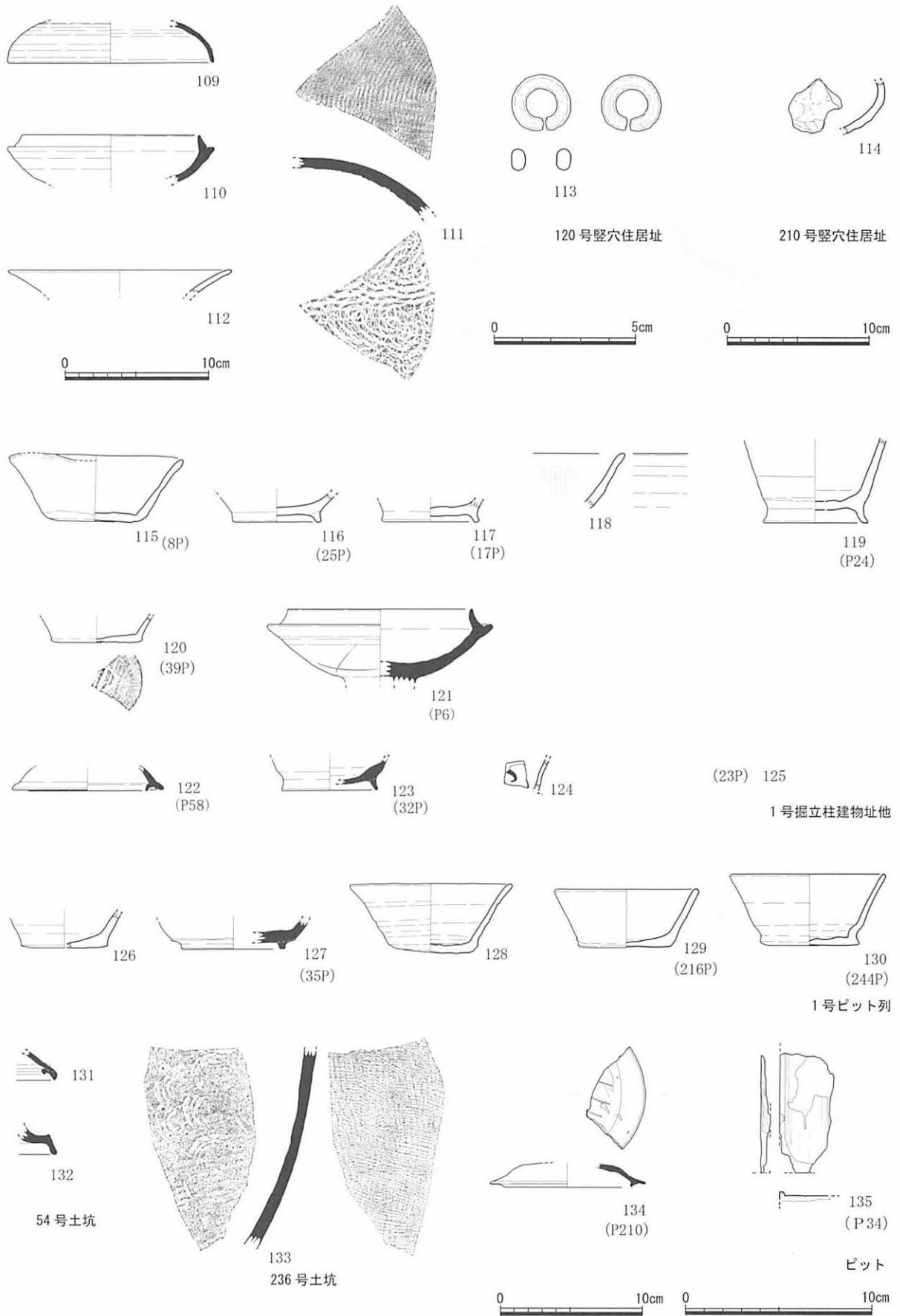


図135 1223調査地点出土遺物実測図6 (1/4・1/3・1/2)

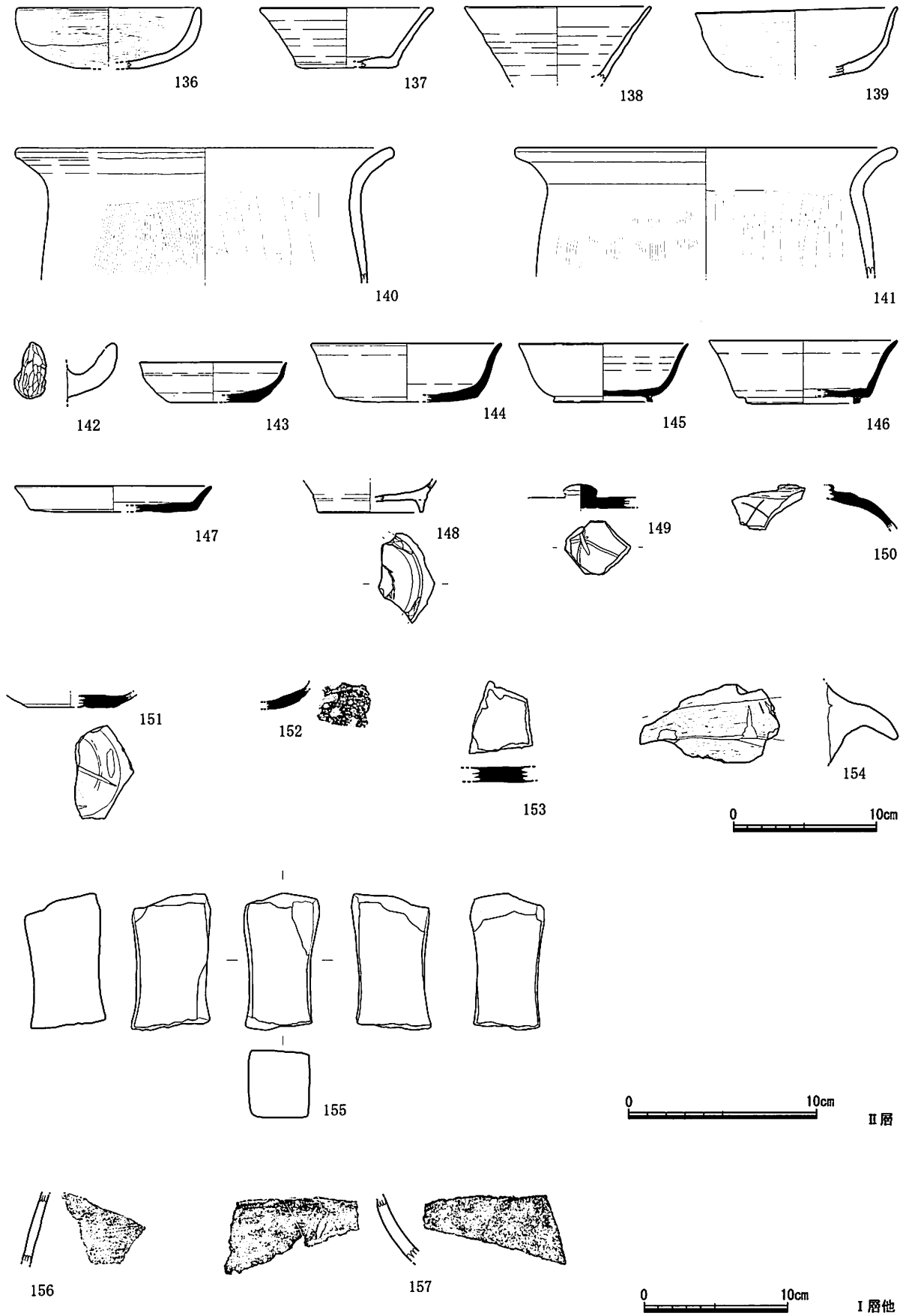


図136 1223調査地点出土遺物実測図7 (1/4・1/3)

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

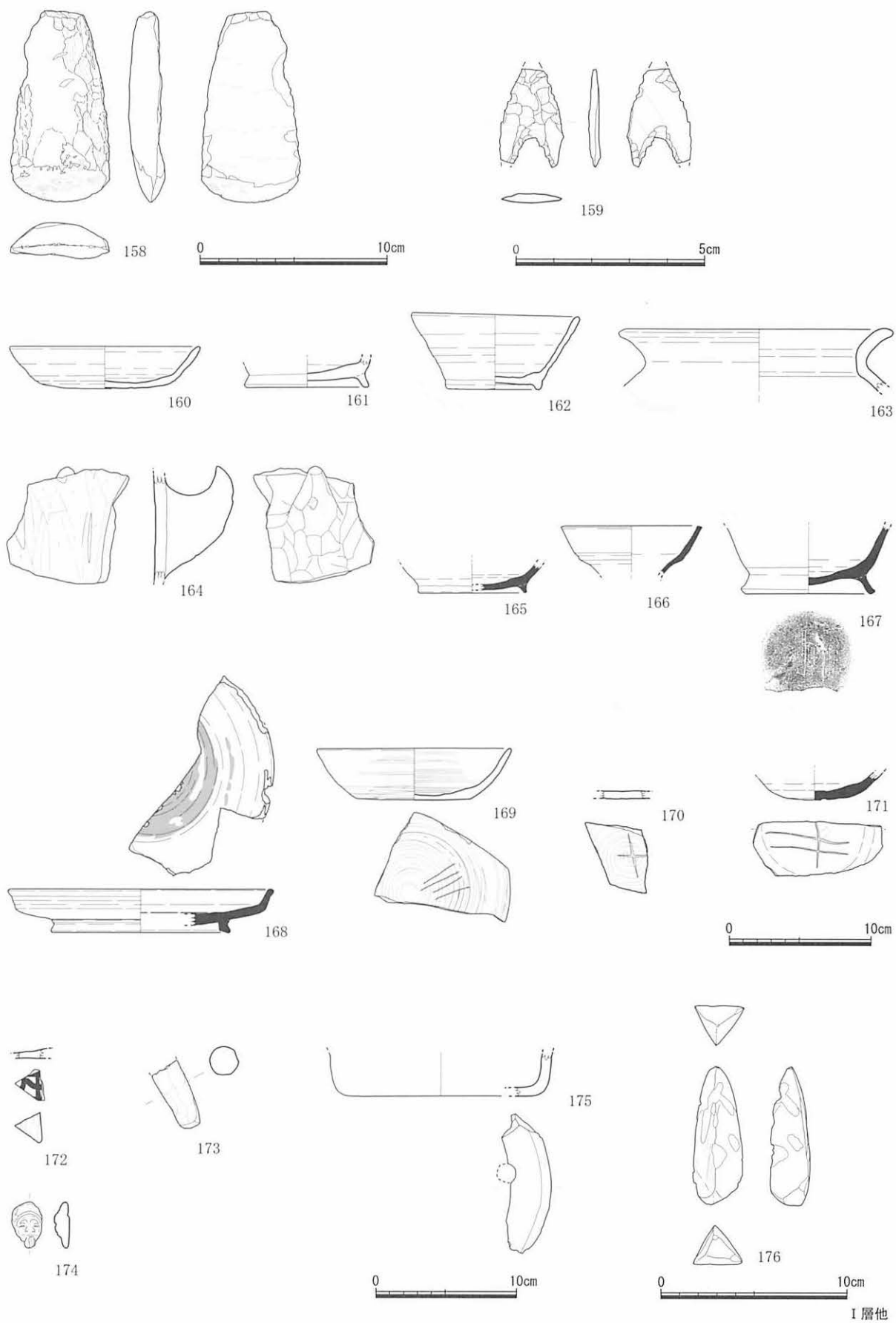


図137 1223調査地点出土遺物実測図8 (1/4・1/3・2/3)

I 層他



研磨が施されている。刃部先端には使用による刃こぼれが観察される。

160～164は土師器である。160～162は坏ないし碗で、161・162は底面角に高台が付いている。160は8世紀後葉～9世紀前葉、161・162は9世紀中葉～後葉の資料と判断される。163は甕、164は甌の把手である。

165～168は須恵器である。165・167は曲線的な体部下半をもち、碗かと判断される。底面角に開き気味の高台が付いている。167は底面にヘラ切痕が認められ、ヘラ切り後、高台が付けられている。底部面がやや下がっていること、高台がハの字状に開くことなどから、9世紀末～10世紀初め頃の所産と判断される。166は口径が小さく、瓶などの器形が判断される。168は転用硯である。高台付盤を用いたもので、内面中央に使用による研磨痕が認められる。8世紀中葉～後葉の所産と判断される。

169・170は刻書をもつ土師器である。171は須恵器の坏の底面に「キ」の字状の記号を描いている。169・170は回転ヘラミガキが顕著な資料で、底面に、169では4条の平行直線、170は十字状の刻みを刻んでいる。共に8世紀後葉の所産。172は墨書土器である。回転ヘラミガキを有する底面に、田の字状に交差する墨書が描かれているが、小破片のため判読できない。

173は土製品。土馬の脚部資料の可能性はあるが、脚だけであるので断定はできない。

174・175は近世ないし近代の遺物。174は泥面子で、人面が作出されている。175は底面に焼成前の孔があげられている。コンロの目皿であろうか。176は軽石を素材とする。研磨使用により、断面三角形になっている。先端が尖っているため、利器の可能性もあるが、稜線が鋭利ではなく、装着のための基部成形がない。ここでは砥石として報告することにした。時代は不明である。

## (6) まとめ

今回の調査は本荘中地区に計画された国際先端医学研究拠点施設新営工事に先立って実施したものである。調査地点は旧医学部基礎研究棟A棟およびB棟に挟まれた場所に該当し、9501地点（現生命資源研究・支援センター）・9801地点（現エイズ学研究センター）、および基礎研究棟A棟・B棟等の解体工事に伴う調査地点（1105・1130・1205地点）の調査地点と合わせると、本荘中地区の中心部を面的に調査したことになる（図97参照）。調査では縄文時代、古墳時代から奈良・平安時代、中・近世の遺構・遺物が検出された。以下隣接調査地区の調査成果と対比しながら、本調査地点の調査成果についてまとめてみる。

### 縄文時代

縄文時代の遺物は僅少で、埋土や古墳時代以降の遺構の覆土から、土器2点、石器2点が出土した。土器は後期後葉ないし晩期前葉の無文土器、石器は磨製石斧と石鏃であった。縄文時代に形成されたと判断される遺物包含層は捉えることはできなかった。しかし同時期の遺物は9501地点・9801地点でも出土しており、9801地点では御領式土器の大形の土器を含む100点あまりの資料が出土している。後期後葉から晩期前葉にはこの一帯で該期の生活が行われていたことは間違いない。9801地点の縄文土器は黒褐色土層および明黄色土層（基盤層）から出土したと報告されており、今回の土層と対比すると、Ⅱ層下部とⅢ層ということになろう。今回の調査地点は古墳時代から奈良・平安時代の遺構が濃密で、調査区東半では遺構が全面的にⅢ層に及び、西半も攪乱が著しく、Ⅱ層下部ないしⅢ層の土層自体があまり存在しなかったことが、該期遺物の検出を少なくしたと言えよう。注意したいのは縄文時代の遺物は水による磨滅を受けていなかったことである。当地域は縄文時代後期後葉段階では、洪水時などを除けば、自然堤防として離水していたと考えられ、生業の場であった可能性がある。

古墳時代後期から奈良・平安時代

本時期は当調査地点の主体的時期で、竪穴住居址29軒、掘立柱建物址1基、ピット列1基、溝・土坑を検出した。竪穴住居址の年代は6世紀末から8世紀後葉以降に及んでいた。時期を限定できる竪穴住居址を時期別に配列すると次のようになる。

古墳時代後期 (6世紀末～7世紀中葉) : 10・12・62古・63・73・74・93・104・120・124・154号  
竪穴住居址

奈良・平安時代 (8世紀後葉以降) : 62新・76・90・147号竪穴住居址

古墳時代後期、6世紀末～7世紀後葉の竪穴住居址は数が多く、主軸方位をN-40～60°-Wにとるもの(A類)と、N-20～30°-Wにとるもの(B類)があった(図138①)。切り合い関係をみると、調査区中央部ではA類(120号竪穴住居址)→B類(104号竪穴住居址)→A類(74号竪穴住居址)の関係が見られ、A類には一辺が6mに近い大形住居址(74号竪穴住居址)も存在する(図139上)。

奈良・平安時代、8世紀後葉以降の竪穴住居址は主軸方位がN-9～17°-W、N-3°-W(C類)というように南北方向に近くなる(図138②・図139下)。また住居址は小形化し、一辺が2m台で、住居址とするのを躊躇するような例もある(76・147号竪穴住居址)。

これをみると、遺物から時期が限定できなかった竪穴住居址の時期も凡その予測がつく。83・123号竪穴住居址と142・145号竪穴住居址は、83・123号竪穴住居址→142・145号竪穴住居址という切り合い関係であったが、前2者が主軸方位をN-40～60°-Wにとり(A類)、後2者がN-20～30°-Wにとるので(B類)、共に6世紀末～7世紀中葉に構築された可能性が考えられる(図138③)。123号竪穴住居址が一辺6mを超えるものが含まれることも前述の傾向と合致する。また182・166号竪穴住居址と165・竪穴住居址と165・159号竪穴住居址は182・166号竪穴住居址→165・159号竪穴住居址

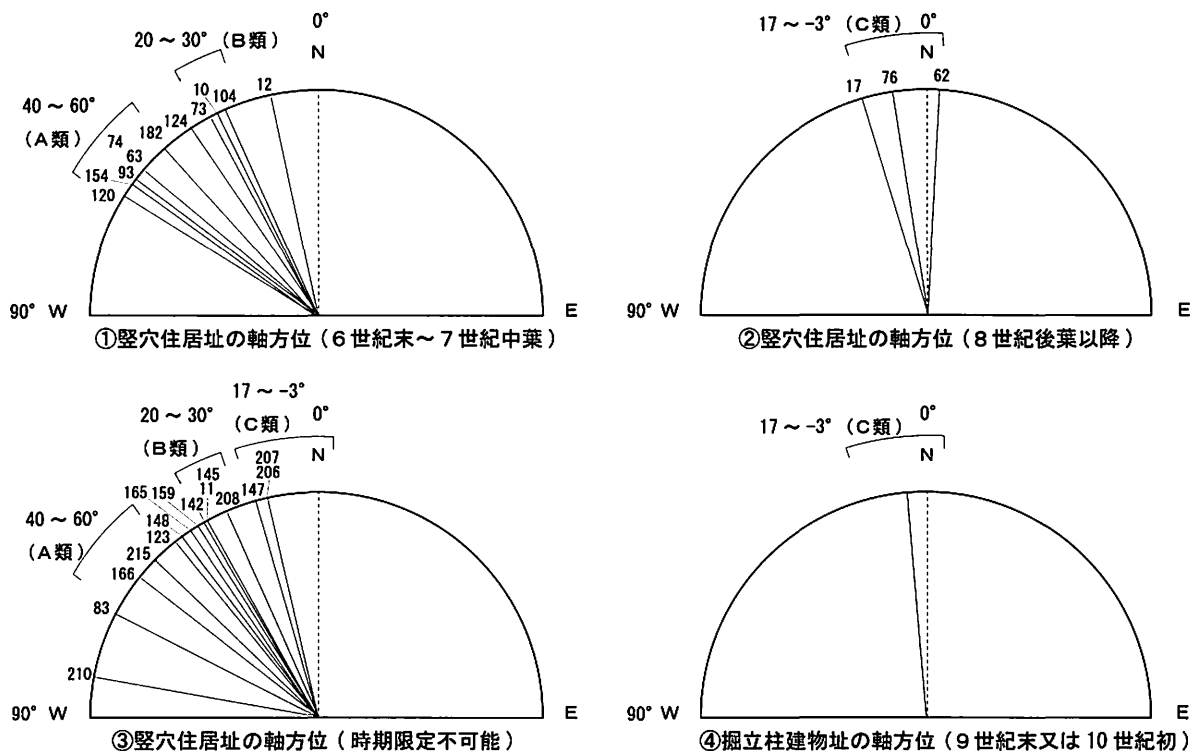
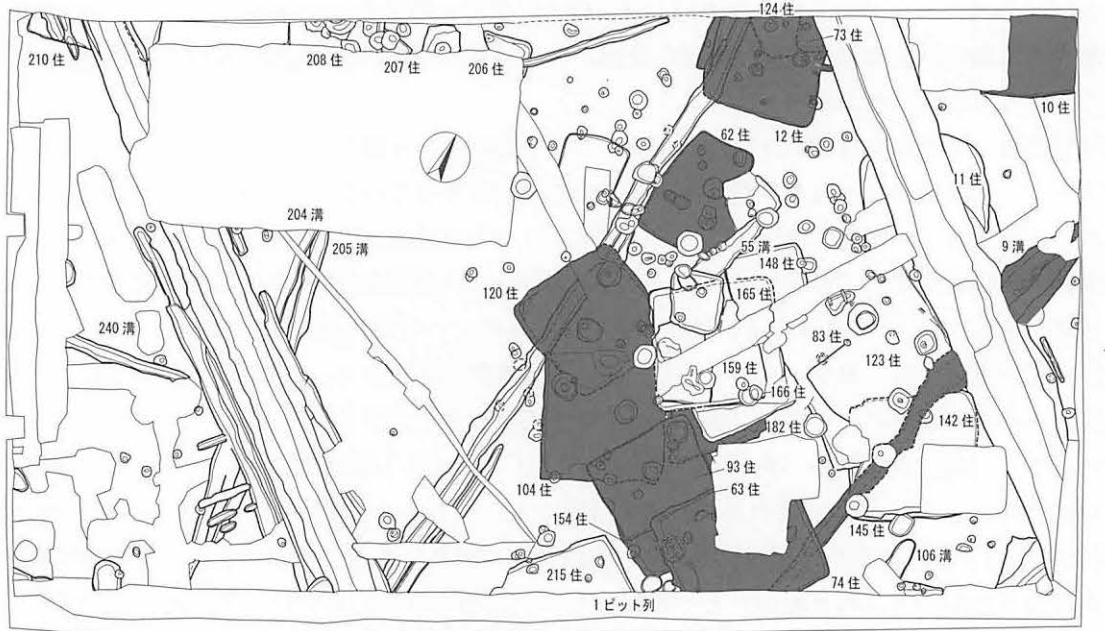
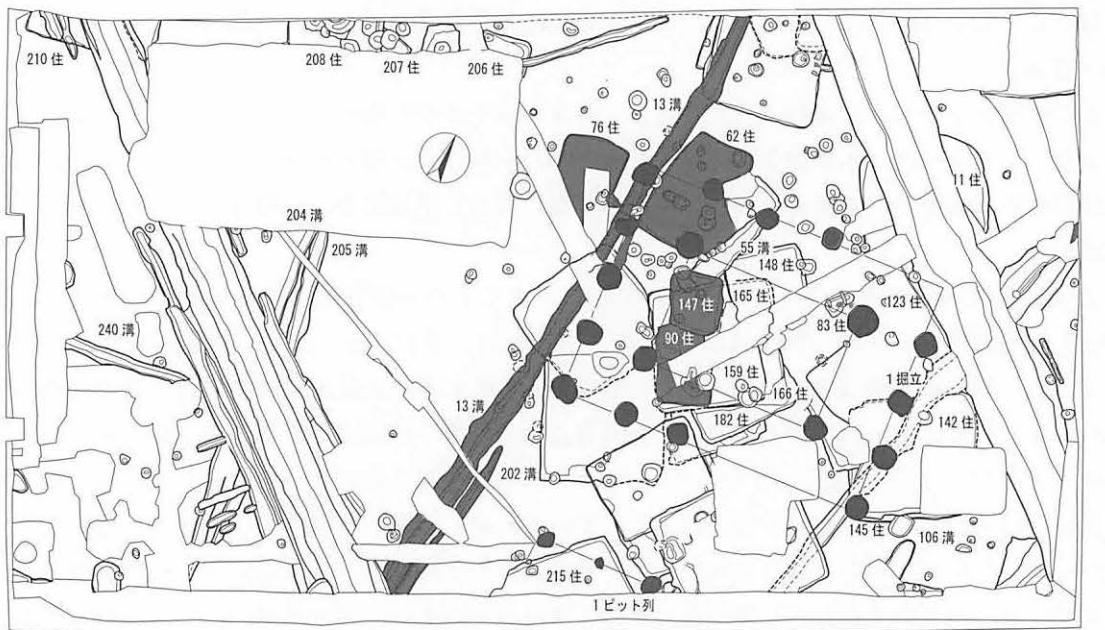


図138 1223調査地点竪穴住居址・掘立柱建物址軸方位 角度はN-Wの数値。その他は竪穴住居址番号を示す。



古墳時代後期(6世紀末～7世紀中葉)

0 10m



奈良・平安時代(8世紀後葉～10世紀初)

0 10m

図139 1223調査地点時期別遺構配置図(1/300)

という切り合い関係であったが、前2者が主軸方位をN-40°-Wにとり(A類)、後2者がN-20°-30°-Wにとるので(B類)、これらも6世紀末～7世紀中葉に属する可能性がある。

7世紀後葉～8世紀中葉の時期に限定できる竪穴住居址はないので、その時期の様相は不明であるが、隣接する9801地点や9511地点では9世紀前半まで竪穴住居址が存続するので、本調査地点を含む一帯には9世紀前半まで竪穴住居址はあったと推定される。しかし9世紀後葉以降になると竪穴住居址はなくなる。本地点の掘立柱建物址のみとなるようである。掘立柱建物址の主軸方位はN-5°-Wをなし(図138④)、この方位は詫麻郡内の条里線(牧野1977)と一致する。本荘地区においては本

荘北の9601地点において、条里の坪界線の延長線上の道路の存在が確認されている (小畑2008)。本庄遺跡のある場所は詫麻郡内の条里の推定範囲からは外れているが、本遺跡の付近の低地部まで条里が及んでいた可能性を示すものと言えよう。

掘立建物址 (1号掘立柱建物址) は上述のように平安時代、9世紀末又は10世紀初めに作られたと判断される。形態は身舎と廂で柱間隔が異なるので確定はできないが、四面廂付掘立柱建物址となる可能性はあるだろう。同種の遺構は県内では熊本市二本木遺跡S B01 (8世紀末～9世紀) や宇城市曲野遺跡 (8世紀後半) でも確認されている (奈良国立文化財研究所2012)。総長は前者が8.7m×7.8m、後者は5.2×5.1m。本遺跡のそれは12.6m×9.6mなので、規模は県内最大規模と言える。本調査地点では瓦や墨書土器、硯なども出土している。当該遺構の存在から、9世紀末以降段階において、本調査地点を本庄遺跡での中心的な場所の一つと評価することができよう。

溝のうち、古墳時代後期から古代に属するものは9・55・13・202溝である。主軸方向は南北方向に近い方向を向き、後述する近世以降の溝とは異なる。これらの溝の中で9号溝は74号竪穴住居址 (6世紀末又は7世紀前葉) に切られており、古墳時代の所産であることがわかっている (図139上)。9511調査地点の68号溝 (6世紀末) とつながるものと推測される。また13・202号溝は62号竪穴住居址 (8世紀後葉) より新しく、1号掘立柱建物址 (9世紀末又は10世紀初め) よりも古いので、9世紀の所産と判断される (図139)。204・205号溝は古代ないしそれ以降の所産と考えられる。240号溝も主軸方位が204・205号溝と直交するため、204・205号溝と関係があった可能性がある。

#### 中・近世

中世の遺構はなかった。遺物は青磁などが4号溝の覆土中から出土したが、該期の包含層は調査区内には存在しなかった。本地域には今回I b層とした旧耕作土が厚く存在している。この旧耕作土の形成時期は近世以降としか言えないが、本層の存在により、中世相当の堆積層は失われてしまった可能性がある。

近世では規模の大溝を2条 (4号溝・200号溝)、またその一部を1条 (5号溝) 検出した。前者 (4号溝・200号溝) は主軸方向をほぼN-50°-Wにとり、平行する。後者 (5号溝) は4号溝と交差していた。過去の調査事例と合わせると (図97)、4号溝は1106調査地点2号溝との連続性が想定される。また5号溝は9511地点の30号溝、9801地点の3号溝、1130地点の1号溝、1205地点の1号溝と連続する溝で、4号・200号溝とは約80°の角度をもって存在していた。4号溝と5号溝の間の切り合い関係は捉えられなかったが、覆土は類似していたため、時期的には近く、おおむね近世初期 (17世紀) にはつくられていたと考えられる。4号溝では覆土下部に鉄分の集積が認められ、水が流れていた時期があったと考えられる。本調査地点の大溝は当時の土地区画や水利用に大きな役割を果たしていたものと推測される。

出土遺物については木村吉行氏 (かながわ考古学財団)・能芝 勉氏 (京都市埋蔵文化財研究所)・堀田孝博氏 (宮崎県教育委員会) に御教示いただいた。記して厚く感謝申し上げます。

#### 注

(1) 発掘調査の届出等に関する文書をまとめると以下のようになる。

文化財保護法第93条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第89号 (6月27日付け)

上記届出に対する通知 熊本市教育委員会 文振発第412-4号 (7月19日付け)

文化財保護法第92条第1項の届出 熊本大学 熊大施企第134号 (8月23日付け)

(2) I b層は発掘時にはI層としていたものを層名変更した。またIV層も出土品整理時に付けた層

名で、遺物は出土していない。

- (3) 調査時点では、打って返しの関係で、D-3区以北を13号溝、以南を203号溝として扱ったが、両者は連続したので1つの13号溝と扱った。
- (4) 通常、四面庇付掘立柱建物址は身舎と庇で柱間隔が同じである。本遺構は四面庇付掘立柱建物址と想定したが、本遺構では身舎と庇で柱間隔が異なることが問題として残る。

## 参考文献

- 東 光彦 1980『熊本市中央北地区文化財調査報告書』熊本市教育委員会
- 赤星雄一 1997『大江遺跡群Ⅲ 大江遺跡群第39次調査区発掘調査報告書』
- 赤星雄一 2004『大江遺跡群Ⅴ 大江遺跡群第69次調査区発掘調査報告書』
- 赤星雄一 2007「大江遺跡群第36調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成18年度』
- 赤星雄一 2008「大江遺跡群第23次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成19年度』
- 網田龍生 1989『大江遺跡群Ⅰ』熊本市教育委員会
- 網田龍生 1993『大江遺跡群Ⅱ』熊本市教育委員会
- 網田龍生 1994「奈良時代 肥後の土器」『先史学・考古学論究 熊本大学文学部考古学研究室創設20周年記念論文集』龍田考古会
- 網田龍生 1994「肥後における回転台土師器の成立と展開」『中近世土器の基礎研究Ⅹ』日本中世土器研究会
- 網田龍生他 1996『新熊本市史 史料編 第1巻考古資料』熊本市
- 網田龍生他 1999「新屋敷遺跡第1・4次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成10年度』
- 石丸恵利子他 2013「医学部基礎研究棟（A棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1106調査地点）・医学部基礎研究棟（B・D棟）とりこわし工事に伴う発掘調査（1130調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅸ』
- 岩谷史記 2006「新屋敷遺跡第41次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成17年度』
- 岩谷史記 2009「大江遺跡群第111次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成20年度』
- 小畑弘己 2008「医学部校舎建設に伴う発掘調査（9601調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅳ』
- 小畑弘己 2009「医学部エイズ学研究センター・動物資源・開発研究センター新営に伴う発掘調査（9801調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅴ』
- 小畑弘己 2003「医学部 RI 総合センター遺伝子実験施設建設に伴う発掘調査（9511調査地点）」『熊本大学構内遺跡発掘調査報告Ⅰ』
- 金田一精 2007「大江遺跡群第51・65調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成18年度』
- 新熊本市史編纂委員会 1998「第二章 地形・地質」『熊本市史通史編第1巻 自然・原始・古代』
- 奈良国立文化財研究所 2012『第15回 古代官衙・集落研究会報告書 四面廂建物を考える』奈良文化財研究所報告第9冊
- 馬場正弘 2006『大江遺跡群Ⅲ』熊本県埋蔵文化財調査報告232
- 林田和人 2003「新屋敷遺跡第11次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成13・14年度』
- 原田範昭 2001「大江遺跡群第52次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成11・12年度』
- 原田範昭 2002『大江遺跡群Ⅳ 大江遺跡群第68次調査区発掘調査報告書』
- 牧野洋一 1977「熊本平野の条里」『熊本県の条里』熊本県文化財調査報告25 熊本県教育委員会

松村洋史 2006『大江遺跡群Ⅱ』熊本県埋蔵文化財調査報告231

松村真紀子 2006「大江遺跡群第53次調査区」『熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集—平成17年度』

水上正孝 2012『新屋敷遺跡1』熊本県埋蔵文化財調査報告270

山本信夫 2000『大宰府条坊跡X V—陶磁器分類編』太宰府市の文化財49 太宰府市教育委員会

表11 1223調査地点出土遺物一覧表

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
130	1	土師器	甗	口径 底径 器高	把手	内： 外：削り、ナデ	内： 外：Hue 7.5YR6/6	4号溝	
	2	須恵器	壺	口径 底径 器高	胴部片	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y6/1 外：Hue 5Y6/1	4号溝	
	3	須恵器	鉢	口径 底径 器高	胴部1/8以下	内：回転ナデ、オサエ 外：ヘラ削り	内：Hue N3/0 外：Hue 5Y6/1	4号溝	
	4	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部1/4以下	内：回転ナデ、ナデ 外：ヘラ削り、ナデ	内：Hue 5YR6/2 外：Hue 5YR6/2	4号溝	墨書
	5	緑釉陶器	皿	口径 底径 器高	口縁部片	内： 外：	内：Hue 5GY7/1 外：Hue 5GY7/1	4号溝	
	6	磁器	碗	口径 底径 器高 10.0	底部1/4	内：削り 外：削り	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 7.5Y7/1	4号溝	内・外面釉、越州窯系
	7	青磁	碗	口径 底径 器高 8.6	底部片	内： 外：回転ナデ、回転削り	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 7.5Y7/4	4号溝(下層)	越州窯系
	8	青磁	碗	口径 底径 器高 16.6	口縁部1/8以下	内：回転ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue 10Y6/1 外：Hue 10Y6/1	4号溝	龍泉窯系
	9	青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内：回転ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue 7.5GY7/1 外：Hue 7.5GY7/1	4号溝	龍泉窯系
	10	瓦	平瓦	口径 底径 器高	破片	表：布目 裏：ナデ	内：Hue 2.5Y8/3 外：Hue 2.5Y8/2	4号溝	
	11	瓦	平瓦	口径 底径 器高	破片	表：布目 裏：タタキ	内：Hue 2.5N5/0 外：Hue 2.5Y6/1	4号溝(下層)	
	12	瓦質土器	火鉢	口径 底径 器高	胴部1/6以下	内：ナデ、オサエ 外：スタンプ、ヘラ削り	内：Hue 5Y5/2 外：Hue 2.5Y5/2	4号溝	
	13	陶器	碗	口径 底径 器高	口縁部1/8以下	内： 外：	内：Hue 7.5GY6/1 外：Hue 7.5GY6/1	4号溝	
	14	陶器	皿	口径 10.0 底径 4.4 器高 3.3	底部1/3	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5Y4/3 外：Hue 5Y4/4	4号溝	
	15	陶器	壺	口径 底径 器高	胴部1/8以下	内：回転ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue 2.5Y7/3 外：Hue 2.5Y7/3	4号溝	
	16	陶器	碗	口径 底径 器高 4.4	底部完形	内：回転ナデ 外：	内：Hue 10YR7/2 外：Hue 10YR8/3	4号溝	
	17	陶器	碗	口径 底径 器高 4.6	底部	内：回転ナデ 外：回転ナデ、削り出し	内：Hue 10YR4/4、 8/1 外：Hue 10YR4/4	4号溝	蛇の目掻き、内面釉
	18	陶器	碗	口径 底径 器高 4.4	1/3	内：ナデ 外：ナデ、削り	内：Hue 2.5Y7/3 外：Hue 2.5Y7/3	4号溝	底部に押印あり
	19	磁器	碗	口径 11.0 底径 4.6 器高 7.4	約1/5	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 2.5Y7/1 外：Hue 2.5Y7/1	4号溝	釉、染付
	20	磁器	皿	口径 底径 器高 8.6	底部1/4	内：回転ナデ 外：ヘラ削り	内：Hue 10Y8/1 外：Hue 10Y8/1	4号溝	染付
	21	陶器	播鉢	口径 底径 器高 26.6	口縁部1/8以下	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 5YR5/6 外：Hue 5YR5/6	4号溝	
	22	土製品	破片面子	長さ 3.8 幅 4.0 厚さ 1.4		内： 外：タタキ	内：Hue 2.5Y4/4 外：Hue 5Y4/3	4号溝	重量26g
	23	土製品	破片面子	長さ 4.3 幅 4.5 厚さ 0.9		内： 外：ナデ	内：Hue 2.5YR2/2 外：Hue 2.5YR2/1	4号溝	重量23g

図	番号	遺物	種類(器種)	法量(cm)	残存量	特徴	色調	出土遺構	備考
131	24	土師器	坏	口径 12.3 底径 8.2 器高 3.1	1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	200号溝 (①層)	ヘラ切り, 赤色化粧土
	25	土師器	碗	口径 12.6 底径 7.0 器高 5.7	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	200号溝 (①層)	赤色化粧土?
	26	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁部1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y5/2 外: Hue N3/0	200号溝	
	27	青磁	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/2	200号溝	龍泉窯系
	28	瓦質土器	碗	口径 底径 器高	破片	内:削り, ハケ目 外:削り, ハケ目, タタキ	内: Hue 10Y4/1 外: Hue 10Y4/1	200号溝	
	29	陶器	播鉢	口径 底径 器高	胴部片	内:播り目, 削り, 軸 外:削り, 軸	内: Hue 7.5YR4/4 外: Hue 7.5YR4/4	200号溝, 120号竪穴住居址	外面一部露胎, 黒色部分あり
	30	土師器	坏	口径 底径 器高 7.4	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR4/1	13号溝	
	31	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ・削り	内: Hue 2.5GY6/1 外: Hue 2.5GY6/1	13号溝	
	32	須恵器	蓋	口径 底径 器高 6.9	底部完形	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/2	13号溝	
	33	須恵器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:ヘラ削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/2	9号溝	
	34	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内:ハケ目, 削り 外:ハケ目, ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	10号竪穴住居址	
	35	須恵器	碗	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 5Y7/2	10号竪穴住居址	
	36	土師器	坏	口径 12.2 底径 器高	約1/4	内:磨き 外:ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 5YR7/4	123号竪穴住居址, I層	
	37	土師器	鉢	口径 12.8 底径 器高	口縁~胴部片	内:ナデ, 削り 外:ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/6	123号竪穴住居址	
	38	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	123号竪穴住居址	外面に黒斑あり
	39	土師器	碗	口径 19.0 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR5/8 外: Hue 5YR5/8	123号竪穴住居址	内外面に赤色顔料付着
	40	土師器	甕	口径 15.4 底径 器高	1/3	内:回転ナデ, 削り 外:ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	123号竪穴住居址, I層	内面コゲ 外面スス・コゲ付着
	41	須恵器	坏	口径 11.7 底径 器高		内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue N6/0	123号竪穴住居址	
	42	須恵器	坏	口径 10.5 底径 器高	口縁部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 2.5Y5/2	123号竪穴住居址 (掘り方)	
	43	須恵器	甕	口径 底径 器高 4.4	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5B5/1 外: Hue N5/0	123号竪穴住居址	ヘラ切り
	44	須恵器	坏	口径 底径 器高	胴部~底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 5Y7/1 外: Hue 5Y7/1	123号竪穴住居址	
45	須恵器	碗	口径 底径 器高 9.5	底部片	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y7/1 外: Hue 7.5Y7/1	123号竪穴住居址		
46	白磁	皿	口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	123号竪穴住居址		
47	瓦	瓦	口径 底径 器高		表:布目 外:縄目タタキ	内: Hue N7/0 外: Hue N7/0	123号竪穴住居址		
48	土師器	坏	口径 12.3 底径 器高	口縁~胴部片	内:回転ナデ, 磨き 外:回転ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 5YR5/6 外: Hue 5YR5/6	142号竪穴住居址	赤色化粧土 内外面一部スス付着	
49	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内:ナデ 外:ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	142号竪穴住居址		
50	土師器	坏	口径 底径 器高 5.8	底部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/7 外: Hue 2.5YR6/7	142号竪穴住居址	ヘラ切り	
51	土師器	甕	口径 26.8 底径 器高		内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ヘラナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	142号竪穴住居址, 97号ピット		
132	52	土師器	高坏	口径 底径 器高 11.8	口縁部1/6	内:磨き 外:磨き	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	12・124・73号竪穴住居址	

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
133	53	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue 7.5Y6/1	12号竪穴住居址	
	54	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5GY6/1 外: Hue N5/0	12号竪穴住居址	
	55	須恵器	坏	口径 底径 器高 14.7	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue 10Y6/1	12号竪穴住居址	
	56	須恵器	蓋	口径 底径 器高 18.4	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ, クタキ	内: Hue 5B2/1 外: Hue 5B2/1	12号竪穴住居址	
	57	須恵器	蓋	口径 底径 器高 9.8	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, カキメ	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	12号竪穴住居址	
	58	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.0	1/2	内: ナデ, 削り 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR5/6 外: Hue 7.5YR5/6	73号竪穴住居址 (P1)	脚部
	59	土師器	蓋	口径 底径 器高 10.7	胴部1/4強	内: ヘラ削り, 指オサ エ 外: ヘラ磨き	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 7.5YR7/4	73号竪穴住居址	脚付
	60	土師器	甕	口径 底径 器高 15.6	口縁部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR7/4	73号竪穴住居址	
	61	土師器	盤	口径 底径 器高 22.0	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5YR6/4 外: Hue 2.5YR6/6	62号竪穴住居址	赤色化粧土
	62	土師器	坏	口径 底径 器高 10.2	底部片	内: 回転ナデ, 回転磨 き 外: 回転ナデ, 回転削 り, 回転磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	62号竪穴住居址, 1号 掘立柱建物址 (P8)	
	63	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/3	62号竪穴住居址	
	64	須恵器	碗	口径 底径 器高 14.2 8.6 4.3	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y6/2 外: Hue 5Y3/1	62号竪穴住居址, D-3区II層	外面に自然釉付着
	65	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR6/4	76号竪穴住居址	
	66	須恵器	坏	口径 底径 器高 14.4	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	76号竪穴住居址	回転ナデ?
	67	土師器	甕	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ, ハケ目 外: ナデ, 削り	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	165号竪穴住居址	内外面赤灰
	68	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 削り, ナデ	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	90号竪穴住居址	
	69	土師器	高坏	口径 底径 器高 14.2	2/3	内: ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	90・93・147・159号竪 穴住居址	内外面スス付着 外面脚部荒れている
	70	土師器	鉢	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR5/1 外: Hue 10YR6/2	90号竪穴住居址	
	71	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.6	底部片	内: 回転ナデ 外: 不明	内: Hue N5/0 外: Hue N4/0	90号竪穴住居址	ヘラ切り?
	72	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 2.5GY5/1 外: Hue 2.5GY4/1	182号竪穴住居址	
	73	土師器	高坏	口径 底径 器高 9.2	1/2	内: ナデ, 削り, 磨き 外: ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR6/6	63号竪穴住居址	
	74	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	63・123号竪穴住居址	
	75	須恵器	坏	口径 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue N5/0	63号竪穴住居址	
	76	土師器	坏	口径 底径 器高 9.0	口縁~底部1/6	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 5YR6/6	74号竪穴住居址床面	
	77	土師器	坏	口径 底径 器高 12.0	1/8	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR4/6 外: Hue 5YR5/8	74号竪穴住居址	内・外面赤色化粧土
	78	土師器	坏	口径 底径 器高 11.4 7.6 2.4	口縁~底部1/4	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5YR5/8 外: Hue 7.5YR7/8	74号竪穴住居址	内面赤色化粧土
	79	土師器	高坏	口径 底径 器高 12.6 9.5 10.0	ほぼ完形	内: ヘラ削り, ヘラ磨 き 外: ナデ, ヘラ削り	内: Hue 7.5YR7/8 外: Hue 10YR7/3	74号竪穴住居址	
	80	土師器	高坏	口径 底径 器高	頸部~脚部	内: ナデ 外: 削り	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 2.5YR6/8	74号竪穴住居址床面	



図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 調	出土遺構	備 考
133	81	土師器	甕	口径 20.8 底径 6.3 器高 33.1	7/8	内: ナデ, 削り 外: ナデ, ハケ調整	内: Hue 7.5Y6/6 外: Hue 7.5Y6/6	74号竪穴住居址(土坑)	底部から胴部へ3/4程スス付着
	82	土師器	甕	口径 14.0 底径 器高 19.2	胴部下半1/2欠	内: ナデ, ヘラ削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/4	74号竪穴住居址	
	83	土師器	甕	口径 18.0~ 底径 18.3 器高 22.5	口縁部2/3 胴部上半	内: ナデ, 削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 7.5Y7/4	74号竪穴住居址 (竈)	支柱
	84	土師器	甕	口径 16.6 底径 器高 29.3	ほぼ完形	内: ヘラ削りナデ 外: ハケ目のちナデ	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 5YR6/6	74号竪穴住居址	胴上半から底付近までスス付着
	85	土師器	甕	口径18.1 底径 器高16.5	口縁部4/5 胴部上半1/5	内: ナデ, ヘラ削り, 磨き 外: ナデ, ハケ目, ヘ ラ磨き	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 10YR7/3	74号竪穴住居址	床直など
	86	土師器	甕	口径 底径 器高	底部~胴部	内: ケズリ 外: ハケ目	内: Hue 5YR6/4 外: Hue 7.5YR6/4	74号竪穴住居址	
	87	土師器	甕	口径 28.7 底径 器高 33.7	ほぼ完形	内: 回転ナデ, 削り, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ, ハケ目, 指オサエ	内: Hue 5Y6/6 外: Hue 5Y6/6	74号竪穴住居址(土坑)	外面黒斑あり
134	88	土師器	甕	口径 31.6 底径 器高	口縁~胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/6	74号竪穴住居址	
	89	須恵器	蓋	口径 9.6 底径 器高 3.5	4/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y7/2 外: Hue 5Y7/2	74号竪穴住居址	
	90	須恵器	坏	口径 10.0 底径 器高 3.5	1/6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 回転削 り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	74号竪穴住居址	ヘラ切り, 赤色化粧土
	91	土師器	高坏	口径 9.3 底径 器高 9.7	口縁欠	内: 回転ナデ, 外: ナデ, ヘラ削り, カキメ	内: Hue 2.5Y6/1 外: Hue 2.5Y6/1	74号竪穴住居址	回転台成形
	92	須恵器	高坏	口径 10.2 底径 器高	約2/3	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	74号竪穴住居址	自然釉
	93	須恵器	高坏	口径 10.4 底径 器高	約3/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10Y6/1 外: Hue 7.5Y8/1	74号竪穴住居址	
	94	石製品	紡錘車	長さ 4.8 幅 2.6 厚さ 1.7	1/2	内: 外:	内: Hue 外: Hue 10Y5/1	74号竪穴住居址	重量30g 擦痕あり
	95	土師器	高坏	口径 11.6 底径 器高	底部1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 10YR4/1	93号竪穴住居址	
	96	須恵器	蓋	口径 11.6 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/3 外: Hue 10YR7/2	93号竪穴住居址	
	97	須恵器	坏	口径 10.6 底径 器高	口縁~胴部1/6	内: 回転ナデ 外: ヘラ削り	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/2	93号竪穴住居址	
	98	須恵器	坏	口径 12.4 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/1	154号竪穴住居址	
	99	土師器	甕	口径 底径 器高	胴部	内: 削り 外: ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR6/4 外: Hue 7.5YR7/4	104号竪穴住居址	
	100	須恵器	蓋	口径 12.0 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N8/0 外: Hue 10Y8/1	104号竪穴住居址	
	101	須恵器	坏	口径 10.0 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 7.5Y5/1 外: Hue 7.5Y5/2	104号竪穴住居址 (竈)	
	102	須恵器	蓋	口径 9.9 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue N5/0	104号竪穴住居址	
	103	須恵器	坏	口径 11.6 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: ナデ, 回転削り	内: Hue 10YR6/2 外: Hue N5/0	104号竪穴住居址	
	104	土製品	土錘	長さ 0.7 幅 0.6 厚さ		内: 外: ナデ	内: Hue 外: Hue 10YR6/4	120号竪穴住居址 (竈)	
	105	土師器	坏	口径 13.6 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 2.5YR6/6	120号竪穴住居址 (竈②層)	
106	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: 磨き	内: Hue 2.5YR6/6 外: Hue 5YR7/6	120号竪穴住居址		
107	土師器	高坏	口径 9.6 底径 器高	脚部片	内: ナデ, 削り 外: 工具ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y6/6 外: Hue 2.5Y6/6	120号竪穴住居址 (竈 下)		
108	土師器	甕	口径 18.2 底径 器高	口縁~胴部片	内: ナデ, 削り 外: ナデ, ハケ調整	内: Hue 10YR5/4 外: Hue 5YR5/6	120号竪穴住居址	内外面にスス・コゲ付着	

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特徴	色 閉	出土遺構	備 考	
135	109	須恵器	蓋	口径 14.4 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR4/2 外: Hue 7.5Y4/1	120号竪穴住居址 (下層)		
	110	須恵器	坏	口径 12.4 底径 器高	口縁~胴部片	内: 回転ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR5/3 外: Hue 10YR5/4	120号竪穴住居址 (竈焼土)		
	111	須恵器	楕瓶	口径 底径 器高	胴部片	内: 同心円当て具痕 外: タタキ, カキ目	内: Hue N5/0 外: Hue 5B5/1	120号竪穴住居址		
	112	青磁	碗	口径 15.6 底径 器高	口縁片	内: 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5Y6/2 外: Hue 7.5Y6/2	120号竪穴住居址	越州煎系	
	113	銅製品	耳環	長径 2.1 短径 2.0 厚さ 0.5	完 形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	120号竪穴住居址	重量10.6g 内面に金メッキ残存	
	114	製塩土器		口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ, 指オサエ	内: Hue 7.5YR7/4 外: Hue 2.5Y7/2	210号竪穴住居址	天草式	
	115	土師器	坏	口径 12.2 底径 5.4 器高 4.8	約1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 10YR8/ 外: Hue 5YR7/6	1号掘立柱建物址	気泡による膨れ, ナデ不十分, 粗製品, 内外面一部赤色化磁土	
	116	土師器	碗	口径 底径 器高	底部	内: 回転ナデ, 磨き 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR3/1 外: Hue 7.5YR6/6	1号掘立柱建物址 (25P)	内面黒色	
	117	土師器	碗	口径 底径 器高	底部1/2	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR8/1 外: Hue 10YR8/4	1号掘立柱建物址 (17P)		
	118	土師器	坏	口径 底径 器高	口縁部片	内: 磨き 外: ナデ	内: Hue N1.5/0 外: Hue 10YR6/4	1号掘立柱建物址 (24P)	内面煤付着	
	119	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 10YR7/4 外: Hue 10YR7/4	1号掘立柱建物址 (24P)		
	120	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/4	1号掘立柱建物址 (39P)		
	121	須恵器	高坏	口径 13.2 底径 器高	坏部1/4	内: 回転ナデ, ナデ, 削り 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y7/ 外: Hue 5Y8/1	6号ピット	外面にヘラ記号あり	
	122	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N4/0	58号ピット		
	123	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部1/2	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/2	1号掘立柱建物址 (32P)		
	124	土師器		口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ 外: ナデ	内: Hue 5YR7/6 外: Hue 2.5TR8/3	1号掘立柱建物址 (23P)	曇書, 赤色化磁土	
	125	瓦	平瓦	口径 底径 器高	破片	内: 外: ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR7/ 外: Hue 2.5YP7/3	1号掘立柱建物址 (23P)	内面布目痕	
	126	土師器	坏	口径 底径 器高	底部1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/3	1号ピット列 (35P)		
	127	須恵器	碗	口径 底径 器高	底部1/4	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 5Y6/2 外: Hue 5Y6/2	1号ピット列 (35P)		
	128	土師器	坏	口径 11.6 底径 5.2 器高 5.0	4/5	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5YR5/6 外: Hue 2.5YR5/6	1号ピット列 (216P)		
	129	土師器	坏	口径 10.2 底径 6.1 器高 4.1	約1/6	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 10YR7/6 外: Hue 10YR7/4	1号ピット列 (216P)	ヘラ切り	
	130	土師器	坏	口径 11.0 底径 7.0 器高 5.1	1/3	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/8 外: Hue 7.5YR7/8	1号ピット列 (244P)		
	131	須恵器	蓋	口径 底径 器高	口縁部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 5Y4/1	54号土坑	外面自然胎	
	132	須恵器	高坏	口径 底径 器高	脚部片	内: 回転ナデ 外: 回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y5/2 外: Hue 5Y5/1	54号土坑		
	133	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内: ナデ, タタキ 外: タタキ	内: Hue 10GY4/1 外: Hue N2/0	236号土坑		
	134	須恵器	蓋	口径 9.0 底径 器高	約1/4	内: ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue 5Y5/1	219号ピット		
	135	石製品	硯	口径 底径 器高	陸・縁	内: 外:	内: Hue 外: Hue	34号ピット		
	136	136	土師器	坏	口径 12.8 底径 器高 4.4	約1/2	内: ナデ, 磨き 外: ナデ, 削り, 磨き	内: Hue 7.5YR5/1 外: Hue 10YR4/2	F-4区II層	
		137	土師器	碗	口径 8.6 底径 6.4 器高 4.3	口縁~底部1/4	内: 回転ナデ, ナデ 外: 回転ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR6/6	E-2区II層	

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
136	138	土師器	碗	口径 底径 器高 13.0	口縁1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 10YR6/4 外: Hue 10YR7/4	E-3区Ⅱ層	
	139	土師器	高坏	口径 底径 器高 14.2	口縁～頸部境	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	D-3区Ⅱ層	
	140	土師器	甃	口径 底径 器高 25.8	口縁1/5弱	内:回転ナデ, ケズリ 外:回転ナデ, ハケ目	内: Hue 7.5YR7/6 外: Hue 7.5YR7/6	D-3区Ⅱ層他	
	141	土師器	甃	口径 底径 器高 26.0	口縁～胴部1/4	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ, ナデ, ハケ目	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	D-3区Ⅱ層	
	142	土師器	瓶	口径 底径 器高	把手	内: 外:磨き, ヘラナデ	内: Hue 外: Hue 7.5YR7/6	D-3区Ⅱ層	
	143	須恵器	坏	口径 底径 器高 10.2 6.3 2.8	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue N5/0 外: Hue N5/0	C-5区Ⅱ層	
	144	須恵器	坏	口径 底径 器高 13.4 10.0 4.1	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N8/0 外: Hue N8/0	D-3区Ⅱ層	
	145	須恵器	碗	口径 底径 器高 12.0 7.0 3.6	約1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5GY8/1 外: Hue 2.5GY8/1	D-2区Ⅱ層	ヘラ切り?
	146	須恵器	碗	口径 底径 器高 13.2 9.3 4.5	約1/6	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue N4/0	D-2区Ⅱ層	ヘラ切り
	147	須恵器	盤	口径 底径 器高 13.6 11.6 1.8	約1/8	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N6/0 外: Hue 10GY7/1	C-2区Ⅱ層	ヘラ切り
	148	土師器	碗	口径 底径 器高 7.0	底部1/4	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 10YR8/4 外: Hue 10YR8/4	D-3区Ⅱ層	
	149	須恵器	蓋	口径 底径 器高	把手	内:回転ナデ 外:ヘラ削り, ナデ	内: Hue 10YR5/3 外: Hue N4/0	D-3区Ⅱ層, 1号掘立 住居物址 (18P)	ヘラ記号
	150	須恵器	蓋	口径 底径 器高	胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/1	C-4区Ⅱ層	ヘラ記号
	151	土師器	坏	口径 底径 器高 5.9	底部1/2以下	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ナデ	内: Hue 2.5Y7/2 外: Hue 2.5Y7/2	E-3区Ⅱ層	ヘラ記号
	152	須恵器	坏	口径 底径 器高	胴部片	内:回転ナデ 外:回転ナデ, ナデ, ケズリ	内: Hue 7.5YR7/ 外: Hue N7/0	C-2区Ⅱ層	ヘラ記号
	153	須恵器	転用硯	口径 底径 器高	底部片	内: 外:ナデ	内: Hue N3/0 外: Hue N6/0	D-2区Ⅱ層	
	154	土製品	移動式籠	口径 底径 器高	破片	内: 外:	内: Hue 外: Hue 10YR7/4	4 E-2区Ⅱ層	
	155	石器	砥石	口径 底径 器高		内: 外:	内: Hue 外: Hue 2.5Y6/2	D-3区Ⅱ層	
	156	縄文土器	深鉢	口径 底径 器高	胴部1/8以下	内:ナデ, オサエ, 磨 き 外:磨き	内: Hue 10YR8/3 外: Hue 10YR7/4	E-3区	
	157	縄文土器	深鉢	口径 底径 器高	胴部片	内:磨き 外:磨き	内: Hue 2.5Y7/3 外: Hue 2.5Y3/2	12号竪穴住居址	内面に圧痕あり
137	158	石器	磨製石斧	長さ 幅 厚さ 10.2 5.2 1.9	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	4号溝	
	159	石器	石鏃	長さ 幅 厚さ 1.7 0.3	ほぼ完形	内: 外:	内: Hue 外: Hue	104号竪穴住居址 (竪 下の土坑)	
	160	土師器	坏	口径 底径 器高 13.3 9.0 3.0	1/4	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5YR6/7 外: Hue 2.5YR6/7	1層	
	161	土師器	碗	口径 底径 器高 8.6	底部2/3	内:ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 2.5Y5/1 外: Hue 2.5YR7/3	1層	
	162	土師器	碗	口径 底径 器高 12.0 6.9 5.4	2/3	内:回転ナデ, ナデ 外:回転ナデ	内: Hue 外: Hue	1層	内外面スス付着
	163	土師器	甃	口径 底径 器高 19.0	口縁部～頸部	内:回転ナデ, 削り 外:回転ナデ	内: Hue 10R5/6 外: Hue 10R4/6	1層	内・外面赤色化粧土
	164	土師器	瓶	口径 底径 器高	把手	内:ナデ 外:削り, ナデ	内: Hue 7.5YR6/6 外: Hue 7.5YR7/8	E-2区Ⅰ層	把手表面に小礫あり
	165	須恵器	碗	口径 底径 器高 7.8	底部1/2	内:回転ナデ 外:回転ナデ, 削り	内: Hue 5Y6/1 外: Hue 5Y6/2	1層	
	166	須恵器	高坏	口径 底径 器高 9.2	口縁部1/6	内:回転ナデ 外:回転ナデ	内: Hue N4/0 外: Hue N3/0	1層	

2. 国際先端医学研究拠点施設新営工事に伴う発掘調査 (1223調査地点)

図	番号	遺物	種類(器種)	法量 (cm)	残存量	特 徴	色 調	出土遺構	備 考
137	167	須恵器	碗	口径 底径 器高 8.4	底部3/4	内：ヘラ削り、ナデ 外：ヘラ削り、ナデ	内：Hue 2.5Y6/1 外：Hue 2.5Y6/2	I層	
	168	須恵器	転用碗	口径 底径 器高 18.6 12.4 3.1	約1/3	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 10YR5/2 外：Hue 5YR4/3	4号溝、I層	使用痕あり
	169	土師器	坏	口径 底径 器高 13.8 8.6 3.1	約1/8	内：回転ナデ、回転磨き 外：回転ナデ、回転磨き、削り	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 10YR7/3	I層	ヘラ記号、赤色化粧土
	170	土師器	坏	口径 底径 器高	底部片	内：ナデ、磨き 外：ナデ、磨き	内：Hue 10YR3/2 外：Hue 7.5YR6/4	I層	ヘラ記号
	171	須恵器	坏	口径 底径 器高 6.0	1/4	内：回転ナデ、ナデ 外：回転ナデ、削り	内：Hue 5Y7/2 外：Hue 5Y7/2	I層	ヘラ記号
	172	土師器		口径 底径 器高	底部片	内：回転ナデ、回転磨き 外：回転削り、回転磨き	内：Hue 2.5YR6/6 外：Hue 10YR6/3	I層	曇青、赤色化粧土
	173	土製品		長さ 幅 厚さ 2.0 2.1	脚部	内： 外：ナデ、削り	内：Hue 外：Hue 7.5YR6/6	D-2区 I層	
	174	土製品	泥面子	長さ 幅 厚さ 3.2 2.1 1.05	ほぼ完形	内： 外：	内：Hue 7.5YR7/6 外：Hue 7.5YR8/6	攪乱	
	175	陶器	コンロ 目皿	口径 底径 器高 13.0	底部1/8弱	内：回転ナデ 外：回転ナデ	内：Hue 10YR6/2 外：Hue 10YR4/1	I層	
	176	石製品		長さ 幅 厚さ 7.3 2.6 2.1	完形	内： 外：	内：Hue 外：Hue	I層	磨製

写 真 图 版



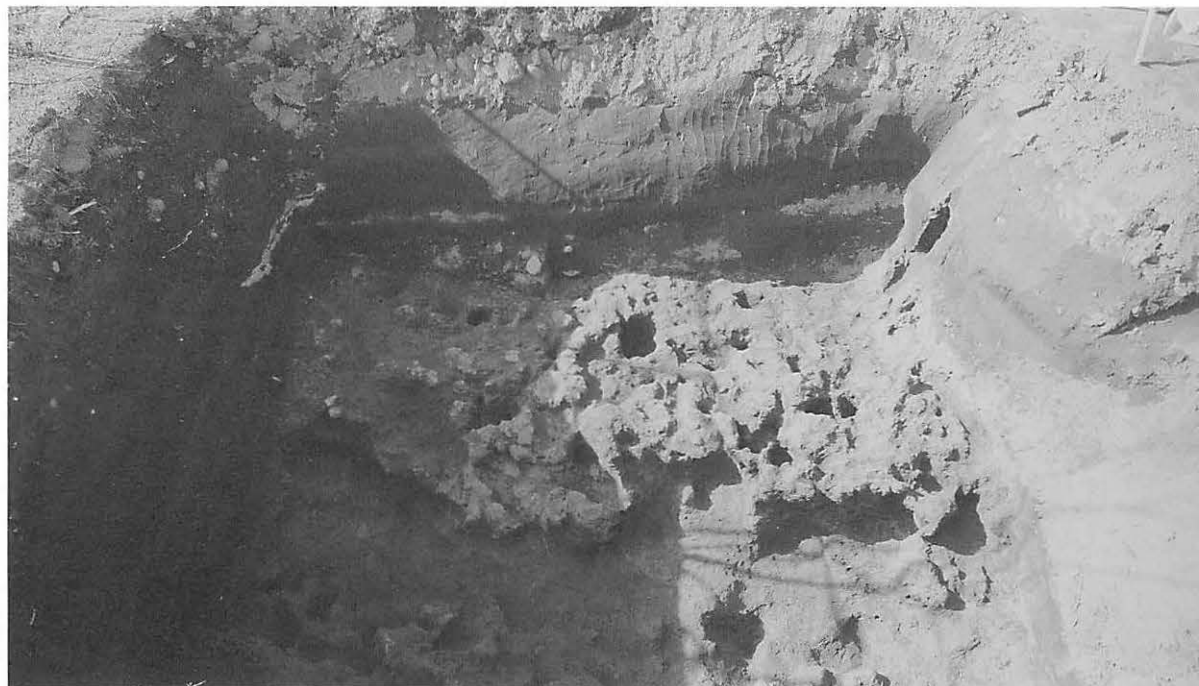


写真1 I区完掘状況(南東より)



写真2 1次掘削の様子(南より)



写真3 I区西壁(南東より)



写真4 地山上面遺物出土状況(北より)



写真5 地山上面遺物出土状況(北より)



写真6 II区遺物出土状況(南東より)



写真7 遺物出土状況(北より)



写真8 北壁(南より)

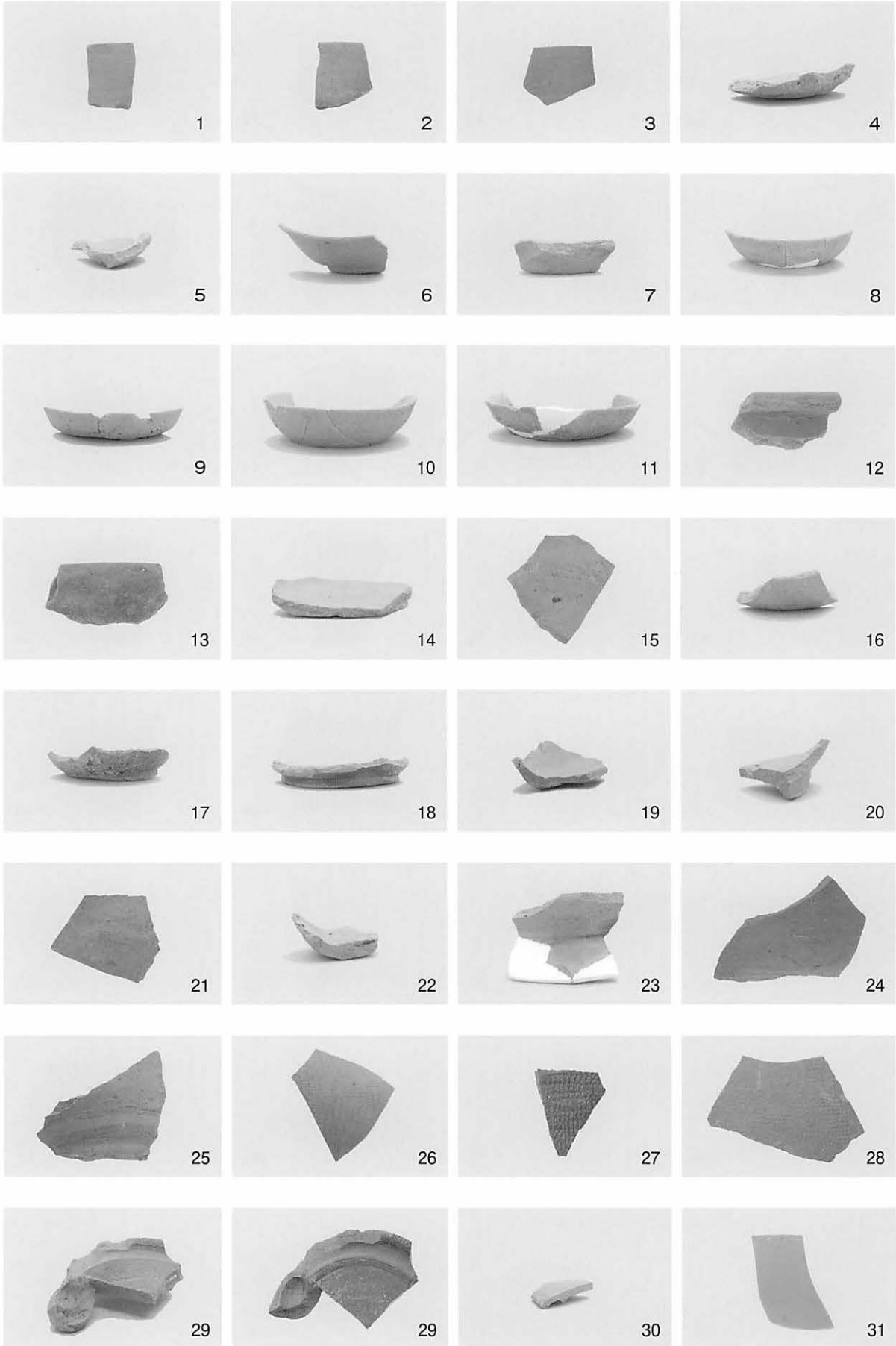


写真9 遺物出土状況(北より)

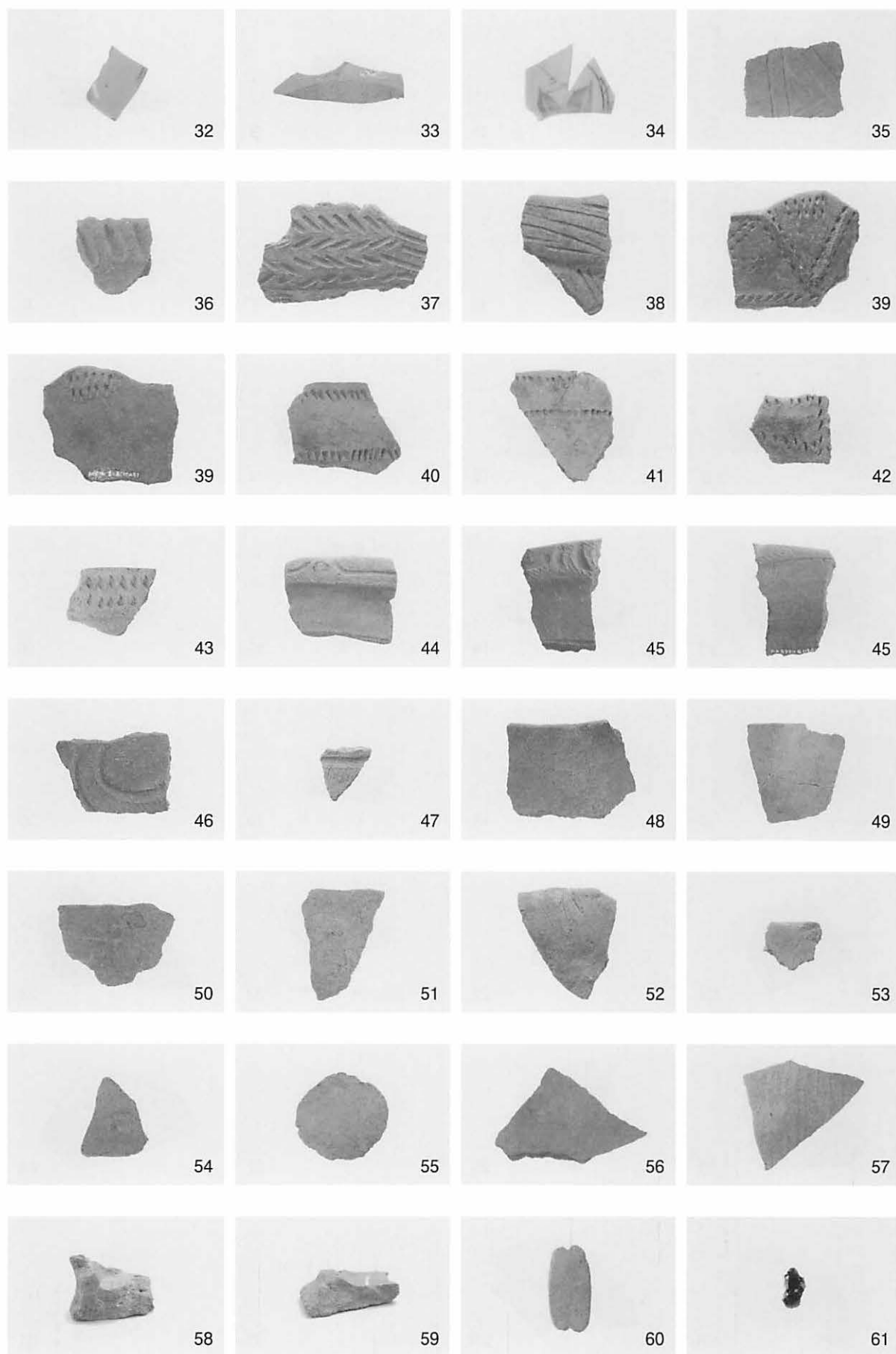


写真10 II区完掘状況(南東より)





図版4 9911調査地点出土遺物2



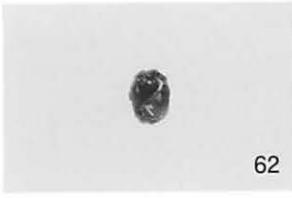




写真12 調査区南側全景（西より）



写真13 調査区北側全景（西より）



写真14 調査区南側（東より）



写真15 調査区北側（東南より）



写真16 調査区南側（南西より）



写真17 調査区北壁土層断面・5・6号溝（南より）



写真18 調査区北壁土層断面（南西より）



写真19 1号竪穴住居址（南より）



写真20 1・2号竪穴住居址（南より）

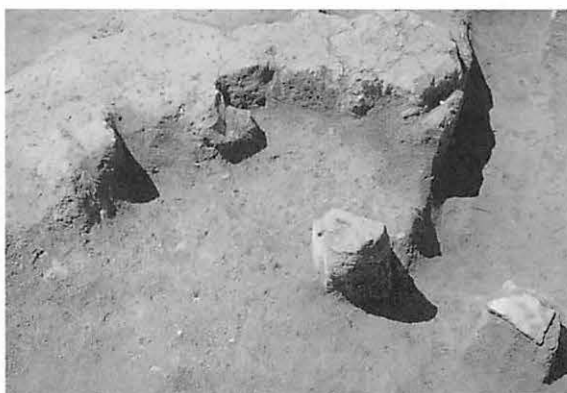


写真21 1号竪穴住居址竈完掘状況（南より）



写真22 2号竪穴住居址竈（南より）



写真23 1号竪穴住居址竈（東より）



写真24 2号竪穴住居址（南より）



写真25 3号竪穴住居址（南より）



写真26 2号竪穴住居址完掘状況（南より）



写真27 3号竪穴住居址竈完掘状況（南より）



写真28 2号竪穴住居址遺物出土状況（西より）



写真29 4号竪穴住居址東西土層壁面（北より）



写真30 4号竪穴住居址 (南西より)



写真31 4号竪穴住居址竈土器出土状況 (南より)



写真32 4号竪穴住居址竈横土器出土状況(南より)



写真33 21号火葬墓 (西より)



写真34 4号竪穴住居址竈 (南西より)



写真35 9号溝土層断面 (南より)

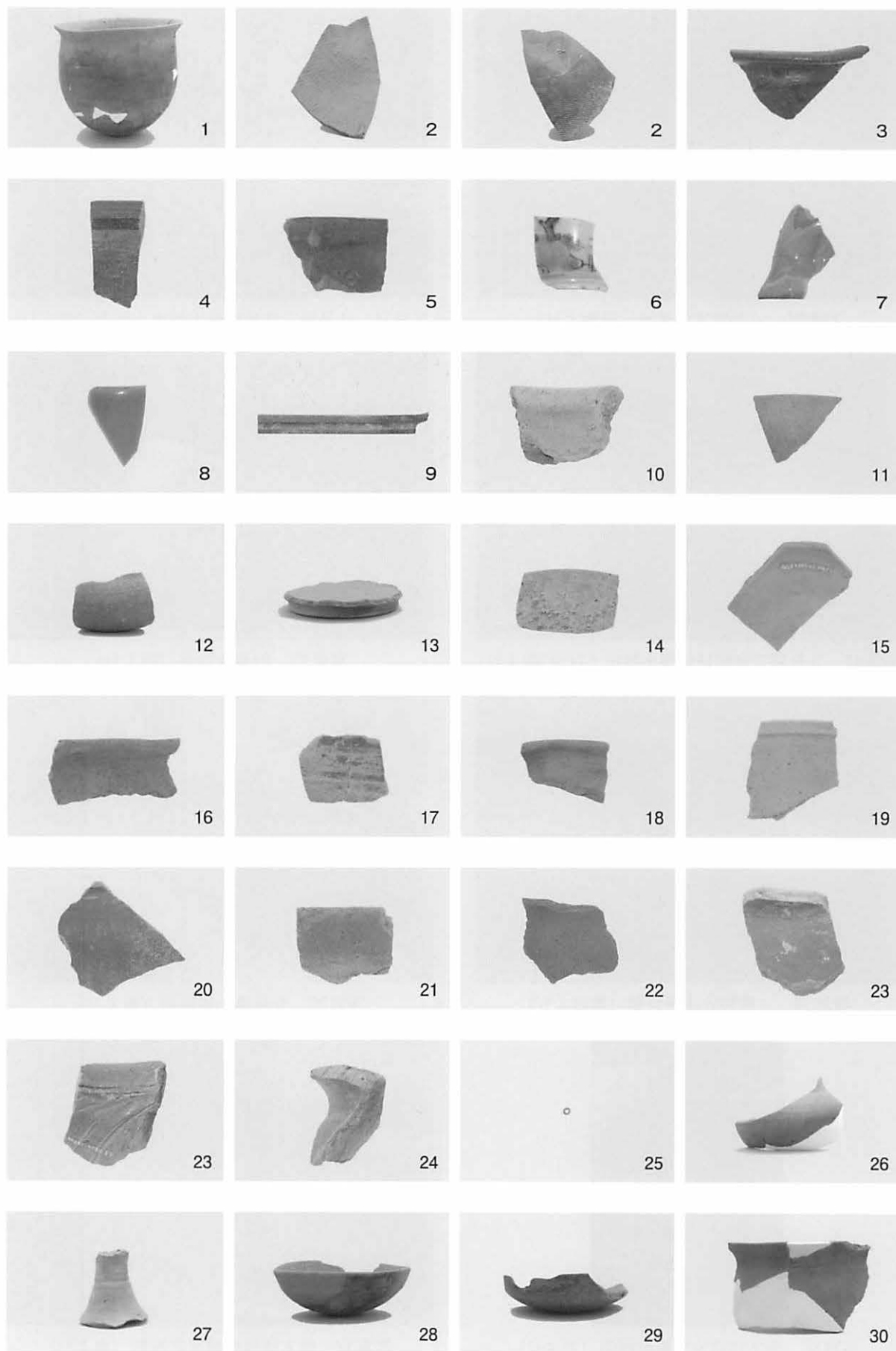


写真36 樹木移植地調査区西側 (北より)

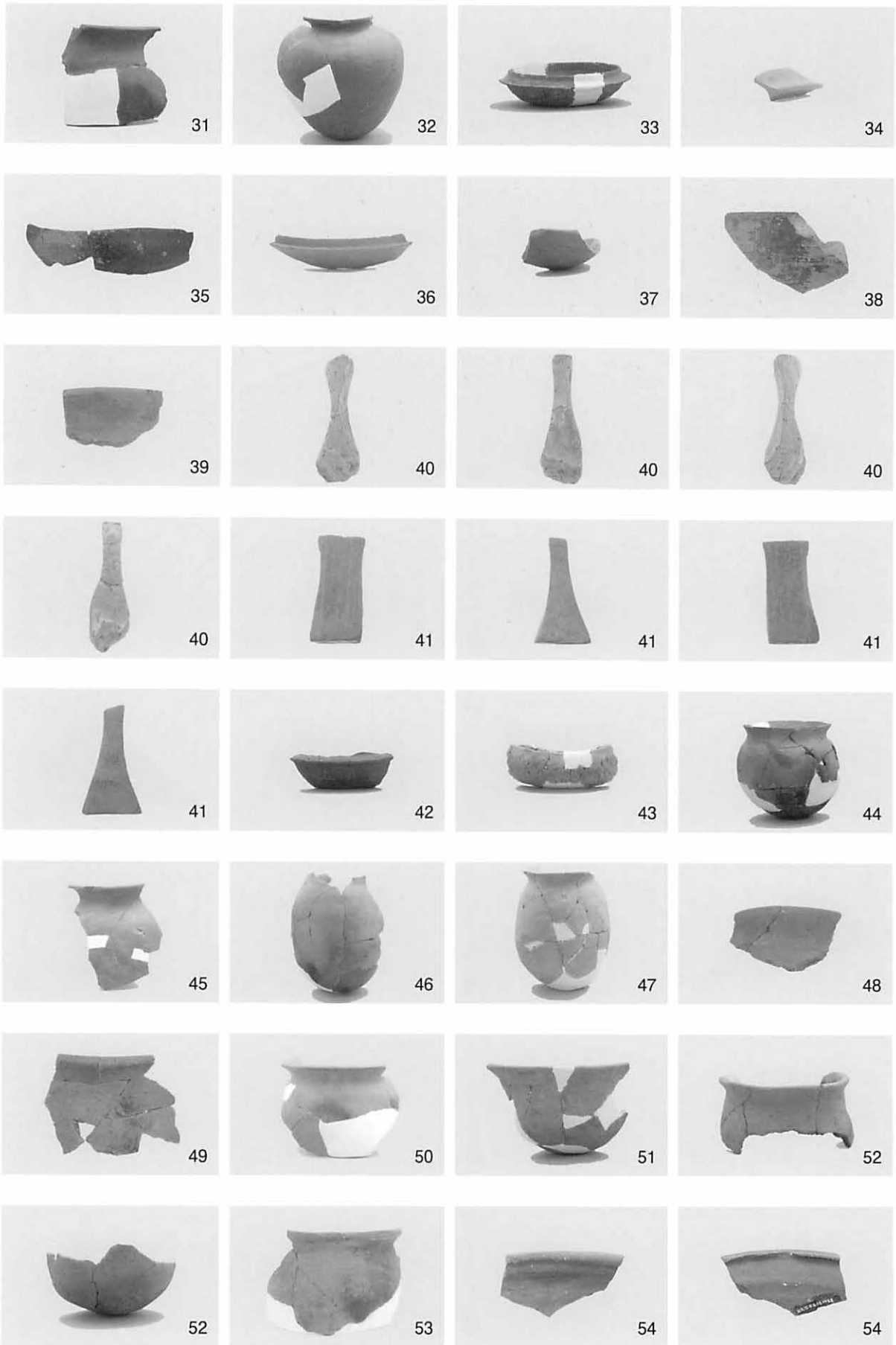


写真37 樹木移植地調査区南側 (南より)

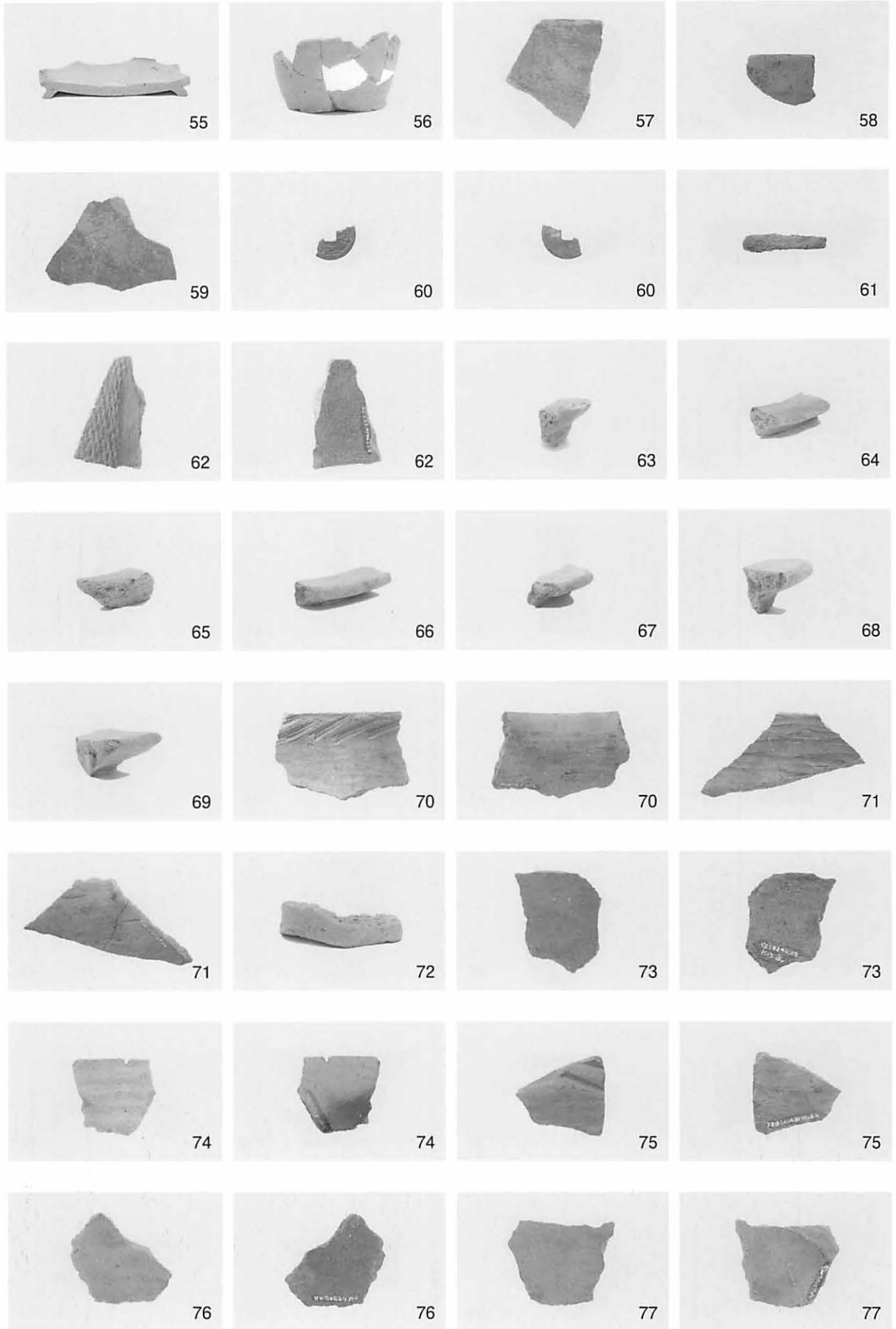
図版10 0204調査地点出土遺物 1

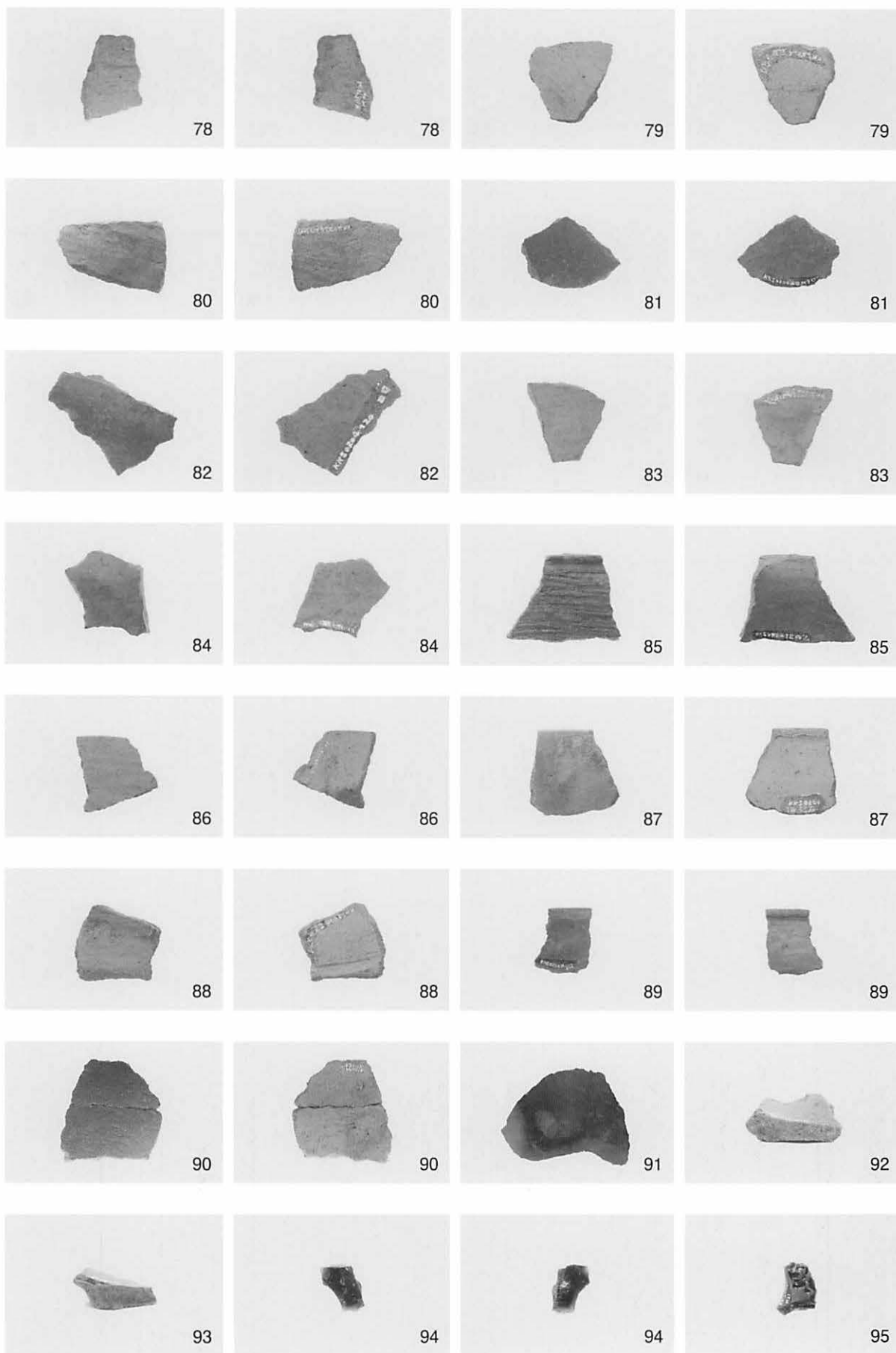






図版12 0204調査地点出土遺物3





図版14 0204調査地点出土遺物5

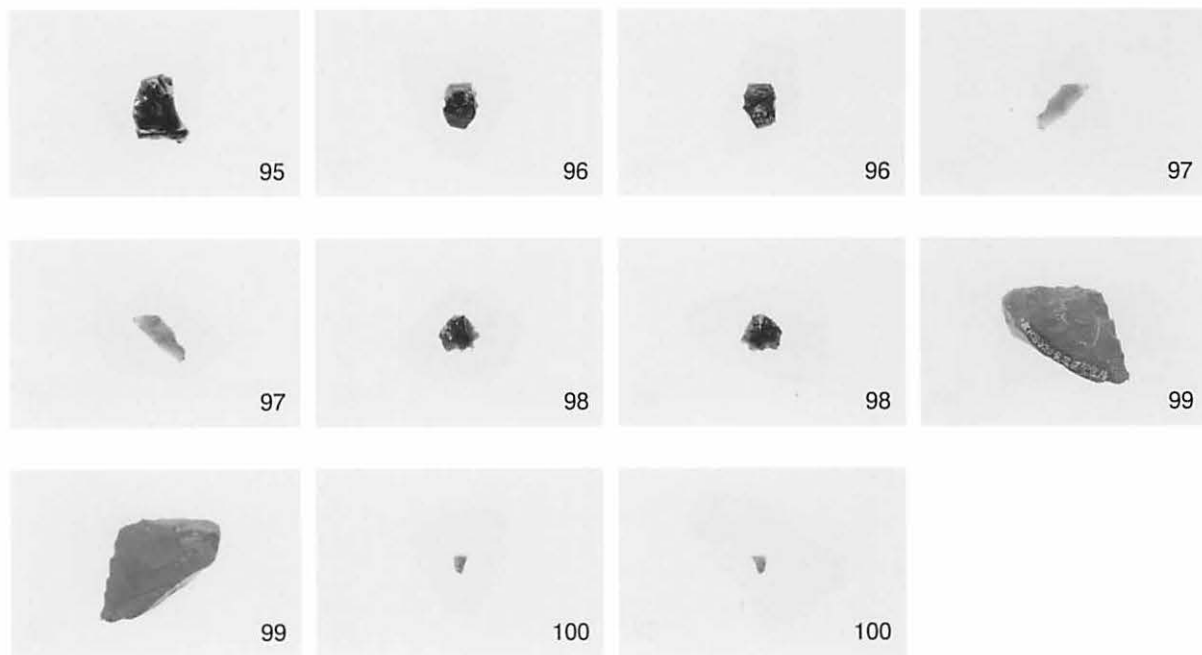




写真38 調査区南壁（北より）



写真39 調査区全景（北より）



写真40 溝状遺構（北より）



写真41 遺物出土遺構（東より）



写真42 遺物出土状況（東より）





写真43 樹木③調査地点周囲掘削風景 (西より)



写真44 樹木⑬トレンチ掘削状況 (東より)



写真45 II区トレンチ5掘削状況 (東より)



写真46 II区トレンチ6掘削状況 (東より)



写真47 II区トレンチ8掘削状況 (北より)



写真48 II区トレンチ7掘削状況 (西より)



写真49 II区トレンチ9掘削状況 (北より)



写真50 II区トレンチ10掘削状況 (北より)



写真51 II区トレンチ11掘削状況（西より）



写真52 II区トレンチ12掘削状況（北より）



写真53 II区トレンチ13掘削状況（東より）



写真54 II区トレンチ1掘削状況（西より）



写真55 II区トレンチ15掘削状況（東より）

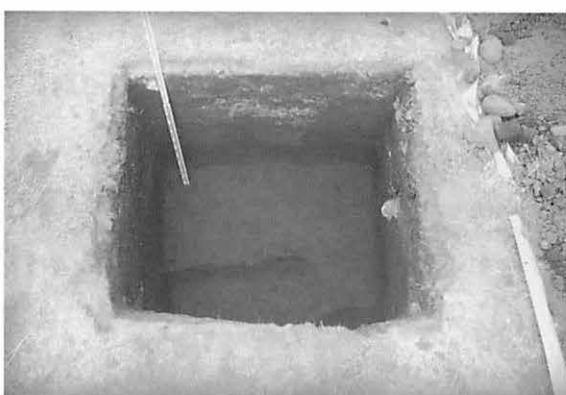


写真56 II区トレンチ14掘削状況（東より）



写真57 II区調査地点全景（西より）



写真58 III区調査地点全景（北東より）



写真59 IV区調査地点全景 (南東より)



写真60 IV区トレンチ20調査風景 (南東より)



写真61 IV区トレンチ21硬化面検出状況 (東より)



写真62 III区トレンチ16全景 (東より)



写真63 III区トレンチ17全景 (東より)



写真64 IV区トレンチ20第2硬化面検出状況 (北より)



写真65 IV区トレンチ20遺物出土状況 (東より)

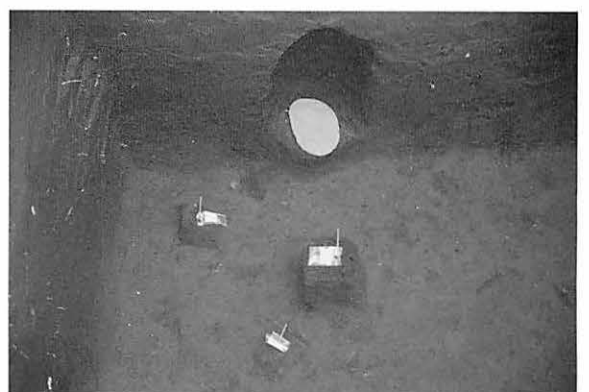


写真66 IV区トレンチ20摩石ほか出土状況 (西より)





写真67 IV区トレンチ20包含層下面遺物出土状況(東より)



写真68 IV区トレンチ21包含層遺物出土状況(東より)



写真69 III区トレンチ19-1号住居址(北より)



写真70 樹木①調査地点トレンチ土層(南より)



写真71 樹木①調査地点近景(西より)

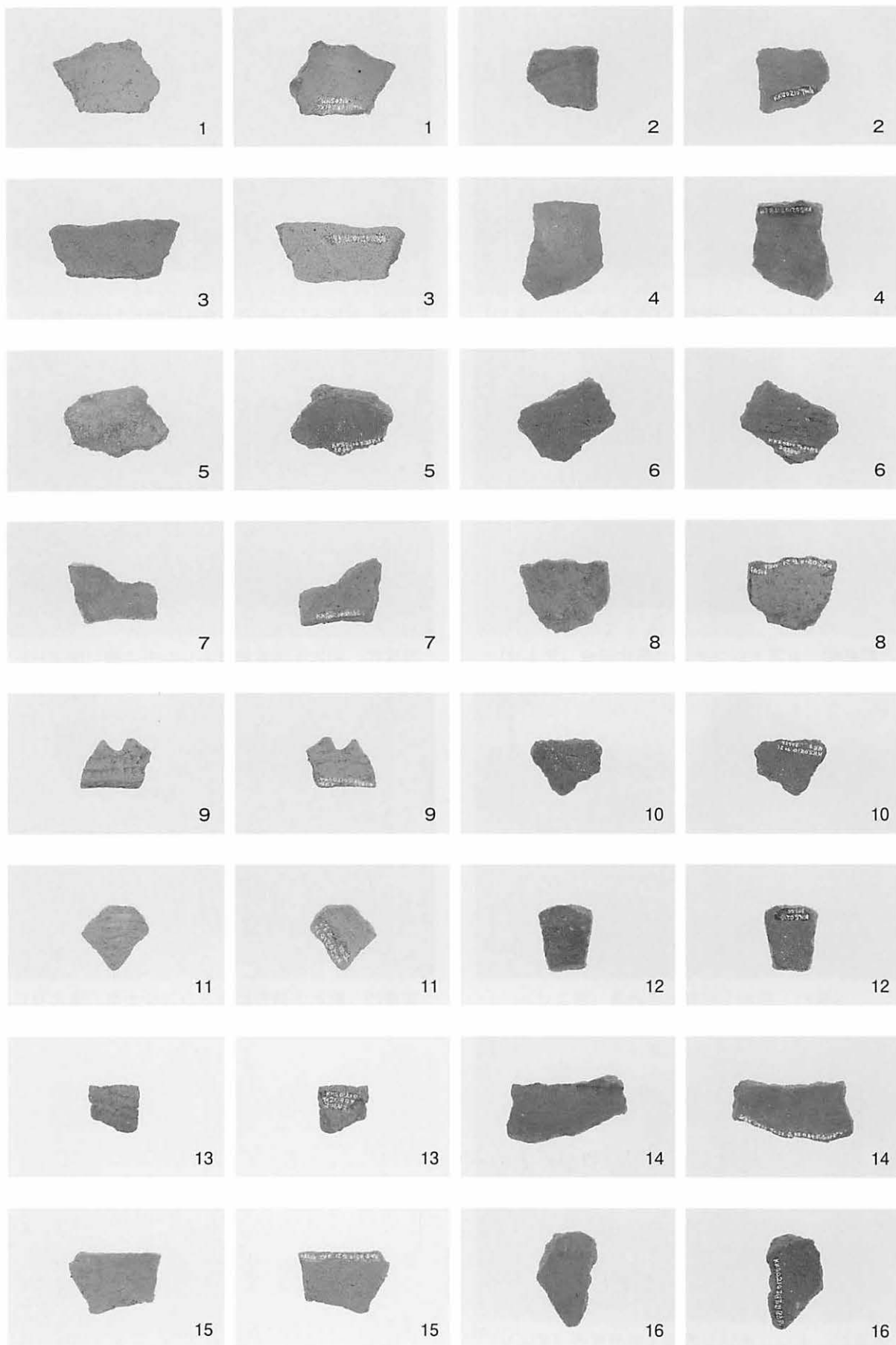


写真72 樹木②調査地点トレンチ土層(東より)



写真73 トレンチ18位置換え掘削風景(北より)

図版20 0210調査地点出土遺物 1



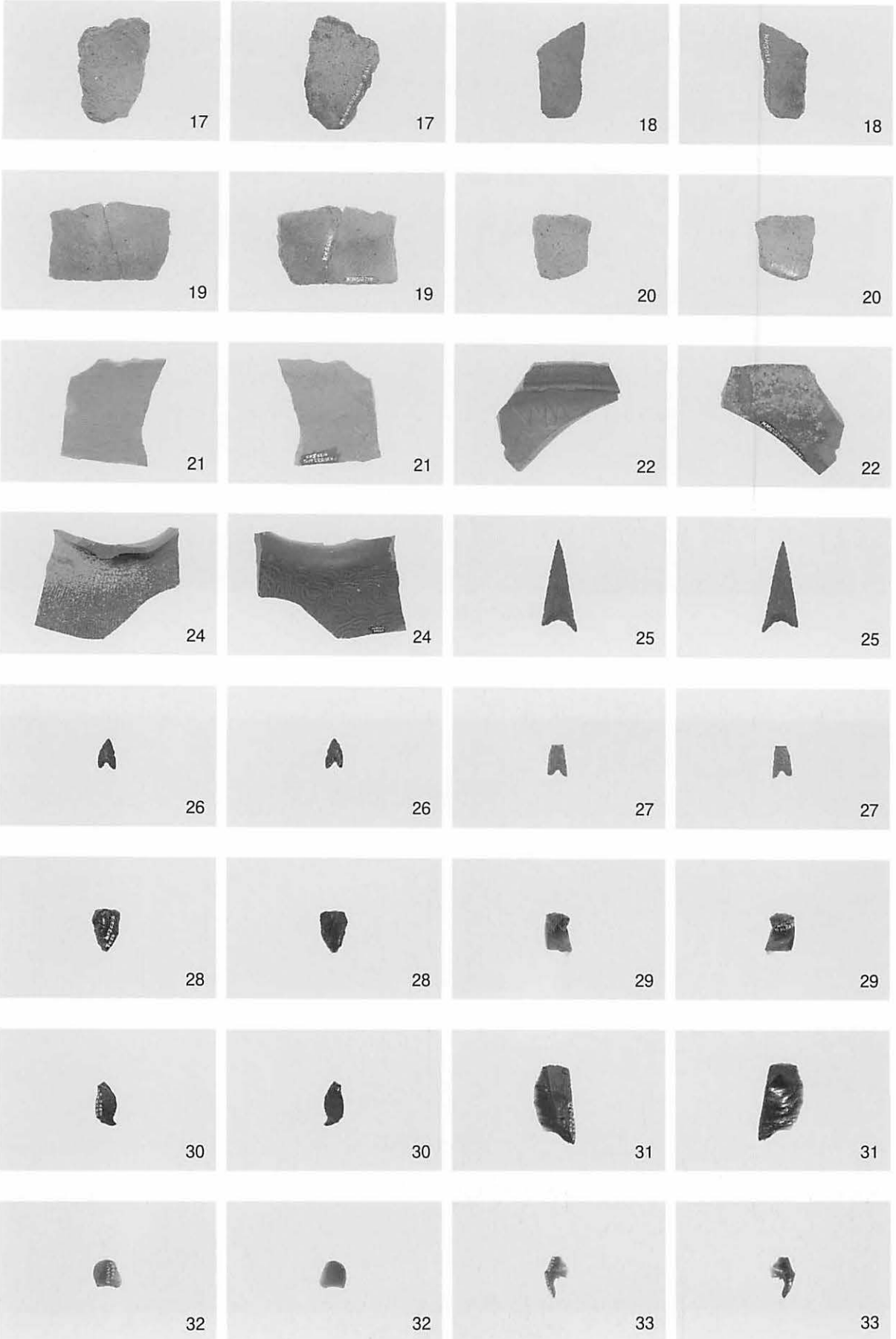




写真74 I区全景 (東より)



写真75 II区全景 (北より)



写真76 II区東部全景（北より）



写真77 3号豎穴住居址遺物出土状況（南東より）



写真78 3号豎穴住居址完掘状況（西より）



写真79 5号豎穴住居址遺物出土状況（南西より）



写真80 5号豎穴住居址掘削状況（北より）



写真81 35号竪穴住居址掘削状況（南西より）



写真82 80号竪穴住居址遺物出土状況（北西より）



写真83 80号竪穴住居址内竈（北より）



写真84 92号竪穴住居址・74号溝（西より）



写真85 113号竪穴住居址（北東より）



写真86 253号竪穴住居址掘削状況（南より）



写真87 338号竪穴住居址掘削状況（南西より）



写真88 339号・340号竪穴住居址掘削状況（南東より）



写真89 346号竪穴 (南より)



写真90 346号竪穴遺物出土状況 (西より)



写真91 352・353号竪穴住居址掘削状況 (北西より)



写真92 353号竪穴住居址完掘状況 (北西より)



写真93 360号竪穴住居址遺物出土状況 (南より)



写真94 360号竪穴住居址 (西より)



写真95 387号竪穴住居址遺物出土状況 (北西より)



写真96 387号竪穴住居址完掘状況 (北東より)



写真97 368号集石土坑 (西より)



写真98 30・25・80号竪穴住居址 (南東より)

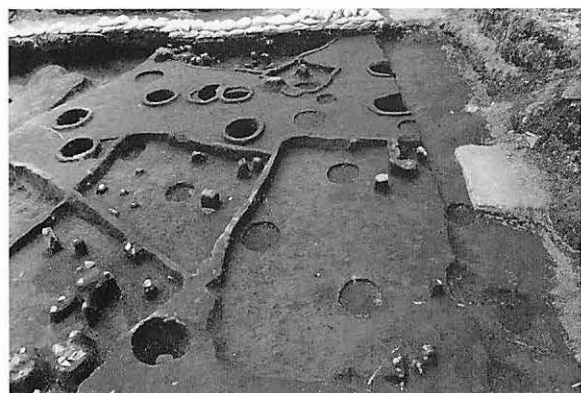


写真99 43・50号竪穴住居址 (北東より)



写真100 52号竪穴住居址遺物出土状況 (北より)



写真101 52号竪穴住居址竈完掘状況 (南より)



写真102 290号竪穴住居址遺物出土状況 (南より)



写真103 291号竪穴住居址掘削状況 (西より)



写真104 343号竪穴住居址完掘状況 (南より)





写真105 355号竪穴住居址完掘状況（西より）



写真106 356号竪穴住居址北側（南西より）



写真107 356号竪穴住居址南側（南西より）



写真108 357号竪穴遺物出土状況（北より）



写真109 25号竪穴住居址遺物出土状況（西より）



写真110 25号竪穴住居址内焼土（北東より）



写真111 114号竪穴住居址土層断面（東より）



写真112 157号竪穴住居址遺物出土状況（東より）

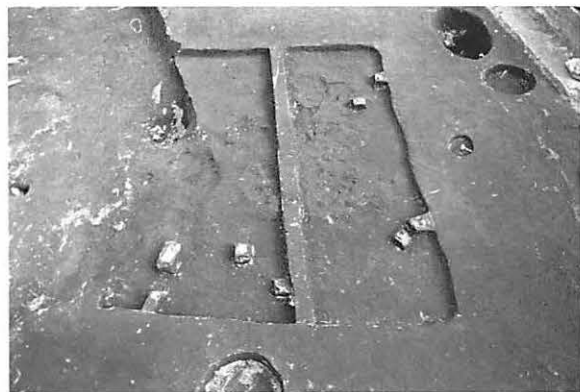


写真113 258号竪穴住居址遺物出土状況(北より)



写真114 300号竪穴住居址遺物出土状況(北より)



写真115 300号竪穴住居址竈検出状況(北東より)



写真116 300号竪穴住居址完掘状況(北西より)



写真117 310号竪穴住居址遺物出土状況(北より)



写真118 362号竪穴土層断面(西より)



写真119 掘立柱建物(北より)



写真120 I区1号溝遺物出土状況(北東より)



写真121 II区1号溝完掘状況(南西より)



写真122 4号溝掘削状況(北東より)



写真123 4号溝上土器出土状況(北より)



写真124 4号溝内馬骨出土状況(西より)



写真125 15・16号溝完掘状況(東より)



写真126 57号溝遺物出土状況(東より)



写真127 72号溝完掘状況(北より)



写真128 72号溝完掘状況(南西より)

図版30 9901調査地点



写真129 72号溝内高坏出土状況（北より）



写真130 72号溝遺物出土状況（西より）



写真131 4・1(381)・379・156(380)号溝  
（西より）



写真132 358・373号溝（西より）



写真133 II区南側溝完掘状況（北より）



写真134 115号胞衣壺ピット (西より)



写真135 115号胞衣壺ピット断面 (西より)



写真136 370号集石 (西より)



写真137 250号土壙墓人骨検出状況 (西より)



写真138 2号溝 (北より)

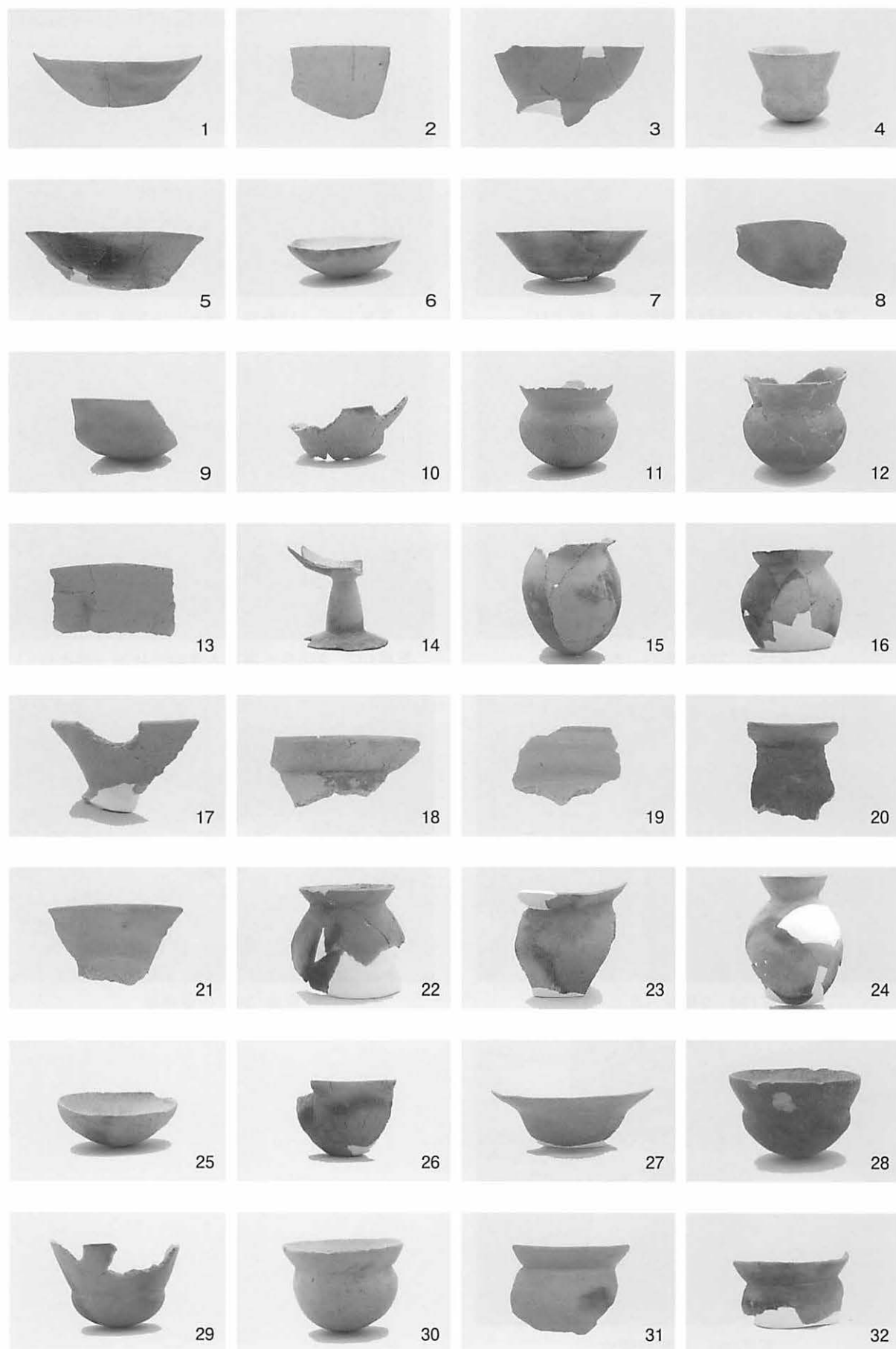


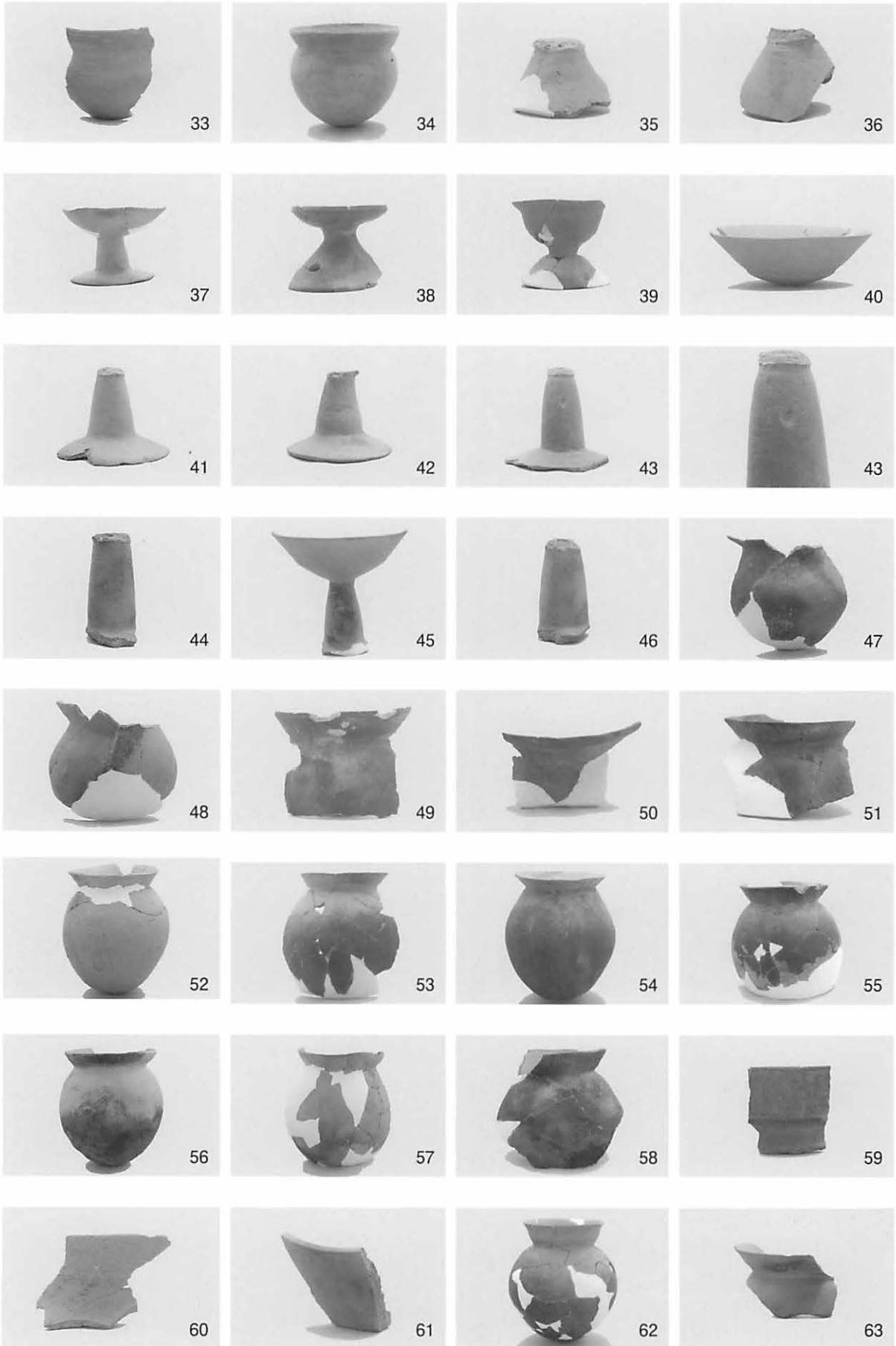
写真139 作業風景



写真140 現場説明会

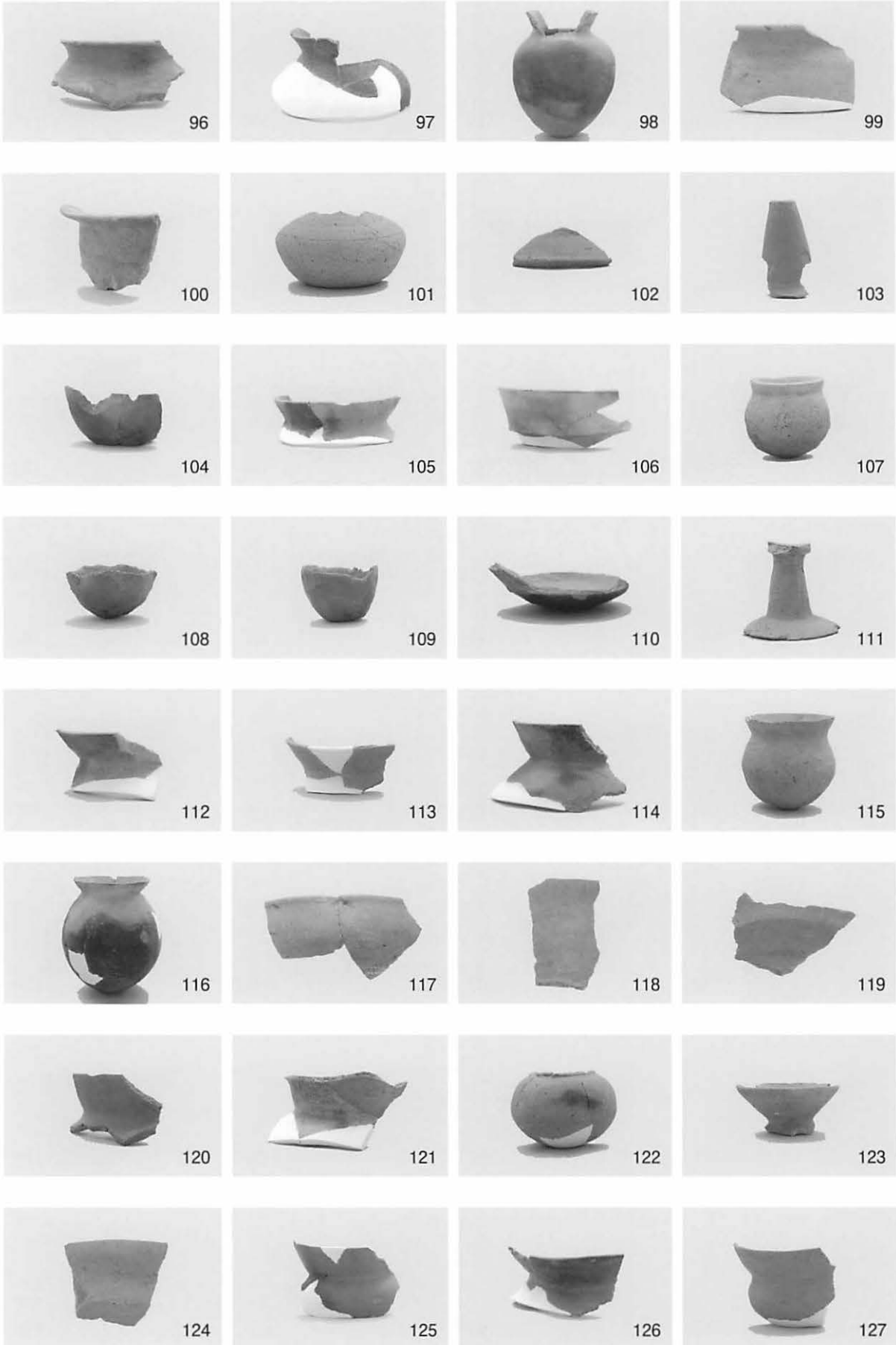
図版32 9901調査地点出土遺物 1

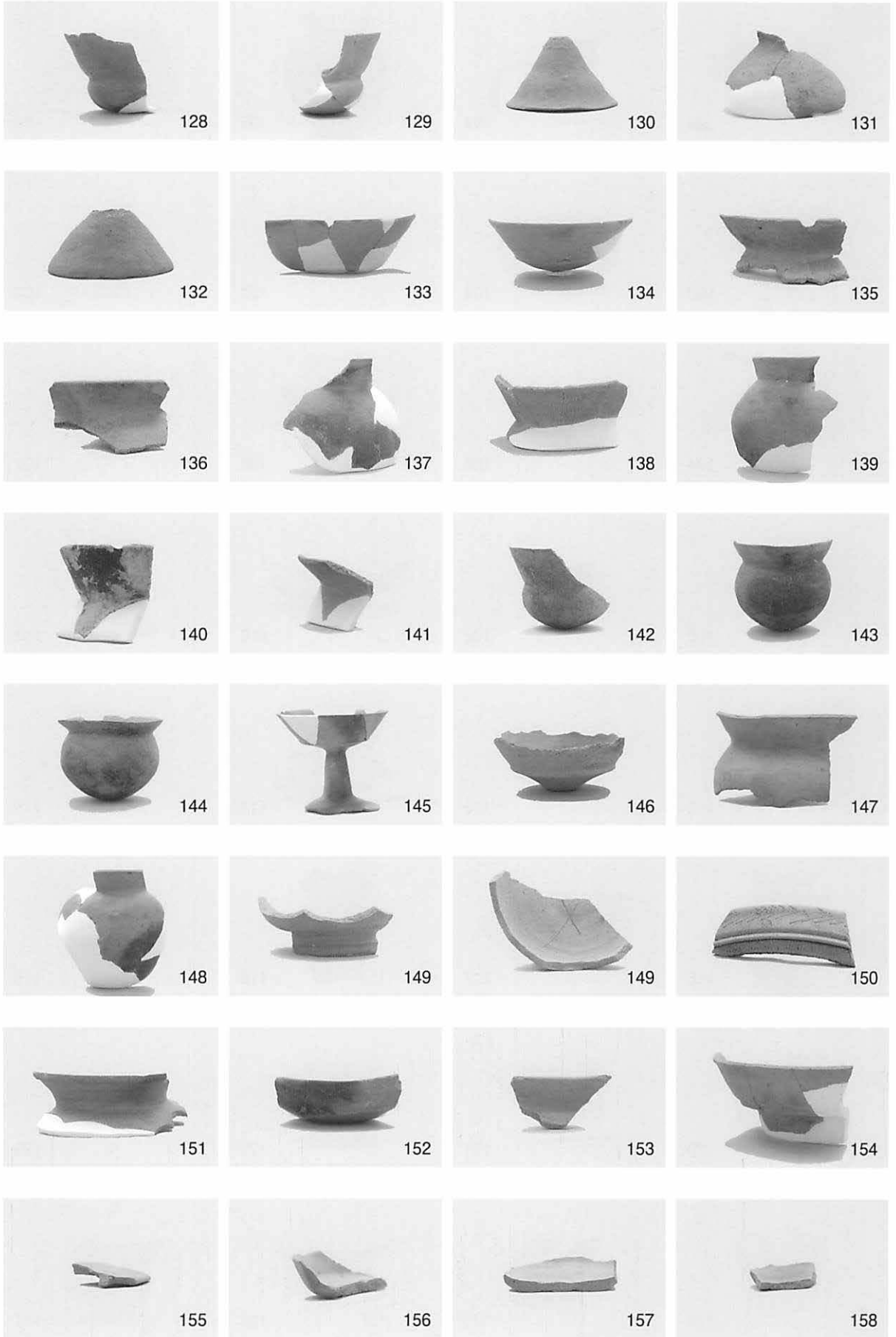


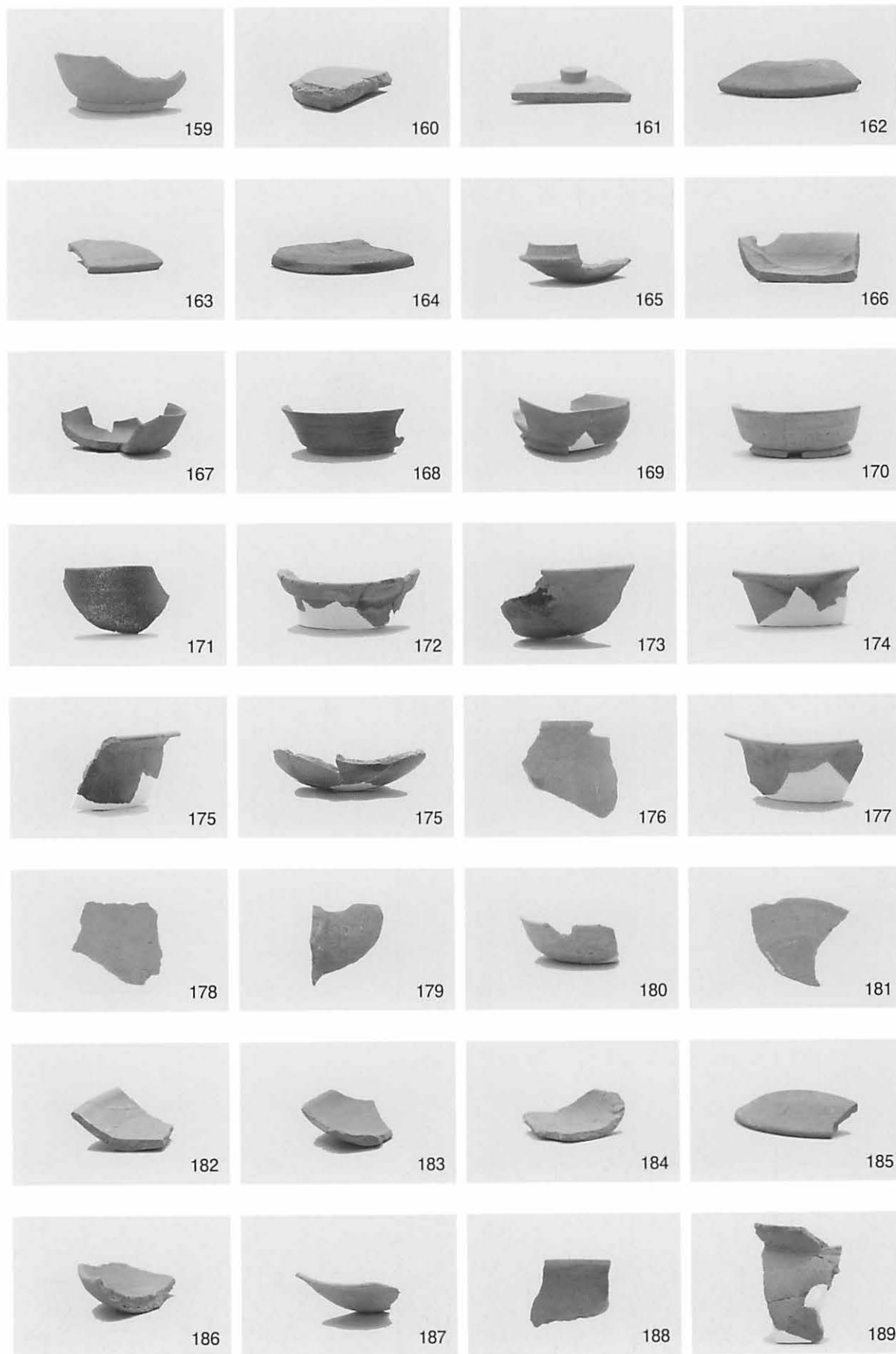




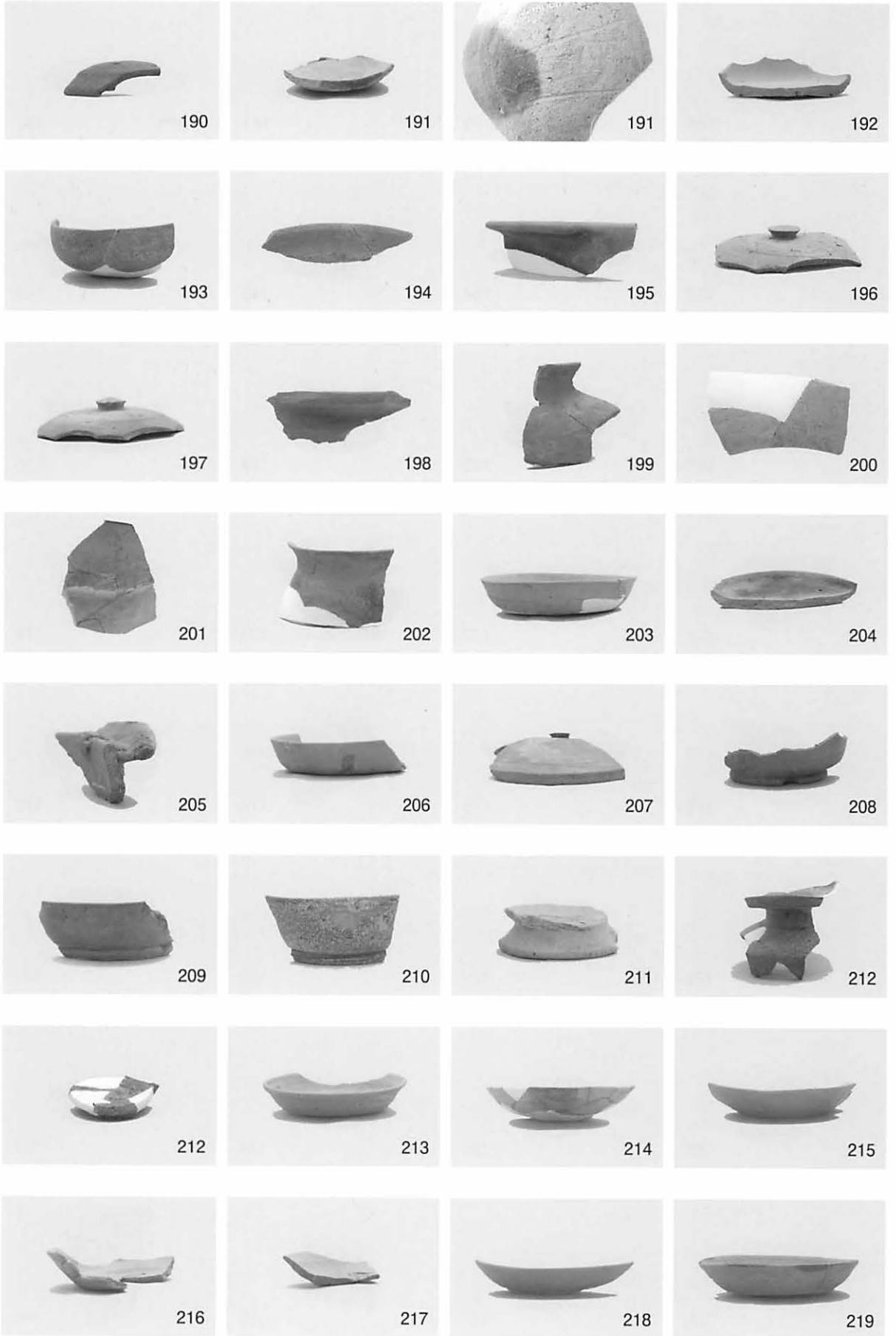


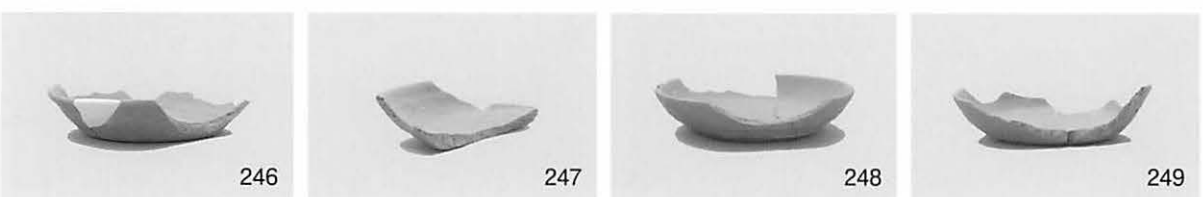
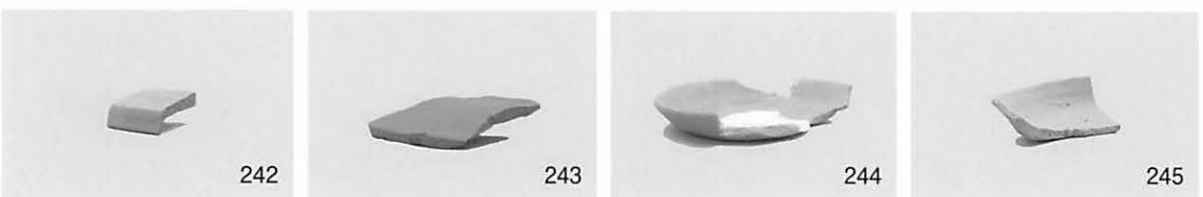
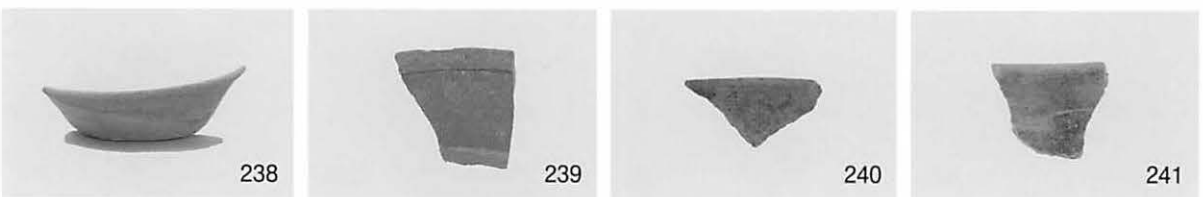
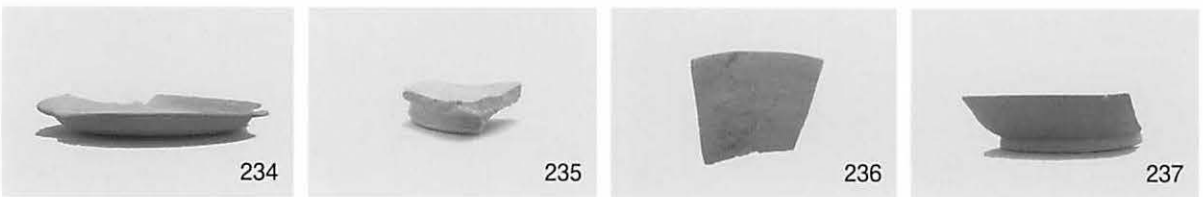
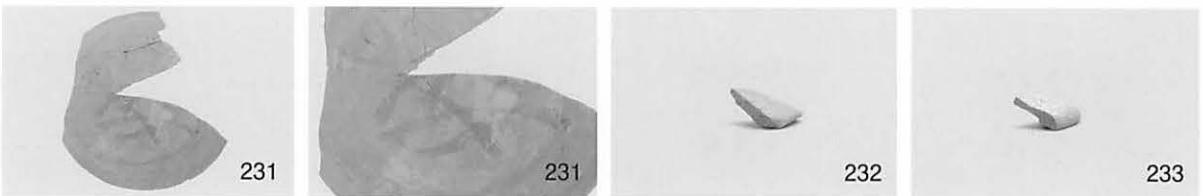
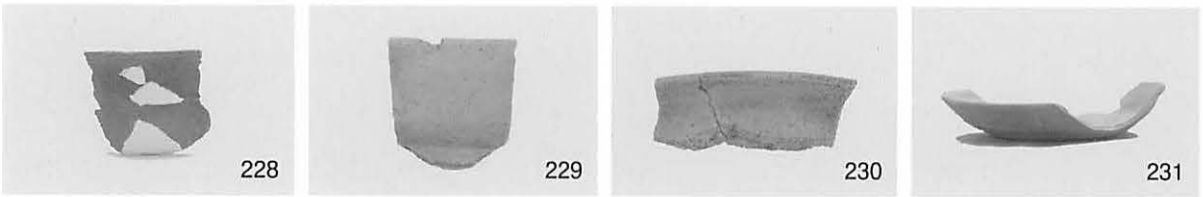
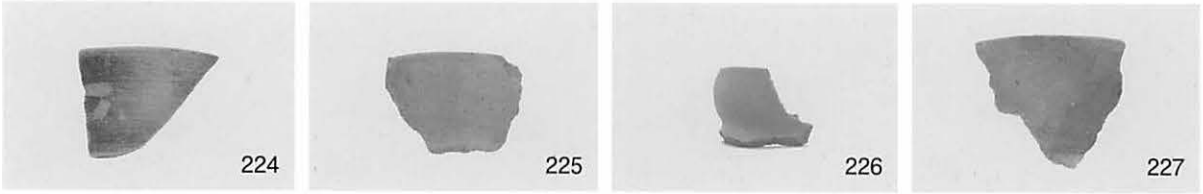
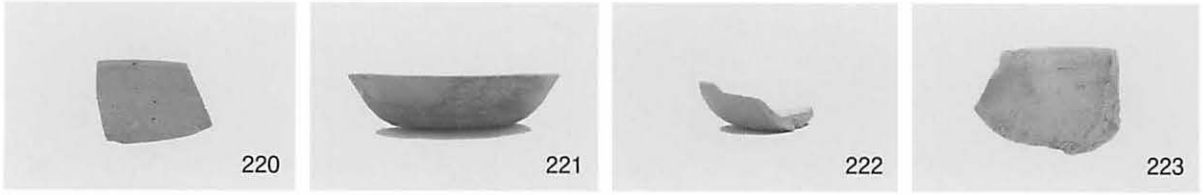


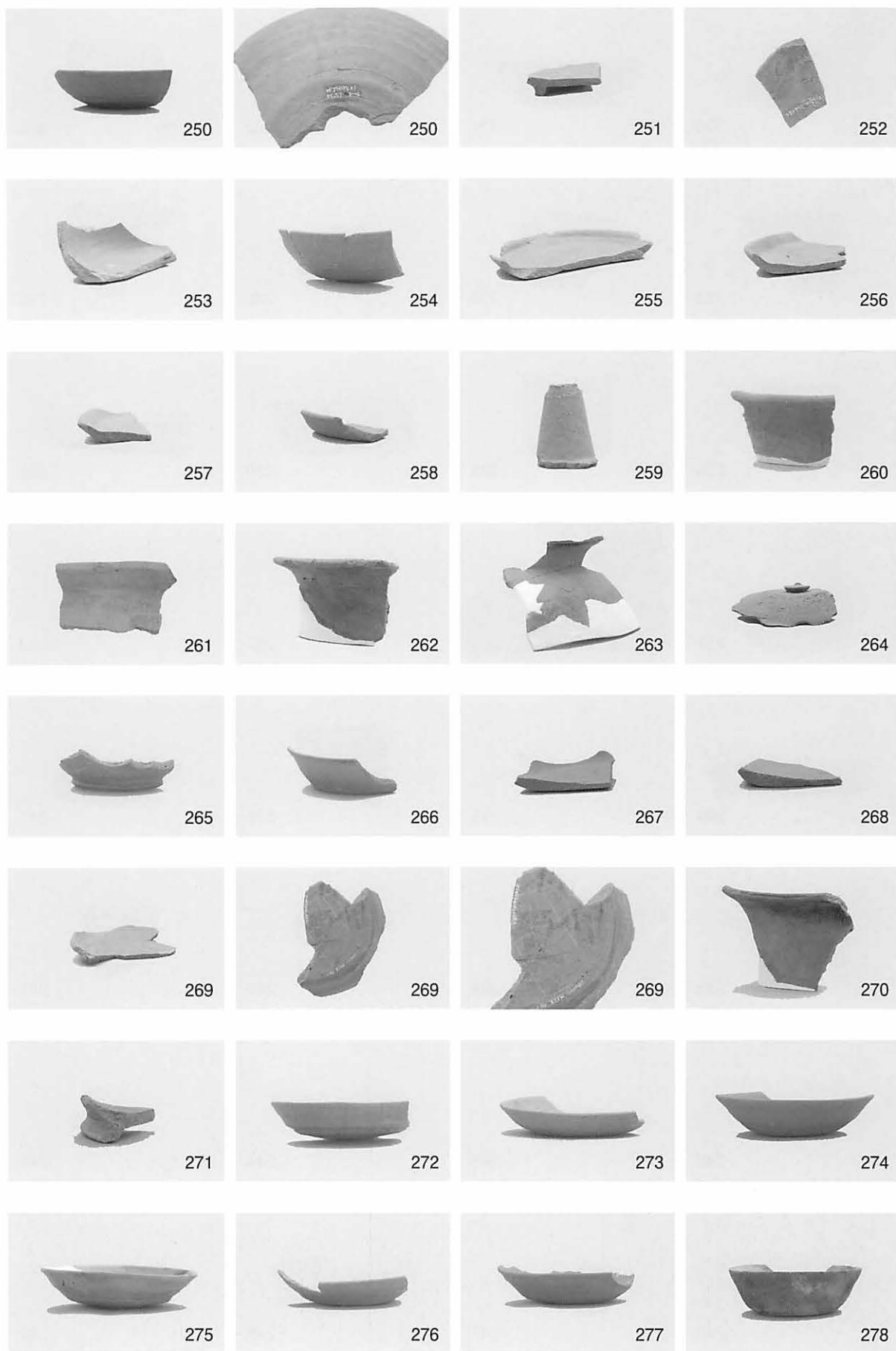


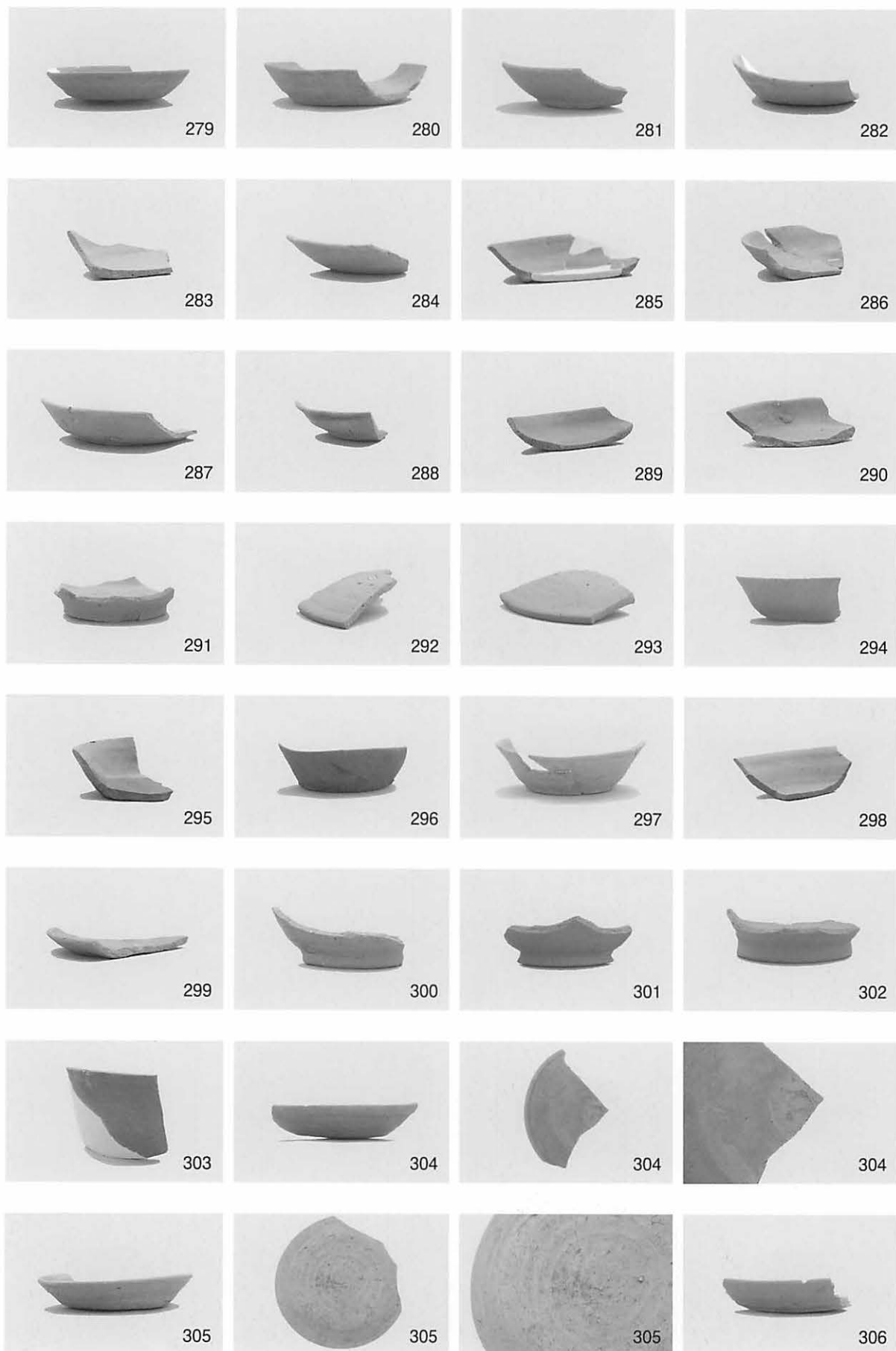


図版38 9901調査地点出土遺物7

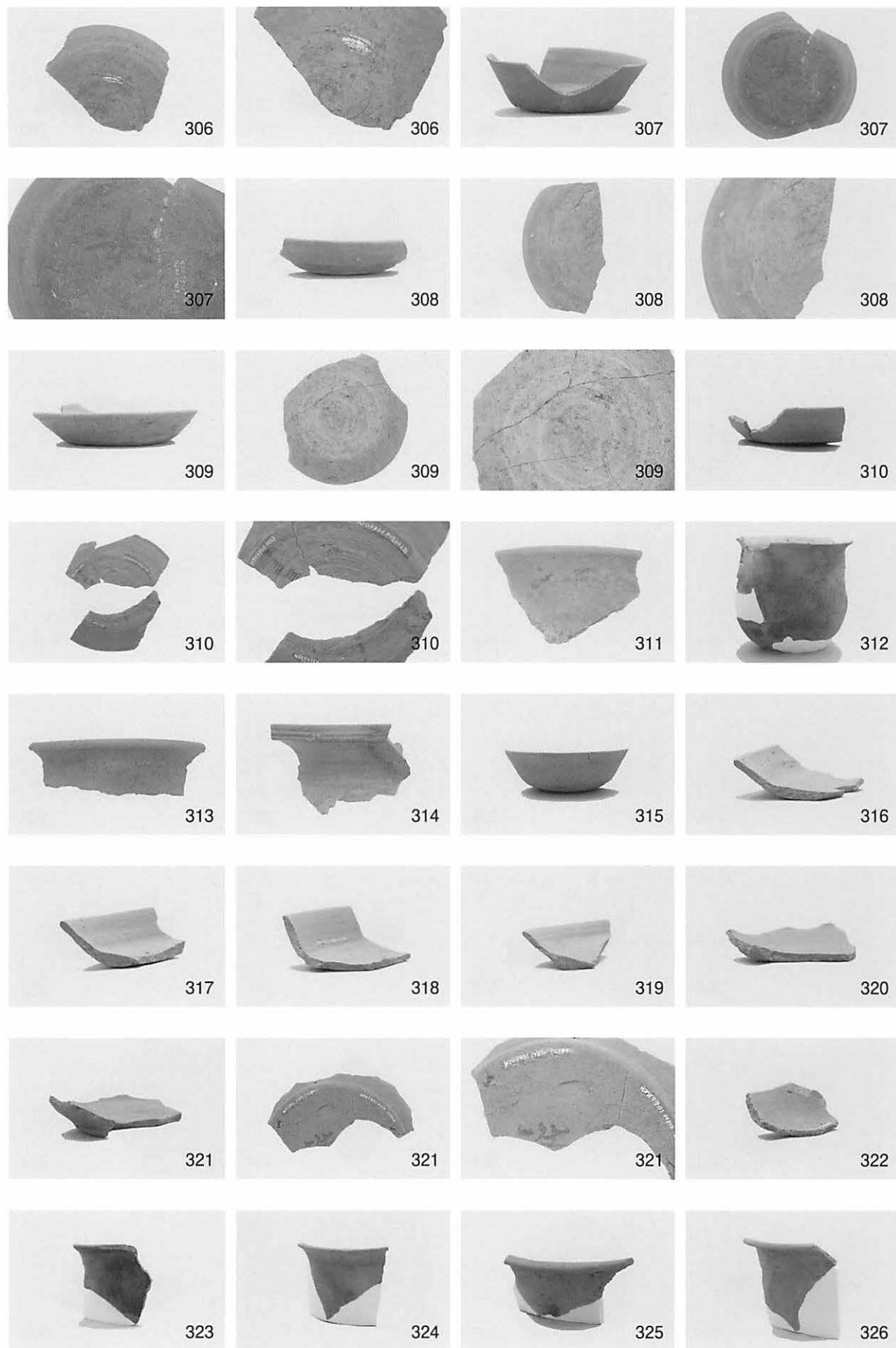




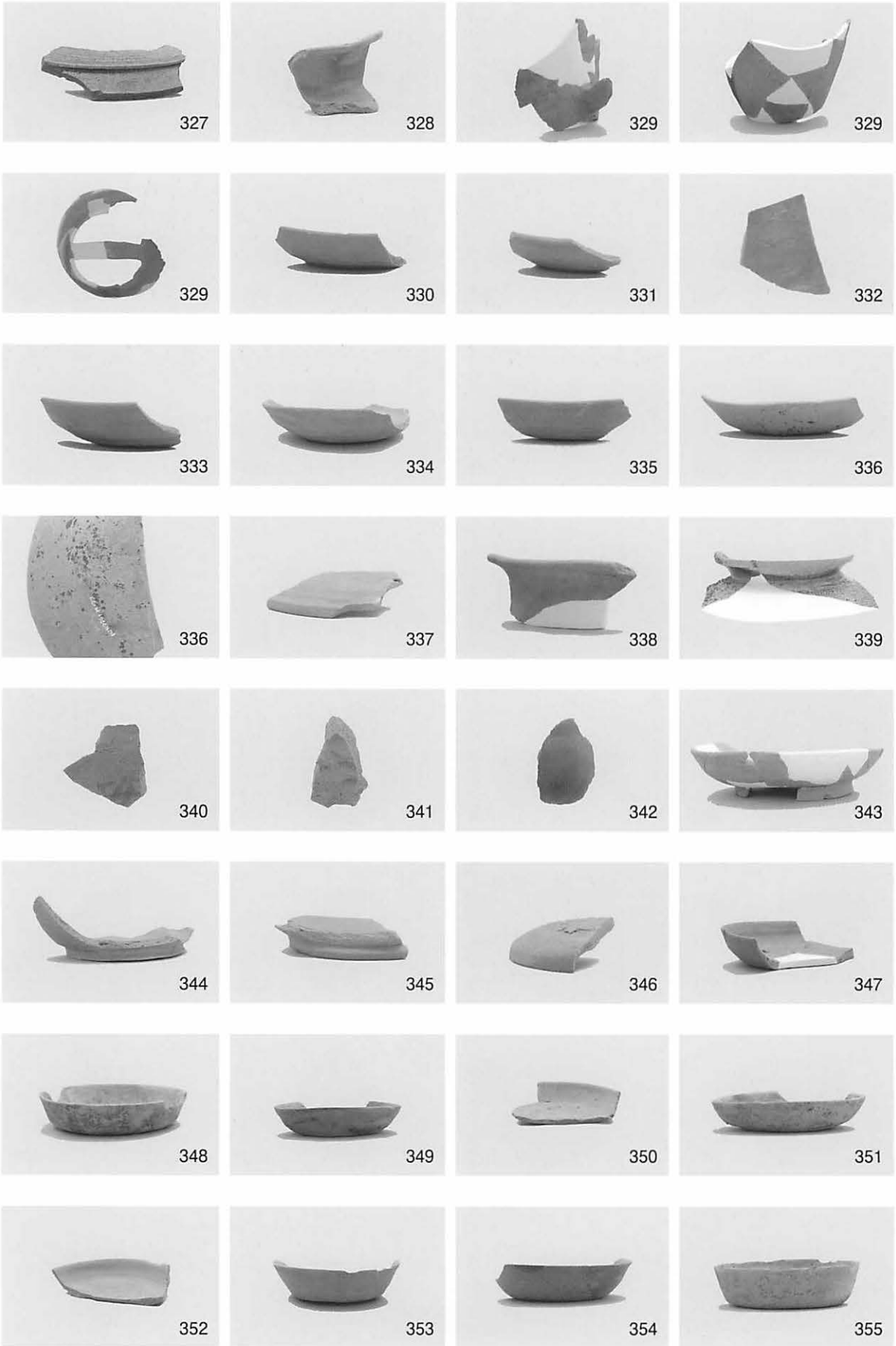




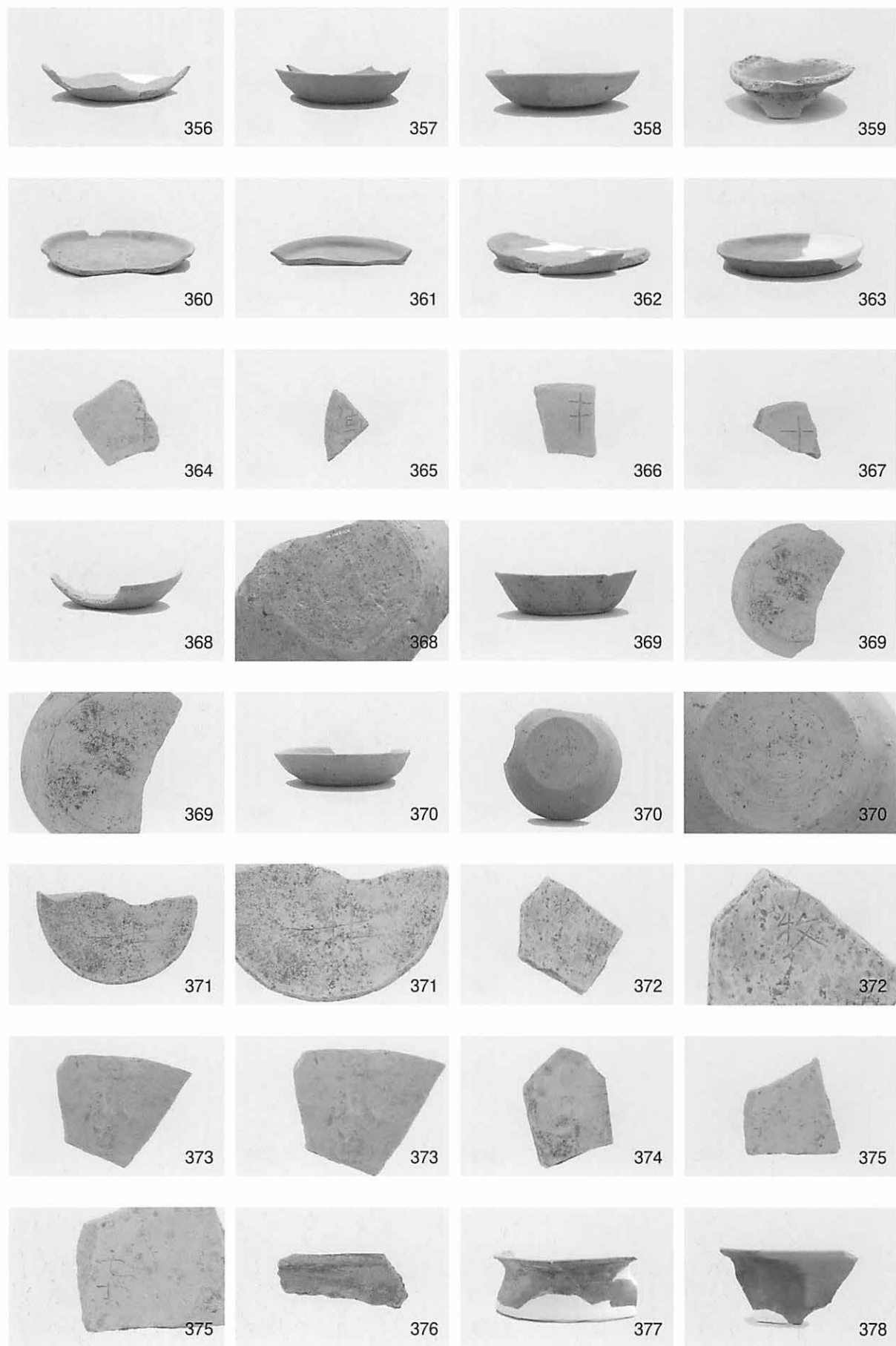
図版42 9901調査地点出土遺物11

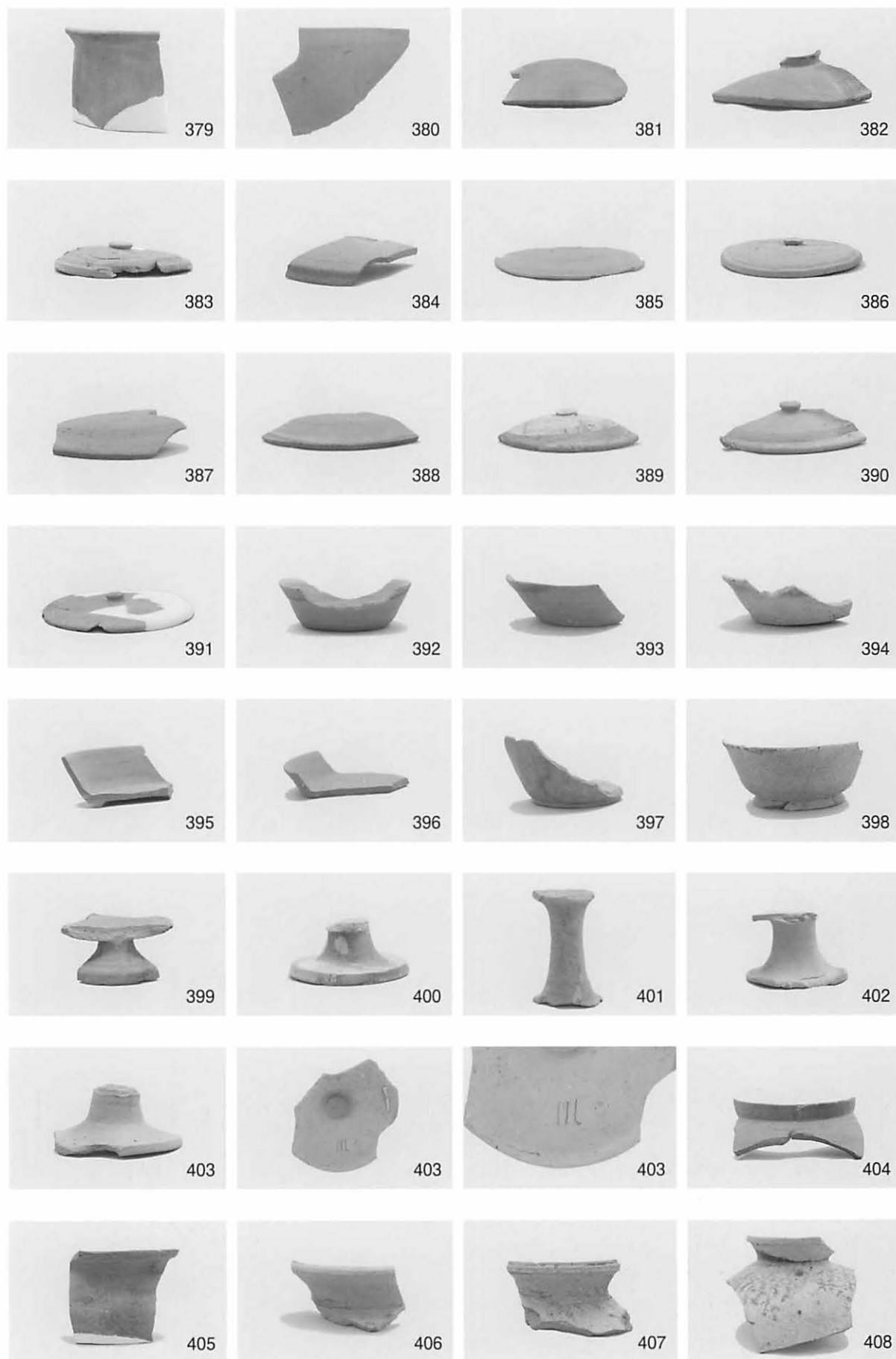






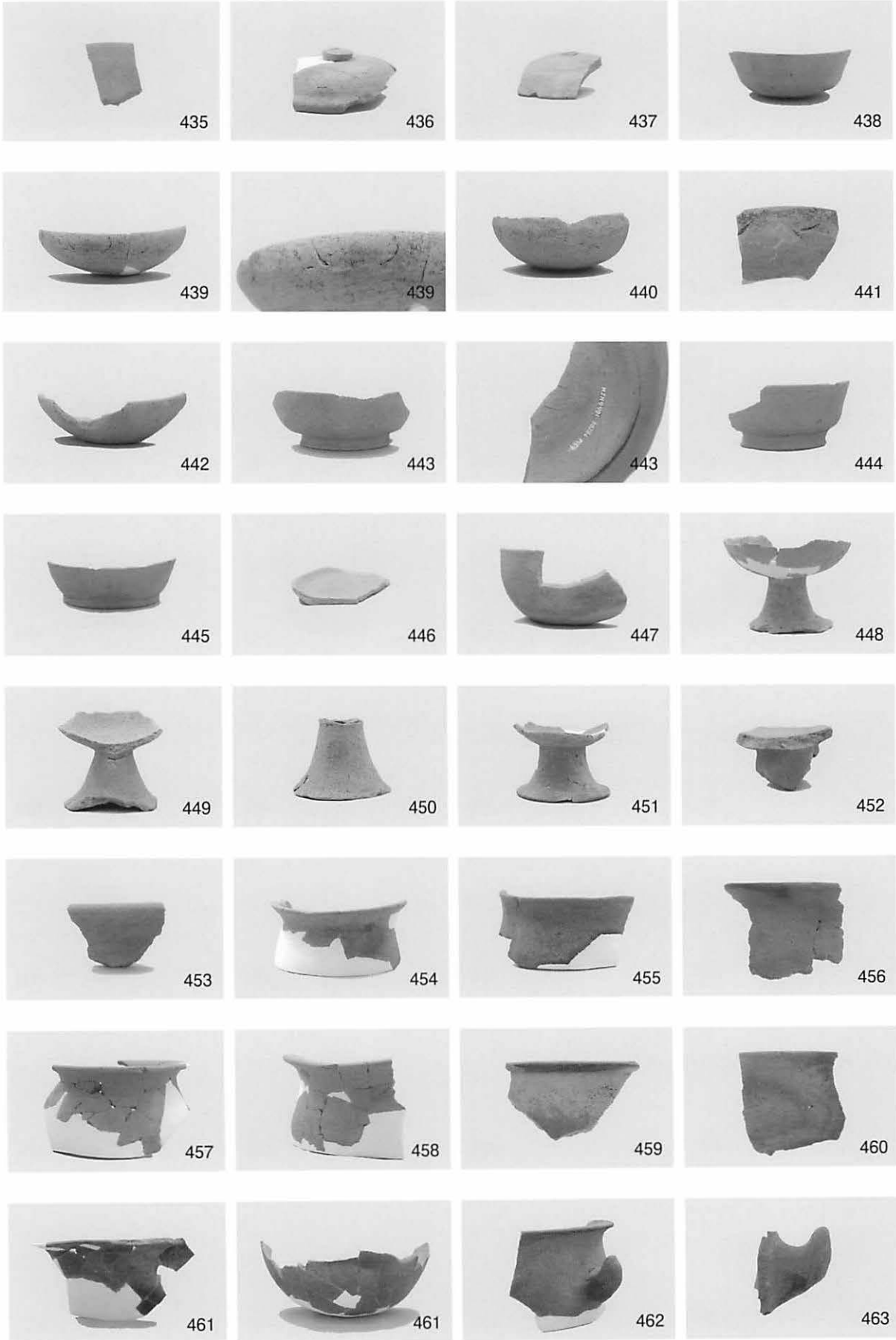
図版44 9901調査地点出土遺物13





図版46 9901調査地点出土遺物15





図版48 9901調査地点出土遺物17





494



495



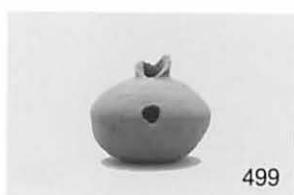
496



497



498



499



500



501



502



502



503



504



505



506



507



508



509



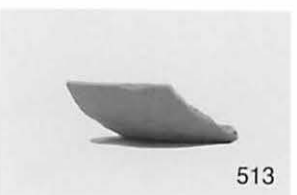
510



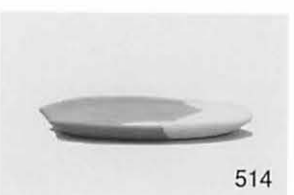
511



512



513



514



515



516



517



518



519



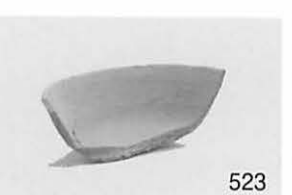
520



521



522

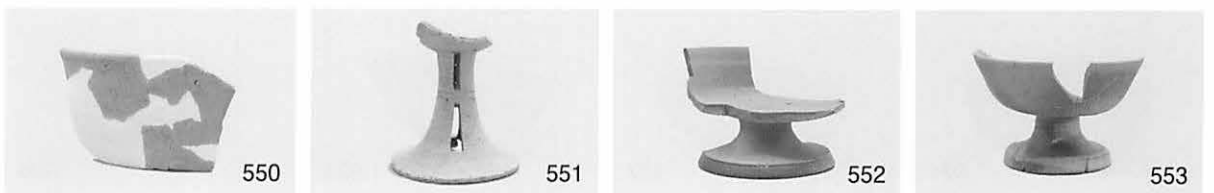
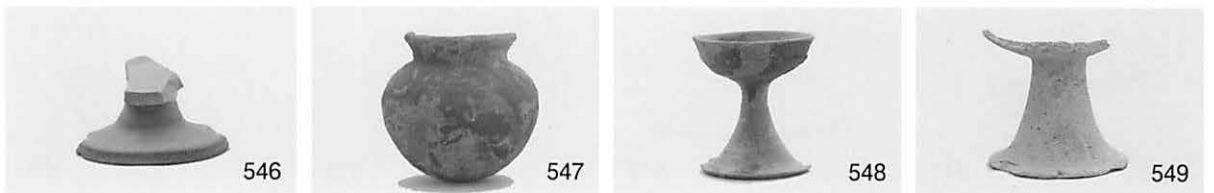
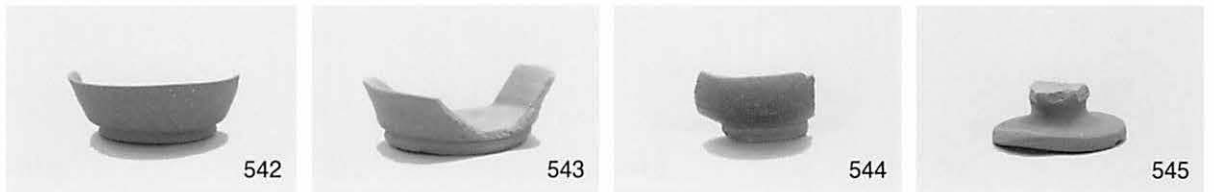
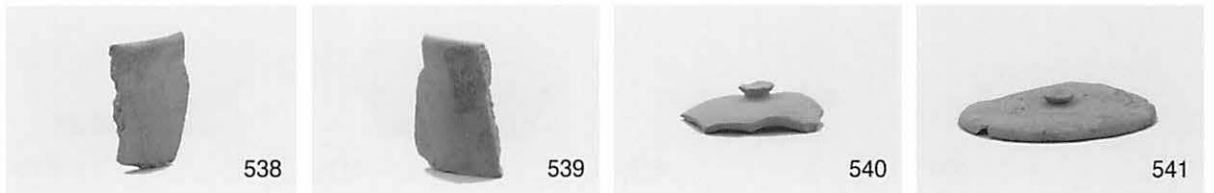
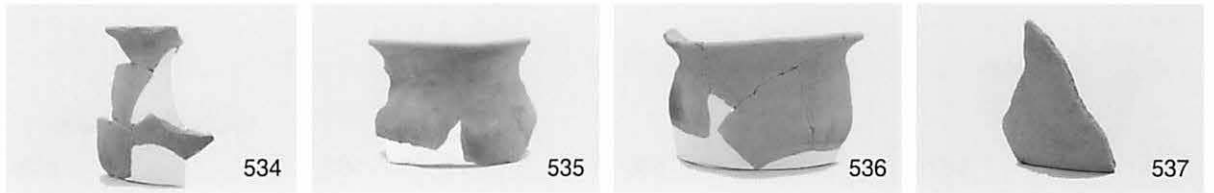
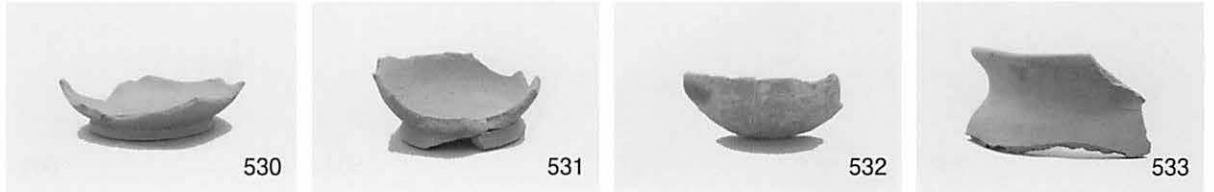
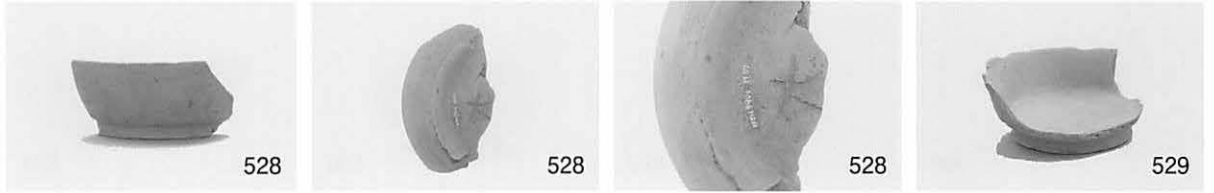
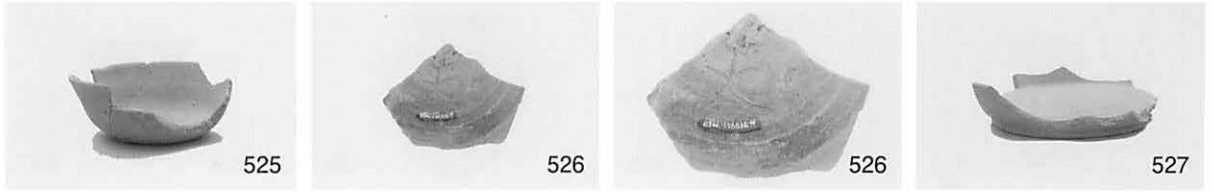


523

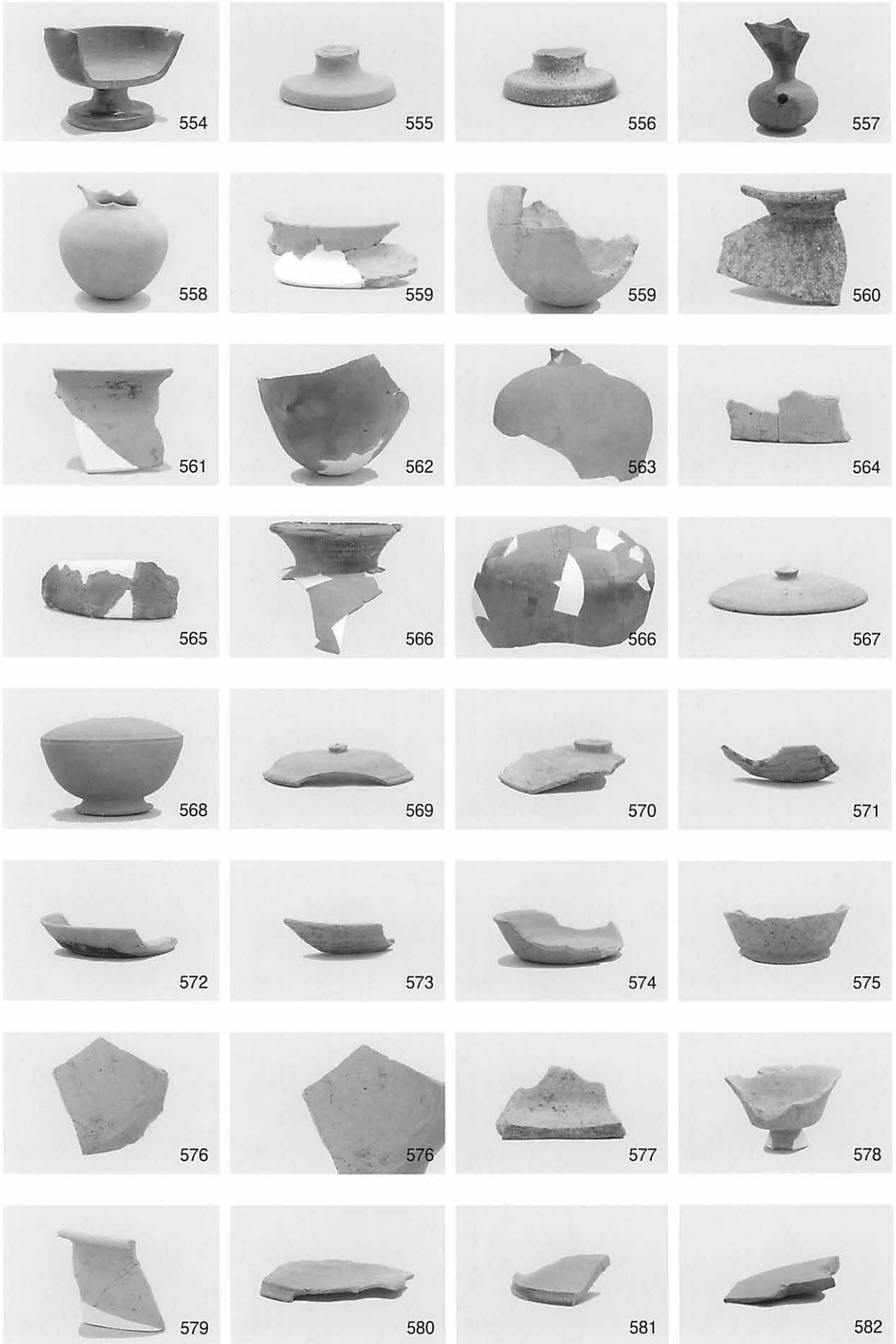


524

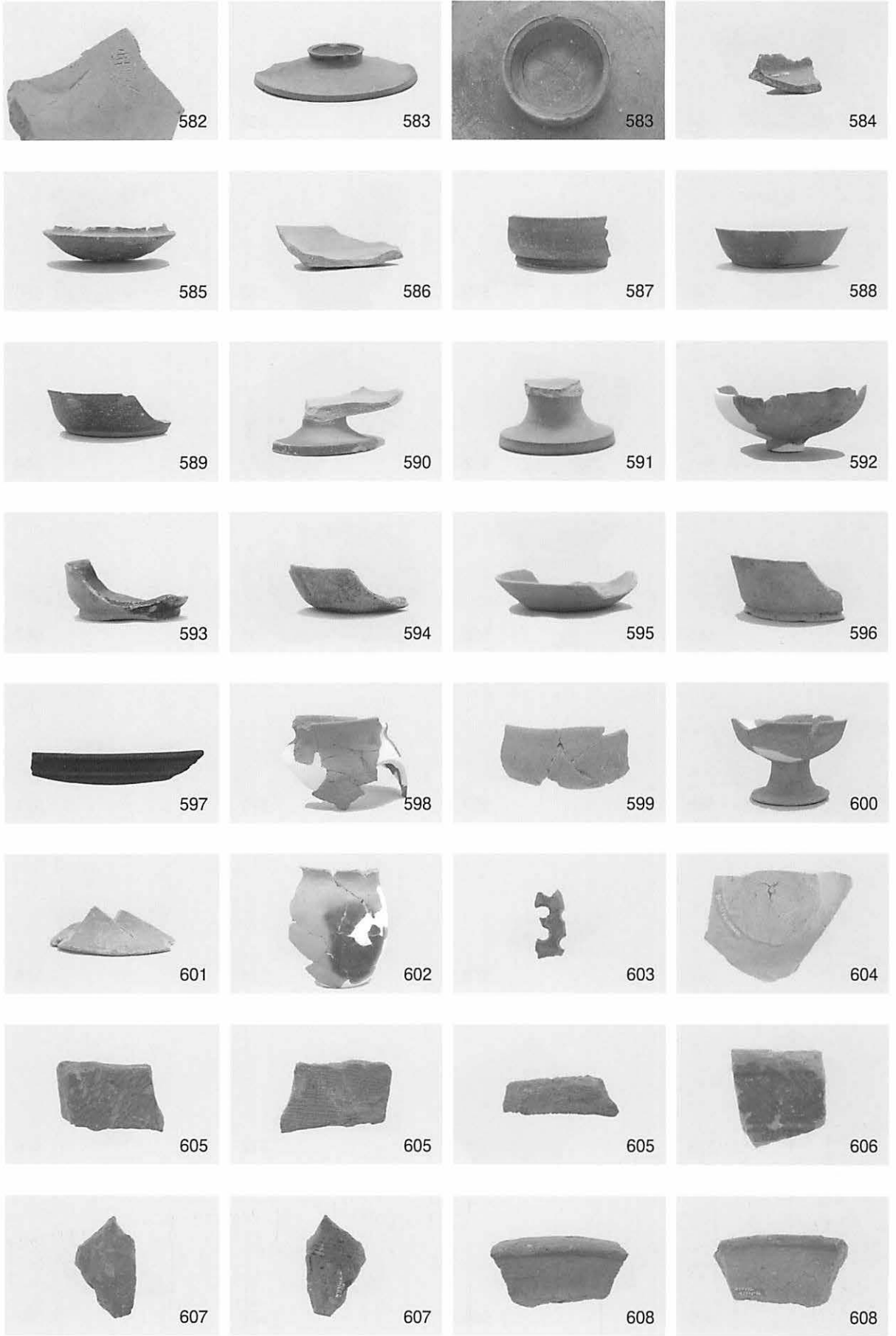
図版50 9901調査地点出土遺物19

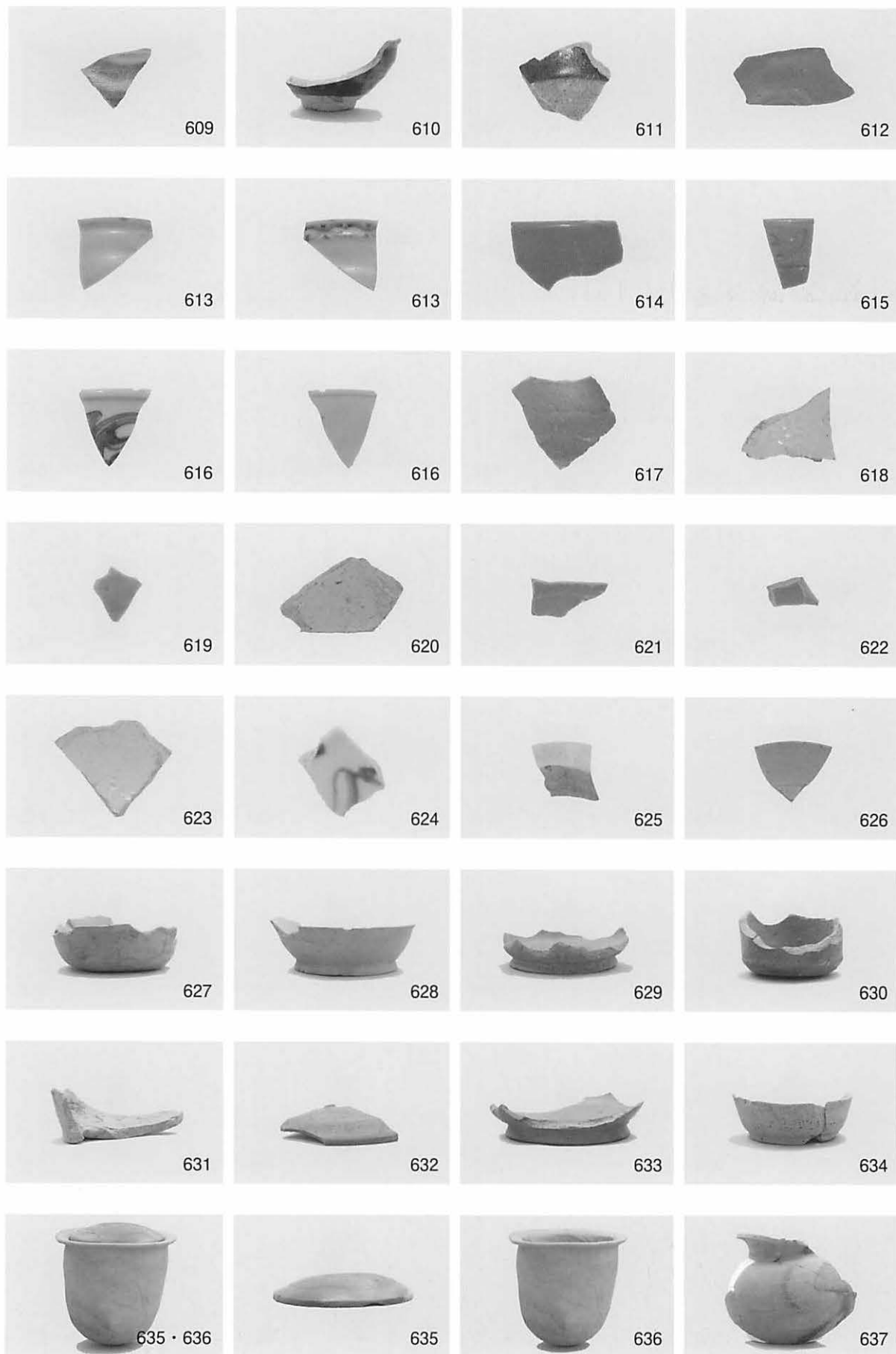


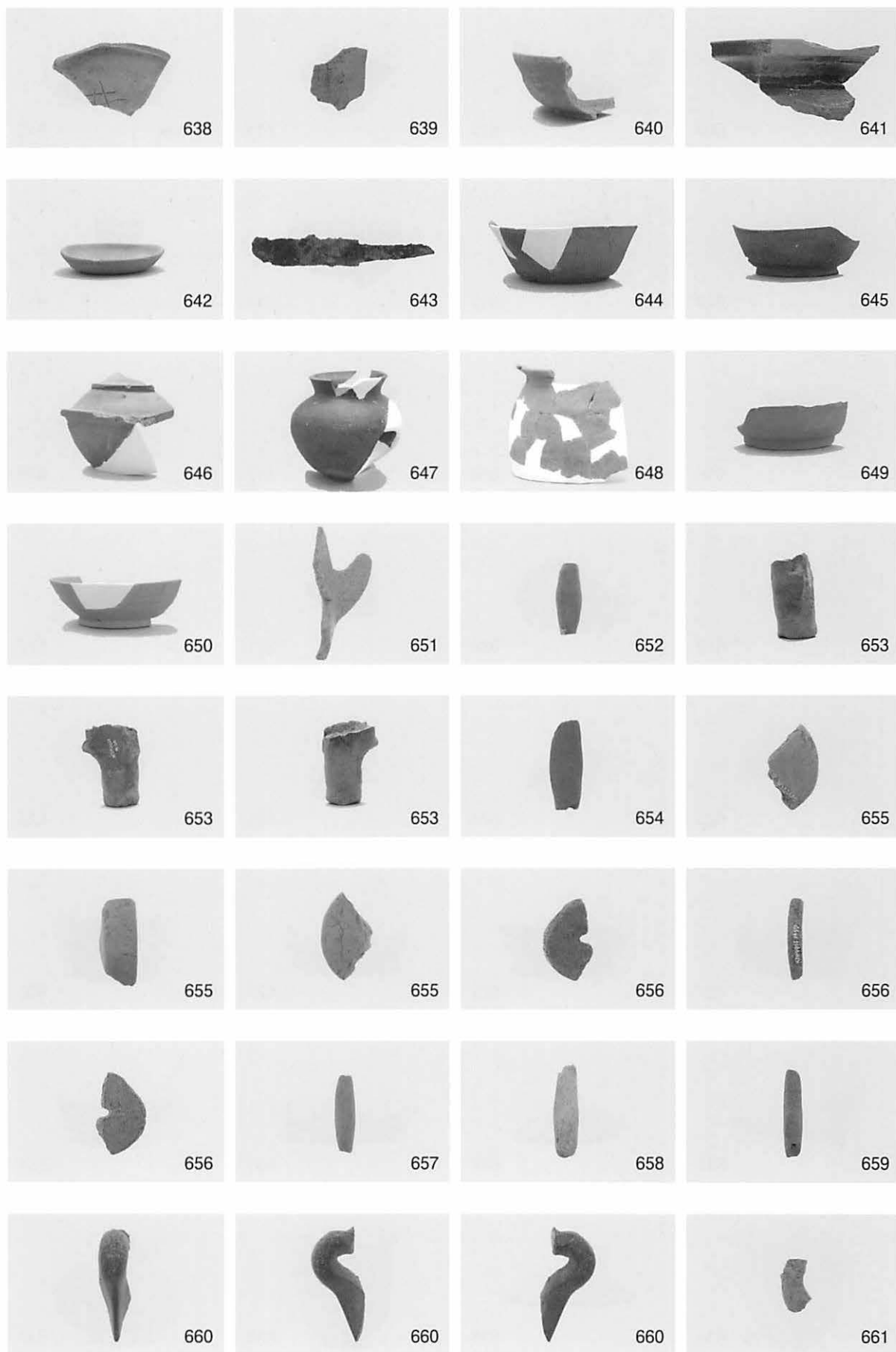


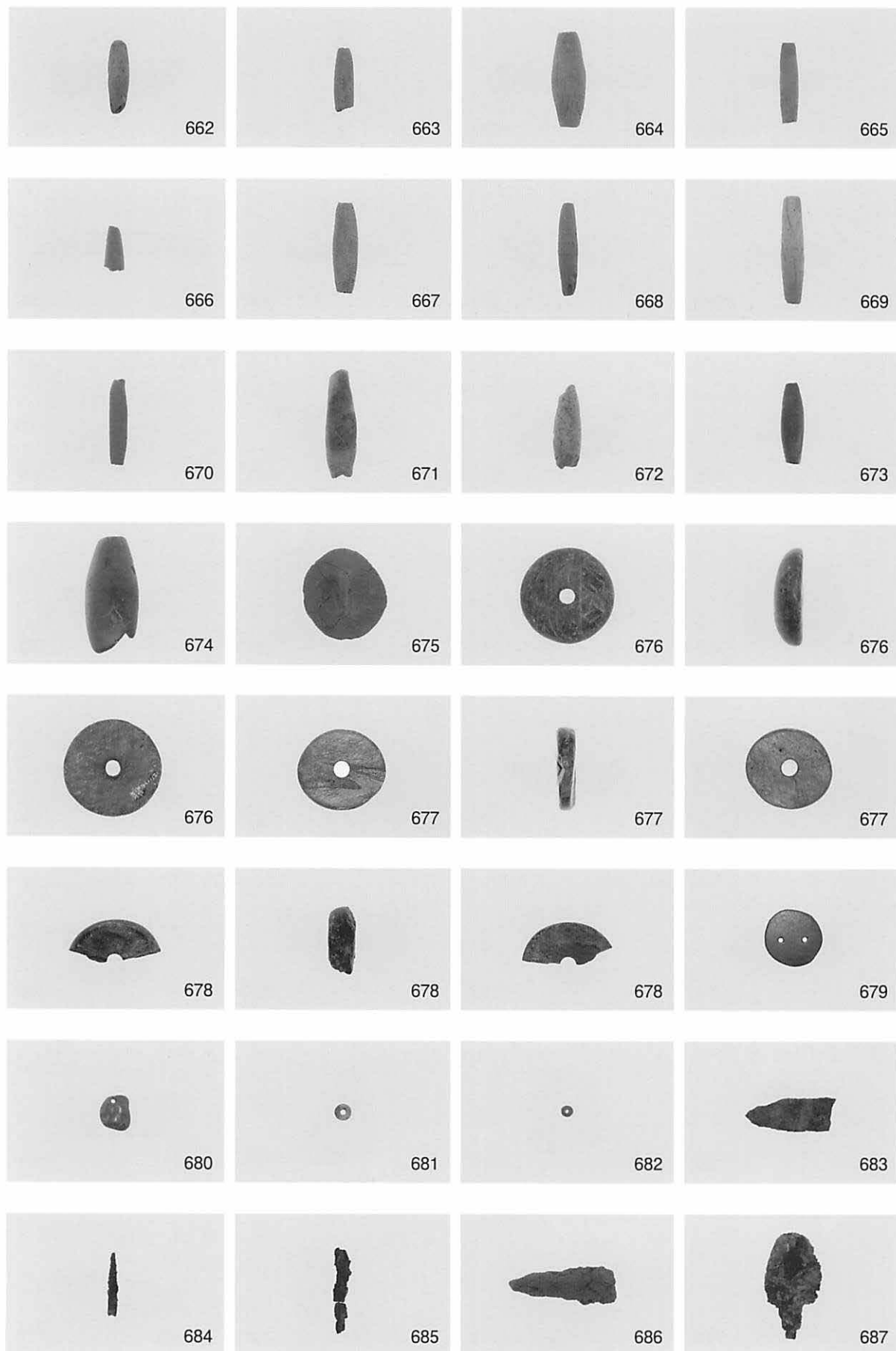


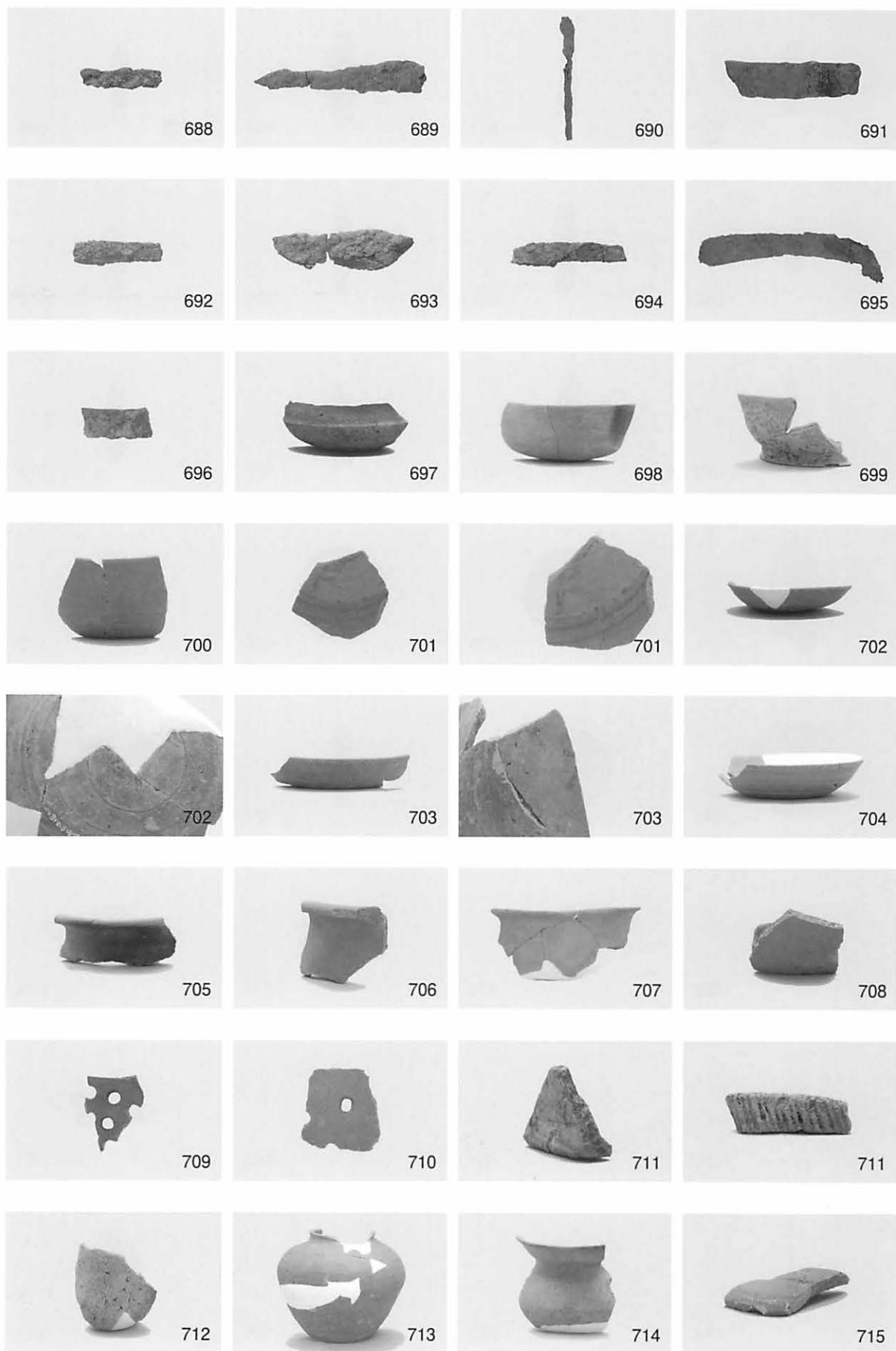
図版52 9901調査地点出土遺物21

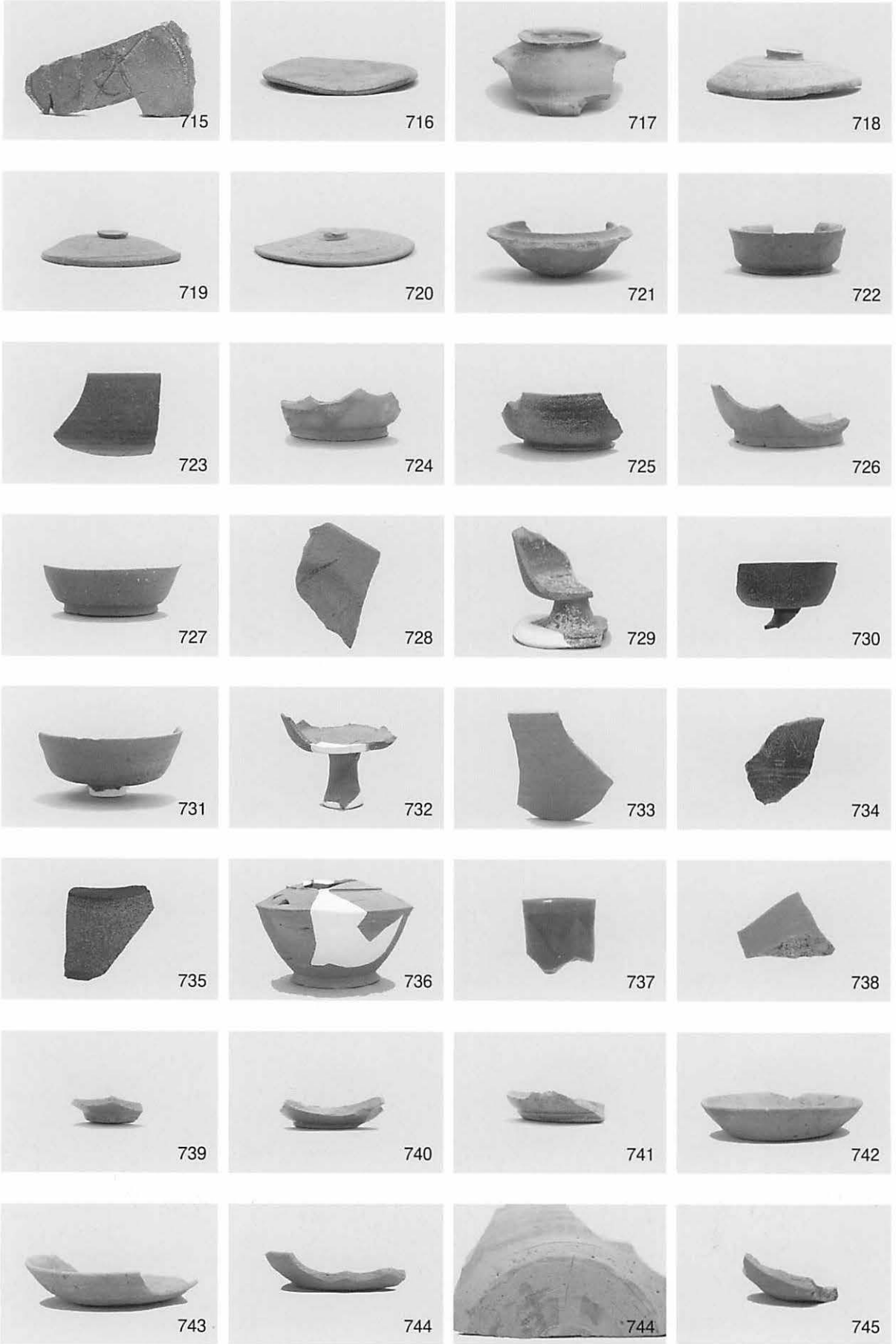


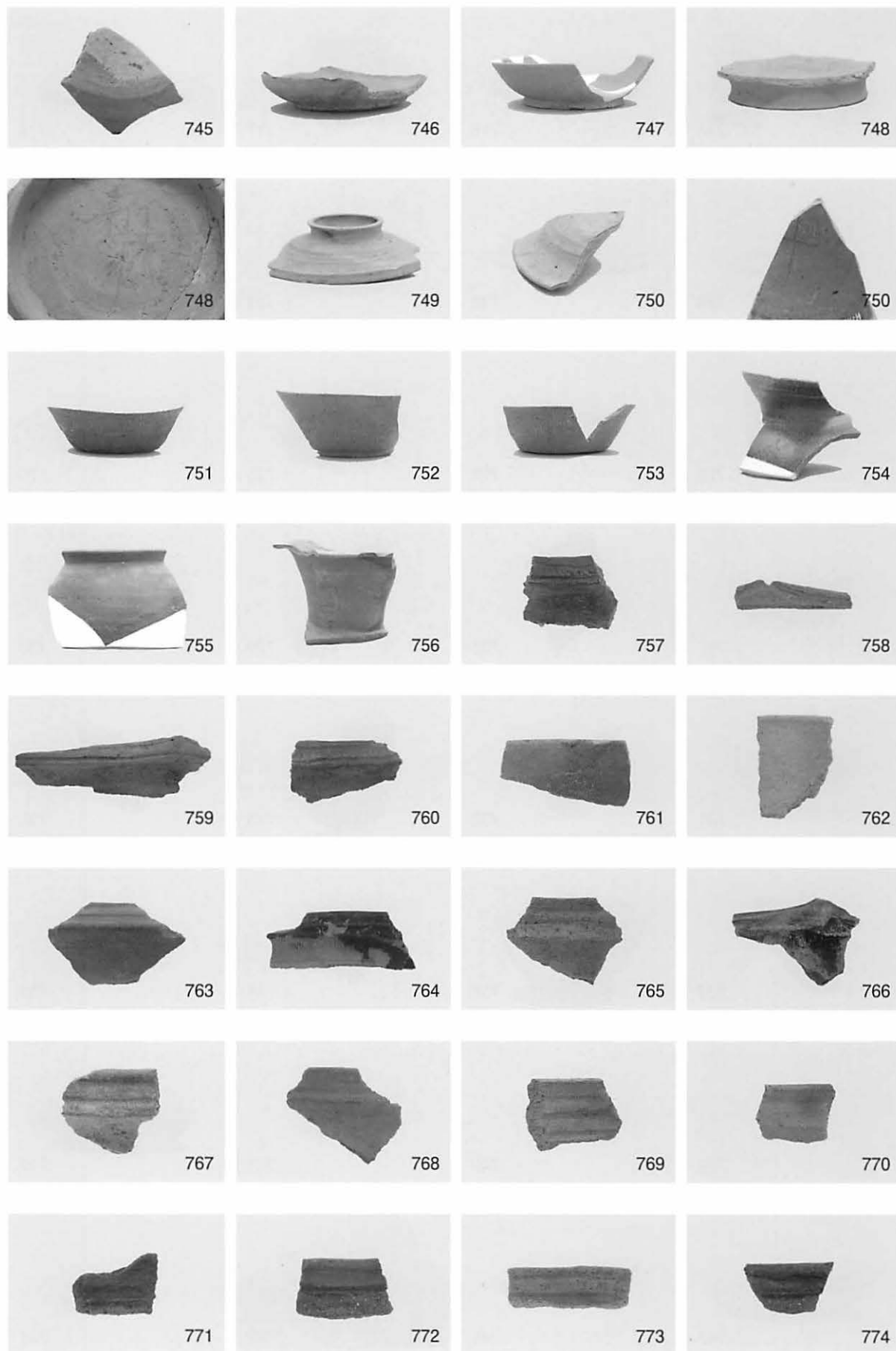




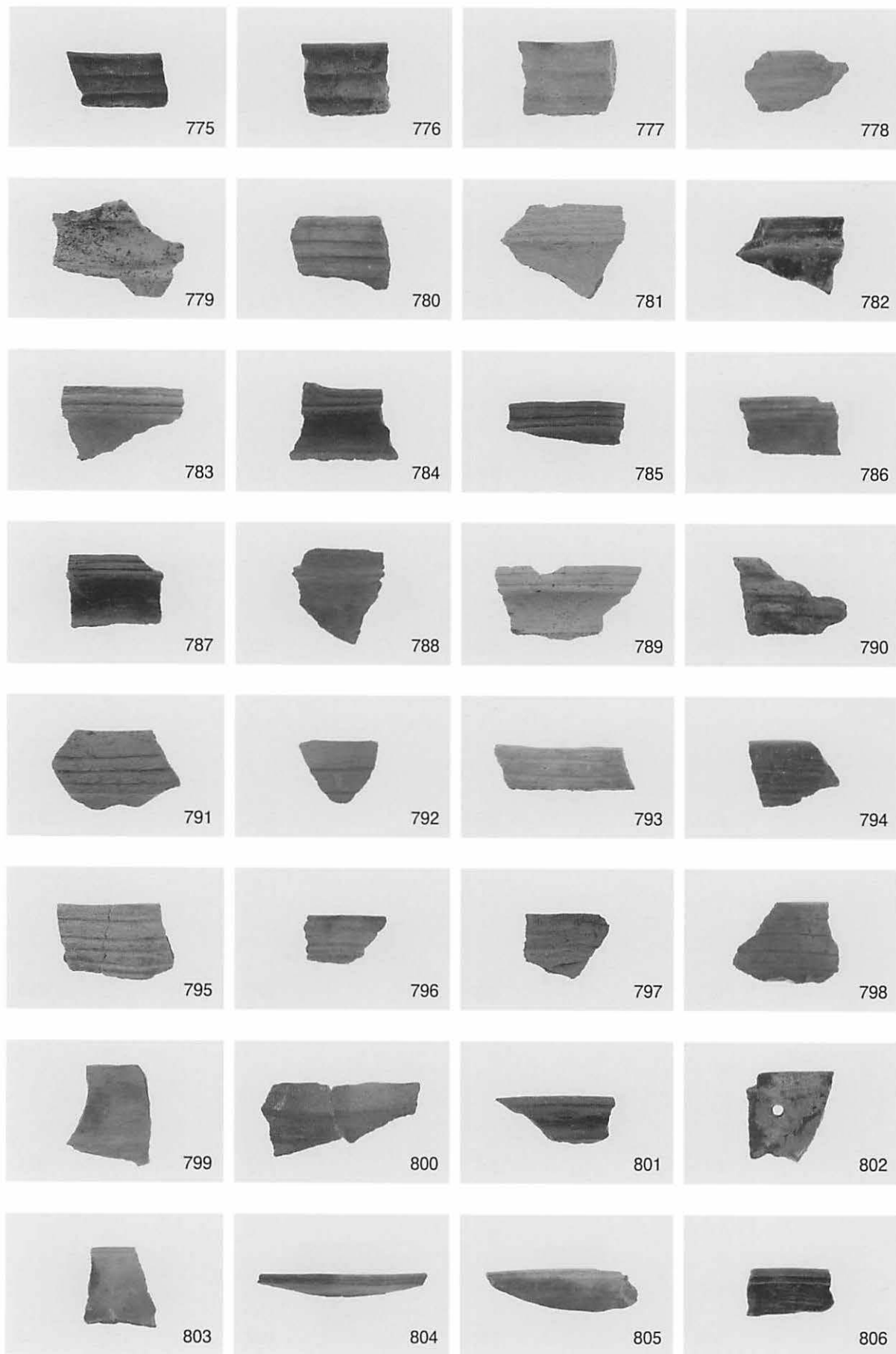


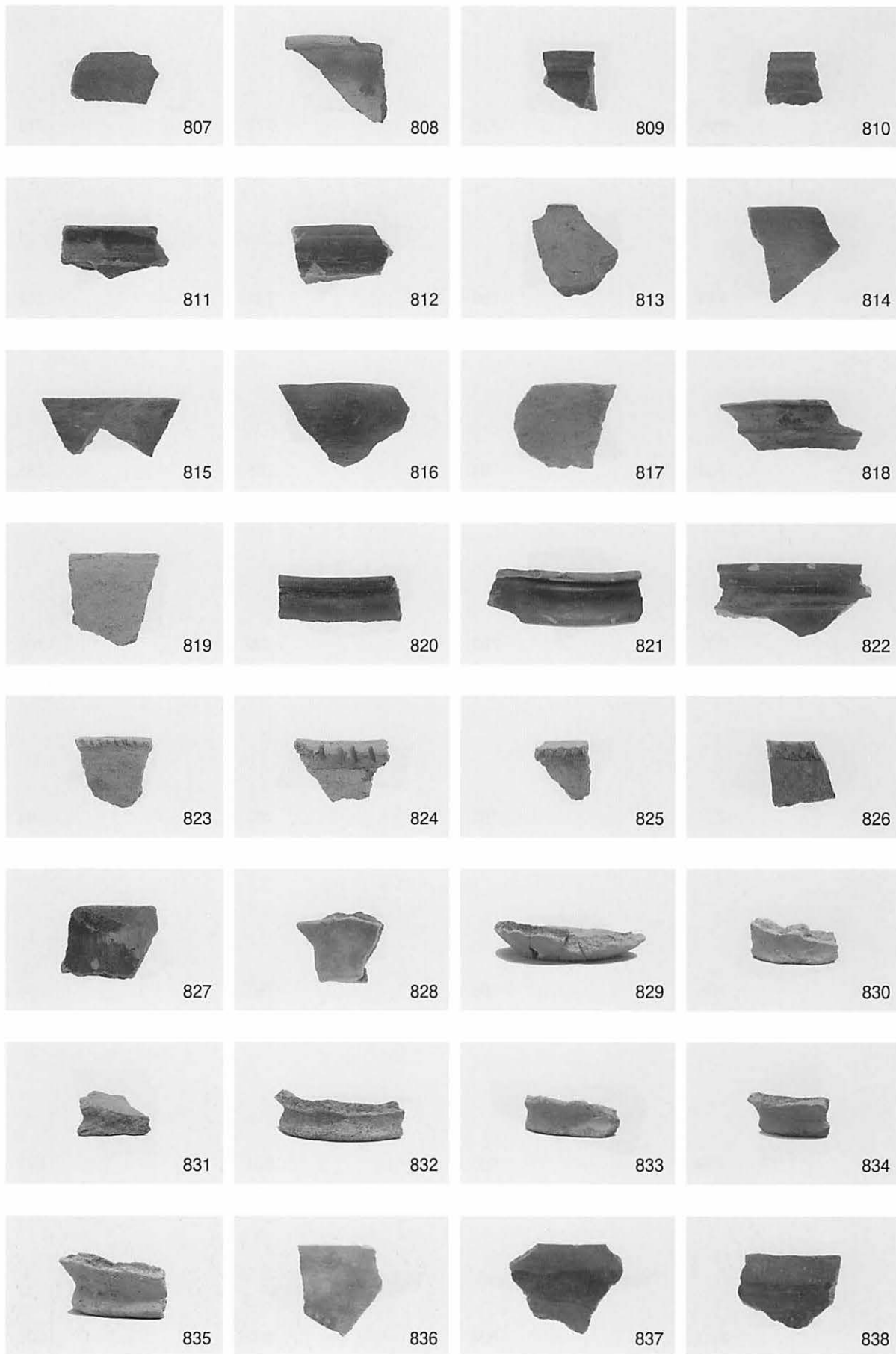


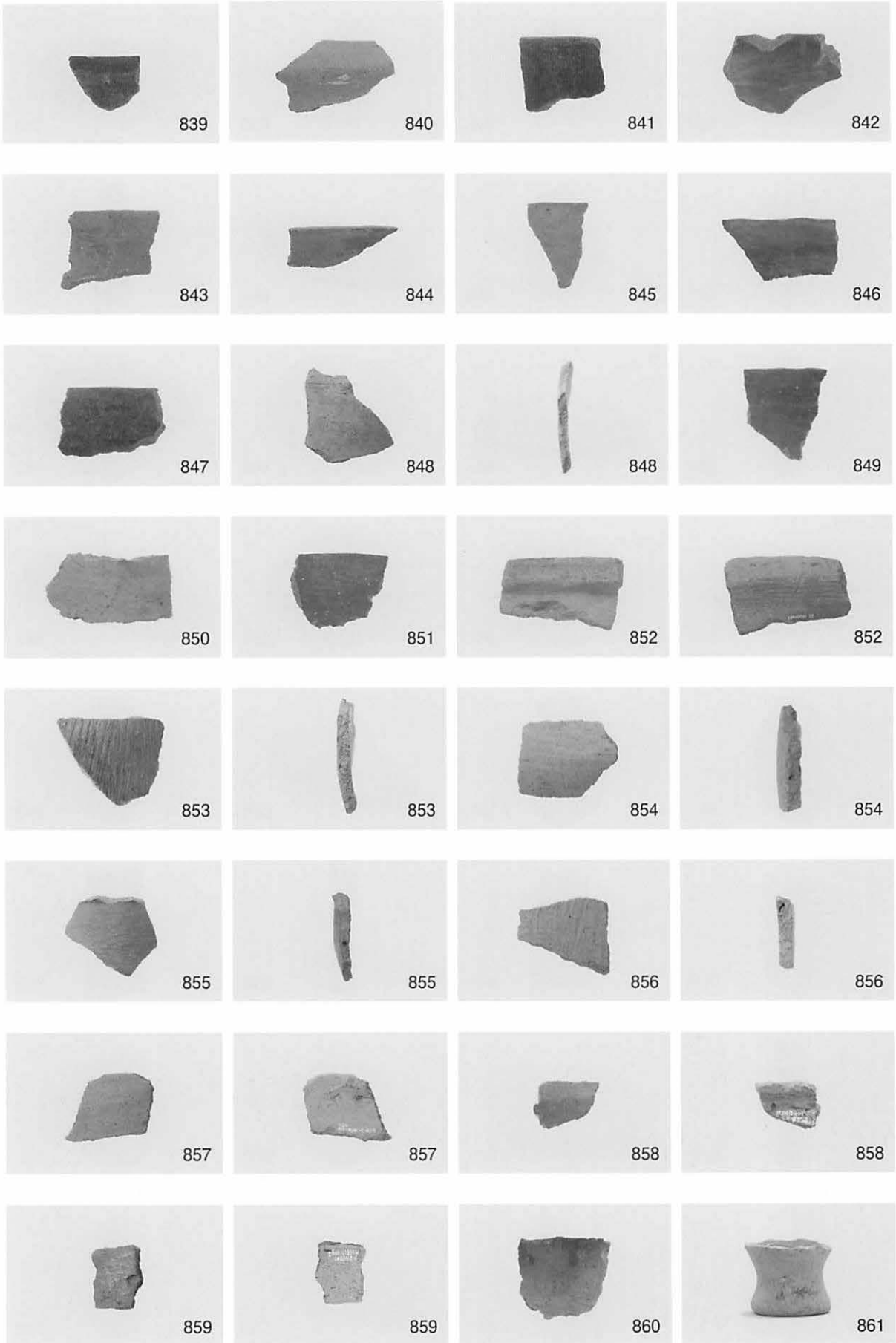


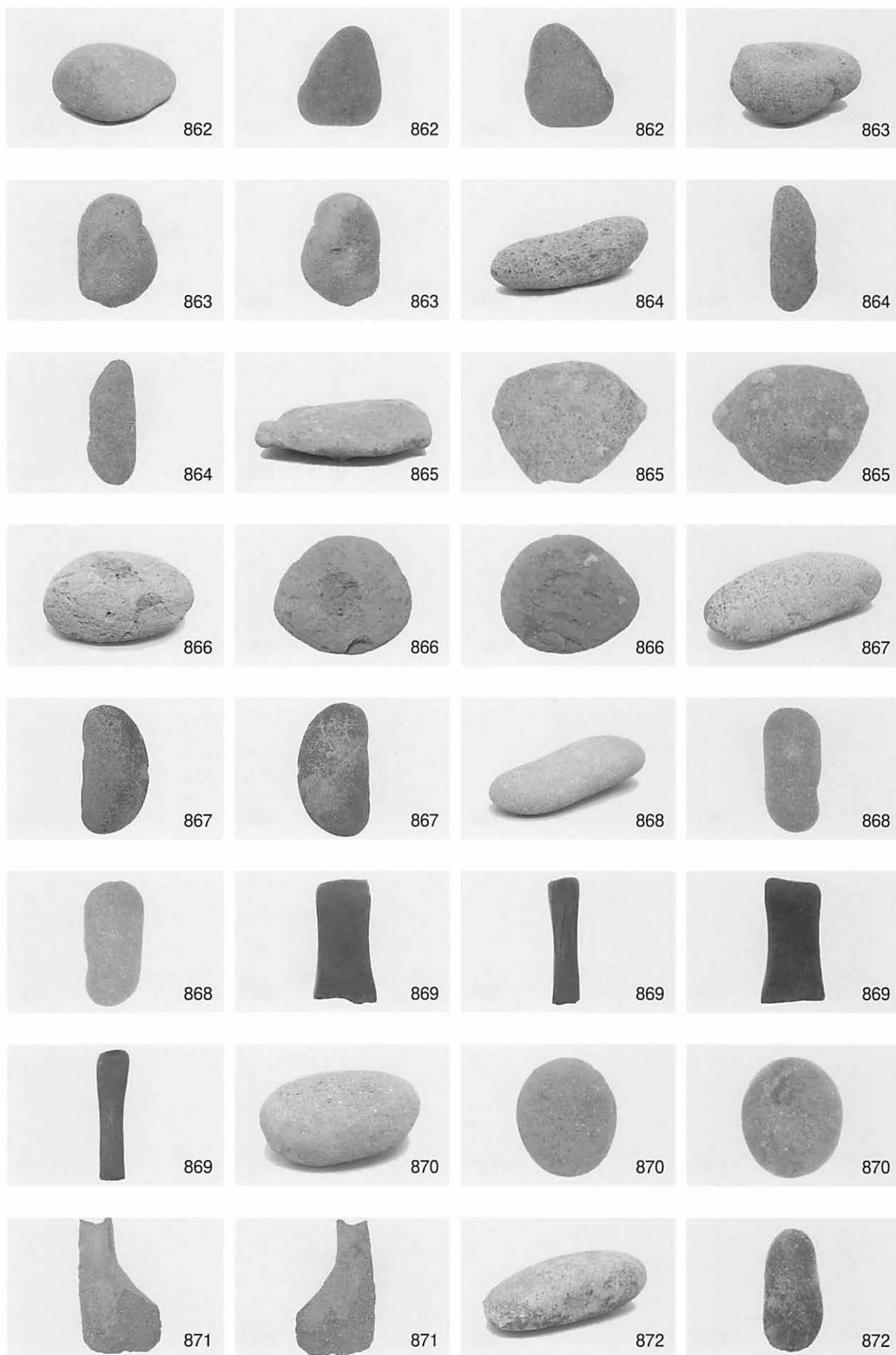


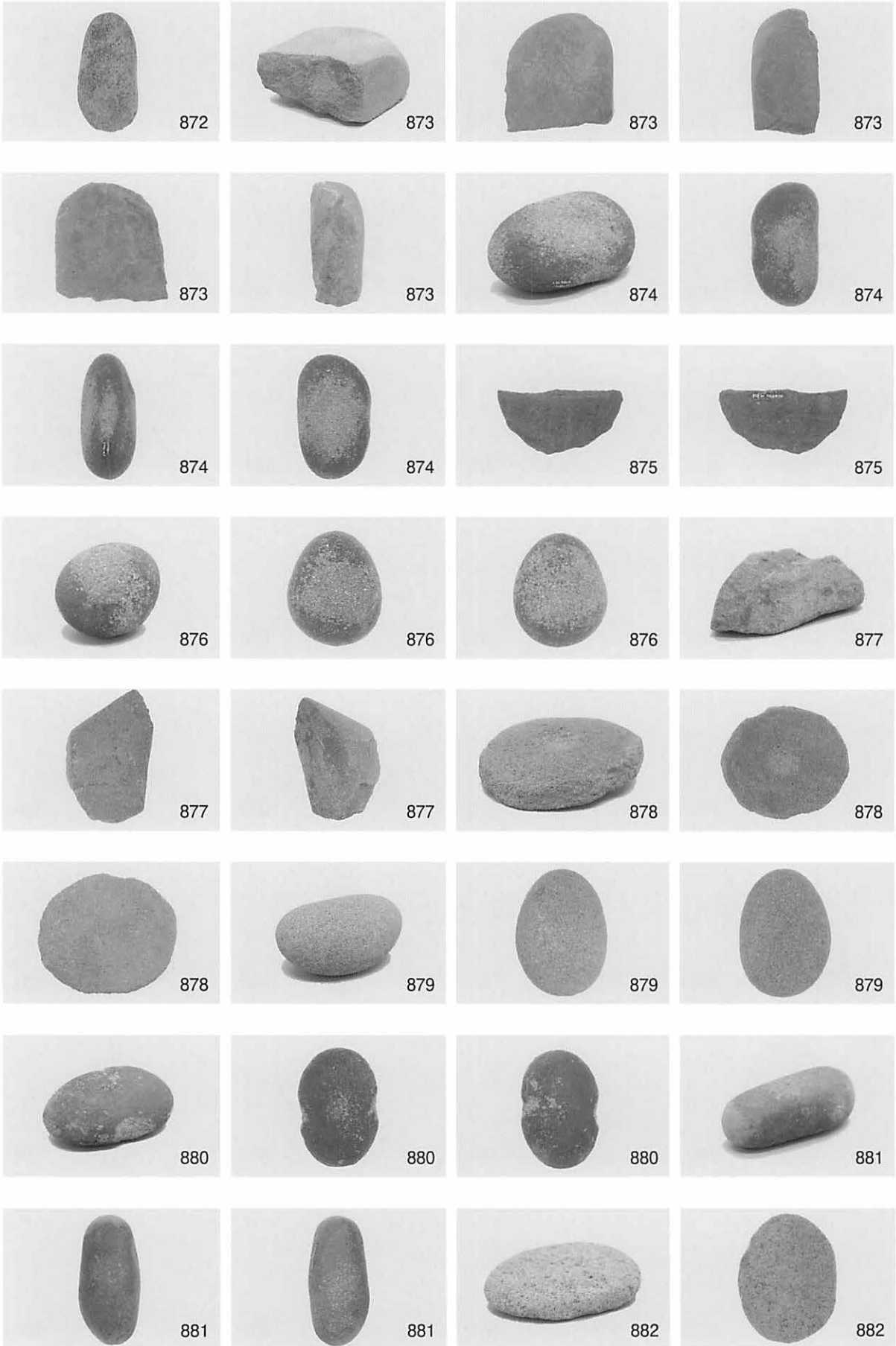


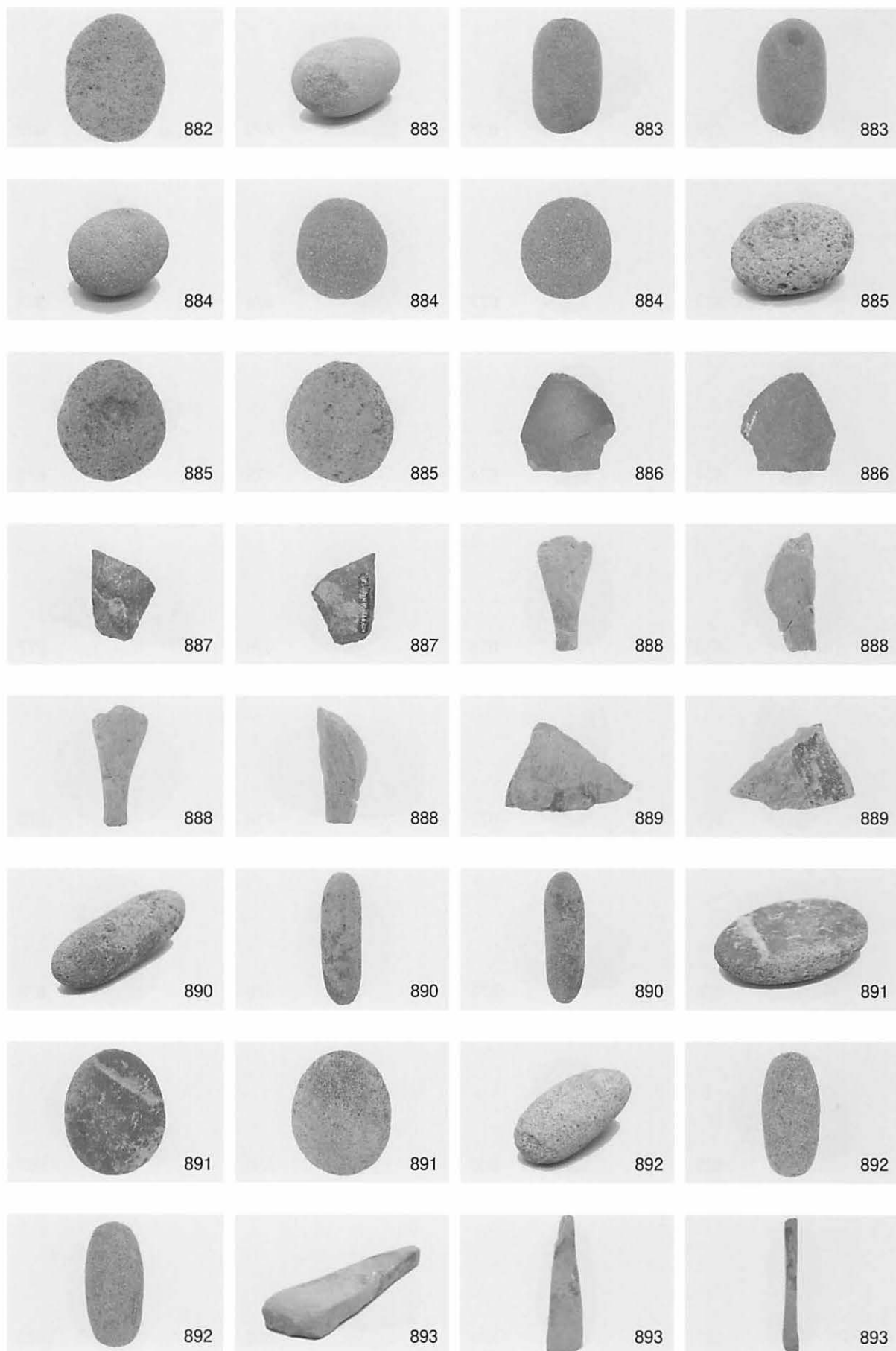


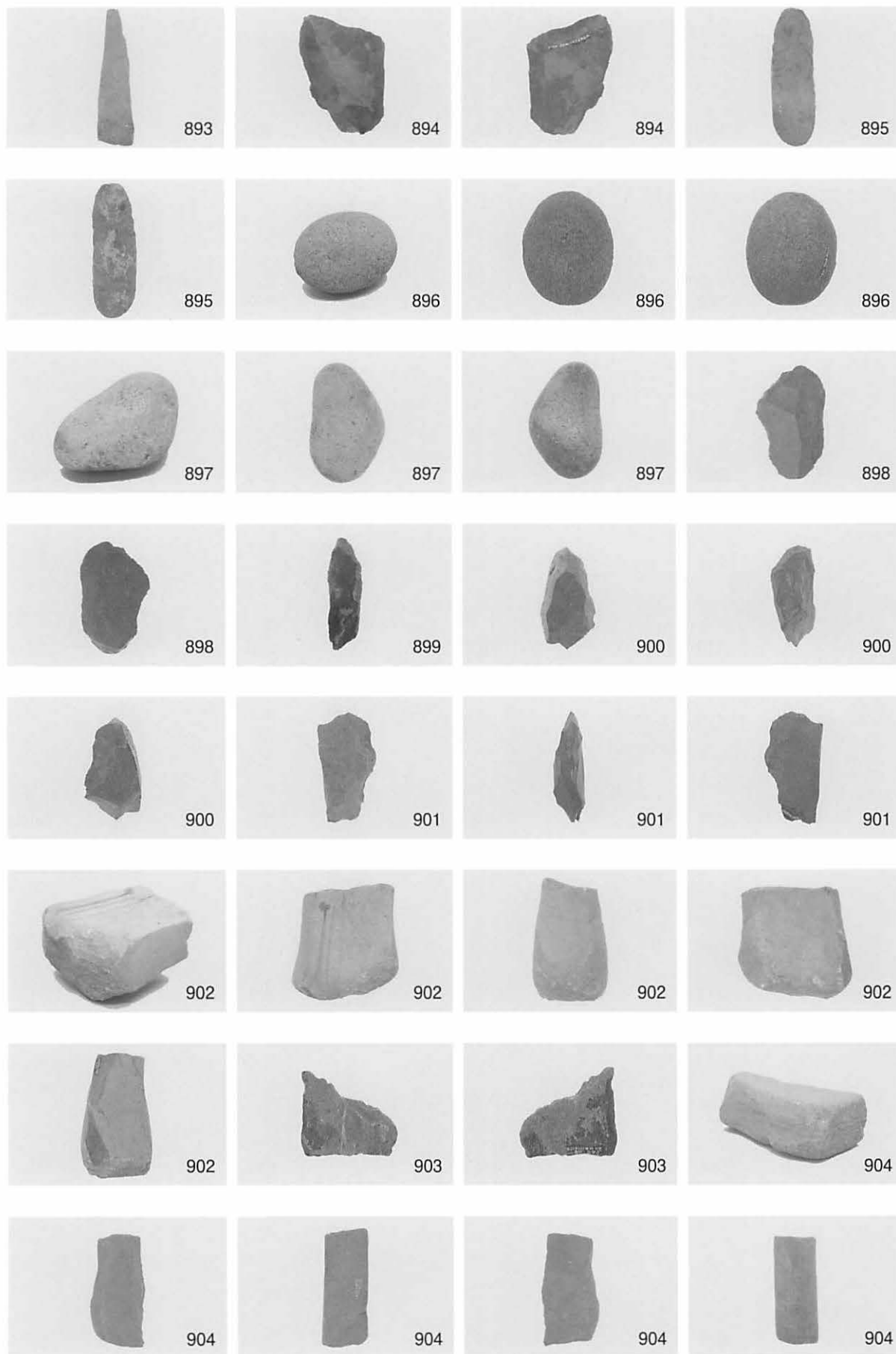




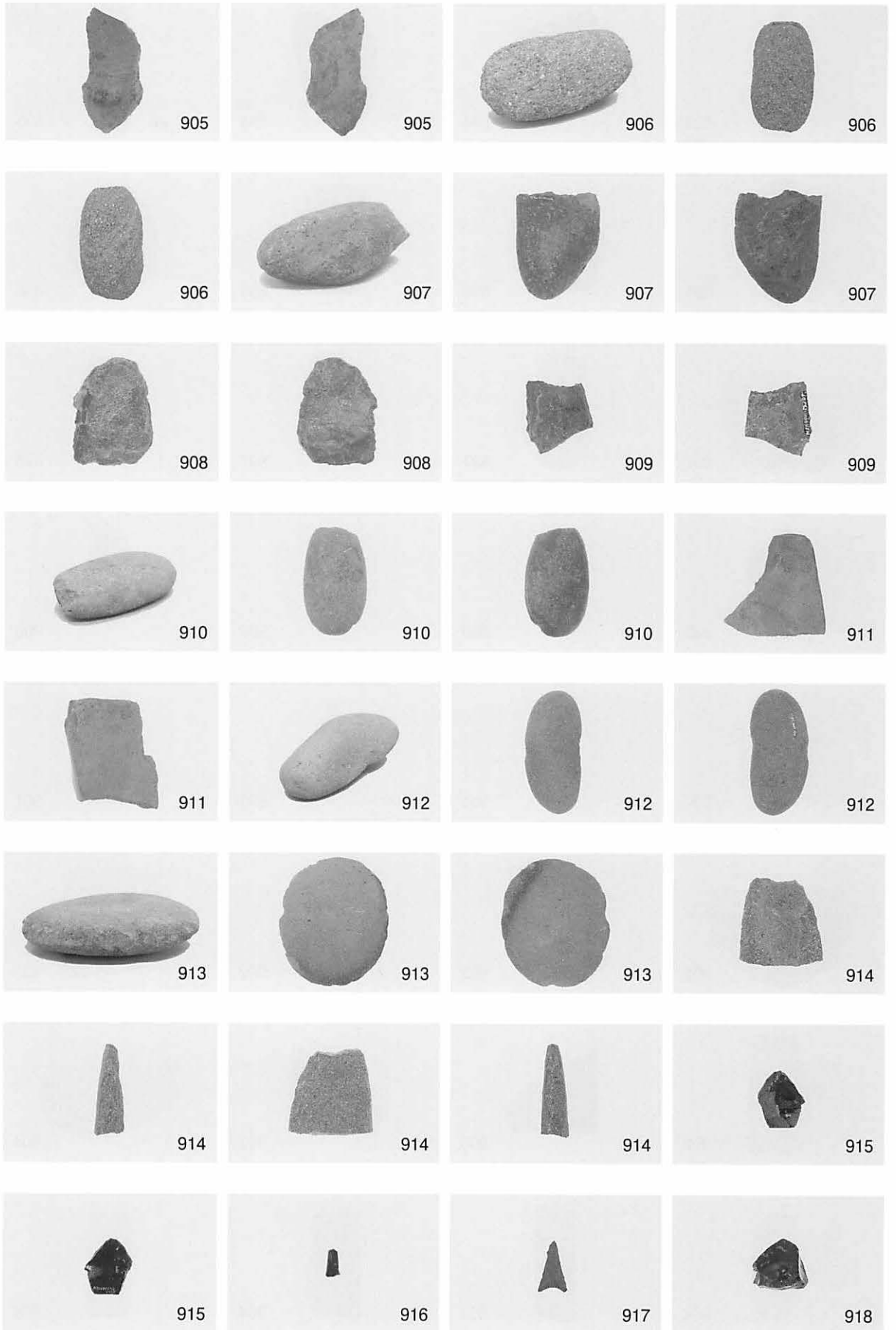




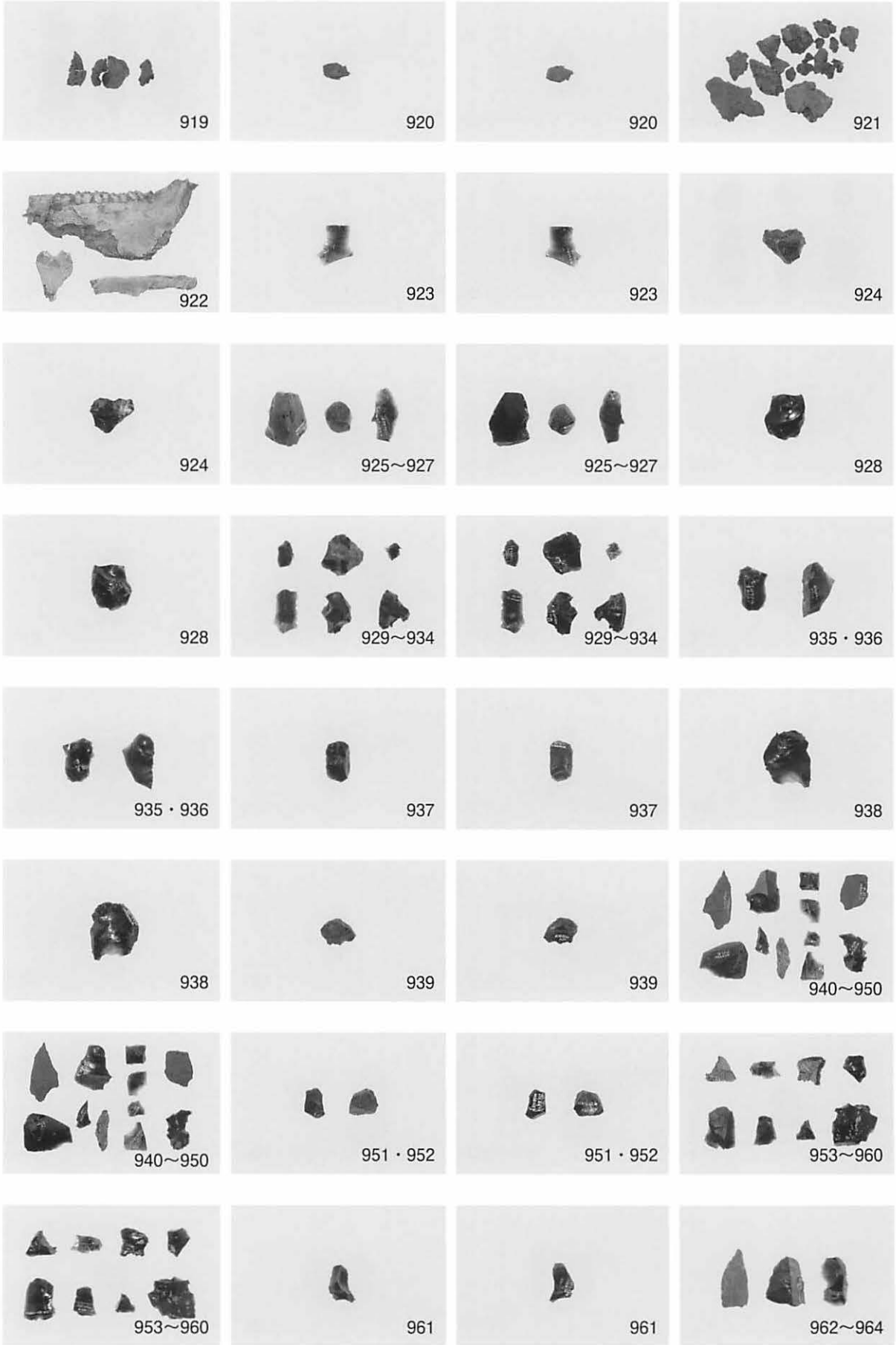


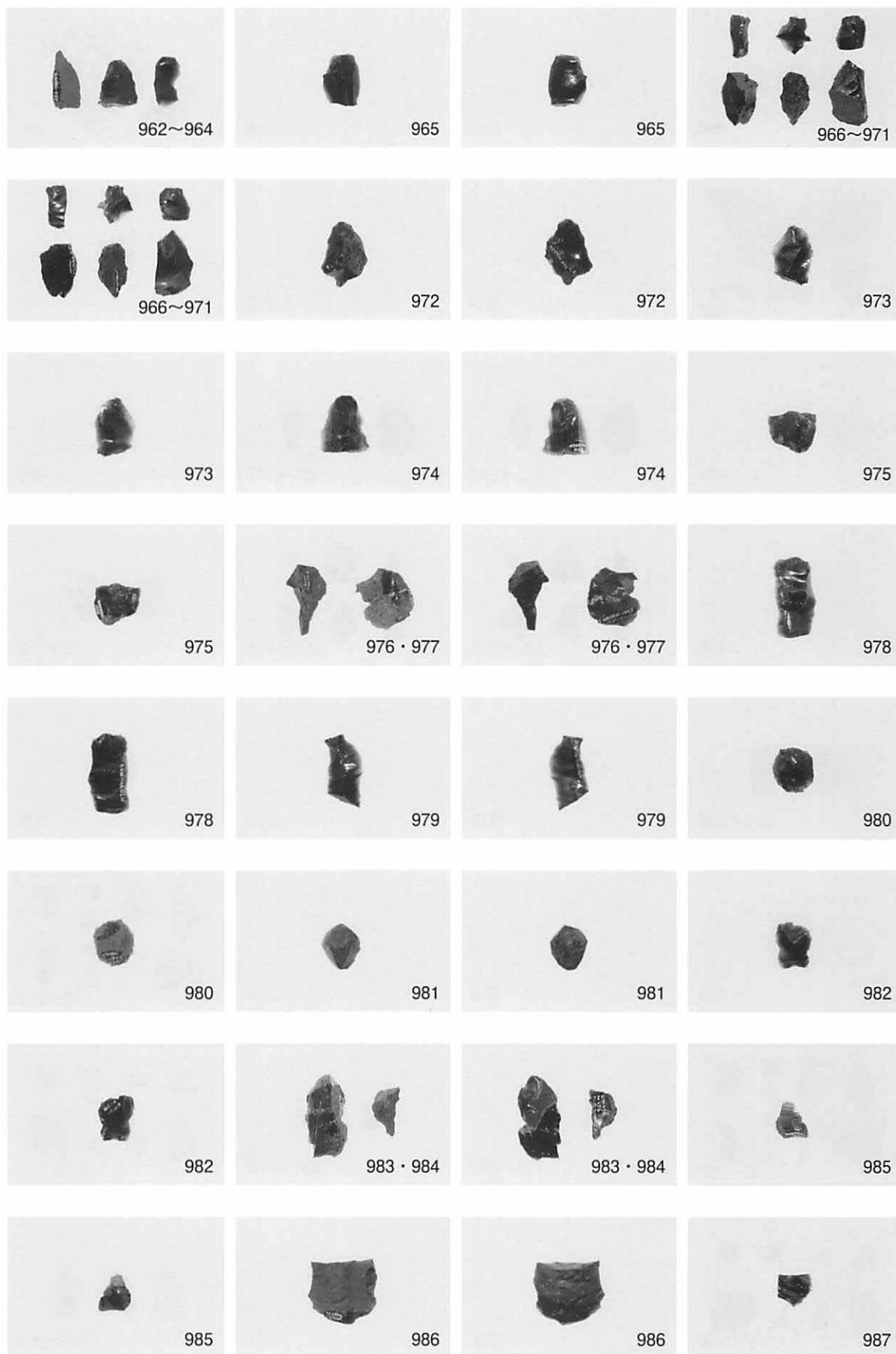


図版66 9901調査地点出土遺物35









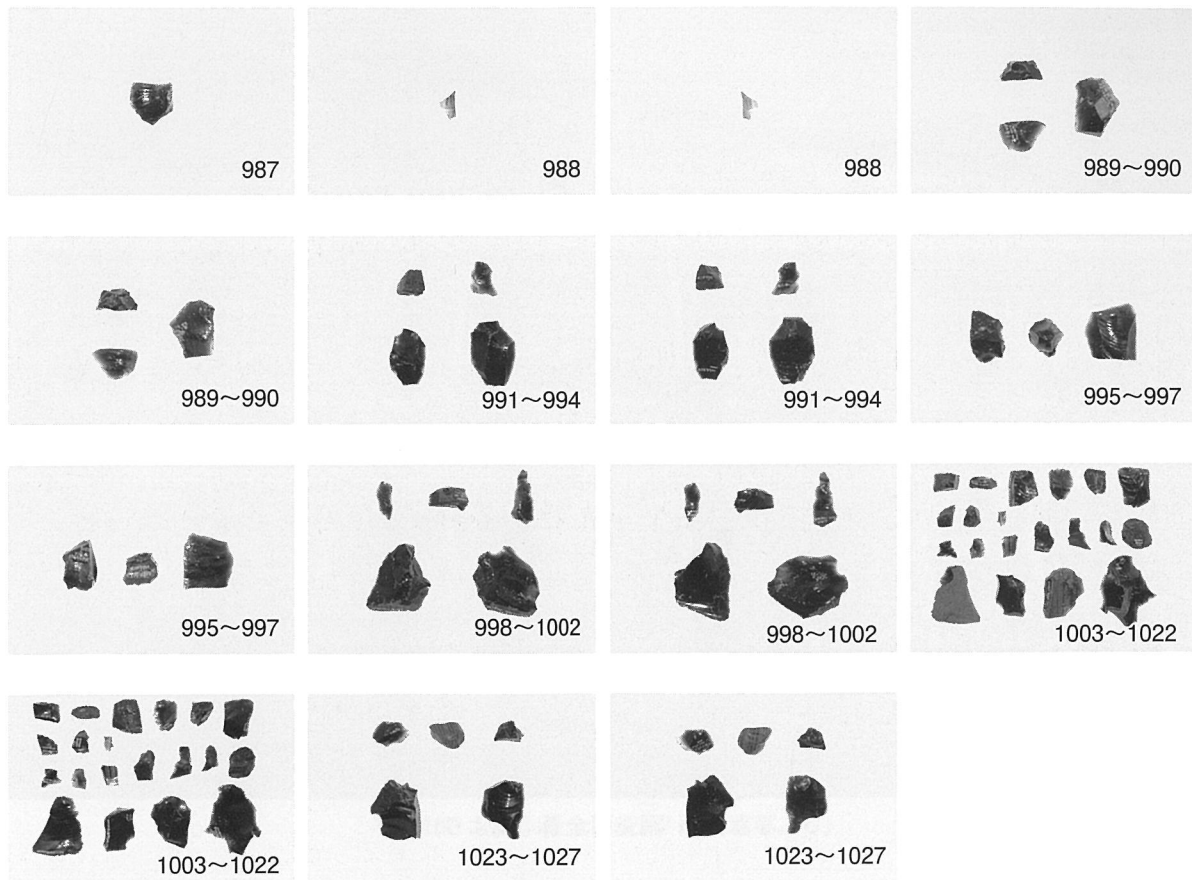




写真141 調査区全景 (南より)



写真142 1・4号溝 北4・5区 (北東より)



写真143 1号溝 北6・7区 (北東より)



写真144 調査開始前状況 (西より)



写真145 1号溝土層堆積状況 北4区 (南西より)



写真146 1号溝ウマ下顎骨出土状況 北4区 (南より)



写真147 1・4号溝 北5区 (南西より)



写真148 1号溝 北6区 (北より)



写真149 1号溝 北7区 (南西より)



写真150 1・4号溝 中7区 (南西より)



写真151 1号溝土層堆積状況 南9区 (南西より)



写真152 1号溝 南8・9区 (南西より)



写真153 1号溝 南11・12区 (北西より)



写真154 1・2・3号溝 南8区 (北西より)



写真155 1号溝 南10区 (南より)



写真156 1号溝 南11・12区 (南西より)



写真157 1号溝 南12・13区 (南西より)



写真158 1号ピット掘削状況（北より）



写真159 1号ピット（東より）



写真160 2号ピット掘削状況（南より）



写真161 2号ピット（南より）



写真162 3号ピット（南より）

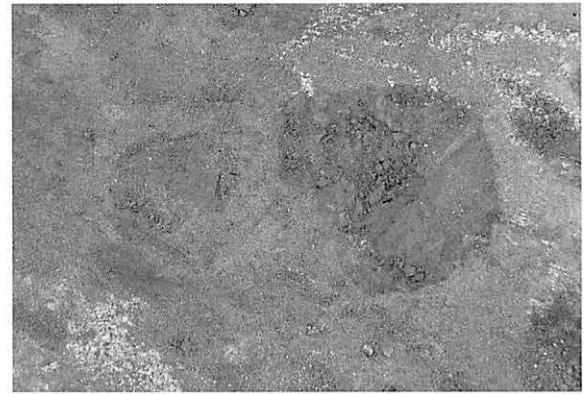


写真163 4・5号ピット検出状況（北より）



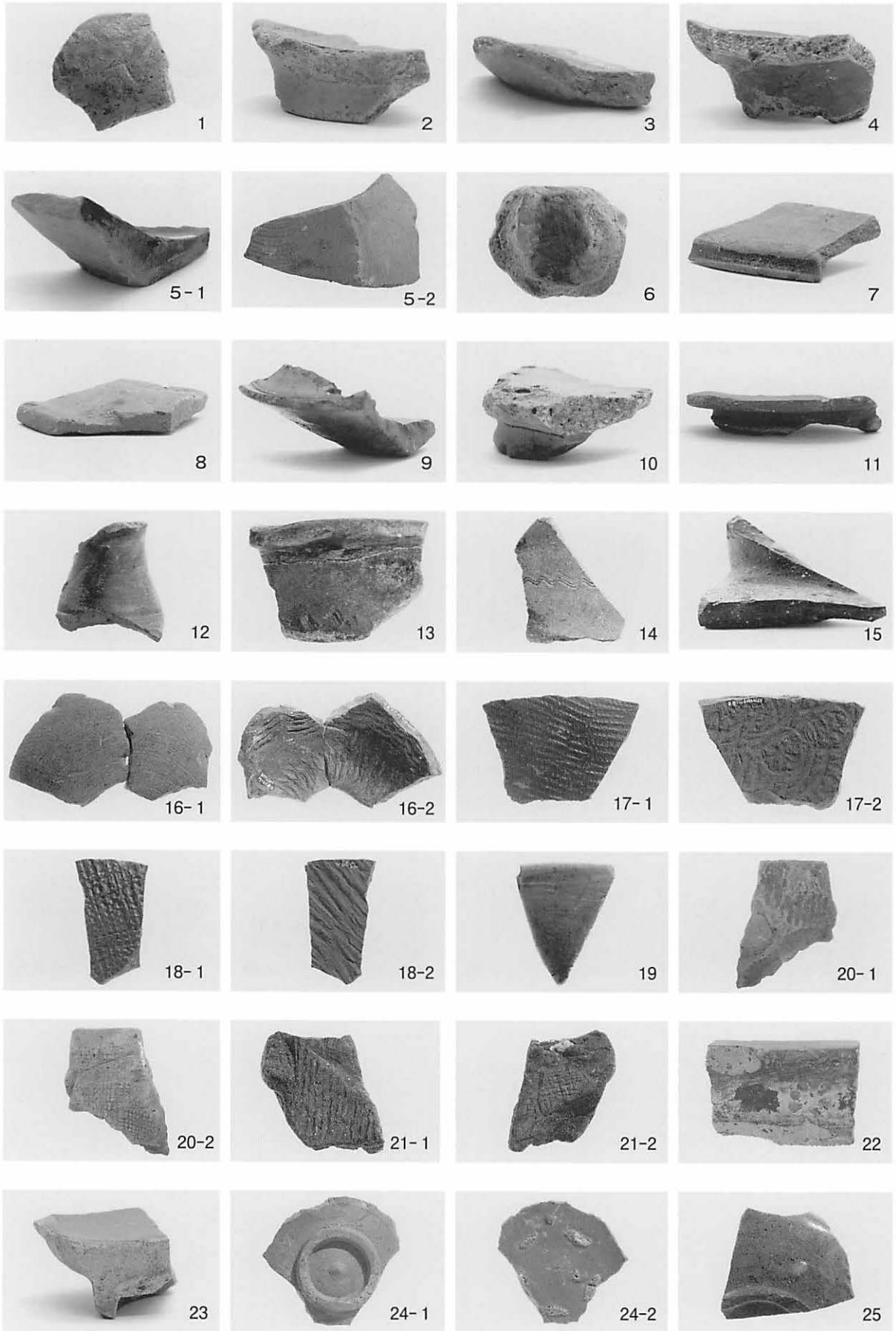
写真164 4号ピット（北より）



写真165 5号ピット（北より）



図版75 1205調査地点出土遺物 1



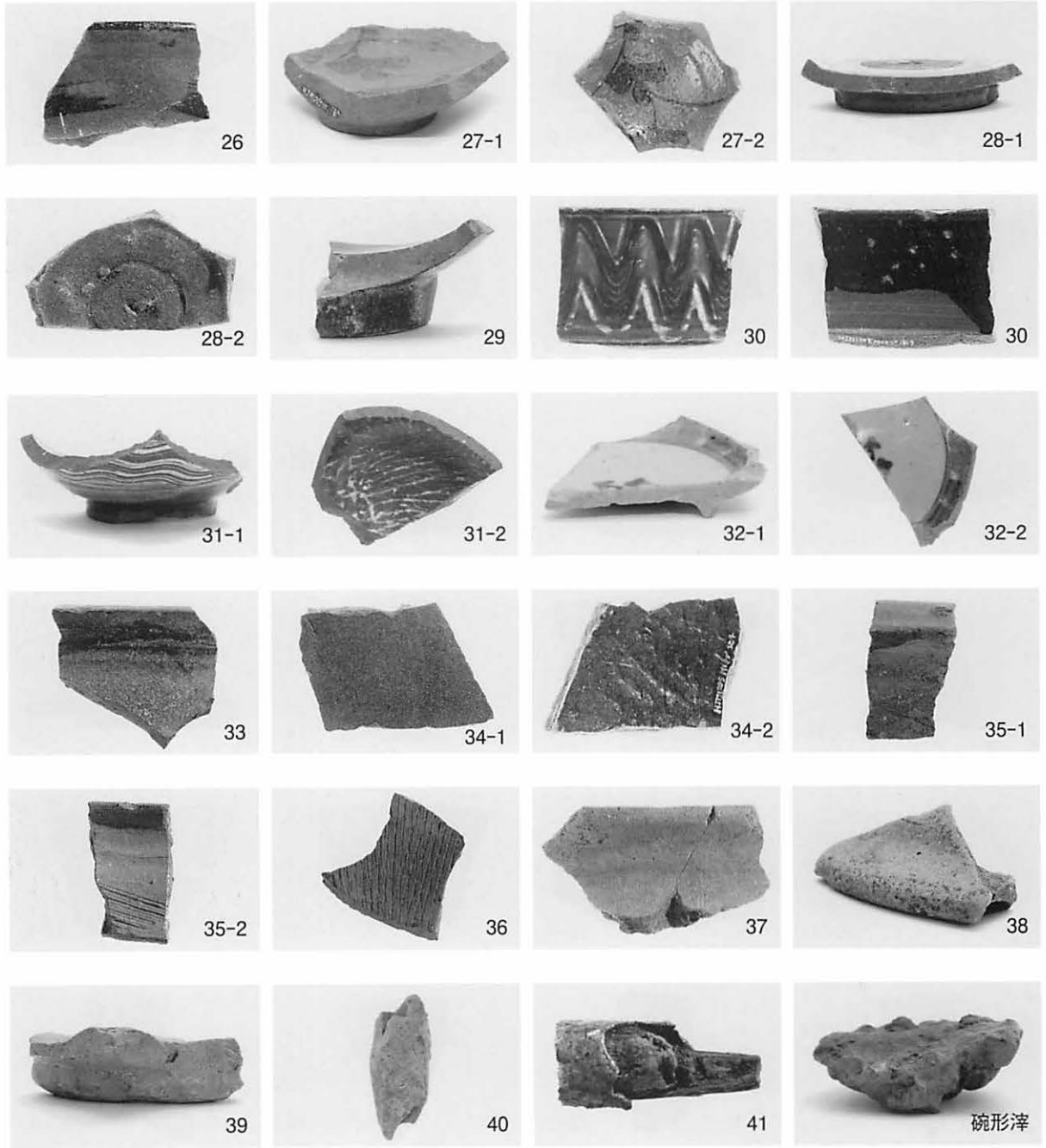




写真166 調査区東半全景 (南より)



写真167 調査区西半全景 (南より)



写真168 4号溝 (南東より)



写真169 200号溝 (南東より)



写真170 1次掘削終了状況（北より）



写真171 4号溝（南東より）



写真172 4号溝土層堆積状況（南東より）



写真173 4号溝 獣骨出土状況（南東より）



写真174 5号溝（東より）



写真175 9号溝（南より）



写真176 13号溝（南より）



写真177 240号溝（東より）



写真178 古代竪穴住居址発掘状況（北より）



写真179 10号竪穴住居址（東より）



写真180 12号竪穴住居址（北東より）



写真181 73号竪穴住居址（南東より）



写真182 73号竪穴住居址遺物出土状況（南より）



写真183 123号竪穴住居址 (南より)



写真184 123号竪穴住居址竈 (南東より)



写真185 142・145号竪穴住居址 (南より)



写真186 62号竪穴住居址 (東より)



写真187 48号竪穴住居址 (南東より)



写真188 76号竪穴住居址（西より）



写真189 76号竪穴住居址竈完掘（西より）



写真190 147号竪穴住居址（西より）



写真191 90号竪穴住居址遺物出土状況（南東より）



写真192 165号竪穴住居址（南東より）





写真193 74号竪穴住居址竈上面遺物出土状況（北東より）



写真194 同竪穴住居址竈下面遺物出土状況（北東より）



写真195 同竪穴住居址土坑遺物出土状況（北東より）



写真196 同竪穴住居址床面検出状況（南東より）



写真197 同竪穴住居址掘り方（南東より）



写真198 93号竪穴住居址 (南西より)



写真199 63号竪穴住居址 (南西より)

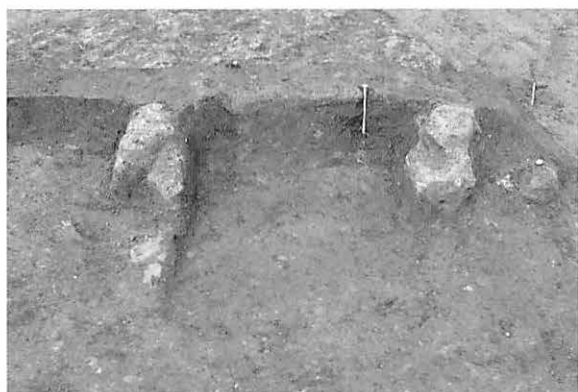


写真200 104号竪穴住居址竈 (南東より)



写真201 104号竪穴住居址掘り方 (南東より)



写真202 104号竪穴住居址 (南東より)



写真203 120号竪穴住居址 (南東より)



写真204 120号竪穴住居址竈遺物出土状況 (南東より)



写真205 154号竪穴住居址 (南東より)



写真206 206号竪穴住居址 (南より)



写真207 207号竪穴住居址 (南東より)



写真208 208号竪穴住居址 (南より)



写真209 210号竪穴住居址 (南東より)



写真210 215号竪穴住居址竈燃焼面 (南東より)



写真211 215号竪穴住居址掘り方 (南東より)



写真212 215号竪穴住居址 (南東より)



写真213 1号掘立柱建物址東側 (南より)



写真214 1号掘立柱建物址23P 覆土半裁状況 (東より)



写真215 1号掘立柱建物址24P 覆土半裁状況 (東より)



写真216 1号掘立柱建物址163P 覆土半裁状況 (南より)



写真217 212号土坑 (南東より)



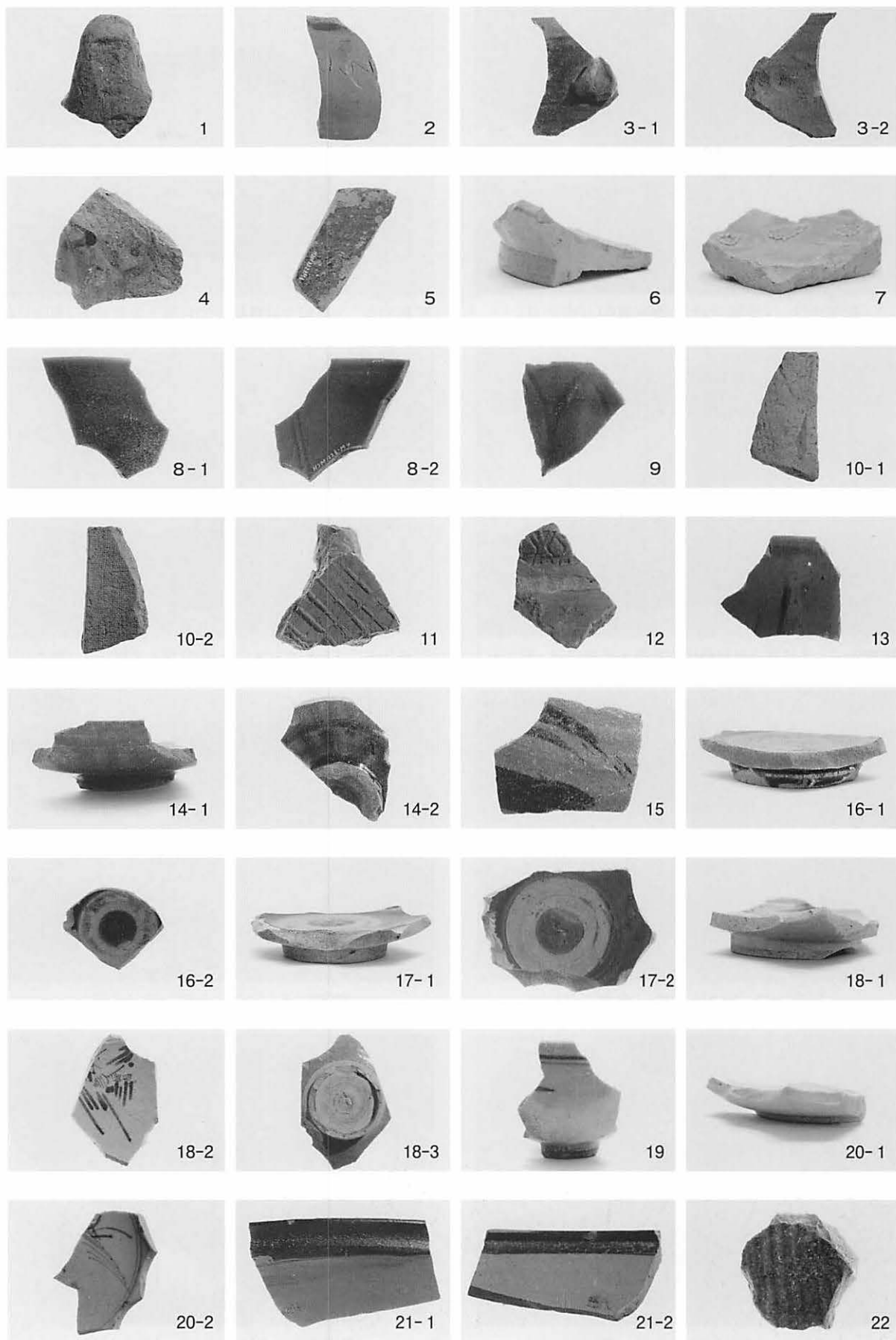
写真218 213号土坑 (南より)

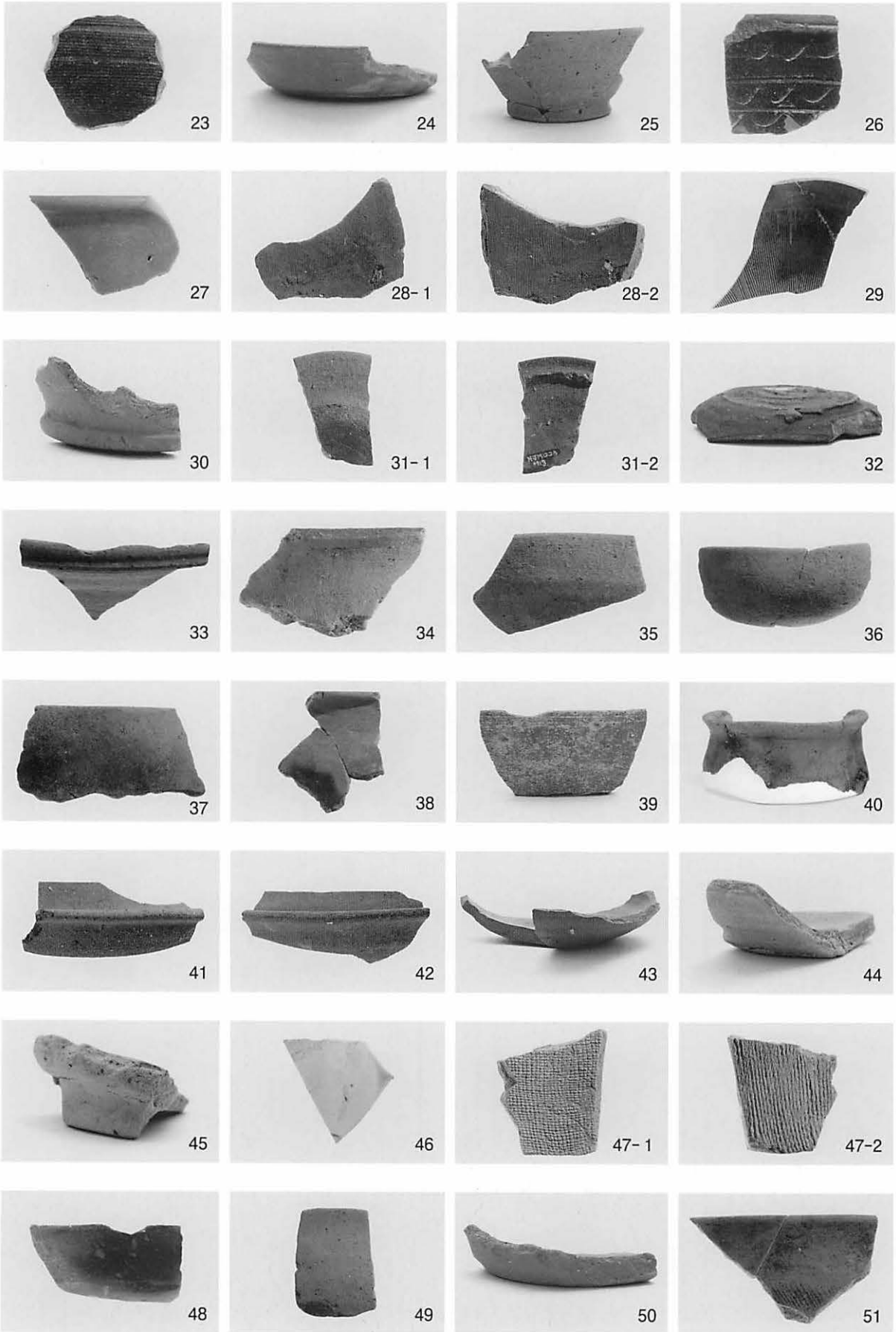


写真219 236・237号土坑 (南東より)



写真220 243号土坑 (東より)

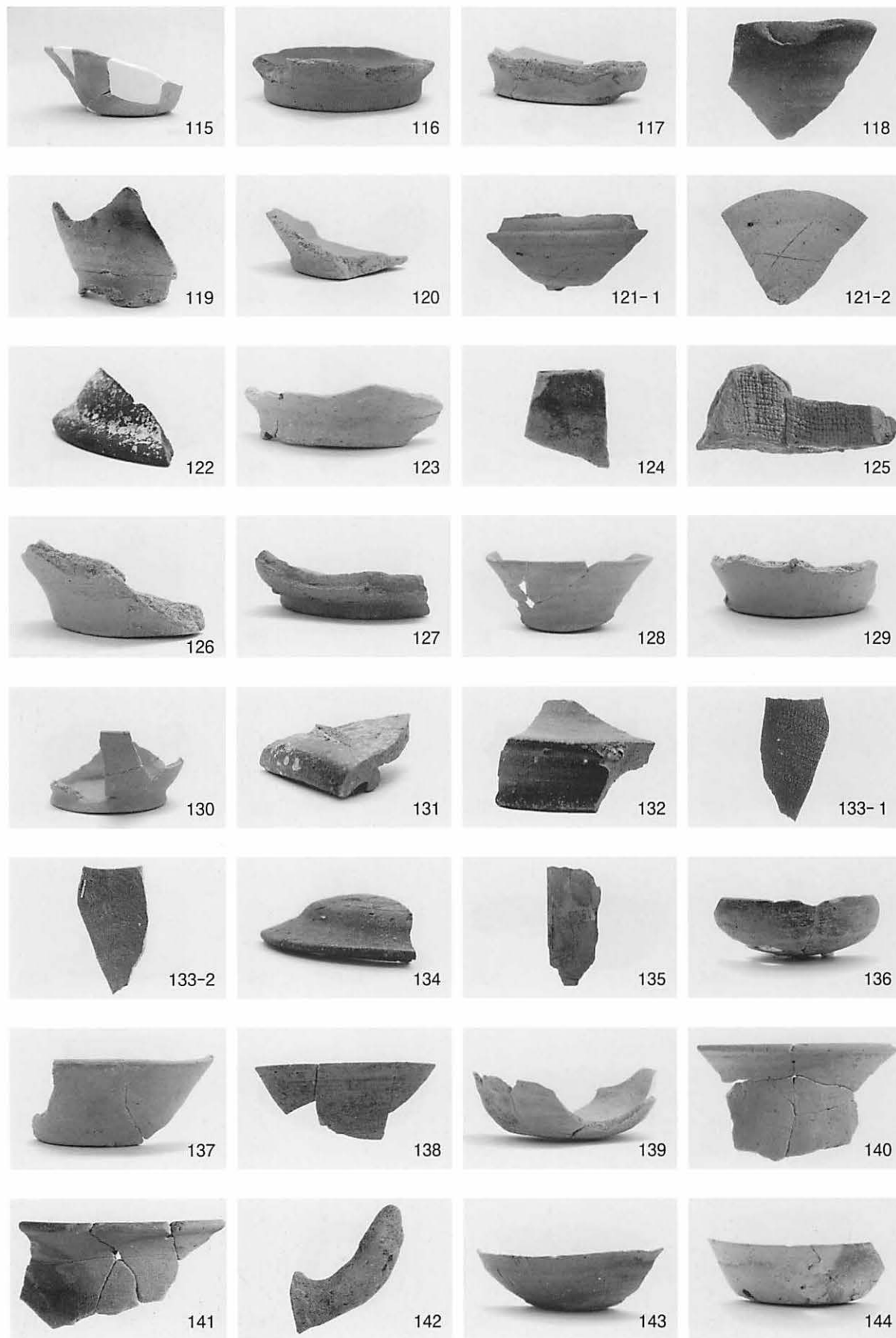














図版94 1223調査地点出土遺物7



報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくこうないせきはつちょうさほうこくX							
書名	熊本大学構内遺跡発掘調査報告X							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ号	X							
編著者名	小畑弘己・松田光太郎・大坪志子・多賀晴司・大崎喜美子							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日	2014年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
黒髪町遺跡群 (9911地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 46.4"	130° 43' 48.2"	19990301 ～ 19990314	70.9㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡群 (0204地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 34.4"	130° 43' 44.7"	020612 ～ 020814	2,803㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡群 (0206地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 47.5"	130° 43' 40.4"	20020520 ～ 20020529	28.0㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
黒髪町遺跡群 (0210地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48' 47.9"	130° 43' 45.5"	20021001 ～ 20021003, 20021118	61.19㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (9901地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 46.2"	130° 42' 37.9"	19990405 ～ 19990902	2,405㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (1205地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 39"	130° 42' 45"	20120625 ～ 20120719	756㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
本庄遺跡 (1223地点)	熊本県 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 47' 39"	130° 42' 44"	20121001 ～ 20121218	1,059㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
黒髪町遺跡群 (9911地点)	散布地	縄文・古代 近世	溝状遺構	縄文土器・縄文石器・土師器・須恵器・近代陶磁器				
黒髪町遺跡群 (0204地点)	集落址	縄文・古墳 古代	竪穴住居址・火葬墓 溝	縄文土器・土師器・須恵器				
黒髪町遺跡群 (0206地点)	散布地	縄文・弥生	溝状遺構	甕棺				
黒髪町遺跡群 (0210地点)	散布地	縄文・古代	竪穴住居址	縄文土器・縄文石器・土師器・須恵器				
本庄遺跡 (9901地点)	集落址	縄文・古墳 古代・近世	竪穴住居址・溝 土壙・掘立柱建物	縄文土器・石器・古式土師器・ 古代土師器・須恵器・鉄製品・ 土製鏡・玉類			胞衣壺・黒書土器・刻背 土器	
本庄遺跡 (1205地点)	集落址	古代・近世	溝・ピット	土師器・須恵器・陶磁器・動物骨				
本庄遺跡 (1223地点)	集落址	古墳・古代 近世	竪穴住居址・溝 掘立柱建物址・ピット	縄文土器・石器・土師器・須恵 器・銅製品・陶磁器・土製品・ 動物骨				

---

---

熊本大学埋蔵文化財調査報告書 第10集  
熊本大学構内遺跡発掘調査報告 X  
(1999、2002、2012年度)

平成26年3月31日 印刷

平成26年3月31日 発行

編集・発行 熊本大学埋蔵文化財調査センター

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39-1

TEL 096(342)3832 FAX 096(342)3832

印刷 シモダ印刷株式会社

---

---









